

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

日本美術年鑑

平成 21 年版 (2008. 1—12)

独立行政法人国立文化財機構

東京文化財研究所

Independent Administrative Institution

NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES,
TOKYO

13-43 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO

序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の一年間の動向について、基本となる資料を収集整理してまとめたもので、昭和11(1936)年に当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第一冊が刊行されました。この出版事業は、昭和27(1952)年に美術研究所が東京国立文化財研究所になり、さらに平成13(2001)年4月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められ、つづいて平成19(2007)年4月には独立行政法人国立博物館と統合し、新たに独立行政法人国立文化財機構が設置されても変わることなく受けつがれています。このたびの刊行は、その第66冊目となります。

この平成21年版は、平成20年(2008年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目に分けて編集しています。これらの記述の方法は、創刊以来の基本的方針を継承していますが、美術界の活動が多様化し、博物館・美術館が増加した今日にあっては、各項目とも調査・採録すべき事項が急増しているため、各項目の内容は厳選せざるを得ないのが現状です。そのため、平成14(2002)年には、情報の一層の精選をすすめるとともに、分類と内容を再精査して一部構成を改めましたが、今回もそれを継承しました。

文化財の保存と活用は、作品それ自体の保存とともに、その価値と意義を人から人へ、時代や国境を越えて伝えていく営為なくしてはなしとげられません。そのための資料の蓄積と調査研究、その成果の公開が継続的に行われることが求められます。この美術年鑑は、そうした研究の基礎資料の一つとして75年間、編集され続けて参りました。近年の情報化の成果を取り入れ、データベースの公開にも積極的に努めております。文化財に関わる過去と現在と未来をつなぐ資料としての本年鑑が、今後とも広く活用されることを望んでいます。

この年鑑の編集にあたり、資料を提供して下さった多くの方々、国公立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成 23 年 3 月

独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所

所 長 亀 井 伸 雄

凡 例

- 1 本年鑑は、平成20(2008)年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を掲載した。
- 2 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 3 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。建築、写真、漫画、書はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。
- 4 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。
- 5 「美術展覧会」の欄は、「企画展」「作家展」「団体展」の3つに分類し、展覧会名、作家名などの50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分を越えた展覧会增加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、東洋古美術、及び近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、東洋古美術から現代までの作家を主題とした展覧会、および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される公募を原則とする主要な展覧会を指す。
- 6 「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録と展覧会ポスター等から得られるデータを補って作成した。データは、展覧会名、会期、会場の順に略記し、当該年末から翌年にかけて開催された場合は、翌年の年記を略した。展覧会名は、概ね50音順で記載した。巡回展は、展覧会関連記事のある会期と会場を掲載し、そのほかの巡回先を()内に列記した。同一展覧会でも展覧会関連記事があれば、言及された会期と会場を掲載している。展覧会が同時に複数会場で開催されている場合は、スラッシュで区切って列記した。
- 7 「美術文献目録」の欄は、「定期刊行物所載文献」の分類を一部改めた。また、「美術展覧会図録所載文献」の項目を設け、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、項目の始めに凡例を付したので参照されたい。
- 8 刊行物の名称は一部略称とした。略称については、75頁の一覧を参照されたい。
- 9 本年鑑は、山梨絵美子(企画情報部近・現代視覚芸術研究室長)を編集主任とし、田中淳(同部部長)、塩谷純(同部文化形成研究室長)、綿田稔(同部広領域研究室長)、皿井舞(同部研究員)、江村知子(同部研究員)、土屋貴裕(同部研究員)、菅沼万里絵(同部研究補佐員)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については企画情報部文化財アーカイブズ研究室の協力を得た。「物故者」記事の執筆にあたっては、菊池理予(当研究所無形文化遺産部)、中村明子(当研究所企画情報部)、森井順之(当研究所保存修復科学センター)の協力を得るとともに、井上和人(奈良文化財研究所)、増田玲(東京国立近代美術館)、三上豊(和光大学、当研究所企画情報部客員研究員)の3氏にご協力いただいた。

なお、本年鑑の編集にあたっては、相澤亮、海老澤るりは、河合大介、久保田智史、篠崎未来、神野祐太、鶴岡明美、中村茉貴、丹村洋子、平松まいの10君の献身的な編集補助を得た。記して謝意を表する。

目 次

序	i
凡 例	iii
目 次	iv
平成20(2008)年美術界年史	1
美術展覧会	9
企 画 展	9
作 家 展	35
団 体 展	62
美術文献目録	69
凡 例	69
収録定期刊行物誌名	70
定期刊行物所載文献	77
目 次	77
美術展覧会図録所載文献	377
企 画 展	377
作 家 展	401
団 体 展	418
物 故 者	421

平成 20 (2008) 年 美術界 年 史

1 月

○第49回毎日芸術賞受賞者決定 毎日芸術賞(毎日新聞社主催)の受賞者が1日に発表された。美術関係では生と死、身体をテーマとしてきた写真家の細江英公(74歳)が受賞した。舞踏家大野一雄を撮り続けた成果として刊行された写真集『胡蝶の夢』、「球体写真二元論 細江英公の世界」展(東京都写真美術館)が評価されたもの。授賞式は28日、都内の東京プリンスホテルで行われた。

○国立西洋美術館を世界遺産に推薦 政府の世界遺産条約関係省庁連絡会議は7日、フランスの建築家ル・コルビュジエの設計になる国立西洋美術館本館を世界遺産(文化遺産)に推薦することを決定した。これを受けて、フランスが同月中に日本、フランス、スイスなど7カ国にあるル・コルビュジエの23件の作品を「ル・コルビュジエの建築と都市計画」としてユネスコに推薦書を提出した。23件中、公共建築は国立西洋美術館のみである。

○出光美術館「王朝の恋―描かれた伊勢物語―」展開催 「源氏物語」以前に成立した「伊勢物語」を主題とする絵画と書63件を展示する展覧会が9日から出光美術館で開催された(2月17日まで)。国指定重要文化財「伊勢物語絵巻」(和泉市久保惣記念美術館蔵)のほか、1608(慶長13)年に版本として「嵯峨本 伊勢物語」が刊行されて以降、公家のみならず幅広い読者を得たことを背景に描かれた岩佐又兵衛、俵屋宗達、尾形光琳、酒井抱一などによる江戸期の作品が多数出品されたほか、中村岳陵、小杉放菴ら昭和期の画家の作例も含み、物語成立後、千年におよぶ絵画との関係が跡づけられる展覧会となった。

○宮内庁が陵墓調査を許可 宮内庁は歴代天皇や皇族を埋葬した陵墓の調査を「御霊の安寧と静謐を守るため」として許可してこなかったが、17日、奈良市の神功皇后陵(五社神ゴサシ古墳)の立ち入り調査を許可することを決め、日本考古学協会に通達した。1979年から年1回ペースで宮内庁が補修の際に行う発掘調査を学会などに見学させてきたことなどを踏まえ、昨年1月に

陵墓管理に関する内規を改定し、研究テーマを問わず、申請があれば審査の上で調査を受け入れる方針としたことを受けたもの。同調査は2月22日に行われたが、発掘は許可されず、目視での確認、写真撮影を約2時間半かけて行った。

○第15回 VOCA 賞受賞者決定 若手作家の登竜門で平面作品を対象に40歳以下の作家の奨励を目指すVOCA展2008の第15回の受賞者が決定した。VOCA賞には横内賢太郎、奨励賞に川上幸之介と笹岡啓子、佳作賞に伊藤雅恵、藤原裕策が選ばれた。

○「没後50年横山大観―新たな伝説へ」展開催 明治中期から昭和33(1958)年に没するまで日本画界を牽引した横山大観の没後50年を記念し、その画業を回顧する大規模な展覧会が23日から国立新美術館で開催された(3月3日まで)。東京美術学校の卒業制作「村童観猿翁」から最晩年まで、「屈原」「流燈」「瀟湘八景」「生々流転」などの代表作を含む75点が展示され、明治期の朦朧体による日本画の革新から戦後に至る画業を再考する機会となった。

○キトラ古墳「日像」剥ぎ取り 文化庁は25日、奈良県明日香村の国特別史跡であるキトラ古墳の石室天井に描かれた天文図から太陽を表す「日像」とその近くの「星宿」など3星座、あわせて5箇所を剥ぎ取ったと発表した。微生物の影響により下地のしつこい劣化が周囲に及んだため、この処置が行われたもの。

2 月

○文化庁予算決定 福田新内閣での初めての予算編成により2008(平成20)年度の文化庁予算が決定した。前年度より0.1%増、1億円増額の1017億5500万円で、「文化芸術立国プロジェクトの推進」「文化財の次世代への継承と国際協力の推進」「文化芸術拠点の充実」を3大項目とし、「舞台芸術振興の先導モデル推進事業」「アートマネジメント人材の育成」「戦略的二国間文化遺産国際交流推進事業」「アジア美術館長会議」に新規に予算が組まれたほか、「メディア芸術振興総合プログラム」「感性豊かな文化の担い手育成プランの推進」―こどもの芸術文化体験活動の推進―などが大幅に増額とな

った。

3 月

○「ウルビーノのヴィーナス」展開催 愛と美の女神ヴィーナスが造形物にいかにならわされてきたかを古代ローマからルネサンスまで跡づける「ウルビーノのヴィーナス—古代からルネサンス、美の女神の系譜」展が4日から5月18日まで国立西洋美術館で開催された。フィレンツェをはじめとするイタリア各地の美術館、博物館等から約80点の絵画、彫刻、工芸作品が出品され、ティツィアーノの「ウルビーノのヴィーナス」が初めて欧州以外の地で展示された。「ヴィーナスの誕生—古代ギリシアとローマ」、「ヴィーナスの復興—15世紀イタリア」、「《ウルビーノのヴィーナス》と“横たわる裸婦”の図像」、「《ヴィーナスとアドニス》と“パリスの審判”」、「ヴィーナス像の展開—マニエリスムから初期バロックまで」の5章で構成され、それぞれの作品においてヴィーナスに託された「美」の多様性が示される意義深い展覧会となった。

○榎亭・金谷展開催 与謝蕪村に学んで大津で活躍し近江蕪村と呼ばれた紀榎亭と横井金谷の画業を展覧する「榎亭・金谷—近江蕪村と呼ばれた画家」展が大津市歴史博物館で6日から4月20日まで開催された。榎亭は松村呉春とならぶ蕪村の門弟であり、金谷は蕪村に私淑して地元で多くの作品を残した。榎亭、金谷の作品各約150点を集めた本展は、蕪村の画業が次世代にどのように受容されたかを考察する好機となった。

○運慶の木造大日如来坐像競売に付される 日本時間3月19日未明にニューヨークで開催されたクリスティーズの競売に鎌倉時代に活躍した仏師運慶の作と推定される大日如来坐像が出品され、過去最高の1280万ドルで日本の百貨店三越が宗教法人真如苑の依頼を受けて落札した。この作品は檜材、表面漆箔仕上げで、1190年代に運慶によって制作された可能性が高いとされる。文化庁はこの作品を重要文化財に指定しようとしたが、所蔵者の合意を得られず、指定されていなかったため海外市場に出たもので、文化財保護制度のあり方に疑問も呈せられた。真如苑はこの像を東京国立博物館に寄託し、同館で6月10日から9月21日まで公開された。

○第33回木村伊兵衛賞受賞者決定 写真家木村伊兵衛の業績を記念し、優れた新人写真家に贈られる木村伊兵衛賞(朝日新聞社主催)の第33回目の受賞者は岡田敦(28、写真集『I am』(赤々舎)に対して)と志賀理江子(27、写真集『Canary』(赤々舎)『Lilly』(アートビートブリッシャーズ)に対して)の二人に決定した。

○第27回土門拳賞受賞者決定 前年度に優れた作品を

発表した写真家に贈られる土門拳賞の第27回目の受賞者は、土田ヒロミに決定した。1968年から現代に至る40余年の仕事を集大成した展覧会「土田ヒロミのニッポン」展(東京都写真美術館)が評価されたもの。

○与謝蕪村展開催 18世紀に優れた俳句、書画を残した与謝蕪村のしごとを総合的にとらえようとする「与謝蕪村—翔けめぐる創意」展が15日からMIHO MUSEUMで開催された。第一章「芭蕉へのまなざし」、第二章「故郷への道行」、第三章「放浪の雲水」、第四章「新たな出発」、第五章「蕪村をめぐる人々」、第六章「翔けめぐる創意」の構成で、俳句にも書画にも秀でた多才な活動を約150点の作品、資料で跡づける充実した展覧会となった。

○重要文化財指定(考古、美術工芸品)の答申 文化審議会(石澤良昭会長)は21日、島根県雲南市(旧加茂町)の加茂岩倉遺跡から出土した銅鐸39点を国宝に、岩佐勝以筆紙本着色梓弓図ほか31点の美術工芸品を重要文化財に指定するよう、渡海文部科学相に答申した。これで美術工芸品の重要文化財は1万311件、うち国宝は862件となった。

○国宝薬師寺展 710(和銅3)年の平城遷都から1300年を記念する催しの先陣を切って「国宝 薬師寺展」が25日から東京国立博物館で開催された(6月8日まで)。「薬師寺伽藍を行く」「草創期の薬師寺」「玄奘三蔵と慈恩大師」「国宝吉祥天像」の4章で構成され、薬師寺金堂の日光・月光菩薩が出品されて話題となった。

○日本芸術院賞受賞者決定 日本芸術院(三浦朱門院長)は28日、卓越した芸術作品や芸術の進歩に功績のあった人に贈る日本芸術院賞の2007年度の受賞者を発表した。美術関係では、清水達三(日本画、72、06年院展出品作「翠響」に対して)、藤森兼明(洋画、72、07年日展出品作「アドレション サンビターレ」に対して)、神戸峰男(彫塑、63、07年日展出品作「朝」に対して)、杭迫柏樹(本名杭迫晴司、書、73、07年日展出品作「送茶」に対して)、鈴木了二(建築、63、04年完成の金刀比羅宮プロジェクトに対して)が受賞した。

○生誕100年東山魁夷展開催 日展で活躍した日本画家東山魁夷の生誕100年を記念する展覧会が29日から5月18日まで東京国立近代美術館で開催された。東山の画業に迫ることを目指し、70年に渡る画業を7章に分けて展示。第1章「模索の時代」、第2章「東山芸術の確立」、第3章「ヨーロッパの風景」、第4章「日本の風景」、第5章「町・建物」、第6章「モノクロームと墨」、第7章「おわりなき旅」とし、これに加えて5つの特集展示「特集1 ドイツ留学」「特集2 (自然の形象)と(くにま)」「特集3 白馬のいる風景」「特集4 窓」「特集5 唐招提寺の障壁画」を設け、造形の特色や特色ある主題などに迫る展覧会となった。同展は長野県信濃美術館(7月12日から8月31日)に巡回した。

○**滋賀県立琵琶湖文化館休館** 1961(昭和36)年に滋賀県民や地元企業からの寄附によって総合博物館として開館し、仏教美術の優品を数多く所蔵することで知られる琵琶湖文化館は、2007年12月の滋賀県議会において県教育委員会から出された展示公開の中止(休館)の方針に従って、31日から休館することとなった。県財政事情の悪化、建物の老朽化、耐震性の問題、入館者数の減少などが理由としてあげられた。関連学会などから存続を求める要望書が提出されたが、収蔵品特別公開「近江の美術 第Ⅲ期仏教美術の精華」(3月4日から30日)が休館前の最後の企画展となった。しかし、従来行ってきた文化財講座を近隣の施設で開催するほか、ホームページ上に館蔵の名品を紹介するコーナーを新設するなど、展示を行わない博物館としての活動を開始した。

4 月

○**晁斎展開催** 幕末明治期に東京で活躍した画家河鍋晁斎の没後120年を記念して、その画業を回顧する「絵画の冒険者 晁斎 近代へ架ける橋」展が京都国立博物館で8日から開催された(5月11日まで)。国内外に所蔵される晁斎の肉筆画135点を「狂斎の時代」、「冥界・異界、鬼神・幽霊」、「少女たつへの鎮魂歌」、「巨大画面への挑戦」、「森羅万象」、「笑いの絵画」、「物語、年中行事」、「晁斎の真骨頂」の8章に分けて展覧し、幅広いモチーフを多様な画風で描きこなした晁斎の強い個性が際立つ展示となった。

○**美術家たちの「南洋群島」展開催** 第一次大戦勃発時に日本領となり「南洋群島」と呼ばれた島々に滞在し、島の風土や人々の暮らしに親しんで制作を行った土方久功、杉浦佐助と杉浦の弟子である儀間比呂志に注目し、その作品と関連資料を展示する「美術家たちの『南洋群島』」展が町田市立国際版画美術館で12日から開催された(6月22日まで)。1990年代から盛んになった第二次世界大戦中の日本美術の研究によって当時の日本が植民地としていた地域の実態に関する研究が行われるようになったのを背景に、「南洋群島」での日本人作家による制作を調査し、表現の特質や時代精神に迫ろうとする意欲的な展覧となった。同展は高知県立美術館(7月13日から9月15日)、沖縄県立博物館・美術館(11月7日から09年1月18日)に巡回した。

○**重要文化財指定(建造物)の答申** 文化審議会(石澤良昭会長)は18日、重要文化財の青井阿蘇神社(熊本県人吉市)を国宝に、シャトーカミヤ旧醸造施設(茨城県牛久市)など10件を重要文化財に指定するよう、渡海文部科学相に答申した。また、重要伝統的建造物群保存地区として長崎県平戸市大島村神浦地区など3箇所を

新たに指定するよう答申した。

○**青森県十和田市現代美術館開館** 美術館を中心に、十和田市内中心部の官庁街通り全体にアート空間を創出する「Arts Towada」(野外芸術文化ゾーン)計画のもとに、26日、十和田市現代美術館が開館した。西沢立衛の設計になり延べ床面積2078.38㎡、常設展示室、企画展示室のほか市民活動、屋外イベントのスペースを持つ。国内外の現代作家21名による22点を恒久設置し、現代アート作品を体験する場となる一方で、地域の文化活動を活性化する拠点となることをめざす。開館展は「オノ・ヨーコ 入り口」展で7月6日まで開催された。

○**源氏物語千年紀展開催** 「紫式部日記」の1008(寛弘5)年の条に宮中でこの物語が広く知られていたことが初めて登場するところから、今年を源氏物語千年紀とし、関連する展覧会が各地で開催されたが、そのひとつとして絵画作品によって登場人物や名場面のみならず、創作の背景となった平安文化や、物語の成立から今日までの伝承過程を紹介する「源氏物語千年紀展」が京都府京都文化博物館で26日から開催された(6月8日まで)。プロローグ「源氏物語への誘い」、第一章「作者・紫式部」、第二章「源氏物語の世界」、第三章「写本その営と美」、第四章「源氏物語の楽しみ 享受の歴史」、エピローグ「源氏物語の雅」の構成で、重要文化財約40点を含む157件の作品、資料が展示され、物語と人々との千年の関わりが示される充実した展覧となった。

○**「小袖—江戸のオートクチュール」展開催** 松坂屋京都染織参考館の収蔵品のなかから小袖を中心に装身具や調度品など約300点を展覧する「小袖—江戸のオートクチュール」展が26日から名古屋市博物館で行われた。1611(慶長16)年に呉服商として創業した松坂屋が意匠の参考品として収集してきたコレクションの一部が初めて公開されたもので、第一章「小袖もよう アートをまとう」、第二章「装いをめぐる時 時間・季節・機会」、第三章「小袖へのまなざし」、第四章「コレクション探訪」の構成で秘蔵の優品が多数出品され、江戸期における絵画と工芸の関係を考える上でも重要な機会となった。同展はサントリー美術館(7月26日から9月21日)、大阪市立美術館(09年4月14日から5月31日)に巡回した。

○**岡鹿之助展開催** 点描による温雅な画風で知られる岡鹿之助の作品70点により、その画業を再考する「岡鹿之助展」がブリヂストン美術館で26日から開催された(7月6日まで)。描かれた題材によって「海」「運河」「献花」「雪」「灯台」「発電所」「群落と廃墟」「城館と礼拝堂」「融合」という9つのテーマ別に作品を分類し、1924年の渡欧後、約3年で画風を確立してから、自身の作品の引用というべき制作を繰り返し、同じ題材によつ

て造形を熟成させていく画業が新たな角度から跡づけられた。

- コロア展開催** 19世紀半ばに活躍し、印象派や立体派の画家たちにまで連なる絵画の変革をもたらしたカミーユ・コロアの油彩画約80点を展覧する「コロア 光と追憶の変奏曲」展が14日から国立西洋美術館で開催された。1章「初期の作品とイタリア」、2章「フランス各地の田園風景とアトリエでの制作」、3章「フレーミングと空間、パノラマ風景と遠近法的風景」、4章「樹木のカーテン、舞台の幕」、5章「ミューズとニンフたち、そして音楽」、6章「私は目も心も使って解釈する」の構成で、ルーブル美術館をはじめ、欧米各国から作品が集められ、アカデミックな画風から、写実と詩情が融合された画風への展開が跡づけられる展覧となった。同展は神戸市立博物館に巡回した(9月13日から12月7日)。

5 月

- 読売あをによし賞受賞者決定** 文化財保存・修復に優れた業績を残した人を顕彰するあをによし賞の第二回目の受賞者に、茅葺き棟梁でこの分野では唯一の国選定保存技術保持者の岡田隆蔵(81)、和紙の調査や復元を行ってきた和紙技術研究者の大川昭典(65)が選ばれた。また、財団法人中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所が特別賞を受賞した。海外遺跡での発掘調査や現地の人たちと進める保存活動が認められたもの。
- 狩野永徳筆の屏風確認される** 狩野派二代目の絵師元信の作品とされ、数十年にわたり行方不明であった「松に叭叭鳥・柳に白鷺図屏風」の存在が確認され、再調査によって安土桃山時代の代表的絵師である狩野永徳の作品と判明した。実業家原三溪の旧蔵品で原家の売目録「松風閣蔵品展覧図録」に掲載されて以降、行方不明となっていた。
- 重要文化財指定(史跡)の答申** 文化審議会(石澤良昭会長)は16日、金沢城跡(金沢市)など8件を史跡に、蕨野の棚田(佐賀県唐津市)など2件を重要文化的景観に、長崎市の平和公園など12件を登録記念物に指定するよう、渡海文部科学相に答申した。

6 月

- 岩手・宮城内陸地震による文化財被害** 14日午前8時43分に岩手県内陸南部で発生したマグニチュード7.2の地震により仙台市の陸奥国分寺薬師堂の欄間が落ちるなど国指定の重要文化財や史跡など24件に被害が生

じたことが両県の教育委員会の調査で判明した。

- 登録有形文化財(建造物)指定の答申** 文化審議会(石澤良昭会長)は20日、丹下健三設計による「墨会館」(愛知県一宮市)など23都道府県に所在する170件の建造物を登録有形文化財に指定するよう渡海文部科学相に答申した。これによって建造物の登録有形文化財は7179件となった。

7 月

- 対決一巨匠たちの日本美術展開催** 日本美術の研究誌『国華』が岡倉天心らによって1889(明治22)年に創刊されて今年で120年になるのを記念して、「創刊記念『国華』120周年・朝日新聞130周年」と銘打ち、中世から近代に至る日本美術の巨匠たちをその作品によって「対決」させる展覧会が東京国立博物館で開催された。運慶と快慶、伊藤若冲と曾我蕭白、池大雅と与謝蕪村、喜多川歌麿と東洲斎写楽など同時代に活躍した作家だけでなく、後代の絵師が先達に私淑して学んだ雪舟等楊と雪村周継、俵屋宗達と尾形光琳、また、師弟関係にあった円山応挙と長澤芦雪なども含む12組24名による110件の作品で構成され、国宝10件、重要文化財39件を含む大規模な展覧となった。近年行方不明ながら狩野永徳筆の可能性が指摘され、当年に改めて所在が確認されて注目を集めていた原三溪旧蔵「松に叭叭鳥・柳に白鷺図屏風」が出陳されたことでも話題となった。
- 「石山寺と湖南の仏像」展開催** 古来、近江と南都の文化をつなぐ役割を負ってきた石山寺を中心とする湖南地域、瀬田川流域、田原道沿道地域に現存する仏像や、石山寺本尊との関連が認められる諸像を集めた「石山寺と湖南の仏像—近江と南都を結ぶ仏の道—」展が13日から大津市歴史博物館で開催された(8月24日まで)。「古代の北陸道」「石山寺の仏像」「瀬田川・田原道(旧東山道)沿いの大津市南部の仏像」「瀬田川・田原道(旧東山道)の仏像」「奈良からの影響」の5章で構成され、飛鳥時代から江戸時代までの仏像、絵画、文書等101点が展覧された。人と物の往来と文化の伝播を作品によって跡づける興味深い企画となった。
- 人間国宝認定の答申** 文化審議会(石澤良昭会長)は18日、6名を新たに重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するよう渡海文部科学相に答申した。美術関係では、木版摺更紗の鈴木滋仁(54)、蒔絵の室瀬和美(57)、髹漆の増村紀一郎(66)、彫金の桂盛仁(63)が選ばれた。木版摺更紗での認定は初めて。これによって人間国宝は芸能58名、工芸技術59名の117名(重複認定者が1名いるため実質は116名)となった。

8 月

- 西洋美術振興財団賞受賞者決定 国内の美術館で開催され、西洋美術の理解や研究発展に寄与した西洋美術展を企画した個人、団体を顕彰する西洋美術振興財団賞の受賞者が決定した。学術賞に千代章一郎・林美佐・山名善之「ル・コルビュジエ 建築とアート、その創造の軌跡」展(森美術館)、南畠宏「ATTITUDE 2007 人間の家—真に歓喜に値するもの」展(熊本市現代美術館)が選ばれ、文化振興賞に淡交社美術企画部が「マルレーネ・デュマス ブロックン・ホワイト」展(東京都現代美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館)によって選ばれた。
- 東京都庭園美術館建て替え決定 都の文化振興策について検討する知事の付属機関「東京都芸術文化評議会」は27日、東京都庭園美術館新館(港区白金)の建て替えを決定した。同美術館には1933年に建築され、都の有形文化財となっている本館と1963年竣工の新館があり、建て替えられるのは事務室、ホールなどとして使用されている新館。耐震診断の結果、新館が耐震指標を下回ったためにこの決定となった。
- 「五姓田のすべて—近代絵画への架け橋」展開催 幕末期から横浜で活躍した初代五姓田芳柳に始まる洋風絵画の一派五姓田派を総合的にとらえようとする「五姓田のすべて」展が神奈川県立歴史博物館で9日から開催された(9月28日まで)。「五姓田派誕生」「五姓田家の絵師たち」「五姓田派を支えた絵師たち」「拡散する五姓田派」「技術伝承」の5章構成で、これまで個々に紹介されてきた五姓田派の画家たちの作品がデッサン、写生図から油彩画まで展示されたほか、絵手本や教科書等も紹介され、幕末明治初期の西洋絵画受容の一面面を浮彫にする展覧となった。同展は岡山県立美術館に巡回した(10月7日から11月9日)。

9 月

- 横浜トリエンナーレ2008開幕 日本最大級の現代アートの国際展として2001年に始まった横浜トリエンナーレ(主催:国際交流基金、横浜市、NHK、朝日新聞社、同展組織委員会)が横浜埠頭の新港ピア、日本郵船海岸通倉庫、三溪園など8箇所を会場に13日から11月30日までの会期で開かれた。水沢勉が総合ディレクターをつとめ、26カ国・地域から71名のアーティストが参加した。展覧会のテーマは「タイムクレヴァス(時間の裂け目)」で、ビエンナーレ等の国際展に認められるようになった定型化を破り、「時間」に着目して、日

常の時間に流されることなく、時間の裂け目を覗き込む体験の場を提示することが目指された。インスタレーション、映像作品が多く出展されたほか、パフォーマンスが数多く組み込まれていることが、シンガポール、上海、光州、釜山で同時期に開催されるビエンナーレと比較して、ひとつの特色となった。

- 第20回世界文化賞受賞者発表 優れた芸術の創造者たちを顕彰する高松宮殿下記念世界文化賞(財団法人日本美術協会主催)の第20回目の受賞者が16日に発表された。美術関係では、絵画部門でリチャード・ハミルトン(イギリス、86)、彫刻部門でイリヤ・カバコフ(ロシア、74)とエミリア・カバコフ(62)、建築部門でピーター・ズントー(スイス、65)が選ばれた。授賞式は10月15日、東京赤坂の明治記念館で行われた。
- 登録有形文化財(建造物)指定の答申 文化審議会(石澤良昭会長)は26日、明治期に來日して活躍した米国人建築家ヴォーリズ設計の日本福音ルーテル市川教会など、21都道府県に所在する110件の建造物を新たに登録有形文化財に登録するよう、塩谷文部科学相に答申した。これで有形登録文化財(建造物)の登録は1289件となった。
- メセナ大賞受賞者決定 企業メセナ協議会は29日、芸術文化振興に貢献した企業や団体を表彰する「メセナアワード2008」の受賞者を発表した。美術関係では、「サントリー美術館の運営と活動」がメセナ大賞を受賞した。
- 第20回国華賞受賞者決定 日本および東洋美術に關する優れた研究に対して贈られる国華賞(主催:国華社、朝日新聞社)の第20回目の受賞者が発表された。推薦のあった単行図書、定期刊行物掲載論文、展覧会図録18件のなかから、相澤正彦・橋本慎司『関東水墨画一型とイメージの系譜』(国書刊行会)、日高薫『異国の表象—近世輸出漆器の創造力』(ブリュッケ)、浅野秀剛・田辺昌子『鳥居清長—江戸のヴィーナス誕生』(千葉市美術館)が受賞者に選ばれた。展覧会図録を対象とする受賞は今年度が初めてとなった。

10 月

- 「崇高なる山水」展開催 五代・北宋初期の画家李成に始まり北宋中期に活躍した郭熙によって完成された大観的な山水画の誕生とその受容の諸相を約70点の作品によって跡づける「崇高なる山水—中国・朝鮮、李郭系山水画の系譜」展が11日から11月16日まで大和文華館で開催された。第一章「李郭派山水の誕生—宋から元へ」、第二章「李郭派山水の展開—高麗から朝鮮王朝へ」、第三章「李郭派山水の受容と復興—明清時代—」で構成され、東洋の山水表現の源とも言われ、我国の

水墨画の展開においても重要な位置にあった李郭派を今日の視点からとらえる充実した展観となった。

- 重要文化財(建造物)指定の答申 文化審議会(石澤良昭会長)は17日、石岡第一発電所施設(茨城県北茨城市、高萩市)や、石山寺(大津市)御影堂など建造物7件を新たに重要文化財に指定するよう塩谷文部科学相に答申した。また、本殿などが重要文化財に指定されている石清水八幡宮(京都府八幡市)について、周囲の摂社若宮社本殿など8棟を追加指定するよう答申した。

- 新薬師寺金堂の基壇出土 奈良教育大学(奈良市高畑町)は、23日、同学構内で奈良時代に建立された新薬師寺の遺構が発見されたと発表した。現在の新薬師寺の南西に位置し、当時の絵図や文献の記述から、8世紀中ごろに光明皇后が聖武天皇の病氣平癒を祈願して建立した新薬師寺の金堂(七仏薬師堂)の基壇と見られ、東大寺大仏殿に匹敵する規模であったことがわかるなど、古代史、古代建築史研究に資する重要な発見となった。

- 文化勲章受章者、文化功労者決定 政府は28日、2008年度の文化勲章受章者、文化功労者を発表した。美術関係では、澄川喜一(77、彫刻家として日本的な感性に基づく、研ぎ澄まされた抽象彫刻を発表し続け、地域の文化振興にも貢献したことに対して)、奥田小由女(71、丹念に彩色する技法と今日的で自由な発想をあわせ持ち、創造的な作品を発表し続け、工芸界の発展に貢献したことに対して)が文化功労者に選ばれた。

11 月

- 「朝鮮王朝の絵画と日本」展開催 14世紀末に創始されてから500年以上続いた朝鮮王朝の絵画を通観し、それらとかわりを持ったと考えられる室町・江戸期の絵画を併せて展示する「朝鮮王朝の絵画と日本 宗達、大雅、若冲も学んだ隣国の美」展が2日から栃木県立美術館で開催された。第一部「朝鮮絵画の精華」、第二部「日本人のまなざし」の構成で日韓両国から集められた325点が出品され、朝鮮王朝の絵画をまとめたかたちで鑑賞でき、また、我国の絵画との交流について再考を促す貴重な機会となった。同展は静岡県立美術館、仙台市博物館、岡山県立美術館に巡回した。
- 「運慶流」展開催 鎌倉時代後期以降、当時西国とされた山陰、九州地方で仏師運慶の一門が活躍したことに注目し、33点の作品によってその意味を再考する「運慶流」展が山口県立博物館で11日から開催された(12月21日まで)。戦が神仏の戦いでもあった中世の信仰のあり方を背景に、蒙古襲来や南北朝の争乱で実際の戦

地となった山口・九州で運慶の後裔たちの様式が好まれた理由を探ろうとする意欲的な試みとなった。同展は、09年1月1日から2月15日まで佐賀県立美術館に巡回した。

- 第30回サントリー学芸賞受賞者決定 サントリー文化財団は12日、第30回サントリー学芸賞受賞者を発表した。美術関係では、林洋子(京都造形芸術大学准教授、『藤田嗣治 作品をひらく一旅・手仕事・日本』(名古屋大学出版会)に対して)、平松剛(『磯崎新の『都庁』—戦後最大のコンペ』(文藝春秋社)に対して)が受賞した。

- 「セザンヌ主義」展開催 近代絵画の父とされるセザンヌの作品とその画風に学んだ画家の作品を対比する「セザンヌ主義—父と呼ばれる画家への礼賛」展が15日から横浜美術館で開催された(1月25日まで)。日本におけるセザンヌ受容をテーマに、日本所在のセザンヌ作品を集めた「セザンヌ展」が1999年に同館で行われたのを踏まえ、本展ではゴーギャン、モディリアニ、ピカソら西欧の画家、および安井曾太郎、小野竹喬ら日本の洋画家、日本画家による作品をセザンヌ作品と比較し、その造形について考察しようとするもので、日本におけるセザンヌ受容を国際的視点から再考する機会となった。同展は北海道立近代美術館に巡回した(09年2月7日から4月12日)。

- 史跡・天然記念物指定の答申 文化審議会(石澤良昭会長)は21日、加賀藩主前田家墓所など9件を史跡に、不知火及び水島(熊本県谷八代市、宇城市)など2件を名勝に指定し、また「宇治の文化的景観」など6件を重要文化的景観に選定、近江八景・三井晩鐘など3件を登録記念物に登録するよう、塩谷文部科学相に答申した。

- キトラ古墳、全壁画の剥ぎ取り完了 文化庁は27日、キトラ古墳(奈良県明日香村)の石室天井に残っていた天文図の剥ぎ取りを終了したと発表した。これで2004年8月に始まった同古墳の、現在確認されている全ての壁画の剥ぎ取りが完了した。以後、泥に覆われた部分に壁画が隠れていないかの確認、剥ぎ取った壁画の修復、保存に力を入れる方針となった。

- 御廟山古墳の一般公開 宮内庁が陵墓参考地に指定している前方後円墳「御廟山古墳」を同庁と堺市が発掘し、27日に地元住民に、29、30日には一般に公開した。宮内庁と自治体が連携しての発掘および、宮内庁管理の陵墓の一般公開は初めてである。

- 第20回倫雅美術奨励賞受賞者決定 優れた美術評論や美術史の研究に対して贈られる倫雅美術奨励賞(公益信託倫雅美術奨励基金主催)の第20回目の受賞者は、西山純子(千葉市美術館学芸員、「日本の版画1941—1950」展の企画と図録論文に対して)、貝塚健(ブリヂストン美術館主任学芸員、「岡鹿之助展」の企画と図

録論文に対して)に決定した。授賞式は12月11日、都内のグランドプリンスホテル赤坂で行われた。

- 芸術院新会員決定** 日本芸術院(三浦朱門院長)は28日、今年度の新会員として15名が内定したと発表した。美術関係では清水達三(日本画)、藤森兼明(洋画)、市村緑郎(彫塑)、山本眞輔(彫塑)、中井貞次(工芸)、日比野光鳳(書)、谷口吉生(建築)が選ばれた。12月15日付で塩谷文部科学相により発令された。

12 月

- 登録有形文化財の登録答申** 文化審議会(石澤良昭会長)は12日、武庫川女子大学甲子園会館(旧甲子園ホテル、兵庫県西宮市)など158件を有形登録文化財に登録するよう、塩谷文部科学相に答申した。建造物の登録はこれで7408件となった。
- 世界遺産暫定リスト登録** 政府は15日、関係者連絡会議で世界遺産に国内から推薦する候補を記載する「暫定リスト」に「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」「九州・山口の近代化産業遺跡群」「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の3件を追加すると決定した。

美術展覧会

企画展

(ア)

アーキニアリング・デザイン展
2008 テクノロジーと建築デザインの融合進化 10.17—10.28
建築会館
毎日夕刊 10.23 五十嵐太郎
読売 10.23 高野清見

アーツ・アンド・クラフツ(イギリス・アメリカ) 11.8—1.18 パ
ナソニック電工汐留ミュージアム
(北海道立釧路芸術館、埼玉県立
近代美術館)
STUDIO VOICE 398 金剛地武
志/渡部千春
読売 11.5
読売夕刊 12.16 萩原敦子

アーツ&クラフツ展—生活と芸術
ウィリアム・モリスから民芸まで
9.13—11.9 京都国立近代美術館
(東京都美術館、愛知県美術館)

アーティスト・ファイル 2008—現
代の作家たち 3.5—5.6 国立新
美術館
美術手帖 907 鷹見明彦
産経 3.30 黒沢綾子
東京 3.15 藤田一人

アート・アーカイヴ資料展 II 1978
文部科学省オープン・リサーチ・
センター整備事業 1.12—1.25
慶応義塾大学東館展示スペース

ART ADVANCE ADACHI 2008
3.20—3.30 THEATRE1010
読売 3.22

アートイニシアティブ・プロジェク
ト「Exhibition as media 2008
『LOCUS』」 11.1—11.24 神 戸
アートビレッジセンター

art in mino '08 土から生える
9.14—9.28 土岐市・下石陶磁器
工業協同組合旧釉薬工場/土岐市
・小山富士夫邸花の木窯/瑞浪市
・大川採土場/多治見市・市之倉

窯場跡

芸術新潮 707

Art of our time—バルテュスから草
間彌生まで—高松宮殿下記念世界
文化賞二〇周年 9.27—11.9 上
野の森美術館

ART SALAD 4 回 14人展&38人によ
る小さな作品展 9.23—9.28
川口市立アートギャラリー・アト
リア/masui R. D. R>galleria+
shop

アート・スコープ 2007/2008—存
在を見つめて 6.28—8.31 原美
術館
朝日夕刊 8.20 大西若人
毎日夕刊 7.22 三田晴夫

アート竜巻フェスタ 7.19—7.27
北浦和公園/川越市/入間市

アートは心のためにある:UBSア
ートコレクションより 2.2—4.6
森美術館
朝日夕刊 3.12 大西若人
産経 2.24 黒沢綾子
読売夕刊 3.18 片岡真美

アートフェスタいわて2007—岩手
芸術祭推薦作家展 2.23—3.23
岩手県立美術館

アートフェスタ in 大山崎町 2008
7.10—9.7 アサヒビール大山崎
山荘美術館/大山崎集会所/大山
崎区民会館/離宮八幡宮/JR山
崎駅前特設会場
瓜生通信 45 野崎萌里

アートランドコミュニケーション
2008 隅田公園がミズタマにな
る 東京芸術大学染織研究室大学
院生による試み 10.18—11.3
隅田公園

アール・ブリュット/交差する魂
ローザンヌ アール・ブリュット
・コレクションと日本のアウトサ
イダー・アート 5.24—7.20 パ
ナソニック電工汐留ミュージアム
(北海道立旭川美術館、ボーダ
レス・アートミュージアムNO-MA

と旧吉田邸)

美術手帖 911 石井芳征

東京 6.28 内田真由美

日経 6.13 宝玉石彦

毎日夕刊 6.17 岸桂子

読売 6.10

アール・ブリュット—パリ、abcd
コレクションより—^{いのち}生命のアート
だ。 10.25—11.30 滋賀県立近
代美術館

藍 さわやかな和染めの世界 芹沢
銑介の収集品より 6.7—8.31
静岡市立芹沢銑介美術館

会津藩蝦夷地を守る—北方警備二百
年記念展 7.4—8.24 若松城天
守閣郷土博物館

アイヌの工芸—ペンシルバニア大学
考古学人類学博物館ヒラーコレク
ション— 8.10—9.28 新潟県立
歴史博物館(旭川市博物館)

愛の扉をひらく指輪展—リングに込
められた誓い— 4.20—11.3 箱
根ガラスの森美術館
毎日 4.19 川俣享子

「あい、のようなもの?」展 2.16—
2.24 ギャラリーツープラス
東京 2.20 丹治早智子

アヴァンギャルド・チャイナ—(中
国当代美術)二十年— 8.20—
10.20 国立新美術館(国立国際美
術館、愛知県美術館)
芸術新潮 706

美術運動 136 K. K

美術手帖 913 楊逸 談/石田留

美子 インタビュー・文

朝日夕刊 8.27 秋山亮太

東京 8.23 内田真由美

日経 8.27 宝玉石彦

毎日夕刊 9.30 岸桂子

アウトサイダー・アートの作家たち
大地の歌を描く人々—ベルギー・
クレアムの画家たち 第2期收藏
品展 9.19—11.30 世田谷美術
館

あお展31回 東京手描友禅青年部

染色作品展 8.21—9.2 全国伝統的工芸品センター
毎日 8.20 高島博之
葵の会 9.1—9.6 銀座スルガ台画廊
青木繁記念大賞公募展17回 3.7—3.23 石橋美術館(郡山市立美術館)
AOBA + ART 9.21—10.13 神奈川県横浜青葉区美しが丘2・3丁目他
美術手帖 916 兼平彦太郎
赤毛のアン 出版100周年記念 6.10—6.22 三越(日本橋)(三越(名古屋)、三越(広島)、三越(大阪)、三越(福岡)、三越(仙台)、三越(熊本)、黒姫美術館・童話の森ギャラリー)
Akasaka Art Flower 08 9.10—10.13 赤坂サカス/旧赤坂小学校/赤坂五通り商店街/赤坂氷川神社/島崎(元料亭)/旧赤坂図書館/東京ミッドタウン
朝日夕刊 10.1 青山祥子
赤坂檜町の三万年 東京ミッドタウン前史 旧石器〜長州藩下屋敷〜歩兵第一連隊 3.11—4.13 港区立港郷土資料館
晩会3回 6.23—6.28 銀座スルガ台画廊
赤のやきもの—金欄手・万暦赤絵・古赤絵・南京赤絵— 8.9—9.23 畠山記念館
あきた遺産・菅江真澄 9.13—11.3 秋田県立博物館
あきたの街道を歩く 4.26—6.22 秋田県立博物館
秋の美・冬の美 11.22—12.25 大和文華館
新美術新聞 1170 宮崎もも
秋の優品展 館蔵 絵画・墨跡と李朝の陶芸 8.29—10.19 五島美術館
憧れのヨーロッパ陶磁—マイセン・セーヴル・ミントンとの出会い— 1.5—3.9 京都国立博物館(奥田元宋・小由女美術館)
読売 2.7 木村未来
浅草今昔展 9.14—11.16 江戸東

京博物館
朝日陶芸展45回記念 4.10—5.6 そごう美術館
朝日陶芸展46回 9.4—9.9 丸栄スカイル(滋賀県立陶芸の森、高浜市やきものの里かわら美術館) 陶説 667 井上隆生
アジアとヨーロッパの肖像 9.11—11.25 国立民族学博物館/国立国際美術館(福岡アジア美術館、神奈川県立近代美術館(葉山)、神奈川県立歴史博物館)
読売 10.2 木村未来/西田朋子
芦屋釜の名品 筑前 釜の里が生んだ鉄の芸術 1.2—2.11 細見美術館
飛鳥 古寺巡礼 8.1—8.31 奈良文化財研究所飛鳥資料館
飛鳥の考古学2007 1.4—2.3 奈良文化財研究所飛鳥資料館
あそび歳時記 富士・沼津・三島3市博物館共同企画展12回 7.19—9.23 富士市立博物館(沼津市歴史民俗資料館、三島市郷土資料館)
あそびじゅつくる 所蔵作品による美術入門 5.24—7.21 横須賀美術館
遊びながら学ぶ—江戸から明治の教育アイテム— 1.4—2.15 名古屋市蓬左文庫
足立全康の眼 生誕110年・足立美術館をつくった男 12.1—2.28 足立美術館
新しい金工の美—淡水翁賞二十五周年記念— 1.12—4.13 石洞美術館
新しき村90年“人間らしく生きる” 10.25—11.30 調布市武者小路実篤記念館
アトミックサンシャインの中へ「日本国平和憲法第九条下における戦後美術」 8.6—8.24 ヒルサイドフォーラム
LR Returns 16 アライ=ヒロユキ
美術運動史研究会ニュース 96 武居利史
美術手帖 913 片山杜英、暮沢

剛巳 談
日経 8.14
毎日 7.30 明珍美紀
毎日夕刊 8.19 岸桂子
アトリエの末裔あるいは未来展4回 10.17—10.26 旧平櫛田中邸
ANIMAL FANTASY イヌイト・アート&動物たち 12.9—1.25 北海道立近代美術館
あの色/あの音/あの光 夏の美術館 5.31—8.31 神奈川県立近代美術館(鎌倉)
天橋立を望む—丹後府中を掘る 7.19—9.23 京都府立丹後郷土資料館
雨引の里と彫刻2008 9.28—11.30 茨城県桜川市
朝日夕刊 11.5 田中三蔵
産経 11.9 沢沢和彦
毎日夕刊 11.18 佐藤由紀
有明の海と縄文人—東名遺跡が語るもの— 10.9—11.3 佐賀県立美術館
アロハ・デザイン展 海と時代を越えたヴィンテージアロハストーリー— ハワイ日系移民140年 4.18—5.25 シルク博物館
朝日夕刊 4.23 安部美香子
阿波絵図の世界II 11.26—1.25 徳島市立徳島城博物館

(イ)

e-mit 3 岩井尚子・小松ゆか・清水昭史・長谷川大・日比野拓史 8.4—8.9 銀座スルガ台画廊
家康・吉宗・家達〜転換期の徳川家〜 2.5—3.23 江戸東京博物館
いきもの集合!—描かれた動物たち— 8.2—9.7 山種美術館
イギリスゆかりの日本洋画 9.9—10.26 静岡県立美術館
石川県の芸術院会員・人間国宝 11.13—12.24 石川県立美術館
石川県洋画の歩み 9.20—11.10 石川県立美術館
石山寺と湖南の仏像—近江と南都を結ぶ仏の道— 7.13—8.24 大津市歴史博物館
石山寺の美 観音・紫式部・源氏物

語 1.2—1.15 三越(新潟)(明石市立文化博物館、弘前市立博物館、岡崎市美術博物館)

イスラーム陶器展 5.3—12.21 石洞美術館

伊勢の歌舞伎と千束屋—神都に伝わる伊勢人のこゝろ— 12.15—5.30 皇学館大学佐川記念神道博物館

イタリア美術とナポレオン展 日仏交流150周年記念 4.15—5.25 札幌芸術の森美術館(愛媛県美術館、いわき市立美術館、松坂屋美術館、北九州市立美術館、京都府京都文化博物館、鹿児島市立美術館、大丸ミュージアム(東京))

イタリア・ボローニャ国際絵本原画展2008 7.12—8.17 板橋区立美術館(西宮市大谷記念美術館、四日市市立博物館、石川県七尾美術館、長島美術館)朝日夕刊 8.6 秋山亮太

一家族が見た激動の二十世紀写真展 2.19—2.25 堀切地区センター 毎日 2.18 吉永磨美

市河米庵コレクション 特集陳列 7.8—9.7 東京国立博物館 毎日夕刊 7.31 桐山正寿

市島春城印章コレクション—方寸の世界を楽しむ— 5.12—6.7 早稲田大学會津八一記念博物館

一枚マンガの折り返し展 6.28—9.13 日本新聞博物館 東京 6.27 久里洋二 東京 6.28 千葉督太郎 東京 6.29 秋竜山 東京 6.30 ヒサクニヒコ 東京 7.1 西田淑子

飯島神社の刀剣—神に捧げた工芸の美— 8.9—9.21 泉屋博古館

—水会新鋭展5回 明日の水会を担う作家たち 3.3—3.9 東京銀座画廊

出雲国司 忌部子首着任1300年 9.27—11.17 島根県立八雲立つ風土記の丘展示学習館

いとも美しき西洋版画の世界 紙片の小宇宙を彷徨う 4.5—5.18 埼玉県立近代美術館

版画芸術 140 友澤宏子

いとも美しき西洋版画の世界 15世紀のデューラーから20世紀のピカソまで 12.5—1.27 八王子市夢美術館 毎日 11.26 横井信洋

伊那谷の仏教絵画—聖徳太子絵伝と真宗の宝を集めて— 9.6—10.5 飯田市美術館

因幡・伯耆の王者たち 3.14—4.13 鳥取県立博物館

伊能図の評価 評価される忠敬 9.9—11.9 伊能忠敬記念館

祈りの系譜 ドイツ・ボン「醍醐寺展」〜聖なる山の寺宝醍醐寺・日本密教僧院〜帰国展 10.4—12.7 醍醐寺霊宝館

祈りの痕跡。展 地球文字探検家浅葉克己ディレクション 7.19—9.23 21_21DESIGN SIGHT 朝日夕刊 9.10 古賀太 毎日 8.20 明珍美紀 毎日夕刊 9.1 岸桂子

祈りの美・かざりの美—仏教美術と工芸—開館10周年記念 6.6—7.27 細見美術館

茨城県初代知事 山岡鉄舟—全生庵所蔵資料から— 8.30—9.28 茨城県立歴史館

茨城県陶芸美術館コレクション展 新収蔵品展 近現代日本陶芸の巨匠たち—板谷波山／文化勲章受章者と人間国宝たち／松井康成— 6.2—10.4 茨城県陶芸美術館

茨城の考古コレクション 7.15—8.17 茨城県立歴史館

イマジネーション 視覚と知覚を超える旅 映像をめぐる冒険 vol.1 12.20—2.15 東京都写真美術館

今、蘇るローマ開催・日本美術展 5.13—5.25 三越(日本橋) 朝日夕刊 5.12 草薙奈津子 朝日夕刊 5.21 古賀太

人間のものづくり アリットフェスタ2008 10.25—11.30 人間市博物館

色・イロ・いろ〜赤と黒〜 4.4—6.8 富山県立近代美術館

色と音の考古学 7.4—9.7 宮崎県

立西都原考古博物館

岩崎家の古伊万里—華麗なる色絵磁器の世界 10.4—12.7 静嘉堂文庫美術館 毎日夕刊 11.27 読売夕刊 11.25 山田正樹

岩橋千塚 12.2—2.22 和歌山県立紀伊風土記の丘

岩手・斯波の平泉文化 11.11—2.1 盛岡市遺跡の学び館

いわての現代美術と出会う、夏 板垣崇志・宇田義久・小畑裕子・佐藤一枝・濱千尋・広野じん 8.2—9.23 岩手町立石神の丘美術館

イン★アメリカ 高崎市美術館コレクションより 10.28—12.10 高崎市美術館

印象派の光、エコール・ド・パリの夢 AIG コレクション 7.26—10.13 富山県立近代美術館

(ウ)

ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密 7.2—9.15 国立新美術館(宮城県美術館、兵庫県立美術館、青森県立美術館)

産経 8.10 黒澤綾子 東京 4.7 宮下規久朗 東京 7.2 木島俊介 東京 8.2 稲葉千寿 東京 9.4 八重樫春樹 東京夕刊 7.10 木村泰司 東京夕刊 7.11 小池寿子 東京夕刊 7.12 福田繁雄 東京夕刊 7.15 木村三郎 東京夕刊 7.16 森村泰昌

ヴィヴィッド・マテリアル展 3.28—4.9 東京芸術大学美術学部中央棟2Fアトリエ 美術手帖 908 奥村雄樹

ヴィジョンズオブアメリカ 第1部 星条旗 1839—1917 7.5—8.24 東京都写真美術館 読売夕刊 7.29 三井圭司

ヴィジョンズオブアメリカ 第2部 わが祖国 1918—1961 8.30—10.19 東京都写真美術館

ヴィジョンズオブアメリカ 第3部 アメリカン・メガミックス

1957—1987 10.25—12.7 東京都写真美術館
朝日夕刊 11.19 大西若人
Where are you from? ～遺物の産地を探る～ 11.26—2.1 鹿児島県歴史資料センター黎明館
上杉伯爵家の明治 4.19—6.1 米沢市上杉博物館
ウェッジウッド—ヨーロッパ陶磁器デザインの歴史 創立250周年 7.19—9.30 岐阜県現代陶芸美術館(兵庫陶芸美術館、そごう美術館、静岡アートギャラリー、山口県立萩美術館・浦上記念館)
朝日夕刊 9.17 秋山亮太
上野の森美術館大賞展 25回 入賞者展 4.17—4.28 上野の森美術館
上野の森美術館大賞展 26回 明日をひらく絵画 4.17—4.28 上野の森美術館(福岡市美術館、彫刻の森美術館、京都府京都文化博物館)
作家の視展 2008 上野の森美術館大賞展受賞者展 9.14—9.21 上野の森美術館
上野彦馬賞 九州産業大学フォトコンテスト9回 12.6—12.14 東京都写真美術館
毎日 12.7 真野森作
Void ヴォイド アーティスト・イン・レジデンス尾道2007—2008 報告展 12.13—1.12 尾道白樺美術館
VOCA展2008 現代美術の展望—新しい平面の作家たち 3.14—3.30 上野の森美術館
芸術新潮 701
読売 3.27 前田恭二
浮世絵—ベルギーロイヤルコレクション展 ベルギー王立美術歴史博物館・ベルギー王立図書館所蔵 9.2—9.28 太田記念美術館(高島屋(京都)、高島屋(日本橋))
浮世絵の美 千葉市美術館所蔵 7.18—8.24 岡山県立美術館
浮世絵版画—役者と風景— 2.24—3.30 和泉市久保惣記念美術館
浮世絵版画 江戸の笑い 8.9—

9.23 和泉市久保惣記念美術館
浮世絵名品展 初公開 ヴィクトリア アンド アルバート美術館所蔵 6.1—7.13 長崎県美術館
新美術新聞 1153 森園敦
浮世絵名品選～美人画・役者絵を中心に～ 7.11—8.24 田原市博物館
浮世絵名品展—特集 役者絵—水田コレクション 9.30—10.18 城西国際大学水田美術館
浮世絵木版画作品展3回 伝統の技を受け継ぐ人達 8.5—8.31 平木浮世絵美術館
失われた国宝 名古屋城本丸御殿—創建・戦火・そして復元 9.20—11.9 名古屋城天守閣
牛にひかれて博物館—十二支の考古学 丑— 12.13—1.18 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
ウシの歩み—のんびり眺める歴史— 12.20—1.12 和歌山県立紀伊風土記の丘
うたってあそぼう! 12か月—SONGS FOR CHILDREN— 9.25—10.7 アーティストガーデン
産経 10.4
美しい木の椅子 9.20—11.16 長野県信濃美術館
馬の絵作品展14回 10.7—10.14 鹿追町民ホール
馬の神様仏様—彫像・肖像・聖教— 10.11—11.24 馬の博物館
海のシルクロードの出発点“福建”—沈没船、貿易都市、陶磁器、茶文化— 10.25—1.12 愛知県陶磁資料館(学習院大学史料館/明治大学博物館、佛教大学宗教文化ミュージアム、山口県立萩美術館・浦上記念館)
海を越えてきた植物たち アートでみる帰化植物 2.2—2.24 ミュージアムパーク茨城県自然博物館
海を越えてきたみほとけたち—大陸渡来の仏教美術 2.29—3.23 福井県立美術館
「埋もれていたもの」～収蔵庫の中の珍品～ 1.26—3.2 調布市武者小路実篤記念館

毎日 2.11 金田健
裏千家所蔵 絵画展—屏風を中心に— 3.20—6.8 茶道資料館
瓜生山 春の顔見世 デザイン系学科教員作品展 3.25—4.19 ギャラリー・オーブ
瓜生通信 44 前地志保
ウルビーノのヴィーナス 古代からルネサンス、美の女神の系譜 ウフィツィ美術館の至宝 3.4—5.18 国立西洋美術館
朝日 4.9 高階秀爾
読売夕刊 3.6 高野清見
読売夕刊 3.19 青柳正規/知花くらら
読売夕刊 4.22 渡辺晋輔
運慶流 11.11—12.21 山口県立美術館(佐賀県立美術館)

(エ)

英国ドールハウスの世界展 1/12のファンタジー・ワールド 11.5—11.9 三越(日本橋)
英国美術の現在史:ターナー賞の歩み展 4.25—7.13 森美術館
アート・トップ 222 (根)
STUDIO VOICE 389 嘉藤笑子
朝日夕刊 4.21 帯金章郎
朝日夕刊 5.14 大西若人
産経 5.22 黒沢綾子
日経 5.8 宝玉正彦
毎日夕刊 6.10 岸桂子
映像をめぐる7夜 2.21—3.1 東京都写真美術館
描かれた大坂城・写された大阪城 3.15—5.6 大阪城天守閣
描かれた寺社～中世の指図と明治の寺社明細帳図～ 12.11—2.15 神奈川県立金沢文庫
描かれた船—室乃津 賀茂神社の文化財— 2.8—3.23 たつの市立龍野歴史文化資料館
駅 2008—鶴見線に降りたアーティストたち 10.25—12.7 JR東日本鶴見線の5駅
液晶絵画 Still/Motion 2.14—4.13 三重県立美術館
朝日夕刊 3.12 西田健作
液晶絵画 Still/Motion 4.29—6.15

国立国際美術館
 アート・トップ 222 (玉)
 美術手帖 909 植松由佳
 毎日夕刊 5.22 三田晴夫
液晶絵画 Still/Motion 8.23—10.13
 東京都写真美術館
 芸術新潮 706
 新美術新聞 1161 藤村里美
 朝日夕刊 8.20 森本俊司
 朝日夕刊 9.24 古賀太
 産経 10.1 黒沢綾子
エクスリプリスの世界展 書物を巡る密かなよろこび 9.16—10.26
 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
『エコール・ド・エヌ』草創期展 岩手町からはじまった美術団体 4.26—6.15 岩手町立石神の丘美術館
絵師がいっぱい お江戸の御用絵師と民間画工 館蔵品展 4.5—5.18 板橋区立美術館
 東京 4.17 中沢誠
 読売 4.9
エジプトの小さなガラスの円盤—中世イスラーム都市のくらし— 1.26—5.18 横浜ユーラシア文化館
絵図が語る みなと新潟 開館5周年 新潟開港140周年記念 9.20—11.3 新潟市歴史博物館
S氏のコレクション—日本画の名品を中心に— 9.14—11.9 茅ヶ崎市美術館
絵地図に刻まれた鹿児島県の歴史 2.13—5.6 鹿児島県歴史資料センター黎明館
江戸絵画の夢と光—若冲、北斎とともに—開館10周年記念特別展 I 4.18—6.1 細見美術館
江戸時代の遠近法 12.20—2.22 海見える杜美術館
江戸時代の書 禅林墨跡を中心に 菅間コレクション 9.13—10.26 成田山書道美術館
江戸時代のよこはま—青葉の村々と矢倉沢往還— 1.26—3.16 横浜市歴史博物館
江戸・東京の茶の湯展—近代茶の湯の黎明— 東京茶道会創立100周

年記念 10.22—11.4 高島屋(日本橋)
江戸と明治の華—皇室侍医ベルツ博士の眼— 4.25—5.25 岐阜市歴史博物館(島根県立美術館、仙台市博物館、大阪歴史博物館、高岡市美術館、MOA美術館)
江戸のタイムカプセル—日蘭のコレクションに見る近世長崎— 6.14—8.31 長崎歴史文化博物館
江戸の道具立て 7.14—7.31 羽黒洞
江戸名所図会の世界展 名所を愉しむための7つのレッスン 10.25—12.7 北区飛鳥山博物館
F1 疾走するデザイン 4.12—6.29 東京オペラシティアートギャラリー
 読売夕刊 6.10 小倉茂徳
新春 絵馬展 1.4—2.14 高槻市立しろあ歴史館
現代美術への視点6 エモーション・ドローイング 8.26—10.13 東京国立近代美術館
 ART IT 21 白坂ゆり
 新美術新聞 1162 保坂健二郎
 STUDIO VOICE 394 大森俊克
 美術手帖 915 金井直
 朝日夕刊 9.24 古賀太
 東京 9.20 内田真由美
 日経 8.30
 毎日夕刊 9.16 岸桂子
LVRFI 2 10.4—11.3 T&S GALLERY
 美術手帖 918 中井康之
円福寺—歴史と文化財— 7.19—9.15 板橋区立郷土資料館

(オ)

お祝い物のちりめん細工 12.23—1.25 たばこと塩の博物館
鷗外・漱石と肥後熊本の先哲たち 1.5—3.16 永青文庫
 産経 1.18 堀晃和
扇物語—西洋の扇と女性のよそおい— 9.10—3.8 ボーラ化粧文化情報センター
皇子塚古墳と平井地区1号古墳 4.25—6.1 藤岡歴史館

王朝の恋—描かれた伊勢物語 1.9—2.17 出光美術館
 日経 2.6 宝玉正彦
 読売 1.17 前田恭二
 読売夕刊 1.15 笠嶋忠幸
 読売夕刊 1.22 水原紫苑/小澤實
青梅アート・ジャム 2008 4.1—4.13 青梅・御岳エリア
 毎日 3.27 大坪信剛
おおいたの博物館 12.6—2.1 大分県先哲史料館
大型銭 9.12—9.28 宮崎県立西都原考古博物館
大阪・アート・カレイドスコープ 2008—大阪時間— 3.1—3.20 大阪府立現代美術センター/大阪市内各所
 毎日夕刊 3.12 北川フラム
シリーズここまでわかった考古学 大阪の古墳時代を考える—(財)大阪府文化財センター 35年の発掘調査精華— 3.4—4.13 大阪府立近つ飛鳥博物館
大庄屋って何?—安曇郡・清水家文書の三五〇年— 7.19—8.24 長野県立歴史館
大相撲展—相撲の歴史と名横綱双葉山伝説— 9.19—11.3 大分県立歴史博物館
大友宗麟とその時代 7.18—10.13 大分県先哲史料館
大浜陣屋の世界—今に生きる碧南の歴史— 7.19—8.31 碧南市藤井達吉現代美術館
オープン・スペース2008 4.19—2.28 NTTインターコミュニケーションセンター[ICC]
 朝日夕刊 4.30 青山祥子
 毎日夕刊 5.27 内藤麻里子
オールドノリタケと懐かしの洋食器 世界に誇る和製テーブルウェア 4.17—6.15 東京都庭園美術館(滋賀県立陶芸の森、茨城県陶芸美術館、ひろしま美術館、高松市美術館)
 アート・トップ 222 (玉)
 日経 5.3
 毎日 4.16 澤圭一郎

“おかえり”故郷へ 発掘された兵庫の遺宝 兵庫県立考古博物館開館記念展Ⅱ 1.26—3.9 兵庫県立考古博物館

MOA 岡田茂吉賞展 16回 6.10—7.21 MOA美術館

岡本太郎現代芸術賞展11回 2.9—4.6 川崎市岡本太郎美術館
読売夕刊 3.8 (清)

岡山県立美術館所蔵 雪舟と水墨画 12.20—1.25 千葉市美術館

オキナワ／カワサキ二つの地をつなぐ人と文化— 4.26—6.8 川崎市市民ミュージアム

沖縄・プリズム 1872—2008 10.31—12.21 東京国立近代美術館
美術手帖 917 小原真史
朝日夕刊 12.3 古賀太
東京夕刊 12.5 南嶋宏
毎日夕刊 12.15 鈴木英生
読売 12.4 前田恭二

大給府内藩—史料にみる二百年の歩み— 10.21—11.24 大分県先哲史料館

屋上庭園 4.29—7.6 東京都現代美術館
朝日夕刊 6.18 大西若人

大人の夏休み～千代田区ミュージアム連絡会～ 6.16—9.27 千代田区立千代田図書館
毎日 6.30 真野森作

音に恋した美術展 4.19—6.1 安曇野市豊科近代美術館(唐津市近代図書館、鉦路市立美術館)

乙女のアイコン～大正・昭和の雑誌に見る少女画のイコノグラフィー～ 7.4—9.28 弥生美術館

尾道大学美術学科卒業・終了制作 買上作品展 2005—2008 4.26—6.1 尾道白樺美術館

尾道デザイン作品展～デザインコース「尾道」をテーマとした取り組み～尾道大学美術学科教育・研究プロジェクト 10.25—11.24 尾道白樺美術館

おひなさま 2.9—3.9 中野区立歴史民俗資料館

おひなさま 2.19—4.6 愛媛県歴

史文化博物館

お水取り 2.2—3.16 奈良国立博物館

親子のアトリエ～遊んで学ぼう伝統のわざと知恵 夏休み子どもミュージアム 7.26—8.31 香川県立ミュージアム

オランダ絵本作家展 4.4—4.16 京阪百貨店(守口)(八戸市美術館、郡山市立美術館)

オランダ人の見た幕末の長崎 長崎大学所蔵ボードインコレクション展 10.3—10.20 長崎歴史文化博物館

おらんだの楽しみ方 江戸の舶来文物と『蕪録』 たばこと塩の博物館開館30周年記念 12.13—1.25 たばこと塩の博物館

尾張徳川家の雛まつり 2.1—4.6 徳川美術館

尾張の武道 5.21—7.21 名古屋市蓬左文庫

音楽家たちのおれと切手 1.4—3.2 おれと切手の博物館

おん祭と春日信仰の美術 12.6—1.18 奈良国立博物館

日本の新進作家展 vol.7 オン・ユア・ボディ 10.18—12.7 東京都写真美術館
朝日夕刊 11.19 大西若人
毎日夕刊 11.19 三田晴夫
読売 11.6

(カ)

Kaikai Kiki Artists 3.6—3.9
Kaikai Kiki gallery

絵画でめぐる 京都・美の探訪～名作の四季、自然と風物～ 6.19—7.21 京都府京都文化博物館

絵画のコスモロジー 6.22—7.20 多摩美術大学美術館

絵画の春 3.29—5.10 鎌倉画廊
毎日夕刊 4.8 三田晴夫

絵画を謳う・工芸に憩う 収蔵品展 12.16—2.28 とちぎ蔵の街美術館

かいじあむ とっておきの収蔵品 1.2—2.11 山梨県立博物館

画家たちが見た風景—神戸を中心に

— 1.12—3.30 神戸ゆかりの美術館

画家たちの青春 2.15—4.8 新潟県立近代美術館

画家の絵手紙 国画創作協会の画家たちを中心として 2.9—3.16 笠岡市立竹森美術館

画家の書棚にみる 昭和アート・ブック史 宮本三郎文庫より 12.6—3.22 宮本三郎記念美術館(世田谷美術館奥沢分館)

加賀の名宝・石川の工芸の粋を集めて—石川県立美術館名品展 2.8—3.16 高岡市美術館

輝く書物—中世写本ファクシミリ選— 10.27—12.20 東京芸術大学付属図書館

香川県美術展覧会 73回 6.11—7.27 香川県立ミュージアム

柿右衛門と鍋島—肥前磁器の精華— 4.5—6.1 出光美術館
朝日夕刊 4.9 秋山亮太

学芸員おすすめの逸品 11.15—12.7 斎宮歴史博物館

画材と素材の引き出し博物館+ワークショップ20年のドキュメント展 7.1—8.31 目黒区美術館
新美術新聞 1156 降旗千賀子
美術手帖 912 端山聡子
朝日夕刊 8.20 古賀太

KAZARI 日本美の情熱 5.24—7.13 サントリー美術館(京都府京都文化博物館、広島県立美術館)

芸術新潮 703
朝日夕刊 7.2 大西若人
日経 7.2 宝玉正彦
毎日夕刊 6.30 岸桂子
読売 6.19 前田恭二

橿原考古学研究所発足の頃 創立70周年記念特別陳列 8.9—9.21 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

風と土の芸術祭 8.23—8.31 会津美里町本郷地域
陶説 669 外館和子

花鳥風月 豊橋市美術博物館所蔵品展 2.5—3.23 豊橋市美術博物館

金沢アートプラットホーム2008—
自分たちの生きる場所を自分たち
でつくるために— 10.4—12.7
金沢市内19カ所
ART iT 22 松浦直美
STUDIO VOICE 395 坂口千秋
美術手帖 916 白坂ゆり
産経 10.26 渋谷和彦
日経 11.1
毎日夕刊 11.13 手塚さや香
金沢文庫の浮世絵 2.15—4.13 神
奈川県立金沢文庫
狩野派と近世絵画 【前期】—壮麗と
瀟灑と— 7.27—11.30 承天閣
美術館
狩野派と近世絵画 【後期】—爛漫と
枯淡と— 12.6—3.29 承天閣美
術館
カブールの幽霊 in 下町リレー展
1.9—1.20 谷根千(谷中・根津・
千駄木)地区
読売 1.11 竹井陽平
CAF. ネビュラ展 2008 11.13—
11.23 埼玉県立近代美術館
壁と大地の際で 8.9—10.13 東京
国立近代美術館
鎌倉時代の喫茶文化 10.7—12.7
茶道資料館
鎌倉の至宝—国宝・重要文化財—
4.19—5.25 鎌倉国宝館
鎌倉の精華—鎌倉国宝館開館八十周
年記念— 10.10—11.24 鎌倉国
宝館
鎌倉の羅漢図 5.29—7.6 鎌倉国
宝館
釜師 大西家歴展 開館十周年記
念 9.2—12.23 大西清右衛門美
術館
神々の群像—千年の時をこえて—
7.19—8.3 北野天満宮宝物殿
紙芝居百年展 1.26—4.1 京都国
際マンガミュージアム
朝日 3.5 大室一也
紙で語る 8.1—10.12 大倉集古館
上砥山の歴史と文化 2.9—3.23
栗東歴史民俗博物館
神につかえ 仏にいのる 10.4—
11.9 斎宮歴史博物館
カメオ展 宝石彫刻の2000年 ア

レキサンダー大王からナポレオン
3世まで 9.6—10.26 彫刻の森
美術館
産経 9.7
亀山のたばこ会社～伊勢煙草株式会
社をさぐる～ 市史編さん中間報
告展示 12.15—4.20 亀山市歴
史博物館
加茂岩倉銅鐸の世界 国宝指定記念
特別陳列 5.31—7.6 島根県立
古代出雲歴史博物館
ガラス—光と彫刻の芸術—町田市立
博物館所蔵 1.2—3.16 大倉集
古館
ガラス教育機関合同作品展 1回
3.15—3.23 東京都美術館
日経 4.4
毎日夕刊 3.17 石川健次
ガラス名品展 館蔵 5.24—7.13
町田市立博物館
毎日 6.4 堀智行
かわら—瓦からみた大津史—
10.11—11.24 大津市歴史博物館
瓦が語る—かながわの古代寺院
2.2—3.16 神奈川県立歴史博物
館
「観海庵」落成記念コレクション展—
まなざしはときをこえて 7.27—
9.23 ハラミュージアムアーク
産経 8.21 黒澤綾子
韓国の鍵と錠 9.9—11.20 日本民
芸館
芸術新潮 707
韓国の伝統工芸V—文様に秘められ
た美と心— 12.5—1.25 佐賀県
立名護屋城博物館
関西のグラフィックデザイン展
1920—1940年代 10.11—11.24
西宮市大谷記念美術館
芸術新潮 709
漢詩人岡本黄石の生涯—第三章 三
百篇の遺意を得る者— 11.1—
11.30 世田谷区立郷土資料館
国宝 鑑真和上展 唐招提寺金堂平
成大修理記念 7.12—8.31 静岡
県立美術館
館蔵品展 3.1—3.30 世田谷区立
郷土資料館
館蔵品による板橋美術百貨展 5.24

平成20年美術展覧会(金力、キ)

—7.6 板橋区立美術館
館蔵名品展 II 6.13—7.13 佐賀県
立名護屋城博物館
漢・北朝の俑 特集陳列 9.2—
11.30 東京国立博物館
朝日夕刊 11.8 小川雪

(キ)

紀州徳川家伝来の楽器—笙— 10.7
—12.7 国立歴史民俗博物館
読売 11.7
奇跡の仮面、大集合!!—紀州東照宮
・和歌祭の面掛行列— 7.19—
8.31 和歌山県立博物館
北の彫刻展 2008—一心の中の自由な
世界— 8.13—10.30 本郷新記
念札幌彫刻美術館
貴重書展 学ぶ・集う・楽しむ 国
立国会図書館開館60周年記念
10.16—10.29 国立国会図書館
(国立国会図書館(関西館))
吉祥のかたち 1.5—2.17 泉屋博
古館分館
吉祥の美 1.7—2.1 徴古館
KITTY EX ハローキティとアート
ファッションの幸福なコラボレ
ーション 7.18—9.23 島根県立石
見美術館(高知県立美術館)
木と共に生きた人びと 4.18—6.22
宮崎県立西都原考古博物館
キトラ古墳壁画十二支〜子・丑・寅
〜 4.18—6.22 奈良文化財研究
所飛鳥資料館
紀ノ川の考古学・民俗学 1.24—
3.15 和歌山県立紀伊風土記の丘
きのくにの未盗掘古墳—古代からの
タイムカプセル— 7.12—9.7
和歌山県立紀伊風土記の丘
木の生命—彫刻家がとらえた形—
4.1—5.6 岐阜県博物館
木のぬくもりとあそびの中から生ま
れた形たち展 I 春日明夫トイ・
コレクション・II 現代作家の作品
による つくり手たちと子どもの
時間—記録— 8.2—8.31 練馬
区立美術館
ぎふの旅いまむかし—街道・交通・
観光名所— 4.26—6.22 岐阜県
博物館

君の身体を変換してみよ展 7.12—
8.31 NTTインターコミュニケー
ションセンター[ICC]
朝日 8.17 大西若人
木村定三コレクション名作展 1.25
—3.23 愛知県美術館
新美術新聞 1141 牧野研一郎
きものの輝き 所蔵作品展 12.20
—2.22 東京国立近代美術館工芸
館
ギャラリー21+葉の9350日 4.7—
4.19 ギャラリー21+葉
九州古陶磁の精華 田中丸コレク
ションのすべて 唐津・鍋島・柿右
衛門 9.13—10.26 福岡市美術
館(茨城県陶芸美術館、兵庫県陶
芸美術館、サンリツ服部美術館、
富山市佐藤記念美術館)
宮廷のみやび 近衛家1000年の名
宝 陽明文庫創立70周年記念
1.2—2.24 東京国立博物館
芸術新潮 699
文化財* 533 高橋裕次
宮都 飛鳥 奈良県立橿原考古学研
究所創立70周年記念 10.4—
11.30 奈良県立橿原考古学研究
所付属博物館
京都造形芸術大学 卒業制作展
2.27—3.2 京都市美術館
瓜生通信 43 秋元雄史/建畠哲
/本江邦夫/津村耕佑/勝尾岳彦
/遠藤秀平
京都造形芸術大学大学院修了制作展
2.24—3.9 ギャラリー・オーブ
京都美術文化賞受賞記念展20回—
オープニング展 1.25—2.3 中
信御池ギャラリー
巨匠展 今そして未来2008 5.6—
5.12 三越(日本橋)
新美術新聞 1151 高岡忠雄
巨匠にみる「絵とは何か」展 No.11
6.26—7.2 名古屋画廊(名古屋)
煌めきのペルシア陶器—11~14世
紀の技術革新と復興— 3.8—7.6
中近東文化センター
裂地を辿る 京都工芸繊維大学美術
工芸資料館館蔵染織資料の初公開
3.24—5.31 京都工芸繊維大学美
術工芸資料館

金GOLD 黄金の国ジパングとエル
・ドラード展 日本・コロンビア
外交関係樹立100周年記念 7.12
—9.21 国立科学博物館(MOA美
術館、新潟県立万代島美術館、山
梨県立博物館)
毎日 6.18、7.11、8.27、9.30
川俣享子
毎日 7.15、24、29~31、8.12~
14、17 横山一己
近世・近代の郷土画人たち 1.12—
3.23 田辺市立美術館
近世書画の美 4.26—5.25 和歌山
市立博物館
近世初期風俗画 躍動と快楽
10.25—11.30 たばこと塩の博物
館
近代工芸の華 明治の七宝 世界を
魅了した技と美 5.17—7.9 佐
野美術館
近代工芸の華 明治の七宝 清水三
年坂美術館コレクションを中心に
7.19—9.15 泉屋博古館分館
読売夕刊 9.2 両角かほる
近代日本画 美の系譜—横山大観か
ら高山辰雄まで~水野美術館コレ
クションの名品より 1.10—1.28
大丸ミュージアム(東京)
毎日 1.10
近代日本画と洋画にみる対照の美
3.15—6.8 泉屋博古館分館
読売夕刊 5.20 川口直宜
近代日本画にみる麗しき女性たち—
松園と美人画の世界— 4.2—
4.15 大丸(神戸)(茨城県天心記
念五浦美術館)
近代日本の巨匠たち 出光コレク
ションによる 9.6—10.26 出光美
術館
近代日本を彩る画家たち コレク
ションでたどる姫路市立美術館の
25年 11.11—12.14 姫路市立美
術館
近代の南画—日本のこころと美 南
画って何だ?! 村上華岳・水越松
南生誕120年記念 4.22—6.8
兵庫県立美術館
読売 5.29 木村未来
近代の日本画展 館蔵 5.10—6.15

五島美術館
近代洋画の軌跡 宮城県美術館所蔵
名作選 6.21—8.24 秋田県立近
代美術館
金の卵 学校選抜 オールスターデ
ザインショーケース3回 8.28—
9.7 AXISギャラリー
AXIS 136 横山美和

(ク)

ゲギング展“Pure Art—True Art—
Real Art” 9.6—9.27 小山登美
夫ギャラリー
区民映画コレクション展 アニメ・
特撮特集 8.8—8.31 古石場文
化センター
毎日 8.24 澤圭一郎
くらしと着物—普段着の粋・晴れ着
の華— 7.19—8.28 川崎市市民
ミュージアム
くらしのうつりかわり—蚕を育むく
らし—収蔵品展 2.9—3.16 富
岡市立美術博物館・福沢一郎記念
美術館
くらしを彩る工芸—飲食器・装身具
・文房具— 7.4—8.17 大和文
華館
グラフィックデザインの時代を築い
た20人の証言 interviews by 柏
木博 2.6—6.29 ギンザ・グラ
フィック・ギャラリー
芸術新潮 700
グループ展2008 5.27—6.1 京都
府立文化芸術会館
新美術新聞 1157 太田垣實
黒川古文化研究所名品展 4.19—
5.18 黒川古文化研究所
黒田長政と二十四騎—黒田武士の世
界— 黒田長政生誕440年記念展
9.12—11.3 福岡市博物館
桑沢デザインフェスタ O(わ)に関
する研究発表会 10.21—11.16
NHKふれあいホールギャラリー
軍記物—歴史とものがたり— 7.24
—9.28 名古屋市蓬左文庫
くんち 三七四年 9.17—10.20
長崎歴史文化博物館
群馬青年ビエンナーレ2008 9.13
—11.3 群馬県立近代美術館

(ケ)

GEISAI #11 9.14 東京ビッグサイト
美術手帖 915 編集部
型而工房展 モダンデザインの先駆
11.4—11.23 松戸市文化ホール
芸術都市パリの100年展 ルノワール・セザンヌ・ユトリロの生きた街 1830—1930年 日仏交流 150周年記念 4.25—7.6 東京都美術館(ひろしま美術館、京都市美術館)
芸術新潮 703
新美術新聞 1151 中原淳行
毎日 4.24 岸桂子
芸術は寿し 画家に長寿が多いわけ 2.23—3.30 練馬区立美術館 東京 3.8 児島やよい
「芸大ビュッフェ」東京芸術大学学生作品展 エコール・ド・渋谷NHKアートギャラリー2008 4.29—6.8 NHKふれあいホールギャラリー
Cape Farewell アートを通して気候変動を知る 7.6—8.17 日本科学未来館
アート・トップ 223 (玉)
東京 7.26 (寿)
毎日夕刊 8.5 岸桂子
源氏絵と雅の系譜—王朝の恋— 2.16—4.13 細見美術館
源氏物語千年紀展～恋、千年の時空をこえて～ 4.26—6.8 京都府京都文化博物館
新美術新聞 1150 野口剛
日経 4.26 関優子/佐野みどり
源氏物語～千年のかがやき～ 10.4—10.31 国文学研究資料館 東京 10.16 末松茂永
源氏物語 千年の時をかさねて— 4.12—4.30 天理図書館本館
ビブリア 105 大西光幸
源氏物語—土佐光吉と浮世絵による源氏絵— 12.14—2.1 和泉市久保惣記念美術館
源氏物語と三重 源氏物語千年紀協賛 5.10—6.8 斎宮歴史博物館
源氏物語の世界 9.14—10.19 林

原美術館
源氏物語の世界 源氏物語—〇〇〇年紀 5.23—7.7 土佐山内家宝物資料館
源氏物語の世界 読む、見る、遊ぶ—浮世絵から源氏意匠まで— 10.2—11.16 京都府京都文化博物館
源氏物語の—〇〇〇年—あこがれの王朝ロマン— 8.30—11.3 横浜美術館
東京夕刊 9.5 (石)
現代茨城の陶芸 Change Color—炎がつむぐ変奏曲 1.30—5.18 茨城県陶芸美術館
現代郷土作家8人展 姫路市立美術館開館25周年記念 8.15—9.15 姫路市立美術館
現代国際巨匠絵画展 チャリティー企画 6.14—6.16 荻窪タウンセブン
毎日 6.14 吉永磨美
現代水滴の世界 掌中の陶芸 6.3—7.21 とちぎ蔵の街美術館
現代日本洋画展 1.5—4.20 松岡美術館
現代の絵馬展(百鬼騒鳴) 2008新春 日本大学芸術学部美術学科彫刻コース・大学院有志 36名 1.15—1.31 東邦画廊
現代の茶陶 造形の自由・見立ての美 智美術館大賞2回 4.5—6.22 菊池寛実記念智美術館
朝日夕刊 5.14 秋山亮太
日経 5.12 竹田博志
現代フランス・ナイヴ派絵画 心ときめく色と形のハーモニー 9.13—9.28 そごう美術館
建築の記憶—写真と建築の近現代— 1.26—3.31 東京都庭園美術館
芸術新潮 700
朝日夕刊 3.5 大西若人
東京 2.9 児島やよい
毎日夕刊 2.5 手塚さや香
毎日夕刊 3.18 飯沢耕太郎
読売 3.7 前田恭二
建築模型の博物都市 UMUTオープンラボ 7.26—12.19 東京大学総合研究博物館

平成20年美術展覧会(企ケ、コ)

日経 8.2
読売 10.23 高野清見
建築を表現する—弥生時代から平安時代まで— 6.14—7.13 奈良国立博物館
県美30年の歴史 わたしが選ぶこの一点 9.13—12.21 山梨県立美術館
新美術新聞 1162 賀川恭子

(コ)

古伊万里展 いろいろはし 6.29—9.28 戸栗美術館
読売夕刊 9.9 関戸史子
古伊万里 世界を魅了した和様のうつわ 9.30—12.23 松岡美術館
洪浩然 忍ぶ・忘れず 寄贈記念 10.3—11.16 佐賀県立名護屋城博物館
考古学からみた古代の女性 10.11—12.7 大阪府立近つ飛鳥博物館
広告と写真にみる昔の富岡 収蔵品展くらしのうつりかわり 7.26—8.31 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
工作の時代—『子供の科学』で大人になった— 3.5—5.24 INAXギャラリー1
交差する視点とかたちVol.2 艾沢詳子 阿部典英 下沢敏也 鯉江良二 7.19—7.27 コンチネンタルギャラリー
荒神谷の銅矛—祭器から神話へ— 7.12—8.31 荒神谷博物館
高僧と美術—聖をめぐる人々—大和文華館所蔵 5.23—6.29 大和文華館
講談社の出版文化資料展 時代を歩む・時代を彩る 11.1—12.21 講談社野間記念館
神戸・北野 White Houseコレクション展—金山平三から西村功まで— 12.6—2.8 神戸ゆかりの美術館
神戸ゆかりの芸術家たち 神戸市所蔵 1.12—3.30 神戸ゆかりの美術館
神戸ゆかりの美術館 コレクション展 8.2—11.30 神戸ゆかりの美

術館

弘法大師空海と善通寺 4.29—6.15
善通寺宝物館
公募展「横須賀」 市制施行100周年
記念 1.6—1.28 横須賀美術館
高野山大宝蔵展29 高野山の名宝
7.19—9.15 高野山霊宝館
香炉—東アジアの香りの文化をたど
る— 10.11—11.30 和泉市久保
惣記念美術館
—小絵馬に見るひとびとの願い—お
願い!かみさま、ほとけさま
7.26—9.15 横浜市歴史博物館
黄金町バザール 9.11—11.30 京
浜急行「日ノ出町駅」と「黄金町駅」
の間の高架下新設スタジオ／大岡
川／駅／周辺店舗他
ART iT 22 内田伸一
産経 11.15 黒沢綾子
国際アンデルセン賞 2006年度
IBBYオナーリスト受賞図書展
8.21—9.21 国立国会図書館国際
子ども図書館
国際陶磁器フェスティバル美濃 '08
8.1—9.30 セラミックパーク
MINO
陶説 667 井上隆生
国際美術大賞展34回 11.1—11.12
東京都美術館
新美術新聞 1171 (智)
国際野外の表現展2008比企6回
9.13—10.12 東京電機大学鳩山
キャンパス／東松山市千年谷公園
産経 9.25 渋谷和彦
告白の作法—ひとから、ひとへ
11.25—11.29 多摩美術大学八王
子キャンパス
国宝 11.1—11.30 毛利博物館
新美術新聞 1168 柴原直樹
国宝との出会い 京都国立博物館収
蔵品による 9.13—10.19 新潟
県立近代美術館
国立能楽堂コレクション展～能の
雅 狂言の妙 ～開場25周年記念
4.19—5.26 島根県立石見美術館
(MOA美術館、奈良県立美術館、
新潟県立近代美術館、松坂屋美術
館、米沢市上杉博物館、サントリ
ー美術館)

コケーシカ・マトコケシ展覧会 日
露友好文化交流 8.8—9.7 エキ
ジビション・スペース
芸術新潮 706
湖国の「塩」—その歴史と民俗— 発
掘調査成果展 12.20—2.15 栗
東歴史民俗博物館
心の杖として鏡として —「病む」と
は何か、「表現」とは何か、「生き
る」とは何か— 3.17—3.23 大
田文化の森
読売 3.20 稲葉洋文
試みの絵巻展 11.17—12.19 国文
学研究資料館
東京 12.8 末松茂永
御三卿 —橋徳川家 —橋徳川家記
念室開設20周年記念 2.9—3.23
茨城県立歴史館
胡四王山の世界 7.24—8.27 花巻
市博物館
古式ひな人形の世界 2.1—4.30
杜の美術館
毎日 2.6 林哲平
不来方会展14回 8.10—8.16 ギ
ャラリーおでつて
五寸四方の文学世界～説草と仏教説
話～ 5.29—8.3 神奈川県立金
沢文庫
五姓田のすべて—近代絵画への架け
橋— 8.9—9.28 神奈川県立歴
史博物館(岡山県立美術館)
朝日夕刊 9.17 大西若人
小袖 江戸のオートクチュール 松
坂屋京都染織参考館の名品 初公
開 7.26—9.21 サントリー美術
館
朝日夕刊 8.20 青山祥子
日経 7.16
日経 7.19
古代エジプトの美展 イートン・カ
レッジ ダーラム大学所蔵
10.10—11.30 古代オリエント博
物館(宇都宮美術館、MOA美術
館、浜松市美術館、松坂屋美術
館、大丸ミュージアムKOBE)
東京 2.4、10.16—18 中野智章
古代ギリシャ美術への誘い 4.9—
6.9 天理大学付属天理参考館
古代人の造形 11.1—1.26 たつの

市立埋蔵文化財センター

古代地方木簡の世紀—文字資料から
見た古代の近江— 7.19—9.7
滋賀県立安土城考古博物館
古代天理の火葬墓たち—一社之内火葬
墓と西山火葬墓群— 1.23—3.3
天理大学付属天理参考館
古代のムラの神・仏 5.31—7.6
横浜市歴史博物館
古代北方世界に生きた人びと—交流
と交易— 4.26—6.8 新潟県立
歴史博物館(東北歴史博物館、北
海道開拓記念館)
事の縁 2008 サステイナブルア
ートプロジェクト 10.18—11.8
旧坂本小学校／ギャラリー空／台
東区内空地
寿ぎと幽玄の美 国宝 雪松図と能
面 12.10—1.24 三井記念美術
館
こども芸芸館「装飾／デコ」 所蔵作
品展 7.17—9.23 東京国立近代
美術館工芸館
読売夕刊 8.2 平井絵美理／高
松奈々／田中重美
読売夕刊 8.19 木田拓也
こどもの世界～遊びにおいてよ、美
術館～ 7.10—10.19 新潟県立
近代美術館
古墳時代の仙台—西多賀・富沢の古
墳を探る— 4.18—6.15 地底の
森ミュージアム
コレクション展I 5.27—7.21 金
沢21世紀美術館
コレクション展II shell—shelter :
殻—からだ 9.13—4.5 金沢21
世紀美術館
コレクションの新天地—20世紀美
術の息吹 2.9—4.13 プリヂス
トン美術館
産経 4.5 黒沢綾子
東京 3.27 稲葉千寿
コレクションの精華 つたえたい美
と歴史 7.19—8.31 神戸市立博
物館
新美術新聞 1158 川野憲一
コレクションは語る—ダリ、豊光、
菅井汲、奥田元宋、平山郁夫、飯
島図屏風、色絵馬など—拳大公

開！ 10.7—12.24 広島県立美術館
 新美術新聞 1164 石川哲子
 これまでの木版画大賞！ 2.9—4.6
 川上澄生美術館
 蠱惑の大正 日本画 線乱 9.6—
 11.3 海の見える杜美術館
 新美術新聞 1164 濱邊保旭
 古渡り更紗—江戸を染めたインドの
 華 10.25—11.30 五島美術館
 Continue Art Project in Choshi 2008
 12.20—12.28 銚子電鉄構内
 混沌から躍り出る星たち 2008
 7.10—7.25 ギャラリー・オーブ
 瓜生通信 45 伊藤良平

(サ)

「彩華」色彩ゆたかな創造 新霽シリ
 ーズ6 7.10—7.16 竹柳堂
 西行の仮名 併設 重文 俵屋宗達
 筆・西行物語絵巻 2.23—3.30
 出光美術館
 再考—西宮と6人の美術家 中核
 市移行記念 4.5—5.11 西宮市
 大谷記念美術館
 西国三十三所 観音霊場の祈りと美
 8.1—9.28 奈良国立博物館(名古
 屋市博物館)
 芸術新潮 706
 読売 9.11 前田恭二
 最後の戦国武将 伊達政宗 9.12—
 11.3 仙台市博物館
 最新出土品展 地中からのメッセー
 ジ 7.19—9.28 埼玉県立さきた
 ま史跡の博物館
 埼玉ゆかりの芸術家—近代・現代の
 埼玉の美術— 10.25—2.1 サト
 エ記念21世紀美術館
 再発見！五陶地のやきもの—丹波・
 但馬・摂津・播磨・淡路—パート
 1 6.14—8.3 兵庫陶芸美術館
 再発見！五陶地のやきもの—丹波・
 但馬・摂津・播磨・淡路—パート
 2 8.5—9.23 兵庫陶芸美術館
 サヴァイヴァル・アクション—新収
 蔵作品を中心に 10.22—1.12
 東京都現代美術館
 芸術新潮 708
 佐賀城下 ひなまつり 2.16—3.31

佐賀市歴史民俗館／徴古館／恵比
 須ギャラリー
 作品と作品の間に…4つの変奏
 コレクション展 4.17—6.8 目
 黒区美術館
 桜展 2.27—5.6 すみだ郷土文化
 資料館
 読売 3.12
 櫻井徳太郎—板橋を愛した民俗学者
 — 6.16—6.27 板橋区役所
 「桜芥子図襖」緊急特報！！特別公開！
 3.4—3.23 大田区立龍子記念館
 読売 3.7
 さくら 現代日本画にみる桜展 箱
 根・芦ノ湖成川美術館所蔵 11.8
 —12.7 唐津市近代図書館
 桜の美 3.14—4.15 彦根城博物館
 刺子の技と美 9.9—11.21 国際基
 督教大学博物館湯浅八郎記念館
 札幌美術展 SAPPORO IS WHITE
 札幌ゆかりの21作家で綴る昭和
 初期から現代までの白の系譜
 6.1—7.2 札幌芸術の森美術館
 サッポロ未来展 7回 3.17—3.22
 札幌時計台ギャラリー
 美術の窓 296 磯部靖
 薩摩焼—400年の伝統とパリを魅了
 した美—日仏交流150周年記念
 9.9—11.9 堺市博物館
 THE NIHONGA 1回 6.10—6.15
 京都府京都文化博物館
 新美術新聞 1157 太田垣實
 讃岐の埴輪—埴輪が語る讃岐の古墳
 時代— 1.2—3.16 香川県歴史
 博物館
 実篤 美術への眼差し 4.26—6.1
 調布市武者小路実篤記念館
 毎日 4.27 佐藤浩
 Something Sweet 4 Girls 11.25—
 12.20 ギャラリー・ショウ・コ
 ンテンポラリー・アート
 Salon de Colline 4回 笠井誠一
 久野和洋 小杉小二郎 中村清治
 11.14—11.22 名古屋画廊(名古
 屋)
 30倍楽しむ まるごとひろしま美
 術館展Ⅱ 10.4—11.30 ひろし
 ま美術館
 三田焼展 兵庫の陶磁'08 5.17—

平成20年美術展覧会(全コヘシ)

6.15 明石市立文化博物館
 サンリツ服部美術館の名筆—仮名と
 墨蹟 9.27—12.2 サンリツ服部
 美術館

(シ)

THE ECHO 9.13—10.5 ZAIM
 別館
 美術手帖 915 藪前知子
 読売夕刊 9.27 (清)
 シェルター×サバイバル—ファンタ
 スティックに生き抜くための「も
 うひとつの家」 2.16—4.13 広
 島市現代美術館
 ART iT 19 原久子
 塩釜・松島—その景観と信仰—
 10.4—11.24 東北歴史博物館
 視覚装置 見ることを見る 10.6—
 10.25 武蔵野美術大学美術資料
 図書館
 色彩の力／絵画の中の調和と秩序展
 コレクションから学ぶ 9.13—
 10.19 いわき市立美術館
 紫禁城写真展 3.29—5.18 東京都
 写真美術館
 朝日 4.12 渡辺延志
 時空の街—街の人— 11.26—12.21
 テブコ浅草館
 読売 12.19
 市指定文化財と古文書展 若松観音
 開山1300年祭記念 9.6—11.9
 天童市立旧東村山郡役所資料館
 誌上のユートピア 近代日本の絵画
 と美術雑誌 1889—1915 1.26
 —3.9 神奈川県立近代美術館(葉
 山)(愛知県美術館)
 産経 2.8 生田誠
 日経 2.20 宝玉正彦
 読売夕刊 1.21 水沢勉
 誌上のユートピア—近代日本の絵画
 と美術雑誌 1889—1915 4.26
 —6.8 うらわ美術館
 アート・ドキュメンテーション通
 信 78 富安玲子
 七福神と祝うお正月 1.1—1.28
 石川県輪島漆芸美術館
 四天王寺 新春名宝展 1.1—2.17
 四天王寺宝物館
 島津の国宝と篤姫の時代—東京大学

史料編纂所 20 万点の世界—
7.12—8.24 九州国立博物館
島根の近代日本画家 五人展 1.2
—2.18 島根県立美術館
市民が愛したヨーロッパ絵画〜パロ
ックから近代へ〜 4.12—6.11
北海道立釧路芸術館
釈迦追慕—称名寺釈迦如来像造立七
〇〇年記念— 10.3—12.7 神奈
川県立金沢文庫
芸術新潮 708
若冲から狩野派まで—百花繚乱の
18世紀— 4.29—5.25 静岡県立
美術館
シリーズ写真展：現代写真の母型
2008 写真ゲーム 11人の新た
な写真表現の可能性 1.26—3.30
川崎市市民ミュージアム
朝日夕刊 2.13 田中三蔵
写真・昭和の肖像1945〜1989 レ
ンズが視た戦後の日本 東京都写
真美術館コレクションによる
5.24—7.27 新潟県立万代島美術
館
写★新世界 パリ、ニューヨーク、
東京、そして上海 7.20—8.25
せんだいメディアテーク
写真でみる昭和の暮らし 4.22—
6.15 愛媛県歴史文化博物館
写真の美術 美術の写真「浪華」
「丹平」から森村泰昌まで 1.26—
3.23 大阪市立近代美術館(仮称)
心斎橋展示室
japan 蒔絵—宮殿を飾る 東洋の
燦めき— 10.18—12.7 京都国
立博物館(サントリー美術館)
新美術新聞 1167 永島明子
読売 12.22
上海美術館コレクション 1979—
2007 5.10—6.8 日中友好会館
美術館
収蔵品展Ⅲ 4.25—6.8 佐賀県立
佐賀城本丸歴史館
十二支と吉祥の美術展 1.5—3.22
敦井美術館
十二の旅 感性和経験のイギリス美
術 4.27—6.22 栃木県立美術館
(静岡県立美術館、富山県立近代
美術館、世田谷美術館)

「12の魅力」展 4.1—6.22 切手の
博物館
毎日 5.12 井崎憲
10年の歩み展 7.13—11.30 諸橋
近代美術館
新美術新聞 1157 宗形敦子
終末期古墳と官衙の成立—下野国河
内郡の様相を中心として— 9.13
—12.7 栃木県立しもつけ風土記
の丘資料館
授業作品展 7.26—8.18 尾道白樺
美術館
シュルレアリスムと写真 痙攣する
美 3.15—5.6 東京都写真美術
館
朝日夕刊 4.23 古賀太
読売夕刊 4.19 (前)
殉教者とその時代 列福式記念特別
展示 11.1—1.12 日本二十六聖
人記念館
春敬の眼—珠玉の飯島春敬コレクシ
ョン— 7.9—8.3 国立新美術館
毎日 7.6
毎日 7.20 桐山正寿
毎日夕刊 7.24 桐山正寿
小学生のための 昔のくらしと道具
6.14—7.6 京都府立丹後郷土資
料館
小金銅仏の世界 服部コレクション
9.24—10.16 早稲田大学會津八
一記念博物館
少女マンガパワー!—一つよく・やさ
しく・うつくしく— 2.16—3.30
川崎市市民ミュージアム
読売夕刊 3.22 井野口碧依/藤
川奈央美/浮津亜由美
少女マンガパワー!—一つよく・やさ
しく・うつくしく— 7.19—8.31
京都国際マンガミュージアム
朝日夕刊 8.13 小川雪
正倉院展 60回 10.25—11.10 奈
良国立博物館
新美術新聞 1166 西山厚
朝日夕刊 10.18 小滝ちひろ
読売 8.15
読売 10.24
読売夕刊 10.28 上村淳之
読売夕刊 10.31 直木孝次郎
聖徳太子伝の世界—えがかれた和国

の教主—開館五周年記念特別展
10.10—11.29 大谷大学博物館
聖徳太子ゆかりの名宝〜河内三太子
：叡福寺・野中寺・大聖勝軍寺〜
叡福寺の太子絵伝修復完成記念
4.26—6.8 大阪市立美術館
読売 5.16 木村未来
松伯美術館花鳥画展14回 公募展
2.13—3.23 松伯美術館
縄文—いにしへの造形と意匠 3.15
—6.1 兵庫陶芸美術館
縄文から続く編みの文化—考古編/
民族編 9.13—10.13 御所野縄
文博物館
縄文コンテンツラリーアート展 in
ふなばし 2008 7.20—9.14 船
橋市飛ノ台史跡公園博物館
朝日夕刊 9.3 小川雪
縄文時代の東・西 10.11—12.7
松戸市立博物館
朝日夕刊 12.3 宮代栄一
縄文土器をつくる—体験製作を通じ
て縄文の技に迫る— 9.20—
11.30 上高津貝塚ふるさと歴史
の広場
縄文文化円熟—華蔵台遺跡と後・晩
期社会— 10.4—11.24 横浜市
歴史博物館
縄文メトロポリス IDOSAKU
12.13—6.30 印旛郡市文化財セ
ンター
「将来を見据えた目」展 1.18—3.2
Shiodomeitaliaクリエイティブ・
センター
産経 1.25 黒沢綾子
書画・五拾三駅 4.1—6.29 日本
浮世絵博物館
初期伊万里展—素朴と創意の日本磁
器— 4.1—6.22 戸栗美術館
朝日夕刊 4.9 秋山亮太
職人の技—日本刀の美 10.4—
11.24 姫路市書写の里・美術工
芸館
食を愉しむ〜鉢・皿・向付〜サンリ
ツ服部美術館コレクションの鑑賞
12.7—5.17 サンリツ服部美術館
諸国城下図探訪 5.21—7.21 名古
屋市蓬左文庫
女性画家の大阪 美人画と前衛の

20世紀展 9.20—12.7 大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室
所蔵作品選175/3000 開館20周年・美術館設立60年記念 4.19—5.25 茨城県近代美術館
女流六人展 3.20—4.23 染・清流館
陶説 662 外館和子
城の春 さくらの美術 4.1—5.6 名古屋城天守閣
新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館 7.24—8.6 池袋西口地区
読売 3.5
深奥の中国—少数民族の暮らしと工芸 開館30周年記念 3.13—6.3 国立民族学博物館
新寄贈の近代日本画 大熊家コレクション全作品公開 4.22—7.13 埼玉県立近代美術館
神宮奉納美術—心とかたち—IV 10.8—11.16 神宮美術館
新収蔵作品展2006—2007 所蔵作品展Ⅱ 5.20—7.6 東京国立近代美術館工芸館
新収蔵品展 4.1—4.27 静岡県立美術館
新収蔵品展 平成19年度 2.15—4.6 天童市美術館
新収蔵品展 平成19年度 4.1—5.6 鹿児島市立美術館
新収品展 5.21—6.22 京都国立博物館
新春の遊び カルタ 1.7—3.9 茶道資料館
新人画会展 戦時下の画家たち—絵があるから生きている— 11.22—1.12 板橋区立美術館
芸術新潮 709
清朝中晩期の書画 3.2—6.8 澄懷堂美術館
清朝碑学派の足跡—鄧石如から吳昌碩まで—中村不折コレクション 5.14—7.13 台東区立書道博物館
彩発見! 新潟の日本画 10.25—1.15 新潟県立近代美術館
神仏に祈る—尾張徳川家伝来の仏教美術— 9.6—9.28 徳川美術館

(ス)

水彩画の魅力—風景・幻想・物語— 3.1—3.30 姫路市立美術館
隋唐の栄華 9.29—11.22 天理ギャラリー
朝日夕刊 11.8 小川雪
水墨画 古筆と陶芸 春の優品展 4.5—5.6 五島美術館
崇高なる山水—中国・朝鮮、李郭系山水画の系譜— 10.11—11.16 大和文華館
日経 10.31 竹田博志
スーパービュア2008 アートは障がいを超える 10.24—11.9 横浜市民ギャラリー
菅橋彦大賞展7回 8.13—8.19 高島屋(難波)
数寄大名 池田治政 12.7—1.25 林原美術館
杉並の電車 ミニ写真展 7.19—12.21 杉並区立郷土博物館
毎日 8.29 佐藤健太郎
数寄者 益田鈍翁—心づくしの茶人— 10.11—12.14 畠山記念館
「Skin: フィリップスデザイン[プロジェクト]プロジェクト」展 1.26—2.3 AXISギャラリー
AXIS 133 中島恭子
スタジオジブリ・レイアウト展 7.26—9.28 東京都現代美術館
アート・トップ 223 (玉)
新美術新聞 1159 森山朋絵
読売夕刊 8.1 近藤孝
ストーンツールズ—縄文石器の世界— 10.24—2.1 安中市ふるさと学習館
朝日夕刊 12.3 宮代栄一
SPURT 2008—京都造形芸術大学大学院修士課程中間報告展 4.23—5.6 ギャラリー・オーブ
瓜生通信 44 岩澤和泉
墨絵展30回記念 2008 4.12—4.26 元麻布ギャラリー
墨田美術会展17回 5.11—5.17 すみだリバーサイドホール・ギャラリー
毎日 5.13 吉永磨美
墨は活きている 関頌亭企画展

平成20年美術展覧会(企シ〜セ)

11.1—11.7 エゾラホール
毎日 11.5 明珍美紀
墨・無限展7回 9.8—9.14 東京銀座画廊
美術の窓 302 磯部靖
スリランカ 輝く島的美に出会う 9.17—11.30 東京国立博物館表慶館
芸術新潮 708
読売夕刊 9.18、20、22 前田恭二
読売夕刊 10.14 小泉恵英

(セ)

静嘉堂の名刀—伝えられたものの心の心— 6.7—7.27 静嘉堂文庫美術館
青春のロシア・アヴァンギャルド モスクワ市近代美術館所蔵 6.21—8.17 Bunkamuraザ・ミュージアム(サントリーミュージアム[天保山]、岐阜県美術館、埼玉県立近代美術館)
芸術新潮 704
毎日夕刊 7.15 岸桂子
読売 7.31 高野清見
生新の時・若者たちの漆芸作品展 4.25—6.15 石川県輪島漆芸美術館
聖なる酒器 リュトン 7.12—8.17 MIHO MUSEUM
セイ・ハン・タイ! ちがいを求めばアートがわかる 夏休み子ども美術館 7.1—8.31 滋賀県立近代美術館
静物画名作コレクション 画室での求道、その彩とかたち 10.11—11.16 星野画廊
西洋絵画の父 ジョットとその遺産展—ジョットからルネサンス初めまでのフィレンツェ絵画— 9.13—11.9 損保ジャパン東郷青児美術館
芸術新潮 707
新美術新聞 1165 中島啓子
読売 10.2 前田恭二
西洋の美 東洋の美—ピカソ・ローレックから東山魁夷まで—富山県立近代美術館・富山県水墨美術

館名品展 10.25—12.14 新潟県立近代美術館
世界遺産ナスカ展 地上絵ふたたびアンコール！特別展 2.5—2.24 国立科学博物館
世界大風呂敷展—布で包むものとし
— 7.19—9.7 石川県立歴史博物館(長崎県美術館)
世界の藍 10.10—12.22 文化学園服飾博物館
世界平和美術祭典3回 AFWP2008
 8.27—8.31 パシフィコ横浜
世界をみる〜西洋との出会い〜
 7.25—8.31 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
関の地蔵院 10.18—12.14 亀山市歴史博物館
セザンヌ主義—父と呼ばれる画家への礼讃 11.15—1.25 横浜美術館(北海道立近代美術館)
 新美術新聞 1171 新畑泰秀
 朝日 12.4 高階秀爾
 日経 11.27 竹田博志
 読売 11.27 高野清見
世相をまとう〜羽織と襦袢に描かれた風俗〜 10.27—11.29 昭和女子大学光葉博物館
摂津三島の遺宝—考古資料精選—
 9.27—11.24 高槻市立しろあと歴史館
瀬戸大橋の島々II 瀬戸内の風景
 9.12—12.21 香川県立ミュージアム
セルビアのナイーヴ・アート 4.15—5.11 大分県立芸術会館(尾道市立美術館、多摩美術大学美術館)
尖(SEN)展 5.13—5.18 京都市美術館
 新美術新聞 1157 太田垣實
全員展!!!!!!1回 6.10—6.17
 MAGIC ROOM?
 美術手帖 911 福住廉
1930年代・東京 アール・デコの館(浅香宮邸)が生まれた時代
 10.25—1.12 東京都庭園美術館
 朝日夕刊 11.5 古賀太
戦国大名浅井氏と北近江—浅井三代から三姉妹へ— 10.25—11.24

長浜市長浜城歴史博物館
戦国大名北条氏とその文書—文書が教えてくれるさまざまなこと—
 10.18—11.24 神奈川県立歴史博物館
全国の風 1.6—2.24 姫路市書写の里・美術工芸館
戦争と芸術 美の恐怖と幻影II
 1.16—2.16 ギャラリー・オーブ
 瓜生通信 43 井川悠太
 美術手帖 905 飯田高誉
せんだいデザインリーグ2008 卒業設計日本一決定戦 3.9—3.15
 せんだいメディアテーク
 読売 3.13 高野清見
禅・茶・花 正木美術館開館四十周年記念 9.23—10.12 東京美術倶楽部
 趣味の水墨画 234 島尾新
 読売 9.25 前田恭二
善通寺の経典・聖教—敬虔な祈りに満ちあふれた静謐な文字世界—
 11.1—12.14 善通寺宝物館
全日本モノクロ写真展7回 9.12—9.18 フジフィルムスクエア
 朝日夕刊 8.11 英伸三
泉涌寺伽藍の歴史 4.29—8.24 泉涌寺心照殿
線の巨匠たち—アムステルダム歴史博物館所蔵 素描・版画展 10.11—11.24 東京芸術大学大学美術館(ハウステンボス美術館)
 東京 10.6 越川倫明
 東京夕刊 11.6—8 熊澤弘
線の発見 美術を知るよろこび 大阪市立近代美術館コレクション展
 4.26—6.8 大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室
扇面と対聯^{ついでん}・屏条^{へいじょう}の書画 9.14—12.14 澄懷堂美術館

(ソ)

創画会 60年—創造美術からの流れ—
 1.2—2.11 茨城県天心記念五浦美術館(浜松市秋野不矩美術館)
造形のデザイン展—インハウスデザイナーの仕事— 11.10—11.29
 東京造形大学附属横山記念マンズ

一美術館
宋・元時代の書画 中村不折コレクション 10.11—12.23 台東区立書道博物館
 朝日夕刊 12.17 宮代栄一
 毎日夕刊 11.13 桐山正寿
宋元と高麗—東洋古典美の誕生—大和文華館所蔵 1.5—2.11 大和文華館
草創期の湯島聖堂 よみがえる江戸の「学習」空間 孔子祭復活百周年記念事業 10.6—11.25 湯島聖堂大成殿
創造と継承—寺院復興 11.1—12.7 栗東歴史民俗博物館
素材と道具から表現へ〈暮らしと美術〉 4.16—6.1 リアス・アーク美術館
園部藩のあゆみ 開館10周年記念
 10.25—11.24 南丹市立文化博物館
素描/dessin/drawing展 はじまりのかたち 6.14—7.21 尾道白樺美術館
素朴美の系譜 江戸から大正・昭和へ 12.9—1.25 渋谷区立松涛美術館
 芸術新潮 710
 読売 12.11 前田恭二
[染]と[織]の肖像—日本と韓国・守り伝えられた染織品 10.15—11.30 国立歴史民俗博物館
空は晴れているけど 新人作家による版画展—浜口陽三と元田久治・小野耕石・空谷圭章— 12.6—2.22 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
それぞれの—東北芸術工科大学院6人展— 11.3—11.8 銀座スルガ台画廊

(タ)

国宝 大絵巻展 京都国立博物館所蔵・寄託の名宝 3.22—6.1 九州国立博物館
対決—巨匠たちの日本美術 国華百二十周年 朝日新聞百三十周年
 7.8—8.17 東京国立博物館
アート・トップ 223 安村敏信

／松田俊哉
趣味の水墨画 232 河野元昭／
小林忠／救仁郷秀明／里燕
趣味の水墨画 232 松原茂
新美術新聞 1157 松原茂
朝日 6.24 田中三蔵
朝日 8.7 高階秀爾
朝日夕刊 7.29 山口晃／奥山敦
聞き手
産経 8.5 中条省平
日経 7.30 宝玉正彦
大縄文土器展 ほるとま展2008
8.13—8.18 熊谷八木橋百貨店
(大宮DOM、秩父地場産センタ
ー)
大ナポレオン展 文化の光彩と精神
の遺産 7.30—9.7 青森県立美
術館(茨城県近代美術館)
太平洋にかかる橋：カナダ・日本美
術交流展 4.2—5.15 カナダ大
使館高円宮記念ギャラリー
毎日 4.8 大坪信剛
大名屋敷 2.20—4.6 名古屋市蓬
左文庫
タイムスケープ もうひとつの時間
8.8—10.5 愛知県美術館
新美術新聞 1159 中村史子
大リクエスト展 市民とつくる展覧
会 3.1—3.23 高知県立美術館
大陸文化の薫り—清朝の美術工芸—
11.12—12.14 名古屋市蓬左文庫
大琳派展—継承と変奏 尾形光琳生
誕 350 周年記念 10.7—11.16
東京国立博物館
読売 10.2 田沢裕賀
読売 11.5 東芋
読売夕刊 10.11、15、17、18、
20 前田恭二
読売夕刊 10.28 田沢裕賀
台湾美術—現代の旗手五人展 3 回
12.12—12.17 O美術館
高崎市美術館彫刻展 彫刻をめぐる
空間 3次元 Three Dimensions
6.21—9.21 高崎哲学堂
土浦の遺跡13 高崎山2号墳と桜
川流域の後期古墳 3.22—5.18
上高津貝塚ふるさと歴史の広場
多賀大社の名宝 1.1—2.5 彦根城
博物館

国宝高松塚古墳壁画修理作業室の公
開 2 回 11.2—11.9 国宝高松塚
古墳壁画仮設修理施設
高松松平家の名宝 II—大名から華族
へ— 瀬戸大橋開通20周年記念
1.5—2.3 岡山県立博物館
宝の島 対馬 ながさき地域シリー
ズ 9.13—10.20 長崎歴史文化
博物館
田口コレクション展 I 現代の美術
この30年、何が探求されてきた
か？ On Existence—在ることの
あ・か・し 3.11—5.11 岐阜県
美術館
竹内栖鳳と京都画壇 5.24—7.21
講談社野間記念館
武雄の現代の陶芸家たちIX 4.25—
5.25 佐賀県立名護屋城博物館
TAKEO PAPER SHOW 2008 FINE
PAPERS by “SCHOOL OF DE-
SIGN” 4.17—4.20 丸ビルホー
ル
デザインの現場 159 杉瀬由希
立川の遺跡 2008 7.29—8.31 立
川市歴史民俗資料館
毎日 8.18 山本太一
達人 29 リサイクルアート展 マ
ンガ・アニメ作家 29 人による
6.23—7.9 ASK ? art space ki-
mura
毎日 7.5 山本健
タッチ・ハート ふれあう展覧会
2.10—3.20 高崎市美術館
タツノコプロの世界 7.18—9.15
八王子市夢美術館
建物をえがく—一心の棲、記憶の器と
しての建物 5.10—6.29 笠間日
動美術館
田辺・高山寺の文化財 4.26—6.1
和歌山県立博物館
たねとしかけ こどもとおとなの美
術入門 7.5—8.24 群馬県立近
代美術館
朝日夕刊 8.13 大西若人
楽しく学んで 切手ワンダーランド
7.15—9.15 お札と切手の博物館
旅—江戸の旅から鉄道旅行へ—
7.1—8.31 国立歴史民俗博物館
多摩川アートラインプロジェクト

アートラインウィーク2008
11.1—11.9 東急多摩川線全7駅
(多摩川、沼部、鶴の木、下丸
子、武蔵新田、矢口渡、蒲田)／
新田神社／田園調布せせらぎ公園
／大田区立矢口南児童公園／大田
区役所本庁舎他
毎日 11.1 真野森作
珠玉の奥—江戸と乗物— 開館 15
周年記念 12.16—2.1 江戸東京
博物館
芸術新潮 710
多摩美術大学造形表現学部造形学科
日本画／洋画卒業制作学内展
3.18—3.25 多摩美術大学上野毛
校舎
多摩美術大学大学院 上野毛校舎絵
画専攻修了制作展 3.18—3.25
多摩美術大学上野毛校舎
多摩美術大学博士課程展 2008
3.10—3.23 多摩美術大学美術館
TARO賞の作家 I 展 10.11—1.12
川崎市岡本太郎美術館
読売夕刊 11.29 (清)
丹後丹波の薬師信仰—麻呂子皇子鬼
退治伝説の源流を求めて—
10.18—11.30 京都府立丹後郷土
資料館
端午の節句 4.22—5.10 中野区立
歴史民俗資料館
丹波美術大賞展 3 回 11.15—12.14
丹波市立植野記念美術館

(チ)

小さな展覧会 3 回 7.8—7.13 東
京銀座画廊
「小さなルーヴル美術館」展 5.24—
5.31 三鷹の森ジブリ美術館
美術手帖 909 編集部
朝日夕刊 6.18 古賀太
東京 6.2 奥野賢二
智恵子抄—光太郎・智恵子と佐藤春
夫— 4.19—6.1 田辺市立美術
館
近つ飛鳥と渡来人—よみがえる—須
賀古墳群— 4.26—7.27 大阪府
立近つ飛鳥博物館
ちふれと
カシの考古学 9.28—11.9 かみ
つけの里博物館

地球家族バンザイ 橋本龍太郎刀剣
コレクションとフォトメッセージ
4.6—5.25 林原美術館
チャイニーズ・ドリーム in 丸の内
中国現代美術展 8.8—8.21 丸
ビルホール
毎日 7.23 真野森作
茶道具取合わせ 館蔵 12.6—2.15
五島美術館
チャロー! インディア インド美術
の新時代 11.22—3.15 森美術
館
美術手帖 918 三木あき子、関
口真理 解説/川崎昌平 文
朝日夕刊 12.10 大西若人
読売夕刊 12.2 三木あき子
茶碗の美—国宝 曜変天目と名物茶
碗 2.9—3.23 静嘉堂文庫美術
館
読売夕刊 3.11 長谷川祥子
中近東の植物と生活 7.19—11.3
中近東文化センター
中国現代美術の域 中国美術収蔵随
—中川美術館特別協力 北京五輪
開催記念 文化の金メダル 7.12
—8.17 南アルプス市立春仙美術
館
中国中近世の青銅芸術 住友コレク
ション 3.15—4.20 泉屋博古館
中国陶磁名品展 松岡コレクション
1.5—4.20 松岡美術館
中国の絵入本—明・清時代の版本を
中心に— 5.18—6.15 天理ギャ
ラリー
アジア遊学 110 瀧本弘之
中国の絵入本—明・清時代の版本を
中心に— 10.19—11.11 天理図
書館本館
ビブリア 103 吉成伸仁
中国の古鏡展—漢・三国・六朝・隋
・唐の古鏡—館蔵 6.20—7.27
五島美術館
朝日夕刊 7.2 宮代栄一
中国の山水と花鳥—明清絵画の優品
— 6.28—8.3 町田市立国際版
画美術館
読売夕刊 7.22 佐々木守俊
中国の陶芸展 2.16—3.30 五島美
術館

中国の美術 古代の鏡と近代絵画
6.8—7.27 和泉市久保惣記念美
術館
中国の服飾—清朝末期から近代まで
— 7.4—9.20 文化学園服飾博
物館
中国美術清玩—飛香館に集った文化
の粋— 10.18—11.16 黒川古文
化研究所
中世尼崎の風景 10.4—11.9 尼信
博物館
中世荘園骨寺村 奥州平泉中尊寺経
蔵別当領 7.26—8.24 一関市博
物館
中世の城 10.9—1.18 京丹後市立
丹後古代の里資料館
朝鮮王朝の絵画と日本 宗達、大
雅、若冲も学んだ隣国の美 11.2
—12.14 栃木県立美術館(静岡県
立美術館、仙台市博物館、岡山東
立美術館)
朝日 12.6 李禹煥
毎日夕刊 12.3
読売 11.20 前田恭二
鄭詔文のまなざし—朝鮮文化への想
い 10.18—12.23 高麗美術館

(ツ)

月 THE MOON 禪の空間と光の
インスタレーション 10.31—
11.16 高台寺
美術手帖 918 編集部
土—大地のちから 6.28—8.31 群
馬県立館林美術館
朝日夕刊 7.30 秋山亮太
土浦桜物語—サクラに読みとく土浦
近代史— 3.22—5.6 土浦市立
博物館
土に残る記憶VI—中世びとの世界—
4.26—6.8 美濃加茂市民ミュー
ジウム
土の美 古唐津—肥前陶器のすべて
— 9.27—11.9 佐賀県立九州陶
磁文化館
椿会展 2008 4.10—6.15 資生堂
ギャラリー
芸術新潮 702
壺屋陶工遺作展—歴史と伝統に育ま
れた陶工達の技— 1.15—3.9

那覇市立壺屋焼物博物館
壺屋焼 近代百年のあゆみ 開館
10周年記念 12.13—3.15 那覇
市立壺屋焼物博物館
国宝鶴岡八幡宮古神宝 9.4—10.5
鎌倉国宝館
徒然草をいどころ人々 8.7—9.28
神奈川県立金沢文庫
つわもの達の夢—追悼 藤澤一夫・
鳥越憲三郎・堅田直— 3.7—
3.29 日本民家集落博物館

(テ)

出合いの美術 1.26—3.23 小杉放
菴記念日光美術館
帝室技芸員と一九〇〇年パリ万国博
覧会 7.19—12.14 宮内庁三の
丸尚蔵館
朝日夕刊 12.3 古賀太
美術館に行こう! ディック・ブル
ーナに学ぶモダン・アートの楽し
み方 4.19—5.18 岩手県立美術
館(高知県立美術館)
デザイナー誕生:1950年代日本の
グラフィック 4.19—7.6 印刷
博物館
芸術新潮 703
朝日夕刊 5.7 秋山亮太
デザイン物産展ニッポン 8.27—
9.1 松屋(銀座)
読売 8.26
デザイン満開 九州列車の旅 12.3
—2.21 INAXギャラリー1
鉄斎の器玩—悠悠談— 1.8—3.2
鉄斎美術館
てつそん 2008 3.14—3.16 東京
都立産業貿易センター(台東館)/
隅田公園リバーサイドギャラリー
AXIS 133 神吉弘邦
掌のほとけ—インドシナ半島の傳仏
1.5—3.2 福岡市美術館
寺山修司 劇場美術館:1935—
2008 4.1—5.11 青森県立美術
館
天下人を祀る—神になった信長・秀
吉・家康— 10.11—11.16 滋賀
県立安土城考古博物館
天璋院篤姫 徳川13代将軍・家定
の御台所 幕末のファーストレデ

イー 2.19—4.6 江戸東京博物館(大阪歴史博物館、鹿児島県歴史資料センター黎明館)
 国宝 天神さま—菅原道真の時代と天満宮の至宝— 9.23—11.30 九州国立博物館
 天神人形によせる人々の願い 4.12—6.8 和歌山県立紀伊風土記の丘
 伝統技術の応用によるイノベーション商品開発プロジェクト発表展 1.22—2.3 台東区生涯学習センター
 毎日 1.23 杉本修作
 「伝統の朝顔」くらしの植物苑特別企画 7.29—9.7 国立歴史民俗博物館
 天平追想—古代都市・太宰府の栄華—太宰府史跡発掘調査40周年 10.18—12.7 太宰府展示館
 展 FINAL in 図書館～大阪芸術大学のさまざまな学科の院生・助手・副手による作品主体の展覧会～ 12.1—12.13 大阪芸術大学図書館
 天馬 シルクロードを翔ける夢の馬 4.5—6.1 奈良国立博物館
 日経 4.30 竹田博志

(ト)

ドイツ・ポスター 1890—1933 2.26—3.30 京都国立近代美術館(豊田市美術館、宇都宮美術館)
 新進陶芸家による「東海現代陶芸の今」展 2.16—3.30 愛知県陶磁資料館
 陶説 661 井上隆生
 童画の世界—絵雑誌とその画家たち 9.20—2.15 国立国会図書館国際子ども図書館
 東京芸術大学卒業・修了制作作品展 平成19年度 2.21—2.26 東京都美術館/東京芸術大学大学美術館 他
 東京芸術大学 大学院美術研究科博士審査展 12.6—12.18 東京芸術大学大学美術館
 東京芸術大学日本画第一研究室発表展 9.20—9.28 東京芸術大学大

学美術館
 東京五美術大学連合卒業・修了制作展31回 多摩美術大学・女子美術大学・東京造形大学・日本大学芸術学部・武蔵野美術大学 2.21—3.2 国立新美術館
 東京美術学校とパウハウス—建築科・図案科卒業制作から— 4.10—7.21 東京芸術大学大学美術館
 刀剣と甲冑の魅力 4.5—5.11 茨城県立歴史館
 東寺鎮守八幡宮と足利尊氏 春期特別拝観 3.20—5.25 東寺宝物館
 東寺の大師信仰—弘法大師は今も在します— 9.20—11.25 東寺宝物館
 陶磁の東西交流—景德鎮・柿右衛門・古伊万里からデルフト・マイセン— 11.1—12.23 出光美術館(出光美術館(門司))
 読売 12.4
 東大寺御宝・昭和込納経展 日本書芸院展 08「伝統と創意」特別展 観 4.22—4.27 大阪国際会議場
 銅鐸から銅鏡へ 10.4—12.14 辰馬考古資料館
 東美アートフェア2008 秋 10.17—10.19 東京美術倶楽部
 東北芸術工科大学卒業・修了研究・制作展 2007 2.10—2.17 東北芸術工科大学
 東洋美術学校卒業制作展 59回 2.20—3.2 国立新美術館
 遠き道—はて無き精進の道程— 1.4—1.27 明石市立文化博物館(北海道立帯広美術館、北海道立函館美術館、岐阜県美術館、高崎市タワー美術館、今井美術館、上野の森美術館、浜松市立秋野不矩美術館、北海道立釧路芸術館・釧路市美術館、鹿児島県歴史資料センター黎明館、天童市美術館、石川県立美術館、沖縄県立博物館・美術館)
 ドーム ガラスの美展—創造する伝統—日仏交流150周年・ドーム創業130周年記念 9.27—11.9 明石市立文化博物館(高浜市やきもの里かわら美術館)

トールペイント 日本の四季を彩る 1.29—2.10 三越(日本橋)
 十勝管内水彩作家展3回 水への誘い 6.16—6.22 鹿追町民ホール
 MOTアニュアル2008「解きほぐすとき」 金氏徹平 高橋万里子 立花文穂 手塚愛子 彦坂敏昭 2.9—4.13 東京都現代美術館
 芸術新潮 700
 朝日夕刊 3.19 大西若人
 読売夕刊 3.22 (清)
 「徳川家康と静岡」展—現代人へのメッセージ— 9.23—9.28 静岡県立美術館
 徳川家康と戦国のたたかい 7.12—8.31 徳川美術館
 徳川家康と松平頼重 4.24—6.29 香川県立ミュージアム
 徳川大坂城—西国支配の拠点— 10.10—11.24 大阪城天守閣
 徳川家・姫君の華麗なる世界—徳川美術館の名品— 10.17—11.24 広島県立歴史博物館
 徳川将軍家ゆかりの女性 12.2—1.25 江戸東京博物館
 独起会展19回 7.7—7.12 銀座スルガ台画廊
 徳島城まるごと博物館 7.1—8.17 徳島市立徳島城博物館
 土佐藩歴代藩主展 7.11—9.23 土佐山内家宝物資料館
 都市の表象と心象—近代画家・版画家たちが描いたパリ 10.25—1.18 ブリヂストン美術館
 朝日夕刊 11.5 古賀太
 都市を創る建築への挑戦 設計組織のデザインと技術 11.14—1.25 埼玉県立近代美術館
 朝日 12.27 大西若人
 土展 12.16—12.21 Muromachi Art Court
 陶説 672 梅田稔
 怒濤の幕末維新—攘夷・開国から民権議院設立建白書提出へ—特別展 11.6—11.28 衆議院憲政記念館
 DOMANI・明日展 2008 未来を担う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果 12.13—1.26 国立

新美術館

- Dream of the SKULL 1.19—3.1
山本現代
芸術新潮 699
取手アートプロジェクト2008 「取
手井野団地—電気・ガス・水道・
アート完備」 11.1—11.16 茨城
県取手市内各所
朝日 11.13 大西若人
鳥のビオソフィア—山階コレクシ
ョンへの誘い—東京大学創立百三十
周年記念 3.15—5.18 東京大学
総合研究博物館
トレース・エレメンツ—日豪の写真
メディアにおける精神と記憶
7.19—10.13 東京オペラシティ
アートギャラリー
芸術新潮 706
朝日夕刊 9.24 古賀太
東京 9.13 南高宏
読売夕刊 8.9 (前)
droog design droog NOW 10.30
—11.22 happa(青山 | 目黒)
美術手帖 918 松井みどり
トンちゃんアート展 ハコビで
BOO!! 7.20—9.23 北海道立函
館美術館

(ナ)

- 永井家文書の世界—江戸幕府と永井
直清— 4.26—6.15 高槻市立し
ろあと歴史館
長野県工芸展 28 回 8.27—8.31
松本市美術館
陶説 667 外館和子
長野県の遺跡発掘 2008 長野県埋
蔵文化財センター速報展 3.15—
5.11 長野県立歴史館(長野県伊
那文化会館)
信州の歴史遺産Ⅱ 長野県宝と歴史
館のお宝 12.13—3.1 長野県立
歴史館
奈義の作家展—自然と共に暮らすこ
と— 4.29—5.6 奈義町現代美
術館
那須の渡来文化 9.20—11.24 栃
木県立なす風土記の丘資料館
夏の館蔵品展 6.19—8.31 石川県
輪島漆芸美術館

- なつのとも 60 年—子どものころの
夏休み— 7.6—8.3 岐阜県博物
館
夏休みだ! おもちゃで遊ぼう 世
代をこえて楽しめるおもちゃワー
ルド 7.19—9.7 姫路市書写の
里・美術工芸館
鍋島—至宝の磁器・創出された美—
から 開館 20 周年記念 戸栗美
術館名品展 1.5—3.23 戸栗美
術館
読売夕刊 2.12 関戸史子
鍋島家の雛祭り 2.16—3.31 徴古
館
南紀男山焼—その歴史と美— 7.19
—8.31 和歌山市立博物館
南蛮の夢、紅毛のまぼろし 安土桃
山の名宝から夢ニまで 3.15—
5.11 府中市美術館
日経 4.24

(ニ)

- 新潟の写真家たち 100年のまなざ
し 2.15—3.30 新潟県立近代美
術館
1968—肉体の叛乱とその時代 ア
ート・アーカイヴ資料展Ⅲ 文部
科学省オープン・リサーチ・セン
ター整備事業 7.12—7.25 慶応
義塾大学東館展示スペース
肉筆浮世絵の美—氏家浮世絵コレク
ション— 1.4—2.11 鎌倉国宝
館
西アジア遊牧民の染織 塩袋・生活
用袋物とキリム 丸山コレクショ
ン 3.20—5.6 たばこと塩の博
物館
西宮の寺院縁起 7.19—8.31 西宮
市立郷土資料館
21世紀展 8 回 伝統からの創造
4.23—4.27 東京美術倶楽部
美術の窓 296 編集部
XXIc. 21世紀人 三宅一生ディレク
ション 3.20—7.6 21_21DE-
SIGN SIGHT
日経 6.20
読売夕刊 6.21 (前)
20世紀の巨匠たち 「写真」とは何
か。 美を見つめる眼 社会を見

- つめる眼 4.3—4.21 大丸ミュ
ージアム(東京)(大丸ミュージア
ム(梅田))
朝日夕刊 3.25 平木収
20世紀の写真 国立美術館所蔵に
よる 11.1—12.14 千葉市美術
館
20世紀の日本と西洋—マンズーカ
ら劉生までのコレクションの軌跡
—ふくやま美術館開館20周年記
念 4.12—5.25 ふくやま美術館
20世紀の人間像 徳島県立近代美
術館所蔵名品—ピカソ・ダリ・横
尾忠則から・奈良美智まで—
4.19—6.15 群馬県立館林美術館
20世紀のはじまり ピカソとクレ
ーの生きた時代 ノルトライン＝
ヴァストファーレン州立美術館所
蔵 10.18—12.14 名古屋市美術
館(Bunkamuraザ・ミュージア
ム、兵庫県立美術館)
2009年目玉商品展 21_21 DE-
SIGN SIGHT+パートナー企業
1.26—3.16 21_21 DESIGN
SIGHT
産経 2.5 黒沢綾子
日経 3.4
日常の喜び 10.25—1.18 水戸芸
術館現代美術ギャラリー
ART IT 22 福住廉
朝日夕刊 12.10 大西若人
読売夕刊 12.27 (清)
日仏絵本文化交流原画展 絆
LIENS 日仏交流 150 周年記念
12.17—12.25 東京芸術劇場
毎日夕刊 12.18 岸桂子
日韓の武具 日韓交流展 10.3—
12.7 宮崎県立西都原考古博物館
日経日本画大賞展 4 回 東山魁夷
記念 11.1—12.14 ニューオー
タニ美術館
新美術新聞 1170 安井収蔵
日経 11.15
日彫会新鋭選抜展 6 回 桜が咲い
て彫刻日和 3.30—4.12 ギャラ
リー青羅
ニッポンノテガミ 10.4—11.3 通
信総合博物館
芸術新潮 708

NIPPONの夏―応挙・歌麿・北斎から「きもの」まで 美術の遊びとところ III 7.12—9.15 三井記念美術館

日本画満開〜牡丹・菖蒲・紫陽花・芥子〜 6.14—7.27 山種美術館

日本画名品展 駿府博物館所蔵 9.30—11.3 町田市立博物館

日本近代洋画への道―山岡コレクションを中心に― 4.4—5.25 八王子市夢美術館

日本近代洋画への道―山岡コレクションを中心に― 7.19—9.3 秋田市立千秋美術館

日本近代洋画への道 高橋由一から藤島武二まで 12.3—1.12 笠間日動美術館

日本近代洋画を変えた昭和の画聖たち 館蔵アミューズメント展 1.3—3.30 大川美術館

日本中国写真文化交流協会展『2008中国』 8.1—8.31 行幸地下ギャラリー 毎日 7.23 真野森作

日本陶磁協会賞 受賞作家展49回 2.4—2.9 壺中居 陶説 662 唐澤昌宏 陶説 662 光井玄空

日本陶磁の精華 出光美術館所蔵品展 9.26—11.24 八王子市夢美術館 読売夕刊 11.4 浅井京子

日本刀は語る―名工の技と心― 10.18—11.24 群馬県立歴史博物館

日本の漆と暮らし〜上神コレクション〜 10.30—11.16 浦添市美術館

日本の海洋画展 23回 現代日本画壇の海洋画を一堂に集めて 8.4—8.15 東京芸術劇場(北九州市立美術館分館)

日本の楽器―音の文化史― 11.15—12.14 徳川美術館

日本の色彩〜藍・紅・紫〜 2.9—3.23 埼玉県立歴史と民俗の博物館

日本の書跡 かな古筆と近世雅人の書 10.18—12.7 泉屋博古館分

館 日本建物〜第二部 建物と夏〜 江戸東京たてもの園開園 15周年記念 7.1—8.31 江戸東京たてもの園

日本の版画 V 1941—1950 「日本の版画」とは何か 1.12—3.2 千葉市美術館

朝日夕刊 1.30 大西若人

「日本のわざと美」展―重要無形文化財とそれを支える人々― 9.6—10.5 北海道立旭川美術館(清水港湾博物館(フェルケール博物館))

『日本名山図会』と川村寿庵 10.11—11.24 岩手県立博物館

人形展 4.29—5.25 中野区立歴史民俗資料館

人形展 感じる鼓動 東京国立近代美術館工芸館所蔵 12.23—2.15 碧南市藤井達吉現代美術館(佐野美術館)

(ヌ)

“ぬくもり”のおくりもの ドイツ木エマイスターに受け継がれる匠展 12.5—12.25 ミキモトホール 芸術新潮 710

(ネ)

ネオテニー・ジャパニー高橋コレクション 日本新世紀のトップ・アーティストたち 7.18—9.15 鹿児島県霧島アートの森(札幌芸術の森美術館、上野の森美術館、新潟県立近代美術館、秋田県立近代美術館、米子市美術館)

読売 8.28 高野清見

ネオ・トロピカリア ブラジルの創造力 10.22—1.12 東京都現代美術館

STUDIO VOICE 396 栗田大輔 朝日夕刊 12.10 大西若人

日経 12.20

読売 12.4 高野清見

練馬区立美術館コレクション展 新収蔵作品を中心に 4.5—6.1 練馬区立美術館

(ノ)

能の彩 面と装束 住友コレクション 4.26—6.29 泉屋博古館分館 のこす・伝える 「お宝」考今昔 シリーズ・やきものの周辺 I 1.19—3.23 茨城県陶芸美術館

信長と安土城―収蔵品で語る戦国の歴史―開館 15周年記念 1.19—3.30 滋賀県立安土城考古博物館 のらくろマンガ賞受賞作品展3回 1.9—1.27 森下文化センター 毎日 1.12 杉本修作

(ハ)

裴世清の見た風景 7.12—9.14 柏原市立歴史資料館

バウハウス・デッサウ展 4.26—7.21 東京芸術大学大学美術館(浜松市美術館、新潟市新津美術館、宇都宮美術館) アート・トップ 222 (山)

AXIS 134 暮沢剛巳

朝日夕刊 7.9 大西若人

産経 4.5、24 黒沢綾子

産経 4.24 黒沢潤

産経 7.9 松井龍哉

毎日 6.18 明珍美紀

萩・韓国現代陶芸交流展 6.28—7.21 旧久保田家住宅/旧田中別邸

陶説 668 徳留大輔/白田豊

白磁の美―東洋における造形とその展開―大和文華館所蔵 8.22—10.5 大和文華館

博物館と文化財修理―九州国立博物館文化財保存修復施設開設3周年記念― 5.13—6.22 九州国立博物館

幕末浮世絵展 中右コレクション 大江戸の賑わい―北斎、広重、国貞、国芳らの世界― 4.26—6.8 三鷹市美術ギャラリー(ひろしま美術館、福井県立美術館) 毎日 5.21 内橋寿明

幕末ゴールドラッシュ 安政の五カ国条約と金貨流出 11.11—3.8 日本銀行金融研究所貨幣博物館 江戸の出版仕掛け人 part 4 幕末の

浮世絵と絵師たち 1.26—3.9
 たばこと塩の博物館
 読売 2.15

幕末・明治の浮世絵 1.8—3.19
 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
 朝日 1.26

幕末・明治のおもしろい写真! 7.26—8.31
 尼崎市総合文化センター

幕末明治の銅版画—上方のモノトーン風景— 7.9—9.15
 天理大学
 附属天理参考館

はじまりの物語—縁起絵巻に描かれた古のとりと— 10.4—11.9
 鳥取県立博物館

長谷・江嶋・大山詣—巡礼と遊山の足跡— 4.1—5.12
 長谷寺宝物館

長谷川等伯・雲谷等益 山水花鳥図襖&楽美術館 吉左衛門セレクション 9.10—12.21
 楽美術館
 新美術新聞 1166 杉山和子

長谷寺縁起絵巻 10.11—11.10
 長谷寺宝物館

パチカンの名宝とキリシタン文化—ローマ・長崎 信仰の証— 11.1—1.12
 長崎歴史文化博物館
 読売 11.28 右田和孝

発掘された明石の歴史展—法道仙人と行基菩薩の時代— 11.15—12.14
 明石市立文化博物館

発掘された大阪二〇〇七—水都大阪の国際交流史— 1.19—3.2
 大阪府立弥生文化博物館

発掘された日本列島2008 発掘された重要な遺跡・遺物の最新情報 7.19—8.31
 江戸東京博物館(兵庫県立考古博物館、千葉県立中央博物館、沖縄県立博物館・美術館)
 毎日夕刊 8.5 伊藤和史

発掘された飛騨・美濃の歴史 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター発掘速報 11.18—1.12
 岐阜県博物館

発掘! 斐伊川3万年の流れ—尾原ダム地内の遺跡— 12.20—2.15
 島根県立古代出雲歴史博物館

発掘へんろ—遺跡にみる国際交流—

遺跡でめぐる伊予・土佐・讃岐・阿波 四国地区埋蔵文化財センター巡回展5回 4.19—7.13
 松山市考古館(高知県立埋蔵文化財センター、高松市歴史資料館、徳島県立埋蔵文化財総合センター、香川県埋蔵文化財センター)

八犬伝の世界 9.13—10.26
 千葉市美術館(愛媛県美術館)
 読売夕刊 9.18、30 田辺昌子

初春の屏風展 12.12—1.18
 松本市美術館

近代工芸の名品—花と人形 2.26—5.11
 東京国立近代美術館工芸館
 新美術新聞 1148 外館和子

花によせる日本の心—梅・桜・椿を中心に— 1.8—3.9
 畠山記念館

花・はな・華 3.7—5.19
 土佐山内家宝物資料館

華ひらく能装束—伝統の美と技— 4.26—7.6
 群馬県立歴史博物館

はにわ人と動物たち—大和の埴輪大集合— 4.19—6.15
 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

母と子の像 7.2—9.28
 大川美術館

はま・なか・あいづの名品展 10.7—11.24
 福島県立博物館

薔薇空間 宮廷画家ルドゥーテとバラに魅せられた人々 5.17—6.15
 Bunkamuraザ・ミュージアム(愛媛県美術館、松本市美術館)
 朝日夕刊 6.4 古賀太

パラレル・ワールド もうひとつの世界/ユーク・レブ展 7.26—9.28
 東京都現代美術館
 朝日夕刊 8.6 青山祥子

産経 8.11 黒澤綾子
 読売夕刊 9.13 (清)

ハリウッドB級映画ポスター展II 1940—45 ジョナス・メカス旧蔵 10.1—10.25
 東京造形大学
 附属横山記念マンゾー美術館

パリそぞろ歩き ポスターと絵画による仮想ツアー 2.8—3.26
 北海道立帯広美術館

パリ—ニューヨーク 20世紀絵画の流れ フランシス・リーマン・ロブ・アート・センター所蔵品展

9.6—11.3 府中市美術館(島根県立美術館、石橋美術館、山形美術館、宮崎県立美術館)
 産経 10.22 黒澤綾子

パリのカフェ展 カフェに集った芸術家たち 4.24—5.6
 東急(渋谷)

パリ・プランタンの過去・現在・未来 10.30—11.5
 プランタン銀座
 読売夕刊 10.30 永峰好美

播磨の中心を掘る—考古学からみた播磨の十字路— 1.20—4.20
 姫路市埋蔵文化財センター(兵庫県立考古博物館)

春の意匠—花やぐ季節の贈りもの—大和文華館所蔵 2.16—3.30
 大和文華館

春のめざめ—横山大観・上村松園・小林古径・安田靫彦— 1.5—3.9
 山種美術館

春よこい 雛人形物語展 1.11—1.22
 西武(池袋)
 読売 1.12

春爛漫 2.23—4.13
 長谷川町子美術館
 東京 3.18 南条広介

版画に見る印象派 陽のあたる午後、天使の指がそっと 5.24—6.29
 下関市立美術館

藩主の一生 9.27—11.30
 土佐山内家宝物資料館

版と拓の美—摺る・写す— 1.6—3.23
 日本民芸館
 読売 2.3

「版」の誘惑展 7.5—9.28
 名古屋市美術館

氾濫するイメージ—反芸術以後の印刷メディアと美術 1960—70 11.15—1.25
 うらわ美術館(八王子市夢美術館、足利市立美術館)

(ヒ)

火—歌会始御題によせて— 2.20—3.23
 神宮美術館

Be Honest! 一次世代へのタイムレス・デザイン— 9.9—9.23
 青山スパイラルガーデン
 STUDIO VOICE 395 金剛地武

志／渡部千春
 飛越交流～飛驒の考古学～ 10.15
 —12.4 富山県埋蔵文化財センター
 東日本伝統工芸展 48回 4.15—
 4.20 三越(日本橋)
 陶説 662 外館和子
 光は西から—弥生人、文明との出会い—開館記念展 III 5.24—7.6
 兵庫県立考古博物館
 引込線 所沢ビエンナーレ・プレ美術展 8.27—9.12 西武鉄道旧所沢車両工場
 美術手帖 916 福住廉
 朝日夕刊 9.3 大西若人
 毎日夕刊 9.4 三田晴夫
 読売夕刊 8.30 (前)
 ピクニックあるいは回遊展 4.19—
 7.6 熊本市現代美術館
 備讃における工芸のあゆみ—幕末・明治から現代へ—瀬戸大橋開通20周年記念 香川・岡山合同企画文化交流展 11.14—12.14 岡山県立博物館(香川県立ミュージアム)
 陶説 671 外館和子
 美術家たちの「南洋群島」展 4.12—
 6.22 町田市立国際版画美術館(高知県立美術館、沖縄県立博物館・美術館)
 朝日夕刊 6.4 田中三蔵
 東京 5.24 南郷宏
 毎日夕刊 6.12 岸桂子
 読売 4.17 前田恭二
 美術館でおしゃべりしよう!—mite! ながの展— 6.3—6.27
 長野県信濃美術館
 新美術新聞 1153 土屋宏美
 美術館への年賀状 1.11—1.31 福島県立美術館
 美術工芸資料館コレクション展 1
 8.4—8.30 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
 美術散歩 印象派から抽象絵画まで
 7.19—10.19 プリズトン美術館
 読売夕刊 9.16 中村節子
 美術のなかの遊びと装い—重文「四条河原遊楽図屏風」修理完成記念

— 4.12—5.25 静嘉堂文庫美術館
 美術の森 小さな10の展覧会 2.2
 —3.23 新潟県立万代島美術館
 備前—炎が生んだ異風なる美—
 6.1—7.27 林原美術館
 備前—文字 華やかな日本刀 2.23
 —3.30 林原美術館
 日経 3.28 竹田博志
 備前刀の世界—鉄くろがねの美— 1.12—
 2.17 香川県歴史博物館
 備前刀の華 —文字 5.24—7.6
 徳川美術館
 肥前の古武道 10.17—11.24 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
 秘蔵の名品アートコレクション展
 14回 パリのエスプリ、京の雅、江戸の粋 8.8—8.30 ホテルオークラ
 人の顔—自画像・肖像画— 8.2—
 8.24 致道博物館
 美との出会い 久保惣コレクション
 の名品 4.8—5.25 和泉市久保惣記念美術館
 鑑と鑑道具 2.8—3.11 彦根城博物館
 ひな人形の世界 07 2.8—4.6 徳島市立徳島城博物館
 鑑まつりとお人形 2.23—3.30 京都国立博物館
 火の君、海を征く!—古墳からみたヤマトと八代— 10.17—11.24
 八代市立博物館未来の森ミュージアム
 秘仏への旅—出雲・石見の観音巡礼— 10.4—11.30 島根県立古代出雲歴史博物館
 美への憧れ ポーラコレクション
 能登半島地震復興祈念 9.5—
 10.19 石川県輪島漆芸美術館
 火祭り・愛宕神社 和田の愛宕神社の歴史と祭礼 11.20—3.16 パルテノン多摩
 姫街道—御油から磐田へ由緒ある古道をゆく— 9.27—11.9 豊川市桜ヶ丘ミュージアム
 姫君のよそおい 2.20—4.6 名古屋屋市蓬左文庫
 姫路市美術展 公募展62回 2.9—

2.24 姫路市立美術館
 姫谷焼—備後に花開いた初期色絵磁器— 4.25—6.8 広島県立歴史博物館
 百花繚乱の絵画 10,000点からの精華400点 葉山館開館5周年記念 3.29—5.18 神奈川県立近代美術館(鎌倉)／神奈川県立近代美術館(葉山)／神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)
 新美術新聞 1148 奥野美香
 朝日夕刊 4.23 秋山亮太
 表現者たち…ゆらぐ境界を越えて—
 収蔵作品と子どもの作品— 9.6—
 10.13 うらわ美術館
 「表現する研究者たち」メディアラボ第一期展示 4.24—8.31 日本科学未来館
 朝日夕刊 4.30 青山祥子
 ひょうご五ヵ国の考古学—近年の調査成果を中心に— 9.13—10.19
 播磨町郷土資料館
 ひょうごの遺跡 vol.1 11.5—12.21
 兵庫県立歴史博物館
 ひょうごの景観を歩く—収蔵資料から— 1.26—3.9 兵庫県立歴史博物館
 表装の美 名品とともに楽しむ 岡山県立美術館開館20周年 2.26—
 3.23 岡山県立美術館
 屏風—将軍からの贈り物—日蘭修好150周年記念 3.5—3.31 長崎歴史文化博物館
 屏風絵の世界を楽しむ 5.17—6.29
 茨城県立歴史館
 平泉 みちのくの浄土 11.14—
 12.21 仙台市博物館(福岡市博物館、世田谷美術館)
 ひらけ! アルバム!! 多摩の風景いま・むかし 7.11—11.17 パルテノン多摩
 広島アートプロジェクト2008 汽水域 11.1—11.16 旧中工場／
 ボートパーク広島／旧日本銀行広島支店ほか市内各所
 美術手帖 917 光田由里
 広島城と毛利氏の居城 広島城天守閣再建50周年記念事業 11.1—
 12.14 広島城

広島城の近代 広島城天守閣再建
50周年記念事業 2.9—3.9 広島城
広島城の50年 広島城天守閣再建
50周年記念事業 3.15—6.15 広島城
広島工芸—受け継がれる美と技—
7.4—8.31 広島県立歴史民俗資料館
広島発 はるかなるシルクロード
7.11—8.24 広島県立歴史博物館
PINGU the Art World 南極発!ピン
グーからのメッセージ 環境が
学べるアート展 8.30—9.28 秋
田県立近代美術館

(フ)

ファール昆虫記の世界 4.19—
6.8 世田谷文学館(滋賀県立近代
美術館、新潟市新津美術館)
風景の会絵画展 8.9—8.17 鹿追
町民ホール
風景ルル—わたしのソトガワとの
かわり方— 11.3—12.21 静
岡県立美術館
Who's Next アート界のイチロー
探し 4.3—4.25 タマダプロジ
ェクトミュージアム
美術手帖 908 中島水緒
風俗玉手箱「印判手」の世界〜明治・
大正・昭和の風俗〜 11.16—
12.14 岐阜県博物館
フェデリーコ・ダ・モンテフェルト
ロ公の小書斎・ストゥディオーロ
3.29—4.20 イタリア文化会館
(東京)
フォトシティさがみはら8回 記
録!表現!記憶! 10.10—10.27
相模原市民ギャラリー
不協和音—日本のアーティスト6
人 9.30—12.25 豊田市美術館
福岡県美術展覧会64回 平成20年
度 9.2—9.28 福岡県立美術館
(大牟田文化会館、宗像ユリッ
クス、北九州市立美術館、サルビア
パーク)
福岡市美術展42回 3.4—3.16 福
岡市美術館
「FUKUOKAデザインミュージアム」

があったらいいな アートの現場
・福岡 VOL.22 4.24—6.6 福
岡県立美術館
福岡の工芸とデザイン 2008コレ
クション展Ⅱ 10.3—12.26 福
岡県立美術館
福岡の日本画—近代の軌跡—
2008コレクション展Ⅰ 4.12—
7.13 福岡県立美術館
武家文化の精華—金沢文庫・称名寺
の名宝—世界遺産「武家の古都・
鎌倉」登録推進 4.25—6.1 仙台
市博物館
布穀会展32回 10.17—10.22 有
楽町朝日ギャラリー
富士—山を写し、山に想う— 3.22
—6.29 宮内庁三の丸尚蔵館
富士山 近代に展開した日本の象徴
開館三十周年記念 6.7—7.21
山梨県立美術館
富士山写真大賞展9回 1.1—3.30
河口湖美術館
富士山の絵画 7.12—9.7 静岡県
立美術館
富士山モンゴル凱旋日本展 1.10—
1.15 Gallery G2
毎日 1.13 沢田猛
富士と桜—日本の心を描く— 4.1
—5.11 富士美術館
藤原京の実態—持続・文武・元明
三代の都— 2.9—3.23 奈良県
立橿原考古学研究所附属博物館
府中ビエンナーレ4回 トゥルー・
カラズ 色をめぐる冒険 11.15
—2.1 府中市美術館
美術手帖 918 栗田大輔
日経 12.3 宝玉正彦
仏像インスピレーション 仏像に魅
せられた彫刻家たち 10.17—
11.24 小平市平櫛田中彫刻美術
館
芸術新潮 708
仏法の初め、茲より作れり—古墳か
ら古代寺院へ— 4.26—6.8 滋
賀県立安土城考古博物館
冬の所蔵品展示 1910—1930年代
の日本近代絵画を中心に 12.6—
2.1 神奈川県立近代美術館(鎌
倉)

ブラジル×ヨコハマ 時の懸け橋
ニューアート展2008 9.5—9.26
横浜市民ギャラリー
ブラティスラヴァ世界絵本原画展—
歴代グランプリ作家とその仕事
7.29—9.7 千葉市美術館(足利市
立美術館、うらわ美術館)
フランスが夢見た日本—陶器に写し
た北斎、広重 オルセー美術館コ
レクション 日仏交流150周年記
念 7.1—8.3 東京国立博物館
芸術新潮 704
朝日夕刊 7.16 古賀太
日経 6.21
日経 6.30 竹田博志
フランス近代絵画展—モネ・ルノワ
ールからピカソ 4.26—9.21 松
岡美術館
読売夕刊 6.24 後藤修
フランス近代絵画のながれ 3.14—
5.25 奥田元宋・小由女美術館
(福島県立美術館、ハウステンボ
ス美術館、秋田市立千秋美術館)
フランス・モード—18世紀から現
代まで—日仏交流150周年記念
4.17—6.14 文化学園服飾博物館
BLUE BOOK Group展 6.18—6.29
ブックギャラリーポポタム/Gal
lery & Cafe FIND
毎日 6.21 澤圭一郎
Blooming : ブラジル—日本 きみ
のいるところ 7.5—9.21 豊田
市美術館
STUDIO VOICE 393 原久子
美術手帖 912 鷺田めろろ
ふるさとの神々—祝祭の空間と美の
伝統— 10.18—12.7 兵庫県立
歴史博物館
ブルジョワ・コレクション あるジ
ャパノロジストの視点—源氏絵、
歌仙絵を中心に 5.13—6.11 城
西国際大学水田美術館
Fresco 時を航るフレスコー1回
時空を超えた現代のフレスコ画—
5.3—5.25 多摩美術大学美術館
フロンティア—道東美術の現在—
11.21—1.21 北海道立帯広美術
館
文化財をまもる、しらべる、つたえ

る 7.12—9.1 山梨県立博物館
日経 8.21
文化人・芸能人の多才な美術展 文化財保存活動支援のためのチャリティー企画 10周年特別記念 4.22—4.27 三越(日本橋)
文化庁メディア芸術祭11回 受賞作品展 2.6—2.17 国立新美術館
毎日 1.29 三木幸治
博物館で見る ぶんきょう食の文化展 10.25—12.7 文京ふるさと歴史館
文人画名品展—大雅から鉄斎まで—開館25周年記念 4.7—6.23 敦井美術館
文人たちのこころの絵 8.9—9.23 田辺市立美術館

(へ)

平安時代の考古遺物—源氏物語の時代— 4.2—6.29 京都国立博物館
マンガでよむ京都2 平安マンガ絵巻 みやび・異界・キッチン 10.25—1.18 京都国際マンガミュージアム
平城京展26回 寧楽地宝—奈良市発掘資料選— 10.27—3.31 奈良市埋蔵文化財調査センター
平和・原爆写真展13回 8.12—8.15 すみだリバーサイドホール・ギャラリー
毎日 8.14 吉永磨美
碧南の空と大地の間展—まちを彩る彫刻たち— 10.4—12.7 碧南市藤井達吉現代美術館
北京故宮 書の名宝展 日中平和友好条約締結30周年記念 江戸東京博物館開館15周年記念 7.15—9.15 江戸東京博物館
墨 193
日経 8.6 竹田博志
毎日 4.2 桐山正寿／榊莫山
毎日 6.4 桐山正寿／假屋崎省吾／須藤元気
毎日 7.1、11、15、17、19 富田淳
毎日 7.3、4、8、10、12、16

鍋島稲子
毎日 7.5、9 菅野智明
毎日 7.12、15 桐山正寿
毎日 7.17 平山郁夫
毎日 8.26 貞政少登
毎日 9.4 船本芳雲
毎日夕刊 7.8 ひろさちや
毎日夕刊 7.17 桐山正寿
毎日夕刊 8.12 河田悌一
読売 8.29 菅原教夫
ベトナム☆民間版画展 年画で迎えるお正月 12.7—1.18 武蔵野市立吉祥寺美術館
毎日 12.24 横井信洋
ペリー&ハリス〜泰平の眠りを覚ました男たち〜 4.26—6.22 江戸東京博物館(名古屋ボストン美術館)
読売 5.22 ジョゼフ・R・ドノバン
読売 5.25 竹内誠 談
読売夕刊 5.27 斎藤慎一
ベルリン国立アジア美術館所蔵日本美術名品展 美がむすぶ絆 4.12—5.25 郡山市立美術館(岩手県立美術館、山口県立美術館、愛媛県美術館)
ヘレニズムの華 ペルガモンとシルクロード—発掘者カール＝フォーマンと平山郁夫のまなざし— 9.6—11.3 岡山市立オリエント美術館(中近東文化センター附属博物館、尾道市立美術館)

(ホ)

宝蔵寺のたからもの 5.31—9.7 古河市立三和資料館
房総発掘ものがたり—おゆみ野編— 7.12—9.15 千葉県立房総のむら(八千代市立郷土博物館、芝山町立芝山古墳・はにわ博物館、千葉県立関宿城博物館、市立市川歴史博物館、千葉市教育振興財団埋蔵文化財調査センター)
国宝 法隆寺金堂展 6.14—7.21 奈良国立博物館
新美術新聞 1155 岩田茂樹
朝日 4.28 小滝ちひろ
法隆寺の名宝と聖徳太子の文化財展

リニューアルオープン記念 9.20—10.24 石川県立美術館
ホースパレード—華やかなる日本の行列— 4.12—6.1 馬の博物館
ポーラ・コレクション 美を競う〜マリー=アントワネット、大奥の粧いと香り〜 10.4—11.30 ふくやま美術館
ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからマティス、ピカソまで 4.19—5.25 長野県信濃美術館(金沢21世紀美術館、新潟県立万代島美術館)
江戸文化シリーズ24 北斎DNAのゆくえ 北斎—門肉筆画傑作選 9.6—10.13 板橋区立美術館
芸術新潮 707
ぼくの久留米餅ものがたり〜郷土の美術をみる・しる・まなぶ〜 7.9—8.27 福岡県立美術館
星野眞吾賞展—明日の日本画を求めて— トリエンナーレ豊橋4回 8.20—9.15 豊橋市美術館
ボストン美術館 浮世絵名品展 色あざやかなり 江戸の夢 1.2—4.6 名古屋ボストン美術館(新潟市美術館、福岡市美術館)
新美術新聞 1143 馬場駿吉
朝日 2.13 西田健作
ボストン美術館 浮世絵名品展 10.7—11.30 江戸東京博物館
産経 8.24 生田誠
日経 10.5 宮川匡司
日経 10.18
日経 11.15
細川井戸と名物茶道具—天下三井戸とよばれた茶碗 4.1—6.15 畠山記念館
細川家の能面・能装束 夢幻のごとくなり 9.23—12.25 永青文庫
細川のお姫さま 華やかなるプリンセス・ライフ 3.28—6.22 永青文庫
「細川歴代の文と武と美」第1部 開館記念展 4.25—7.6 熊本県立美術館永青文庫展示室
日経 6.4 竹田博志
北海道現代具象展 8.19—8.24 鹿追町民ホール

北海道の水絵画 みづゑを愛した画家たち 4.26—6.8 北海道立近代美術館

ポップアート1960's→2000's 6.28—8.17 松本市美術館

仏の形 心の姿—東アジアの仏教美術— 10.4—12.7 泉屋博古館
掘り出されたえひめの江戸時代—くらし百花繚乱— 10.4—12.7 愛媛県歴史文化博物館

ボローニャ・ブックフェアinいたばし 世界の絵本展 16回 8.25—8.29 板橋区役所区民ホール
毎日 8.28 海老原璃

本願寺展 親鸞聖人750回大遠忌記念 4.18—5.25 広島県立美術館(徳島市立徳島城博物館、名古屋市博物館、石川県立歴史博物館、北海道立近代美術館)

(マ)

前橋・高崎の古代遺産 東国千年の都 古墳から寺院へ 1.9—1.23 前橋プラザ元気21(高崎シティギャラリー、かみつけの里博物館)

魔女たちの九九 The Witches One Times One 6.2—7.12 武蔵野美術大学美術資料図書館
美術手帖 912 原田環

松浦屏風と桃山・江戸の人物表現—女性像を中心に— 4.4—5.18 大和文華館

松平家名品展Ⅴ 2.29—4.20 香川県歴史博物館

松戸のたからもの 松戸市新収蔵美術品展 1.26—3.9 松戸市立博物館

松本コレクション展2回〜松本夫妻の人格が滲み出る作品群〜 4.2—6.29 大川美術館

学びの風景—明治のおもちゃ絵・絵双六に描かれた教育 11.3—1.30 玉川大学教育博物館

麻蓬の会7回 姫屏風・小粋な小世界 5.11—5.20 羽黒洞

まぼろしの唐代精華—黄治唐三彩窯の考古新発見— 10.17—12.7 奈良文化財研究所飛鳥資料館

丸紅コレクション展 衣装から絵画

へ 美の競演 丸紅創業150周年記念 11.22—12.28 損保ジャパン東郷青児美術館

毎日 11.20 岸桂子
毎日 12.9—11 杉浦勉

丸山コレクション「西アジア遊牧民の染織〜塩袋・生活用袋物とキリム〜」 3.20—5.6 たばこと塩の博物館
芸術新潮 701

曼荼羅 つどうほとけたち 4.18—5.25 神奈川県立金沢文庫

(ミ)

国宝三井寺展 智証大師帰朝1150年 11.1—12.14 大阪市立美術館(サントリー美術館、福岡市博物館)

三河念仏の源流—高田専修寺と初期真宗— 4.26—5.25 岡崎市美術館
博物館

みずくきの美 館蔵書跡名品展 8.3—9.7 林原美術館

水の浄土・琵琶湖—琵琶湖文化館の収蔵品を中心に— 11.22—1.18 滋賀県立安土城考古博物館

魅せます!コレクション〜新潟県立近代美術館・万代島美術館の名作から〜開館15周年 4.12—6.15 新潟県立近代美術館
新美術新聞 1149 桐原浩

魅せられる…今、注目される日本の陶芸 3.8—5.11 ニューオータニ美術館

三井家のおひなさま 丸平文庫所蔵京の人形あそび 2.9—4.6 三井記念美術館

三井家の茶箱と茶籠—数寄の玉手箱— 4.16—6.29 三井記念美術館

ミッシング・ピース東京展 ダライ・ラマ14世と向き合う、60人のアーティスト 10.17—11.9 ヒルサイドフォーラム/ヒルサイドプラザホール/スタジオヒルサイド

東京夕刊 10.17
毎日夕刊 10.28 岸桂子

3つの柱—コレクションの底力— 6.21—8.31 芦屋市立美術館

新美術新聞 1154 井須圭太郎
みどりの息吹き 4.5—6.8 高崎市タワー美術館

南方熊楠と小群四郎〜新規寄贈資料を中心に〜 8.1—9.15 南方熊楠顕彰館

港区指定文化財30年の軌跡 過去から、そして未来へ 悠久の旅人Ⅲ 10.13—11.30 港区立港郷土資料館

ミニマム インターフェース 11.1—2.8 山口情報芸術センター

AXIS 137
美濃和紙あかりアート展 15回

10.11—10.12 岐阜県美濃市内各所
日経 10.28

みやこ 京と江戸 名所遊楽の世界 9.20—11.3 細見美術館

みやざきの考古新発見 10.11—11.30 宮崎県総合博物館

みやびなる女性的美Ⅳ〜鍋島直正の娘たち〜 2.8—3.23 佐賀県立佐賀城本丸歴史館

みやびへの憧れ—源氏物語千年記念 実践女子大学所蔵名品展— 10.4—11.9 実践女子学園香雪記念資料館
日経 11.4

未来に伝えたい—学芸員のおすすめアート 9.13—10.13 徳島県立近代美術館

ミリオンセラー誕生へ 明治・大正の雑誌メディア 9.20—12.7 印刷博物館
毎日 9.13 井崎憲

魅惑の像 具象的なかたち 7.25—8.24 茨城県つくば美術館

民衆の鼓動—韓国美術のリアリズム 1945—2005 7.5—8.24 府中市美術館

あいだ 152 津川泉
美術手帖 913 北澤憲昭
東京 7.12 藤田一人
日経 7.28

毎日夕刊 7.29 岸桂子

(ム)

ムートン・ロスシルド ワインラベ

ル原画展 3.1—3.30 森アーツ
センターギャラリー
日経 3.25
毎日 3.12 明珍美紀
無垢の眼 稲田萌子 枝松直子 成
瀬麻紀子 宮田佳代子 6.30—7.19
早稲田大学會津八一記念博物館
芸術新潮 705
武蔵野美術大学助手研究発表2008
RA'08 1.7—1.19 武蔵野美術
大学美術資料図書館
武蔵野美術大学 卒業・修了制作展
平成19年度 1.25—1.28 武蔵野
美術大学鷹の台キャンパス
∞MAUGEN 2007年大学院修了制
作展 武蔵野美術大学創立80周
年記念 2.22—2.26 東京都美術
館
陸奥国大戦争時代—蝦夷と移民—
7.18—9.15 地底の森ミュージア
ム
室町將軍家の至宝を探る 10.4—
11.9 徳川美術館
目の眼 386
室町水墨画と南画展 1.5—4.20
松岡美術館

(メ)

名画に出逢う、秋—日本画・珠玉の
名品展— 10.10—11.30 八幡市
立松花堂美術館
名画の散歩道 三重県立美術館名品
展 4.19—5.25 福島県立美術館
名工永徳齋と名勝旧安田楠雄邸
11.1—11.9 旧安田楠雄邸庭園
毎日 11.7 真野森作
名作と出会う 明治・大正・昭和の
美術 国立美術館巡回展 11.14
—12.14 福井県立美術館(高知県
立美術館)
明治の洋画—解説から鑑賞へ—
8.2—9.23 茨城県近代美術館
朝日夕刊 9.10 大西若人
名所図会の世界 江戸時代のガイド
ブックを絵解きする 2.24—3.23
大田区立郷土博物館
名所の誕生〜飛鳥山で読み解く名所
プロデュース〜 3.20—5.6 北
区飛鳥山博物館

銘仙—レトロでモダンでおしゃれな
着物— 2.2—3.23 城陽市歴史
民俗資料館
目で見える天童市の文化財展 若松観
音開山1300年祭記念 9.12—10.13
天童市美術館
メナード美術館の日本画 アーティ
スト20 開館20周年記念II 1.2
—2.24 メナード美術館
メナード美術館の日本洋画 アーテ
ィスト20 開館20周年記念III
3.5—5.6 メナード美術館
メモリア—まなざしの軌跡 7.19—
10.19 熊本市現代美術館

(モ)

最上川と人びとのくらし—川絵図を
読み解く— 7.19—8.24 山形県
立博物館
木食応其 秀吉から高野山を救った
僧 10.18—11.24 和歌山県立博
物館
木彫フォークアートおおや公募展
15回〜ふるさとの命の姿〜
9.26—10.13 おおやホール
もじもじ文字展〜描かれた文字・記
号と美術〜 9.12—11.12 北海
道立帯広美術館
モダンガールズあらわる。昭和初期
の美人画展 2.29—4.7 島根県
立石見美術館
もっと知りたい弥生のくらし 館蔵
品展 4.10—7.13 大阪府立弥生
文化博物館
もっと楽しもう!日本画の世界
6.1—8.30 足立美術館
モデルズアナザーフェイス展 12.5
—12.14 兜屋画廊
毎日 12.6 合田月美
物語が聞こえる—ぼくたちのお気に
入り 第1期収蔵品展 チルドレ
ンズ・ミュージアム 6.27—9.7
世田谷美術館
物語世界の美—都への憧憬— 9.25
—11.24 香川県立ミュージアム
モノ・語る・みえ Part 1 4.15—
5.6 斎宮歴史博物館
モノ・語る・みえ Part 2 7.12—
8.24 斎宮歴史博物館

MOBILE ART IN TOKYO—シャネ
ル コンテンポラリーアート コ
ンテナ— by ザハ・ハディド
5.31—7.4 東京代々木競技場オ
リンピックプラザ内特設会場
AXIS 134 伊藤留美子
美術手帖 911 五十嵐太郎
朝日夕刊 6.11 大西若人
産経 6.7 黒沢綾子
東京 7.5 児島やよい
毎日夕刊 7.9 鈴木博之
読売 6.26 高野清見
桃と菖蒲—お雛様と武者人形—
4.19—6.29 板橋区立郷土資料館
桃山・江戸絵画の美 4.12—5.18
徳川美術館/名古屋市蓬左文庫
読売 4.11

桃山の能装束—躍動する美— 1.6
—2.11 林原美術館
埋蔵文化財調査資料展25回 盛岡
を発掘する—平成19年度調査速
報— 2.1—6.22 盛岡市遺跡の
学び館
森川如春庵の世界 茶人のまなざし
3.1—4.13 名古屋市博物館
芸術新潮 701 青柳恵介
森川如春庵の世界 茶人のまなざし
10.4—11.30 三井記念美術館
朝日夕刊 10.22 秋山亮太

(ヤ)

やおの古代—くらしといのり—
10.1—2.27 八尾市立埋蔵文化財
調査センター
やきもの・用と形 4.8—7.4 国際
基督教大学博物館湯浅八郎記念館
やきものを楽しむ—古九谷の二作品
— 8.1—8.24 朝日町歴史博物
館
国宝 薬師寺展 平安遷都1300年
記念 3.25—6.8 東京国立博物
館
芸術新潮 701
新美術新聞 1147 金子啓明
産経 5.10 みうらじゅん
毎日 5.5 伊藤和史
読売 3.13 金子啓明
読売 3.27 前田恭二
読売 4.3 三村竜太郎

読売夕刊 3.26、29 前田恭二
読売夕刊 4.1 浅見龍介
読売夕刊 5.31 栗原悠羽／日高
夏希／瀧宮瑛里子
八代城に備あり―薩摩境目の城とし
て― 2.15―3.23 八代市立博物
館未来の森ミュージアム
「靖国」の間に分け入って―アートの
表現する Yasukuni 展 8.4―8.11
一ツ橋画廊
美術運動史研究会ニュース 96
武居利史
美術手帖 913 片山杜英、暮沢
剛巳 談
東京 8.9 藤田一人
失立〜そのアイデアと装飾の美〜
5.18―6.22 岐阜県博物館
山内家のひな道具 2.1―3.3 土佐
山内家宝物資料館
山賀遺跡の最新調査成果 シリーズ
ここまでわかった考古学 3.15―
3.30 大阪府立弥生文化博物館
大和を掘る26―2007年度発掘調査
速報展― 7.19―9.7 奈良県立
橿原考古学研究所附属博物館
山本鼎 版画大賞展4回 11.18―
11.30 上田創造館文化ホール
版画芸術 142 黒崎彰
弥生ムラの風景―越のクニ生み・境
界・交流 4.26―6.1 石川県立
歴史博物館
ヤング、アグレッシヴーロシア現代
芸術における挑発的なスピリット
5.8―5.24 武蔵野美術大学美術
資料図書館

(ユ)

油井一ニコレクション―1 7.4―
8.31 佐久市立近代美術館
新美術新聞 1159 小山雅比古
ユーザーの領分―版画・写真・マル
ティブル作品の過去／現在 慶応
義塾のコレクション 慶応義塾創
立150年記念 12.3―12.13 慶応
義塾大学東館展示スペース
遊竹 12.21―2.1 岐阜県博物館
優美なる百花繚乱の世界―表現され
た植物を見る― 10.3―11.24
広島県立歴史民俗資料館

郵便がつなぐ美術 コレクションに
よるテーマ展 XI 11.15―1.25
うらわ美術館
ゆかいな木版画―その柔らかな微笑
み 5.17―6.29 府中市美術館
夢の饗宴 歴史を彩るメニュー×現
代のアーティストたち 6.24―
8.6 資生堂ギャラリー
産経 7.10 黒澤綾子

(ヨ)

妖怪絵本―もののけ・お化けの世界
― 7.24―9.28 名古屋市蓬左文
庫
妖怪大集合!! 開館 10 周年記念
7.19―8.31 南丹市立文化博物館
ヨーロッパ・アジア・パシフィック
建築の新潮流 2008―2010 12.5
―12.21 ヒルサイドフォーラム
朝日夕刊 12.17 大西若人
ヨーロッパ絵画展―バロックから近
代へ―ある日本人蒐集家の秘蔵コ
レクション公開 10.18―12.23
岩手県立美術館
ヨーロッパ絵画名作展〜ロ可可から
コローとパルビゾン派の画家たち
〜山寺 後藤美術館所蔵 3.6―
3.24 大丸ミュージアム(東京)
ヨーロッパの近代工芸とデザイン―
アール・デコを中心に 5.20―
7.6 東京国立近代美術館工芸館
横浜浮世絵にみる横浜開港と文明開
化 7.31―8.31 そごう美術館
横浜市民ギャラリーコレクション展
2008 小さな旅 2.27―3.23
横浜市民ギャラリー
横浜・東京―明治の輸出陶磁器
4.26―6.22 神奈川県立歴史博物
館
陶説 665 外館和子
横浜トリエンナーレ 2008 TIME
CREVASSE 9.13―11.30 新港
ピア／日本郵船海岸倉庫(Bank-
ART Studio NYK)／横浜赤レンガ
倉庫 1 号館／三溪園／大さん橋国
際客船ターミナル／ランドマーク
プラザ／運河パーク他
AXIS 137 暮沢剛巳
新美術新聞 1167 三田晴夫

STUDIO VOICE 395 嘉藤笑子
／新川貴詩
美術手帖 907 編集部
美術手帖 911 編集部
美術手帖 915 松井みどり
朝日夕刊 9.9 帯金章郎
朝日夕刊 9.17 秋山亮太
産経 10.25 今村信博
日経夕刊 9.29 白木緑
毎日夕刊 4.9 三田晴夫
毎日夕刊 9.18 岸桂子
読売 7.3
読売 9.25 高野清見
横山大観と院展の同人たち 8.31―
11.30 足立美術館
吉野ヶ里遺跡 10.11―11.24 松山
市考古館
吉野ヶ里遺跡と古代韓半島―2000
年の時空を越えて―日韓特別企画
展 1.1―2.11 佐賀県立美術館
4人が創る「わたしの美術館」展 茂
木健一郎・はな・角田光代・荒木
経惟 とっておきの横浜美術館コ
レクション 6.20―8.17 横浜美
術館
アート・トップ 223 (山)
新美術新聞 1156 八柳サエ
朝日 7.20 古賀太
毎日夕刊 8.4 岸桂子
四人展―それぞれの人物像―齋藤永
良・佐藤功・中畔千嘉・横山哲則
9.15―9.20 銀座スルガ台画廊
よみがえる黄金文明 21世紀の大
発見〜ブルガリアに眠る古代トラ
キアの秘宝〜 9.13―11.7 北海
道立近代美術館(石川県立美術
館、新潟伊勢丹アートホール、大
丸ミュージアム(東京)、広島県立
美術館、静岡県立美術館、福岡市
博物館)
甦る海外の子どもたちの絵 久保貞
次郎コレクション展 12.10―
12.25 CCAAアートプラザ
読売 12.21 山内健
よみがえる裂―もったいない時代の
布たち― 10.24―12.7 たつの
市立龍野歴史文化資料館
よみがえる時―春日懐紙を中心に―
5.26―6.20 国文学研究資料館

甦る美術館 4.26—6.22 群馬県立
近代美術館
芸術新潮 703
新美術新聞 1152 染谷滋
毎日夕刊 5.12 岸桂子

よみがえる幻の染色 出雲藍板締め
の世界とその系譜 3.7—5.18
島根県立古代出雲歴史博物館

甦る琉球王国の輝き 中国・北京故
宮博物院秘蔵 沖縄県立博物館・
美術館開館1周年記念 11.1—
12.21 沖縄県立博物館・美術館
日経 12.19

四大浮世絵師展 中右コレクション
4.24—5.12 大丸ミュージアム
(東京)
毎日 4.23 岸桂子

四大嗜好品にみる嗜みの文化史 た
ばこと塩の博物館開館30周年記
念 9.10—10.17 たばこと塩の
博物館

(ラ)

ライト・[イン]サイト—拡張する
光、変容する知覚 12.6—2.28
NTTインターコミュニケーション
センター[ICC]
ART iT 23 坂根巖夫
STUDIO VOICE 398 山辺冷

ラップ・ザ・セタガヤ—世田谷の包
み紙展 4.10—4.30 世田谷文化
生活情報センター生活工房
毎日 4.11 澤圭一郎

乱世から治世へ—後水尾天皇と泉涌
寺復興 5.27—9.28 泉涌寺心照
殿

乱世に願う—県北の戦国文化—
4.18—6.8 広島県立歴史民俗資
料館

蘭亭序 3.1—5.6 台東区立書道博
物館
日経 3.13 竹田博志
毎日夕刊 4.7 桐山正寿

蘭亭序 3.4—5.6 東京国立博物館
日経 3.13 竹田博志
毎日夕刊 4.7 桐山正寿

(リ)

リカレント・インテグレーション展

3回 2.18—2.23 人形町VI-
SION'S

Resonance(リゾナンス)—共振す
る感覚 静岡県立美術館収蔵品展
10.28—12.26 静岡県立美術館

良寛、亀田鵬斎、小林一茶、そして
不折。中村不折コレクション
7.23—10.5 台東区立書道博物館

良寛生誕250周年記念遺墨展 11.1
—11.12 新宿住友ビル
毎日 10.28 真野森作

両洋の眼 2008 2.12—2.17 三越
(日本橋)(天童市美術館、尼崎市
総合文化センター、河口湖美術
館)

涼を求めて—染付磁器の魅力—
6.21—9.15 茶道資料館

琳派展11 花の協奏曲 11.8—2.8
細見美術館

琳派から日本画へ—宗達・抱一・御
舟・観山— 11.8—12.25 山種
美術館
読売夕刊 12.9 櫛淵豊子

(ル)

ルーヴル美術館展—フランス宮廷の
美— 1.24—4.6 東京都美術館
(神戸市立博物館)

芸術新潮 699

新美術新聞 1144 真室佳武

朝日 1.23 秋山亮太

朝日 2.16 岡田健治郎

朝日夕刊 3.6 草刈大介

(レ)

歴史への誘い—武士・信仰・民衆—
11.29—2.1 岡崎市美術博物館

レンズの記憶—杉並、あの時、あの
場所— 4.1—4.8 杉並区役所
毎日 4.4 真野森作

(ロ)

ログズギャラリー 827 DRIVES
1.12—2.2 ノマル・プロジェク
トスペースcube & loft

美術手帖 905 小吹隆文

六耀会4回 6.16—6.21 銀座ス
ルガ画廊

ロココからバルビゾン派へ 開館

10周年記念 山寺後藤美術館所
蔵ヨーロッパ絵画名作展 7.1—
8.31 大分市美術館

ロシア絵画の黄金時代 サンクトペ
テルブルク ロシア国立美術館展
1.24—3.23 東京富士美術館
産経 1.22

ロボット大図鑑 2008 未来のくら
しが見えてくる! 7.19—8.31
明石市立文化博物館

(ワ)

わがまちのたからもの 徳島市の指
定文化財 4.15—6.15 徳島市立
徳島城博物館

輪島の漆芸作家たち 入選作品展
14回 10.23—1.12 石川県輪島
漆芸美術館

忘れえぬ美術家たち 10.4—10.12
ギャラリーKANI
毎日 10.3 井崎憲

和装の美 5.13—8.3 鹿児島県歴
史資料センター黎明館

わたしいまめまいしたわ 現代美術
にみる自己と他者 Self/Other
1.18—3.9 東京国立近代美術館
朝日夕刊 1.23 大西若人
産経 1.27 黒沢綾子

wanakio 2008 まちの中のアート展
11.15—11.30 沖縄県那覇市市内
各所
日経 12.7 小川敦生

『和』の空間—中世の座敷と技術—
7.25—9.7 福井県立—乗谷朝倉
氏遺跡資料館

101 TOKYO Contemporary Art Fair
2008 4.3—4.6 旧練成中学校
芸術新潮 702

作家展

(ア)

ダレン・アーモンド個展 11.14—
12.20 SCAI THE BATHHOUSE
芸術新潮 709
日経 12.17

相笠昌義展—日常生活—1957—2008
11.12—11.27 多摩美術大学美術
館

会田誠展 『ワイはミヅマの岩鬼じやーい!!』 9.3—10.4 ミヅマアートギャラリー
芸術新潮 707

少女マンガ3人展〜もののせきより愛をこめて〜水野英子・青池保子・文月今日子 7.10—8.3 下関市立美術館

青木鮎美 硝子&木炭 小池美紀 二人展 7.29—8.3 朝日アートギャラリー
美術運動 136 佐藤勤

福田たね 青木繁のロマン 芳賀町総合情報館開館記念 10.3—11.23 芳賀町総合情報館

「海の幸」青木繁と久留米の美術 石橋美術館所蔵名品展 久留米藩士入植130周年記念 11.1—12.14 郡山市立美術館

建築がうまれるとき ペーター・メルクリと青木淳 6.3—8.3 東京国立近代美術館
美術手帖 911 藤村龍至

青木伸一展 10.20—10.25 銀座スルガ台画廊

青木野枝展 1.15—2.2 ギャラリー21+葉
朝日夕刊 1.30 田中三蔵
毎日夕刊 1.29

青木野枝「積雲」 1.18—2.9 ギャラリー・ハシモト
朝日夕刊 1.30 田中三蔵

青木野枝展 1.18—2.9 space355
毎日夕刊 1.29

No potato of name 1 floor 2008 [青田真也] 8.23—9.7 神戸アートビレージセンター

ニューアートシーンインいわき 青山ひろゆき展 7.19—8.31 いわき市立美術館

赤塚一三 一透写された時間— 11.28—12.6 名古屋画廊(名古屋)

郷土作家シリーズIX 書の泰斗 赤星藍城 そして秋田書壇の今生誕150年 1.1—3.2 秋田県立近代美術館
ARK 54 小笠原光

秋野不矩展 生誕100年記念 6.7

—6.29 浜松市秋野不矩美術館(京都国立近代美術館、神奈川県立近代美術館(葉山))
毎日 6.6 岸桂子

秋野不矩展 創造の小径 7.31—9.7 浜松市秋野不矩美術館
Shinobu Akimoto : Better Living and Other Projects[秋元しのぶ] 1.18—3.20 カナダ大使館高円宮記念ギャラリー
美術手帖 906 弘中智子

秋山正仁展 10.13—10.18 ギャラリーIK

秋山陽展 1.7—1.26 村松画廊
陶説 660 外館和子
毎日夕刊 1.15 三田晴夫

モノクローム 秋山陽+北村純子 10.17—10.19 ギャラリーこちゅうきょ

浅川英郎写真展 O2O2 11.1—11.29 ギャラリー冬青
産経 11.3 海老沢類

麻田浩展 7.19—10.13 東京オペラシティアートギャラリー
朝日夕刊 10.1 大西若人

浅田政志写真展 浅田家 7.9—7.22 銀座ニコソロン
芸術新潮 705
日経 7.19

やさしさのかたち 味戸ケイコ絵本原画展 7.5—9.28 K美術館
美術手帖 918 榎木野衣

岐阜県二人展—松本竣介・麻生三郎 2.2—3.16 美濃加茂市民ミュージアム

与勇輝〜また、あなたに会える〜 9.27—10.13 今井美術館

四谷歌舞伎人形座展 安達忠良・高橋操二人展 10.13—10.24 GALLERY 晩紅舎
毎日 10.1 吉永磨美

フロリーヌ・アッシュ展 10.7—10.20 プランタン銀座
読売 10.16
読売夕刊 10.9 永峰好美

Focus 2 エイヤ＝リーサ・アハティラ展 2.3—3.23 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
STUDIO VOICE 387 原久子

阿部英幸展 2.18—2.23 ギャラリー21+葉

阿部ひろ子 ほのぼの和紙絵画と童話の世界展 5.14—5.19 ギャラリーパレス
毎日 5.14 前谷宏

TEAM13 雨宮庸介 「ムチウチニユーロン」 6.28—8.31 トーキョーワンダーサイト渋谷
STUDIO VOICE 392 坂口千秋
「re-presentation」 大島洋・新井克英写真展 6.14—6.29 photographer's gallery+IKAZUCHI
芸術新潮 704
美術手帖 912 榎木野衣

荒川修作 60年代立体作品展 1961年無土画廊個展出品作 2.2—3.15 ギャラリー・アートアンリミテッド
芸術新潮 700
朝日夕刊 3.5 田中三蔵
毎日 3.12 三田晴夫

人間国宝 荒川豊蔵展 4.19—6.22 茨城県陶芸美術館

荒木郁代 西アジア細密画作品展 8.25—8.29 イラン・イスラーム共和国大使館
毎日 8.25 清水健二

荒木幸史 秋桜の世界 「ありがとう」—描きつづけて35周年 9.4—9.18 大丸(東京)

荒木実展 彫刻・オブジェ 7.27—8.1 Art Box Gallery

アルマンド Zeichnungen 1950s 11.4—11.28 横田茂ギャラリー
「KATSURO YOSHIDA Installation 1969—1970」吉田克朗・安齋重男「eyewitness」大辻清司 2.12—2.29 横田茂ギャラリー

安西水丸・和田誠個展 「AD—LIB」 5.7—5.17 SPACE YUI
毎日夕刊 5.12 若狭毅

安藤郁子「夜の野原・点在する光」 12.6—12.23 Gallery Jin
陶説 671 唐澤昌宏

安藤忠雄建築展[挑戦—原点から—] 10.3—12.20 ギャラリー・間
産経 10.12 堀晃和
毎日夕刊 11.13 岸桂子

読売 11.6 高野清見
 安藤宏子展 日本の色・藍・茜・紫
 と木綿の花嫁衣装 7.5—7.15
 ミキモトホール
 毎日 7.4 川久保美紀
 ブラジル×日本 旅が結ぶアート
 兵庫県立美術館+オスカー・ニー
 マイヤー美術館交流展[ジョゼ・
 アントニオ] 11.1—12.7 兵庫
 県立美術館
 安野光雅 絵本 三国志展〜中国、
 悠久の大地を行く〜 5.8—5.19
 高島屋(日本橋)
 毎日夕刊 5.8 佐藤由紀

(イ)

飯泉俊夫絵画展一時の風景— 7.19
 —9.15 しもだて美術館
 新美術新聞 1157 大木綾子
 ふるさと徳島の面影—飯原一夫絵画
 展 8.22—9.23 徳島市立徳島城
 博物館
 レスポワール展42回 2008年新人
 選抜 飯間智美個展 2.4—2.9
 銀座スルガ台画廊
 チャールズ・イームズ写真展 100
 images×100 words—偉大なるデ
 ザイナーのメッセージ 5.20—
 6.8 AXISギャラリー
 AXIS 134 山本玲子
 朝日夕刊 6.4 西岡一正
 百花譜の世界 山野に咲く花々—五
 百城文哉の「高山植物写生図」
 2.9—3.23 水戸市立博物館(小杉
 放菴記念日光美術館)
 五十嵐彰雄/新作展 9.1—9.27
 GALLERY TERASHITA
 生田宏司新作銅版画展 9.20—10.6
 GALLERY TACT
 毎日 9.17 真野森作
 井口文秀「童画の世界」—生誕100年
 回顧展・子供たちへの熱いメッセ
 ージ— 12.7—12.13 井上画廊
 読売 11.30
 池口史子展—静寂の次— 10.7—
 11.24 渋谷区立松涛美術館
 新美術新聞 1164 瀧梯三
 朝日夕刊 11.19
 日経 11.12 竹田博志

毎日夕刊 11.4 岸桂子
 漆、新しき経験 池田巖1960—2008
 10.4—11.24 菊池寛実記念智美
 美術館
 池田満寿夫—知られざる全貌展
 1.26—3.23 東京オペラシティア
 ートギャラリー(千葉市美術館、
 いわき市立美術館、広島市現代美
 術館、南アルプス市立春仙美術
 館)
 朝日夕刊 2.20 秋山亮太
 東京 3.1 内田真由美
 日経 3.6 宝玉正彦
 毎日 1.25、3.5、16 浜田重幸
 毎日夕刊 3.3 手塚さや香
 池田美弥子展 6.11—6.18 柴田悦
 子画廊
 池田遙邨展 没後20年 3.1—5.18
 海の見える杜美術館(倉敷市立美
 術館、東大阪市民美術センター)
 池田亮司「datamatics」 3.1—5.25
 山口情報芸術センター
 STUDIO VOICE 388 原久子
 永遠のベルサイユのばら展 池田理
 代子 7.29—8.3 三越(日本橋)
 池松江美(a.k.a 辛酸なめ子)展
 「セレブ 犯罪 トリップ」 4.11
 —5.31 無人島プロダクション
 読売夕刊 5.10 (清)
 伊砂利彦 志村ふくみ 二人展—染
 める、織る 最前線— 10.11—
 11.24 福島県立美術館
 伊崎圭展 7.21—7.26 銀座スルガ
 台画廊
 石内都展 ひろしま Strings of Time
 6.28—8.10 広島市現代美術館
 美術手帖 912 土屋誠一
 毎日夕刊 7.29 手塚さや香
 石内都展 ひろしま/ヨコスカ
 11.15—1.11 目黒区美術館
 朝日 11.27 小石勝朗
 朝日夕刊 12.3 大西若人
 毎日夕刊 12.9 岸桂子
 読売 12.25 前田恭二
 石踊達哉 日本画展 画集刊行記念
 5.13—5.19 三越(日本橋)
 美術の窓 296 一井建二
 石川雲鶴の書 4.5—5.25 田原市
 博物館

平成20年美術展覧会(作ア、イ)

石川九楊初期作品展 10.10—10.19
 いのは画廊
 石川九楊源氏物語五十五帖展 源氏
 物語千年紀記念事業 10.21—
 11.9 京都府京都文化博物館
 美術手帖 917 清水穰
 日経 11.7
 石川恭子「from my tickets」展 4.11
 —5.2 gallery.sora.
 美術手帖 909 市原研太郎
 石川直樹展—VERNACULAR 世界
 の片隅から— 5.1—5.28 INAX
 ギャラリー2
 石川順恵展 9.8—10.4 南天子画
 廊
 日経 10.1 宝玉正彦
 静かなる煌めき 石田亘・征希・知
 史 パート・ド・ヴェール作品展
 西洋で生まれた技法と和の美意識
 —新たなガラスの美 11.1—
 12.21 大阪府立弥生文化博物館
 石田尚志展 海の壁—生成する庭
 1.12—1.31 ギャラリー16
 美術手帖 905 小吹隆文
 石田徹也—僕たちの自画像—展
 11.9—12.28 練馬区立美術館
 毎日夕刊 12.2 岸桂子
 読売 11.20 高野清見
 石本正 女神たちに魅かれて 1.2
 —3.16 石正美術館
 石本正の旅 真の美を求める—私の
 旅は終わらない 3.20—6.22 石
 正美術館
 心で描いた日本画展 石本正米寿記
 念 4.12—5.25 浜松市美術館
 (一畑百貨店、ギャラリー・オー
 プ、石正美術館)
 日経 5.16 宝玉正彦
 石本正 生命を歌う 6.28—9.28
 石正美術館
 建築がみる夢 石山修武と12の物
 語展 6.28—8.17 世田谷美術館
 STUDIO VOICE 393 金剛地武
 志/渡部千春
 朝日夕刊 7.23 大西若人
 毎日 6.28 前谷宏
 毎日夕刊 7.9 鈴木博之
 読売 7.31 高野清見
 マイ・アートフル・ライフ—描くこ

とのよろこびー[石山朔] 4.26—
 5.25 川口市立アートギャラリー
 ・アトリア
 ART iT 20 福住廉
 居城純子展 4.8—5.9 第一生命南
 ギャラリー
 朝日夕刊 4.23 大西若人
 泉太郎 マジシャンのパン・日食
 9.6—9.27 hiromi yoshii
 美術手帖 916 松井みどり
 異表展 出水徹 柏木喜久子 松岡
 眞 12.1—12.6 銀座スルガ台画
 廊
 備前 — 伊勢崎晃一郎展 10.18—
 10.23 黒田陶苑
 陶説 669 唐澤昌宏
 磯崎新 七つの美術空間 リニュー
 アル・オープン記念 4.26—6.22
 群馬県立近代美術館
 新美術新聞 1152 染谷滋
 読売 6.5 高野清見
 板垣真理子写真展「African Beauty」
 3.17—4.16 オープンギャラリー
 産経 3.24 酒井潤
 板川真梨子個展 noimage 3.17—
 3.23 人形町VISION'S
 アート・ビジョン vol.7 イチハラ
 ヒロコ LOVEおまへのせいだ
 7.9—9.9 成羽町美術館
 —ダダカン—鬼放展[糸井貫二]
 9.8—9.20 銀座ギャラリー ア
 ーチストスペース
 美術手帖 916 榎木野衣
 —ダダカン—鬼放展[糸井貫二]
 9.14—9.27 ギャラリー Para
 GLOBE
 美術手帖 916 榎木野衣
 伊藤彬展—モノクロームによる現代
 の表現— 9.27—11.9 平塚市美
 術館
 朝日夕刊 10.15 田中三蔵
 伊藤慶二展 8.2—8.17 ギャルリ
 ももぐさ
 陶説 668 柴辻政彦
 2007コレクション展3 伊藤研之
 と福岡の洋画家たち 生誕100年
 1.22—4.6 福岡県立美術館
 悠久の空間 伊藤隆道・大野廣子
 11.21—11.29 土火現代美術[DO-

KA Contemporary Arts]
 伊藤時男写真展 断章 6.18—7.16
 ウナックサロン
 稲垣謙助展 6.16—6.21 ギャラリ
 ー21+葉
 稲崎栄利子展—Astrophyllite—
 11.24—11.29 ギャルリ・ブス
 陶説 671 森孝一
 稲葉寛乃展 5.12—5.17 Gallery-
 58
 アート・トップ 222 (山)
 乾露予・清水真奈 二人展 12.15
 —12.20 銀座スルガ台画廊
 犬塚勉展 4.1—6.29 奥多摩町立
 せせらぎの里美術館
 毎日 4.3 川崎桂吾
 井上雄彦 最後のマンガ展 5.24—
 7.6 上野の森美術館
 朝日 5.29 秋山亮太
 産経 6.25 堀晃和
 東京 7.5 児島やよい
 井上俊郎自選展 10.28—11.2 東
 京セントラル美術館
 新美術新聞 1166 林紀一郎
 井上有一「自画像」+「書業」展 6.7
 —7.27 梅野記念絵画館
 朝日夕刊 7.16 宮代栄一
 日経 7.9 竹田博志
 毎日 6.25 岸桂子
 伊庭靖子展 5.19—6.28 ベイスギ
 ャラリー
 朝日夕刊 5.28 大西若人
 ファブリス・イペール たねを育て
 る展 4.26—8.31 ワタリウム美
 術館
 STUDIO VOICE 390 松井みど
 り
 朝日夕刊 7.2 古賀太
 産経 5.29 渋谷和彦
 読売 7.15
 読売夕刊 8.5 森亜希子
 今井信吾展—あざなえる色と形—
 12.3—12.18 多摩美術大学美術
 館
 今井麗展 6.23—6.28 井上画廊
 今里隆 建築作品写真展 日本、そ
 してその美しさ 4.21—4.30 吉
 井画廊
 新美術新聞 1150 村野藤吾

朝日夕刊 4.16
 今道松久展 11.24—11.29 銀座ス
 ルガ台画廊
 「名取洋之助写真賞」受賞作品展3回
 [今村拓馬] 1.25—1.31 富士フ
 イルムフォトサロン
 読売 1.18 池谷美帆
 今森光彦写真展 昆虫 4億年の旅
 進化の森へようこそ 7.5—8.17
 東京都写真美術館
 毎日夕刊 8.7 飯沢耕太郎
 今森光彦写真展 未来におくる美し
 い自然 8.14—9.1 大丸ミュー
 ジアム(東京)
 入江観展 5.30—6.7 日動画廊
 新美術新聞 1152 笠井誠一
 岩井敏写真展 マスケラの夢—ヴェ
 ネツィア— 2.10—3.16 渋谷区
 立松涛美術館
 岩合光昭写真展 パンダの季節
 5.24—7.6 府中市郷土の森博物
 館
 毎日 5.14 内橋寿明
 ちひろと俳句[いわさきちひろ]
 5.14—7.13 ちひろ美術館(東京)
 ちひろと世界の絵本画家たち—技法
 のひみつ— 7.16—9.28 ちひろ
 美術館(東京)
 ちひろと水墨 ちひろ生誕90年記
 念 12.3—1.31 ちひろ美術館
 (東京)
 岩澤蕙堂 遺作展 2.12—2.17 東
 京セントラル美術館
 岩瀬広隆—知られざる紀州の大和絵
 師— 10.18—11.24 和歌山市立
 博物館
 岩永忠すけ展 4.13—5.5 T & S
 GALLERY
 美術手帖 908 成相肇
 岩本和子展—冥漠— 5.19—5.24
 銀座スルガ台画廊

(ウ)

アピチャップン・ウィーラセタクン
 「Replicas」 1.9—1.26 SCAI
 THE BATHHOUSE
 STUDIO VOICE 386 坂口千秋
 上野茂都展—大理石・砂岩による新
 作— 2.18—3.1 藍画廊

毎日夕刊 2.25 三田晴夫
 上前智祐展〜具体美術 その後〜
 5.9—5.17 土火現代美術[DOKA Contemporary Arts]
 点と面の詩情—上前智祐・山中嘉一・坪田政彦展 9.13—10.26 和歌山県立近代美術館
 鳥に詠い花に遊ぶ〜松篁・淳之の目指した世界〜[上村淳之／上村松篁] 1.5—2.3 松伯美術館
 上村淳之展 パリ・三越エトワール帰国記念 3.4—3.16 三越(日本橋)
 新美術新聞 1145 藤慶之
 読売 3.6 木村未来
 花鳥画に託す 生命のぬくもり 収蔵作品展Ⅰ[上村淳之／上村松園／上村松篁] 6.11—7.27 松伯美術館
 蘇る記憶〜下絵に残された真実〜 収蔵作品展Ⅱ[上村淳之／上村松園／上村松篁] 8.5—9.28 松伯美術館
 上村松園・松篁・淳之展—いのちの煌き、美人画と花鳥画— 10.4—11.16 豊橋市美術館
 上村松園の世界展—至高の女性美— 6.21—7.21 北野美術館
 新美術新聞 1156 中村肇
 上村松篁展 松伯美術館所蔵 2.29—3.24 そごう美術館
 革新者たちの挑戦〜よき人よき友 松篁の見つめた人々〜 10.12—11.30 松伯美術館
 “共生のこころ”展〜地球を守り、共に助け合い、学びを考えよう〜 [リサ・ヴォート] 6.20—6.22 新宿駅西口広場イベントコーナー
 毎日 5.28 真野森作
 ウィリアム・メレル・ヴォーリズ 2.9—3.30 滋賀県立近代美術館
 牛嶋均展 人智の研究 ver. 6 遊具—武器—遊具 10.3—11.24 島根県立石見美術館
 一勇斎国芳画「木曾街道六十九次之内」[歌川国芳] 9.30—12.28 日本浮世絵博物館
 広重の風景版画展 広重が愛した日本の情景 没後150年記念 7.19

—8.17 山口県立萩美術館・浦上記念館
 艶●源氏 和紙塑像家・内海清美—和紙人形による源氏物語の世界 源氏物語千年紀記念 8.27—9.7 高島屋(新宿)(高島屋(京都)、高島屋(大阪)、高島屋(横浜))
 宇野亜喜良 Papier colle 10.3—11.1 MA2 Gallery
 毎日 10.8 岸桂子
 卯野木憲二展 ヴィクトリア朝〜モダン前夜の椅子達 9.5—9.13 ときの忘れもの
 御用絵師梅田九栄と俳諧—芭蕉の教えを守った男— 9.20—11.3 石川県立歴史博物館
 クリテリウム73 梅田哲也 7.19—8.24 水戸芸術館現代美術ギャラリー
 美術手帖 913 遠藤水城
 POST GRADUATION [梅津庸一] 3.29—5.2 アラタニウラノ
 芸術新潮 702
 東京 4.5 内田真由美
 読売夕刊 4.26 (清)
 梅原・安井・須田展—京都が生んだ三巨匠—[梅原龍三郎] 9.10—12.15 上原近代美術館
 ウラサキミキオ 3.31—4.5 ギャラリーK
 「きつつき」木彫二人展[浦部裕光] 6.16—6.21 ガレリアグラフィカbis
 アート・トップ 223 (根)
 モーリス・ド・ヴラマンク展 没後50年 4.19—6.29 損保ジャパン東郷青児美術館(大分県立芸術会館、鹿児島市立美術館)
 エミリー・ウングワレー展—アポリジニが生んだ天才画家 2.26—4.13 国立国際美術館
 美術手帖 908 川田都樹子
 読売 4.10 菅原教夫
 エミリー・ウングワレー展—アポリジニが生んだ天才画家 5.28—7.28 国立新美術館
 新美術新聞 1155 西野華子
 朝日夕刊 6.25 大西若人
 東京 6.7 児島やよい

毎日夕刊 6.10 岸桂子
 読売 7.1 菅原教夫

(エ)

THE ART OF CRAIGIE AITCHISON クレイギー・エイチソン展 4.11—6.1 Paul Smith SPACE GALLERY
 STUDIO VOICE 390 児島やよい
 オーレ・エクセル展 “デザインって何?” 5.31—6.15 コレックススピークフォー
 産経 6.8 渡部千春
 安村崇／江口悟「Things in a place」 12.15—1.18 MISAKO & ROSEN
 朝日夕刊 12.24 大西若人
 江口週展 間の作法 3.4—4.16 ギャラリーA4
 朝日夕刊 4.9 田中三蔵
 永下山由香展 2.2—2.10 art & design rin
 美術手帖 906 田中由紀子
 エッシャー展 永遠なる迷宮 ハウステンボス美術館所蔵 8.1—9.23 佐倉市立美術館
 ベルンハルト・エドマイヤー写真展「GEOSCAPE」 3.5—3.21 コニカミノルタプラザ
 読売 3.12
 ベンジャミン・エドワーズ展 デモクラシティー 6.21—7.12 小山登美夫ギャラリー
 芸術新潮 704
 海老塚耕一展 9.22—10.4 養清堂画廊
 遠藤彰子の世界展—満ちゆく生命— 10.2—1.6 池田20世紀美術館
 新美術新聞 1165 林紀一郎
 毎日夕刊 11.4 岸桂子

(オ)

大岩オスカル 夢みる世界 4.29—7.6 東京都現代美術館(福島県立美術館)
 アート・トップ 222 (玉)
 新美術新聞 1154 鎮西芳美
 美術手帖 911 榎木野衣
 朝日夕刊 5.28 古賀太

朝日夕刊 6.18 大西若人
日経 6.25 宝玉正彦
毎日夕刊 5.20 岸桂子
大木裕之「21世紀の思想哲学」の前夜祭—フィクション3 10.4—11.8 アラタニウラノ
朝日夕刊 10.15 古賀太
大窪詩佛展 江戸民間書画美術館
渥美コレクション 3.20—5.6 日田市郷土博物館
公募京都芸術センター2008 大崎のぶゆき「Meltdown」 宮永愛子「漕法」 2.8—2.26 京都芸術センター
美術手帖 906 小吹隆文
なつかしの風景 大下藤次郎の水彩画 開館3周年記念 10.10—12.1 島根県立石見美術館
「re-presentation」 大島洋・新井克英写真展 6.14—6.29 photographer's gallery+IKAZUCHI 芸術新潮 704
美術手帖 912 榎木野衣
蜀山人 大田南畝—大江戸マルチ文化人交遊録— 5.1—6.26 太田記念美術館
「KATSURO YOSHIDA Installation 1969—1970」吉田克朗・安齋重男「eyewitness」大辻清司 2.12—2.29 横田茂ギャラリー
大西成明写真展「ロマンティック・リハビリテーション」 10.22—11.30 エブソンイメージングギャラリーエブサイト
産経 10.27 堀晃和
大西伸明展—無明の輪郭— 3.3—3.29 INAXギャラリー2 芸術新潮 701
朝日夕刊 3.12 大西若人
悠久の空間 伊藤隆道・大野廣子 11.21—11.29 土火現代美術[DO-KA Contemporary Arts]
大庭英治展 12.17—12.23 高島屋(日本橋)
大橋翠石—日本一の虎の画家—田原市博物館開館15周年記念 10.4—11.9 田原市博物館(大垣市スイトピアセンター)
大村廣陽展 豊かな花鳥動物画 没

後25年 12.20—3.8 ふくやま美術館
大村次郷ユーラシア写真図鑑〈いっぶくの情景〉嗜好文化探訪の旅 たびこと塩の博物館開館30周年記念 5.17—7.6 たびこと塩の博物館
大村連 遺作展とその周辺作家展 4.8—4.13 埼玉県立近代美術館
岡庭之助展 4.26—7.6 プリデストン美術館
アート・トップ 222 (玉)
新美術新聞 1150 貝塚健
日経 5.21 竹田博志
毎日夕刊 6.11 岸桂子
読売 5.8 前田恭二
読売夕刊 6.3 貝塚健
岡崎紀展—ある風景 時・風— 1960—2008 6.1—6.15 多摩美術大学美術館
岡崎乾二郎展 painting 10.14—11.11 南天子画廊
朝日夕刊 10.29 大西若人
小笠原美環「ひとりごと」 10.3—11.8 SCAI THE BATHHOUSE
毎日夕刊 10.21 岸桂子
読売夕刊 10.18 (清)
建築家岡田新一と岡山県立美術館 20年 岡山県立美術館開館20周年記念 4.15—5.18 岡山県立美術館
岡野薫子の世界—子ども時代は今につづいて— 4.26—6.1 田原市渥美郷土資料館
Touching A—bombed Tree in Hiroshima ユジェン・パフチャル×岡部昌生「被爆樹に触れて」 8.11—8.24 トキ・アートスペース
毎日夕刊 8.19 岸桂子
岡村桂三郎展 3.10—3.22 コパヤン画廊
美術手帖 907 北澤憲昭
毎日夕刊 3.18 三田晴夫
岡村桂三郎展 9.13—11.24 神奈川県立近代美術館(鎌倉)
新美術新聞 1163 橋秀文
朝日夕刊 10.15 田中三蔵
毎日夕刊 11.11 岸桂子
読売夕刊 11.15 (前)

現われの空間 vol.3 岡村陽子展 9.24—10.11 ASK? art space kimura
岡本敦生展 6.9—6.28 ギャラリー—山口/ギャラリー東京ユマニテ 毎日夕刊 6.23 岸桂子
岡本作礼展—唐津— 3.1—3.6 黒田陶苑
陶説 662 森孝一
個展 唐津 岡本作礼展 10.21—10.26 野村美術館
陶説 670 梅田稔
岡本神草「拳の舞妓」への軌跡展 6.14—7.12 星野画廊(京都)
朝日夕刊 7.9 池田洋一郎
岡本太郎 立体に挑む—造形のなごにせまる— 4.19—7.6 川崎市岡本太郎美術館
朝日 5.13 田中三蔵
『太陽の塔—万国博に賭けたもの』岡本太郎記念館開館10周年記念 4.23—8.31 岡本太郎記念館
朝日 5.13 田中三蔵
日経 5.1
岡本太郎が見た韓国 1964・1977 7.19—9.28 川崎市岡本太郎美術館
岡本太郎の「遊ぶ字」 12.3—2.22 岡本太郎記念館
書道界 231 (啓)
岡本守弘個展 大きくなった自然 2008 6.9—6.14 銀座スルガ台画廊
—色場の形成—狭間の物体〜[小河朋司] 1.10—1.26 ギャラリー—なつか
毎日夕刊 1.22 三田晴夫
小川絃江 日本画展—繫ぐ— 3.3—3.8 人形町VISION'S
小川待子展 5.26—6.7 阿曾美術
陶説 664 唐澤昌宏
碌山 愛と美に生きる—新宿角管時代—[荻原守衛] 7.26—9.7 碌山美術館
奥秋由美展「動物たちの形而上」 9.20—9.28 ギャラリー上原
東京 9.21 野呂法夫
奥田小由女展—愛の飛翔— 2.13—2.19 高島屋(日本橋)

新美術新聞 1143 加藤貞雄
奥谷博展—法外な絵画— 6.7—
7.21 茨城県近代美術館
日経 6.18 竹田博志
毎日 7.9 岸桂子
奥谷博展—生の極— 11.18—11.24
三越(日本橋)
新美術新聞 1168 宝木範義
奥原しんこ「眠る人」 4.11—5.17
SCAI THE BATHHOUSE
朝日夕刊 4.30 田中三蔵
百寿を超えて 奥村土牛・小倉遊亀
・片岡球子 9.13—11.3 山種美
術館
奥村雄樹「アイミー・マイン」 1.16
—2.17 MISAKO & ROSEN
朝日夕刊 2.6 大西若人
小倉健作陶展 自然と造形 1970
—2008 5.17—6.15 明石市立
文化博物館
風景の旅人 刑部人 開館5周年記
念 10.12—11.30 とちぎ蔵の街
美術館
押江千衣子 In the Forest 5.13—
6.14 西村画廊
芸術新潮 703
朝日夕刊 5.28 大西若人
描かれた影の記憶 小野隆生展 イ
タリアでの活動30年 6.26—9.30
池田20世紀美術館
朝日夕刊 9.17 古賀太
小野隆生新作展 2008 9.19—10.4
ときの忘れもの
オノ・ヨーコ『BELL OF PEACE
平和の鐘』展 開学10周年記念国
際展覧会 10.20—1.25 学習院
女子大学キャンパス
朝日夕刊 11.5
毎日 12.5 合田月美
毎日夕刊 11.4
読売 12.11 高野清見
小野里浩二展 絵と音 2008 10.20
—10.25 ギャラリー21+葉
『12速度』—森の中のタギング。矢
印の方へ。— [オノデラユキ]
9.2—9.27 ツァイト・フォト・
サロン
読売夕刊 9.6 (前)
ジュリアン・オピエ 7.19—10.5

水戸芸術館現代美術ギャラリー
STUDIO VOICE 393 楠見清
美術手帖 913 斎藤環
朝日夕刊 9.3 大西若人
日経 8.7
読売 7.24 高野清見
サスキア・オールドウオーバース
4.25—5.31 オオタファインアー
ツ
美術手帖 909 小谷元彦
サスキア・オールドウオーバース
4.25—7.13 森美術館
芸術新潮 703
美術手帖 909 小谷元彦
The BAR vol.2 ドナ・オンとティ
アゴ・ホシャ・ピッタ 6.14—
6.28 SCAI×SCAI
美術手帖 912 近藤健一

(カ)

絵本の魔術師 エリック・カール
はらぺこあおむしから最新作まで
4.29—5.12 松屋(銀座)(島根県
立美術館、美術館「えき」KYOTO、
そごう美術館)
皆藤将展 3.17—3.22 ギャラリー
K
その後の甲斐庄楠音<素描・草稿>展
没後30年 1.23—2.3 京都造形
芸術大学ギャラリーRAKU+芸術
館
芸術新潮 699
新世代への視点2008 利部志穂「P」
展 7.28—8.9 なびす画廊
読売夕刊 8.2 (清)
携帯電話の電源を切ったとき、絵画
は雄弁に語りだす[樫木知子]
6.7—7.12 オオタファインアー
ツ
毎日夕刊 6.24 岸桂子
異表展 出水徹 柏木喜久子 松岡
真 12.1—12.6 銀座スルガ台画
廊
追想—片岡球子の世界 4.22—7.5
北海道立近代美術館
新美術新聞 1155 新明英仁
片岡球子を偲ぶ展 8.8—9.7 愛知
県立芸術大学芸術資料館
新美術新聞 1161 神谷麻理子

百寿を超えて 奥村土牛・小倉遊亀
・片岡球子 9.13—11.3 山種美
術館
明治の匠・勝文斎の押絵行灯 野田
市郷土博物館所蔵 6.24—7.19
城西国際大学水田美術館
光の様態・勝井三雄 the appear
ance of light : mitsuo katsui
4.4—6.24 池田20世紀美術館
刀匠 月山貞利展 5.28—6.3 高
島屋(日本橋)
毎日 5.27 稲田敏雄
北斎漫画展[葛飾北斎] 1.2—2.11
江戸東京博物館
朝日 2.2 秦忠弘
日経 1.15
北斎 富士を描く 2.19—3.2 三
越(日本橋)
富嶽三十六景と富嶽百景 北斎 富
士を描く 7.19—8.24 佐川美術
館
葛飾北斎〜こんなに楽しい! HO
KUSAIワールド〜 9.13—10.13
滋賀県立近代美術館
加藤朝美 彫刻展 10.16—10.26
恵埜画廊
芸術新潮 708
加藤学 New Works 1.15—2.9
GALLERY TERASHITA
芸術新潮 699
加藤唐九郎・重高・高宏 窯ぐれ三
代展 10.9—10.21 丸栄スカイ
ル(名古屋)(菊池寛実記念智美術
館)
加藤崇展 9.29—10.4 ギャラリー
K
孤高の画家 加藤孝俊追悼展 11.6
—11.15 赤坂遊ギャラリー
毎日 11.7 澤圭一郎
カトウチカ展—Between— 1.11—
2.9 Azabu Art Salon Tokyo
美術手帖 905 中島水緒
加藤俊雄 光の国の詩人 5.30—
6.6 飯田画廊
加藤良造展 9.22—11.2 彩鳳堂画
廊
芸術新潮 707
ベルナル・カトラン回顧展 11.1
—11.30 彫刻の森美術館

産経 11.20
 門脇俊一画伯筆「空海行状記」屏風展
 4.29—6.15 善通寺遍照閣
 金沢健一展 5.26—6.7 ギャラリー
 一なつか
 芸術新潮 704
 彩艶 金谷朱尾子—うつろう心
 10.11—11.24 笠岡市立竹喬美術館
 金子コレクションから見た 金山平
 三の世界 9.13—11.30 笠岡日
 動美術館
 金子稜威雄展 9.22—10.4 ギャラ
 リー21+葉
 響け大空へ 金子卓義の書 7.11—
 7.17 上野の森美術館
 毎日 7.3 桐山正寿
 金子司「種々(くさぐさ)」 4.5—
 10.26 山口県立萩美術館・浦上
 記念館
 陶説 668 白田豊
 伊部 金重有邦展 3.28—4.1 し
 ぶや黒田陶苑
 陶説 663 唐澤昌宏
 狩野芳崖 悲母観音への軌跡—東京
 芸術大学所蔵品を中心に— 8.26
 —9.23 東京芸術大学大学美術館
 朝日夕刊 9.10 大西若人
 嘉納学個展 太陽神—AMATELASU
 2.19—2.25 月光荘画材店こんば
 る前室
 毎日 2.24 三木幸治
 こころの詩[嘉納学] 8.5—8.11
 ギャラリー・ドゥ・ブランタン
 毎日 8.6 合田月美
 イリヤ・カバコフ『世界図鑑』絵本と
 原画 2.9—4.6 世田谷美術館
 朝日夕刊 3.26 田中三蔵
 東京 2.19—21 遠藤望
 毎日夕刊 3.4 三田晴夫
 ペン画の神様 樺島勝一展—写真よ
 りリアルな密描画—生誕120年記
 念 10.2—12.23 弥生美術館
 芸術新潮 709
 正月の風情と羽子板展[鍋木清方]
 1.4—2.11 鎌倉市鍋木清方記念
 美術館
 産経 1.17
 現代フィレンツェの彫刻家 ヴァレ

ンティーノ・モラディ・ガブリエ
 ッリ展 7.5—9.15 ギャラリー
 アルカンジェリ
 上浦佑太展—system construction
 — 3.17—3.22 かねこ・あーと
 ギャラリー
 芸術新潮 701
 レスポワール展42回 2008年新人
 選抜 上條花梨個展 3.3—3.8
 銀座スルガ台画廊
 亀井徹展 12.1—12.20 成山画廊
 美術手帖 918 松井みどり
 鴨居玲 生誕80年記念 1.2—2.24
 笠岡日動美術館
 加山又造展 1927—2004 1.21—
 3.2 国立新美術館
 日経 12.20
 加山又造 アトリエの記憶Ⅲ 9.28
 —11.3 多摩美術大学美術館
 東京夕刊 10.31 福井江太郎
 ダニ・カラヴァン展 9.2—10.21
 世田谷美術館(長崎県美術館)
 新美術新聞 1163 高嶋雄一郎
 朝日夕刊 9.24 大西若人
 東京 10.11 南島宏
 柄澤齊展—青の劇場— 6.9—6.21
 シロタ画廊
 読売 6.18 金巻有美
 ガレとジャポニスム[エミール・ガ
 レ] 3.20—5.11 サントリー美
 術館
 ジャポニスム研究 28 橋本公
 朝日 4.6 古賀太
 日経 5.3
 ガレ・ドーム・ラリック アール・
 ヌーヴォーからアール・デコへ—
 華麗なる装飾の時代— 7.18—
 8.4 高島屋(京都)
 レスポワール展 42回 2008年新人
 選抜 河合伊織個展 3.10—3.15
 銀座スルガ台画廊
 川合玉堂とその門下 9.6—10.26
 講談社野間記念館
 読売夕刊 10.7 豊田和平
 川上澄生・季節の小品 2.9—4.6
 川上澄生美術館
 川上澄生 ユーモアの世界 4.12—
 6.22 川上澄生美術館
 澄生が愛したもの—ランプ— 6.28

—9.7 川上澄生美術館
 川上澄生 木口木版へのまなざし
 9.13—11.3 川上澄生美術館
 佐伯留守夫と川上澄生 木版画が結
 んだ絆 11.8—1.12 川上澄生美
 術館
 川喜多かしこ展 生誕100年 7.25
 —12.26 東京国立近代美術館フ
 ィルムセンター
 川喜田半泥子と人間国宝たち展—桃
 山ルネッサンス 陶芸の近代化—
 5.3—6.1 宮崎県立美術館
 河口聖展—風景・静寂の記憶—
 9.24—10.13 かわさき IBM 市民
 文化ギャラリー
 河口龍夫 see saw seen 1973
 6.23—7.18 横田茂ギャラリー
 河口龍夫展—時の航海 7.12—9.23
 入善町下山芸術の森 発電所美術
 館
 朝日夕刊 9.10 大西若人
 川崎小虎小品展—加藤弘氏寄贈作品
 による— 3.14—5.11 市川市東
 山魁夷記念館
 川崎毅展 6.8—6.15 現代陶芸寛
 土里
 陶説 665 唐澤昌宏
 川島清 新作ドローイング「淵」2
 5.12—5.31 ギャラリー東京ユマ
 ニテ
 川島清展 水量Ⅳ 11.10—12.6
 ギャラリー東京ユマニテ
 川島秀明 wavering 5.17—6.7
 小山登美夫ギャラリー
 川瀬忍展 妖青の祈り 11.30—
 12.7 現代陶芸寛土里
 陶説 671 唐澤昌宏
 川瀬巴水展 東京風景版画 2.19—
 4.6 江戸東京博物館
 雅の継承—源氏物語絵巻に挑む 田
 中親美・川面義雄 9.26—10.24
 京都府京都文化博物館
 酔うて候—河鍋晩斎と幕末明治の書
 画会 1.1—2.11 成田山書道美
 術館(徳島県立文学書道館)
 日経 1.8
 読売 1.10 高野清見
 絵画の冒険者 晩斎 Kyosai—近代
 へ架ける橋—没後120年記念

4.8—5.11 京都国立博物館
芸術新潮 702
ジャポニスム研究 28 山口静一
朝日 4.15 森本俊司
川端謹次展 水辺の風景に魅せられ
た洋画家 没後10年 4.5—7.27
神戸ゆかりの美術館
龍子が描いた神仏[川端龍子] 1.4
—5.6 大田区立龍子記念館
毎日 1.23 田後真里
川端龍子と修善寺〜伊豆市所蔵、近
代日本画の巨匠の姿と共に〜
5.17—6.15 大田区立龍子記念館
毎日 6.8 真野森作
レスポワール展 42 回 2008 年新人
選抜 川又聡個展 4.7—4.12
銀座スルガ台画廊
川俣正[通路]展 2.9—4.13 東京
都現代美術館
芸術新潮 700
STUDIO VOICE 387 坂口千秋
美術手帖 906 鷹見明彦
朝日夕刊 3.27 大西若人
東京 3.22 内田真由美
毎日夕刊 2.14 三田晴夫
読売 3.13 菅原教夫
神田日勝の世界 開館 15 周年記念
7.8—8.24 神田日勝記念美術館
神田日勝が描く十勝の風景 小川コ
レクションによる 7.8—8.24
神田日勝記念美術館
神田日勝と細密表現を巡って 11.5
—12.7 神田日勝記念美術館
Ryan Gander “How I learnt to use
my senses, how I learnt to think
and how I learnt to feel” [ライア
ン・ガンダー] 10.31—12.13
TARO NASU(東京)
STUDIO VOICE 397 大森俊克
カラーハンティング ブラジル〜藤
原大+イッセイミヤケクリエイテ
ィブルーム&カンパナブラザーズ
10.22—1.12 東京都現代美術館

(キ)

菊地養之助展 永遠の母子像をもと
めて 12.2—1.18 福島県立美術
館
画家 岸田劉生の軌跡—油彩画、装

丁画、水彩画などを中心に 6.28
—9.7 ニューオータニ美術館
読売夕刊 8.12 家田奈穂
艸の中の魚たち—岸浪百草居の世界
— 11.1—12.7 館林市立資料館
(館林市第一資料館)
現われの空間 vol. 2 木島孝文×グ
ルーブニ時間展 6.9—6.21
ASK? art space kimura
北川健次写真展「密室論—サン・ラ
ザールの着色された夜のために」
3.6—3.26 アートスペース・サ
ンカイビ
東京 3.22 中村隆夫
北川聡展 5.19—5.28 ギャラリー
21+葉
北川民次展 6.26—7.2 名古屋画
廊(名古屋)
北川修久 立体象書展 10.6—
10.11 オカムラ・ガーデンコ
ート・ショールーム
毎日夕刊 10.9 桐山正寿
北川宏人個展 ポスト・ニュータイ
プ 2008 10.1—10.25 東京画廊
+BTAP(Yoshiaki Inoue Gallery)
北郷悟—空から— 6.23—7.5 ギ
ャラリーせいほう/ときの忘れも
の
新美術新聞 1155 加藤貞雄
朝日夕刊 7.2 田中三蔵
北澤茂夫展 1.7—1.12 銀座スル
ガ台画廊
モノクローム 秋山陽+北村純子
10.17—10.19 ギャラリーこちゅ
うきよ
城所祥展 静影の版画家 2.15—
3.29 八王子市夢美術館
毎日 2.13 神澤龍二
絹谷幸二展 情熱の色・歓喜のまな
ざし 高島屋美術部創設100周年
記念 9.3—9.15 高島屋(日本
橋)
新美術新聞 1161 武田厚
朝日夕刊 9.2 富山秀男
ブラジル日本移民百周年記念モニユ
メント「夢と感謝」絹谷幸太帰国展
9.1—9.30 吉井画廊
日経 9.3 竹田博志
樺亭・金谷—近江蕪村と呼ばれた画

家—[紀樺亭] 3.6—4.20 大津
市歴史博物館
芸術新潮 701
木下孝則 昭和の気品、横浜の洋画
家 4.11—6.8 横浜美術館
新美術新聞 1149 柏木智雄
キムスージャ展 A Mirror
Woman: The Sun & The Moon
8.23—10.19 資生堂ギャラリー
朝日夕刊 10.1 大西若人
毎日夕刊 9.8 岸桂子
金昌永個展「From where to where」
7.16—8.9 東京画廊+BTAP
金明淑個展 深淵の響き 3.21—
4.9 space 355
毎日夕刊 4.3 三田晴夫
木村恵一写真展「江戸東京・下町日
和」 6.20—7.31 キヤノンギャ
ラリーS
毎日 6.17 平野幸久
木村莊八展—没後 50 年— 4.8—
4.26 羽黒洞
現われの空間 vol. 5 木村太陽×ポ
ル・マロ 1.13—1.24 ASK?
art space kimura
大東京 清川泰次が写した昭和十五
年のメトロポリス 4.5—7.27
世田谷美術館分館清川泰次記念ギ
ャラリー
朝日夕刊 6.25 古賀太
WORDS OF A PAINTER—清川泰
次 その思索と絵画 8.2—11.30
世田谷美術館分館清川泰次記念ギ
ャラリー
旅とカメラ 清川泰次が写した昭和
日本紀行 12.6—3.22 世田谷美
術館分館清川泰次記念ギャラリー
清原啓一回顧展 新花鳥画への道程
5.24—7.13 富山県立近代美術館
新美術新聞 1152 若松基
黒田克正×清水六兵衛—物質と意識
の磁場 Part II— 2.12—3.1 ギ
ャラリー東京ユマニテ

(ク)

釘町彰展 11.20—11.26 東急(浜
谷)
草間彌生展 7.18—8.22 オオタフ
ァインアーツ

芸術新潮 706
朝日夕刊 8.13 田中三蔵
毎日夕刊 8.12 岸桂子
読売夕刊 8.16 (前)
工藤和彦展 木 SHIRAKI PART II
工藤昌伸13回忌追善 9.4—9.9
東京小原流会館
工藤健作品展 みずみずしくヒュー
マンな彫刻の世界 5.3—5.25
多摩美術大学美術館
國重友美×英漢字 5.28—6.3 伊
勢丹(新宿)
毎日夕刊 5.31 網谷隆司郎
國松明日香展—風、水面ふるわし、
そよぎゆく光 10.5—11.16 札
幌芸術の森美術館
國吉康雄(1889—1953)展—アメリ
カンドリームと光と影—福武コレ
クションによる絵画・版画・素描
・写真 9.13—11.30 群馬県立
館林美術館
産経 10.2 (和)
ヤニス・クネリス展 5.24—9.7
Fuji Xerox Art Space
久野和洋展—深く見ること・対象を
愛すること—画集刊行記念 10.3
—10.11 名古屋画廊(名古屋)
地からのメッセージ・静かなる世界
久野和洋 1963—2008 武蔵野
美術大学教授退任記念 11.10—
12.13 武蔵野美術大学美術資料
図書館
日経 11.19 宝正彦
ミシャ・クバル 都市のポートレ
ー 10.28—12.25 豊田市美術館
Shiseido art egg 2回 窪田美樹展
「DESHADOWED—かげとり」
1.11—2.3 資生堂ギャラリー
朝日夕刊 2.20
いのちのかたち 熊谷守一展 9.12
—10.26 岐阜県美術館
熊切圭介写真展 カオハガンからの
便り 10.16—10.22 キヤノンギ
ャラリー銀座
毎日 10.11 平野幸久
継続する意志 vol.20 鞍掛純一展
7.17—7.26 ギャラリー21+葉
倉田精二写真展「都市の造景」Action
21c. UNDER MEX 4.2—4.20

エブソンイメージングギャラリー
エブサイト
読売夕刊 4.12 (前)
蔵前浩展 9.22—10.4 秋山画廊
アンドレ・ポーシャンとグランマ・
モーゼス 生きる喜び・素朴絵画
の世界 4.24—6.1 福岡県立美
術館
アンドレ・ポーシャンとグランマ・
モーゼス～自然を愛した画家から
の、心暖まるメッセージ～ 7.5
—8.31 損保ジャパン東郷青児美
術館
芸術新潮 705
久里洋二展「アニメラマ」一次のアニ
メは映像から飛び出す時代！—
9.8—9.20 ASK? art space ki-
mura
毎日夕刊 9.18 佐藤由紀
ティモシー・グリーンフィールド＝
サンダース INJURED SOLDIERS
4.1—4.30 MA2 Gallery
芸術新潮 702
クリスチャン 道「アブラハム・ダ
ヴィッド・クリスチャン」 5.7—
5.30 横田茂ギャラリー
栗田真秀展 11.1—11.30 朝日町
歴史博物館
栗本夏樹展 10.29—11.18 美術画
廊X
毎日夕刊 11.11 岸桂子
現われの空間 vol.2 木島孝文×グ
ルー プニ時間展 6.9—6.21
ASK? art space kimura
語り手たちの秋の声：クレイ、タビ
エス、トゥオンプリ 富士ゼロ
ックス版画コレクションによる「パ
ウル・クレイ」 10.5—10.18 慶
応義塾大学東館展示スペース
ごんぎつねと黒井健の世界 7.19—
8.31 茨城県天心記念五浦美術館
黒沢典子展 7.14—7.19 銀座スル
ガ台画廊
黒田克正×清水六兵衛—物質と意識
の磁場 Part II— 2.12—3.1 ギ
ャラリー東京ユマニテ
近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展
7.19—8.31 神戸市立小磯記念美
術館

黒多弘文展 2.11—2.16 巷房・2
美術手帖 906 中島水緒
桑久保徹展 World Citizens with
the White Boxes 7.19—8.9
小山登美夫ギャラリー
芸術新潮 705
桑原盛行展—円奏2006—2007—
1.12—1.26 かねこ・あーとギャ
ラリー
朝日夕刊 1.16 田中三蔵
毎日夕刊 1.22 三田晴夫

(ケ)

監物博写真展「いのちの街の草木をみ
つめる」 8.26—9.2 町田市立国
際版画美術館
毎日 8.25 堀智行

(コ)

思う壺 鯉江良二展 4.1—6.30
パラミタミュージアム
陶説 663 井上隆生
三原研・鯉江良二展—2007年度日
本陶磁協会賞・金賞受賞記念—
8.22—8.30 和光ホール(銀座)
陶説 667 唐澤昌宏
朝日夕刊 8.20 秋山亮太
小池悟展 8.18—8.23 銀座スルガ
台画廊
小池頌子展 白の形 4.6—4.13
現代陶芸寛土里
陶説 664 唐澤昌宏
携帯電話の電源を切ったとき、絵画
は雄弁に語りだす[小池真奈美]
6.7—7.12 オオタファインアー
ツ
毎日夕刊 6.24 岸桂子
青木鮎美 硝子&木炭 小池美紀
二人展 7.29—8.3 朝日アート
ギャラリー
美術運動 136 佐藤勤
小泉定弘写真展 5.10—5.18 町屋
文化センター
毎日 5.3 吉永磨美
小泉力雄 金属の仕事 武蔵野美術
大学教授退任記念 11.10—12.13
武蔵野美術大学美術資料図書館
小磯良平聖書挿画展 1.2—2.24
笠間日動美術館

小磯良平 聖書のさしえ展 4.11—5.25 神戸市立小磯記念美術館
小磯良平作品選Ⅰ 4.11—5.25 神戸市立小磯記念美術館
小磯良平展 清らかな美の系譜 没後20年 7.26—9.7 武蔵野市立吉祥寺美術館
小磯良平 聖書装画の世界 8.9—9.28 静岡アートギャラリー
子どものいる風景—小磯良平「二人の少女」から—小磯良平没後20年記念 9.6—11.16 神戸市立小磯記念美術館
小磯良平作品選Ⅳ—油彩・素描— 9.6—11.16 神戸市立小磯記念美術館
小磯良平作品選Ⅴ—油彩・素描・挿絵原画— 11.21—1.15 神戸市立小磯記念美術館
In These Days[小出ナオキ] 1.12—2.2 小山登美夫ギャラリー 芸術新潮 699
京都画壇に咲いた夢 幸田春耕・峯治父子と京都・徳島の日本画家たち 10.25—12.7 徳島県立近代美術館
河野圭一展 11.3—11.8 ギャラリー21+葉
大正期の鬼才 河野通勢 新発見作品を中心に 2.2—3.23 平塚市美術館(足利市立美術館、長野県信濃美術館) 芸術新潮 700
新美術新聞 1140 瀬尾典昭
朝日夕刊 2.27 田中三蔵
日経 3.12
毎日夕刊 2.26 岸桂子
大正期の鬼才 河野通勢 新発見作品を中心に 6.3—7.21 渋谷区立松涛美術館
読売 6.19 前田恭二
私の作品は他者のもの[鴻池朋子] 1.19—3.1 高橋コレクション白金 東京 2.2 内田真由美
鴻池朋子展「隠れマウンテン&ザ・ロッジ」 4.16—5.28 ミヅマアートギャラリー
美術手帖 909 榎木野衣

朝日夕刊 4.30 田中三蔵
毎日夕刊 4.22 三田晴夫
鴻池朋子展 異界からの客人 六本脚オオカミと金沢の三日間 10.17—10.19 田中村邸/梅庵/松涛庵/山宇亭
美術手帖 917 橋本誠
『浅草善哉』 古賀絵里子写真展 7.15—8.9 エモン・フォトギャラリー
産経 8.4 海老沢類
小金沢健人 あれとこれのあいだ 11.1—11.29 神奈川県民ホールギャラリー
美術手帖 919 山辺冷
読売夕刊 11.22 (前)
小島修展—陶魂のきらめき— 5.10—6.4 世界のタイル博物館
陶説 664 井上隆生
小島昇展 3.10—3.15 ギャラリーイK
小杉小二郎展 損保ジャパン東郷青児美術館大賞受賞記念 1.12—2.17 損保ジャパン東郷青児美術館
新美術新聞 1141 宝木範義
日経 1.30 宝玉正彦
読売夕刊 2.5 森下典子
小杉小二郎展 巴里/窓辺に詩う 4.26—5.25 茨城県つくば美術館
超「日本画」モダンイズム—堂本印象・児玉希望・山口蓬春— 10.3—11.30 京都府立堂本印象美術館
継続する意志 vol.18 児玉靖枝展 3.24—4.5 ギャラリー21+葉
レスポワール展42回 2008年新人選抜 小塚直斗個展 1.21—1.26 銀座スルガ台画廊
蘇る風—ゴトウ・シュウ@KOUBA 10.11—10.26 Front Gallery・SPACE 2・3・4
小西千穂個展 4.28—5.3 銀座スルガ台画廊
コノキ・ミクオ彫刻展 5.18—5.24 みゆき画廊
美術の窓 299 川口直宣
少年・コノキ展[此木三紅大] 10.3—11.30 松山庭園美術館
小鉢公史 KOBACHI Tadafumi 展

1.7—1.19 ギャラリー山口
読売夕刊 1.12 (清)
夢と謎の画家・小林かいち ～大正口マンから昭和モダンへ、花開く絵葉書・絵封筒の美～ 1.3—3.30 竹久夢二美術館
産経 1.10 生田誠
東京 2.5 南条広介
Art Spirit/くしろの造形7 小林一雄 4.26—6.1 釧路市立美術館
小林敬生—木口木版画 1980—2008— 3.19—3.25 高島屋(日本橋)
新美術新聞 1146 横山勝彦
小林古径 生涯と作品 没後50年 4.5—5.11 小林古径記念美術館
古径と歴史画 古径芸術の胎動 10.4—12.21 小林古径記念美術館
小林孝亘 遠い光—Far Light— 11.18—12.20 西村画廊
朝日夕刊 11.26 大西若人
日経 11.30 郷原信之
読売夕刊 12.6 (清)
宮沢男爵・古林希望 「消息/comings and goings」 12.3—12.24 東京画廊+BTAP
小林誠展 11.17—11.29 ギャラリー21+葉
小林美智子 回顧と新作展 9.2—9.7 シンワアートミュージアム
毎日 9.3 真野森作
小林裕児と物語 9.11—9.27 ギャラリー椿
環境芸術3回 自然とともに 小林陽光書画展 4.29—4.30 町田市立国際版画美術館
「きつつき」木彫二人展[小林陽介] 6.16—6.21 ガレリアグラフィカbis
アート・トップ 223 (根)
駒井哲郎—若き日の稀少作品3点— 1.10—1.26 白銅鞮画廊
駒井哲郎銅版画展～イメージと言葉の共振～—俳人のコレクションによる 4.26—9.28 名古屋ポストン美術館
小松誠 デザイン+ユーモア 10.28—12.21 東京国立近代美術

館

陶説 670 外館和子

五味太郎作品展 絵本の時間 4.1—6.11 武蔵野市立吉祥寺美術館(北海道立帯広美術館、秋田県立近代美術館、ひろしま美術館、こども陶器博物館)

小山ゆう子展 4.28—5.3 ギャラリー21+葉

GOLBA 時を彫る[ホセイン・ゴルバ] 11.1—11.30 宇部市ときわミュージアム

コロー 光と追憶の交奏曲[カミュー・コロー] 6.14—8.31 国立西洋美術館(神戸市立博物館)

新美術新聞 1153 陳岡めぐみ

朝日夕刊 8.13 古賀太

読売 7.11 福田美蘭

読売夕刊 6.20、21、23、26、28 高野清見

読売夕刊 7.15 陳岡めぐみ

近藤高弘展「金と銀」 10.15—10.21 高島屋(京都)(高島屋(日本橋))

陶説 671 梅田稔

近藤美奈子展 10.21—10.26 兜屋画廊

毎日 10.22 和田浩明

(サ)

孤月甦る 西郷孤月生誕135年記念展 松本が松本のスタイルです vol.5 10.25—11.30 松本市美術館

截金の人間国宝展 齋田梅亭と西出大三 金箔芸術の美 新館開館25周年記念 4.19—6.3 井原市立田中美術館

斎藤英子展 4.21—4.26 ギャラリー21+葉

斎藤康一 作品展 「先輩・後輩・仲間たち」 1.7—2.3 JCIフォトサロン

産経 1.21 堀晃和

野田雄一×斎藤真一 9.16—9.27 不忍画廊

孤高の画家 斎藤博之一洋画と日本画と 9.6—10.19 小杉放菴記念日光美術館

サイトウ・マコト展 SCENE[0]

8.2—11.3 金沢21世紀美術館

にっぽん見学会 齋藤正人展 3.3—3.8 ギャラリー21+葉

斎藤芳子展 堆積する時間 9.15—9.20 ギャラリー21+葉

斉藤里香の版画 第十三回木版画大賞受賞者 2.9—4.6 川上澄生美術館

カルロ・ザウリ展 イタリア現代陶芸の巨匠 6.17—8.3 東京国立近代美術館

朝日夕刊 6.25 秋山亮太

毎日夕刊 7.8 岸桂子

レスポワール展 42回 2008年新人選抜 佐伯拓也個展 3.31—4.5 銀座スルガ画廊

佐伯祐三展 鮮烈なる生涯 没後80年 5.10—6.22 そごう美術館(笠間日動美術館、三重県立美術館)

日経 5.21 竹田博志

佐伯祐三交流の画家たち 7.1—8.24 三重県立美術館

佐伯祐三展—パリで夭逝した天才画家の道—没後80年記念 9.9—10.19 大阪市立美術館(高松市美術館、北海道立近代美術館、新潟県立万代島美術館)

佐伯祐三とフランス ヴラマンク、ユトリロ、日本の野獣派 9.13—3.8 ポーラ美術館

佐伯留守夫と川上澄生 木版画が結んだ絆 11.8—1.12 川上澄生美術館

酒井亜人展 日本画壇のモダニスト 11.1—11.29 城西国際大学水田美術館

12代 酒井田柿右衛門展 — 東海道五十三次額血を一挙公開—生誕130年 7.7—9.22 敦井美術館

十四代柿右衛門展[酒井田柿右衛門] 1.2—3.23 菊池寛実記念智美術館

朝日夕刊 1.23 秋山亮太

日経 2.28 竹田博志

坂内美和子展—森の環— 9.1—9.6 ギャラリー21+葉

長崎の美術4 彭城貞徳展 生誕150年記念 12.18—3.8 長崎県

美術館

榊莫山展 21回 墨と65年 4.9—4.15 阪急(梅田)

毎日夕刊 4.14 桐山正寿

坂倉準三／前川國男／木造モダニズム展—昭和初期の住宅にみるものづくりの記憶— 4.22—6.3 ギャラリーA⁴

朝日夕刊 5.21 大西若人

坂下広吉展 3.12—3.30 中村順二美術館

坂田栄一郎「LOVE CALL—時代の肖像」AERA創刊20周年記念 5.9—6.8 丸ビル／新丸ビル／行幸地下ギャラリー／丸の内オアゾ

朝日 5.14 田中三蔵

坂本素行 作陶展 1.8—1.14 三越(日本橋)

陶説 661 森孝一

坂本夏子 overflow 10.11—11.8 白土舎

美術手帖 917 榎木野衣

桜井浜江展—強靱なるフォルムの追求—生誕100年記念 3.29—5.11 山形美術館(一宮市三岸節子記念美術館)

新美術新聞 1147 月本寿彦

櫻田宗久展「ムネトピア」 3.21—4.22 ツァイト・フォト・サロン 芸術新潮 701

笹井祐子展 10.13—10.18 ギャラリー21+葉

SASAKA Keiko PARK CITY[笹岡啓子] 8.20—9.2 銀座ニコンサロン

産経 9.1 海老沢類

佐藤潤絵画展 ～ TREASURE ～ 5.28—6.3 大丸(東京)

アート・トップ 222 (根)

佐藤事展 佐倉・房総ゆかりの作家たち 10.24—11.24 佐倉市立美術館

佐藤哲三の時代 蒲原平野に生きた画家をめぐる人と時代 10.11—12.14 新潟県立万代島美術館

朝日夕刊 11.29 秋山亮太

ALIVE展[佐藤浩] 11.17—11.22

つきじ TASS 若松屋

毎日 11.21 明珍美紀

佐藤万絵子：受けとめるものたち |
Catchers 1.12—2.9 VFX
Studio LOOP HOLE
美術手帖 905 中島水緒
佐貴巧新作展 BLUESCAPE 7.12
—8.9 ギャラリー・アートアン
リミテッド
アート・トップ 223 (山)
佐野繁次郎の装丁本 5.1—6.4 千
代田区立千代田図書館
毎日 5.25 真野森作
悲劇の従軍写真家 沙飛の日中戦争
～日本初公開の秘蔵作品群～日中
平和友好条約締結30周年記念
4.12—4.16 O 美術館
朝日 4.12 渡辺延志
毎日 4.8 小出洋平
ラインハルト・サビエ 夢—暴力と
犠牲者たち 9.8—9.27 東邦画
廊
朝日夕刊 9.24 田中三蔵
三箇三郎展 絵画する一心の旅路—
12.6—3.22 北海道立函館美術館

(シ)

サラ・ジー展 2.8—5.11 メゾン
エルメス8階フォーラム
芸術新潮 701
STUDIO VOICE 388 児島やよ
い
美術手帖 907 松井みどり
朝日夕刊 4.16 大西若人
読売 4.3 高野清見
塩田千春 精神の呼吸 7.1—9.15
国立国際美術館
ART iT 21 平芳幸浩
毎日夕刊 8.19 三田晴夫
塩保朋子「Cutting Insights」8.29
—9.27 SCAI THE BATHHOUSE
芸術新潮 707
縄文の夜神楽[滋澤雅人] 7.21—
10.13 茅野市尖石縄文考古館
ホセ・マリア・シシリア 1998—
2008 7.23—8.31 長崎県美術館
Sicilia ホセ・マリア・シシリア—
Recent Works— 9.26—11.2
タマダプロジェクトミュージアム
芸術新潮 707
細密画の世界—篠田教夫／松村繁／

瀬戸照 細密画三人展 12.9—
12.23 神田日勝記念美術館
芝千秋展 浅井忠に洋画を学んだ日
本画家—鉛筆画・水彩画・日本画
など— 1.22—3.2 佐倉市立美
術館
柴川敏之 2000年後の美術館☆プ
ロジェクト 美術館のなつやすみ
・スペシャル 7.15—8.31 高知
県立美術館
柴川敏之 2000年後の未来遺跡
三内まるごとミュージアム
2000年後の青森県立美術館—三
内丸山遺跡 9.23—12.24 青森
県立美術館／三内丸山遺跡
柴田鑑三展—光臨する森羅— 6.2
—6.26 INAXギャラリー2
読売夕刊 6.14 (清)
CIRCULATION 天から 地から
Art-Full 2[柴田敏雄] 1.12—3.12
中村研一記念小金井市立はけの森
美術館
毎日夕刊 2.19 三田晴夫
柴田敏雄展 Still in the Night 12.13
—1.25 双ギャラリー
ランドスケープ—柴田敏雄展
12.13—2.8 東京都写真美術館
芸術新潮 710
美術手帖 919 清水稔
嶋田しづ展 第15回井上靖文化賞
受賞記念—画業60年の歩み—
6.7—7.13 高岡市美術館
島袋道浩展：美術の星の人へ
12.12—3.15 ワタリウム美術館
ART iT 23 川崎昌平
STUDIO VOICE 398 栗田大輔
ジミー大西 夢のかけら 色彩と渦
と創造の軌跡 画集出版記念
9.3—9.15 三越(銀座)
21C／／カタチの今 vol.1 具象
彫刻は進化する[清水淳] 10.16
—10.28 高島屋(新宿)
芸術新潮 708
人間国宝・清水卯一作品展 鉄の釉
薬を究めた陶芸作家 4.12—5.18
滋賀県立近代美術館
乾露予・清水真奈 二人展 12.15
—12.20 銀座スルガ台画廊
人間国宝 志村ふくみ 源氏物語を

平成20年美術展覧会(作サ、シ)

織る 4.29—6.29 滋賀県立近代
美術館
伊砂利彦 志村ふくみ 二人展—染
める、織る 最前線— 10.11—
11.24 福島県立美術館
下西進展—I am, I am— 7.1—7.29
INAXギャラリー2
芸術新潮 705
朝日夕刊 7.9 大西若人
下村良之介展 没後10年 7.29—
8.31 京都国立近代美術館
毎日夕刊 8.11 田原由紀雄
作家王国 下山直紀・柳澤裕貴—コ
コではないドコカ— 12.21—
1.31 高崎市美術館
ベン・シャーン展 7.7—8.8 丸の
内ギャラリー
芸術新潮 705
シャガール 私の物語 3.29—9.7
ポーラ美術館
産経 7.30 黒澤綾子
シャガール展 色彩の詩人 9.6—
10.15 兵庫県立美術館(静岡県立
美術館、岡崎市立美術博物館、熊
本県立美術館)
ARTRAMBLE 21 極上千寿
シャガールの版画展 高知県立美術
館コレクション 10.7—11.9 岡
山県立美術館
知られざる鬼才 マリオ・ジャコメ
ッリ展 3.15—5.6 東京都写真
美術館
美術手帖 908 ハービー・山口
朝日夕刊 4.2 大西若人
日経 4.3 宝玉正彦
毎日夕刊 4.24 飯沢耕太郎
十文字美信展 写真に落ちていく
5.12—6.6 クリエイションギャ
ラリーG8／ガーディアン・ガー
デン
読売夕刊 5.31 (前)
庄司栄吉油絵展 8.26—9.1 三越
(日本橋)
新美術新聞 1160 真室佳武
街頭詩人・画家 城米彦造「昭和を
謳う」5.8—5.14 伊東屋
読売 5.8
ジョットとその遺産 ジョットから
ルネサンス初めまでのフィレンツ

エ 絵画 7.18—9.1 島根県立美術館(損保ジャパン東郷青児美術館)

ジョーン・ジョナス “Drawings and Videos” 9.13—10.11 ワコウ・ワークス・オブ・アート 美術手帖 916 松井みどり

Paul Johnson “Sensitive Chaos” [ポール・ジョンソン] 3.8—4.5 ミヅマアートギャラリー 芸術新潮 701

白井青淵の世界 4.5—5.25 田原市博物館

白石ちえこ写真展「サボテンとしば」 9.2—9.30 ギャラリー冬青産経 9.15 海老沢順

スミ絵だったり アニメだったり [しりあがり寿] 7.21—9.1 佐野美術館 朝日夕刊 8.13 小川雪

しりあがり寿のゆるめのアニメ「ユルメーション大集合!」 12.15—1.10 ASK? art space kimura 芸術新潮 710

アダム・シルヴァーマン Nature Morte 9.26—10.18 TKG Editions

SHINCHIKA 3.15—4.19 オオタファインアーツ 東京 4.5 内田真由美 読売夕刊 4.5 (清)

(ス)

末富綾子展 5.14—5.19 Gallery A BIENTOT 毎日 5.17 真野森作

菅木志雄展 2.9—3.1 小山登美夫ギャラリー 読売夕刊 2.23 (前)

杉浦康益の世界—陶による我が庭園誌— 11.25—12.1 三越(日本橋) 陶説 670 唐澤昌宏

杉田陽平展 11.29—12.20 GALLERY MoMo Ryogoku 芸術新潮 710

杉本健吉展 新収蔵記念 4.4—6.1 愛知県美術館 新美術新聞 1150 深山孝彰

杉本貴志展 水の茶室・鉄の茶室 4.5—5.31 ギャラリー・間 芸術新潮 702

朝日夕刊 4.30 古賀太 杉本哲郎 アジャンタ・シーギリヤ 壁画模写—70年目の衝撃— 6.25—7.27 京都国立博物館

杉本博司 歴史の歴史 11.22—3.22 金沢21世紀美術館(国立国際美術館)

日本文化の型と形 木のぬくもり展 [杉山明博] 10.18—12.23 静岡アートギャラリー

杉山礼香展—見ええない本— 2.1—2.28 INAXギャラリー2

サウンドアートの先駆者 鈴木昭男展「点気ki-date」 7.12—8.17 一宮市三岸節子記念美術館

四時友遊 人間国宝 鈴木藏展 3.18—3.24 三越(日本橋) 陶説 663 唐澤昌宏

鈴木共子展 千の時を紡ぐ 4.7—4.12 村松画廊 毎日 4.11 真野森作

鈴木徹 作陶展 9.23—9.29 三越(日本橋) 陶説 668 唐澤昌宏

梅原・安井・須田展—京都が生んだ三巨匠—[須田国太郎] 9.10—12.15 上原近代美術館

角倉起美展—祝祭の輝器— 6.10—7.4 世界のタイル博物館 陶説 665 井上隆生

隅谷正峯刀匠没後十年回顧展 国宝の輝き・日本刀の美と名匠の技 7.12—8.31 白山市立松任博物館 刀剣美術 621 小浦宗五郎

諏訪敦 絵画作品展—複眼リアリスト— 1.17—2.24 佐藤美術館 東京 2.16 藤田一人

読売夕刊 2.16 (清) 新世代への視点2008—画廊からの発言—諏訪未知展 7.28—8.9

ギャラリー21+葉 (セ)

スナップショットの時間—三浦和人と関口正夫— 9.6—10.19 三鷹市美術ギャラリー

読売夕刊 10.11 (前) 細密画の世界—篠田教夫/松村繁/瀬戸照 細密画三人展 12.9—

12.23 神田日勝記念美術館 瀬畑亮 セロテーブアート 12.18—2.15 練馬区立美術館

朝日 12.19 中野真也 毎日 12.21 井崎憲

芹沢銈介の生活デザイン 1.26—5.18 静岡市立芹沢銈介美術館

芹沢銈介の肉筆画 きたえぬかれた魔法の手 9.13—12.7 静岡市立芹沢銈介美術館

千崎千恵夫 内部の外 4.10—4.30 秋山画廊

毎日夕刊 4.15 三田晴夫

千住博—ハルカナルアオイヒカリ— 3.6—3.17 高島屋(日本橋) 新美術新聞 1145 千住博 談

(ソ)

添野和幸作品展「獣虫酒水図鑑」 8.6—8.16 フォト・ギャラリー・インターナショナル

芸術新潮 706

ヤン・ソーデック写真展 8.22—8.30 ときの忘れもの

美しき静の世界 曾我芳子回顧展 市制60周年記念 6.28—9.7 川上澄生美術館

エトレ・ソットサスがデザインした日常品 3.19—4.14 松屋(銀座)

朝日夕刊 4.2 古賀太 読売 4.1

蘭部澄写真展 昭和を白黒で旅する 6.17—9.15 旧新橋停車場 鉄道歴史展示室

祖母井郁展 眠ること 消えること 10.27—11.8 秋山画廊

染谷亜里可新作展 シルエット 3.6—4.4 ケンジタキギャラリー(東京)

朝日夕刊 3.12 大西若人 読売夕刊 3.29 (清)

(タ)

醍醐イサム展 傷光放光 7.17—7.29 紀伊国屋画廊

醍醐イサム個展 9.4—9.13 四季
彩舎

醍醐イサム個展 11.6—11.11
Gallery 銀座一丁目

醍醐イサム個展 11.28—12.3 ギ
ャラリーれがろ

大道あや展 けとばし山のおてんば
画家 生誕100年記念 8.5—9.21
渋谷区立松涛美術館(高浜市やき
ものの里かわら美術館、田川市美
術館、佐喜真美術館)

文化功労者 高木聖鶴 書の世界展
3.25—4.13 岡山県立美術館

高木正勝「イタコ」 8.30—9.27 山
本現代

朝日夕刊 9.24 大西若人

高木勇次展—知られざる画家の全貌
2.2—3.23 足利市立美術館

高砂淳二写真展 虹の星 ~The
Rainbow Planet~ 7.2—7.22
コニカミノルタプラザ
読売 6.29

高橋克之新作展 10.6—10.25 東
邦画廊

漆芸家・高橋節郎のあゆみ 7.19—
8.24 安曇野高橋節郎記念美術館
新美術新聞 1158 佐野順子

高橋卓也展 9歳の書家 6.21—
7.21 岩手町立石神の丘美術館

高橋天山展 秀年から天山へ 改雅号
記念 12.2—12.8 三越(日本橋)
新美術新聞 1170 川口直宜

高橋俊文展 10.6—10.11 ギャラ
リー21+葉

高橋久雄フレスコ画展 日仏交流
150周年 11.26—12.7 川越市立
美術館
産経 12.4 渋谷和彦
読売夕刊 11.29

レスポワール展 42回 2008年新人
選抜 高橋美美子個展 3.17—
3.22 銀座スルガ台画廊

四谷歌舞伎人形座展 安達忠良・高
橋操二人展 10.13—10.24
GALLERY晩紅舎
毎日 10.1 吉永磨美

高橋芳文展 12.1—12.6 ギャラリ
ー21+葉

高橋力雄展 木版に抒情を刻む

1.4—3.16 神奈川県立近代美術
館(鎌倉)

カリスマ挿絵画家・高島華宵展 少
女よ、永久にそのよき日を愛せ…
生誕120年記念 1.3—3.30 弥生
美術館

読売 2.13

高原洋一 風景のメタモルフォーシ
ス—移りゆく自然と表層性—
9.6—10.13 奈義町現代美術館

高原洋一 風景のメタモルフォーシ
ス—生成するイメージ—大地と水
— 9.13—10.13 岡山市デジタ
ルミュージアム

高原洋一 風景のメタモルフォーシ
ス—火と水をめぐって／共鳴する
美術2008— 9.19—11.3 倉敷
市立美術館

高松次郎ドローイング展 8.21—
11.20 大和プレスビューイング
ルーム
美術手帖 913 清水穰

高嶺格「The SUPERCAPACITOR/
スーパーキャパシタ」 7.12—
9.20 アラタニウラノ
毎日夕刊 8.5 岸桂子
読売夕刊 7.19 (前)

高嶺格[大きな休息]明日のためのガ
ーデニング1095㎡ 11.29—12.24
せんだいメディアテーク
ART iT 23 山岸かおる
STUDIO VOICE 397 遠藤水城
美術手帖 919 平芳幸浩
朝日夕刊 12.17 大西若人
毎日夕刊 12.11 岸桂子
読売夕刊 12.20 (前)

高柳恵里展 10.6—10.25 サイギ
ャラリー
美術手帖 917 中井康之

高山辰雄遺作展 人間の風景 9.13
—11.3 練馬区立美術館
芸術新潮 707

新美術新聞 1162 小池賢博
朝日夕刊 10.8 秋山亮太
毎日夕刊 10.23 岸桂子

高山登 遊殺—2008 10.7—10.25
秋山画廊

高山雅克展 10.6—10.11 ギャラ
リーK

田川啓二 夢の世界 オートクチュ
ールビーズ刺繍展 9.9—9.21
三越(日本橋)

21C／／カタチの今 vol.1 具象
彫刻は進化する[滝上優] 10.16
—10.28 高島屋(新宿)
芸術新潮 708

田口貴久—記憶の重層化— 10.31
—11.8 名古屋画廊(名古屋)

田口嘉子展 9.29—10.4 銀座スル
ガ台画廊

レスポワール展42回 2008年新人
選抜 田口玲皇奈個展 4.21—
4.26 銀座スルガ台画廊

武居芳明展 2.25—3.1 ギャラリ
ー21+葉

21C／／カタチの今 vol.1 具象彫
刻は進化する[竹内智美] 10.16
—10.28 高島屋(新宿)
芸術新潮 708

竹内美紀子展 9.8—9.13 ギャラ
リー21+葉

竹川リサ 添景 7.21—7.26 ギャ
ラリー現
アート・トップ 223 (山)

日本画塾13期生作品展 GROPE
竹田圭菜 野堀佳代子 山形晴香
3.20—3.30 早見芸術学園造形研
究所

肘折温泉逗留芸術家2008 竹田佳
代 Poetrytime+広瀬直子 ひと
ひらつなぎ 11.5—12.7 ギャラ
リーひじおりの灯

武田州左展 11.25—12.20 Gallery
香染美術
芸術新潮 709

夢二と謎の画家・小林かいち〜大正
ロマンから昭和モダンへ、花開く
絵葉書・絵封筒の美〜[竹久夢二]
1.3—3.30 竹久夢二美術館
産経 1.10 生田誠

マルチャーティスト 竹久夢二の七
つの顔展 4.3—6.29 竹久夢二
美術館
読売夕刊 6.17 谷口朋子

美の天才 竹久夢二のすべて 6.1
—12.29 竹久夢二伊香保記念館

夢二 7.1—9.28 日本浮世絵博物
館

竹久夢二展 7.5—8.31 笠間日動美術館
竹久夢二 舞台芸術の世界展Ⅱ〜上方歌舞伎からバレエ・リュスまで〜 10.2—12.23 竹久夢二美術館
TEAM14 竹村京「Apart a part」 6.28—8.31 トーキョーワンダーサイト渋谷
STUDIO VOICE 392 坂口千秋
竹村健版画展一心の華を咲かせて— 4.8—4.13 兜屋画廊
アート・トップ 222 (玉)
田島征三展 絵本の大地・木の実の夢 豊かなる絵本原画の世界 7.19—8.31 平塚市美術館
CIRCULATION 天から 地から Art-Full 2[多田正美] 1.12—3.12 中村研一記念小金井市立はけの森美術館
毎日夕刊 2.19 三田晴夫
多田正美 家からの風景&New Prints 5.17—6.15 双ギャラリー
龍口経太展 9.8—9.13 銀座スルガ台画廊
立石大河のワンダーランド 7.17—10.19 埼玉県立近代美術館
卒寿・彫刻の道 立川義明展 10.8—11.3 茅野市美術館
田中一村—原初のまなざし 10.18—11.24 奈良県立万葉文化館
新美術新聞 1168 大矢鞆音
田中功起「たとえばここ最近の作品をすこし違ったかたちでみせること」 11.22—3.29 群馬県立近代美術館
雅の継承—源氏物語絵巻に挑む 田中親美・川面義雄 9.26—10.24 京都府京都文化博物館
田中千鶴子展 5.7—5.17 ギャラリー21+葉
田中知美展—陶の髹 ゆらめくかたち— 2.6—3.4 INAX ガレリアセラミカ
陶説 661 唐澤昌宏
田中保展—二十世紀初頭の欧米に挑戦した画家— 4.29—8.31 サトエ記念21世紀美術館

棚田康司展 十一の少年、一の少女 9.21—12.25 ヴァンジ彫刻庭園美術館
美術手帖 919 高橋瑞木
江戸南画の潮流Ⅱ—文晁・華山の新感覚—[谷文晁] 10.11—11.9 飯田市美術博物館
谷川夏樹展—TRANSPORT— 6.9—6.27 ギャラリー新居(大阪)
谷口千恵子展 軌跡 フレスコ/アクリル/和紙 6.9—6.14 ギャラリー21+葉
東芋「ハウス」 12.20—2.14 ギャラリー小柳
美術手帖 919 榎木野衣
語り手たちの秋の声: クレー、タビエス、トゥオンブリ 富士ゼロックス版画コレクションによる[アントニ・タビエス] 10.5—10.18 慶応義塾大学東館展示スペース
田淵俊夫展 画業40年 東京芸術大学退任記念 パリ・三越エトワール帰国記念 12.27—1.18 三越(日本橋)(三越(名古屋)、三越(福岡))
新美術新聞 1172 草薙奈津子 東京 12.28 原一文
田淵裕一展—輪郭の幻影 光栄堯夫歌集「姿なき客人」から— 9.1—9.26 INAX ギャラリー2
玉村方久斗展 日本画変革の先導者 1.8—2.17 京都国立近代美術館
朝日 2.6 高階秀爾
田村公男個展 7.28—8.2 銀座スルガ台画廊
田村能里子展 大本山天龍寺塔頭宝蔵院本堂再建模絵完成記念 9.17—9.29 高島屋(日本橋)
日経 9.20
日経 9.24 竹田博志
背文字が呼んでいる—編集装丁家田村義也の仕事— 8.4—9.20 武蔵野美術大学美術資料図書館
太郎千恵蔵展 二つのタワー 6.27—8.6 第一生命南ギャラリー
読売夕刊 7.12 (清)
多和圭三 新作展 1.28—2.16 Hino gallery
毎日夕刊 2.5 三田晴夫

読売夕刊 2.9 (清)

(チ)

チェ・ウラム「anima machines」 5.27—6.28 SCAI THE BATH-HOUSE
美術手帖 911 石黒敦彦
朝日夕刊 6.11 大西若人
陳若冰「色彩の思考」 1.19—2.23 タグチファインアート
毎日夕刊 1.29 三田晴夫
ちばさなえの版画 木版画大賞14回受賞者 11.8—1.12 川上澄生美術館
ちばてつや原画展&タケカワユキヒデコレクション展 8.6—9.4 森下文化センター
毎日 9.3 市川香織
ちばてつや原画展 漫画を考える 12.20—2.1 小杉放菴記念日光美術館
千葉奈緒子展「Cyanotype Works」 1.13—2.17 ギャラリーエム コンテンポラリーアート
美術手帖 905 田中由紀子
長重之展(時空のパスセージ)—足利の来し方、世界の行く末— 7.13—9.15 栃木県立美術館
島海青児と三岸好太郎展 9.13—10.26 北海道立三岸好太郎美術館(平塚市美術館)
Chim↑Pom 友情か友愛か友倒れか/BLACK OF DEATH curated by 無人島プロダクション 8.9—8.30 hiromi yoshii
美術手帖 913 福住廉
Chim↑Pom オーマイゴッド〜気分はマイアミビーチ〜 9.19—10.25 無人島プロダクション
美術手帖 916 松井みどり

(ツ)

津上みゆき展「24 seasons—つづるけしき、こころつづく」 4.8—4.20 スパイラルガーデン
産経 4.17 黒沢綾子
東京 4.12 児島やよい
月岡三郎作陶展 7.25—7.31 竹柳堂

辻けい展—あか から あかへ 2008

Red like the spring water—

10.1—10.29 INAXギャラリー2

源氏物語×百段階段 人形師寿三郎
が創る千年恋物語[辻村寿三郎]

5.24—6.8 目黒雅叙園

毎日 4.29 真野森作

津田直展 SMOKE LINE—風の河
を辿って 10.28—12.21 資生堂
ギャラリー

芸術新潮 709

土田祐介写真展『display』 7.14—
8.3 ビジュアルアーツギャラリ
ー・東京

産経 7.21 海老沢類

都築雅人写真展「情日記・世界の
沿線、汽車の見える風景」 7.24
—9.1 オープンギャラリー

産経 8.11 堀晃和

堤展子展 9.16—9.28 ギャラリー
マロニエ

陶説 669 梅田稔

愛情の画家 椿貞雄 没後 50 年

9.27—11.30 米沢市上杉博物館
(山形美術館)

椿三千夫作陶展 みちのみち 7.28
—8.3 すぎもと画廊

毎日 7.9 川崎桂吾

坪内隆直写真展『我が愛するドンキ
ホーテ達』 9.19—10.21 キヤノ
ンギャラリーS

産経 10.6 堀晃和

点と面の詩情—上智祐祐・山中嘉一
・坪田政彦展 9.13—10.26 和
歌山県立近代美術館

(ト)

ジェレミー・ディッキンソン展

2.8—5.11 小山登美夫ギャラリ
ー

芸術新潮 701

ハイツテザー建築展 1.15—
2.3 ヒルサイドフォーラム

産経 1.18

手塚治虫セル画展 2.12—3.2 駒
込地域文化創造館／巣鴨地域文化
創造館／雑司が谷地域文化創造館

毎日 2.19 三木幸治

光陰 手塚雄二日本画展 1.8—

1.14 三越(日本橋)

新美術新聞 1140 武田厚

寺崎光次郎展 10.27—11.1 ギャ
ラリー21+葉

(ト)

パリ・ドアノー ロベール・ドアノ
ー写真 10.7—10.13 三越(日本
橋)

語り手たちの秋の声：クレー、タビ
エス、トゥオンブリ 富士ゼロッ
クス版画コレクションによる[サイ
・トゥオンブリ] 10.5—10.18
慶応義塾大学東館展示スペース

琉球・沖縄 2人展[東松照明]

10.24—12.16 キヤノンギャラリ
ーS

朝日夕刊 12.3 古賀太

印象のこころ—花・鳥・暮らし—
[堂本印象] 3.14—6.22 京都府
立堂本印象美術館

超「日本画」モダニズム—堂本印象・
児玉希望・山口蓬春— 10.3—
11.30 京都府立堂本印象美術館

マイ・アートフル・ライフ—描くこ
とのよろこび—[塔本シスコ]

4.26—5.25 川口市立アートギャ
ラリー・アトリア

ART iT 20 福住廉

堂本右美 After all 9.26—10.25
ギャラリー小柳

朝日夕刊 10.22 大西若人

風刺の巨匠 ドーミエ版画 人間喜
劇の百科事典[オノレ・ドーミエ]
2.16—3.23 福島県立美術館

ドーミエ★人間喜劇 生誕200年記
念 8.30—12.21 伊丹市立美術
館

ガレ・ドーム・ラリック アール・
ヌーヴォーからアール・デコへ—
華麗なる装飾の時代—[ドーム兄
弟] 7.18—8.4 高島屋(京都)

徳丸鏡子 陶芸展 6.17—6.23 三
越(日本橋)

陶説 666 外館和子

TOMI—Exhibition 9.29—10.5 泰
明画廊

鉄斎—画面のひろがり— 3.5—
4.29 鉄斎美術館

富岡鉄斎展 本開館 30 周年記念

3.22—5.6 辰馬考古資料館

鉄斎—多彩な画題・多様な画風 III—
5.2—6.29 鉄斎美術館

鉄斎の粉本—画想の源泉・模写 III—
7.2—10.5 鉄斎美術館

鉄斎—印癖を娛しむ IV— 10.8—
12.14 鉄斎美術館

富田文隆展—木の美しさ、家具の造
形— 6.28—7.31 群馬県立近代
美術館

富山治夫作品展 現代語感 OUR
DAY 9.30—10.26 JCHフォトサ
ロン

朝日夕刊 10.15 大西若人

戸村浩展 3.8—5.11 Fuji Xerox
Art Space

戸谷成雄 ミニマルバロック III

5.24—6.21 SHUGOARTS

朝日夕刊 6.11 大西若人

戸谷森展 6.2—6.8 トキ・アート
スペース

美術手帖 913 榎木野衣

多層系展 2 回 豊嶋康子の多層系
—〈マークシート〉から〈輪郭〉まで
1.26—2.24 Fuji Xerox Art
Space

ドランの『パンタグリュエル』と新収
藏品展[アンドレ・ドラン] 5.31
—8.31 神奈川県立近代美術館
(鎌倉別館)

スタンリー・ドンウッド個展「I
LOVE THE MODERN WORLD」

4.2—4.26 東京画廊+BTAP

(ナ)

内藤瑤子—妄想の肖像— 2.14—
2.29 羽黒洞

レスポワール展 42 回 2008 年新人
選抜 中井智子個展 3.24—3.29
銀座スルガ台画廊

長井朋子 子供と鼻と灰色ネコもキ
ラキラの日曜日 11.1—11.22
小山登美夫ギャラリー

中岡真珠美展—白い眺め— 1.8—
1.29 INAXギャラリー2

日経 1.23 宝玉正彦

中上清展 絵画から湧く光 1.4—
3.16 神奈川県立近代美術館(鎌

倉)
朝日夕刊 1.16 田中三蔵
日経夕刊 1.10
毎日夕刊 2.19 三田晴夫
読売夕刊 3.1 (前)
中上清 新作展 2.25—3.15 Hino gallery
長倉洋海写真展 微笑みの降る星 9.13—11.13 北海道立釧路芸術館
中畔千嘉展 6.30—7.5 銀座スルガ台画廊
中里和人個展『夜・自然・もうひとつの東京』 9.27—10.12 現代美術製作所
産経 9.29 海老沢類
風景からフウケイへ 長沢秀之展 川越の美術家たち 7.12—9.7 川越市立美術館
朝日夕刊 8.13 田中三蔵
読売夕刊 8.23 (清)
彫刻家 名嘉地千鶴子—愛の作品展 — 9.6—10.19 茂原市立美術館・郷土資料館
中島立雄展 7.7—7.16 ギャラリー—21+葉
中嶋政樹写真展 地図にない村 9.20—11.30 南丹市日吉町郷土資料館
レスポワール展42回 2008 年新人選抜 長瀬香織個展 4.14—4.19 銀座スルガ台画廊
中瀬康志展—地平の器— 9.2—9.20 秋山画廊
釉裏銀彩 中田一於 作陶展 1.27—2.2 三越(日本橋)
陶説 672 唐澤昌宏
中田和彦展 FRAGMENT 9.22—9.27 銀座スルガ台画廊
「特攻花」って知ってる? 女性写真家、19才からの挑戦、7年間の撮影と取材[仲田千穂] 7.30—8.10 SPAZIO BRERA GINZA
毎日 7.30 江刺弘子
中西夏之新作展 絵画の鎖・光の森 4.8—5.25 渋谷区立松涛美術館
朝日夕刊 4.16 田中三蔵
毎日夕刊 4.10 三田晴夫
読売 5.8 菅原教夫

中野正貴写真展「中野正貴 東京」 9.10—10.19 エブソンイメージングギャラリーエブサイト
産経 9.22 堀晃和
中野めぐみ展 6.23—6.28 ギャラリー—21+葉
シリーズ80年代考 1983年の《Pine Tree Installation》を見る[中原浩大] 3.25—4.5 ギャラリー16
美術手帖 908 加須屋明子
彫刻の生命 空想的にまで進んだ写真主義 中原悌二郎生誕120周年記念 10.11—11.24 礒山美術館
中村征夫写真展 命めぐる海—都会の海から聖地の海へ— 4.29—5.11 三越(日本橋)
中村岳陵展 4.1—5.11 横須賀美術館
中村一美展“存在の鳥 II” Part 1 6.16—7.5 南天子画廊
毎日夕刊 7.22 三田晴夫
中村一美展“存在の鳥 II” Part 2 7.8—7.26 南天子画廊
朝日夕刊 7.16 大西若人
毎日夕刊 7.22 三田晴夫
中村誠の世界展 POSTERS 7.12—9.15 萬鉄五郎記念美術館
中村正義・顔の自伝 開館20周年記念 3.1—6.1 中村正義の美術館
正義のふる里 開館20周年記念 9.5—11.30 中村正義の美術館
甦る中山岩太—モダニズムの光と影 12.13—2.8 東京都写真美術館
中山忠彦 永遠の女神展 3.26—4.7 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪)、高島屋(京都)、高島屋(横浜)、松坂屋美術館、北九州市立美術館)
新美術新聞 1147 中山忠彦 談
朝日夕刊 4.2 大西若人
永山裕子 水彩画展 9.26—10.4 泰明画廊
流麻二果展「融景」 4.3—4.26 ギャラリー東京ユマニテ
日経 4.23 宝玉正彦
毎日夕刊 4.8 三田晴夫
名知聡子 絵のなかの「私」/「私」をみつめる「私」 1.26—3.23 東京

オペラシティアートギャラリー
朝日夕刊 2.6 大西若人
那波多目功—牡丹幻想—花のいのちに魅せられて— 11.22—1.18 茨城県天心記念五浦美術館
新美術新聞 1169 稲葉睦子
ナメ川コーイチ—NYの猫たち— 7.7—7.19 ギャラリー新居(東京)
奈良美智作品展示 3.20—12.20 中禅寺金谷ホテル「アートスペース」
美術手帖 907 編集部
棟方志功・成田亨・奈良美智—時代のアイコン(図像)たち— 10.18—12.21 大分市美術館
ナンシー関 大ハンコ展 見た! 彫った! 書いた! 39年の人生と全仕事 6.5—6.15 パルコファクトリー
朝日 6.7 秋山亮太

(二)

新国誠一の《具体詩》 詩と美術のあいだに 12.6—3.22 国立国際美術館(武蔵野美術大学美術資料図書館)
芸術新潮 711
西新太 WHITERONICA 11.1—11.15 島田画廊
芸術新潮 709
西のぼる展 描きてしままん 画業三十年記念 6.21—7.30 千代女の里俳句館
毎日 7.31 齊藤希史子
西垣佳奈子展 layer—S 6.4—6.17 cafeユイット/galleryユイット
産経 6.16 酒井潤
截金の人間国宝展 齋田梅亭と西出大三 金箔芸術の美 新館開館25周年記念 4.19—6.3 井原市立田中美術館
西原功織 “地図と指紋” 4.14—12.28 A-things
美術手帖 915 中島水緒
西村公朝—たどり来し道—仏像彫刻にかけた生涯 4.26—6.22 吹田市立博物館
芸術新潮 704

西村盛雄 bronze sculpture 9.13
—10.18 タグチファインアート
渾身のモノタイプスによる「西山タ
カスケ展」 9.27—11.3 ギャラ
リーアルカンジェリ
蜷川実花—地上の花・天上の色—
11.1—12.28 東京オペラシティ
アートギャラリー(岩手県立美術
館、鹿児島県霧島アートの森、西
宮市大谷記念美術館、高知県立美
術館)
朝日夕刊 10.31 高階秀爾
読売夕刊 12.13 (前)

(ヌ)

額田宣彦展—常用 9.16—10.4 ギ
ャラリー東京ユマニテ
読売夕刊 9.20 (清)

(ネ)

作家王国 根岸陽子・水村綾子—こ
ころのかたち 1.6—2.3 高崎市
美術館
根岸芳郎展 4.14—5.3 ギャラリ
ー山口
日経 4.23 宝玉正彦
毎日夕刊 4.22 三田晴夫

(ノ)

TEXTASY: プロディ・ノイエシ
ュヴァンダー展 3.6—3.31 ギ
ンザ・グラフィック・ギャラリー
芸術新潮 701
野坂康起 作陶展 喜寿記念 7.1
—7.7 三越(日本橋)
陶説 666 唐澤昌宏
野島泉展 6.30—7.5 ギャラリー
山口
アート・トップ 223 (玉)
野田裕示展 不在のかたち 1.15—
2.2 ギャラリー東京ユマニテ
日経 1.23 宝玉正彦
毎日夕刊 1.29 三田晴夫
野田雄一×斎藤真一 9.16—9.27
不忍画廊
野田好子回顧展 5.13—5.25 静岡
県立美術館
野中伊久枝個展 8.25—8.30 銀座
スルガ台画廊

野長瀬晩花展 開館 10 周年記念
10.10—12.7 田辺市立美術館
日本画塾 13 期生作品展 GROPE
竹田圭菜 野堀佳代子 山形晴香
3.20—3.30 早見芸術学園造形研
究所
野又穫 — SKYGLOW 遠景 —
11.19—12.9 高島屋(日本橋)
朝日夕刊 11.26 大西若人
聖地巡礼 野町和嘉写真展 高知県
立美術館開館 15 周年記念 10.25
—12.14 高知県立美術館
野見山暁治展 6.30—7.19 ギャラ
リー山口
朝日夕刊 7.16 大西若人
野村和弘展「johnna」 3.31—4.26
南天子画廊
毎日夕刊 4.15 三田晴夫

(ハ)

レフトオーバーズ N. S. ハーシャ
展 6.11—9.15 メゾンエルメス
8階フォーラム
STUDIO VOICE 392 三木あき
子
朝日夕刊 7.9 古賀太
毎日夕刊 9.4 岸桂子
読売 7.15
ジョン・バーニンガム絵本原画展
デビュー 45 周年 1.31—2.18
大丸ミュージアム(東京)
読売 2.29
靄島伸彦展 — deep river 12.15—
12.27 ギャラリー東京ユマニテ
ステファン・バウムコッター 9.29
—10.25 GALLERY TERASHITA
萩野矢慶記写真展 シルクロードへ
の誘い 青い煌きウズベキスタン
写真と美術工芸品でたどる世界遺
産の過去と現在 7.5—8.31 岡
山市立オリエント美術館
萩原英雄追悼展—美の遍路— 9.25
—11.2 武蔵野市立吉祥寺美術館
毎日 9.24 内橋寿明
朴英淑の白磁 月壺と李禹煥の絵皿
7.12—9.15 菊地寛実記念智美術
館
朝日夕刊 7.30 秋山亮太
日経 8.20 竹田博志

毎日夕刊 8.26 岸桂子
白隠禅画墨蹟展 4.1—6.29 瑞巖
寺宝物館青龍殿
日経 4.10 竹田博志
白隠とその弟子たち みんな白隠が
好きだった 6.28—9.15 永青文
庫
〈小江戸文化シリーズ〉2 橋本雅邦
没後一〇〇年 開館 5 周年記念
1.12—3.9 川越市立美術館
読売 2.7 前田恭二
京都画壇の画家シリーズII 橋本関
雪展 12.12—2.1 松伯美術館
現われの空間 vol. 4 橋本聡展
11.18—11.29 ASK? art space
kimura
パスキン、エコール・ド・パリの
「リベルタン」 北海道立近代美術
館所蔵作品から 4.29—7.13 宇
都宮美術館
Akira the Hustler presents Living
Together展「ハスラー・アキラ」
1.22—2.16 オオタファインアー
ツ
読売夕刊 2.2 (前)
長谷川等伯展〜久蔵の国宝「桜図」特
別公開〜長男久蔵・生誕 440 年記
念 4.5—5.6 石川県七尾美術館
天気売り/長谷川佐知子 12.5—
12.20 Hino gallery
長谷川繁展 ABSTRACT 2.23—
3.22 Void+
長谷川利行—幻の名作と、素描力!
11.17—12.6 不忍画廊
畠山直哉 「Ciel Tombé」(シエル・
トンベ) 4.30—5.23 タカ・イ
シイギャラリー
ART iT 20 港千尋
読売夕刊 5.17 (前)
畠中和久写真展 破れし城 四百年
の刻をへて蘇る武士達の夢の跡
6.19—6.25 キヤノンギャラリー
銀座
毎日 6.19 伊藤俊文
服部真紀子展—土の表情 フリルの
陶— 1.10—2.2 INAXガレリア
セラミカ
芸術新潮 699
陶説 660 唐澤昌宏

花代 1.17—2.22 ギャラリー小柳
ART iT 19 北澤ひろみ
馬場晋作 スレチガウマナザス
8.2—8.14 Makii Masaru Fine
Arts
陶匠・濱田庄司—没後30年記念
6.17—8.31 日本民芸館
朝日夕刊 7.23 秋山亮太
読売夕刊 7.1 杉山享司
人間国宝 濱田庄司展 10.4—
11.30 川崎市市民ミュージアム
(茨城県陶芸美術館)
林敬二展 4.2—4.8 高島屋(日本
橋)
新美術新聞 1148 林紀一郎
林静一 叙情の世界展 2.13—3.30
とちぎ蔵の街美術館
近代日本画の巨匠 速水御舟—新た
なる魅力— 10.4—11.9 平塚市
美術館
新美術新聞 1166 勝山滋
朝日夕刊 10.29 秋山亮太
日経 10.8 宝玉正彦
横山大観と春草・御舟展 大観没後
50年 10.6—12.16 敦井美術館
速水史朗展 11.25—12.6 ギャラ
リーせいほう
日経 12.3 宝玉正彦
原崇浩展 1.14—1.19 銀座スルガ
台画廊
原雅幸展 アートオブクリスマス
Namiki 2008 12.8—12.25 飯
田画廊
原光子展 アトリエに残された風景
6.6—7.6 八王子市夢美術館
東京 6.28 布施谷航
香と恋心 パルピエのイラストレー
ションと香水瓶[ジョルジュ・パ
ルピエ] 12.14—3.23 HOUSE
OF SHISEIDO
朝日夕刊 2.16 古賀太
半田真規「August」 8.30—9.27
児玉画廊(東京)
美術手帖 916 清水穰
肘折温泉逗留芸術家2008 番場三
雄 風景の恩恵—山形・肘折
10.1—11.3 ギャラリーひじおりの
灯
ヴィルヘルム・ハンマースホイ 静

かなる詩情 9.30—12.7 国立西
洋美術館
芸術新潮 708 平出隆
美術手帖 916 保坂健二郎
朝日 10.8 高階秀爾
日経 8.16
日経 9.20
日経 9.28 宝玉正彦
日経 11.6、7、11、13、14 千
足伸行
日経 11.15
毎日夕刊 10.21 岸桂子
読売 10.23 前田恭二

(ヒ)

ヴィダス・ビヴェイニス展 9.20—
10.11 ギャラリー・ストレンガ
ー
芸術新潮 707
琉球・沖縄 2人展[比嘉康雄]
10.24—12.16 キヤノンギャラ
リーS
朝日夕刊 12.3 古賀太
東島毅展 5.16—6.13 第一生命南
ギャラリー
芸術新潮 703
読売夕刊 6.7 (清)
東田理佐展 6.30—7.5 ギャラ
リー21+葉
東山魁夷展 生誕100年 3.29—
5.18 東京国立近代美術館
新美術新聞 1148 鶴見香織
朝日夕刊 4.30 田中三蔵
東京 4.19 藤田一人
日経 2.16
日経 3.15
日経夕刊 4.28 草薙奈津子
日経夕刊 5.1 千住博
毎日夕刊 4.17 岸桂子
東山魁夷展 生誕100年 7.12—
8.31 長野県信濃美術館・東山魁
夷館
日経 7.19
童画家・東山魁夷の世界 生誕100
年記念 9.20—10.26 市川市東
山魁夷記念館
巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡／魂の
ポートレート 10.4—12.14 国
立新美術館／サントリー美術館

新美術新聞 1166 南雄介
朝日 10.8 高階秀爾
朝日 11.7 隈研吾
朝日 11.11 安藤忠雄
朝日 11.16 山内健
日経 11.5 宝玉正彦
毎日夕刊 11.18 岸桂子
読売 10.23 前田恭二
樋口朋之展 10.9—10.18 七針
shiseido art egg 2回 彦坂敏昭展
「テサグリの図画」 3.7—3.30
資生堂ギャラリー
ピサロ展 印象派の巨匠一家族と仲
間たち—オックスフォード大学・
アシュモリアン美術館蔵[カミー
ユ・ピサロ] 10.9—10.27 大丸
ミュージアム(東京)(いわき市立
美術館)
毎日 10.8 岸桂子
横山大観と春草・御舟展 大観没後
50年[菱田春草] 10.6—12.16
敦井美術館
櫃田伸也：通り過ぎた風景展 退任
記念 11.11—11.24 東京芸術大
学大学美術館
東京夕刊 11.21 児島やよい
日経 11.19 宝玉正彦
彫刻家 日名子実三展—スポーツ芸
術との出会い— 9.18—10.12
大分県立芸術会館
日比野克彦アートプロジェクト
「ホーム→アンド→アウェー」方式
meets NODA[But-a-I] 4.12—
10.19 金沢21世紀美術館
平川紀道展 observers 11.8—1.5
島根県立石見美術館
帝銀事件・60年 獄窓の画族・平
沢貞通展 9.5—9.15 ギャラ
リーTEN
美術手帖 913 福住廉
毎日夕刊 9.12 伊藤一郎
平澤重信の仕事展 6.2—6.21 あ
らかわ画廊
東京 6.14 藤田一人
ピラネージ版画展2008—未知なる
都市の彼方へ—[ジョヴァンニ・
パッティスタ・ピラネージ]
10.4—11.24 町田市立国際版画
美術館

平野健太郎展 6.30—7.5 GAL-
LERY b.TOKYO
アート・トップ 223 (玉)

平松保城のジュエリー かたちのエ
ッセンス 10.4—12.7 東京国立
近代美術館工芸館
読売夕刊 11.11 北村仁美

平山郁夫と大いなるシルクロード
新館完成記念 7.13—12.15 平
山郁夫シルクロード美術館
毎日 8.13 岸桂子

平山郁夫 讃岐巡礼の道 美術コレ
クション展Ⅰ 8.1—8.31 香川
県立ミュージアム

廣瀬智央展 官能の庭 11.29—
12.27 小山登美夫ギャラリー
STUDIO VOICE 397 嘉藤笑子
毎日夕刊 12.4 岸桂子

肘折温泉逗留芸術家2008 竹田佳
代 Poetrytime+広瀬直子 ひと
ひらつなぎ 11.5—12.7 ギャラ
リーひじおりの灯

広瀬美紀展[Requiem 東京大空襲]
3.5—3.18 銀座ニコンサロン
毎日夕刊 3.5 佐藤賢二郎

弘田一成展 10.20—11.1 ギャラ
リーK

広中薫展—ドローイング日記・内面
の対話— 5.11—6.15 奈義町現
代美術館

(フ)

ライオネル・ファイニンガー展 光
の結晶 8.2—10.5 横須賀美術
館(愛知県美術館、宮城県美術館)
AXIS 136 暮沢剛巳
東京 8.4 田中純
東京 9.13 原田光
東京夕刊 8.25 矢吹申彦
東京夕刊 8.26 菅木志雄
東京夕刊 8.27 安西水丸
東京夕刊 8.30 暮沢剛巳
読売 9.4 前田恭二

ブラジル×日本 旅が結ぶアート
兵庫県立美術館+オスカー・ニー
マイヤー美術館交流展[フランシ
スコ・ファリア] 11.1—12.7
兵庫県立美術館

フェルメール展 光の天才画家とデ

ルフトの巨匠たち 8.2—12.14
東京都美術館
新美術新聞 1160 乙葉哲
朝日 4.9
朝日 7.30 大西若人
朝日夕刊 10.7 福田美蘭
朝日夕刊 10.9 赤瀬川原平

eating+design: デザインに出来る
こと2[マライエ・フォーゲルサ
ング] 10.24—11.9 AXISギャ
ラリー
AXIS 137 中島理恵

フォロン ポスター展[ジャン=ミ
シェル・フォロン] 4.15—5.6
たばこと塩の博物館

深井隆展—月の森へ 高崎美術
コレクションより 10.3—10.14
高崎シティギャラリー

深瀬昌久「鴉」 9.12—10.12 RAT
HOLE GALLERY
美術手帖 916 飯沢耕太郎

福居伸宏展 ジャクスタポジション
3.8—3.29 小山登美夫ギャラ
リー
芸術新潮 701

福沢一郎は今日から歩き出す 生誕
110周年記念 1.6—3.2 多摩美
術大学美術館

福島善三 作陶展 9.9—9.15 三
越(日本橋)
陶説 668 唐澤昌宏

福島瑞穂の世界 愛と死—Eros et
Thanatos— 11.15—12.28 尾
道市立美術館
新美術新聞 1169 新藤兼人

福田龍郎展 What Have We Found
9.20—10.18 Void+

福田たね 青木繁のロマン 芳賀町
総合情報館開館記念 10.3—11.23
芳賀町総合情報館

福田平八郎展 写実から装飾へ—大
正・昭和前期を中心に—開館10
周年記念 9.5—10.13 大分市美
術館

福田美蘭展 10.6—11.6 第一生命
南ギャラリー
朝日夕刊 10.22 大西若人
日経 10.22 宝玉正彦
毎日 10.22 岸桂子

読売夕刊 10.25 (前)

湖畔VS湖畔—福田美蘭《湖畔》展示
— 10.9—12.25 黒田記念館

老舗の顔力+福永明子作品展「江戸
しぐさ花思草」 9.1—9.6 小津
和紙ギャラリー
毎日 9.4 田後真里

福永大介 Local Emotion 4.5—
4.26 小山登美夫ギャラリー

福山一光展 10.6—10.11 銀座ス
ルガ台画廊

藤井達吉のいた大正 大正の息吹を
体現したフェウザン会と前衛の芸
術家たち 開館記念 4.5—6.8
碧南市藤井達吉現代美術館

継続する意志 vol.17 藤井博展
2.4—2.16 ギャラリー21+葉
ないまぜ

絢交—remix—フジフランソワ、
一体こやつのアートはいかに。
4.22—6.27 豊田市美術館
美術手帖 909 拝戸雅彦

静かなる情熱—藤川勇造とロダンの
美—香川県立ミュージアム開館記
念展 4.5—5.18 香川県立ミュ
ージアム

藤沢レオ展—パサージュ— 4.26—
7.2 札幌芸術の森美術館

師・藤島武二〜藤島武二の素描と彼
をめぐる画家たち〜 10.1—
12.21 大川美術館

レオナルド・フジタ展 没後40年
[藤田嗣治] 7.12—9.4 北海道
立近代美術館(福岡市美術館、せ
んだいメディアテーク)
朝日 8.19 古賀太

レオナルド・フジタ展 没後40年
9.14—11.9 宇都宮美術館
読売 11.6 前田恭二

レオナルド・フジタ展 没後40年
11.15—1.18 上野の森美術館
朝日 12.4 高階秀爾
産経 11.17、19 佐藤幸宏
産経 11.18、21 清水敏男
産経 11.20 林洋子
産経 11.22 尾崎正明
産経 12.17 渋谷和彦/中村吉
右衛門 談

フジタとモンパルナスの仲間たち
日仏交流150周年記念 9.13—

11.30 笠間日動美術館
オペラ座の夢〜フジタ セーヌに魅
せられて 9.23—11.24 平野政
吉美術館
日経 11.18
藤田桃子「トネリコ・ユグドラシ
ル」 3.15—6.7 高橋コレクショ
ン白金
アート・トップ 222 (山)
藤本四八—美を追いかけた写真家の
生涯— 3.13—4.20 飯田市美術
博物館
藤本英明展 残熱行 6.7—7.27
ギャラリーアトリエ
アート・トップ 223 (根)
カラーハンティング ブラジル—藤
原大+イッセイミヤケクリエイテ
ィブルーム&カンパナブラザーズ
10.22—1.12 東京都現代美術館
舟木富治展 内なるまなざし
11.15—12.7 北九州市立美術館
舟越桂新作展 1.19—3.1 西村画
廊
芸術新潮 699
舟越桂 夏の邸宅 アール・デコ空
間と彫刻、ドローイング、版画
7.19—9.23 東京都庭園美術館
芸術新潮 706
新美術新聞 1158 八巻香澄
朝日夕刊 9.3 大西若人
産経 8.14 黒澤綾子
東京 8.2 児島やよい
毎日夕刊 8.19 三田晴夫
読売 8.7 菅原教夫
舟橋全二個展「風景紙画」 4.14—
4.19 SPACE YUI
毎日夕刊 4.15 斉藤希史子
船山滋生展 落花流水 10.11—
10.26 スペース・S
朝日夕刊 10.22 田中三蔵
少女マンガ3人展〜もののせきよ
り愛をこめて〜 水野英子・青池
保子・文月今日子 7.10—8.3
下関市立美術館

(ヘ)

シェリィ・ヘイ “Disasters” 6.24
—7.26 MEGUMI OGITA GAL-
LERY

芸術新潮 704
伊奈信男賞受賞作品展 33 回 平敷
兼七展「山羊の肺 沖縄 1968—
2005年」 12.2—12.15 新宿ニコ
ンサロン
毎日 12.11 明珍美紀
ジュリィ・ヘッファナン —New
Paintings— 4.1—5.17
MEGUMI OGITA GALLERY
芸術新潮 702
ロmano・ヘニ：活版印刷による本
1985—2008 10.21—11.7 スイ
ス大使館
芸術新潮 708
ぼくが信じるアート。ぼくが生きた
ライフ。キース・ヘリング生誕50
周年記念 4.25—2.15 中村キ
ース・ヘリング美術館

(ホ)

法貴信也展 11.20—12.27 タカ・
イシイギャラリー(京都)
美術手帖 918 清水穰
北城貴子展 —holy green— 4.1—
4.26 INAXギャラリー 2
芸術新潮 702
朝日夕刊 4.23 大西若人
アンドレ・ポーシャンとグランマ・
モーゼス 生きる喜び・素朴絵画
の世界 4.24—6.1 福岡県立美
術館
アンドレ・ポーシャンとグランマ・
モーゼス〜自然を愛した画家から
の、心暖まるメッセージ〜 7.5
—8.31 損保ジャパン東郷青児美
術館
芸術新潮 705
This is me. This is you [ロニ・ホ
ーン] 6.20—8.10 RAT HOLE
GALLERY
朝日夕刊 7.30 古賀太
読売夕刊 6.28 (前)
意識の襲 星野真吾展〜パンリアル
美術協会の揺籃期とともに〜
11.22—12.21 豊川市桜ヶ丘ミュ
ージアム
市川市の文化人展 9 回 「星野道夫
展」 1.19—3.2 芳澤ガーデンギ
ャラリー

毎日 2.11
The BAR vol.2 ドナ・オンとティ
アゴ・ホシャ・ピッタ 6.14—
6.28 SCAI×SCAI
美術手帖 912 近藤健一
細江英公 人間写真展 平和へのメ
ッセージ 写真絵巻「死の灰」
2.2—2.10 杉並公会堂
毎日 2.9 三木幸治
細江英公人間写真展 春本・浮世絵
／きもの／鎌鼬 屏風・掛軸・写
真絵巻 6.10—7.21 エブソンイ
メージングギャラリーエブサイト
朝日夕刊 7.16 古賀太
球体写真二元論 細江英公の世界
11.1—11.30 尼崎市総合文化セ
ンター
細川護熙 数寄の世界展 5.24—
6.29 成羽町美術館
マティスとボナール 地中海の光の
中へ[ピエール・ボナール] 3.15
—5.25 川村記念美術館(神奈川県立近代美術館(葉山))
朝日 4.6 古賀太
東京 4.19 結城昌子
東京 6.28 志村節子
東京夕刊 3.22 栗田秀法
東京夕刊 3.25 清水茂
読売 4.24 高野清見
堀研展—人と木と風と— 2.21—
3.9 はつかいち美術ギャラリー
新美術新聞 1144 宝木範義
堀晃 ソンナ風が吹クカラ、 11.15
—12.7 北九州市立美術館
堀文子展 2008…現在 10.23—
11.12 ナカジマアート
朝日夕刊 11.5 大西若人
毎日夕刊 11.11
読売夕刊 10.18
堀中絵里展 à ENSAD/PARIS
10.28—11.8 人形町VISION'S
サーナ・ホン個展：Viscary Lovers
Company 5.8—6.1 Kaikai Kiki
Gallery
毎日夕刊 5.26 岸桂子
読売夕刊 5.24 (清)
small planet [本城直季] 1.26—
3.23 Paul Smith SPACE GAL-
LERY

産経 3.9 黒沢綾子
本田正史個展 12.22—12.27 銀座
 スルガ台画廊
フランソワ・ボンボン 12.13—4.5
 群馬県立館林美術館

(マ)

**グレン・マーカット展 シンキング
 ・ドローイング／ワーキング・ド
 ローイング** 6.12—8.9 ギャラ
 リー・間
 朝日夕刊 6.25 大西若人
 産経 7.26 渋谷和彦
エンツォ・マーリ100のプロジェクト
 永井コレクションによる
 6.14—9.7 長崎県美術館
 AXIS 135 田代かおる
**ジョエル・マイロウィッツ The
 Elements : air / water ; Part 1**
 3.7—6.8 ギャラリーホワイトトル
 ームトウキョウ
 朝日夕刊 4.2 西岡一正
**坂倉準三／前川國男／木造モダニズ
 ム展—昭和初期の住宅にみるもの
 づくりの記憶—** 4.22—6.3 ギ
 ャラリーA4
 朝日夕刊 5.21 大西若人
前田昭博 白瓷展 9.30—10.6 三
 越(日本橋)
 陶説 669 外館和子
**前田寛治のパリ 大阪初公開—天才
 画家33年の軌跡** 6.28—8.3 大
 阪市立近代美術館(仮称)心齋橋展
 示室
木彫 前原冬樹展 8.1—10.7 お
 ぶせミュージアム
 朝日夕刊 10.1 田中三蔵
名匠・牧進「日本美のすべて」 9.12
 —12.11 成川美術館
 新美術新聞 1165 鹿子木明子
牧島如鳩展 11.8—1.12 足利市立
 美術館(北海道立函館美術館、三
 鷹市美術ギャラリー)
**牧野義雄展—100年前、ロンドンを
 描いた日本人—** 1.8—3.30 豊
 田市美術館
 ジャポニスム研究 28 中地幸
 東京夕刊 4.22 川口文夫
shiseido art egg 2回 植原泰介展

「flooring フロアリング」 2.8—
 3.2 資生堂ギャラリー
 朝日夕刊 2.20
 毎日夕刊 2.25 三田晴夫
真葛香山展 10.17—1.20 吉兆庵
 美術館(鎌倉)
 陶説 672 外館和子
人間の大河 馬越陽子展 北京国立
 中国美術館展帰国展 日中国交正
 常化 35 周年記念 12.23—12.29
 三越(日本橋)
 新美術新聞 1171 武田厚
**正木隆展 Requiem 2／レクイエム
 2** 3.27—4.12 ギャラリー人
 朝日夕刊 4.9 田中三蔵
MASAKO — MY HOME 10.2—
 11.15 ギャラリー・ショウ・コ
 ンテンポラリー・アート
**写真展 建築写真家・増田彰久が捉
 えた晩香廬・青淵文庫** 10.11—
 11.29 渋谷史料館
**増田信敏個展 聖なるものの十七の
 物語** 9.22—10.4 薔薇画廊
 朝日夕刊 9.24 田中三蔵
**増山たづ子写真展 「遺されたネガ
 から」** 12.2—12.9 コニカミノ
 ルタプラザ
 美術手帖 919 小原真史
**Kumi Machida ことばを超えて語
 る線[町田久美]** 6.28—8.24 高
 崎市タワー美術館
 朝日夕刊 7.23 大西若人
 東京 7.26 内田真由美
 日経 8.13 宝玉正彦
町田久美 Snow Day 7.1—8.2
 西村画廊
 朝日夕刊 7.23 大西若人
松井冬子展 10.25—12.14 平野美
 術館
 東京夕刊 12.12 下脇悟
松江泰治 “Nest” 8.29—9.20
 TARO NASU(東京)
 美術手帖 915 清水稔
**異表展 出水徹 柏木喜久子 松岡
 真** 12.1—12.6 銀座スルガ台画
 廊
**レスポワール展 42回 2008年新人
 選抜 松岡美樹子個展** 2.11—
 2.16 銀座スルガ台画廊

クリフォード・マッカーシー写真展
 8.13—8.24 調布市文化会館
 毎日 8.20 佐藤浩
松樹路人展 11.6—11.14 日動画
 廊
 新美術新聞 1167 宝木範義
マツダジュンイチ展—面壁— 4.21
 —5.10 ギャラリー長谷川
**INAXギャラリー特別展 10 days セ
 レクション—予兆のかたち10—松
 田直樹展** 8.1—8.12 INAXギ
 ャラリー
松永かの木版画展 『耳が知ること』
 1.10—1.19 アートスペース羅針
 盤
 美術手帖 905 弘中智子
地域の作家 松原満里子・村田恵子
 4.12—6.22 川上澄生美術館
松藤孝一展 「湛^{たた}える^{そら}宙」 10.7—
 12.23 愛知県美術館
**細密画の世界—篠田教夫／松村繁／
 瀬戸照 細密画三人展** 12.9—
 12.23 神田日勝記念美術館
岐阜県二人展—松本竣介・麻生三郎
 2.2—3.16 美濃加茂市民ミュー
 ジアム
松山淳個展 狂乱メディア 2.7—
 2.29 NODA CONTEMPORARY
 美術手帖 906 田中由紀子
**ルオーとマティス ルオー没後50
 年 開館5周年[アンリ・マティ
 ス]** 3.8—5.11 パナソニック電
 工汐留ミュージアム(ひろしま美
 術館、新潟県立近代美術館、松坂
 屋美術館)
 朝日夕刊 3.19 古賀太
 読売 4.24 高野清見
 読売夕刊 4.15 宮下真理子
**マティスとボナール 地中海の光の
 中へ** 3.15—5.25 川村記念美術
 館(神奈川県立近代美術館(葉
 山))
 朝日 4.6 古賀太
 東京 4.19 結城昌子
 東京 6.28 志村節子
 東京夕刊 3.21 千住真理子
 東京夕刊 3.24 近藤幸夫
 東京夕刊 3.26 森美笛
 読売 4.24 高野清見

マティスとルオー〜素晴らしき芸術
への共感〜新潟県立近代美術館開
館 15 周年記念 7.5—8.31 新潟
県立近代美術館
携帯電話の電源を切ったとき、絵画
は雄弁に語りだす[フィロズ・マ
ハムド] 6.7—7.12 オオタファ
インアーツ
毎日夕刊 6.24 岸桂子
マイ・アートフル・ライフ―描くこ
とのよろこび―[丸木スマ] 4.26
—5.25 川口市立アートギャラリ
ー・アトリア
ART iT 20 福住廉
丸木スマ 樹・花・生きものを謳う
7.5—8.31 埼玉県立近代美術館
The Chance is Higher[アリ・マル
コポロス] 6.13—8.25 ギャラ
リーホワイトルームトウキョウ
朝日夕刊 7.30 古賀太
画歴を語る 丸山正三展 4.19—
6.15 長岡市栃尾美術館
美術の窓 296 ワシオトシヒコ
丸山直文展―後ろの正面 9.27—
11.9 目黒区美術館
芸術新潮 707
朝日夕刊 10.29 大西若人
毎日夕刊 10.21 三田晴夫
読売 10.12 菅原教夫
現われの空間vol.5 木村太陽×ボ
ル・マロ 01.13—01.24 ASK?
art space kimura

(ミ)

三浦逸雄新作展 広がりと静寂の世
界 6.2—6.21 東邦画廊
スナップショットの時間〜三浦和人
と関口正夫〜 9.6—10.19 三鷹
市美術ギャラリー
読売夕刊 10.11 (前)
〜よく見て 大きく ごしごと〜
人間国宝 三浦小平二展 10.11
—12.7 くにたち郷土文化館
ミタロコスモス
小宇宙への情熱 美浦康重版画コ
レクション 9.13—12.14 神奈
川県立近代美術館(鎌倉別館)
意識の襞 星野真吾展〜パンリアル
美術協会の揺籃期とともに〜[三
上誠] 11.22—12.21 豊川市桜

ヶ丘ミュージアム
三十年目の三木富雄 9.24—10.7
児嶋画廊
読売夕刊 10.4 (前)
三木陽子「Kitchen」 7.28—8.26
VOICE GALLERY pfs/w
美術手帖 900 小吹隆文
鳥海青児と三岸好太郎展 9.13—
10.26 北海道立三岸好太郎美術
館(平塚市美術館)
節子さんとあそび!―テとメで見る
こと―[三岸節子] 7.12—8.31
一宮市三岸節子記念美術館
三沢厚彦展 アニマルズ '08 in
YOKOHAMA 10.4—11.16 そ
ごう美術館
Elements[三嶋章義] 8.30—11.9
DIESEL DENIM GALLERY
AOYAMA
STUDIO VOICE 395 編集部
三嶋りつ恵 百年後―未完の考古学
10.18—11.15 SHUGOARTS
芸術新潮 708
STUDIO VOICE 396 児島やよ
い
読売夕刊 11.1 (清)
少女マンガ3人展〜しものせきよ
り愛をこめて〜 水野英子・青池
保子・文月今日子 7.10—8.3
下関市立美術館
作家王国 根岸陽子・水村綾子―こ
ころのかたち 1.6—2.3 高崎市
美術館
三瀬夏之介展 『僕の神さま』 5.13
—5.25 neutron
アート・トップ 222 (根)
三田一雄展 12.15—12.24 ギャラ
リー21+葉
世界遺産巡礼の道をゆく 写真・南
川三治郎 4.14—7.13 玉川大学
教育博物館
南川史門「ピンクとブラック、戦争
と平和」 4.14—5.25 MISAKO &
ROSEN
毎日夕刊 4.24 岸桂子
峯田敏郎展 6.2—6.14 ギャラリ
ーせいほう
朝日夕刊 6.11 田中三蔵
峯田義郎展 4.26—6.29 現代彫刻

美術館
朝日夕刊 6.11 田中三蔵
三原研・鯉江良二展―2007 年度日
本陶磁協会賞・金賞受賞記念―
8.22—8.30 和光ホール(銀座)
陶説 667 唐澤昌宏
朝日夕刊 8.20 秋山亮太
三宅信太郎展 エジプト―文明への
道― 9.6—9.27 小山登美夫ギ
ャラリー
芸術新潮 707
ミヤケマイ展―ココでないドコか―
6.4—6.17 高島屋(新宿)(高島屋
(東京)、高島屋(京都)、高島屋(横
浜))
朝日夕刊 6.18
宮崎静夫展―死者のために― 10.2
—10.11 みゆき画廊
毎日夕刊 10.2
宮崎進展 3.10—3.31 ギャラリー
東京ユマニテ
日経 3.21
宮崎真弓―海響 2― 10.27—11.1
銀座スルガ台画廊
宮沢男爵・古林希望 「消息/com-
ings and goings」 12.3—12.24
東京画廊+BTAP
宮島達男 | Art in You 2.16—5.11
水戸芸術館現代美術ギャラリー
新美術新聞 1146 森司
朝日夕刊 4.9 大西若人
産経 2.27 黒沢綾子
東京 3.22 内田真由美
日経 3.8 小川敦生
毎日夕刊 3.13 三田晴夫
読売 3.13 高野清見
宮田亮平展―きらめきの碧の中に―
10.1—10.7 高島屋(日本橋)
毎日夕刊 10.6 桐山正寿
公募京都芸術センター2008 大崎
のぶゆき「Meltdown」 宮永愛子
「漕法」 2.8—2.26 京都芸術セ
ンター
美術手帖 906 小吹隆文
宮本三郎の線 4.5—7.27 宮本三
郎記念美術館(世田谷美術館奥沢
分館)
読売夕刊 7.8 池尻豪介
宮脇綾子アブリケ展 4.26—6.1

姫路市書写の里・美術工芸館
ロン・ミュエック展 4.26—8.31
 金沢21世紀美術館
 新美術新聞 1154 村田大輔
 美術手帖 909 大森俊克
 朝日夕刊 8.6 大西若人
三好友晴展 6.2—6.7 銀座スルガ
 台画廊
ジョン・エヴァレット・ミレイ展
 英国ヴィクトリア朝絵画の巨匠
 6.7—8.17 北九州市立美術館
 新美術新聞 1153 筒井則子
ジョン・エヴァレット・ミレイ展
 英国ヴィクトリア朝絵画の巨匠
 8.30—10.26 Bunkamura ザ・ミ
 ュージアム
 朝日夕刊 9.16
 読売 10.2 前田恭二

(ム)

向井潤吉展 風土をみつめる旅 世
田谷美術館所蔵作品による 5.31
 —7.6 田原市博物館(茅野市美術
 館、井原市立田中美術館、伊丹市
 立美術館)
向井潤吉 生きている民家—描かれ
た生活の息吹— 12.6—3.22 世
 田谷美術館分館向井潤吉アトリエ
 館
向山裕展 海水・酸素 8.25—9.6
 ギャラリー東京ユマニテ
 芸術新潮 706
ブルーノ・ムナーリのアートとあそ
ぼう!—みて、さわって、たのし
んで— 7.12—8.31 川崎市市民
 ミュージアム
栃木の棟方志功 4.8—5.20 とち
 ぎ蔵の街美術館
棟方志功と民芸 6.7—7.13 姫路
 市書写の里・美術工芸館
棟方志功鯉雨書画展 9.6—11.3
 南砺市立福光美術館
 日経 10.23
棟方志功・成田亨・奈良美智—時代
のアイコン(図像)たち— 10.18
 —12.21 大分市美術館
ヴィック・ムニーズ「ビューティ
フル・アース」 11.22—3.1 ト
 ーキョーワンダーサイト渋谷

芸術新潮 710
 美術手帖 918 中原仁
村井俊二展 Sagami River 9.1—
 9.20 Hino gallery
Takashi Murakami: Prints “My First
Art” Series[村上隆] 7.16—7.26
 Kaikai Kiki Gallery
 デザインの現場 161 紫牟田伸
 子
村上友晴展 マリア礼拝堂 12.10
 —1.23 横田茂ギャラリー
村上豊『小説現代』の表紙原画展
 9.6—10.26 講談社野間記念館
村瀬恭子「Emerald」 6.28—7.26
 タカ・イシイギャラリー
 芸術新潮 705
地域の作家 松原満里子・村田恵子
 4.12—6.22 川上澄生美術館
村田朋泰展 夢がしゃがんでいる
 4.12—5.25 平塚市美術館
 朝日夕刊 5.7 田中三蔵
村野藤吾—建築とインテリア ひと
をつくる空間の美学 8.2—10.26
 パナソニック電気汐留ミュージア
 ム
村野藤吾建築設計図展10回 アン
ビルト・ムラノ 11.25—12.26
 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
レスポワール展 42 回 2008 年新人
選抜 村田奈々恵個展 2.25—3.1
 銀座スルガ台画廊
村松元子展 5.26—5.31 銀座スル
 ガ台画廊
武留正義男個展 11.17—11.22 樫
 画廊

(メ)

アネット・メサジェ: 聖と俗の使者
たち 8.9—11.3 森美術館
 芸術新潮 706
STUDIO VOICE 393 橋本誠
 朝日夕刊 8.27 古賀太
 朝日夕刊 10.8 大西若人
 日経 9.10 宝玉正彦
 毎日夕刊 9.9 岸桂子
 読売 8.30 児島やよい
 読売 9.11 前田恭二
建築がうまるとき ベーター・メ
ルクリと青木淳 6.3—8.3 東京

国立近代美術館
 美術手帖 911 藤村龍至
ブラジル×日本 旅が結ぶアート
兵庫県立美術館+オスカー・ニー
マイヤー美術館交流展[マゼ・メ
ンデス] 11.1—12.7 兵庫県立
 美術館

(モ)

木喰展 庶民の信仰—微笑仏 生誕
二九〇年 6.27—7.24 そごう美
 術館
 朝日夕刊 7.11 古賀太
木食白道—知られざるもう一人の木
食— 5.21—6.30 山梨県立博物
 館
奈田たけを傑作展 4.7—4.26 東
 邦画廊
続 奈田たけを傑作展 5.7—5.24
 東邦画廊
夢と記憶の画家 茂田井武展 生誕
100年 10.1—11.30 ちひろ美術
 館(東京)
 読売 10.23
望月麻里展 12.8—12.13 銀座ス
 ルガ台画廊
モディリアーニ展[アメデオ・モデ
ィリアーニ] 3.26—6.9 国立新
 美術館
 朝日夕刊 5.14 古賀太
 日経 2.16
 日経 3.15
 日経 4.12 マルク・レステリー
 ニ/小川敦
 日経 5.17
 日経夕刊 5.26 宮下規久朗
 毎日 3.19 三木幸治
 毎日夕刊 4.22
 読売 5.22 前田恭二
アメデオ・モディリアーニ展 神に
愛された天才 4.5—6.1 名古屋
 市美術館(姫路市立美術館、岩手
 県立美術館)
モディリアーニ展 7.1—9.15 国
 立国際美術館
 日経 6.21
 日経 8.16
クロード・モネの世界 4.26—9.28
 名古屋ボストン美術館

モネ「印象 日の出」展 日仏交流
150周年記念 名古屋市美術館開
館20周年記念 12.23—2.28
名古屋市美術館
新美術新聞 1171 深谷克典
百瀬寿の百色百点 10.4—11.24
岩手町立石神の丘美術館
森光子展 10.14—11.1 ギャラリ
ー戸村
森芳雄展 生誕100年 9.19—9.27
名古屋画廊(名古屋)
森亮太「風の扉、ふたたび」 7.1
—9.28 川越市立美術館
森岡完介展 2.9—2.16 名古屋画
廊(名古屋)
レスポワール展42回 2008年新人
選抜 森田洋美個展 2.18—2.23
銀座スルガ画廊
森本秀樹展「記憶の街」 10.18—
10.25 名古屋画廊(名古屋)
森山大道展 I. レトロスペクティ
ヴ1965—2005/II. ハワイ 5.13
—6.29 東京都写真美術館
美術手帖 911 小原真史
東京 5.31 内田真由美
毎日 5.28 岸桂子
森山大道 ミゲル・リオ＝ブランコ
写真展 共鳴する静かな眼差し
10.22—1.12 東京都現代美術館

(ヤ)

八木明 陶展 11.26—12.3 和光
並木ホール
陶説 670 唐澤昌宏
八木良太「回路」 11.12—12.20 無
人島プロダクション
美術手帖 918 松井みどり
懐かしのねこ展[八鍬真佐子] 4.10
—4.22 cobu
毎日 4.2 明珍美紀
No potato of name 1 floor 2008
[八嶋有司] 8.23—9.7 神戸アー
トビレッジセンター
梅原・安井・須田展「京都が生んだ
三巨匠」[安井曾太郎] 9.10—
12.15 上原近代美術館
保井智貴＝capsule— 11.4—11.29
MEGUMI OGITA GALLERY
芸術新潮 709

安島太佳由「要塞列島～日本への遺
言」出版記念写真展 10.2—10.8
アイデムフォトギャラリー[シリ
ウス]
毎日 10.4 沢田猛
毎日夕刊 10.7 栗原俊雄
安田佐智種展 10.3—11.8 ベイス
ギャラリー
トライ／アングル a piece of jour-
nalism[安田菜津紀] 5.1—5.30
SPOON BREAD
毎日 5.26 吉永磨美
安田悠「境界でゆれる」 2.5—2.27
トーキョーワンダーウォール
美術手帖 906 中島水緒
やまと うらは 川端康成と安田靫彦
大和しよし 9.2—12.14 MIHO MUSEUM
(千葉市美術館)
安村崇／江口悟「Things in a place」
12.15—1.18 MISAKO & ROSEN
朝日夕刊 12.24 大西若人
柳宗理 手から生まれるかたち
4.26—6.15 広島市現代美術館
(松本市美術館、横浜美術館)
日経 6.7
柳澤顕展 1.28—2.16 ギャラリー
ゼロ
美術手帖 906 小吹隆文
作家王国 下山直紀・柳澤裕貴＝コ
コではないドコカ 12.21—
1.31 高崎市美術館
柳原睦夫展「OWLの栖む井戸」
5.7—5.13 高島屋(日本橋)
陶説 664 外館和子
陶説 666 廣崎裕哉
やなせたかしのアートな世界 みんな
大好きアンパンマン 3.1—
3.30 松本市美術館(山梨県立美
術館、北九州市立美術館分館)
むくげ 僅の画家・柳瀬正夢展 10.6—
10.25 武蔵野美術大学美術資料
図書館
読売 10.12 高野清見
トライ／アングル a piece of jour-
nalism[ヤハギクニヒコ] 5.1—
5.30 SPOON BREAD
毎日 5.26 吉永磨美
矢吹申彦＝文人素朴画— 5.21—
5.31 福原画廊

芸術新潮 703

山内多門 生誕130年展 10.18—
11.30 都城市立美術館
日本画塾13期生作品展 GROPE
竹田圭菜 野堀佳代子 山形晴香
3.20—3.30 早見芸術学園造形研
究所
山川惣治展「戦後日本を勇気づけた
「少年ケニヤ」」 4.3—6.29 弥
生美術館
東京 4.29 南条広介
「山口伊太郎の織」と染の世界展
3.14—3.16 銀座かねまつホール
読売 3.13 堀江優美子
山口伊太郎遺作展 源氏物語錦織絵
巻 4.27—7.6 承天閣美術館
山口薫展 幻影のカンヴァス 9.6
—10.28 群馬県立近代美術館(三
重県立美術館)
美術手帖 915 鷹見明彦
山口薫展 都市と田園のはざままで
11.3—12.23 世田谷美術館
新美術新聞 1168 池尻豪介
読売 12.14
project N 31 山口駿一 11.3—1.14
東京オペラシティアートギャラリ
ー
読売夕刊 1.5 (前)
超「日本画」モダニズム＝堂本印象・
児玉希望・山口蓬春— 10.3—
11.30 京都府立堂本印象美術館
山崎美佐子×横山近子＝タベルコ
ト、カクコト、ネルコト、カクコ
ト、ナクコト、カクコト— 6.16
—6.28 羽黒洞
山田純嗣 DEEP FOREST—既視感
の森— 6.25—7.15 美術画廊X
読売夕刊 7.5 (清)
山田展也個展 10.13—10.18 銀座
スルガ画廊
山田まほ展 6.24—7.6 藤屋画廊
朝日夕刊 7.2 田中三蔵
点と面の詩情—上智祐・山中嘉一
・坪田政彦展 9.13—10.26 和
歌山県立近代美術館
山野宏と若手作家ガラス展 7.16—
7.22 小田急(新宿)
山部泰司展～変容する絵画～ 7.27
—8.31 奈義町現代美術館

山本彩展—憧憬・ドローイング—
12.1—12.25 INAXギャラリー2
山本武夫展 美人画と舞台美術
2.9—4.6 目黒区美術館
芸術新潮 700
産経 3.19 生田誠
INAXギャラリー特別展 10 daysセ
レクション—予兆のかたち10—山
本努展 8.20—8.30 INAXギャラ
リー
山本有代—風景— 12.8—12.13
ギャラリー21+葉
山本雄一作陶展 9.30—10.6 三越
(日本橋)
毎日 9.26 浜田重幸
山本裕子展 5.29—6.7 ギャラリ
ー21+葉
山本容子展 過ぎゆくもの スティ
ンドグラス制作風景とともに
10.11—10.24 鉄道博物館
産経 10.12 牛田久美
山本竜基展「私 心 景」 11.26—
1.17 ミヅマ・アクション
朝日夕刊 12.24 大西若人

(ユ)

湯浅一郎 生誕140年 12.13—4.5
群馬県立館林美術館
油井瑞樹個展—霧窓— 8.25—8.30
ギャラリー21+葉
幸松春浦展—日本画の軌跡(大正・
昭和)—生誕110周年記念 1.5—
2.17 大分市美術館
湯田良夫展 9.8—9.20 ギャラリ
ーせいほう
柚木沙弥郎 わきあがる色と形
5.27—6.29 岡山県立美術館
日経 6.7
現代彫刻の変革者 湯原和夫展 存
在の自由区 10.18—1.25 神奈
川県立近代美術館(葉山)

(ヨ)

柳根澤展 3.10—3.22 ギャラリ
ー21+葉
毎日夕刊 3.18 三田晴夫
榎亭・金谷—近江蕨村と呼ばれた画
家—[横井金谷] 3.6—4.20 大
津市歴史博物館

芸術新潮 701
横尾忠則「横尾忠則のふたつめの壺」
3.7—4.5 SCAI THE BATH-
HOUSE
日経 3.20 宝玉正彦
横尾忠則 温泉主義 3.11—4.12
西村画廊
日経 3.20 宝玉正彦
冒険王・横尾忠則 4.19—6.15 世
田谷美術館(兵庫県立美術館)
新美術新聞 1151 塚田美紀
朝日夕刊 5.21 田中三蔵
東京 5.3 内田真由美
毎日夕刊 6.3 岸桂子
読売 6.12 前田恭二
横山大観 新たな伝説へ 没後
50年 1.23—3.3 国立新美術館
新美術新聞 1142 福永治
朝日 2.6 高階秀爾
朝日 2.13 古田亮
毎日夕刊 2.12 手塚さや香
読売 2.7 前田恭二
秘蔵の横山大観作品展 新寄贈の大
熊家コレクションより 1.24—
2.17 埼玉県立近代美術館
横山大観の魅力 没後50年 3.1
—5.31 足立美術館
横山大観と再興院展の仲間たち
3.15—5.18 講談社野間記念館
横山大観と春草・御舟展 大観没後
50年 10.6—12.16 敦井美術館
山崎美佐子×横山近子—タベルコ
ト、カクコト、ネルコト、カクコ
ト、ナクコト、カクコト— 6.16
—6.28 羽黒洞
郷土作家シリーズX 横山津恵展
風薫る、花香る、ヴィーナスたち
10.4—11.9 秋田県立近代美術館
与謝蕨村—^か翔^{おもい}けめぐる創意— 3.15
—6.8 MIHO MUSEUM
芸術新潮 701
新美術新聞 1149 辻惟雄
読売 5.1 前田恭二
吉川信一展 5.12—5.17 銀座スル
ガ台画廊
吉川民仁展 instinct 4.23—5.13
美術画廊X
産経 5.3 黒沢綾子
「KATSURO YOSHIDA Installation

1969—1970」吉田克朗・安齋重男
「eyewitness」大辻清司 2.12—
2.29 横田茂ギャラリー
吉田克朗 Print Works 1969—1979
9.20—2.1 Fuji Xerox Art Space
吉田茂規個展 「Identical Light」
6.18—7.12 東京画廊+BTAP
朝日夕刊 7.9 大西若人
No potato of name 1 floor 2008
[吉田周平] 8.23—9.7 神戸アー
トビレッジセンター
美しき九州の旅—「大正広重」初三郎
がえがくモダン紀行—[吉田初三
郎] 10.11—11.30 北九州市立
いのちのたび博物館
吉仲正直 9.26—10.17 Hino gal-
lery
吉野翔太郎展 創形美術学校研究科
高沢賞受賞 11.10—11.15 ギャ
ラリー21+葉
好宮佐知子展 2.6—2.23 工房
親
美術手帖 906 弘中智子
吉村芳生新作展 10.9—10.26 山
口県立美術館
美術手帖 917 福住廉
米田知子展—終わりは始まり 9.12
—11.30 原美術館
芸術新潮 706
美術手帖 915 沢山遼
朝日夕刊 11.12 大西若人
東京 9.27 児島やよい
毎日夕刊 10.7 岸桂子
読売夕刊 10.21 安田篤生
読売夕刊 11.8 (前)
なぜ?なに?萬鉄五郎 4.26—7.6
萬鉄五郎記念美術館
よんぎょん「みえないかたち」 2.11
—2.17 Oギャラリー

(ラ)

ガレ・ドーム・ラリック アール・
ヌーヴォーからアール・デコへ—
華麗なる装飾の時代—[ルネ・ラ
リック] 7.18—8.4 高島屋(京
都)
ジム ランビー: アンノウン プレ
ジャース 12.13—5.10 原美術
館

美術手帖 919 大森俊克

(リ)

李禹煥 対話—水彩による 3.5—
3.29 東京画廊+BTAP

朴英淑の白磁 月壺と李禹煥の絵皿
7.12—9.15 菊地寛実記念智美術館

朝日夕刊 7.30 秋山亮太

日経 8.20 竹田博志

毎日夕刊 8.26 岸桂子

Lee Yun Bok [リ・ユンボク]
6.30—7.12 ギャラリー 椿
(Yoshiaki Inoue Gallery)

森山大道 ミゲル・リオ=ブランコ
写真展 共鳴する静かな眼差し

10.22—1.12 東京都現代美術館

ピピロッティ・リスト からから

1.5—2.11 原美術館

読売 1.17 高野清見

(ル)

モーリス・ルイス 秘密の色層

9.13—11.30 川村記念美術館

美術手帖 917 加治屋健司

朝日夕刊 11.26 古賀太

読売夕刊 11.18 前田希世子

ルオーとマティス ルオー没後50
年 開館5周年[ジョルジュ・ル
オー] 3.8—5.11 パナソニック

電工汐留ミュージアム

朝日夕刊 3.19 古賀太

読売 4.24 高野清見

読売夕刊 4.15 宮下真理子

ルオー大回顧展 没後50年 6.14
—8.17 出光美術館

芸術新潮 704

東京 6.21 (寿)

読売 7.3 前田恭二

マティスとルオー〜素晴らしき芸術
への共感〜新潟県立近代美術館開
館15周年記念 7.5—8.31 新潟
県立近代美術館

ル・コルビュジエ 光の遺産 20
世紀モダニズム建築の巨匠—世界
遺産への歩み— 8.1—9.18 広
島県立美術館(四日市市立博物館)

AXIS 135 暮沢剛巳

ルノワール+ルノワール展[オーギ

ュスト・ルノワール] 2.2—5.6
Bunkamuraザ・ミュージアム(京
都国立近代美術館)

朝日 3.5 古賀太

産経 2.18 堀晃和

読売夕刊 3.4 宮沢政男

(レ)

レオナルド・ダ・ヴィンチのもう一
つの遺産展—知られざるルネサン
スの科学技術者— 7.29—9.28
とちぎ蔵の街美術館

(ロ)

Raum 2008 Barbara Roth—danc-
ing earth— [バーバラ・ロース]

9.9—10.17 横田茂ギャラリー

ロートレック展 パリ、美しき時代
を生きて[アンリ・ド・トゥール
ーズ=ロートレック] 1.26—3.9

サントリー美術館

東京 2.23 中村隆夫

毎日 1.21

毎日 1.22、23、25、2.21 富田

章

毎日夕刊 2.2 山下裕二

毎日夕刊 2.9 ダニエル・ドゥ

ヴァンク

毎日夕刊 2.16 佐藤光信

毎日夕刊 3.1 藤野いづみ

「国宝」を創った男 六角紫水展

11.18—1.12 広島県立美術館

(ワ)

アンドリュー・ワイエス—創造への
道程 11.8—12.23 Bunkamura

ザ・ミュージアム(愛知県美術
館、福島県立美術館)

朝日夕刊 12.17 古賀太

東京夕刊 11.7 木島俊介/宮澤

政男

東京夕刊 11.25 真野響子

東京夕刊 11.26 巽孝之

東京夕刊 11.28 内田新哉

東京夕刊 11.29 古川秀昭

東京夕刊 12.1 いいしんじ

日経 12.4 竹田博志

若尾経 作陶展 10.14—10.20 三
越(日本橋)

陶説 669 唐澤昌宏

若林奮— VALLEYS 2.16—3.16

横須賀美術館

朝日夕刊 2.20 大西若人

若山卓「像(かたち)」展 7.19—7.31

数寄和(数寄和大津)

和田千秋「障壁の美術X 祈り」21世
紀の作家—福岡8回 1.5—3.30

福岡市美術館

美術手帖 907 福住廉

安西水丸・和田誠個展「AD—LIB」

5.7—5.17 SPACE YUI

毎日夕刊 5.12 若狭毅

和田誠「旅」 6.1—6.30 TOM'S
BOX

毎日夕刊 6.9 若狭毅

和田誠展 LAST SCENE 10.17—

10.29 HBギャラリー

毎日夕刊 10.14 若狭毅

渡辺華山と関係画家 田原市博物館
館蔵名品選 7.11—8.24 田原市

博物館

江戸南画の潮流 II—文晁・華山の
新感覚— 10.11—11.9 飯田市美
術博物館

流しの写真屋 渡辺克巳 1965—
2005 写真展 2.9—4.20 ワタ

リウム美術館

読売夕刊 3.15 (前)

わたなべみわこ展 上野の森美術館
大賞展 24 回絵画大賞 日本アイ

・ビー・エム美術奨学賞受賞記念

2.15—3.2 上野の森美術館

長崎の美術 3 渡辺与平展 1.17
—3.9 長崎県美術館

新美術新聞 1143 遠山景子

王舒野展—一時空の裸視へ— 4.2—
4.22 美術画廊 X

毎日夕刊 4.21 岸桂子

団体展

(ア行)

アート未来展 13回 6.25—7.7 国
立新美術館

新美術新聞 1159

美術の窓 300 高山淳

あきつ会展 33回 2.6—2.18 国立
新美術館

亜細亜現代美術展44回 6.12—6.22
東京都美術館
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳

アジア創造美術展2008 1.23—2.4
国立新美術館

一期会43回 10.1—10.13 国立新美術館
新美術新聞 1168 (実)
美術の窓 303 高山淳/磯部靖

一陽展54回 10.1—10.13 国立新美術館
新美術新聞 1168 (智)
美術の窓 303 高山淳/切刀知子

一水会70回記念展 9.18—10.3
東京都美術館(井上百貨店、大阪市立美術館、愛知県美術館、金沢21世紀美術館)
新美術新聞 1165 (智)
美術の窓 302 高山淳

一線美術会展59回 10.5—10.14
東京都美術館
新美術新聞 1168 (智)
美術の窓 303 高山淳/磯部靖

一創会30回記念 2.28—3.5 東京都美術館
新美術新聞 1147

旺玄会展74回 5.21—5.30 東京都美術館
新美術新聞 1157
美術の窓 299 高山淳/切刀知子

(力行)

近代水墨展25回 6.23—6.29 東京都美術館
美術の窓 300 高山淳

近美展35回[近代日本美術協会]
11.1—11.12 東京都美術館
新美術新聞 1171 (智)
美術の窓 305 磯部靖

近代美術協会展45回 8.20—8.30
東京都美術館
新美術新聞 1163
美術の窓 301 高山淳

群炎展47回 11.14—11.21 東京都美術館
新美術新聞 1140

新美術新聞 1172 (実)

現水展47回 10.5—10.14 東京都美術館
新美術新聞 1168 (実)
美術の窓 303 高山淳/磯部靖

現創展34回 12.8—12.14 東京都美術館
新美術新聞 1175 (茂)
美術の窓 305 切刀知子/磯部靖

現代墨の作家展1回 6.12—6.22
東京都美術館
新美術新聞 1161

現代童画展34回 11.2—11.12 東京都美術館
新美術新聞 1171 (茂)
美術の窓 305 高山淳/磯部靖

現代日本彫刻作家展2回 4.7—4.20 東京都美術館

現代パステル協会展20回 2.7—2.11 東京芸術劇場
美術の窓 295 磯部靖

現展64回[現代美術家協会] 5.28—6.9 国立新美術館(大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳

元陽展39回 10.5—10.14 東京都美術館(大阪市立美術館、広島県立美術館)
新美術新聞 1168 (実)
美術の窓 303 磯部靖

行動展63回 9.17—9.29 国立新美術館(京都市美術館、大阪市立美術館、福岡市美術館、米子市立美術館、岡山県天神山文化プラザ)
新美術新聞 1165 (実)
美術の窓 302 高山淳

光風会展94回 4.16—4.29 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館、広島県立美術館)
新美術新聞 1153
美術の窓 298 高山淳

光陽展56回 5.9—5.18 東京都美術館
新美術新聞 1155
美術の窓 298 高山淳

国画展39回 11.30—12.7 東京都美術館
美術の窓 305 磯部靖

国展82回 5.1—5.12 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)
新美術新聞 1154
美術の窓 298 高山淳/小森佳代子/切刀知子/磯部靖

ima展34回[国際現代美術家協会]
10.16—10.31 東京都美術館
新美術新聞 1171 (実)

国美芸術展33回[国際美術協会]
6.24—6.29 東京都美術館
新美術新聞 1159

国際墨画会展8回 6.25—7.7 国立新美術館(金沢21世紀美術館)
新美術新聞 1159

駒展39回 5.31—6.10 東京都美術館
美術の窓 299 高山淳

(サ行)

朔日会展77回 5.9—5.18 東京都美術館
新美術新聞 1155
美術の窓 298 高山淳

三軌展60回記念 5.14—5.26 国立新美術館(せんだいメディアテーク、愛知県美術館、京都市美術館、大分県立芸術会館、金沢21世紀美術館、東川町文化ギャラリー)
新美術新聞 1155
美術の窓 298 高山淳/磯部靖

示現会展61回 4.2—4.14 国立新美術館
新美術新聞 1153
美術の窓 297 高山淳

写実画壇展36回 4.1—4.7 上野の森美術館
美術の窓 297 磯部靖

秋耕展33回 6.25—7.7 国立新美術館
新美術新聞 1159

自由美術展72回 10.1—10.13 国立新美術館
新美術新聞 1168 (茂)
美術の窓 303 高山淳/磯部靖

主休展 44回 9.1—9.15 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館)
新美術新聞 1164 (茂)
美術の窓 302 高山淳

朱葉会展87回 3.26—4.4 東京都美術館
新美術新聞 1151
美術の窓 297 高山淳

純展 38回 5.9—5.18 東京都美術館
新美術新聞 1155
美術の窓 298 高山淳

春陽展85回 4.16—4.29 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)
美術の窓 298 高山淳

女流画家協会展 62回 5.21—5.30 東京都美術館
新美術新聞 1157
美術の窓 299 高山淳/刃刀知子

女流陶芸展 42回 11.15—11.24 京都市美術館
陶説 670 井上隆生

銀粘土でつくるシルバーアクセサリ—コンテスト展 9回[シルバーアクセサリ—コンテスト] 6.25—7.7 国立新美術館

新槐樹社展 52回 2.6—2.18 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、東京都美術館)
新美術新聞 1146
美術の窓 295 高山淳

新協展 51回 10.16—10.31 東京都美術館(香川県立ミュージアム、米子市美術館、大阪市立美術館、広島県立美術館)
新美術新聞 1171 (茂)

極美展 14回[新極美術協会] 9.18—10.3 東京都美術館
新美術新聞 1166 (克)

新芸術展 33回 11.13—11.21 東京都美術館
新美術新聞 1172 (智)
美術の窓 305 高山淳/磯部靖

新構造展 80回 6.12—6.22 東京都美術館
新美術新聞 1158

美術の窓 299 高山淳

新興展 58回 5.21—5.30 東京都美術館(京都市美術館)
新美術新聞 1157
美術の窓 299 高山淳

新作家展 15回 10.16—10.31 東京都美術館
新美術新聞 1171 (智)

新匠工芸会公募展 63回 10.18—10.30 東京都美術館
新美術新聞 1140

新象展 51回 6.1—6.10 東京都美術館
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳

新世紀展 53回 4.6—4.20 東京都美術館(兵庫県立美術館「原田の森ギャラリー」、愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、岡山県天神山文化プラザ、北九州市立美術館)
美術の窓 297 高山淳/刃刀知子

新制作展 71回 受賞作家展 2.10—2.16 銀座東和ギャラリー/ギャラリーせいほう/建築会館ギャラリー

新制作展 72回 9.17—9.29 国立新美術館(京都市美術館、愛知県芸術文化センター8階ギャラリー、広島県立美術館県民ギャラリー)
新美術新聞 1165 (茂)
美術の窓 302 高山淳/小森佳代子

新美展 41回[新生美術会] 11.22—11.29 東京都美術館
新美術新聞 1173 (実)
美術の窓 305 磯部靖

晨鳥社展 61回 6.10—6.15 京都府立文化芸術会館
新美術新聞 1157 太田垣實
美術の窓 299 小森佳代子

新院展 40回[新日本美術院] 11.22—11.29 東京都美術館
新美術新聞 1173 (実)
美術の窓 305 磯部靖

新日美展 32回 11.30—12.7 東京都美術館

新美術新聞 1175 (茂)
美術の窓 305 磯部靖

新美術協会展 55回 6.1—6.10 東京都美術館
新美術新聞 1158

新洋画会展 30回 5.20—5.30 東京都美術館
新美術新聞 1157

水彩連盟展 67回 4.2—4.14 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞 1153
美術の窓 297 高山淳/磯部靖

青枢展 35回 9.18—10.3 東京都美術館
新美術新聞 1166 (克)
美術の窓 302 高山淳

青塔社 53回 5.20—5.25 京都市美術館別館
新美術新聞 1157 太田垣實

雪舟国際美術協会展 15回 12.10—12.22 国立新美術館

全国水墨画展 15回 8.6—8.18 国立新美術館

全日本水墨画秀作展 31回 3.5—3.16 国立新美術館

全日本アートサロン絵画大賞展 17回 2.7—2.18 国立新美術館(大阪市立美術館)

全日肖展 55回 7.28—8.3 東京都美術館
新美術新聞 1161

職美展 62回[全日本職場美術協議会] 6.12—6.22 東京都美術館

全日本水墨画展 31回 8.5—8.11 東京都美術館
新美術新聞 1162

全展 46回[全日本美術協会] 8.20—8.30 東京都美術館
新美術新聞 1163
美術の窓 301 高山淳

東京春季創画展 34回 2.28—3.4 高島屋(日本橋)
新美術新聞 1151

創画展 35回 10.16—10.31 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館)
新美術新聞 1169 (松)

蒼騎展 48回 6.25—7.7 国立新美

術館
新美術新聞 1159
美術の窓 300 高山淳
創型展57回 5.9—5.18 東京都美術館
新美術新聞 1155
美術の窓 298 高山淳
創元展67回 4.2—4.14 国立新美術館(岡山県天神山文化プラザ、京都市美術館、高松市美術館、福岡市美術館、大阪市立美術館、クリエート浜松)
新美術新聞 1153
美術の窓 297 高山淳
創彩会28回 5.9—5.18 東京都美術館
新美術新聞 1155
創展42回[創作画人協会] 10.4—10.14 東京都美術館
新美術新聞 1168 (智)
美術の窓 303 高山淳/磯部靖
蒼樹展33回 3.14—3.24 東京都美術館
新美術新聞 1149
双樹展38回 9.1—9.15 東京都美術館
新美術新聞 1164 (実)
美術の窓 302 高山淳
創造展61回 6.1—6.10 東京都美術館
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳

(タ行)

第一美術展79回 5.28—6.9 国立新美術館(豊科近代美術館、京都市美術館、愛知県美術館)
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳
大翔展32回 10.5—10.14 東京都美術館
新美術新聞 1168 (実)
大潮展72回 12.1—12.14 東京都美術館
美術の窓 305 磯部靖
大調和展47回 3.14—3.24 東京都美術館(広島県立美術館、松本市美術館)
新美術新聞 1149

美術の窓 296 高山淳
太平洋展104回 5.14—5.26 国立新美術館(福岡市美術館、愛知県美術館、千葉県立美術館、横浜市民ギャラリー、大阪市立美術館)
新美術新聞 1155
美術の窓 298 高山淳
大洋展30回 11.22—11.29 東京都美術館
美術の窓 305 磯部靖
太陽美術展34回 11.22—11.29 東京都美術館
新美術新聞 1173 (智)
美術の窓 305 磯部靖
たぶろう会展43回 6.11—6.23 国立新美術館
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳
地平展10回 11.14—11.21 東京都美術館
新美術新聞 1172 (実)
中美展60回 11.2—11.12 東京都美術館
新美術新聞 1171 (茂)
美術の窓 305 高山淳
等迦展40回記念 2.6—2.18 国立新美術館
新美術新聞 1146
美術の窓 295 高山淳
東京展34回 9.18—10.3 東京都美術館
新美術新聞 1166 (茂)
美術の窓 302 高山淳
都展44回[東京都民美術展運営会] 11.2—11.12 東京都美術館
新美術新聞 1171 (茂)
陶芸財団展2008 6.25—7.6 国立新美術館
新美術新聞 1159
東光展74回 4.23—5.7 東京都美術館(大阪市立美術館、岡山県天神山文化プラザ、鹿児島市立美術館、広島県立美術館、熊本県立美術館)
新美術新聞 1154
美術の窓 298 高山淳
東方展42回 3.14—3.24 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館別館)

新美術新聞 1149
美術の窓 296 高山淳/磯部靖
独立美術展76回 10.15—10.27 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、福岡市美術館、愛知県美術館、鹿児島県歴史資料センター黎明館)
新美術新聞 1169 (智)
土日会展33回 12.10—12.23 国立新美術館
新美術新聞 1176 (洋)
美術の窓 305 磯部靖

(ナ行)

南画院展62回 10.5—10.14 東京都美術館
新美術新聞 1168 (茂)
21美術展3回 11.30—12.7 東京都美術館
新美術新聞 1175 (克)
二科会写真部展56回 9.3—9.15 国立新美術館
二科展93回 9.3—9.15 国立新美術館(愛知県美術館、大阪市立美術館、京都市美術館、広島県立美術館、福岡市立美術館、鹿児島県歴史資料センター、新川文化センター)
新美術新聞 1164 (智)
美術の窓 302 高山淳
二紀展62回 10.15—10.27 国立新美術館(愛知県美術館、京都市美術館、福岡市美術館、広島県立美術館)
新美術新聞 1169 (実)
二元展47回 6.12—6.22 東京都美術館
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳
日仏現代美術展12回 8.21—8.30 東京都美術館
新美術新聞 1163
美術の窓 301 高山淳
日洋展22回 5.28—6.9 国立新美術館(福岡市美術館、広島県立美術館県民ギャラリー、大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳

日輝展33回 12.8—12.14 東京都美術館
新美術新聞 1175 (智)

日春展43回 4.2—4.7 松屋(銀座)
新美術新聞 1151

日展40回 10.31—12.7 国立新美術館(京都市美術館、愛知県美術館、大阪市立美術館、富山県民会館美術館、福岡市美術館、長崎県美術館、長崎歴史文化博物館)
新美術新聞 1170 (智)/(実)/(茂)
美術の窓 305 高山淳/小森佳代子

日本アンデパンダン展61回 3.19—3.31 国立新美術館
新美術新聞 1150

日本画院展68回 4.23—5.7 東京都美術館
新美術新聞 1154
美術の窓 298 高山淳

日府展55回[日本画府] 5.8—5.18 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞 1155
美術の窓 298 高山淳

JAG展31回[日本芸術家協会]
11.13—11.21 東京都美術館
新美術新聞 1172 (実)
美術の窓 305 磯部靖

日本現代工芸美術展47回 3.26—4.4 東京都美術館(愛知県美術館、京都市美術館、金沢21世紀美術館、富山県民会館美術館、神奈川県民ホール、徳島県郷土文化会館、身延町なかとみ現代工芸美術館)
新美術新聞 1151
美術の窓 297 高山淳

彩美展13回[日本彩美会] 11.14—11.21 東京都美術館
新美術新聞 1172 (実)

日本自由画壇展34回 6.11—6.23 国立新美術館
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳

日本新工芸展30回 5.14—5.25 国立新美術館(松坂屋美術館、京都市美術館、北九州市立美術館市

民ギャラリー)
新美術新聞 1155
美術の窓 298 小森佳代子

日本新水墨派展33回 11.22—11.29 東京都美術館
美術の窓 305 切刀知子

日本水彩選抜展4回 2.19—2.24 東京セントラル美術館

日本水彩展96回 6.1—6.10 東京都美術館(愛知県美術館、福屋(広島)、京都市美術館別館)
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳

日本水墨院展23回 6.11—6.22 国立新美術館
新美術新聞 1158

日本水墨画展41回 3.14—3.24 東京都美術館

清興展30回[日本清興美術協会]
12.8—12.14 東京都美術館
新美術新聞 1175 (智)
美術の窓 305 磯部靖

国際扇面展29回[日本扇面芸術協会] 3.26—4.4 東京都美術館
新美術新聞 1152

日中水墨画合同展25回 2.6—2.18 国立新美術館

日彫展38回 6.25—7.7 国立新美術館(愛知芸術文化センター、富山県民会館美術館)
新美術新聞 1159
美術の窓 300 小森佳代子

総合水墨画展13回[日本通信美術学園] 8.7—8.16 国立新美術館

日美絵画展9回[日本通信美術学園]
8.7—8.16 国立新美術館

日本伝統工芸展55回 9.23—10.5 三越(日本橋)
陶説 668 外館和子
陶説 670 光井玄空

日本南画院展48回 3.19—3.30 国立新美術館(京都市美術館、大阪市立美術館)
新美術新聞 1150
美術の窓 296 高山淳

板院展58回[日本板画院] 6.12—6.22 東京都美術館
新美術新聞 1158
美術の窓 299 高山淳/小森佳

代子

日本版画会展49回 11.23—11.29 東京都美術館
新美術新聞 1173 (茂)
美術の窓 305 磯部靖

版画展76回[日本版画協会] 4.6—4.20 東京都美術館
美術の窓 297 切刀知子

春の院展63回[日本美術院] 4.1—4.13 三越(日本橋)
新美術新聞 1151

院展93回 9.1—9.15 東京都美術館(京都市美術館、大丸(心斎橋)、福井県立美術館、そごう美術館、天満屋(岡山)、福屋(広島)、クリエート浜松、三越(名古屋)、茨城県天心記念五浦美術館、今井美術館、北九州市立美術館、三越(松山)、鳥取県立博物館)
新美術新聞 1164 (松)
美術の窓 302 高山淳/切刀知子

日本表現派展52回 10.5—10.14 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞 1168 (茂)
美術の窓 303 高山淳

日象展35回[日本表象美術協会]
12.10—12.23 国立新美術館
新美術新聞 1176 (智)
美術の窓 305 高山淳/磯部靖

日本文人画府展37回 10.5—10.14 東京都美術館
新美術新聞 1168 (洋)
美術の窓 303 磯部靖

日本遊印アート協会展16回 6.24—6.29 東京都美術館
新美術新聞 1159

日本和紙画展23回 11.23—11.29 東京都美術館
新美術新聞 1173 (茂)

NAU 21世紀美術連立展9回[New Artist Unit] 9.18—10.3 東京都美術館
新美術新聞 1166 (実)

ニュークリエイティブ展26回
12.1—12.7 東京都美術館
新美術新聞 1175 (克)

(ハ行)

白亜展 31回 12.8—12.14 東京都
美術館
新美術新聞 1175 (茂)
美術の窓 305 功刀知子/磯部
靖

白土会展 44回 8.21—8.30 東京
都美術館
新美術新聞 1163
美術の窓 301 高山淳/小森佳
代子

白日展 84回 3.19—3.31 国立新
美術館(愛知県美術館ギャラリ
ー、鹿児島県歴史資料センター黎
明館、近鉄アート館(大阪)、兵庫
県豊岡市伊藤清永美術館)
新美術新聞 1150
美術の窓 296 高山淳

汎美展2008 3.5—3.17 東京都美
術館

美術文化展 68回 3.26—4.4 東京
都美術館(愛知県美術館、京都市
美術館)
新美術新聞 1151
美術の窓 297 高山淳

从展 34回 3.14—3.24 東京都美
術館
美術の窓 296 佐久間智香子

風子会展 32回 11.22—11.29 東
京都美術館
新美術新聞 1173 (智)

風土展 30回 9.15—9.21 セント
ラル美術館
美術の窓 302 高山淳

FAA富士美術展 26回 4.23—5.7
東京都美術館
新美術新聞 1154
美術の窓 298 高山淳

平泉展 20回 1.23—2.4 国立新美
術館

(マ行)

モダンアート展 58回 4.23—5.7
東京都美術館(福岡市美術館、愛
知県美術館ギャラリー、京都市美
術館、埼玉県立近代美術館)
新美術新聞 1154
美術の窓 298 高山淳

(ヤ行)

遙玄展 35回 11.2—11.12 東京都
美術館
新美術新聞 1171 (洋)
美術の窓 305 小森佳代子

(ラ行)

立軌展 60回記念 2.6—2.18 国立
新美術館
新美術新聞 1145
美術の窓 295 高山淳

流形展 58回 11.30—12.7 東京都
美術館
新美術新聞 1175 (茂)

連展35回 12.3—12.7 東京都美術
館
新美術新聞 1175 (克)

ローマン派美術協会展 40回 12.8
—12.14 東京都美術館
新美術新聞 1175 (智)

美術文献目録

凡 例

- ここに採録した文献は平成20(2008)年中にわが国において発行された定期刊行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし雑誌により年外が含まれることもある。
- 「美術文献目録」の欄は、平成12年版より従来の「定期刊行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けている。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている現状に対応して行ったものである。
- 「定期刊行物所載文献」の欄は、従来の「現代美術・西洋美術」、「東洋古美術」の分類を、「近現代美術」「古美術」に改め、また、両分類にかかわる記事については、「総説」「その他」中の各項目に統合して記載した。
- 「定期刊行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。また、古美術に関する文献のうち、新聞紙上に掲載された記事で、現代に関連する内容をもつものはここに採録した。
- 「定期刊行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。
- 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」、「作家展」と「団体展」の3つに分類した。美術展覧会の分類は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の開催美術館名、文献名、執筆者名の順に記載し、展覧会名の50音順に配列した。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について50音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを採録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後に現れるデータにおいては、展覧会名、会場のみに限った。
- 号数は主として通巻番号を採用した。なお757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は、14号と15号の合併号を示す。9.1、3、6は平成20年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
- 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。便宜上編集部が補った内容は末尾に[]で示した。

収録定期刊行物誌名

(50音順)

アーカイブズ・ニューズレター(国文学研究資料館アーカイブズ研究系)	AXIS	宇都宮美術館年報	隠岐の文化財(隠岐の島町教育委員会、海士町教育委員会、西ノ島町教育委員会、知夫村教育委員会)
ARK(秋田県立近代美術館)	アジア文化交流研究(関西大学アジア文化交流研究センター)	浦添市文化部紀要 よのつち	屋外彫刻調査保存研究会会報
art_icle	アジア遊学	瓜生通信(京都造形芸術大学)	尾道大学芸術文化学部紀要
ART iT	明日の東洋学(東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター)	叡山学院研究紀要	オリエンテ(古代オリエント博物館)
アート・ドキュメンテーション研究	跡見学園女子大学文学部フォーラム	エスプラナード(福岡市美術館)	オリエンテ(日本オリエント学会)
アート・ドキュメンテーション通信	跡見学園女子大学文学部紀要	江戸東京博物館 NEWS	貝塚博物館紀要
アート・トップ	aprire(岩手県立美術館)	愛媛県美術館年報・研究紀要	香川県歴史博物館調査研究報告
アートペーパー(名古屋市美術館)	アマリリス(静岡県立美術館)	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	学習院大学人文科学論集
ART LIBRARY (日本彫刻会)	アルカディア(岡崎市美術館)	LR Returns	学習院大学文学部研究年報
ARTRAMBLE(兵庫県立美術館)	飯田市美術館研究紀要	鴨東通信(思文閣)	学術研究(早稲田大学教育学部)
ARTLET(慶応義塾大学アート・センター)	池田文庫	大分県立歴史博物館研究紀要	学叢(京都国立博物館)
あいだ	石川県立美術館紀要	大阪城天守閣紀要	学燈
愛知教育大学研究報告	石川県立美術館だより	大阪成蹊大学芸術学部紀要	鹿島美術財団年報・別冊
愛知県史研究	石川県立歴史博物館紀要	大阪大学大学院文学研究科紀要	柏原市立歴史資料館館報
愛知県美術館研究紀要	一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要	大阪府教育委員会文化財調査事務所年報	ガス燈(大川美術館)
愛知県埋蔵文化財センター研究紀要	一寸	大阪文化財研究(大阪文化財センター)	神奈川県立近代美術館年報
愛知県立芸術大学紀要	五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所)	大阪歴史博物館共同研究成果報告書	神奈川県立博物館研究報告
愛知県立大学文学部論集	出光美術館館報	太田記念美術館論集	神奈川県立歴史博物館だより
葵(徳川美術館)	出光美術館研究紀要	太田市歴史博物館研究紀要	かながわの考古学(かながわ考古学財団)
青森県立郷土館だより	茨城県近代美術館だより	大妻女子大学紀要	金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編
青山学院女子短期大学総合文化研究所年報	岩手県立博物館研究報告	大和(大神神社)	金沢大学考古学紀要
青山史学(青山学院大学史学研究室)	石見美術(島根県浜田市立石正美術館)	岡山県立美術館ニュース	金沢大学文学部論集
秋田県立博物館研究報告	印度学仏教学研究	岡山市立オリエンタ美術館研究紀要	金沢美術工芸大学紀要
秋田公立美術工芸短期大学紀要	上原近代美術館だより	岡山大学文学部紀要	金沢文庫研究
秋田美術(秋田県立近代美術館)	浮世絵芸術(日本浮世絵協会)	岡山ひと 岡山市デジタルミュージアム紀要	鎌倉(鎌倉文化研究会)
		沖縄県立芸術大学紀要	カリスタ(東京芸術大学美術学部美学研究室)

- Cultivate(文化環境研究所) 近代画説(明治美術学会) 皇学館大学神道研究所紀要 斎宮歴史博物館研究紀要
- 川崎市市民ミュージアム紀要 グリーンルーフ(鹿児島市立美術館) 考古学雑誌 埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要
- 川崎市文化財調査集録 くりま 高知県立美術館研究紀要 埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要
- 元興寺文化財研究所研究報告 CLOSET(女子美術大学大学院美術研究科芸術表象ゼミ) 神戸市立小磯記念美術館研究紀要 埼玉史談(埼玉郷土文化会)
- 関西大学哲学 群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要 神戸市立博物館だより 採運 千葉市美術館研究紀要
- 関西大学東西学術研究所紀要 群馬県立近代美術館研究紀要 神戸大学文学部紀要 佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要
- 漢字文化研究年報(京都大学21世紀COEプログラム) 群馬県立女子大学紀要 高野山大学密教文化研究所紀要 佐賀県立博物館・美術館調査研究書
- 季刊 Plug(大阪府立現代美術センター、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター) 群馬県立館林美術館研究紀要 高麗美術館研究紀要 SAZAE 通信(長谷川町子美術館)
- 北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 群馬県立歴史博物館紀要 公立埋文協会報(全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会) 札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要
- 北区飛鳥山博物館研究報告 群馬県立森美術館ニュース(群馬県立近代美術館) 国学院雑誌 三康文化研究所所報
- 岐阜県博物館調査研究報告 慶応義塾大学アート・センター年報 国文学解釈と鑑賞 三の丸尚蔵館年報・紀要
- 岐阜県美術館年報 芸術学学報(金沢美術工芸大学芸術学研究室) 国文学研究資料館調査研究報告 GMAT News(群馬県立館林美術館)
- 岐阜県ミュージアムひだ研究事業報告 芸術学研究(京都造形芸術大学芸術学研究室) 国立国際美術館月報 jaic 会報(日本美術情報センター)
- ギャラリー(月刊) 芸術学研究(筑波大学大学院人間総合科学研究科) 国立国際美術館ニュース 史淵(九州大学大学院人文科学研究院)
- 九州産業大学芸術学部研究報告 芸術学研究(明治学院大学芸術学会) 国立新美術館ニュース 塩尻市立平出博物館紀要
- 九州史学(九州史学会) 芸術新潮 国立西洋美術館研究紀要 Shiodome Museum REVUE(松下電工汐留ミュージアム/パナソニック電工汐留ミュージアム)
- 九州歴史資料館研究論集 芸術文化研究(大阪芸術大学大学院芸術文化研究科) 国立西洋美術館年報 史学(三田史学会)
- 京都国立近代美術館研究論集 芸叢(筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学研究室) 国立民族学博物館研究報告 史学雑誌
- 京都市美術館ニュース 芸大通信(東京芸術大学) 国立民族学博物館調査報告 滋賀県安土城郭調査研究所研究紀要
- 京都女子大学人文論叢 芸文(武蔵野美術大学芸術文化学科研究室) 国立歴史民俗博物館研究報告 滋賀県文化財保護協会紀要
- 京都市立芸術大学美術学部研究紀要 計量史研究 古代オリエント博物館紀要 滋賀県立安土城考古博物館紀要
- 京都精華大学紀要 研究紀要金沢城研究(石川県金沢城調査研究所) 古代文化(古代学協会) 滋賀県立近代美術館研究紀要
- 京都美学美術史学(京都美学美術史学会) 現代の眼(東京国立近代美術館) 古代文化研究(島根県古代文化センター) 滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要
- 京都府立総合資料館だより 建築雑誌(日本建築学会) コミュニケーション科学(東京経済大学コミュニケーション学会) 市史研究 ふくおか(福岡市博物館市史編さん室)
- 紀要 Hokkaido Art Museum Studies 建築史学(建築史学会) 古文書研究(日本古文書学会) 静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要
- 共立女子大学文芸学部紀要 県美協力会会報(山梨県立美術館協力会) Corridart(横須賀美術館) 静岡県立美術館紀要
- 金蔵叢書 史学美術史論文集(徳川黎明会) 近代(神戸大学)

美術文献目録

- 死生学研究(東京大学大学院人文社会系研究科)
- 史迹と美術
- 自然と文化(平塚市博物館)
- 思想
- 実践国文学
- 実践女子学園香雪記念資料館館報
- 実践女子大学美学美術史学
- 実践女子大学文学部紀要
- 実践女子大学文芸資料研究所年報
- 斯道文庫論集
- 島根県立石見美術館研究紀要
- 島根大学ミュージアム年報
- 下関市立考古博物館研究紀要
- ジャポニスム研究
- 史友(青山学院大学史学会)
- 主体美術(主体美術協会)
- 趣味の水墨画
- 純心人文研究(長崎純心大学)
- 巡礼記研究
- 正倉院紀要
- 聖徳(法隆寺)
- 書芸研究(筑波大学人間総合科学研究科書研究室)
- 女子美(女子美術大学)
- 女子美術大学研究紀要
- 書道界
- 書陵部紀要
- 書論
- 市立函館博物館研究紀要
- 史林(京都大学文学部内史学研究会)
- 絲綢之路(シルクロード)(文化財保護振興財団)
- シルクロード学研究(シルクロード学研究センター)
- 塵界(兵庫県立歴史博物館)
- 新美術新聞
- 人文学(同志社大学人文学会)
- 人文学研究所報(神奈川大学人文学研究所)
- 人文学報(京都大学人文学研究所)
- 人文研究(神奈川大学人文学会)
- 人文論究(関西学院大学人文学会)
- 人類学博物館紀要(南山大学人類学博物館)
- 水声通信
- 相山女学園大学研究論集
- STUDIO VOICE
- 墨
- 駿台史学
- 生活と文化(豊島区立郷土資料館)
- 成城美学美術史
- 成城文芸
- 清泉女子大学紀要
- 西洋美術研究
- 世田谷美術館紀要
- 世田谷美術館だより
- 泉石(古河歴史博物館)
- 仙台市博物館調査研究報告
- 全文連会報(全国国宝重要文化財所有者連盟)
- 崇城大学芸術学部研究紀要
- 大日光(日光東照宮)
- 太陽(別冊)
- 竹中大工道具館研究紀要
- たばこと塩の博物館年報
- 田原市博物館研究紀要
- 田原市博物館年報
- 玉川大学教育博物館紀要
- 多摩美術大学研究紀要
- 多摩美術大学大学院修了論文作品集
- 玉藻(フェリス学院大学国文学会)
- 淡交
- 千葉県の文書館
- 千葉県立中央博物館研究報告
- 地方史研究
- 茶の湯文化学
- 朝鮮学報(朝鮮学会)
- 潮流(下関市立美術館)
- 筑波大学芸術研究報告
- 筑波大学先史学・考古学研究
- 土浦市立博物館紀要
- 壺屋焼物博物館紀要
- 津山弥生の里
- デアルテ(九州芸術学会)
- デザイン&ミュージアム・リンク
- デザインの現場
- 哲学会誌(学習院大学哲学会)
- 帝塚山学院大学研究論集
- 帝塚山大学現代生活学部紀要
- 帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要
- 天台学報
- 10+1 (Ten Plus One)
- 天理参考館報
- 東海大学紀要教養学部
- 東京学芸大学紀要
- 東京家政学院生活文化博物館年報
- 東京芸術大学大学美術館年報
- 東京芸術大学美術学部論叢
- 東京国立近代美術館研究紀要
- 東京国立博物館紀要
- 東京国立博物館ニュース
- 東京造形大学研究報
- 東京大学構内遺跡調査研究年報
- 東京大学史料編纂所研究紀要
- 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信
- 東京都写真美術館紀要
- 東京都写真美術館ニュース
- 東京都埋蔵文化財センター研究論集
- 刀剣美術
- 同志社大学博物館学年報
- 陶説
- 東方学
- 東方学報京都(京都大学人文科学研究所)
- 同朋大学仏教文化研究所紀要
- 東北アジア研究センター叢書
- 東北芸術工科大学紀要
- 東北歴史博物館研究紀要
- 東洋陶磁
- 東洋文化研究所紀要
- 東洋文庫書報
- どおむ(富山県立近代美術館)
- 遠山記念館だより
- 常盤山文庫中国陶磁研究会会報
- 徳島県立近代美術館研究紀要
- 徳島県立博物館ニュース
- 栃木県立博物館研究紀要
- とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要
- 富山考古学研究
- 豊田市美術館紀要

長崎県美術館研究紀要	日本女子大学大学院文学研究科紀要	美術史論集(神戸大学美術史研究会)	ブリヂストン美術館・石橋美術館報
長崎歴史文化博物館研究紀要	日本大学芸術学部紀要	美術史論叢(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室)	文化(東邦大学文学会)
長野県信濃美術館紀要	日本文化史研究(帝塚山大学奈良学総合文化研究所)	美術手帖	文化学年報(同志社大学文化学会)
長野県立歴史館研究紀要	日本歴史	美術の窓	文学(隔月刊)
名古屋市博物館研究紀要	人間文化(滋賀県立大学人間文化学部)	美術フォーラム21	文化財(月刊)(文化庁文化財保護部)
名古屋市美術館研究紀要	野村美術館研究紀要	美のたより(大和文華館)	文化財学報(奈良大学文学部文化財学科)
名古屋造形芸術大学・名古屋造形芸術大学短期大学部紀要	徘徊巷	美の縁(思文閣)	文化財保存学専攻保存修復彫刻年報(東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室)
名古屋大学文学部研究論集	博物館研究(日本博物館協会)	ビブリア(天理図書館)	文化財保存学専攻保存修復彫刻年報(東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室)
七隈史学(福岡大学人文学部歴史学科)	馬事文化財団年報	姫路市立美術館研究紀要	文化財レポート(京都文化財団)
奈良学研究(帝塚山短期大学)	八戸市博物館研究紀要	姫路市立美術館だより	文化史学
奈良教育大学紀要	PATIO(高岡市美術館)	百万塔(紙の博物館)	文化資源学
奈良県立美術館紀要	花巻市博物館研究紀要	百科(月刊)	文化情報学(同志社大学文化情報学会)
奈良女子大学文学部研究教育年報	林原美術館紀要・年報	氷華(北海道旭川美術館)	文化と芸術(静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター)
奈良文化財研究所紀要	版画芸術	兵庫県立考古博物館研究紀要	文環研レポート(文化環境研究所)
南都仏教	美学(季刊)	兵庫県立美術館研究紀要	文化ふるさと歴史館年報
新潟県立近代美術館研究紀要	美学芸術学(同志社大学美学芸術学研究室)	兵庫県立美術館研究紀要	文星芸術大学大学院研究科論集
新潟県立歴史博物館研究紀要	美学論究(関西学院大学文学部美学研究室)	平泉文化研究年報(岩手県教育委員会)	文環研レポート(文化環境研究所)
西アジア考古学	東アジアの古代文化(古代学研究所)	平出博物館ノート	文京ふるさと歴史館年報
西宮市大谷記念美術館NEWS	東アジア文化交渉研究(関西大学文化交渉学教育研究拠点)	美連協ニュース(JAAM 会報)(美術館連絡協議会)	文星芸術大学大学院研究科論集
西宮歴史調査団年報	彦根城博物館研究紀要	広島県立美術館研究紀要	鵬(岡倉天心研究会「鵬の会」)
日仏美術学会会報	彦根城博物館研究紀要	広島市立大学芸術学部紀要	鳳翔学叢(平等院)
日文研	美術研ジャーナル(武蔵野美術大学美学美術史研究室)	フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学・芸術史講座)	法政史学
日光山輪王寺	美術運動(日本美術会)	福井県立若狭歴史民俗資料館館報	北斎研究
日展ニュース	美術運動史研究会ニュース	福岡市博物館研究紀要	保存科学(東京文化財研究所)
日本研究(国際日本文化研究センター)	美術京都(中信美術奨励基金)	府中市郷土の森博物館紀要	北海道開拓記念館研究紀要
日本建築学会計画系論文集	美術研究(東京文化財研究所)	ふちゅへる(静岡市教育委員会)	北海道東海大学紀要
日本考古学年報	美術史	仏教芸術	待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科)
日本史研究	美術史学(東北大学)	仏教大学アジア宗教文化情報研究所研究紀要	町田市立国際版画美術館紀要
日本史の方法	美術史研究(早稲田大学美術史学会)	仏教大学文学部論集	三重県埋蔵文化財センター研究紀要
日本女子大学大学院人間社会研究科紀要		フラミンゴ(滋賀県立近代美術館)	瑞垣(神社司庁)

美術文献目録

三田国文	武蔵野美術大学美術資料図書館館報	雪椿通信(新潟県立近代美術館)	連盟ニュース(日本美術家連盟)
三井美術文化史論集(三井記念美術館)	ムゼイオン(立教大学学校・社会教育講座)	ユネスコ世界遺産年報	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要
密教図像	棟方志功記念館だより	ユリイカ	碌山美術館
密教文化	室町時代研究	横浜市歴史博物館紀要	和歌山県文化財センター年報
美濃加茂市民ミュージアム紀要	明治大学博物館研究報告	横浜市歴史博物館調査研究報告	和歌山県立博物館研究紀要
MIHO MUSEUM 研究紀要	明治村だより	横山大観記念館館報	和歌山市立博物館研究紀要
宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	明星大学研究紀要	米沢市上杉博物館年報	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要
宮崎大学教育文化学部紀要	目の眼	立教大学日本学研究所年報	早稲田大学大学院文学研究科紀要
MUSEUM(東京国立博物館)	杜(東京芸術大学美術学部杜の会)	立正史学	早稲田大学図書館紀要
MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成課程紀要)	文書館紀要(埼玉県立文書館)	栗東歴史民俗博物館紀要	和洋女子大学紀要
MUSEOLOGY(実践女子大学美学美術史学科研究室博物館学課程)	文部科学広報	龍谷史壇(龍谷大学史学会)	朝日
MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成課程年報)	山形大学歴史・地理・人類学論集	龍谷大学仏教文化研究所紀要	朝日夕刊
民具マンスリー(神奈川大学日本常民文化研究所)	山口県文書館研究紀要	Lure(札幌芸術の森)	産経
みんぱく(国立民族学博物館)	山口県立山口博物館研究報告	黎明館調査研究報告	東京
民博通信(国立民族学博物館)	大和文華(大和文華館)	歴史遺産研究(東北芸術工科大学歴史遺産学科)	東京夕刊
無形文化遺産研究報告	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	歴史学研究	日経
武蔵野(武蔵野文化協会)	山梨県立博物館研究紀要	歴史地理教育	日経夕刊
武蔵野美術大学研究紀要	山梨県立美術館研究紀要	歴史と地理	毎日
	游美(茨城県立近代美術館友の会)	歴史と民俗(神奈川大学常民文化研究所)	毎日夕刊
		歴史評論(歴史科学協議会)	読売
		歴博(国立歴史民俗博物館)	読売夕刊

※尚、以下に記す刊行物の表記は略称を用い、末尾に*を付した。

愛知県埋蔵文化財センター研究紀要
 青山学院女子短期大学総合文化研究所年報
 浦添市文化財部紀要 よのつち
 大阪府教育委員会文化財調査事務所年報
 岡山びと 岡山市デジタルミュージアム紀要
 金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編
 北九州市立自然史・歴史博物館研究報告
 岐阜県ミュージアムひだ研究事業報告
 ギャラリー(月刊)
 紀要 Hokkaido Art Museum Studies
 金鱧叢書 史学美術史論文集
 群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要
 埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要
 採蓮 千葉市美術館研究紀要
 札幌大谷大学・札幌大谷短期大学部紀要
 静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要
 帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要
 10+1 (Ten Plus One)
 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信
 東京都埋蔵文化財センター研究論集
 名古屋造形芸術大学・名古屋造形芸術大学短期大学部紀要
 日本女子大学大学院人間社会研究科紀要
 日本女子大学大学院文学研究科紀要
 百科(月刊)
 仏教大学アジア宗教文化情報研究所研究紀要
 ブリヂストン美術館・石橋美術館館報
 文学(隔月刊)
 文化財(月刊)
 山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要
 鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要
 早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要

愛知県埋文センター紀要*
 青山女子短大総合文化研年報*
 よのつち*
 大阪府教委文化財調査事務所年報*
 岡山びと*
 金沢学院大学紀要*
 北九州自然史歴史博報告*
 ミュージアムひだ研究報告*
 ギャラリー*
 Hokkaido Art Mus. Studies*
 金鱧叢書*
 群馬県埋文調査団紀要*
 埼玉県埋文調査団紀要*
 採蓮*
 札幌大谷大学紀要*
 静岡県埋文紀要*
 帝塚山大大学院紀要*
 10+1*
 東大画像史料解析センター通信*
 東京都埋文センター論集*
 名古屋造形芸大紀要*
 日本女子大学大学院紀要(人)*
 日本女子大学大学院紀要(文)*
 百科*
 仏教大学アジア宗教文化研紀要*
 ブリヂストン・石橋美術館報*
 文学*
 文化財*
 山梨県考古博埋文センター紀要*
 鹿園雑集*
 早大會津八一記念博紀要*

目 次

〔定期刊行物所載文献〕

総 説	78
美 学	78
概 論	79
日本美術史	89
海外美術史(アジア)	94
海外美術史(その他)	94
保 存 修 復	98
情 報 処 理	104
文化財行政	106
美 術 教 育	111
古 美 術	115
絵 画	115
図像・文様	129
地図・絵図	129
彫 塑	130
原 始 彫 刻	135
面	136
書 蹟	136
古文書・古記録	138
金石文など	139
宗 教 工 芸	139
武具・馬具類	140
茶 道 具	140
装身具・化粧具	141
文 房 具	141
装潢・料紙装飾	141
陶 磁	141
土 器	144
瓦	146
金 工	147
鏡	147
青 銅 器	148
刀剣・刀装・槍	148
染織・服飾	150
漆 工	151
石 工	152
石 器	152

木 竹 工	153
ガラス工	153
その他の工芸・民具	153
都市・建築一般	153
都市・集落	154
宮殿・官衙	155
宗教建造物	155
城 郭	157
住 宅・館	157
茶 室	158
その他の建造物	158
庭 園	158
墳 墓	159
建築部材など	159
建築に付随するその他	159
近現代美術	161
絵 画	161
漫画・アニメーション	164
版 画	166
写真・映像	167
彫刻・空間表現	169
工 芸	170
デザイン	172
建 築	175
その他のジャンル	182
作 家	183
日 本	183
海 外	303
そ の 他	337
美術関係者	337
書 評	343
時 評	350
美術館・博物館・画廊	355
海 外 展	371

定期刊行物所載文献

総 説									
美 学									
E・プロッホの芸術論への一考察	織田 春樹	石川県立美術館紀要	18	「眼差し」と「時間」—メルロ＝ポンティ絵画論の射程—	横山 奈那	〃	〃		
平成十八年度博士論文(課程)要旨 スーリオ美学の根本問題	北田 有亮	大阪大学大学院文学研究科紀要	48	ロシア芸術論から見たレヴィ＝ストロース	大平 陽一	〃	1016		
「素描、言説、疎通」(デュパン、ボンヌフォア)	丸川 誠司	学術研究	56	レヴィ＝ストロースの構造芸術学	中島 智	〃	〃		
『森嶋外氏講義 美学』(其之二)一本保義太郎筆記ノート(於東京美術学校)一	吉田 直子、井上 康彦、翻刻	カリスタ	15	感性的認識の完成：バウムガルテン『美学』における美の説明	津上 英輔	成城美学美術史	14		
芸術的精神の現象学 11 第四章「色」	岩城 見一	京都国立近代美術館研究論集	1	カント『判断力批判』について	岡田多恵子	哲学会誌	32		
美的仮象について	小林 信之	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	52	京都学派と美的人間形成論—木村素衛は如何にシラーを読んだのか—	西村 拓生	奈良女子大学文学部研究教育年報	5		
ドゥルーズの芸術論における時間と身体の問題についての一考察	太田 純貴	京都美学美術史学	7	記号としての芸術	和田 和行	日本大学芸術学部紀要	47		
美的思考批判のかたち—ニーチェからベンヤミン、アレントへ(2)—	水田 恭平	近代	100	感性的営為としての旅—観光美学の構築に向けて	津上 英輔	美 学	232		
食と味覚の美学のために(1)—テルファーとコースメイヤーの議論から—	馬場 朗	群馬県立女子大学紀要	29	ジョルジュ・バタイユにおける「呪術的芸術」について	荻野 厚志	〃	〃		
“Χαλεπὰ τὰ καλὰ” (後) (“手ごわし、美しきもの!”) —伝プラトン『大ヒippias』を読む—	新田 博衛	芸術文化研究	12	シュミッツ現象学におけるブラクシスの美学—風景と感情をめぐる考察	古川 裕朗	〃	〃		
シアトリカリティと美学	木村 覚	国学院雑誌	1220	例会・研究発表要旨 西部会 第二六五回 研究発表会 ミシェル・フーコーの思想における「外」概念の再考	武田 宙也	〃	〃		
「日本の美学」：その陥穽と可能性と—触覚的造形思想(史)的反省に向けて—	稲賀 繁美	思想	1009	例会・研究発表要旨 東部会 平成十九年度第四回例会 アーサー・C・ダントの Pluralism(多元主義)における芸術哲学の意義	大森 俊克	〃	〃		
視覚的表現に根差すメルロ＝ポンティ「間」とキアスムによる自己救済力の生成—	中村 英樹	〃	1015	例会・研究発表要旨 東部会 平成十九年度第五回例会 シラー美学における近代批判と自然再生の論理	平山 敬二	〃	〃		
				T・E・ヒューム ^{フット} の芸術論と原ファシズム・イデオロギー	石田 圭子	〃	233		

フーコーにおける「感性論」の可能性—「外」との関わりから—	武田 宙也	〃	〃	
第五十九回美学会全国大会報告 発表要旨		〃	〃	
場所的想像力—形象性を包越した関係性の表象—	大石 昌史			
初期サルトルの芸術論における想像と現実との関わり	森 功次			
制作過程における〈かたち〉の成立—身体、技術、素材—	森田 亜紀			
共感の美学—ベルクソンにおける実在的なもの—	山内 朋樹			
例会・研究発表要旨 西部会 第二六九回例会		〃	〃	
タブラ・ラーサの射程とミメシスの本質—展覧会“Die erfüllte Leere”を介して—	大橋 良介			
芸術にかんするハイデガーの思惟とその射程	石黒 義昭			
アンドレ・ブルトンの小説と芸術論における抒情性の解明	宇多 瞳	美学芸術学	23	
二〇〇六年度同志社大学大学院修士論文梗概		〃	〃	
ハイデッガーによるカント解釈の変遷の意義—『芸術論』への導線を探る—	近岡 資明			
ベルクソンの芸術概念—秩序理論の視点から—	宮垣 貴子			
平成十九年度修士論文要旨 クレメント・グリーンバーグの美学的形式主義—カント美学の観点から—	大澤 慶久	美史研ジャーナル	5	
美学論考 ヘラクレイトス美学(上)	新田 博衛	美術フォーラム21	18	
我もまたアルカディアにありき	山内 志朗	百 科*	545	

フィヒテにおける美の所在 中川 明才 文化学年報 57

「神秘の葡萄搾り機」図像(1) 田島 照久 早稲田大学大学院文学研究科紀要 53

概 論

浮遊と解離 斎藤 環 ART iT 18

『第2回世界アーティストサミット』レポート アートは世界を救えるか? 編集部 〃 〃

往復書簡 第8回パブリックアートの未来 from 侯瀚如 to ハンス・ウルリッヒ・オブリスト 〃 〃

『Making a Home : Japanese Contemporary Artists in New York』 神谷 幸江 〃 〃

特集 変身する欲望 : アジア=パシフィックの写真表現 特別寄稿 ポストモダンをラディカルに生きるための戦略—化粧が覆い隠した化粧を覗き見る「猥雑さ」へ— 宮台 真司 〃 19

特集 アートは踊る? 横浜トリエンナーレの試み 評論 : ロジャー・マクドナルド アジア=パシフィックの国際展 ロジャー・マクドナルド 〃 20

往復書簡 第10回間で、そして小さな数で from 侯瀚如 to ハンス・ウルリッヒ・オブリスト 侯 瀚如 〃 〃

Reviews : Art 03 『China Power Station : Part III』 ジャン大公近代美術館(MUDAM/ルルクセンブルク) ディディエ・ダミアニ 〃 〃

特集 アジア=パシフィックのアートシーン2003-2008 アートビープル16人が語る「この5年間」	長谷川祐子 スハニヤ・ラフェル 青木 淳 デヴィッド・エリオット 石井 孝之 ローレンツ・ヘルブリ ング ピーター・ナギ ユン・チェ ガブ シン・ヒョ ンジン 小澤 慶介 クリッティ ヤー・カー ウィーウォ ン 嘉藤 笑子 キース・ウ オレス 岩渕 貞哉 ジョニーML リー・ウェ ン・チョイ	ART iT 21	AT Times Top Page この展覧会は誰のため? 横浜トリエン ナーレ2008開幕	重野 佳園	" "	
			AT Times Local 東 京深川アート・レポ ート	(山)	" "	
			特集 波(ウェイブ) 波の対立概念、ある いは相補概念は?	小川 泰	ARTLET 29	
			《美術時評》 美術の 俗物主義—平山郁夫 現象をめぐって	藤枝 晃雄	あいだ 144	
			あいだのすみっこ不 定期漫遊連載 第54 回~第57回 トボロ ジー空間のなかの21 世紀世界美術史—国 際美術史学会の最新 動向瞥見(1)~(4) メルボルンにおける 第32回大会「文化を 横切って:葛藤・渡 ・収斂」から	稲賀 繁美	" 145~148	
往復書簡 第11回 パラレルリアリティ from ハンス・ウル リッヒ・オブリスト to 侯瀚如	ハンス・ウ ルリッヒ・ オブリスト	" "	《美術時評》 “つかの間”のなかで	藤枝 晃雄	" 148	
巻頭特集 エロテイ シズム 女性アーテ ィスト5人の感性		アート・ トッ プ 220	あいだのすみっこ不 定期漫遊連載 第58 回 ここらで一服小 休止 お茶の東西: 茶の湯はどこまで世 界に通用するか	稲賀 繁美	" 149	
ひらかれたエロス	寺村摩耶子		「民衆の鼓動—韓国 美術のリアリズム 1945—2005」展の開 催にいたるまで	高 晟竣	" 152	
証言 木村品子	荒川由紀子 取材		あいだのすみっこ不 定期漫遊連載 第59 回~第61回 華厳経 と現代美術 相互照 射の試み(その1)~ (その3) 第2回国 際華厳会議(フラン ス・ベレバ)発表論 文	稲賀 繁美	" 152~154	
Art Scope PREVIEW 横井彬氏に、暮沢剛 巳氏が聞く 21世紀 展からアートの現代 性を問う	横井 彬 暮沢 剛巳	" 221	アングル 犬島アー トプロジェクト		A X I S 134	
ポルノグラフィア・ ニッポン 第1回~ 第3回	高橋 秀元	" 222~224	特集 古典キャラク ターの可能性 現代 文化と古典キャラク ター —大学生から 見た、台湾での日本 大衆文化の受容と変 容	林 欣慧	アジア遊 学 108	
特集01 超絶技巧絵 画編 ケース・バイ ・若手画家 この若 手画家たちがスゴイ	立島 恵	" 223	特集 戦争とメディ ア、そして生活 第 一部 戦争とメディ ア、そして生活	孫 安石	" 111	
AT Times Local 福 岡アート・レポート	(根)	" "				
特集01 アートの 理由 インタビュー &エッセー 山口泉 アートは批評たり得 るのですか?		" 224				

特集 戦争とメディア、そして生活 第一部 戦争とメディア、そして生活 プロパガンダ・メディアとしての捕虜	小林 聡明	"	"		特集 横浜トリエンナーレの歩き方	"	282
「現代の風景」展に向けて	川谷 承子	アマリス	88		地域 の 美術 力 Kyoto Osaka Kobe gallerism 画廊の視点	"	283
シリーズ「和田義彦氏盗作疑惑事件」批評なき批評の時代	安積 桂	LR Returns			デジタルメディアの形而上学	吉岡 洋	京都美学美術史学 7
2 「美術評論との出会い」			15		巻頭エッセイ 研究対象としての作品と人間—その質、量、そして全体像	金子 一夫	近代画説 17
3 「メタ批評」見ることなき美術評論			16		研究発表(要約) 戦時下のアメリカと東アジア美術—山中商会の活動を例に—	小熊佐智子	" "
「アートと社会をつなぐ実験」 TOKYO MILKY WAY	深瀬鋭一郎 吉田 有希 小黒 暁子 安田 薫 原 美紀 石田 佑佳 窪田 修 ひな なつち ゃん	"	"		上毛新聞美術関連記事一覧 1960~1969年	染谷 滋	群馬県立近代美術館研究紀要 4
二十一世紀の九州アート プロローグ九州のアート拠点	松本 初音	"	"		地域社会における人的芸術文化資源の活用 「取手アートプロジェクト」参与観察に基づく活動主体間関係分析と考察	羽原 康恵	芸術学研究(筑波) 12
逆転視における奥行知覚に関する一研究(XIII) 逆転視野眼鏡着用による垂直平行ロッドの立体視実験	太田 雅夫	金沢学院大学紀要*	6		海外でも人気爆発! ナニワの仰天芸術家たち		芸術新潮 699
水中文化遺産の公開と活用について	野上 建紀	金沢大学考古学紀要	29		本物も贋作もお騒がせ ヨーロッパの兵馬俑シンドローム	前橋 重二	" "
エピソードとしての視覚的対象認知における色の役割	松川 順子	金沢大学文学部論集	28		ソウル、南大門火災余聞		" 700
[制作記録]プロジェクトレンド	鈴木 康雄	金沢美術工芸大学紀要	52		国有化した略奪品は誰のもの? シチュエーキン、モロゾフ両家の遺族が投げた波紋	"	" "
Art movement 若手アーティストの支援を目指してスタートした「REJCOF ART AWARD 2007」		ギャラリ一*	273		斜塔のとなりの地味な墓所に64年ぶりに甦った大フレスコ画	高橋 恵理 取材	" 701
Exhibition Special The House展—現代アートの住み心地—		"	277		考古学会騒然! いにしへの黄金郷グルジアと古代世界研究所の悪評	前橋 重二	" 702
特集 美術模様 “北京の今”		"	278		侯爵の破産でロシアに売られたエトルリアの至宝が古都に里帰り	高橋 恵理 取材	" 706
Exhibition Special 横浜トリエンナーレを盛り上げるBankART1929の活動 TURE PARADISE BankART Life II		"	281		作り手は「場」とたたかう	"	" 707
					「ビエンナーレ」に向かうアジアの眼差し—アジアにおける国際美術展としてのビエンナーレの再考—	鄭 鉉暲 芸 文	1
					自然が教えてくれたもの 大地の芸術祭妻有アートトリエンナーレ2006を訪れて	柳川 直子	" "

座談会 芸術と哲学	小池 寿子、 宮下 誠、 金沢 百枝、 塚原 史 談 谷川 渥 司会	国学院雑誌	1209	外部／他者と対話する 自立的な内面—仮 設の視覚的表現に よる自己改革—	中村 英樹 思想	1009
特集 生誕百三十年 与謝野晶子大研究 晶子論 晶子と西欧 文化—身体感覚を めぐって	木股 知史	国文学解 釈と鑑賞	928	「集古会」と「百鬼夜 行絵巻」との関連に ついての覚書	牧野 和夫 実践国文学	74
『北京芸術村』の頃… 彼らの抵抗と自由の 形	麻生晴一郎	国立国際 美術館ニ ュース	169	シンポジウム報告 「ジャポニスムの過 去・現在・未来」	ジャポニ スム研究	28
書架のあいだから 資料にみる美術団体 連合展	橋川 英規	国立新美 術館ニ ュース	6	日本美学の批判的 検討のために	稲賀 繁美	
ポスト社会主義人類 学の射程 第1編 制度としてのソビエ ト民族学 第2部 隣接分野との関係、 周辺諸国における影 響 原始的なもの— 人間性の起源と共産 制社会の探究—	折茂 克哉	国立民族 学博物館 調査報告	78	ジャポニスム研究 の広がりと深化— フランスの状況を 踏まえて	三浦 篤	
共同研究 歴史展示 における「異文化」表 象の基礎的研究 第 II部 展示における 表象 歴史展示にお ける模型の意味と活 用	小島 道裕	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	140	特集 若手作家の水 墨表現はここまで できている 墨による 創造の可能性	野地耕一郎 趣味の水 墨画	230
美術記者こぼれ話 芸術と「ナショナル なもの」	大西 若人	国華清話 会会報	11	アートと接する環境 への考察	木方 高 女子美術 大学研究 紀要	38
FMヨコトリ—展覧 会内ラジオ放送局82 日間の記録—	大榎 淳	コミュニ ケーション 科学	28	明治天皇と内閣勅 業博覧会行幸—殖 産興業政策にお ける天皇の役割を 中心に—	北口 由望 書陵部紀 要	59
共同研究「県展・市 展の検証」1 北海 道編 3. 全道美術協 会(全道展)第1回～ 60回(2)	岩瀬 行雄	jaic 会 報	12	特集 モニュメント	史 林	467
日本語美術書誌・資 料の英文化(第7回) 固有名詞の(翻訳): 美術館の英語名称 (補遺)、団体・グル ープの英語名称(2)	富井 玲子	〃	14	シチュアシオニ ストとカウンター モニュメント—現 代ツーリズムの 萌芽か否か—	滝波 章弘	
カルロス三世時代 (一七五九—一七八 八)のバルセローナ 市における啓蒙と祭 り—「聖体祭」プロ セッションを中心に—	山道 佳子	史 学	76-4	コメント1 モニ ュメント研究の新 地平	杉本 淑彦	
研究動向 博覧会研 究の動向について— 博覧会研究の現在と その意義—	伊藤真実子	史学雑誌	117-11	コメント2 〈モ ニュメント〉の可 能性	西山 良平	
				現在通信 From NEW- YORK ラテン・ア メリカの抽象	富井 玲子 新美術新 聞	1140
				PARIS発 バビロン から北斎まで	安部 雅延 〃	1141
				新美術時評 タイト ルの近代性	外館 和子 〃	1142
				新美術時評 年末年 始で感じたこと	島尾 新 〃	1143
				私の美術放浪49 天 上の浄土・カシミ ール	永井 信一 〃	1144
				ヨーロッパの美術展 めぐりから 素晴 らしい企画展、ゲ ント美術館の「British Vision」	河村錠一郎 〃	〃
				新美術時評 テレビ という現代メディア	外館 和子 〃	1145

立軌会60回展を祝して「これまで」と「これから」	瀧 悌三	"	"	官僚と政治家の視察—日本人旅行者の見たイタリア(2)—	真銅 正宏	人文学	182
長びく不況 苦悶する画材専門店		"	"	沖縄の色	三星 宗雄	人文学研究所報	41
現在通信 From NEW-YORK オーストラリアから見た世界	富井 玲子	"	"	活動報告 国際シンポジウム「日本の文化変容と異文化—近世から近代へ—」について(報告)	鳥越 輝昭	"	"
私の美術放浪50 山岳修験の霊場・三仏寺	永井 信一	"	1147	芸術人類学のために	渡辺 文	人文学報	97
通信J to A アジアへ37、38 アラブ首長国連邦訪問 I、II	南條 史生	"	1147、1150	減色された画像の評価についての試み	畑田 明信 三星 宗雄	人文研究	166
現在通信 From NEW-YORK 最近のニューヨーク	富井 玲子	"	1148	ふたつの鏡《5》《6》	松浦 寿夫	水声通信	24、25
長引く不況 額縁も苦心 活性化の鍵は		"	1149	特集 交感のポエティクス 死と生の触れ合い マルタとシチリアの画像	近藤 耕人	"	24
PARIS発 聖なるものの痕跡	安部 雅延	"	1154	心の中のフレーム	塚本 昌則	"	27
十果会—未来に向けて	武田 厚	"	1156	窓／壁／輪郭 シュルレアリスム、あるいは「時宜をえない」もの	齊藤 哲也	"	"
「十果会」と「七夕」	中澤 一雄	"	"	討議 シュルレアリスムの視覚体験とは何か	塚本 昌則 齊藤 哲也 鈴木 雅雄	"	"
「美術史学会東西合同シンポジウム—学芸員なんかいない!?!—学芸員不要論を撃つ—」に参加して	森 要造	"	1159	スラッシュ／アート	工藤 キキ	STUDIO VOICE	
現在通信 From NEW-YORK NYに20年	富井 玲子	"	"	VOL.06 この行き止まり感はなんだろう。			387
通信J to A アジアへ42 モノローグ。アジアの純情	南條 史生	"	1160	VOL.07 未分化のアートピア			388
新美術時評 『国華』そして「対決」展のこと	島尾 新	"	1161	VOL.08 都会の妖怪			389
現在通信 From NEW-YORK 批評の展覧会	富井 玲子	"	"	VOL.10 そこにいないジレンマが好奇心を刺激する			391
現在通信 From NEW-YORK 日本美術の秋	"	"	1164	VOL.11 素晴らしくも安っぽい!			392
街角アート 天空の絵師	星野 清一	"	"	VOL.12 Youth Power!			393
新美術時評 言論の活力と創造性	外館 和子	"	1166	最終回 アート界じゃありえなかった話			394
現在通信 From NEW-YORK 選挙の季節	富井 玲子	"	1167	SV CUT UP ART 『KITA!! : Japanese Artists Meet Indonesia』	原 久子	"	390
新美術時評 解剖学的視線の先に—医療目線の「リアリズム」	外館 和子	"	1169	特集 本は消えない! インターネット以降の本当に面白い雑誌／本の作り方	寺島 彩子	"	391
PARIS発 20世紀フランス美術の深層探る	安部 雅延	"	1171	new printed matter COLUMN PRINTED MATTER			
		"		SV ART ART SPACE IDENTITY IV	市原研太郎	"	"

SV CUT UP ART 横浜、国際展とその 周辺『THE ECHO』 『黄金町バザール』 etc.	橋本 誠	STUDIO VOICE	394	都市表象分析32 都 市表象分析とは何か (二) 自註の試み	田中 純	10 + 1 *	50
SINGULAR DIA- LOGUES ハンス・ ウルリッヒ・オブリ スト	三木あき子 インタヴュー・文	"	395	当館所蔵中丸精十郎 旧蔵西洋水彩画(西 洋画 102—113)の来 歴について	熊澤 弘	東京芸術 大学大学 美術館年 報	H17・18 年度
特集 美術における 移動・越境		西洋美術 研究	14	人形・彫刻・陶芸を 跨ぐ日本的な形象— 「魅惑の像」が示す人 形的具象性	外館 和子	陶 説	665
まえばき 美術の 動態地理学あるいは ジオヒストリー に向けて	関府寺 司			日本の色彩文化の構 造について	出村 洋二	名古屋造 形芸大紀 要*	14
論文「芸術、国家、 世界」 AICA国際 会議(ポーランド 1960年)における モダンアートの国 際性に関する「議 論」	"			講演会 報告『西洋 絵画の到来』をめぐ って	宮崎 克己	日仏美術 学会会報	27
国際美術史学会メ ルボルン大会報告 つながり合う世界 の美術史 相乗効 果と新しい動向	ジェイニー ・アンダー ソン 鈴木 慈子 翻訳			世界の版画事情 ソ ウル・韓国 版画、 写真、エディション 作品専門の国際ア ートフェア「SIPA2008」 開催	友澤 宏子	版画芸術	142
資料 文献リスト と解説	関府寺 司 編			第五十九回美学会全 国大会報告 発表要 旨「労働は心と身 体の健康を驚くほど 調節する」——九世 紀末の芸術をめぐる 労働の科学と身体 のリズム—	石谷 治寛	美 学	233
『草枕』と西洋美術史	中山 典夫	崇城大学 芸術学部 研究紀要	1	日本美術会創立60周 年記念シンポジウム 「創作・社会参加・ 平和」(経過について)	北野 輝	美術運動	135
造形芸術における目 の表し方についての一 考察—虚ろの目が 及ぼす造形的効果を 中心として—	川畑 浩徳	"	"	美術状況の世界的変 化と私の関わり	武居 利史	"	"
ムカルナスの造形原 理	高橋 士郎	多摩美術 大学研究 紀要	22	二つの問いから考 えてみる—「だれが 今日の美術を支える のか?」「日本人は 美術を本当に必要と しているのか?」	森 芳功	"	"
テレビゲームの感性 学に向けて	吉田 寛	"	22	回転する円「シガ リート・ランダウ」 展と「動く幾何学形」 展から	由本みどり	美術運動 史研究会 ニュース	94
障害者の他者性と芸 術表現	知足美加子	デアルテ	24	対談 美術品目録と は何か	田中 周二 秦 恒平	美術京都	39
コイズミ照明「あ かり・人・環境・空 間」—照明の今と明 日の環境 アートに みる光と闇	木村 要一	デザインの 現場	159	対談 思い出に残る 作家たち	梅原 猛 内山 武夫	"	40
Recommend Archi- tecture 風俗街がア ートの街に 京急高 架下文化芸術活動拠 点「黄金スタジオ」 「日ノ出スタジオ」	高木 伸哉	"	162	平成十九年度東支部 例会研究発表要旨 パネル・ディスカッ ション「積みわた る彼方に見えるもの」	三浦 篤	美術史	164
Recommend News デザインで変わるソ ウル市 ソウルデザ インオリンピック 2008	編集 部	"	"	特集 「アーティスト」 になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART1 個展を開 く	川崎 昌平	美術手帖	904

PART 2 場所を開拓しよう CASE STUDIES 3 stay with art stay with artができるまで	山下 里加				INFORMATION AUTHOR 中野京子 この本の著者に会いたい スリリングな世界へと誘う名画の数々	編集部	"	"
アートヴィジョンを社会の中で拓いていくこと。アサヒ・アートフェスティバルの挑戦	伊部 玉紀				REVIEWS EX 春のアートイベントを振り返る「祭り」の後で考えるべきこと	名古屋 覚	"	908
イスラエル現代美術に関するメモランダム	高嶋雄一郎	"	"		REVIEWS EX 君はパレルゴンを知っているか?—80年代の伝説の画廊をめぐるシンポジウムから	坂上しのぶ	"	912
「アミューズアートジャム 2007 in 京都」アミューズの仕掛けるアート・エンターテインメント	編集部	"	"		INFORMATION INTERIOR アートが映えるショールーム アートとインテリア空間を結びつけるショールーム	編集部	"	"
アーティストは世界を救えるか? 第2回世界アーティストサミット	山内 宏泰	"	"		アートで生きる／アートとかかわる13 ヨルゲン・ボック×杉田敦	土谷真喜子 構成	"	913
特集 アートの「価値」の新しい活用術いま、アートを買うということ。		"	905		アートシティヨコハマガイドブック 横浜トリエンナーレの街を歩く		"	914
Chapter 2 企業・自治体で活かす豊田自動車名古屋オフィス	藤田 千彩				第1部イベントガイド 横浜トリエンナーレ2008	村田 真		
Chapter 2 企業・自治体で活かす板谷温泉 大黒屋	山内 宏泰				横浜市長・中田宏氏にきく 横浜トリエンナーレと21世紀の街づくり			
Chapter 3 アートと社会をつなげるメジャーリーグ予備軍 日本人アーティストの価値	山口 裕美 談 西野 基久 構成				SPECIAL FEATURE 美術手帖60年史 編集後記		"	916
Chapter 3 アートと社会をつなげるアート社会に開いていくために [対談]秋元康×吉井仁実	編集部 構成				特任編集長・榎木野衣インタビュー 美術手帖のファントムを蘇らせる試み	榎木 野衣		
特集 100%楽しむためのキーワード超・整理 現代アート事典 モダンアートから現代アートへの入門講座	谷川 渥 藤原えりみ 聞き手	"	906		美術手帖バックナンバーガイド	福住 廉		
越後妻有 雪アート・プロジェクト 初めて冬に行われた里山のアートイベント	編集部	"	"		INFORMATION FASHION エルメスの生み出すファッションとアート。その接点	松井みどり	"	"
卒展で金の卵を探せ! 芸大十五美大卒業・修了展を語る	宮村 周子、 八木沢俊樹 談	"	907		博物学的美術史 FILE. 26 GOTH 身体改造への憧憬	編集部	美術の窓	293
					特集 新大図鑑2008 特別企画 編集部座談会「芸大・五美大卒業展」		"	296
					視点 ニューヨーク、08年春のアートシーン	竹澤 雄三	"	"

視点 ニューヨークから発信する日本の美1、2	青野 恵子	美術の窓	297、298	「コーラー」から芸術創造の場へ	関村 誠	〃	〃
視点 ハノーファーとバリ、'08春の美術展	竹澤 雄三	〃	298	特集 高松塚古墳レポーター石室の解体事業—コラム 石室解体と情報公開—報道の立場から	林 由紀子	文化財*	532
視点 今春のニューヨーク、チェルシー巡り	立島 恵	〃	〃	特集:フォーラム「文化資源という思想:21世紀の知、文化、社会」報告 文化資源学が開く世界へフォーラム「文化資源学という思想」報告へ	木下 直之	文化資源学	6
視点 「汲美一周忌展」に寄せて	御子柴大三	〃	〃	地域社会とパブリックアート	森 俊太	文化と芸術	8
博物学的美術史 FILE.29 トンパ、そして痕跡へ	編集部	〃	300	第一回~第三回『神宮展』の記	大口 裕子	瑞 垣	209
芸苑雑事記190 中山アカデミーイン蓼科	瀧 悌三	〃	301	絵を見ること	六人部昭典	MUSE- OLOGY	27
視点 クンスト・オクトーバーフェスト2008に参加して	市原研太郎	〃	303	新しい美術資料図書館:21世紀の美術資料図書館の創造と展望(その1)	本庄三千代	武蔵野美術大学美術資料図書館報	28
特集 「大坂画壇」は蘇るか?—「綺麗なもん」から「面白いもん」まで		美術フォーラム21	17	現代と過去の対話—パリにおける現代アート—の展示動向	濱岸 貴子	ムゼイオン	54
現状を誇れない大阪人と美術の現代	吉村 良夫			特集 画に遊ぶ~ささやかな日常感覚から見た古美術	山中 理	目の眼	376
関西の美術力アップのために雑感を述べてみる—京都・大阪・神戸を中心として	原田 平作			ささやかな日常感覚から見た古美術	〃	〃	
仲介の感性論 「遊び」の中の「学び」	岩城 見一	〃	〃	「肉球大好き!」前編、中編、後編			377~379
特集 帝都の美術—都市の肖像		〃	18	「目は口ほどにものを言う?」その1~3			380~382
近代日本の美術雑誌の諸問題	橋 秀文			「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」その1、2			383、384
都市の考現学、考現学の都市	黒石いずみ			「神は細部に宿る~虫の眼で見たらどうなるの?」その一~その三			385~387
アウトサイダー・アートと障害者自立支援法	服部 正	兵庫県立美術館研究紀要	2	第2特集 進化を続ける東美アートフェア秋	編集部	〃	386
ヨーロッパアート事情 文化のエリートフランスの学芸員	今津 京子	美連協ニュース	98	会員だより 「De Kuroda à Foujita, Peintres Japonais à Paris」展について	新関 公子	杜	25
アメリカアート事情 夏のニューヨーク3つの話題	後藤トキ子	〃	99	特集 ラフマニノフ ラフマニノフの基層「死の舞踏」と「ファム・ファタール」の音楽 ラフマニノフの場合	喜多尾道冬	ユリイカ	551
アメリカアート事情 毛沢東時代の革命スピリットに焦点 二大美術館にピカソ作品の返還要求	〃	〃	100				
広島市立大学・ニュルンベルク美術大学「アートプロジェクト KHORA」	前川木村 義治育子 藤代展 関村茂 誠	広島市立大学芸術学部紀要	13				

研究員報告 浄土真宗の現代的な表象	エリザベッタ・ボルック	龍谷大学 仏教文化 研究所紀 要	47	「世界文化賞」を探して 西日本編 旅アートの「世界標準」を知る	高田 清彦 篠原 知存	〃	10.10
南大門炎上 韓国の悲しみを思う		朝 日	2.14	断 「前衛芸術家」の正体	呉 智英	〃	11.20
観流 世界の一元化相対化で異なる見え方	大西 若人	〃	5.24	「世界アーティスト・サミット」取材して 創造は想像から生まれる	稲葉 千寿 東 京	1.5	
観流 障害者アート目立つ「表現本位」の声	〃	〃	7.16	サタデー発言 展覧会にも“モンスター”出現か	名古屋 覚	〃	1.12
日・台・韓 陶芸展の競合過熱	西田 健作	〃	8.17	TOKYO発 裏原宿なんでもアート	中沢 佳子	〃	1.23
アート無料誌 続々英語も使い海外から広告	古賀 太	〃	9.6	「ゴス展」文化現象、時代の表象	中村 隆夫	〃	1.26
乱反射するアート アジアの国際展から1～4	大西 若人	〃	10.18、 19、21、 22	花開く「宮廷の美」 「東西の名宝」3館で公開中	稲葉 千寿	〃	1.26
現代アート 街へ拡散 社会への批評性 地域を刺激 広場 大空へふわり 神社 下半身どろり	秋山 亮太	〃	11.4	にぎわう六本木アート 入場者数大幅増 「美術館通り」誕生	安藤 恭子	〃	2.22
彩・美・風 現代アートを応援しよう	山口 裕美	朝日夕刊	1.9	私設 論説室から 南大門よ ただ申し訳ない	小林 一博	〃	2.27
美術 ゴス展 にじみ出る「叫び」や「痛み」	大西 若人	〃	1.9	テレ東「美の巨人たち」12日に400回 「美術の世界」を気軽に	鈴木 泰彦	〃	4.4
彩・美・風 アートから、人生の彩りを	山口 裕美	〃	1.30	美術評 上野「聚楽台」閉店 油絵の具の匂いと共に	南 宏	〃	4.26
ニッポン人・脈・記 千年の源氏物語7 絵師の技 デジタルで読む	白石 明彦	〃	4.30	築地市場午後は“画廊” 「シャッターアート」制作	中山 洋子	〃	5.14
土曜フォーカス 生きる障害者アート 雑貨店で売り収入 社員に採用も	荒 香帆里	〃	5.24	夏休み子ども向けアートナビ ジブリでプチ・ルーヴル 「昆虫4億年の旅」へ	(寿)	〃	7.19
敦煌研究9年 論文 集を発刊 朝日研究 員派遣制度	宮代 栄一	〃	6.21	アジア・アートの祭典 9—11月集中 都市間競争に拍車	〃	〃	8.16
原コレクションの浮世絵 フィンランドで展示 来月から	大西 若人	〃	8.27	軍事機密も現場穏やか 伝単制作過程明らかに	吉岡 逸夫	〃	8.29
文芸作品に“触れる” 試み	酒井 潤 産 経	1.11		主体展の模索 出品無料化で若い世代にアピール	藤田 一人	〃	9.6
生のはかなさと力強さ 横浜美術館の「ゴス」展	黒田 綾子	〃	1.16	広州、上海、シンガポールの美術の祭典を見て シディ・セールズと一体 出遅れ否認め日本	林 容子	〃	10.11
闇と明るさ繊細な感性 あかり／光／アート展	〃	〃	1.20	サタデー発言 振る わぬ美術界の謎	名古屋 覚	〃	12.20
慶応義塾150周年 丸善で浮世絵展	〃	〃	1.27	コンパス 著作権継承者	(寿) 東京夕刊	2.9	
ギタリスト鈴木大介の自由時間 美術館のエネルギー	鈴木 大介	〃	2.10				

平成20年定期刊行物所載文献(総／概論)

仏像鑑賞基礎の基礎 上、下	瓜生 中	東京夕刊	2.26、3.4						10.20、 21、23、 24、27～ 30、 11.3、4
大波小波 妖怪漫画 の源流	(グロ)	"	5.12		五感を揺さぶる和の アート十選 1～10	山下 柚実	"		
放射線 アートと錬 金術	宮内 勝典	"	5.23		文化往来 アートの 空間へ変ぼうする横 浜・黄金町		"	11.25	
評価高まるアウトサ イダーアート 始原 性に満ちた表現	はたよしこ	"	7.14		東京芸大街へ出る 120周年を機に地域 ・企業と連携	白木 郷原 緑 信之	日経夕刊	2.12	
印刷美十選 1～10	樺山 絃一	日 経	1.24、 25、28、 29、31、 2.1、4、 5、7、8		現代美術に彩り 内 向きの才能「自己 中心」認める土壌 精神科医斎藤環さん	小川 敦生 聞き手	"	4.16	
子どもが好きな名画 十選 1～10	結城 昌子	"	2.11、 13、14、 18、19、 21、22、 25～27		外国人が支える観光 地 1 香川県直島 「007」の島 胸打つ アート		"	5.2	
創作の本能 国境越 えて 障害者の芸術 作品、世界の名品と ともに展覧会	北岡 賢剛	"	3.6		理論と批評を失う芸 術「思考停止」のふ り消えた 京都造形 芸術大学大学長浅田 彰さん	古賀 重樹	"	5.7	
テクノスケープ十選 1～10	岡田 昌彰	"	3.24～ 27、31～ 4.2、7～ 9		四川大地震 世界遺 産の都江堰 観光復 興、決意固く	高橋 哲史	"	5.26	
文化往来 仏像流出 騒ぎで見えた新しい パトロン		"	3.27		芸文のおと 現代美 術の国際展 開催ラ ッシュ 地域の活性 化に期待	(敦)	"	11.13	
文化往来 分野超え た構想力を掲げ文化 サロンが発足		"	4.21		芸文余話 パルテノ ン彫刻の悲願	内田 洋一	"	12.13	
北京 100日前の鼓動 架け橋の向こうに 第2部 4 軍需工場 跡に芸術の新風		"	5.3		国宝の銅剣ガチャ 台座にぶつけ刃部に 亀裂 島根県立博物 館	御園生枝里	毎 日	4.19	
奇っ怪・不可解の図 譜十選 1～10	池田 龍雄	"	5.29、 6.2、3、 5、6、10 ～12、 16、17		ノートから なぜ現 代美術なのかと自問 して	三田 晴夫	"	4.28	
虫と人間十選 1～10	蜂飼 耳	"	6.19、 20、23、 24、26、 27、30、 7.1、3、 4		知的障害者らの作品 が目されています。 独創性海外で評価	森田 真潮	"	5.29	
文化往来 トヨタが 芸術環境「KAIZEN」 メセナ		"	7.22		六本木交差点お色直 し 地元商店街中心 にイメージ刷新計画 「夜の街」から「ア ートとデザインの街」 へ	真野 森作	"	5.29	
美の恐怖と陶酔十選 1～10	飯田 高誉	"	9.15、17 ～19、 22、23、 25、26、 29、30		キャンパスウォーク これが評判！ 実践 女子大・短大 源氏 物語千年紀 研究成 果、多くの人に	川崎 桂吾	"	9.5	
普通の人びと十選 1 ～10	イッセー尾 形	"	10.2、 3、6、 7、9、 10、13、 15～17		東京見聞録 宅地で 遺跡発掘 一風変わ った工事現場 何が 出てくるか楽しみ	中村 牧生	"	10.23	
					副都心線の駅に14の パブリックアート	岸 桂子	毎日夕刊	7.3	

創刊120年の『国華』 主幹、河野さんに聞 く 広い視野で日本 美術を見渡す	〃	〃	8.11	日本美術史			
日仏交流150周年記 念 セーヌの間に日 本の美	福井	聡	〃	9.26	《短期連載》3、4 (最終回) 倫理の痕 跡 1950年代ルボル ター ジュー運動の 社会的 美学 アンガー・ジュマン	ジャスティ ン・ジェス ティー 中嶋 泉 訳	あいだ 144、145
考える耳 「芸術」と 「観光資源化」 背後 のイデオロギーの見 極め必要	渡辺	裕	〃	10.15	《連載》戦時下日本の 美術家たち	飯野 正仁	〃
アートの風 12月 ブラジルとインド 地域色と世界基準の はざままで	三田	晴夫	〃	12.18	第23回 戦時下美 術インフレーショ ンの諸相		149
フィギュア、トラの 置物、動く恐竜… 造形が問う「美術と は」高知県立美術館	高野	清見 読 売	1.31		第26回「新聞も兵 器なり」朝日新聞 と戦争[1] 1937 年—42年		153
国宝 110 件被災の恐 れ 京都、奈良大地 震時	川西	勝	〃	2.19	第27回「新聞も兵 器なり」朝日新聞 と戦争[2] 1943 年—45年		154
ローマを掘る	岡本	公樹	〃		あいだのすみっこ不 定期漫遊連載 第62 回 記憶収蔵庫はど こにあるのか? 第 32回文化財の保存及 び修復に関する国際 研究集会「“オリジナ ル”の行方—文化財 アーカイヴ構築のた めに」雑感	稲賀 繁美	〃 155
上 初代皇帝しの ぶ聖地か 巨大建 築 門に奇妙な装 飾			3.5		特集 戦争とメディ ア、そして生活 第 二部 図像資料の所 在と東アジア・メデ ィア史研究の可能性	貴志 俊彦	アジア遊 学 111
中 「異教」とキリ スト教共存 神々 の壁画破壊されず			3.6		新・旧刊案内	青木 茂 一 寸	
下 「噴火日」定説 への懐疑 ポンペ イ調査発見より検 証			3.7		33 書痴、戦時下 の発禁本を読む そのV 大野静方、 栗田萬二郎のこと など		33
ウィークリー時評 消えるプロの壁 ネット で創作公開の快 楽	鈴木	謙介	〃	3.24	34 書痴、「東京下 谷根岸及近傍図」 を読む 栗田萬二 郎のことなど		34
国宝嘆く 善光寺落 書き			〃	4.21	35 渡辺亮輔、佐 藤生巢、大野静方 のことなど		35
善光寺落書き 7 か所 国宝また受難 年々 増加			〃	〃	36 「忘れぬうち に」集		36
ブランド研究11 カ ルティエ 「宝飾の 王様」市場開拓着々	林	路郎	〃	7.16	書書雑雑 戦後の上 質なお洒落・月光荘 絵葉書	山田 俊幸	〃 〃
現代美術の日中交流 双方向の発信盛んに 画廊の北京進出相次 ぐ	菅原	教夫	〃	9.10	平成十八年度博士論 文(課程)要旨 近代 文人としての芥川龍 之介—芸術と風流の 間で—	高橋(大庭) 奈保子	大阪大学 大学院文 学研究科 紀要 48
多摩川線沿線アート きょうから 美術展 や演劇など	佐々木	大輔	〃	11.1			
2008シルクロード行 ベルシャの光芒 4 獅子像世界帝国の象 徴	関口	和哉	読売夕刊	10.23			

日本近代におけるプロレタリア美術運動の伸張とその影響について	喜多 孝臣	鹿島美術財団年報・別冊	25	共同研究 歴史展示における「異文化」表象の基礎的研究 第1部 資料に見る「異文化」近代日本人の東アジア・南洋諸島への「まなざし」絵葉書の史料価値と「異文化」表象	浦川 和也	国立歴史民俗博物館研究報告	140
近代におけるイタリア・ルネサンス美術の再評価と日本の美術史家	末永 航	〃	〃	国華余話(十一)(十二) 記念行事(一)(二)	水尾比呂志	国華清話会会報	11、12
講演会記録「京都画壇で学んだ飛騨の画家たち」展開連事業 講演会「京都画壇と飛騨の画家」	平光 明彦	ミュージアムひだ研究報告*	H19年度	シンポジウム「一九七〇年代・高松次郎以後」	建畠 敏明、 峯村 佑介、 中原 英也 薬科 司会	探 蓮*	11
展覧会紹介 芸術都市バリの100年展 もう一つの楽しみ方 豚児がみた巴里と巡礼者がみた巴里	尾崎 真人	京都市美術館ニュース	196	佐賀美術協会の「會寶」について—草創期の記述を中心に—	野中 耕介	佐賀県立博物館・美術館調査研究書	32
美術家と朝鮮—『京城日報』の記事を通して(2)1927—1931	井内佳津恵	Hokkaido Art Mus. Studies*	2008	2007年の歴史学界—回顧と展望— 日本		史学雑誌	117-5
札幌美術年譜(1) 補遺3	苦名 直子	〃	〃	古代九	武笠 朗		
特集 近代の挿絵・漫画『萬朝報』の「端書ボンチ」—一九〇七年から一九一六年までの主題の傾向と常連投稿者—	吉崎 真弓	近代画説	17	中世一一	山本 陽子		
北美終了後の福井における芸術運動 1970年代以降を中心に	永宮 勤士	芸術学研究(筑波)	12	近世一四 美術	伊藤 紫織		
公共白樺美術館設立運動に関する芸術支援学的研究—「公共白樺美術館寄付金報告」による寄付活動の分析—	清水 絵理	〃	〃	近現代一一 美術	河田 明久	新美術新聞	1150
「舞台展」と「アクション」—具体をめぐる一考察	西澤 晴美	〃	〃	新美術時評 関西の芸術史—競演の歴史と現在	外館 和子		
戦時下の万博における対外文化宣伝 1939年ニューヨーク万国博覧会における日本の出品物と展示について	山本 佐恵	〃	〃	第30回記念十果会 十果会30回展に寄せて 独立展とは違う色濃い各自の持ち味	富山 秀男	〃	1156
研究ノート 明治初期の西洋美術受容	石井 元章	芸術文化研究	12	畢椿系の展覧会について—明治から戦前の展覧会を中心として	鈴木 利昌	田原市博物館研究紀要	3
サンフランシスコ万国博覧会日本古美術展覧会(一九三九年)—美術展示と植民地	山本 佐恵	芸 叢	24	芸術学専攻 実験工房 メディア/批評/作品分析/を経由した総合芸術の一考察	森 直弥	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2008
				梨本宮依都子妃収集絵葉書に関する予備的考察	山田 俊幸、 安田 政彦	帝塚山学院大学研究論集	43
				史料研究と紹介 墨絵弾弓の模写・模造・文様—森川杜園『正倉院御物写』の世界—	稲田奈津子	東大画像史料解析センター通信*	42
				史料研究と紹介 幕末の風刺錦絵にみる天璋院篤姫	保谷 徹	〃	43
				史料研究と紹介 宝物と模造をつなぐもの—墨絵弾弓再考—森川杜園『正倉院御物写』の世界(2)—	稲田奈津子	〃	〃

第四回内国勸業博覧会の美術館—その展示空間と「湊合的観察」について	越前 俊也	同志社大学博物館 学年報	39	巻頭特集 新・女性の時代'08 日本画における女性画家たち—近代から現代へ	草薙奈津子	美術の窓	292
日本陶磁協会六十年の歩み	森 孝一	陶 説		芸苑雑事記181 永徳、今なお私には面白い	瀧 悌三	〃	〃
(19)昭和三十六年(後)			658	芸苑雑事記182 乾山考	〃	〃	293
(20)昭和三十七年(前)			660	特集 「大坂画壇」は蘇るか?—「綺麗なもの」から「面白いもの」まで 大阪の近代美術 受け継がれる前衛の血脈	安来 正博	美術フォーラム	17
フランス・ジャポニスムと九谷焼—明治前期における商人の活動を中心に—	今井 祐子	東洋陶磁	37	仲介の感性論1 「学ばせる」遊び・絵双六—ビジュアル・エデュケーションの視点から	岩城 紀子	〃	〃
資料紹介「諸什器取調表」解題 旧岡山藩関係資料・調度品の近代における変遷とその復元—「諸什器取調表」を手がかりとして—	浅利 尚民 解題・翻刻	林原美術館紀要・ 年報	2	特集 帝都の美術—都市の肖像	〃	〃	18
一九三九年「伯林日本古美術展覧会」と報道—日本美術の評価と展覧会の意図をめぐって	安松みゆき	美 学	232	隅田川の絵と江戸・東京の三百年	我妻 直美		
二〇〇六年度同志社大学大学院修士論文梗概 志賀直哉の文学と美術の関係—『暗夜行路』を中心に—	牧田真有子	美学芸術学	23	江戸の粋・東京の張り—京の雅・京都の研ぎ、大坂の遊・大阪の芸	原田 平作		
平成十九年度東支部例会研究発表要旨 オーガス・ウオラストン・フランク・アーネスト・メイソン・サトウと蜷川式胤—英国大英博物館のための日本焼物の蒐集(一八七五—一八八〇年)—	ニコル・ク ーリッジ・ ルマニエール	美術史	164	「帝国」を映す女性像の変遷—洋装と和装の役割	児島 薫		
第六十一回全国大会研究発表要旨		〃	165	「池袋モンパルナス」考	尾崎 真人		
明治後期における南画再評価について	植田彩芳子			正岡子規のジャンル意識—西洋受容と写生論構築	松井 貴子	文学*	9-4
江戸後期における〈美術批評〉研究のための一考察	神内 有理			平成十九年度海外展報告 ボルトガル共和国における日本古美術展「日本陶磁の名宝」	齋藤 孝正	文化財*	534
「沖縄戦」と美術	奥間 政作	美術史研究	46		多川 俊映、 鷺塚 泰光、 鈴木 嘉吉、 金子 啓明、 藤岡 穰 出席者 基世 山根 司会	文化財保存学専攻 保存修復 彫刻年報	2007年度
江戸美術の畸人たち	佐藤 康宏	美術史論叢	24	「興福寺国宝展」開催記念シンポジウム	迫内 祐司	文星芸術 大学大学院研究科 論集	3
山下裕二セレクション日本美術 BEST 1	山下 裕二	美術手帖	908	バタ臭い「北斎」里帰り中 西欧近代の壁に挑む40点 江戸東京博物館など	大西 若人	朝 日	1.6

キトラ古墳壁画十二支子・丑・寅特別公開 国家の誕生「独自の美」生む 京大名誉教授・上田正昭さんに聞く	朝 日	1.31	江戸庶民の神仏十選 1~10	矢島 新 日 経	2.29、3.3~5、10~12、17~19
美の現在 富士を描く 大観が示した理想の姿 近代日本の自負を反映	高階 秀爾	"	6.5	美の美 文学に息づく名画	宝玉 正彦 "
「こんぴらさん海の聖域」展シンポジウム 基調講演・河野元昭氏 生きている美術館	"	11.12	1 山越阿弥陀図		4.6
美の履歴書 040 水墨画へ転身の支えは「松林図屏風」 長谷川等伯	秋山 亮太	朝日夕刊	1.9	2 歌川広重	4.13
美の履歴書 051 江の島に注目するわけ「相州江の嶋弁才天開帳詣本宮岩屋の図」 歌川広重	大室 一也	"	3.26	3 俵屋宗達	4.20
美の履歴書 053 なぜ仏像が入れ替わる「釈迦堂縁起」 伝狩野元信	菅野みゆき	"	4.9	4 斎藤茂吉・芥川龍之介	4.27
美の履歴書 054 神なのか人間なのか「吉祥天像」作者不詳	大西 若人	"	4.16	古建築「ナンバー1」探偵 数々の「日本一」をリスト化、配管工事の経験生かす	大原 正 "
美の履歴書 057 俳味しのぐ気迫の訳は「山水図屏風」 与謝蕪村	西田 健作	"	5.7	江戸の色十選 1~10	小林 忠 "
美の履歴書 068 同門・運慶との違いは「地藏菩薩立像」 快慶	秋山 亮太	"	7.23	日本の旧植民地文化史研究「タブー」薄れ客観視 建築や博覧会も考察	多田 明 "
美の履歴書 082 絵のウラにあるものは「夏秋草図屏風」 酒井抱一	古賀 太	"	10.29	美の美 洛中洛外図は語る 上、中、下	松岡 資明 "
「対決展」支えた120年の実績 美術誌「国華」河野主幹に聞く「美術の豊かさ感得してほしい」	大西 若人	"	7.30	美の美 謎の源氏物語絵巻を追う 上、下	宮川 匡司 "
窓 論説委員室から集まった運慶仏	山口 宏子	"	8.13	フェノロサ没後100年「日本美術の恩人」再発見	"
木喰仏 その笑顔に魅了され	渋谷 和彦 産 経	7.13	国際文化フォーラム特集 座談会 古典に生きる 京都宇治市文化センター	山本 淳子 芳賀 徹 カイ・ニエ ミネン 張 龍妹 ロイヤル・タイラー 臘谷 壽	12.13
仏教美術の至宝 十一面観音像	井上 一穂 東 京	3.16	国際文化フォーラム特集 座談会 奈良とシルクロード 奈良・興福寺会館	山内 昌之 ソルマズ・ウナイドゥン 王 勇 キム・ホドン	12.24
怪しおもしろ妖怪絵巻 今へと続く妖怪絵文化	湯本 豪一	"	8.3	芸文余話 舞台が美術になるとき	内田 洋一 日経夕刊
名建築を訪ねる 高麗家住宅 江戸期以降、寺子屋にも利用	山内悠記子	"	9.24	プラモデルの箱絵・雑誌の表紙…「傍流」の美術見直し機運	白木 緑 "
				長崎のキリスト教信仰に光 日本への浸透浮き彫りに	内田 洋一 "
				世界遺産への旅 琉球王国3~5	油井 雅和 毎 日
				世界遺産への旅 姫路城1~4	伊藤 和史 "

世界遺産への旅 紀伊山地の霊場と参詣道	"	"		復刻された幻のグラフィック雑誌『ホーム・ライフ』戦前上流階級を撮った貴重な写真の多さに驚き	津金澤聰廣	毎日夕刊	3.13
1 高野山			4.6				
2 熊野古道			4.13	江戸博蔵めぐり 伝神開手北斎漫画 飾北斎・画	小山 周子 読 売	1.18	
3 熊野三山			4.20				
4 吉野			4.27	江戸博蔵めぐり 今世美女競水茶屋 斎英泉・画	西村 直子	"	1.25
世界遺産への旅 厳島神社1～4	"	"	5.4、11、18、25	江戸博蔵めぐり 脇差 銘(葵紋)以南蛮鉄於武州江戸越前康継	斎藤 慎一	"	2.15
世界遺産への旅 古都奈良の文化財	"	"					
1 興福寺			6.1	江戸博蔵めぐり 棠蔭秘鑑	高山 慶子	"	2.22
2 東大寺			6.8				
3 春日大社			6.15	江戸博蔵めぐり 猿若町芝居之略図 斎英泉・画	丸山はるか	"	3.7
4 元興寺			6.22				
5 薬師寺			6.29	江戸博蔵めぐり「呉竹の根岸の里」(「江戸名所図会」より) 斎藤月岑ほか編著、長谷川雪旦画	石山 秀和	"	3.28
世界遺産への旅 法隆寺地域の仏教建造物	"	"					
1、2 法隆寺			7.6、13	江戸博蔵めぐり 山王祭礼駿河町付祭行列図 歌川国芳・画	飯塚 晴美	"	4.4
3 法起寺			7.20				
世界遺産への旅 白川郷・五箇山の合掌造り集落1～4	"	"	9.7、14、21、28	尾張藩主と暮らした障壁画		"	4.11
日本史の常識大丈夫? 教科書記述定説変われば変更	大迫麻記子	"	9.14	江戸博蔵めぐり ペリー艦隊日本遠征記(初版)	田中 裕二	"	4.25
世界遺産への旅 日光の社寺	伊藤 和史	"	10.5	江戸博蔵めぐり 亜墨利加使節御目見之節絵図	落合 則子	"	5.30
1 東照宮				江戸博蔵めぐり 火事装束(白絹地桐紋入羽織・胸当・野袴) 江戸時代末期	林 智子	"	6.20
2 輪王寺大猷院			10.12				
3 日光山内			10.19	江戸博蔵めぐり 刀無名(伝・来国行)	斎藤 慎一	"	6.27
4 日光二荒山神社			10.26	江戸博蔵めぐり 大手町出土の板碑	"	"	8.1
世界遺産への旅 都京都の文化財	"	"					
1 東寺			11.2	地中海の写楽 上、下	前田 恭二	"	8.7、8
2 西本願寺			11.9	江戸博蔵めぐり 洗い張り 歌川豊国(初代)・画	岡本 純子	"	8.22
3 天龍寺			11.16				
4 龍安寺			11.23	江戸博蔵めぐり 死絵 八代目市川団十郎	飯塚 晴美	"	8.29
5 金閣寺(鹿苑寺)			11.30	江戸博蔵めぐり 巣鴨・染井・千駄木菊の道しるべ	小山 周子	"	9.5
6 上賀茂神社			12.7				
7 下鴨神社			12.14	江戸博蔵めぐり 桜綱幸吉 歌川国鶴・画	杳沢 博行	"	9.26
8 醍醐寺			12.21				

宝物を伝える 60回 目の正倉院展 上 敗戦後飢えた心に灯		読 売	10.15	美の履歴書 043 悟 りと欲のバランスは 「仏頭」 作者不詳	宮代 栄一	朝日夕刊	1.30
第60回展 宝物に日 本文化再発見 正倉 院に息づく雅楽	上田 正昭	"	10.30	美の履歴書 045 明 滅統ける光の不思議 「曜変天目(稲葉天 目)」 作者不詳	秋山 亮太	"	2.13
江戸博蔵めぐり 忠 臣蔵五段目 歌川広 重・画	丸山はるか	"	10.31	美の履歴書 050 な ぜ実物がないのか 「蘭亭序」 王羲之	宮代 栄一	"	3.19
江戸博蔵めぐり 大 江戸しばいねんちや うじさし出しかんて ら 安達吟光画	岡本 純子	"	11.7	美の履歴書 071 狂 える草書のわけは 「草書諸上座帖巻」 黄庭堅	"	"	8.13
江戸博蔵めぐり 東 都高輪泉岳寺開帳群 衆の図 三代歌川豊 国画	石川 秀和	"	11.28	美の履歴書 083 な ぜこんなポーズなの か「観音菩薩坐像」 作者不詳	"	"	11.5
江戸博蔵めぐり 綾 杉地獅子牡丹時絵十 種香箱 幸阿弥長重 ・作	畑 麗	"	12.5	ソウル南大門が炎 上、一部崩壊	福田 要 東 京		2.11
江戸博蔵めぐり 黒 塗梅唐草丸に三階菱 紋散時絵女乗物 上	斎藤 慎一	"	12.19	パーミヤン遺跡の仏 教壁画 世界最古の 油絵と判明 7—10 世紀作 東京文化財 研など調査		東京夕刊	5.31
情報館 三井記念美 術館「国宝雪松図と 近世絵画」から「東 都手遊図」 源瑞筆	樋口 一貴	読売夕刊	1.8	世界最古の油絵 7 —10世紀 パーミヤ ン仏教壁画 東文研 調査		日 経	6.1
海外美術史(アジア)				美の美 青磁の秘密	竹田 博志	"	
Special article for the Documenta Ma- gazine Project 第4 回 揺れる中国—近 代、いまだ飽和せず	ジャン 姜、 フアン 胡、 対談	ジョン 琚、 ファン 昉	ART iT 18	上—米色青磁			7.6
				中—秘色青磁			7.13
				下—汝窯			7.20
調査・研究(概要) 日系塔式墓標の展開 と変容に関する物質 文化史的研究—旧日 本植民地における日 本文化の受容と南島 ・台湾・中国の在来 墓標との関係—	角南聡一郎	元興寺文 化財研究 所研究報 告	2007	パーミヤン世界最古 の油絵か、7世紀後 半壁画 東京文化財 研調査		読 売	1.23
海外美術史(その他)				イタリア・ルネサン ス期の図書館とメデ イチ家のバトロネー ジ	森田 義之	愛知県立 芸術大学 紀要	37
中国・武漢の現代 第1回 時代の転換 期における激動の武 漢	江上 華	ギャラリー 一*	278	白への恐怖、黒への あこがれ—ウィンキ ン・ド・ウォードの 標題紙(1)—	高野 彰	跡見学園 女子大学 文学部紀 要	41
「オーストラリア原 始美術」展とその民 族学的背景—日本最 初のアボリジナル美 術展をめぐる資料の 紹介—	松山 利夫	国立民族 学博物館 研究報告	32-2	シエナのサンタ・テ レーサ礼拝堂の画像 プログラム	甲斐 教行	五浦論叢	15
通信J to A アジアへ 36 インド再訪	南條 史生	新美術新 聞	1144	翻訳 ベトラルカ風 の肖像画	カルロ・デ ル・ブラー ヴォ 甲斐 教行 訳・註解	"	"
特別寄稿 唐代美術 の普遍性とその由来	曾布川 寛	美学芸術 学	23	翻訳 日本の版画と 十九世紀後半期の西 欧絵画	アンリ・フ ォション 藤原 貞朗 訳・解題	"	"
中国現代アートが歩 んできた道	栗山 明	美術手帖	913				
視点 現代中国美術 雑感2、3	水間 敏隆	美術の窓	292、293				

古代エジプト新王国時代における『生命の水』の図像表現とその機能	杉 亜希子	オリエン ト	50-2	芸術新潮特別企画 誘惑のカメオ展1、2	西岡 文彦	〃	704、705
石製およびガラス製容器を模倣した彩文土器から見た第18王朝後半のディール・アル＝マディーナの絵師	高橋 寿光	〃	〃	特集 ノルウェーの森へ 中世の美とオーロラの旅 夏の旅 中世へ	金沢 百枝	〃	708
『シュルレアリスム革命』におけるイラストの使用について	進藤 久乃	学習院大 学人文科 学論集	17	ヴィラール・ド・オ スクール画帖のマ ニエリス時格子構 成に関する補遺的考 察	藤本 康雄	芸術文化 研究	12
ギリシアのアルカイック美術の魅力	芳賀 京子	学 鑑	105-2	記念シンポジウム バロック建築研究 の射程—バロック 研究からみた「西 洋建築史」の新た な可能性—	中島 智章 金山 弘昌 遠藤 太郎	建築史学	51
モダン・アートの制度化—その歴史化と「美術館化」—	田中 正之	鹿島美術 財団年報 ・別冊	25	鏡の映す世界—モ チーフ研究に關 する一試論—	木川 弘美	国学院大 学紀要	46
特集 東西学術研究所シンポジウム：『近代との出会い—風景からのアプローチ—』〈近代との出会い—風景からのアプローチ—〉へのコメント	山野 正彦	関西大 学東西学 術研究所 紀要	41	現代アポリジニ美 術の誕生	小山 修三	国立国際 美術館月 報	164
研究と創造の間—ロ ベルト・ロンギと 一九二〇年代のイ タリア美術—	池上 公平	共立女 子大学文 芸学部紀 要	54	講演 キリストの聖 なる像、聖なる手 紙、聖なる門—キ リスト教文化にお ける「イメージ・ パラダイム」の一 例	アレクセイ ・リドフ 伊藤 拓真 訳	死生学研 究	10
ヴィッラ・アドリア ーナのホスピタリ アの白黒舗床モザ イクについて—一 床面装飾から辿 るハドリアヌス 帝の復古主義的側 面—	滝沢 未羽	芸術学 学報	14	シンポジウム報告 「ジャポニスムの 過去・現在・未来」		ジャポニ スム研究	28
「田園の聖母」の幻 視—十六世紀イタ リアの田園文化と 聖母信仰をめぐ る一考察—	水野 千依	芸術学 研究(京都 造形)	2	ジャポニスム再考 —回顧と展望—	川本 皓嗣		
翻訳 『イタリアの 記念物の収奪計画 についての手紙』 (一七九六) 解題と 抄訳(第一、第二 の手紙)	上村 博	〃	〃	忘れられたジャポ ニスム—1920年代 から50年代へか けてのイギリス・ アメリカにおける 日本趣味を探る—	渡辺 俊夫		
マルティンスヴァン トのマクシミリア ン主題と造形(三)	大原まゆみ	芸術学 研究(明学)	18	デルフォイのアテ ナ・プロナイア神 域の「マッサリア 人の宝庫」の彫刻 遺物の研究(II)	勝又 俊雄	女子美術 大学研究 紀要	38
女王陛下御用達「ダ ヴィデ像の特注「衣 装」	内田 さり 取材前橋 重二	芸術新 潮	698	特集 モニュメント		史 林	467
創刊700号記念大特 集 永久保存版 芸 術新潮がえらぶヴィ ーナス100選	木島 俊介 青柳 正規 小池 寿子 編 集 部	〃	700	ナポレオンの「記 憶」試論—ルー アンにおける皇 帝騎馬像をめぐ って—	竹中 幸史		
波立つ心 バルセロ ナで見た「ロマネ スク展」	金沢 百枝	〃	703	論説 ネルソンの 国葬—セント・ ポール大聖堂に おける軍人のコ メモレイション—	中村 武司		
				PARIS発 フォ ーブとフランス 人	安部 雅延	新美術新 聞	1149
				特集 シュルレア リスム美術をどう 語るか		水声通信	23

往復書簡 シュルレアリスム美術をどう語るか	林 道郎 鈴木 雅雄			シャルトル大聖堂の ステンドグラス 《Baie48: 聖ヨハネ伝 の窓》—その2—	高野 禎子	〃	〃	
逸脱するイメージ シュルレアリスムと絵画の(離)接点	齊藤 哲也			特集 美術における 移動・越境			西洋美術 研究	14
オートマティスム VS コラージュ	河本 真理			論文 越境するア テナイ人彫刻家	芳賀 京子			
シュルレアリスムの 展示におけるデ ペイズマン 「マ ン・レイのタブロ ーと島々のオブジ ェ」展から反植民 地博覧会へ	長谷川晶子			論文 イエルサル ム・コンスタンテ イノポリス・バリ サント＝シャペル とその装飾	木俣 元一			
クレメント・グリ ーニバーグのシュ ルレアリスム批判	永井 敦子			論文 新大陸植民 地における美術の 移植 スエバ・エ スパーニャ16世紀 布教区修道院の装 飾壁画をめぐって	岡田 裕成			
機械とアイコン シュルレアリスム とポップ・アートの 出会いをめぐる 覚書	鈴木 雅雄			論文 伝播の速度 キュビズム、ナシ ヨナリズム、トラ ンスナシヨナリス ム	ロバート・ ジェンセン 磯谷 有亮 翻訳			
資料編 シュルレ アリスムとの離接 点 十一人の芸術 家の軌跡 序	〃			展覧会評 「ヨー ロッパを住まいと して 1600年頃の ミュンヘンにおけ るネーデルランド の芸術家たち」展	中村 俊春			
特集 シュルレアリスム美術はいかにして可能か		水声通信	25	ピサ国立美術館20番 板絵とジウンタ・ピ サノの磔刑のキリス トの表現に見る13世 紀前半期のピサ絵画 とビザンティンの関 係をめぐる試論	小野 迪孝	東海大学 紀要教養 学部		38
「絵」と「記号」のあいだ 「図」としてのシュルレアリスム美術	鈴木 雅雄			ヨーロッパにおける 山の風景画の誕生と その変遷	小泉 武栄	東京学芸 大学紀要		59
遠近法的一空間 について	林 道郎			モン＝サン＝ミシエ ルの歴史(その1)	石木 隆治	〃	〃	
シュルレアリスム 美術をめぐる複数 の声 問いかけと 応答	鈴木 雅雄 林 道郎 塚原 史夫 千葉 厚志 萩野 昌則 塚本 千里 木水 裕文 阪本 和子 後藤 美和 國分 俊宏 長谷川 晶子 小森 真樹 中村 尚明			フランス、セーブル 美術館の薩摩焼展	西田 宏子	陶 説		659
				鶴岡＝デリヴランド の黒い聖母像～造形 と歴史～	安發 和彰	東北芸術 工科大学 紀要		15
				ペネロペの画家作品 の作風に関する一考 察—ルーブル美術館 所蔵のスキュフオス (Louvre G372)を中 心に—	道下ちぐさ	〃	〃	
EXTRA COLUMN PERFECTIONISTS 01 BAUHAUS	大城 譲司	STUDIO VOICE	392	「貧」の範囲—アルテ ・ボーヴェラ再検討 —	金井 直	豊田市美 術館紀要		1
チェコのジャポニスム 19世紀末～20世紀初頭のグラフィックを中心に	小川 里枝	成城美学 美術史	14	「描かれたミシア」の 為の覚書	江本菜穂子	名古屋造 形芸大紀 要*		14
器の中の百合: 受胎 告知に見る花卉画の 起源	木川 弘美	清泉女子 大学紀要	56	「印章と刻印: 西欧 中世におけるイメー ジの隠喩」(上)	木俣 元一	名古屋大 学文学部 研究論集		161

亀倉雄策旧蔵イコン「キリストの復活と十二大祭」についての覚書	高 晟埜	新潟県立近代美術館研究紀要	8	二〇〇六年度同志社大学大学院修士論文梗概 ボードレールの美術批評—(現代性modernité)の概念に至るまで—	木村 風音	美学芸術学	23
広告芸術論—ギュスター・ヴ・カーン著『街頭の美学』(1901年)と同時代の社会的文化的状況	吉田 紀子	日仏美術学会会報	27	黒死病鎮静の記念碑としてのオルサンミケーレのタベルナーコロベストの来襲とその鎮静(一三四八年)から見た図像プログラム解釈—	出 佳奈子	美術史	164
展覧会評『カロリング朝写本名宝展』(パリ、フランス国立図書館、2007年3月2日—6月24日)	鼓 みどり	"	"	平成十九年度東支部例会研究発表要旨	"	"	"
フランス・イギリスにおける雪舟の認識をめぐって—1860年代から1920年代まで—[前編・資料編]	野呂 昭子	日本女子大学大学院紀要(人)*	14	十九世紀フランス文学における田園農村のイメージ	田村 毅		
貞奴のロンドン—絵画化された貞奴	植月 恵一郎 出羽 尚	日本大学芸術学部紀要	47	『九六〇年のレオンの聖書』冒頭挿絵を巡って—二つの「荘厳のキリスト(マイエスタス・ドミニ)」と福音書記者像—	毛塚実江子		
ルネサンスからバロックにかけて描かれた《アポロとダフネ》の図像展開について—ルーベンスとブッサン周辺	木村 三郎	"	48	レオンの『九六〇年聖書』写本の対観表装飾—福音書記者像表現を巡って—	"	"	165
「貧しさ」の内と外—「アルテ・ボーヴェラ」の領域に関する考察	池野 絢子	美学	232	第六十一回全国大会研究発表要旨	"	"	"
例会・研究発表要旨 東部会 平成十九年度第四回例会 古代の人々の神像へのまなざし—フェイディアス作《アテナ・パルテノス》	芳賀 京子	"	"	「ペルギーノ風」ステンドグラス—一五〇〇年前後のジェズアーティ僧の活動とフィレンツェの画家たち—	伊藤 拓真		
《ラファエーレ・ツォヴェンツォーニの肖像》(ミラノ、トリヴルツィアーナ図書館)をめぐる詩人と画家—詩人肖像画の機能と制作経緯についての試論—	佐々木千佳	"	233	十六世紀フィレンツェ公妃エレオノーラ・ディ・トレドの自己表象—パラッツォ・ヴェッキオ内、「公妃の間」の装飾の図像解釈—	太田 智子		
第五十九回美学会全国大会報告 発表要旨 外交手段としての美術—アレティーノ書簡をつうじて—	加藤 志織	"	"	インスラー写本から「タシロ聖杯様式」の動物組紐文へ—文様の構成原理に見るノーサンブリア美術の影響—	吉田 泰子		
例会・研究発表要旨 東部会 平成二〇年度第一回例会 調度としての絵画—十七世紀ビッティ宮における絵画・タペストリーの展示—	金山 弘昌	"	"	植木鉢の意味するもの—西洋絵画に表された「nature」と「culture」—	有川 治男		
				研究ノート 聖ルカの遺体の移送—パドヴァのサンタ・ジュステイーナ聖堂サン・ルカ礼拝堂をめぐって	森田 優子	美術史学	28

展覧会評「コスメ・トゥーラとフランチェスコ・デル・コッサーボルソ・デステ時代のフェラール芸術」展	奥田亜希子	美術史学	28	ローマ時代の傑作など盗難品を回収	毎日夕刊	2.21
コムネノス朝ルネサンス絵画の一局面—シナイ山《受胎告知》図アイコン中の告知する天使像を手がかりとして—	永澤 峻	美術史研究	46	3000年前の仮面出土イスラエル 古代都市の祭事用か	前田 英司	" 8.28
「四匹の猫」と『クアトラ・ガッツ』	孝岡 睦子	美術史論集	8	陶磁器に浮世絵の世界 19世紀フランスや伊万里	前田 恭二	読 売 7.17
バンベルクの聖遺物展観とそのカタログ—ハンス・マイアー刊バンベルク聖遺物書を中心に—	秋山 聡	美術史論叢	24	彫刻版ラスコー初公開		読売夕刊 3.19
SPECIAL FEATURE デミアン・ハーストと英国美術の現代史 ターナー賞から振り返る英国アートの今昔	伊東 豊子	美術手帖	909	スードの美テーマにシンボ「ウルビーノのヴィーナス」展を記念	高野 清見	" 4.26
私の空想美術館47 オーセールの女神像	栗津 則雄	美術の窓	292	保 存 修 復		
巻頭特集 猫をうまく描く ⑥技法講座 VOL.12 西洋絵画に描かれた猫	木村 泰司	"	301	パレススタイル土器の赤色顔料	堀木真美子	愛知県埋文センター紀要* 9
私の空想美術館57 サン・サヴアン修道院聖堂の壁画「再臨のキリスト」	栗津 則雄	"	302	美術品修復の理論(III)	ジュゼッピーナ・ベルジーニ 森田 義之、秀実、明子、奈緒 大竹 西村 池田 訳	愛知県立芸術大学紀要 37
私の空想美術館58 『栄光のキリスト』	"	"	303	一乗谷朝倉氏遺跡出土漆器の下地調整に関する解析(1)	武田 昭子 赤沼 英男 土谷 信高	一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要 2007
学芸ノート 作品のモチーフを訪ねて—ベルギー・ブリュージュとオステンド—	高瀬 晴之	姫路市立美術館だより	99	長念寺襖絵修理報告	半田 昌規	川崎市文化財調査集録 43
あなたが聞いた声を—シュルレアリスムの痙攣について—	鈴木 政雄	百 科*	544	元興寺建造物に外観塗装された赤色顔料に関する調査	北野 信彦	元興寺文化財研究所研究報告 2007
ディドロの美術批評『サロン』における「ジャンル画」への視線—グルーズ、ヴェルネ、ユベール・ロベールの絵画について—	安部 朋子	待兼山論叢	42	展示ケース内における繊維強化プラスチック(FRP)由来のストレッチモノマー挙動	川本 耕三 山田 卓司	" " "
フラ・マウロ世界図(1459年)記載ロシア関係の地名・注記について—15世紀「西欧」の一つのロシア観	大山 知児	立正史学	103	調査・研究(概要) 海底遺跡出土遺物の調査・分析・保存に関する基礎的研究— 鷹島海底遺跡出土土武具類を中心に—	植田 直見	" " "
揺らぐ神・潜む神十選1~10	平野啓一郎	日 経	4.15~ 18、21、 22、24、 25、28、 29	調査・研究(概要) 文化財輸送の基礎的研究—輸送時に与えるストレスの解析と防振輸送台の開発—	雨森 久晃	" " "
				調査・研究(概要) 近現代インク書き資料の保存に関する研究	近藤(金山) 正子	" " "
				調査・研究(概要) 被災した近現代歴史資料の救済のための簡便な真空凍結乾燥法の開発	村田 忠繁	" " "

調査・研究(概要) 東アジアの連携による 建造物装飾彩色と 壁画の保存修復研究 と人材育成—韓国 の通度寺を研究対象 として—	山内 章	"	"		河内地域における弥 生前期の炭素14年代 測定研究	小林 春成 坂本 秋山	謙一 秀爾 稔 浩三	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	139
調査・研究(概要) キャピラリー電気泳 動を用いた薬剤劣化 予測法の開発	山田 卓司	"	"		ふじみ野市内出土石 製品の鉱物分析	高崎 大屋	直成 道則	埼玉県埋 文調査団 紀要*	23
調査・研究(概要) 赤外線領域における 彩色資料の反応検証	大久保 治	"	"		石器材料及び石器の 理化学的分析値(3) —XRFによる黒曜岩 分析値(2007年度)—	大屋 他	道則	"	"
調査・研究(概要) 出土木製品保存処理 における問題点の整 理から実践への応用 —特に樹種と劣化状 態について—	木沢 直子	"	"		資料保存箱等の内部 空気環境について— 資料収蔵実態でのパ ンクインジケータ による調査—	野中	仁	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館紀要	2
研究報告 江馬氏下 館跡 会所復元につ いて	三好 清超	ミュージ アムひだ 研究報告*	H19年度		平成十八年度収蔵品 修理報告			三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	13
近代の文化財保存修 復に関する現状と課 題—福岡県内の状況 から—	加藤 和歳	九州歴史 資料館研 究論集	33		「葛細道蒔絵硯箱」 (旧桂宮家伝来)の材 質調査	早川 泰弘		"	"
よみがえる正倉院宝 物の美	米田 雄介	く り ま	86-12		「葛細道蒔絵文台・ 硯箱」の蛍光 X 線分 析調査		"	"	"
研究ノート 多田山 古墳69号堅穴出土鉄 製品の金属学的調査	大澤 深澤	正己 敦仁	26		修理報告 紙本墨書 蒲生貞秀詠草、紙本 墨書朽木植綱書状、 紙本墨書小堀遠州書 状	藤本 淳三		滋賀県立 琵琶湖文 化館研究 紀要	24
慶応義塾所蔵作品調 査・保存活動[ノグ チ・ルーム(萬来舎) 関連修復/三田キャン パス野外彫刻洗浄 保存処置]	渡 部	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	15		遺跡から出土する建 築材の樹種構成	西尾多加二		静岡県埋 文研紀要*	14
建築学鳥瞰 建築史 分野における教育と 研究の視点	後藤 治	建築雑誌	1583		島根県島根大学構内 遺跡(10次)出土試料 の炭素14年代測定	遠部 宮田	慎 佳樹	島根大学 ミュージ アム年報	H19年度
〈修復トピックス〉 重要文化財玉林院本 堂の復原	能島 裕美	建築史学	50		年次報告	成瀬 中村 西川 山片 飯田 田中 杉本	正和 力也 明彦 唯華子 剛彦 陽子 一樹	正倉院紀 要	30
〈修復トピックス〉 重要文化財長勝寺本 堂の修理変遷と「く の字」型隈木につい て	古賀 修一	"	"		書陵部における資料 の保存管理について	図書課出納 係		書陵部紀 要	59
〈修復トピックス〉 重要文化財島田神社 本殿の保存修理につ いて	小宮 睦	"	51		流出文化財バーミヤ ーの仏教壁画片 (文化財難民)の保存 と修復	木島 隆康		絲綢之路	56
〈修復トピックス〉 重要文化財島田神社 本殿の保存修理につ いて	菅原 和之	"	51		南光寺「仁王像」の保 存修理	恒賀健太郎		"	57
〈修復トピックス〉 重要文化財明王院本 堂に転用された平安 時代の前身本堂部材 について		"			新美術時評 裏話の ようなまじめな表の 話	島尾 新		新美術新 聞	1146
近代油彩画顔料の非 破壊分析(その1)— 白色顔料	塚田 全彦 小西 通恵 Marcello Picollo	国立西洋 美術館研 究紀要	12		書論の広場 「磨墨」 について	為近磨巨登		墨	190
					SPring- 8 を利用した 古代青銅鏡の放射光 蛍光分析(II)	泉屋博古館 古代青銅鏡 放射光蛍光 分析研究会		泉屋博古 館紀要	24

全文連設立15周年記念講演会「日本建築の美と技」	鈴木 嘉吉	全文連会報	67	花巻人形調査報告1—人形型の洗浄作業に伴う成果報告—	酒井 宗孝 中島 明子	花巻市博物館研究紀要	4
日光東照宮における保存・修復の建築史的意義	大河 直躬	大 日 光	78	特集 弥生稲作の開始年代 年代測定法はどこまで進んだか—プレジジョン・デ— ーティングへの挑戦—	今村 峯雄	東アジアの古代文化	134
害虫捕獲調査について—IPMへのアプローチ—	飯島 渉	千葉県文書館	13	炭素年による弥生時代遡上論の問題点(再論)—歴博年代観より更に古い異常な炭素十四年—	新井 宏	〃	135
資料の保存と修復—人を惹きつけるアーカイブズ!—	坂本 勇	〃	〃	木材の年輪年代法の問題点—古代史との関連について—	鷺崎 弘朋	〃	136
ゾルフラクション法によるゼラチンパイプの劣化分解の検出	山口 孝子 大柴 直也 大川 史之祐輔	東京都写真美術館紀要	7	紙作品の保存対策—酸性紙マツトの問題を中心に—	横田 直子	兵庫県立美術館研究紀要	2
多賀城関連瓦に付着した赤色顔料について	朽津 信明	東北歴史博物館研究紀要	9	鳥浜貝塚から出土した多縄文土器とその年代測定値	村上 昇	福井県立若狭歴史民俗資料館館報	H19年度
研究報告 高松塚古墳石室解体	肥塚 隆保 高妻 順子	奈良文化財研究所紀要	2008	鳥浜貝塚出土試料の炭素14年代測定(1)	遠部 慎 小林 謙一 宮田 佳樹 西本 豊弘	〃	〃
研究報告 遺構保存のための事前調査法—比抵抗映像法の応用—	脇谷 草一郎 高妻 洋成 肥塚 隆保	〃	〃	特集 文化としての色材—アジアの色彩構造	〃	仏教芸術	298
研究報告 池口寺木造菩薩形立像の非破壊年輪年代調査	大河内 隆之 光谷 拓実 児島 大輔	〃	〃	アジアにおける彩色材料と技法の研究の動向	前田 耕作 谷口 陽子	〃	〃
新潟県立歴史博物館におけるIPM(総合的有害生物管理)について—文化財害虫モニタリング調査を中心に—	田邊 幹	新潟県立歴史博物館研究紀要	9	パーミヤーン仏教壁画にみられる油彩技法について	谷口 陽子 マリオン・コット	〃	〃
四本龍寺「三重塔」保存修理落慶	菅原 栄光	日光山輪王寺	76	中央アジアの壁画—美術史と科学分析による研究—	A・I・コン ラポフ、 B・I・マル シャーク 影山 悦子	〃	〃
調査報告 日光山輪王寺蔵・浜船海老貝文漆絵箱の保存修復に関する研究	辻 賢三	〃	〃	色彩材料の材質分析に基づく敦煌莫高窟第二八五窟における復元的考察	高林 弘実 蘇 伯民	〃	〃
調査報告 日光山輪王寺所蔵「刺繍不動明王二童子像掛幅」について	関根 理恵	〃	〃	奈良時代の顔料文化	成瀬 正和	〃	〃
フランスに於ける公開文化財建造物の総合的安全計画に関する研究—安全性能規定の体系、公的安全マニュアル、ルーア— ン大聖堂に於ける検証とモデル化—	鳥海 基樹 村上 正浩 上藤 治 後藤 竜太 大橋	日本建築学会計画系論文集	627	特集 高松塚古墳レポート—石室の解体事業—	〃	文化財*	532
2006年度の日本考古学界 (II) 外国考古学研究の動向4 イタリ	坂井 聰	日本考古学年報	59	高松塚古墳壁画の保存—文化財保護の使命—	青木 保	〃	〃
美術館での展示と保存	宝田 陽子	PATIO	26	壁画の保存管理の経緯	建石 徹 堀 敏治	〃	〃
				石室解体修理事業に伴う発掘調査	松村 恵司	〃	〃

石室解体と輸送	肥塚 隆保 高妻 洋成 降幡 順子				バーミヤーン仏教壁 画の材質分析(3)ー ガスクロマトグラフ ィー／質量分析法を 使用した有機物の分 析：B(d)窟ー	谷口 陽子 ジョイ・マ ズレック	〃	〃
コラム 高松塚古 墳石室解体に際す る壁画の養生作業	小笠原具子				敦煌莫高窟第 285 窟 壁画に使用された彩 色材料の非接触分析	高林 弘実 小瀬戸 恵美 千 宗仁 范 宇権	〃	〃
コラム 吊り上げ 治具の開発	山本 耕治				敦煌莫高窟第53窟の 窟内環境一温湿度実 測調査と気流解析一	宇野 朋子 他	〃	〃
生物被害とのたた かい	三浦 定俊				カンボジア・タ・ネ イ遺跡における蘚苔 類の繁茂と砂岩の風 化	朽津 信明	〃	〃
コラム 石室の解 体過程における温 湿度環境の管理に ついて	銚田 修一 小椋 大輔 石崎 武志				高松塚古墳発掘・解 体作業に伴う生物調 査の概要について	木川 りか 他	〃	〃
壁画の修理にあた って	鬼原 俊枝				キトラ古墳の微生物 等の状況報告(2007)	木川 りか 間瀬 千絵 佐野 三浦	〃	〃
壁画の修理	川野邊 渉				キトラ古墳保護覆屋 内の環境について (3)ーカビ点検報告 記録の解析一	佐野 千絵 他	〃	〃
表紙解説 高松塚古 墳の石室解体事業	建石 徹	〃	〃		ガス電子増幅フォイル を用いた文化財の X線透過撮影のため の検出器の開発Ⅱ	大塚 将英	〃	〃
大鹿山長禪寺厨子修 復報告書	文化財保存学 保存修復 彫刻研究室	文化財保存学専攻 保存修復 彫刻年報	2007年度		文化財の透過X線撮 影における蛍光増感 スクリーンの特性	松島 朝秀 三浦 定俊	〃	〃
八坂神社楼門の保存 修理工事について	鶴岡 典慶	文化財レ ポート	21		ファイバー送受光型 分光光度計による平 面文化財資料の反射 スペクトル測定にお ける誤差に関する考 察	吉田 直人	〃	〃
宇治市指定文化財 浄土院 養林庵障壁 画 修理報告	竹上 幸宏 大野 恭子	鳳翔学叢	4		コンクリート壁面に おける付着真菌の累 積挙動	間瀬 創 佐野 千絵	〃	〃
平等院鳳凰堂の修復 に用いるベンガラ系 塗料の耐光性に関す る研究 Iーベンガラ 系塗料の劣化の基 礎検討一	桐野 文良 杉岡奈穂子 稲葉 政満	〃	〃		静岡県立美術館にお ける湿熱環境の測定 Ⅱ	大塚 将英 新田 建史 石崎 武志	〃	〃
高松塚古墳石室解体 時の壁画保存のため の温湿度環境の制御	小椋 大輔 他	保存科学	47		文化財保存施設にお けるジクロロボス蒸 散殺虫剤の使用につ いて	吉田 直人 佐野 千絵	〃	〃
高松塚古墳発掘／石 室解体作業に伴う取 合部・断熱覆屋使用 木材等の防カビ対 策：DDACの検討と 施工	木川 りか 他	〃	〃		重要文化財八窓庵中 柱の修復	鈴木 雅文 他	〃	〃
蛍光X線分析による 国宝吉祥天像の彩色 材料調査	早川 泰弘	〃	〃		バーミヤーン仏教壁 画の保存修復(3)ー I窟およびN(a)窟に おける保存修復一	初井 基充 谷口 陽子 大竹 秀実	〃	〃
桃山文化期における 輸入漆塗料の流通と 使用に関する調査	北野 信彦 他	〃	〃		展示公開施設の館内 環境調査報告ー平成 18年度一	吉田 直人 佐野 千絵 石崎 武志	〃	〃
元興寺五重小塔の外 観塗装材料に関する 調査	北野 信彦 狭川 真一 窪寺 茂	〃	〃					
石水博物館千歳文庫 内の温湿度解析	大塚 将英 龍泉寺 由佳 石崎 武志	〃	〃					

“バクトリア遺宝”の科学的調査—奉納板の蛍光X線分析(2)—	桑原 康郎	MIHO MUSEUM 研究紀要	7・8	重要文化財 旧中筋家住宅の保存修理	御船 達雄			
東京国立博物館所蔵「白地立木模様更紗」の技法と修復	石井 美恵 山崎真紀子	MUSEUM	612	重要文化財 護国院多宝塔・鐘楼・楼門の保存修理		〃		
「白地立木模様更紗」に用いられた染料の科学的分析	塚田 全彦	〃	〃	重要文化財 福勝寺本堂ほか2棟の保存修理	多井 忠嗣			
仏像における彩色分析の試み	明珍 素也	武蔵野美術大学研究紀要	38	重要文化財 金剛三昧院客殿及び台所ほか1基の保存修理	結城 啓司			
芝川邸に使用されたタイル復元を通して	後藤 泰男	明治村だより	51	名手八幡神社本殿の調査		〃		
学生の声 文化財保存学	吉水 快聞	杜	25	郭家住宅の調査	下津健太郎			
線刻画石材の表面保存処理について—県指定史跡甲府城跡の事例から—	上原 健弥	山梨県考古博埋文センター紀要*	24	深専寺の調査		〃		
分子量分布の変動から捉えた出土木製品保存処理薬剤の劣化—ポリエチレングリコールの低分子化とその要因—	米村 祥央	歴史遺産研究	4	XRDF 分析装置をもちいた「富岡コレクション明代五彩磁器」の彩釉分析について	櫻庭 裕介	早大津八・津八・津八博紀要*	9	
特集 世界のなかの近世絵図(I)		歴史学研究	841	高松塚古墳シンポジウム	田辺 征夫 肥塚 隆保 川野 涉 山崎 秀保 高妻 洋成 河上 邦彦 毛利 和雄 松村 恵司 三浦 定勝 左野 勝司	朝 日	2.4	
蛍光X線分析による地図資料の彩色材料調査	早川 泰弘			南大門復元に国民運動	安 映姫	〃	2.23	
可視反射分光スペクトル法による染料分析—近世絵図資料彩色調査への応用—	吉田 直人			羽4万枚、現代版「玉虫厨子」再現、法隆寺で公開		〃	3.2	
講座 文化財修復 日本における絵画修理の歩みと現状	岡 泰央	歴史と地理	615	バーミヤンに最古の油絵 7～10世紀、高度な技法 東京文化財研究所が分析	新谷 祐一	〃	3.5	
日本史のひろば 近代化遺産 第1回 近代化遺産とは何か	清水 慶一	〃	〃	歴史を歩く 円明園(中国) 国恥か国威か 揺れる再建	外岡 秀俊	〃	4.1	
講座 文化財修復 日光の建造物漆塗り修復	佐藤 則武	〃	617	飛鳥美人の修理最前線 あなたに会いたかった 女性中心のチーム カビと対決		〃	6.4	
修理報告 京都檀王法林寺所蔵 黒漆司馬温公家訓螺鈿掛板の保存修理	小西 寧子	鹿園雑集*	10	鎌倉の大仏様「素材は中国銭」 別府大グループが解明	渡辺 延志	〃	6.21	
調査報告—平成十九年度 修復文化財(木造)材質調査報告		〃	〃	電子データでの保存活動 始動 写真文化を後世へ 市民と写真家、会設立	竹信三恵子	〃	7.20	
文化財建造物の保存修理・調査		和歌山県文化財センター年報	2007	世界発2008 バーミヤン 広がる傷 不発弾処理、割れる壁 調査・修復阻む地雷 進む治安悪化	四倉 幹木	〃	7.30	

室町仏像に江戸期の「緑」兵庫・円教寺顔料分析で判明	渡辺 延志	〃	11.26	余録[高松塚古墳壁画]	〃	6.2
高松塚古墳壁画 文化庁、修理作業中に「飛鳥美人」に傷	渡 義人	〃	12.10	高松塚女子群に損傷機材で顔料分析中	林 由紀子	〃 12.10
飛鳥美人くつきり「高松塚」壁画復元	産 経	3.11	平等院鳳凰堂の天蓋復元 境内で公開始まる	藤田 健志	毎日夕刊	4.18
新旧の技 国宝複製	〃	3.22	熊本城復元 厳密な考証	池田 和正	読 売	2.1
よみがえった世界遺産 王家の谷2	〃	5.13	顔 高松塚古墳の石室解体を指揮した佐野勝司さん	原田 和幸	〃	2.2
姿変えず文化財補強熱海市 先進的耐震工法、ほかの自治体も関心	福田涼太郎	〃	7.29	夢塾 文化財 美を次世代へ	宇佐 美伸	〃 2.3
鶴ヶ城 幕末の姿に「御三階」復元、天守閣の赤瓦も	東 京	9.28	小書斎 君主の理想の結晶[フェデリーコ・ダ・モンテフェルトロ公の小書斎復元]	高野 清見	〃	4.4
宇宙技術で新発見 考古学に「科学の目」衛星・蛍光X線で隠れた新事実発掘	青木 慎一	日 経	2.17	薬師寺東塔解体修理へ 1898年以来	〃	5.1
キトラの大刀 奈良文化財研究所復元し公開	〃	4.24	読売あをによし賞	〃	5.2	
「北野天神絵巻」鮮やか再現 日本HP、デジカメで複製	〃	5.2	本賞 茅葺き棟梁 隅田隆蔵さん 伊勢神宮遷宮 2度手がける			
鍔絵の土蔵修復 昭和初期の町並み醸す	〃	6.23	奨励賞 和紙技術研究者 大川昭典さん 「明月記」など分析・復元試作			
文化財の分身刷り重ね 再現性高いが手間暇かかるコロタイプの技術守る	西村寿美雄	〃	8.15	特別賞 中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所		
文化遺産保存アジア連携 開発・観光化で危機 修復技術共有 伝統にも配慮	白木 富田 緑 律之	〃	10.4	モヘンジョ・ダロ無残 塩害進み崩落 パキスタン治安悪化で	酒井 圭吾	〃 6.1
文化往来 デジタル復元した映画「羅生門」を公開	〃	11.26	「高松塚」劣化原因究明	柳林 修	〃	7.3
古代南アジア壁画の模写、京都で発見 昔年の色彩鮮やかに	小川 敦生	日経夕刊	7.7	顔 カンボジアで歴史遺産の保存に取り組む地質学者 徳永朋祥さん	原田 信彦	〃 7.12
映像遺産の保存、市民の活動広がる 押入れの8ミリ地域の宝物に	窪田 直子	〃	11.25	バーミヤン大仏破壊から7年 再建か部分修復か	佐藤 昌宏	〃 7.29
法隆寺国宝「玉虫厨子」復元 1300年前の色彩くつきり	大森 顕浩	毎 日	3.3	おあしす[西本願寺・御影堂厨子修復完了]	〃	8.20
落書き被害 防犯カメラ 善光寺検討	大平明日香	〃	5.3	日本画技法でフレスコ模写 中世仏の壁画	山内 健	〃 12.9
記者の目「死んでしまった」高松塚 遺跡保存の国民的議論を	林 由紀子	〃	5.28	中世ロシア聖画像「イコン」貸し出し論争	〃	12.11
やっと会える 高松塚古墳壁画31日から一般公開	林 由紀子 川野辺 渉	〃	〃	旧交通博物館「3D」保存	読売夕刊	1.10

お寺を歩く 法灯継承3 悲願300年中金堂再建		読売夕刊	2.29	中国 戦争とメディアをめぐる歴史画像デジタル化の試み—満洲国ポスター&伝単データベース	貴志 俊彦		
モラルを問う 屋外彫刻 市民が守るキレイに保ちいたずら抑止	朝来野祥子	"	3.13	インド史跡調査団—アジア写真資料集データベース	深見奈緒子	明日の東洋学	19
能登半島地震 あす1年 建築文化財復旧始まる		"	3.24	調査・研究(概要) 兵庫県加西市・一乗寺の歴史資料(巡礼札)の調査とデータベース化	稲城 信子	元興寺文化財研究所研究報告	2007
高松塚壁画見えた		"	5.31	文部科学省オープン・リサーチ・センター 慶応義塾大学デジタルアーカイブ・リサーチセンター(DARC)	前 田	慶応義塾大学アート・センター年報	15
明日へ 壁画を守る	柳林 修	"		〈アトライブラリから〉(連携)する美術館情報 国立美術館の公開情報資源—所蔵作品と図書情報を中心に	水谷 長志	現代の眼	571
1 高松塚古墳			7.14	特集 建築資料をのこすということ		建築雑誌	1576
2 キトラ古墳			7.15	IV 資料を学ぶ 建築アーカイブの今後へ向けて	中原 まり		
3 国宝修理装潢師連盟			7.16	V アーカイブス活動の現状 JIA-KIT建築アーカイブスのめざすもの	竺 覚暁		
4 王塚古墳			7.17	作品情報としての常設展目録：美術館ウェブサイトとコレクション・データベースをめぐって	川口 雅子	国立西洋美術館研究紀要	12
5 虎塚古墳			7.18	ネットワークで公開する電子展示の利用特性と評価に関する検討	安達 文夫 小島 裕一 高橋 一樹	国立歴史民俗博物館研究報告	139
東照宮修理 職人技にため息	平川さつき 丸山 優子 井田香菜子	"	11.29	随筆 近時の在欧吐魯番出土漢文書の整理・公開等をめぐって	小口 雅史	古文書研究	66
情報処理				「情報の交差点」—「美術図書館」をめぐる現在		新美術新聞	1152
博物館とアーカイブズ—記録価値を支える人材養成—	水嶋 英治	アーカイブズ・ニユーズレター	8	活動報告 「中国語の色彩語彙とメタファー」に関するデータ整理—神奈川大学共同奨励研究の中間報告—	彭国 躍	人文学研究所報	41
戦前期における博覧会及び帝国・皇室博物館の目録形式の変遷	研谷 紀夫	アート・ドキュメンテーション研究	15	友枝啓泰アンデス民族学画像コレクション・データベース化進捗状況 報告	河邊 真次	人類学博物館紀要	26
山中商会ロンドン支店の足跡：ヴィクトリア・アンド・アルバート・アーカイブ(the V&A Archive)所蔵「登録ファイル」をもとに	門田 園子	"	"				
あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第62回 記憶収蔵庫はどこにあるのか? 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「オリジナル」の行方—文化財アーカイブ構築のために」雑感	稲賀 繁美	あいだ	155				
特集 地域情報学の創出 第一部 地域研究から情報学へのアプローチ		アジア遊学	113				
日本 正倉院文書データベースと「復原」—情報化によって見えてくるもの	後藤 真						

メディア特性を活用した情報デザインの構築「阿蘇の響彩」プロジェクトにおけるクロスメディア型情報構築に関する研究	森野 晶人	崇城大学芸術学部研究紀要	1	11 記念物編 自然災害の記憶を記録する	桂 雄三		539
[研究報告]e-WORK-SHOPの実施制作研究(2)―多局間ワークショップの実験	森脇 裕之	多摩美術大学研究紀要	22	12 記念物編 遺跡の発掘調査を記録する	坂井 秀弥		540
シンポジウム報告「オウディウス・挿絵・アーカイブ―デジタル時代の図像学を考える」報告	中川 裕美	日仏美術学会会報	27	13 伝統文化編 工芸技術を記録する	佐藤 直子		541
特集「デジタル文化財」		博物館研究	483	14 伝統文化編 芸能を記録する	吉田 純子		542
巻頭エッセイ デジタルアーカイブの可能性―統合デジタルアーカイブの試み―	馬場 章			15 伝統文化編 ものを記録する・生活を記録する―有形の民俗文化財の記録―	石垣 悟		543
美術館から画像を入手するための手順―米国の場合―	吉村 玲子			平等院・雲中供養菩薩像における三次元デジタルアーカイブと模刻への活用	山田 村上 修清	鳳翔学叢	4
博物館における記録遺産と情報化―その歴史と現状・課題―	水嶋 英治			宮崎県立西都原考古博物館におけるデータベースの改編	日高 敬子	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	4
平成十九年度東西合同シンポジウム「学芸員の逆襲―ミュージアムの過去・現在・未来―」美術館におけるアーカイブの位置と可能性	川口 雅子	美術史	164	特集 映像 文化資源としての可能性		歴 博	147
連載 文化財を記録する		文化財*		映像を「史料」として扱うこと	原山 浩介		
4 美術工芸品編 高松塚古墳石室内フォトマップ撮影	井上 直夫		532	ニュース映画の資料化にむけて	濱崎 好治		
5 建造物編 建造物を記録する	豊城 浩行		533	[コラム]映像を解釈する権利とアーカイブ	内田 順子		
6 建造物編 建造物の形状を記録する―写真・図面等―	西 和彦		534	世界の映像アーカイブの現状と課題	江原 学		
7 建造物編 建造物の記憶を記録する―野帳・摺拓本―	武内 正和		535	歴史の証人 写真による収蔵品紹介 絵葉書になったガラス乾板三八〇〇枚	樋口 雄彦	" "	
8 建造物編 建造物の歴史を記録する	小沼 景子		536	歴博けんきゅう便 第31回 共同研究 [基盤研究]「博物館情報資源の機能的活用手法の検討とその応用に関する研究」	宮田 公佳	" "	
9 記念物編 土地の記憶を記録する	佐藤 正知		537	デジタルで「美」体感 端末で「実風景」／のぞける“中身”	谷口 隆一	産 経	2.28
10 記念物編 名勝の価値を記録する	中島 義晴		538	文化往来 アーカイヴズ学会、資格制度創設へ提言		日 経	4.26
				博物館や大学、108種類を横断検索 データ共有で研究に膨らみ[研究資源共有化システム]	松岡 資明	" "	5.10

学術資料や映像記録 デジタル情報の長期 保存に暗雲 媒体に 寿命 更新コスト莫 大	松岡 資明	日 経	12. 27	新美術時評 「世界 遺産流行り」につい て	島尾 新	"	1164
情報のデジタル化危 惧 記録媒体の限界 認識を	青柳 正規、 松岡 資明 聞き手	日経夕刊	11. 26	千葉県における文化 財保存事業について —明治四十四年の名 勝旧蹟保存規程を中 心として—	渡辺 善司	千葉県の 文書館	13
ネットで平和博物館 中央区 戦時資料公 開	杉本 修作	毎 日	3. 16	研究報告 日中韓文 化財研究所による建 築遺産に関する共同 研究の動向	窪寺 茂	奈良文化 財研究所 紀要	2008
浮世絵の制作技術継 承へDVD完成 保存 団体が2カ国語で	木村 健二	"	12. 16	研究報告 遺跡の保 存管理・公開活用と 指定管理者制度	平澤 毅	"	"
宝物を伝える 60回 目の正倉院展 下 デジタル駆使し「公 開」	藤岡 博之 早川 保夫 白石 佳奈	読 売	10. 17	研究報告 日本の文 化財保護とアメリカ の歴史保存の相似と 相違	金井 健	"	"
文化財行政				歴史的集落・町並み における保存対象の 選定手法に関する研 究—竹富町竹富島伝 統的建造物群保存地 区を事例に—	花岡 拓郎 西山 徳明	日本建築 学会計画 系論文集	625
名古屋離宮の誕生	石川 寛	愛知県史 研究	12	1954年ハーグ条約に 基づく履行状況報告 書とその内容—「武 力紛争の際の文化財 の保護に関する条 約」の履行状況とそ の課題 その1—	藤岡麻理子 平賀あまな 斎藤 英俊	"	626
行政がつなげる、産 業とデザイナー	浦田 薫	A X I S	133	1954年ハーグ条約の 定める軍隊の組織、 規則、命令等に関す る規定の履行状況— 「武力紛争の際の文 化財の保護に関する 条約」の履行状況と その課題 その2—	"	"	629
フィリピン・コルデ イェーラ山脈の棚 田と遺産ツーリズム の課題—世界文化遺 産としての文化的景 観と地域社会—	野間 晴雄	関西大学 東西学術 研究所紀 要	41	伝統的建造物群保存 地区の建蔽率と容積 率に関する考察—奈 良県橿原市今井町地 区を中心として—	メンドサ島 田オルガ恵 子	"	628
地域文化行政と芸術 をめぐる視点の相違 —公開及び滞在制作 型事業を事例に—	渡邊美輪子	芸 文	1	「武力紛争の際の文 化財保護のための条 約(1954年ハーグ条 約)」批准に向けた 日本の活動 国際社 会における文化財保 護と日本 その3	平賀あまな 斎藤 英俊	"	"
ティピカルプラクテ イス 歴史的町並み 保存の防災事業にお ける防災的伝統の現 代的再構築—高山市 三町重要伝統的建造 物群保存地区の地域 防災事業—	長谷見雄二	建築雑誌	1572	国史跡邑城における 城壁の復元と整備に 関する考察—韓国に おける史跡の保存整 備の動向と特徴に関 する研究 その1—	徐 韓 旺佑 三建	"	630
平成20年度国宝・重 文新指定—文化審答 申		書 道 界	222	古社寺保存会草創期 に作成された建造物 等級表について	清水 重敦	"	631
企業メセナ協議会文 化政策フォーラム 2008 「文化政策の 実現をめざして」		新美術新 聞	1143	文化財レポート 仙 台郡山遺跡の調査・ 保存とその課題	長島 榮一	日本歴史	717
平成20(2008)年度文 化庁予算 柱は「文 化芸術による地域づ くりの推進」		"	1146				
官と民の新たな取り 組み横浜美術館の場 合 「LAND×YMA ART PROJECT」	天野 太郎	"	1153				
美術市場レーダー 193 美術・文化の 内外異変	瀬木 慎一	"	1156				

文化財レポート 二〇〇七年度前期の史跡等の指定(上)(下)			"	719、720	新指定の文化財(建造物)	"	"	538
文化財レポート 骨寺村荘園遺跡の調査とその保護—史跡と文化的景観による保護—	工藤 武		"	721	小浜西組—城下町とそれらの保存—	松澤那々子	"	"
虎ノ門だより 平成20年度 文部科学省・文化庁における博物館振興施策の概要について		博物館研究		477	新選定の文化財(伝統的建造物群)	文化庁文化財部	"	"
特集「ガバナンスとマネージメント 設置者責任」長崎県美術館・長崎歴史文化博物館における県(設置者)の果たす役割	藤 泉		"	482	新指定の文化財(記念物)	"	"	539
視点 国立西洋美術館本館の世界遺産登録を目指して	青柳 正規	美術の窓		293	新選定の文化財(文化的景観)	"	"	"
特集 高松塚古墳レポート—石室の解体事業—特別史跡高松塚古墳の仮整備	市原富士夫	文化財*		532	新登録の文化財(記念物)	"	"	"
新指定の文化財(記念物・建造物)	文化庁文化財部		"	533	「今後の埋蔵文化財保護体制のあり方について(報告)」	文化庁記念物課	"	"
新選定の文化財(文化的景観)	"	"	"	"	速報 第32回世界遺産委員会報告 「平泉—浄土思想を基調とする文化的景観」の世界遺産一覧表記載推薦に係る審議結果について	"	"	"
新登録の文化財(記念物)	"	"	"	"	新指定の文化財(無形文化財)	文化庁文化財部	"	540
新指定の文化財(民俗文化財)	"	"	"	534	特集 第32回世界遺産委員会	"	"	541
新登録の文化財(登録有形民俗文化財)	"	"	"	"	世界遺産と文化財保護—「平泉」の審査を振り返って—	大西 珠枝		
登録有形文化財(建造物)一覧 第57・58回～第61回登録有形文化財(建造物)	"	"	"	534、537、540、542	第32回世界遺産委員会に出席して	本間 政雄		
特集 文化庁40年—転換期を迎えた文化財行政			"	536	第32回世界遺産委員会の概要	西 和彦		
近年の文化財保護施策の展開—文化庁四〇年を記念して—	亀井 伸雄				新規記載(文化遺産)にかかる審議とその傾向	鈴木 地平		
文化財部のあゆみ					顕著な普遍的価値とは何か—諮問機関ICOMOS・IUCNの分析—	稲葉 信子		
美術学芸課の10年と今後の展望					世界遺産一覧表記載再挑戦に向けて	中村 英俊		
参事官(建造物担当)の10年と今後の展望					「平泉—浄土思想を基調とする文化的景観」の評価・審査をめぐる	本中 眞		
新指定の文化財(美術工芸品)	文化庁文化財部		"	537	新指定の文化財(建造物)	文化庁文化財部	"	543
新登録の文化財 登録有形文化財(美術工芸品)	"	"	"	"	我が国の世界遺産暫定一覧表への文化資産の追加記載に係る調査・審議の結果について	"	"	"
					藤山一雄の民俗展示場構想と満州開拓政策	大出 尚子	文化資源学	6

「文化開発」の理念とフランス自治体文化政策の創成期—グルノーブル市文化政策(1965—83)の問題意識と影響力—	長嶋由紀子	文化資源学	6	韓国地方自治体における博物館行政の現在	小川原宏幸				
我が国の文化遺産国際協力事業の動向と課題—財源別に整理した事業実績の集計結果より—	豊島久乃 清水真一 青木繁夫 田代亜紀子	保存科学	47	日本史のひろば 世界遺産 石見銀山遺跡とその文化的景観	佐伯 徳哉	歴史と地理	615		
明治期～昭和戦前期の文化財保護対策を考える(二)—法令適用事例および宮崎県の史跡指定傾向にみる保護対策の検討—	初木 郁朗	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	4	日本史のひろば 近代化遺産 第2回 近代化遺産にはどのような種類があるか	清水 慶一	〃	617		
文化芸術・スポーツの振興 「文化芸術立国」の実現と文化発信		文部科学広報	107	日本史のひろば 近代化遺産 第3回 近代化遺産の保存と活用	〃	〃	620		
2008年登録の世界遺産		ユネスコ世界遺産年報	14	講座 文化財修復 海外修復との関わり 文化財の国際協力	稲葉 信子	〃	〃		
特集 国境を越える世界遺産		〃	〃	世界遺産と生きる 上智大学・朝日新聞 共催シンポジウム 人類の宝 次代へ	稲葉 信子、 石澤 良昭、 前田 耕作、 田口 ランディ、 鈴木 恒夫 関元 信一 司会	朝 日	1.26		
国境を越える世界遺産とは何か?	西村 幸夫			世界遺産と生きる 上智大学・朝日新聞 共催シンポジウム 人類の宝 次代へ		〃	〃		
国境を越える文化遺産 登録へ向けた国際協調	西村 幸夫 西川 亮			基調講演 中立的な日本 役割大きい	青木 保				
データファイル 日本の世界遺産3 厳島神社	矢野 和之	〃	〃	基調講演 文化の創造にどうつなぐ	石澤 良昭				
アニュアルレポート「平泉」—世界遺産への記載延期	稲葉 信子	〃	〃	重要文化財の建造物耐震診断済み 1割に満たず		〃	7.22		
日本の世界遺産ニュース		〃	〃	観流 愛知で国際美術展 舞台芸術と融合模索	西田 健作	〃	10.29		
日本の世界遺産ニュース コラム 暫定リストの近況	西村 幸夫	〃	〃	国立博物館耐震化に本腰 今秋、相次いで補正予算	小川 雪	〃	11.19		
第32回世界遺産委員会ニュース	稲葉 信子	〃	〃	平泉、世界遺産危うし 浄土思想の重要性「証明不十分」 ユネスコ諮問機関 登録の延期勧告 逆転登録へ地元望み		朝日夕刊	5.23		
危機遺産の現状 バム、その近況～自然災害から5年～	岡田 保良	〃	〃	美術売り込む国家戦略 仏トゥールーズ市現代美術祭	古賀 太	〃	10.15		
世界遺産基本情報		〃	〃	大阪市 名画持ち腐れ 「美術館」まだ更地 倉庫などに4200点	島脇 健史	〃	11.26		
小特集 指定管理者制度と歴史学		歴史学研究	838	古都の地震 文化財の焼失防止が肝要		産 経	2.22		
小特集にあたって	歴史学研究会編集委員会			緯度経度 生活に息づく文化財	黒田 勝弘	〃	2.23		
文化財行政・歴史系博物館と歴史学のこれから	赤澤 春彦								
「指定管理者制度」を読む—博物館に「制度」は何をもたらすのか—	石居 人也								

明解要解 「人類の財産後世に」資金など提供 世界遺産保護に貢献 日米2つの財団	押田 雅治	"	5.12	清水寺・東大寺など国宝・重文 255 件倒壊も 防災会議想定直下型大地震で	"	2.19
平泉やきもき 世界遺産登録勧告控え…	"	"	5.19	国宝・重文 耐震補強、3%どまり 文化庁防災対策強化へ	"	2.22
浄土思想に「？」イコモス延期勧告 平泉世界遺産ピンチ	"	"	5.24	メガロリポート 伝統工芸、担い手育て都内の後継者難深刻	水庫 弘貴	5.3
学芸員養成 履修増加へ 文科省方針 博物館機能の強化で	"	"	7.2	文化財落書きに泣く巡回・カメラで自衛根絶に決め手なく	"	7.2
文化財の耐震 基本方針を早く決めよ	東 京	"	2.25	重文の防火・耐震調査へ 近畿1670棟に震災対策 文化庁など、建築士が診断	"	7.8
身近な登録有形文化財気軽に楽しもう 保存はもちろん、積極活用を	森 まゆみ	"	3.1	世界いまを刻む マレーシア・ベナン島の州都世界遺産に欧州・アジアの文化共有 観光資源に活用	伊東 義章	9.14
「産地書き換え」で名刀? 日本刀不透明審査で国会論議	"	"	3.5	フォローアップ 世界遺産違い15件目 登録審査厳しく 自治体、戦略を見直し	"	10.27
重文3橋 200 年延命へ 隅田川の清洲、永代、勝鬨 都が長寿化計画	榎本 哲也	"	5.19	公文書館地域の財産に 全国各地で設置機運 行政の説明責任の要	松岡 資明	11.15
「街おこし」へ なるか世界遺産 上野の国立西洋美術館	市川 千晴	"	6.20	明治から戦後10年の映画 眠るフィルム 6000点発掘 文化庁文化財登録を検討	日経夕刊	3.12
産業遺産に光を 石岡第一発電所 国の重文に 現役パワー、活用法を探る	吉田 薫	"	11.28	運慶作の仏像競売騒動 文化財保護あり方に一石	"	3.24
水中文化遺産 保護急げ 沈没船、古代都市…海底に300万件 ユネスコ条約発効7年越し 各国、意識低く	清水 俊郎	"	12.21	世界遺産 平泉の登録延期勧告 政府は働きかけ継続	"	5.23
運慶仏像「国が購入を」米NYで競売予定 足利市に署名 5000人超す	東京夕刊	"	3.1	フォーカス 世界遺産6条約確立めざす ユネスコ事務局長松浦晃一郎氏	"	9.17
大波小波 文化財の出入り勘定 (胸算用)	"	"	3.31	「アートの島」で街づくり 香川・小豆島若手芸術家に宿舍など提供	"	12.22
世界遺産 「平泉」の登録延期勧告 諮問機関重要性証明が不足	"	"	5.23	「海の正倉院」を世界遺産に 宗像・沖の島から国宝8万点出土/希少な姿残す津屋崎古墳群	吉村 作治、杉山 林継、中川 武、白石太郎、パネリスト、西谷 正、コーディネーター	毎 日 1.12
「指定管理者制度」の勘違い 恒常的収集、調査研究が命 美術館運営になじまず	安村 敏信	"	7.22	神功皇后陵 陵墓調査認める 宮内庁、考古学協会に通達	真鍋 光之	1.18
都、「文化の東京」前面に 民間美術館とも連携	日 経	"	2.15	天平の息吹 正倉院の内部初公開	大森 顕浩	2.2
神功皇后陵を初調査学会要望22日に	"	"	2.16			

神功皇后陵立ち入り 16学会代表 古代史 解明の一步に	大森 顕浩	毎 日	2.23	「平泉」の世界遺産への登録延期 近藤誠一ユネスコ大使に聞く 登録基準に照らした価値の証明十分できていなかった	福井 聡	"	8.25
善光寺落書き 出発 地返上から2日 住 民「非常に残念」	大島 英吾	"	4.21	世界遺産誕生30周年 今、求められること	松浦晃一郎	"	11.4
善光寺に落書き 本 堂の6カ所「聖火リ レー」関連捜査	大平明日香 大島 英吾	"	"	知りたい! 画廊 「国会」ハウマッ? 「お答えできぬ」 所蔵450点	日下部 聡	"	11.6
高松塚古墳の壁画 明日香村民に公開	林 由紀子	"	4.25	新段階に入った「陵墓公開問題」 中世も人々と親和的な関係 現代社会に貴重なヒント	山成 孝治	"	12.17
世界遺産 著者松浦 晃一郎さん バラン スと多様性	若狭 毅	"	9.7	文化財被害45件 過去5年、悪質化 放火、盗掘も 丸亀城にくぎ、萬代橋に落書き	読 売	1.25	
石見銀山の挑戦 世界遺産へ観光客押し寄せ「環境との調和」仕切り直し	船津 健一	"	9.22	運慶 米で競売へ 文化財未指定 海外流出の恐れ	前田 恭二 山本 勉	"	2.11
余録[宗像・沖ノ島 と関連遺産群]	"	"	10.5	老朽化する公立博物館 運営計画の議論 自治体と住民で	菅原 教夫	"	3.14
アライグマが国宝に 傷 京都や奈良で被害相次ぐ	三野 雅弘 山本 和良 花澤 茂人 谷田 朋美	"	11.8	財政難 文化削る病弊 大阪の品格を問う	山崎 正和	"	4.29
考える耳「世界遺産」 指定運動の過熱危ぶまれる特定思想の押し付け	渡辺 裕	毎日夕刊	2.19	シルクロード世界遺産構想 日本文化多様化の恩返しを	前田 耕作	"	6.20
神功皇后陵に立ち入 って 観察だけでも 貴重な所見 望まれる「文化財としての陵墓」	岸本 直文	"	3.5	タイ揺るがす国境の寺 カンボジアが世界遺産申請[ブレアビビア寺院遺跡]	田原 徳容	"	6.26
神功皇后陵に立ち入 って 成果は研究者の 想定以上 開かれた 議論の一步に	伊藤 和史	"	"	モラルを問う 文化財落書き防げ	"	"	7.17
都知事提案で絵画購 入 新銀行東京「殺 風景」と3点51万	木村 健二	"	3.17	記者ノート「映像学芸員」創設議論に	鈴木 嘉一	"	9.9
国重要文化財の神社 本殿が全焼 大阪・ 放火か	川端 智子	"	5.23	東京の文化発信を考える 丸の内「熱狂の日」で一変	前田 恭二 文 鈴木 鈴木 順子	"	10.12
平泉の登録延期勧告 世界遺産 結論10年 以降か	加藤 隆寛	"	"	パキスタン・ハラッパ遺跡 資金難で荒廃	佐藤 昌宏	"	10.29
世界遺産延期 登録 へ「なお努力」 地元 ・岩手「浄土思想」理 解訴え	念佛 明奈 岸本 桂司	"	"	運慶の仏像流出騒動 日本宝危うく海外へ	読売夕刊	4.5	
四川大地震 道教の 聖地が損壊 世界遺 産・青城山	神澤 龍二	"	6.4	世界遺産 平泉登録延期を勧告「価値の証明が不足」	"	"	5.23
地震被害 岩手・宮 城両県国指定など文 化財24件破損	伊藤絵理子	"	7.2	平泉世界遺産「落選」 日本候補地では初	青木佐知子	"	7.7
世界遺産平泉落選 ハードル年々高く 再考迫られる推薦の 「連発」	加藤 隆寛 念佛 明奈 山口 圭一	"	7.7				

2008シルクロード行 ベルシャの光芒2 米食文化圏のガラス 碗	関口 和哉	"	10. 21	社会変化のコンテク ストから実践的に学 ぶ スタンフォード 大学Dスクール	"	"	134
明日へ 世界遺産を 守る		"		デザインの再定義と イノベーション人材 の育成—アートセン ター・カレッジ・オ ブ・デザインとイリ ノイ工科大学のデザ イン大学院	"	"	135
1 アンコール遺 跡群	田原 徳容	"	"		"	"	135
3 モンサンミシ エル	林 路郎		10. 23				
5 ザンジバル島 のストーンタウン	角谷志保美		10. 27	from the World 東 京都が育成を目指す “スーパーデザイナー ”とは	神吉 弘邦	"	136
6 サンクトペテ ルブルク	緒方 賢一		10. 28				
美術教育				市民参加による屋外 彫刻調査と寺畑助之 丞作品の保全活動を めぐって	端山 聡子	屋外彫刻 調査保存 研究会会 報	4
学校と博物館の連携 を進める実践的研究	川上 昭吾 杉浦 貴史 寺田 安孝	愛知教育 大学研究 報告	57	新しい時代のヴィジ ュアル・コミュニケ ーション教育	秋草 孝	金沢美術 工芸大学 紀要	52
美術鑑賞の方法 ギ ャラリー・ワークを中 心にして	藤島 美菜	愛知県美 術館研究 紀要	14	中国・武漢の現代	江上 華	ギャラリ ー*	
産学共同の正しいや り方	山本 玲子	A X I S		第3回 湖北美術 学院学長に聞く 優れた芸術家を育 てる武漢の教育			280
プロジェクト3: 東北芸術工科大学 と山形市民の蔵プ ロジェクト			131	第4回 湖北省美 術院 芸術貴族の 天国			281
プロジェクト4: 大阪芸術大学と積 水ハウスのリアル サイズ・シンキン グ			132	平成19年度出前美術 館実施報告	熊谷ゆう子	群馬県立 近代美術 館研究紀 要	4
プロジェクト5: 女子美術大学と江 戸川区伝統工芸 者、江戸川区によ る「えどがわ伝統 工芸」におけるブ ランド育成			133	特集 建築の展覧会 を考える III 建築 展と建築教育の現状 建築展の現場から— 新たな人材育成に望 むこと	米山 勇	建築雑誌	1575
プロジェクト6: 多摩美術大学とオ オニシによる旗の 未来を考えるプロ ジェクト			134	建築ロゴス再考 「素振り」のすすめ	中田 千彦	"	1578
プロジェクト7: 京都造形大学と藤 井大丸の「COL- ORS」			135	特集 建築ガールズ パワー VIII 建築 を学ぶ女性が増えた 理由—大学ルポ	守山 久子、 平塚 桂 取材・構成	"	1579
プロジェクト8: 東京造形大学大学 院と駒木野病院の 「駒木野アートの スペースプロジェク ト」			136	共同研究 歴史展示 における「異文化」表 象の基礎的研究 第 II部 展示における 表象 博物館の利用 者主体の教育論構築 にむけて 異文化理 解を促す学習論の紹 介と提案	並木美砂子	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	140
特集 コンセプトデ ザイン—未知なるも のを創り出す コン セプトデザイナーは いかにして生み出さ れるのか?	瀧口 範子	"	133	平成一九年度教員対 象夏期研修交流会 「センス・オブ・ワ ンダー」結果報告	平田 健生	滋賀県立 近代美術 館研究紀 要	7

美術市場レーダー 192 漂流する教育 と文化	瀬木 慎一	新美術新 聞	1153	造形基礎と基礎デザ イン／デザイン分野 における基礎教育の 目的と可能性—	森 香織	日本大学 芸術学部 紀要	48
新美術時評 「美大」 というシステム	島尾 新	〃	1158	生活デザインの現場 から9 住居設計演 習合同課題／デザ イン教育 原寸の空間 を考えながらつく る。	佐々木一泰	人間文化	23
新美術時評 博物館 学実習の季節	外館 和子	〃	1160	支部情報 近畿支部 連携授業の実践とそ こから見えてくるこ と—6,000人の子 どもたちと一緒に—	紀洲谷浩市	博物館研 究	477
キャラニア大学にお ける教育および研究 報告	楠元香代子	崇城大学 芸術学部 研究紀要	1	支部情報 中国支部 岡山県立博物館の教 育普及活動—平成19 年度の取り組みを中 心に—	正木 茂樹	〃	478
[研究報告]新しい工 芸教育をめぐる総合 研究—大学における 工芸教育の比較に見 るさまざまな工芸像	井上 雅之 尹 樋口 樋口 富田 富田 康子	多摩美術 大学研究 紀要	22	支部情報 東北支部 博物館の活用法を 探る試みの一例—年 間を通しての博学連 携事業—	手塚 均	〃	484
[研究報告]大学連携 のデザイン教育プロ グラム	矢野 英樹	〃	〃	巻頭エッセイ 博物 館の教育活動	佐々木正峰	〃	487
解説シートについて	赤嶺由紀子 高志保美奈	壺屋焼物 博物館紀 要	9	特集「子どもと博物 館」	〃	〃	〃
スペイン美術教育の 現状IV—初等美術教 科書にみられる教育 内容の一例—	金子 亨 藤井 康子	東京学芸 大学紀要	60	こどもと博物館	仙田 満	〃	〃
東京学芸大学美術科 工芸研究室における 教育実践の独自性 についての研究 I—金 工基礎的授業課題の 考察—	古瀬 政弘 遠藤 信也	〃	〃	子どもの「描く・ つくる」と「遊び」 について	花原 幹夫	〃	〃
造形教育運動と桑沢 学園—普通教育にお ける造形ムーブメン トの変遷	春日 明夫 小林 貴史	東京造形 大学研究 報	別冊7	子どもにとっての 博物館の第一印象 ……まずはそこから 考えてみよう!	大月ヒロ子	〃	〃
考える力を養うた めのグラフィックデザ イン史教育	遠藤 牧人	東北芸術 工科大学 紀要	15	「博物館」における 子どもの活動!を 探る	北島 尚志	〃	〃
[美術教育]の現状と その課題—実態調査 結果からの考察 II—	降旗 孝	〃	〃	エッセイ・展評 ケ ニアの子どもの絵	荒川 勝巳	美術運動	135
実践の中で形作られ る教育普及 二〇〇 五年～二〇〇六年の 活動を通して	堺 雅子	長崎県美 術館研究 紀要	1	美術教育とジェン ダー(1)～(5)	山崎 明子	美術運動 史研究会 ニュース	94～98
業務報告 長野県立 歴史館と学校との連 携	黒岩 龍也	長野県立 歴史館研 究紀要	14	平成十九年度東西合 同シンポジウム 「学芸員の逆襲—ミ ュージアムの過去・ 現在・未来—」伝 えるための工夫—み える・しる・しらべ るコレクション 雪舟 筆「牧牛図」—	前田 淳子	美術史	164
地域学習としての 「世界遺産教育」	中澤 静男 田渕五十生	奈良教育 大学紀要	57-1	子どもと美術	〃	美術手帖	〃
美術館を楽しむ「ア ート体験コーナー」 —教育普及活動の活 性化に向けて	池上 秀敏	新潟県立 近代美術 館研究紀 要	8	32 三日野お好み 焼き 手のひらの 中の宇宙	拓植 響	〃	903
学校や公民館と連携 した教育普及事業の 取組	立川 厚生	〃	〃				

33	ここにお木ま ショー 樹木や遊 具と共存する造形	斉藤 博美	904	私の視点 マンガ家 養成 大学は実技偏 重脱却を	石川 翠 朝 日	5.6
34	ねちゃねちゃ おえかき 表現欲 を刺激する糊絵具	拓植 響	905	現代アート風特大カ ルタ札 都現代美術 館	＃	12.24
35	冬の絵 自己 と向き合う大切な 時間	斉藤 弘美	906	ルーヴルが教室の高 校生を描く「クラ ス・ルーヴル」東京 ・五反田で上映	朝日夕刊	5.14
36	図工室へよう こそ	白坂 ゆり	907	明解要解 筑波大 学院、「保護」の人材 育成 来春、「世界 遺産」博士の第1号 誕生	押田 雅治 産 経	3.31
37	みんなの博物 図譜	＃	908	健和富シリーズ9 伝統文化・芸術を後 世に「出張美術館」 が人気 光記念館 地域と一体、社会に 貢献	齊藤 繁 〃	9.21
38	学習指導要領 改訂特別座談会 図工教育の未来	拓植 響	909	図工の時間魅力伝え る 児童の作品 500 点展示	小林 由比 東 京	2.24
39	作品を撮影し よう！	斉藤 博美	911	文化往来 京都造形 芸大、「プロ手伝っ て学ぶ」工房	日 経	5.31
40	指で見る 目 で触る	編 集 部	912	地域・中小新興へ 東京芸大と提携 台 東区	〃	11.14
41	バロヒノビン ア国をつくろう！	藤田 千彩	913	博物館の力で興味わ く授業 総合学習で 需要高まる「博学 連携」国も後押し	日経夕刊	9.26
42	図工だいすき 子ども美術展	拓植 響	915	小学生の読み句に多 摩美大生が絵札 「せたがやかるた」で 区内の魅力を知らう 区が400セットを限 定販売	前谷 宏 毎 日	5.12
INFORMATION ア ーティストを育てる 超最先端ファクトリ ー始動！				時代の風 石こう像 教育の転倒	斎藤 環 〃	10.19
博物館における実験 考古学講座の可能性 ～「銅鏡をつくって みがこう」の実践を 通して～				記者ノート 芸術の 力	野宮 珠里 〃	11.3
リチャード・ヒック マンの美術教育論に みる美術観と美術教 育観の考察(1)(2)				発掘調査も「資格」の 時代？早大が考古調 査士養成プログラム 開設	毎日夕刊	6.9
学内だより 新設学 科紹介 表現として のアニメーションを 求めて				高校生アートライタ ー大賞「美術を文 章で」表現力磨く	高野 清見 読 売	2.21
〈報告〉「吉田新田の 開発」の学習におけ る出前授業の記録～ 博物館と学校の連携 ～				教育 ルネサンス No. 898 キャンパス 探訪1 「美術離れ 防げ」ライバル連携	松本 美奈 〃	8.12
連載・小学生が学ぶ 「世界」2 国宝第一 号「弥勒菩薩半跏思 惟像」				来信返信 反響を追 う 美術館でのマナ ー 地道な教育で底 上げ	米川 丈士 〃	8.24
生徒の質問・疑問か ら出発する授業～江 戸時代の洋風画とブ ルシアンブルー～						
教室レポート 「総 合的な学習の時間」 における博物館教育 の可能性						

平成20年定期刊行物所載文献(総／教育)

美術教育「国・数」の 発想で 表現力や思 考力養う取り組み	森 重孝	読 売	9.19
第2回美術検定 作 品と鑑賞者の懸け橋		読売夕刊	7.31
なるほど鑑賞室 芸 術で変わる高校生 ルーヴル—DNPミ ュージアムラボ土曜シ ネマ「CLASS LOU- VRE 《クラス・ルー ヴル》」		〃	10.4
現代美術を身近に キッズ学芸員が作品 紹介	横森萌々太 小窪友里乃	〃	12.6

古 美 術
絵 画

中 国

地獄絵の源流へ	勝木言一郎	アート・トップ	221
特集 漢籍と日本人 II 江戸 イメージを運ぶもの—百科事典と絵手本	高津 孝	アジア遊学	116
中国における樹下人物図屏風試論—6～10世紀の墓葬壁画を中心として—	王 元林	鹿島美術財団年報・別冊	25
呂紀「四季花鳥図」(東京国立博物館)を中心とする明代花鳥画の研究	黄 立芸	" "	" "
四川省雅安市高頤閣にみる漢代儒教図像の地域的展開	栖山 満照	" "	" "
鎌倉の至宝 6 重要文化財 宝冠釈迦三尊像 一幅 建長寺蔵	村野 真作	鎌 倉	106
竈神図像考—中国民衆版画にみる(家の肖像)—	桂 由起	漢字文化研究年報	3
無住子筆「朝陽対月図」対幅の主題と作者	志賀 太郎	金鰈叢書*	34
諸尊降臨図	井手誠之輔	国 華	1353
唐代の樹石画について—松石図を中心に—(下)	竹浪 遠	古文化研究	7
中国山水画の内と外	宮崎 法子	実践女子大学美学美術史学	22
アジア図像探検	杉原たく哉	書 道 界	
48 女もつらい「義」の世界(6)			218
49、50 匈奴に勝てた理由(1)、(2)			219、220
51 見返り美人風の孔明			221
57 馬は飛ぶか(1)			227
徐渭の作画の背景—日本伝来の浙江地方の墨戯との関連を中心に—	宮崎 法子	泉屋博古館紀要	24
枝隠庵の住人—呉彬の実像—文献資料編(1)	近藤 秀實	多摩美術大学研究紀要	22

第五十九回美学会全国大会報告 発表要旨 中国古典画論における写真、写貌、写生の用語と〈写生〉概念の変遷について

漢代喪葬画像における観者の問題

第六十一回全国大会研究発表要旨 敦煌莫高窟第二四九窟、第二八五窟天井壁画の制作過程について—魏晉南北朝時代における墓葬美術との関係を中心に—

蘇州古版画と蘇州古版年画について

絵画空間に展開する二重的空間の構築について—東アジアにおける画中屏風絵を通して

博士論文要旨 中国における屏風絵の研究

博士論文要旨 遼代墓葬壁画の研究

修士論文要旨 敦煌地区における文殊・普賢図像の研究

睢陽五老図像の成立と展開—北宋時代知識人の絵画表象

研究ノート 宋代の用絹法について—両宋歴代皇帝坐像を中心に

桃花のイメージについて 春の意匠—花やぐ季節の贈りもの一展によせて

日本人と郭熙山水 崇高なる山水—中国・朝鮮、李郭系山水画の系譜—展によせて

「雪中帰牧図」の伝来をめぐって 秋の美・冬の美展によせて

講演 任熊の版画活動—『列仙酒碑』(一八五四)人物像の特質と制作意図に関する試論—

李善図攷—孝子伝図と孝子伝—

郎世寧の早期絵画とその活動をめぐって

臧 新明 美 学 233

鄭加藤 岩 直子 美術研究 395

田林 啓 美術史 165

周 亮 美術史論集 8

王 元林 " "

" " "

李 天銘 " "

蘇 佳瑩 " "

板倉 聖哲 美術史論叢 24

小川 裕充 " "

宮崎 もも 美のたより 161

塚本 鷹充 " 164

宮崎 もも " "

小林 宏光 ビブリア 130

黒田 彰 仏教大学文学部論集 92

王 凱 武蔵野美術大学研究紀要 38

描かれた北宋末期華北の聚落の景観—かさねて『清明上河図』をよむ— 伊原 弘 立正史学 103

マカートニー使節団と絵画史料 画家ウィリアム・アレグザンダーの功績 安田 震一(ウィリアム・シャング) 歴史と地理 619

漢代画像石に見られる禹の図像について 友田 真理 早稲田大学大学院文学研究科紀要 53

日 本

地獄絵と地獄巡り 川村 邦光 アート・トップ 221

めくるめく絵解きの世界 林 雅彦 " "

Zero in on 与謝蕪村 俳諧の自由、画の自在 磯辺 勝 " "

Zero in on ポストン美術館の浮世絵がすごい 小林 忠、永田 生慈 " 224

調査報告 岡崎市勝蓮寺所蔵「聖徳太子ならびに震旦和朝先徳連坐像」について 村松加奈子 愛知県史研究 12

徳川美術館蔵豊国祭礼図屏風について 辻 惟雄 葵 66

秋田の美術によせて三 片岡隆也筆「山水人物花鳥図押絵貼り屏風」について 河野 元昭 秋田美術 44

地方画人たちの交差点—穂庵が学んだ近世後期の秋田画人たち／試論 太田 和夫 " "

特集 古典キャラクターの可能性 聖徳太子認識の変遷とその表象としての造像 渡辺 信和 アジア遊学 108

特集 絵を読む 文字を見る 日本文学とその媒体 " 109

特集に寄せて クリストフ・マルケ

院政時代の装飾経における「女人成仏」—『平家納経』のクリプトグラフィーをめぐって— クレール碧子・ブリッセ

『釈迦の本地』の絵と物語を読む 小峯 和明

フランス所在の奈良絵本・絵巻 石川 透

出版文化開花前夜における忘れられた媒体「扇」について 安原 眞琴

フランス国立図書館所蔵の大岡春ト『明朝紫硯』をめぐって クリストフ・マルケ

春信の絵本と錦絵—絵を読む楽しみ 藤澤 紫

江戸読本に見る造本意識 高木 元

江戸時代のいたずら書き—文字絵を中心に マリアンヌ・シモン＝及川

長崎歴史文化博物館川原慶賀データベース 平岡 隆二 " 111

特集 漢籍と日本人 II " 116

鎌倉・室町 瀟湘八景詩の抄物 堀川 貴司

江戸『唐詩選画本』について—葛飾北斎と高井蘭山の起用 有木 大輔

飯田市立石・杉ノ堂伝来の阿弥陀如来像について—修理報告と資料紹介— 織田 顕行 飯田市美術館研究紀要 18

池田文庫ギャラリー絵入根本の口絵『塙礎花大樹』 池田文庫 32

資料紹介 高巖寺所蔵の頂相・肖像画について 北澤 寛 石川県立美術館紀要 18

石川の絵画史断章—長谷川派と狩野派の— 北 春千代 石川県立歴史博物館紀要 20

資料紹介 東京都立中央図書館所蔵『下総筑波山図 附 諸国名所』影印・翻刻附解題 堀口 育男 五浦論叢 15

仙厓画雑感 三—「そちら」って、どちら?— 黒田 泰三 出光美術館館報 142

貫名海屋による統の使用 出光佐千子 " "

第二五四回水曜講演会 伊勢物語絵を楽しむ 仲町 啓子 " 143

仙厓の愛したはやり唄—「お月さま いくつ— 八波 浩一 " 145

伴大納言絵巻研究(下) 黒田 泰三 出光美術館研究紀要 13

宗達「伊勢物語図色紙」をめぐって—新資料からの一試論 笠嶋 忠幸 " "

浦上玉堂筆「双峰挿雲図」の図様解釈に関する一試論	出光佐千子	〃	〃	〃	〃	奥田 敦子	太田記念美術館論集	3
仙厓の宗教画の特徴と画賛の世界—神儒仏道、諸教の神仏を描く—	八波 浩一	〃	〃	〃	〃	日野原健司	〃	〃
帆足杏雨筆「山緑湖光画帖」について	宗像 晋作	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
慈覚大師像の画讃について	多川 文彦	印度学仏教学研究	114	〃	〃	渡邊 晃	〃	〃
華嚴経变相図の成立	真鍋 俊照	〃	116	〃	〃	〃	〃	〃
特集「浮世絵の美人」	〃	浮世絵芸術	155	〃	〃	〃	〃	〃
浮世絵の美人 メディアとしての機能	藤澤 紫	〃	〃	〃	〃	寺島 典人	大津市歴史博物館研究紀要	15
重層する〈江戸〉と〈明治〉 芳年の挿絵を中心に	庵原理絵子	〃	〃	〃	〃	菅谷 文則	大 美 和	114
浮世絵に見る祇園ねりもの	北川 博子	〃	〃	〃	〃	松岡 明子	香川県歴史博物館調査研究報告	4
美人画制作と漢詩月岡雪鼎筆『唐詩選』を出典とする着讃作品から	山本ゆかり	〃	〃	〃	〃	阿美古理恵	学習院大学文学部学論集	17
浮世絵随談 馬琴作一枚摺『山東式風煙管簿』(袋付)	服部 仁	〃	〃	〃	〃	松島 仁	学習院大学文学部研究年報	54
鼎談「東西・共時的に観た浮世絵」	坂本 満 樺山 紘一 小林 忠	〃	156	〃	〃	下坂 守	学 叢	30
葛飾北斎の絵画にみる「日本」—江戸時代後期の国風認識の成立をめぐる—	エバ・マホ トカ	〃	〃	〃	〃	藤元 裕二	鹿島美術財団年報・別冊	25
口絵解説 江戸高名会亭尽—歌川広重画—	大久保純一	〃	〃	〃	〃	岡本 明子	〃	〃
口絵解説 中洲納涼図—歌川豊春筆—	樋口 一貴	〃	〃	〃	〃	新江 京子	〃	〃
鈴木春信画『風流座敷八景』考—画中狂歌の利用と図柄の典拠—	石上 阿希	〃	〃	〃	〃	立畠 敦子	〃	〃
海外事情 最近の欧文による浮世絵研究文献 連載一	及川 茂	〃	〃	〃	〃	畑 麗	〃	〃
作品紹介 月岡雪鼎筆《貴人図》	長井 健	愛媛県美術館年報・研究紀要	7	〃	〃	梅沢 恵	神奈川県立歴史博物館だより	179
調査報告 西予市城川町の絵馬	宮瀬 温子	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	13	〃	〃	村野 真作	鎌 倉	105
来迎の阿弥陀仏と在明の月	中村 興二	大阪成蹊大学芸術学部紀要	4	〃	〃	石倉 孝祐	北区飛鳥山博物館研究報告	10
広重の江戸名所写生帖と新発見の文書—頼母子構御連名并仕様帳、相続構仕様帳、御住居仕様帳—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
英一珪研究—歌川国貞と英派のつながりを探る糸口として—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
三代豊国晩年の画稿・版下について—太田記念美術館所蔵「嘉無路喜久」を中心に—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
日吉山王曼荼羅図の図像と採用された仏と神について その一	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
大神神社神話と弥生絵画	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
近世の宇多津を描いた景観図—「宇多津街道図」と「網浦眺望青山真景図絵馬」—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
源氏絵の世俗化—伝菱川師宣画『おさな源氏』の成立背景—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
金地院大方丈障壁画と狩野探幽様式の誕生	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
研究随想『言継卿記』に見える法住寺	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
南朝方諸勢力周辺における陀磨派絵仏師の動向に関する研究	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
室町期の障屏画における“和漢混淆”—伝土佐廣周筆「四季花鳥図屏風」をめぐる—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
伊藤若冲筆歌仙図について	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
初期水墨画の研究 瀬戸内地域所在の百衣観音図を端緒として	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
釈迦堂縁起絵巻の研究—仏伝図としての視点を中心に—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
宝泉寺所蔵北条時長像について	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
鎌倉の至宝 5 国宝 当麻曼荼羅縁起絵巻 二巻 光明寺蔵	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
貞観寺本那智参詣曼荼羅の宗教的世界観(承前)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

平成20年定期刊行物所載文献(古／絵)

慶応義塾大学茶道文庫蔵写本「廿四孝詩」について	橋本 草子	京都女子大学人文論叢	56	近世後期の城郭建築にみる障壁画と儀礼一文化度造営金沢城二ノ丸御殿の障壁画と年頭儀礼をめぐって	太田 昌子	研究紀要金沢城研究	6
西福寺の若冲襖絵一鶏に投影されたイメージと晩年期における様式一	福士 雄也	京都美学美術史学	7	役者と死絵一上方における四代目中村歌右衛門を中心に一	北川 博子	国文学解釈と鑑賞	922
「源氏物語絵巻」賢木巻の情景選択に関する一考察	稲本万里子	金鯉叢書*	34	特集 古典文学の精髓としての漢詩文一中世・近世・近代		"	929
甲子園学院所蔵「鼠の草子絵巻」について	龍澤 彩	"	"	中世から近世へ絵画情報集積・発信拠点としての五山禅林「画題」研究序説	中本 大		
尾張家十四代慶勝が購入した浮世絵一名古屋市蓬左文庫蔵「内密御買上物留」を中心に一	吉川 美穂	"	"	近世漢詩文百花繚乱の競演 祇園南海と新井白石一木門の漢詩	杉下 元明		
画賛と墨蹟一戸方庵井上コレクションを中心に一中世編	山田 烈	群馬県立近代美術館研究紀要	4	近世漢詩文百花繚乱の競演 心で画が描けるか?一田能村竹田の詩と絵画	高橋 博巳		
江戸の珍獣イメージ一象と獅子を中心に一	高田 智絵	芸術学学報	14	特集 絵画を読み解く一文学との邂逅		"	931
「誰ヶ袖図屏風」に伏在する異同一出光美術館蔵本・サントリ一美術館蔵本を例に一	中神 明夏	"	"	宮廷画壇の成立と展開	宮島 新一		
法華寺蔵阿弥陀三尊及び持幡童子像について一仏台を用いた儀礼の場の再構成一	後藤智恵子	芸術学研究(京都造形)	2	絵合わせの意義	伊井 春樹		
中間評価論文梗概 日本における鷹図の成立と展開一戦国期から近世初期の作例の解釈をめぐって一	水野 裕史	芸術学研究(筑波)	12	古代・中世の絵画伊勢物語絵の制作一三様の個性	河田 昌之		
源氏物語千年紀記念特集 源氏物語 天皇になれなかった皇子のものがたり 国宝《源氏物語絵巻》の誘惑 その謎と仕掛けを読む	三田村雅子解説	芸術新潮	698	古代・中世の絵画『宇治拾遺物語』と「信貴山縁起絵巻」	笠嶋 忠幸		
art news 描いたのは誰? 無学祖元と初期水墨画の謎	橋本 麻里	"	706	古代・中世の絵画古筆と絵巻	小島 孝之		
art news 400年前の“お愉しみ”を覗く		"	707	近世の絵画『源平盛衰記絵巻』の魅力	加美 宏		
相撲博物館所蔵《釈迦ヶ嶽雲右衛門等身大像》について	大久保範子	芸 叢	24	近世の絵画 お伽草子と奈良絵本	大島由紀夫		
戦国時代における鷹図の画と詩	水野 裕史	"	"	近世の絵画 絵入本の流通と後修本一歌麿の彩色摺絵入狂歌本七種を例に	浅野 秀剛		
卒業論文抄 伊藤若冲筆《鸚鵡図》に関する一考察一肖像画としての解釈の可能性について	鈴木 京	"	"	近世の絵画 題画詩の世界	高橋 博巳		

近世の絵画 山東 京伝の文学と絵画 —『糸車九尾狐』と 『絵本玉藻譚』	佐藤 悟			図版三 桑山玉洲 筆 秋景山水図	河野 元昭		
近世の絵画 湖畔 に花を踏み、溪流 で神仙に出遭う一 蕪村の詩学と絵画	池澤 一郎			図版四 桑山玉洲 筆 和歌浦図巻	大橋 美織		
近世の絵画 九相 図の展開—小野小 町と檀林皇后の (死の物語)	西山 美香			図版五 桑山玉洲 筆 富岳山水図襖	安永 拓世		
近世の絵画 祐信 絵本の古典当世化 と見立	高橋 則子			図版六 桑山玉洲 筆 那智山・熊野 橋柱巖図屏風	"		
日本漫画史—近世 以前	清水 勲			図版七 桑山玉洲 筆 熊野奇勝図巻	近藤 壮		
「絵画と文学(古典)」研究文献目 録(抄)—平成九年 以降	大野 順子			研究資料 桑山玉 洲著『嗣幹画論』 (明和八年～安永 二年(一七七一～ 一七七三)頃)	"		
アイヌの御目見(ウ イマム)儀礼 小玉 貞良『松前屏風』を導 入として	菊池 勇夫	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	140	曾我蕭白筆 群童遊 戯図屏風	辻 惟雄	"	1351
洛中洛外図屏風歴博 甲本の成立と初期洛 中洛外図屏風諸本	小島 道裕	"	145	研究資料 江戸山王 祭礼図巻	福原 敏男	"	"
資料紹介 国立歴史 民俗博物館蔵田中穰 氏旧蔵『西行物語』翻 刻・附解題	内田 濤子	"	"	墨菊図	海老根聰郎	"	1352
鏡堂覚円賛 白衣観 音図	畑 靖紀	国 華	1347	岩佐派 婦女遊楽図 屏風	辻 惟雄	"	"
伝周文筆 沙鷗図	城市真理子	"	"	谷文晁筆 雨後山水 図	河野 元昭	"	"
研究資料 版画中峰 明本像—頂相と版画—	海老根聰郎	"	"	明恵上人像(披講像)	伊藤 大輔	"	1353
岩佐又兵衛筆 堀江 物語絵巻断簡	辻 惟雄	"	1348	伊年印 秋草図屏風	鎌田 純子	"	"
狩野探幽筆 花鳥図 屏風	玉蟲 敏子	"	"	研究資料 弘経寺本 東山遊楽図について	畑 麗	"	"
扇面・料紙・香包流 し屏風	松島 仁	"	"	池大雅筆「松蔭観潮 ・夏雲靈峰図」屏風 の主題的考察	出光佐千子	"	1354
尾形光琳筆 立葵図	内藤 正人	"	1349	池大雅筆 蘭亭図扁 額草稿	星野 鈴	"	"
韃靼人狩獵打毬図屏 風	上野 友愛	"	"	葛飾北斎筆 端午節 句飾り図	小林 忠	"	"
研究資料 香雪美術 館所蔵 阿弥陀聖衆 来迎図に関する資料	仙海 義之	"	"	山本梅逸筆 墨梅図 屏風	河野 元昭	"	"
特輯 桑山玉洲		"	1350	山水癖の絵画—谷文 晁筆「東北地方写生 図」をめぐる	内山 淳一	"	1355
特輯に当って	小林 忠			長沢芦雪筆 山水図	河野 元昭	"	"
桑山玉洲研究	近藤 壮			研究資料「程嬰杵臼 予譲絵巻」について	土谷 真紀	"	"
図版一 桑山玉洲 筆 野馬図	"			「王会図」の変容	北野 良枝	"	1356
図版二 桑山玉洲 筆 瓶華金魚図	"			旧関戸家本病草紙 侏儒図断簡	加藤 悦子	"	"
				狩野永徳筆 松に叭 叭鳥・柳に白鷺図屏 風	辻 惟雄	"	"
				研究資料 狩野永納 筆醍醐寺三宝院棚障 子について	多田羅多起子	"	"

平成20年定期刊行物所載文献(古／絵)

特輯 新出 菱川師宣の肉筆画	国 華 1357	京の町絵師・尾形光琳の意匠性と光琳文様—江戸時代の京都にみる淡雅の系譜—	杉本 欣久	古文化研究	7
特輯に当って 小林 忠					
図版一・二 菱川師宣筆 江戸名所風俗図巻	"	館蔵品研究「鯉図屏風」と画家・渡辺南岳について	"	"	"
図版三 菱川師宣筆 浮世人物・七福神遊楽図	黒田 泰三	調査報告 黒川古文化研究所蔵の日本・中国絵画の画絹について	杉本 欣久 竹浪 遠	"	8
図版四 菱川師宣筆 女絵師図	浅野 秀剛				
図版五・六 菱川師宣筆 十二か月風俗図巻	小林 優子	テーマ展開連講座ダイジェスト「古墳壁画に描かれた他界」—動物・人物像を手掛かりとして—	若松 良一	埼玉県立史跡の博物館紀要	2
図版七 菱川師宣筆 桜下美人図	藤澤 紫				
図版八 菱川師宣筆 馬上若衆図	山本ゆかり	上州南画界の先駆者・柿沼山岳(洋羨)—加須市出身(一七七四～一八五九?)—	原口 英雄	埼玉史談	294
特輯 源氏絵	" 1358	鳥居清長—描かれた芸者風俗と出版事情	田辺 昌子	採 蓮*	11
特輯に当って 佐野みどり					
源氏絵研究の現況	"	画譜、絵本の出版をめぐる三つの事例—菱屋孫兵衛の活動に注目して—	伊藤 紫織	"	"
図版一 白描源氏物語絵巻貼付屏風	"				
図版二・三・四 伝土佐光信筆 源氏物語画帖	笠嶋 忠幸	宗達「扇面散屏風」についての一考察—修理の成果をふまえて	太田 彩	三の丸尚蔵館年報・紀要	13
図版五 源氏物語図屏風	ジャニス・キャッツ 佐野みどり 訳	コレクションを語る 3 久隅守景	國賀由美子	滋賀県立近代美術館研究紀要	7
図版六 海北友雪筆 源氏物語絵巻	村瀬実恵子	円山応挙筆《桃山春景・嵐山秋景図》について—名所絵としての位置付けと賛者との関わり—	富士 雄也	静岡県立美術館紀要	23
図版七 岩佐又兵衛派 車争図屏風	ロジーナ・バックランド 菊池 敦子 訳	佚山禅師の書画	村上 泰昭	史迹と美術	782
図版八 岩佐又兵衛派 源氏物語図屏風	カーン・トリン 佐野みどり 訳	随心院蔵「童子経書写供養略位法」一帖他、西大寺伝来聖教の絵題簽紹介	牧野 和夫	実践女子大学文学部紀要	50
図版九 明石・潞標図屏風	茨木 恵美 カーン・トリン	翻刻 延宝三年板江戸道中記二種	渡邊 守邦	"	"
逸品紹介 徳川家光筆 枯木木菟図	松島 仁	国華清話会会報			11
逸品紹介 円山応挙筆 猛虎図	鎌田 純子	"			"
逸品紹介 月岡雪斎筆 あやめ美人図	山本ゆかり	"			12
逸品紹介 円山応挙筆 紅葉に双鹿図	鎌田 純子	"			"
鑑賞の勘どころ(五) 一文人画—	河野 元昭	"			"
		常盤松文庫蔵『絵本倭比事』解題・影印(中)	佐藤 悟	実践女子大学文芸資料研究年報	別冊11
		国文学研究資料館本『源氏物語歌合絵巻』の紹介—実践女子大学常盤松文庫『住吉物語絵巻』にふれて—	横井 孝	"	27

文芸資料研究所蔵『源氏カルタ』について—源氏物語における〈一帖一首一図〉資料との関係を中心に—	上野 英子	〃	〃		アジア図像探検52～56 鎖国日本に吹く大陸の風1～5	杉原たく哉	書道界	222～226
実践女子大学文芸資料研究所蔵『思案閣女今川』翻刻と紹介	松原 哲子	〃	〃		山本素軒の百木図屏風	五十嵐公一	塵界	19
構図の妙 筆の冴え	江村 知子	趣味の水 墨画			新美術時評「狩野永徳」について	島尾 新	新美術新聞	1140
光琳作品の魅力 機知に富む構図、明快な色と形			229		耳鳥斎の役者姿絵に関する一考察—『梨園書画』を中心に—	山口真有香	人文論究	57-4
調和と余白の美—依屋宗達			230		熊野観心十界図の記録／記憶を読む	西山 克	〃	58-1
軽妙洒脱な江戸の粹—英一蝶			231		熊野観心十界曼荼羅とそのルーツ(IV)—産屋の表現形態—	宮川 充司	椋山女学園大学研究論集	39
画壇の家康—狩野探幽			233		古河城二丸御殿「書院」の機能と荘厳—障壁画の考察を中心に—	平井 良直	泉石	8
剣画禅一如—宮本武蔵			234		支倉常長像の模写と写真—大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」説の検証を兼ねて—	濱田 直嗣	仙台市博物館調査研究報告	28
安逸の水墨画—伊藤若冲			235		続 春画 色模様百態		太陽(別冊)	続春画
写生派の祖、実感を写す—円山応挙			236		序論 春画における人間色模様	白倉 敬彦		
単孤無頼の彼方に—曾我蕭白			237		『歌満くら』幻の名版発見	〃		
知られざる水墨画への招待	河野 編	元昭	〃		家庭の色事	早川 聞多		
1 スローライフを実践した画家・桑山玉洲	近藤 壮		229		私の春画考 中国の春画はつまらないか?	中野美代子		
2 菅井梅閑 生涯と作品	内山 淳一		230		玄人の色事	白倉 敬彦		
3 富貴の画家、帆足杏雨	野田菜生子		231		私の春画考 男色春画	タイモン・スクリーチ 泰 剛平 訳		
4 東洋独特の感性が光る 佐竹蓬平	横村 洋介		232		身分・職業にみる色恋	白倉 敬彦 山本ゆかり		
5 なぞの画家 雲沢等悦	清水 緑		233		私の春画考 見せる側の責任	中野 三敏		
6 文人画家、山本梅逸	藤間 寛		234		場所を選ばぬ色恋	白倉 敬彦 石上 阿希		
中特集 琳派から日本画へ—宗達・抱一・御舟・観山 受け継がれた日本美の水脈—古田亮氏に聞く			〃	235	掲載作品翻刻			
「東大寺縁起絵」考—空間構成と説話叙述を中心に—	田光美佳子	巡礼記研究	5		たばこと塩の博物館所蔵資料紹介 二点の「諸道具寄合噂はなし」について	湯浅 淑子	たばこと塩の博物館年報	23
失われた法隆寺壁画の再現研究(十)～(十三)	松田 真平	聖 徳	195～198		講演会「近世絵画から近代日本画へ—文人画の流れを中心に—」	吉田 俊英	田原市博物館年報	15

平成20年定期刊行物所載文献(古/絵)

十二屏風における 伝統と変容—伝沢摩 法眼筆十二天図像の 紹介を兼ねて—	藤元 裕二	哲学会誌	32	表紙解説 木村探元 筆「朝暾寿老図」(個 人蔵)	"	"	621
野々口立圃編画『十 帖源氏』における松 永貞徳の影響—山本 春正との比較を通じ て—	阿美古理恵	"	"	『七天狗絵』の十師像 と「天狗問答」	三角 洋一	東方学	116
鯉絵研究	村松 彩乃	"	"	絵画史料から見た初 期真宗門流の痕跡— もう一つの三河・信 濃・遠江国境地域の 姿—	脊古 真哉	同朋大学 仏教文化 研究所紀 要	27
室町時代食文化資料 としての『鼠の草子 絵巻』その2—料理 と食材を中心として —	小林 美和 富安 郁子	帝塚山大 学現代生 活学部紀 要	4	雪村筆孔子観歎器図 小考	山田 烈	東北芸術 工科大学 紀要	15
『真如堂縁起』の天台	渡邊 守順	天台学報	50	東東洋筆「諏訪湖雪 ・紅白梅・芭蕉図」 の意義—三幅対にお ける季節の循環につ いて—	佐藤 琴	東北歴史 博物館研 究紀要	9
光学機器と絵画表現 の関係についての一 考察	金子 亨 藤井 康子 平林 孝央 武藤俊太郎	東京学芸 大学紀要	60	館蔵品紹介 英一蝶 「布晒舞図」	小野 恵	遠山記念 館だより	36
近世前半期における 舞楽図屏風の成立と 展開—桃翁筆本・A 家本を中心に—	本田 光子	東京芸術 大学美術 学部論叢	4	日光山輪王寺蔵「伊 頭那(飯縄)曼荼羅 図」について	入江 多美	栃木県立 博物館研 究紀要	25
特集陳列「平成19年 度新収品」北野天神 縁起絵巻(建治本)断 簡	松原 茂	東京国立 博物館ニ ュース	689	ライデン国立民族学 博物館蔵川原慶賀筆 『寺院図』について	原田 博二	長崎歴史 文化博物 館研究紀 要	3
特集陳列「平成19年 度新収品」帝鑑図屏 風 狩野山楽筆	松嶋 雅人	"	"	木下逸雲・池島邨泉 を中心とする、長崎 の書画会について	植松 有希	"	"
平常展見どころ案内 2008年8月・9月 武蔵野図屏風	"	"	690	口絵 東山名所図屏 風	村石 正行	長野県立 歴史館研 究紀要	14
長谷川等伯—信春時 代における諸問題—	"	東京国立 博物館紀 要	43	源氏物語絵巻の特性 —1 画面複数視点の 構成方法の特性から 見る4グループの絵 画制作の考え方の違 い(3)—	池田 洋子	名古屋造 形芸大紀 要*	"
永徳筆「洛外名所遊 楽図屏風」と上杉本 「洛中洛外図屏風」談 義	藤原 重雄	東大画像 史料解析 センター 通信*	40	作品紹介 日吉山王 祭・上賀茂競馬図屏 風 奈良県・荒井安 史氏蔵	稲畑ルミ子	奈良県立 美術館紀 要	22
後土御門天皇の絵巻 披見をめぐる—南 都の絵巻を中心に—	末柄 豊	"	41	酒造図絵馬の研究 (2)—新潟県外の事 例について1—	野堀 正雄	新潟県立 歴史博物 館研究紀 要	9
近世の目録に記され た屏風について—蜂 須賀家文書「御櫓古 帳」の作品・用途・ 管理の事例紹介—	山口 和夫	"	"	海女にからみつく蛸 の系譜と寓意—北斎 画「蛸と海女」からみ る春画表現の「世界」 と「趣向」	鈴木 堅弘	日本研究	38
江戸時代「洛中洛外 図屏風」の景観・制 作年代についての一 試論—行幸行列・鳳 輦・駕輿丁装束を中 心に	"	"	43	家康の神格化と画像	斎藤 夏来	日本史研 究	545
表紙解説 能勢一清 筆「小松清猷肖像」	山下 廣幸	刀剣美術	615	全体会シンポジウム 美術史の一五世紀 [土佐派]	高岸 輝	"	546
表紙解説 山路探定 筆「鍾馗図」(個人蔵)	"	"	618				

研究展望 熊野観心十界図とはなにかー朝鮮「甘露頓」の受容をめぐる精神史ー	西山 克	"	551	コラム 西洋のテーブルセットになった版画	田中みずき		
フランス・イギリスにおける雪舟の認識をめぐってー1860年代から1920年代までー〔前編・資料編〕	野呂 昭子	日本女子大学大学院 紀要(人)*	14	コラム 亜欧堂田善の銅版更紗を知っていますか?	岩坪 文子		
十七世紀宗達派を中心とする草花図の変革とその意義ー「伊年」印草花図に注目して(後編)ー	岡田 梓	"	"	近世日本の絵画作品における朝鮮通信使の描き方ー案隊とその衣装に注目してー	尹 芝恵 美 学	232	
佐野市立吉沢記念美術館蔵 伊藤若冲筆「菜蟲譜」画卷について	大石 倫子	"	"	二〇〇六年度同志社大学大学院修士論文梗概	美学芸術学	23	
紀三井寺参詣曼荼羅考	大高 康正	日本文化史研究	39	御伽草子『弥兵衛鼠』に見る中世の世界観ー擬人化表現を手がかりとしてー	水谷 亜希		
口絵 馬と旅人(富嶽三十六景 東海道程ヶ谷)	湯山 賢一	日本歴史	716	意表の絵師・長沢芦雪ー南紀地方における作品を中心にー	佐藤 響子		
口絵 紙本墨画淡彩山水図 芸愛筆 一巻	鬼原 俊枝	"	720	「白絵の調度」序論	小井川 理	彦根城博物館研究紀要	19
研究余録 大石内蔵助ら切腹の図の原図新出	大野 瑞男	"	727	古代の日本における阿弥陀浄土図の受容とその位相ー法隆寺金堂壁画第六号壁と当麻曼荼羅をめぐる受容の本質とその言説の形成を中心にー	勝木言一郎	美術研究	393
資料紹介 近藤芳樹収集「書画帖」について	田中 敏雄	野村美術館研究紀要	17	自牧宗湛(上)～(下)	綿田 稔	"	393～395
特集 あなたの知らない版画の秘密 日本編		版画芸術	142	土佐光吉と大画面絵画	相澤 正彦	"	394
Q1 正倉院御物の中に版画があった?	内田 啓一			研究資料 土佐光吉筆「曾我物語図屏風」について	江村 知子	"	"
Q2 仏教の布教になくてはならないのは、版画だった?	佐々木守俊			聚光院方丈障壁画を語る文脈	渡邊 雄二	"	396
Q3 琳派の俵屋宗達も版画家?	内田 啓一			聚光院の成立時期についての一仮説ー障壁画作期議論の前提としてー	綿田 稔	"	"
Q4 カレンダーブームが錦絵を誕生させた?	田辺 昌子			展覧会評 狩野永徳展	"	"	"
Q5 注目される謎の浮世絵師・国政とは何者だ?	浅野 秀剛			田能村竹田筆《柳閣曉粧図》の鏡を見つめる女性と柳について	松本 朋香	美術史	164
Q6 なぜ、浮世絵の名品は日本にはないのか?	田辺 昌子			大英博物館所蔵不空網索観音二神将像試論ー図像と制作背景ー	古川 攝一	"	"
Q7 日本初のエッチングは「3D版画」だった?!	塚原 晃			近世初頭における京狩野家の耕作図ー堀家本原本との関係を中心にー	多田羅多起子	"	"
コラム 日本最古の木版画印刷「百万塔陀羅尼」	佐々木守俊						

上方「似顔画師」北洲の北斎学習について—相貌から身体へ—	中野 志保	美術史	164	逸翁美術館所蔵「大江山絵詞」考—酒呑童子説話と土地の記憶—	岡本 麻美	〃	165
沖一峨における画風の多様性について—人的交流との関連から—	山下真由美	〃	〃	「はね馬」と隨身	金子 岳史	〃	〃
司馬江漢筆《天球図》の制作背景をめぐって—馬道良・馬孟熙(北山寒蔵)父子との関係を中心に—	橋本 寛子	〃	〃	桑山玉洲筆「熊野奇勝図巻」考察—真景論とその実践—	大橋 美織	〃	〃
平成十九年度例会研究発表要旨	〃	〃	〃	第六十一回全国大会研究発表要旨	〃	〃	〃
「春日権現験記絵」における神の示現—春日若宮を中心として—	高池亜友美	〃	〃	「麻布山水図」(正倉院蔵)についての一考察	小林 学	〃	〃
滋賀県立近代美術館蔵「近江名所図屏風」と「内海のイメージ」	茨木 恵美	〃	〃	大報恩寺本堂後壁画の釈迦説法図	林 温	〃	〃
南画史研究からみた『古画備考』卷二十六、二十七	星野 鈴	〃	〃	大画面形式の源氏物語図屏風の成立に関する一考察—いわゆる「隠岐配流図」(キンペル美術館蔵)を手がかりに—	鷺頭 桂	〃	〃
江戸後期狩野家の日本絵画観—朝岡興禎編著『古画備考』と狩野伊川院・晴川院筆「和漢流書画卷」(米国・ボストン美術館蔵)をめぐって—	玉蟲 敏子	〃	〃	狩野山楽筆「車争い図屏風」(東京国立博物館)に関する一考察—「年中行事絵巻」との関係を中心に—	野田 麻美	〃	〃
玉虫厨子絵に見られる自他の救済(「菩薩道」)についての一考察	ウォーリー 朗子	〃	〃	宗達筆「舞楽図屏風」の制作背景	本田 光子	〃	〃
京狩野家の耕作図—堀家本原本との関係を中心に—	多田羅多起子	〃	〃	〈首都〉をえがく—《洛中洛外図屏風》と《江戸図屏風》をめぐる政治思想史—	松島 仁	〃	〃
西大寺蔵十二天画像について	長谷川容子	〃	〃	中林竹洞における作画と学問	稲嶋 朋子	〃	〃
竹田画帖における構図の特質—《船窓小戯帖》・《亦復一楽帖》を中心に—	吉村富美子	〃	〃	細見美術館所蔵六観音像について	米沢 玲	〃	〃
若冲晩年期の様式に関する一考察—西福寺の襖絵を中心に—	福士 雄也	〃	〃	甲斐万福寺旧蔵「源誓上人絵伝」に関する一考察—構図の問題と主題解釈をめぐって—	鷹野佳世子	〃	〃
新出洛中洛外図屏風(和子入内)—制作時期をめぐって—	狩野 博幸	〃	〃	香雪美術館所蔵「稚児観音縁起絵巻」の成立に関する一考察	多川 文彦	〃	〃
華嚴海会諸聖衆曼荼羅についての一考察	森實久美子	〃	〃	御伽草子に見る擬人化表現の意味について—『玉藻の前』と『弥兵衛鼠』を中心に—	水谷 亜希	〃	〃
『大坂名家肉筆画帖』の特質とその受容	柴田 就平	〃	〃	田能村竹田筆《曲溪複嶺図》について	松本 朋香	美術史研究	46
				岩佐又兵衛風絵巻群における劇的場面に関する一考察	稲葉 久実	〃	〃

長沢芦雪筆「幽霊図」再考—「半身」の女性像への一考察—	久保佐知恵	"	"	与謝蕪村展—本邦初公開の「山水図屏風」	岡田 秀之	296
法然・親鸞の夢想—祖師伝絵が描く聖体示現	仙海 義之	美術史論集	8	『国華』創刊120周年を記念した「対決」展に永徳の新発見屏風登場!!		299
ダキニ天(辰狐王菩薩)に関する一試論—日光山輪王寺蔵「伊頭那(飯縄)曼荼羅図」を中心として—	入江 多美	"	"	連載 日本美術のススメ CLOSE UP 光悦から宗達・光琳・乾山・抱一・其一まで 日本美術史を代表する琳派を総合的に紹介	"	301
修士論文要旨 司馬江漢の《天球図》をめぐる	橋本 寛子	"	"	博物学的美術史 FILE.20 十便図・十宜図	"	"
修士論文要旨 大英博物館所蔵不空絹索観音二神将像試論	古川 攝一	"	"	資料紹介 唐画師・林園苑の作品より	岩佐 伸一 美術フォーラム21	17
又兵衛風古浄瑠璃絵巻群の画中画—「上瑠璃」と「山中常磐」について	山口花奈栄	美術史論叢	24	資料紹介 維明周奎の生涯とその画事—若冲らとの関わりを中心に	村田 隆志	"
CLOSE-UP GALLERY 琳派って、なに? 山下裕二流、5つのキーワード	山下 裕二	美術手帖	913	特集「大坂画壇」は蘇るか?—「綺麗なもの」から「面白いもの」まで	中谷 伸生	"
コラム 光悦・宗達・光琳・乾山・抱一・其一	田沢 裕賀 解説 白坂 編集 ゆり	"	"	大坂画壇胎動期の出版技術—橘守国『連筆鑑画』とそれを支える彫師	日野原健司	
爆笑! 爆走!? トークバトル 琳派概念を疑え!	田沢 裕賀、 山下 裕二 対談	"	"	飲酒詩を画賛とする米山人の飲酒画について	松浦 清	
連載 日本美術のススメ 今月の逸品		美術の窓		文人画とは何か—岡田半江《山水図巻(大川納涼図)》をめぐる	中谷 伸生	
葛飾北斎「四季耕作図屏風」	我妻 直美		292	大坂紀州往還の絵画—大坂画壇と紀伊・泉南の文人ネットワーク	近藤 壮	
重文「四条河原遊楽図屏風」	小林 優子		295	田能村竹田と大坂—文政十二年作《目撃佳趣画冊》、《稻川舟遊図》のこと	宗像 健一	
能阿弥「蓮図」	高橋 範子		297	大坂の「唐画」と南蘋風—森蘭斎を中心に	伊藤 紫織	
白隠筆「大燈国師像」	三宅 秀和		299	草紙と「教育」	鈴木 俊幸	"
歌川国芳「鬼若丸の鯉退治」	我妻 直美		301	書物におけるビジュアル・エデュケーション	内田 啓一	"
国宝「北野天神縁起絵巻」承久本(部分)	松川 博一		302	表紙 作品解説 森徹山《木村兼葭堂肖像》	中谷 伸生	"
連載 日本美術のススメ 知られざる日本美術		"				
画遊の友 抱一と文晁	樋口 一貴		292			
模本で知られた蕭白の屏風発見へ			299			
連載 日本美術のススメ Special		"				

資料紹介 江戸と京をつなぐ江戸狩野一周信、古信、洞玉、為恭	中谷 伸生	美術フォーラム21	18	『南総里見八犬伝』第四輯初印本と後印本の挿絵一文溪堂版後印本の薄墨図は誰が指示したのか—	服部 仁	〃	〃
特集 帝都の美術—都市の肖像		〃	〃	最近の馬琴研究—服部仁氏の私説批判をめぐって—	信多 純一	〃	9-6
江戸と江戸図—『江戸名所図屏風』を仲立ちにして	内藤 正人			特集 高松塚古墳レポート—石室の解体事業—壁画に関する二、三の新知見	増記 隆介	文化財*	532
美人画の展開と東錦絵—春信から歌麿へ	田辺 昌子			口絵解説 重要文化財 紙本着色梓弓図 岩佐勝以筆	鬼原 俊枝	〃	537
関東南画を眺めて見れば…	安村 敏信			キリシタン美術に見る日本の変容—原田本「マリア十五玄義図」を手掛かりとして—	小野寺真知子	文星芸術大学大学院研究科論集	3
「舞妓図」をめぐって松浦屏風と桃山・江戸の人物表現展によせて	中部 義隆	美のたより	162	新出の「十八屋」宛て北斎書状について	八城 和彦	北斎研究	41
仏を描いた僧侶—十二世紀後半の東大寺を例に 高僧と美術—聖をめぐる人々—展によせて	古川 攝一	〃	〃	北斎小判戯画川柳の出典考察	橋本 秀信	〃	〃
表紙のことば 金地山水図屏風 渡辺始興筆	中部 義隆	〃	〃	北斎の小判戯画作品追考	永田 生慈	〃	〃
雪舟史料を読む	大西 廣	百 科*		葛飾北斎肉筆鑑賞	〃	〃	
38(番外)隠士聖岡『禅林小歌』			547	(七十三)「旭日山水図」一幅			〃
39(番外・止)松尾芭蕉『笈の小文』			549	(七十四)「川蝦図」扇面一幅			42
春画の見どころ、愉しさ	白倉 敬彦	〃	548	墨田区調査研究報告 明治期浮世絵関連新聞記事(6)—北斎記事—		〃	41
菩薩立像の身体比率からみた法隆寺金堂壁画	松原 智美	仏教芸術	296	『富嶽百景』考(未定稿)	永田 生慈	〃	42
鶴林寺太子堂内陣莊嚴の意想—東北柱画の孔雀騎乗像について—	林 温	〃	〃	バイエルン州立図書館蔵『源氏小かゝみ』解題・翻刻	辻 英子	三田国文	47、48
資料紹介 真福寺本『覚禅鈔』『妙法尊勝法』	中野 玄三	〃	297	『松竹物語 下』解題・翻刻	石川 透	〃	47
特集 円仁と仏教美術		〃	300	『雪女物語・下』翻刻	〃	〃	48
総論にかえて	有賀 祥隆			蓮華三昧院所蔵阿弥陀三尊像について	高間由香里	密教図像	27
二つの熾盛光曼荼羅図像(青蓮院蔵)と延暦寺蔵熾盛光曼荼羅図	林 温			金碧画技法のルーツを追って—キリスト教絵画からの影響	佐々木丞平 佐々木正子	MUSEUM	613
芭蕉の絵	藤田 真一	文学*	9-1	東京国立博物館蔵「相州名勝図帖」について	鶴岡 明美	〃	614
十五世紀絵画のパスpekティブ—土佐光信のリアリズム	高岸 輝	〃	9-3	北斎の漢画学習—独学で習得した漢画の図様と筆法	内藤 正人	〃	615
奈良絵本『うつほ物語』の背景	田村 隆	〃	9-4				

琉球絵画「琉球進貢船図屏風」に描かれた内容の分析と考察—当時の那覇の生活文化を探る	加藤 健二	武蔵野美術大学研究紀要	38	267 喜多川歌麿の晩節を汚した筆禍事件				384
江戸名所絵と「立札」—「繁栄」と「秩序」を表象する場合—	鶴岡 明美	"	"	268 北斎画「琉球八景」の不可解な富士山?				385
「融通念仏縁起絵巻」明徳版本の成立	高岸 輝	室町時代研究	2	269 北斎の珍しい唐美人画本邦初公開				386
平安絵画における筋肉表現の受容と転用—武者絵以前の「瓢箪足に蚯蚓描」—	山本 陽子	明星大学研究紀要	16	270 江戸の歳時記、両国川開きと花火祭り				387
墨美の主宰たち	柴田 哲心	目の眼		室町水墨画と李朝画の関係	赤澤 英二	大和文華	117	
三、四 周文筆「寒江落雁図」1、2			376、377	「清水寺縁起絵巻」の征夷大將軍一坂上田村麻呂と足利義植—	高岸 輝	"	"	
五、六 雪舟筆「白楽天参禅図」1、2			378、379	十羅刹女厨子屏絵(大和文華館蔵)について	百橋 明徳	"	118	
七 周文筆「渡唐天神図」「寒山拾得図」			380	「弘法大師行状絵巻」考—久保惣記念美術館本について—	塩出貴美子	"	"	
八 雪舟筆「石座釈迦図」秋月筆「坐像釈迦図」			381	東海道屏風・東海道絵巻の基礎的研究(二)	斉藤 司	横浜市歴史博物館調査研究報告	4	
九 周文筆「赤衣達磨図」			382	館蔵「六波羅合戦巻」と真田宝物所蔵の「平治物語絵巻」	平野 卓治	"	"	
十 雪舟筆「面壁之達磨図」			383	屏絵資料解説 直江兼統像			米沢市上杉博物館年報	20
十一 雪舟筆「不動明王二童子図」雪舟筆「不動明王坐図」			384	スペンサーコレクション調査から			立教大学日本学研究所年報	7
十二、十三 「陶淵明賞菊図」惟肖得巖賛(梅沢記念館蔵)			385、386	反町目録の再検証—総合目録作成のために	小峯 和明			
十四 雪舟筆「観音図」			387	スペンサーコレクション蔵『曾我物語絵巻』について	目黒 将史			
江戸化政期の粹人、文人たち	渥美 國泰	"		『堀川夜討』—解説と翻刻	マシュー・トンブソン			
66(僧雲室)謎の中国伝承の人物像図			376	スペンサーコレクション蔵絵入写本・絵巻分類目録	宮腰 直人 目黒 将史			
67(大窪詩仏)楽易の村夫子の人間的魅力			378	西海捕鯨絵巻の特徴—紀州との比較から—	森 弘子	"	"	
68(杏花園・谷文一)庚申・三猿・見ざる聞かざる言わざるのこと			380	画像資料に見る人と鯨—コメント 鯨絵巻『鯨鯢記目録』の紹介	杉本 史子	"	"	
はてな?おもしろ浮世絵	中右 瑛	"		中原康富・嘉吉二年十二月—ある絵巻享受の場合—	楊 曉捷	"	"	
263 「四大浮世絵師展」「幕末浮世絵・大江の賑い展」			"					

通説を読みなおす日本史11 加筆の見られる「奮戦する季長」の場面—『蒙古襲来(竹崎季長)絵詞』を見なおす	早川 明夫	歴史地理教育	738	若冲の屏風七変化 光の当て方・見る角度で プライス客員教授が発表	日 経	4. 20
「職人歌合」に見る職人の実像—『三十二番職人歌合』『七十一番職人歌合』を中心に	岩崎 佳枝	歴史と民俗	24	源氏物語千年の波紋 2 不吉はらむ謎の絵巻	"	5. 23
歴史の証人 写真による収蔵品紹介		歴 博		伊藤若冲新たな屏風発見 白と黒躍る冒険心	宮川 匡司	" 12. 20
厳島和歌浦図屏風	新谷 尚紀		148	若冲の大作屏風「意表突く巨大動物」 80代衰えぬ表現力	"	"
怪談・妖怪コレクション	常光 徹		149	薬師寺・吉祥天肌きめ細か、麻布の目詰めていく色付け	前田 恭二 読 売	6. 5
描かれた死後の姿(死絵)	山田 慎也		151	桃山期の金碧画 聖像画に由来か	木村 未来	" 8. 1
錦絵に描かれた江戸の都市文化	大久保純一	"	149	「源氏物語歌合絵巻」室町期に「彩色版」	"	10. 7
信西一門の真俗ネットワークと院政期絵画制作	マイケル・ジャメンツ 米倉 迪夫 訳	鹿島雑誌*	10	題詩に透ける蕪村「夜色楼台図」、解釈に新説	前田 恭二	" 12. 4
平成十八年度 修復文化財関係銘文集成[絵画]		"	"	朝 鮮		
祇園南海の新出画—「峰下鹿群図」と「美人石上読書図」の史的位置—	安永 拓世	和歌山県立博物館研究紀要	14	高麗李光弼筆瀟湘八景図(1185年)の図像と画風	呉 永三 鹿島美術財団年報・別冊	25
津秦薬徳寺所蔵芦原薬師如来縁起について	寺西 貞弘	和歌山市立博物館研究紀要	22	研究ノート 朝鮮民画—制作背景と中国民間版画の存在を視座に—	片山真理子 高麗美術館研究紀要	6
神宮文庫蔵『明光浦志』と「和歌浦図巻」附・翻刻 桑山玉洲著『明光浦志』	近藤 壮	"	"	韓国観音図像の変化と信仰の連関性	金 秀炫 国立歴史民俗博物館研究報告	139
白隠の行状と作画活動	浅井 京子	早大會津八一記念博紀要*	9	高句麗壁画	百橋 明穂 太陽(別冊) 韓国・朝鮮の絵画	"
近世初期土佐派の「細画」—光吉、光則の新奇—	村重 寧	早稲田大学大学院文学研究科紀要	53	壁画にみる高句麗の暮らし	早乙女雅博	"
永徳に新たな真筆 幻の屏風、7月公開 [松に叭叭鳥・柳に白鷺図屏風]		朝 日	5. 24	草原シルクロードから伝わった高句麗壁画	百橋 明穂	"
千年の源氏物語 絵巻の壮さ浮き彫り大物の統括者関与か	西田 健作	"	7. 5	高麗仏画	井手誠之輔	"
国宝源氏物語絵巻の謎	三田村雅子	東 京	4. 29	唐絵の中の高麗仏画	"	"
天神絵巻に「九州編」対馬の八幡宮神社 大宰府時代の逸話多数		"	9. 19	朝鮮王朝時代の宮廷画・文人画	板倉 聖哲	"
				朝鮮王朝時代の宮中における絵の装い	洪石附 善杓 啓子 訳	"
				日本絵画に影響を与えた朝鮮王朝の絵画室町絵画への影響	橋本 慎司	"
				日本絵画に影響を与えた朝鮮王朝の絵画宗達・若冲の眼差し	板倉 聖哲	"

描かれた朝鮮通信使 行列図を中心に	黒川 修一	"	"	ムガル宮廷画における ヨーロッパ絵画の 受容—五代シャー ・ジャハーンと第十 二代ムハンマド・シ ャーの治世を中心に—	山本 緑	美術史	164
朝鮮王朝時代の仏画	朴 銀卿 芹生 春菜 訳	"	"				
特別寄稿 朝鮮民画 の新しい理解 宮廷 画と民画はどのよう に捉えられてきたか	洪 善杓 石附 啓子 訳	"	"	ラダックにおけるチ ベット13世紀壁画の 状況—壁画の技法と 保存について—	宮本 道夫	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	52
朝鮮王朝時代の民画	尾久 彰三	"	"				
鷹のおまもり 三災 符籙	片山真理子	"	"	ボウバー、それとも タンカ?—チベット 在住のネワール人た ちが発願した仏教絵 画—	吉崎 一美	密教文化	221
閭巷(ヨハン)の家に おける絵の装い	洪 善杓 石附 啓子 訳	"	"	タジキスタンの古代 壁画	ラリサ・ド ドゥフドエ ヴァ	MIHO MUSEUM 研究紀要	7・8
牡丹、虎・鵲が象徴 すること 民画を描 き続けながら考える	丁 昇禧 徐 美卿 訳	"	"	ペンジケントの壁画 宗教と象徴の周辺	G.R. カミロ ヴァ Sh.F. クルバ ノフ	"	"
韓国・朝鮮史年表	小田切 英 編	"	"	『サライ・アルバム (宮廷詩画帳)』(ト ブカブ宮殿美術館 蔵)に描かれた音楽 ・舞蹈(3)	小柴はるみ 松本奈穂子	東海大学 紀要教養 学部	38
画員金弘道における 士人意識の胚胎— 「檀園図」が語るもの —	中尾 道子	朝鮮学報	206				
朝鮮王朝の前半期 (初期及び中期)に於 ける対中・対日美術 交流	安 輝濬 丁 仁京 訳	"	209				
朝鮮後期古董書画収 集熟の性格—金弘道 の《布衣風流図》と 《士人肖像》に對する 検討—	張 辰城 石附 啓子 訳	美術研究	394				
「煙寺暮鐘図」(大和 文華館蔵)と北宋絵 画の遺光 宋元と高 麗—東洋古典美の誕 生—展によせて	塚本 鷹充	美のたよ り	161				
表紙のこぼ 楊柳 観音図 高麗時代	"	"	"				
表紙のこぼ 漁村 夕照図 伝安堅筆 朝鮮王朝時代	"	"	164				
帰郷のイメージ—韓 国と日本の「帰去来 図」をめぐる—	宣 承慧	MUSEUM	613				
タイ国アユタヤ期の 寺院壁画に見られる 共存の世界	田辺 和子	印度学仏 教学研究	116				
ムガル皇帝の肖像画 におけるオスマン帝 国スルターンの肖像 画の影響	池田 直子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	25				
アジャンター石窟に おける「舍衛城の神 変」図の図像的変遷	福山 泰子	国 華	1347				
そ の 他				図 像 ・ 文 様			
東 ア ジ ア				日 本			
渤海の屋根瓦の文様 とその分類				E. V. シャフ クノフ 清水 信行 訳	青山史学	26	
美術史料紹介 東寺 観智院金剛藏本(建 武二年写)『諸説不同 記』巻第四(上)翻刻 ・校註・影印				津田 徹英 岡田 麻未 武内 沙織	史 友	40	
口絵 戒壇院厨子扉 絵図像 一巻				谷口 耕生	日本歴史	724	
平安時代の花文に関 する一考察				栗田美由紀	文化財学 報	26	
平成十八年度 修復 文化財関係銘文集成 [図像]					鹿嶋維集*	10	
そ の 他				地 図 ・ 絵 図			
研究員レポート 黒 い連珠文のサミット (緯錦)				横張 和子	オリエン テ	36	
利瑪竇『兩儀玄覽図』 攷				鈴木 信昭	朝鮮学報	206	

日 本				近世の都名所 方 広寺前と耳塚—洛 中洛外図・京絵図 ・名所案内を中心 に—			
渡辺村の構造について 絵図と被差別民	村上 紀夫	国立歴史民俗博物館研究報告	140	近世絵図にみる測量の記録とその表現	鳴海 邦匡		
江戸時代初期の佐賀城および佐賀城下に関する史料—山口県文書館蔵「肥前国佐賀城略図」と「肥前国童造寺世間取沙汰開書」の紹介—	本多 美穂	佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要	3	巻頭図版 極楽寺境内絵図		歴史と地理	617
一九世紀以前的那覇を描いた俯瞰的絵図の基礎的研究—年代・構図・系譜—	堀川 彰子	史 林	469	史料・文献紹介『江戸名所図会』	鈴木 章生	"	620
絵図を写す人々—正保常陸国絵図を例に—	小野寺 淳	地方史研究	335	歴史の証人 写真による収蔵品紹介 出雲大社及境内周辺図	新谷 尚紀	歴 博	148
赤い色の調達 近世の朱座 絵図の時代(8)	杉本 史子	東大画像史料解析センター通信*	40	最古級奈良中期の荘園絵図 所在不明の1点 正倉院宝物と同時期		読売夕刊	5.24
				彫 塑			
				中 国			
研究余録 東寺領若狭国太良荘「埋樋指図」について	奥野 中彦	日本歴史	718	北朝造像銘にみる禪師と阿弥陀信仰—「無量寿」から「阿弥陀」への尊名の変化に関連して—	倉本 尚徳	印度学仏教学研究	116
口絵 越中国射水郡鳴戸村壱田図(麻布)一鋪	野尻 忠	"	721	中国新出ソグド人葬具に見られる鳥翼冠と三面三日月冠—エフタルの中央アジア支配の影響—	影山 悦子	オリエン ト	50-2
研究余録 いわゆる「慶長日本図」の誤認を解く	川村 博忠	"	723	天龍山石窟考—唐代窟を中心に—	神谷麻理子	鹿島美術財団年報・別冊	25
研究ノート『秩父巡拝図絵』からみる秩父三十四ヶ所一秩父観音霊場の体験と記録—	小宅 里美	法政史学	69	広元千仏崖蓮花洞触地印像について	金 銀児	京都美学美術史学	7
史料紹介「諸役所控目録」にみる萩藩絵図方作製の絵図	山田 稔	山口県文書館研究紀要	35	龍門石窟古陽洞半跏思惟像試論—左右対称配置と制作時期検討を中心に—	徐 男英	"	"
近世甲斐国絵図論序説—山梨県立博物館収蔵の甲斐国絵図との対話—	高橋 修	山梨県立博物館研究紀要	2	発表要旨 陝西省彬縣大仏寺石窟大仏造立年代再考	張 南南	"	"
特集 世界のなかの近世絵図(I)		歴史学研究	841	中国古代石彫論—石獣と石人と石仏—	石松日奈子	国 華	1352
近世地図論序説—身分秩序と主体・行為・モノ—	杉本 史子			西安北周石造如来立像に関する一考察	八木 春生	泉屋博物館紀要	24
絵図—色彩とその原料から見えてくるもの—	降旗千賀子			山東省「青州龍興寺文化園」造像考—菩薩立像を中心として—	"	筑波大学芸術研究報告	51
肉眼観察から見た絵図—模写制作者の見地から—	村岡ゆかり			雲岡石窟再考	曾布川 寛	東方学報 京都	83
表装技術から絵図を問い直す	高島 晶彦			北朝時代の多仏名石刻—懺悔・称名信仰と関連して—	倉本 尚徳	東洋文化研究所紀要	154
特集 世界のなかの近世絵図(II)		"	842				

民間信仰における神 形象の変化について —華光大帝と招宝七 郎を例に—	二階堂善弘	東アジア 文化交渉 研究	1	8世紀における仏像 と荘嚴具との関係に ついて	小林 裕子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	25
第六十一回全国大会 研究発表要旨 四川 省広元皇沢寺第二十 八窟試論	金 銀児	美術史	165	平安時代中・後期に おける葉師如来信仰 とその造像に関する 研究	井上 大樹	" "	" "
山中禪定像をともし なした千手観音龕につ いて—四川省邛崃石 筍山摩崖の作例を中 心に—	羅 翠恂	美術史研 究	46	奈良仏師と京都仏師 —細部形式の検討に 基づく平安時代末期 から鎌倉時代初期の 作品研究—	佐々木あす か	" "	" "
史料紹介 中国青海 湟中画像摩崖の発見 とその意義	柳江	春誠 介也	文化史学	64	光明院所蔵 運慶作 大威徳明王坐像	金沢文庫 研究	320
中国陝西省延安市安 塞県樊庄石窟につい て—陝北地方におけ る北宋の石窟造営と その背景に関するて がかりとして—	水野 さや	密教図像	27	シンポジウム 仏師 運慶をめぐる新発見 と課題	彫刻史研究 会	" "	" "
日本				小笠原遠光・長清一 門による将軍家菩提 供養	井原今朝男	" "	" "
大谷磨崖仏と石心塑 像	北口 英雄	ART LIBRARY	9	東アジアにおける毘 沙門天像の一展開— 東光院毘沙門天立像 をめぐって	塩澤 寛樹	川崎市文 化財調査 集録	43
資料紹介 石清水八 幡宮伝来の阿弥陀如 来像・愛染明王像・ 不動明王像	伊東 史朗	愛知県史 研究	12	研究報告 懸仏の製 作技法に関する基礎 的研究	石井 里佳	元興寺文 化財研究 所研究報 告	2007
口絵・調査報告 春 日井市高蔵寺薬師如 来坐像	"	"	"	石像を削る願掛け— 神仏像に残る祈願習 俗の痕跡—	角南聡一郎	" "	" "
愛知県日置八幡宮所 蔵木造獅子頭考	藤山 誠一	愛知県埋 文センタ ー紀要*	9	小田観音堂の三軀の 観音立像	井形 進	九州歴史 資料館研 究論集	33
大治年間の造寺造仏 事業	上川 通夫	愛知県立 大学文学 部論集	56	小特集 こんな初め て！仏像の新しい 見方	南 伸坊 山本 勉	くりま	86-12
花巻湯本大日堂白山 神社の二体の大日如 来坐像の変遷	佐々木勝宏	岩手県立 博物館研 究報告	25	その1 [対談]そ ういえば、私は運 慶だった！自称運 慶と運慶研究者の 仏像ガイド	山本 勉	"	"
室町時代の宇佐・国 東における造仏の一 側面—院派系仏師の 活動を中心に—	渡辺 文雄	大分県立 歴史博物 館研究紀 要	9	その2 なぜ、仏 像はやせたり太つ たりするのか？	"	"	"
旧志賀町所在彫刻調 査報告2	寺島 典人	大津市歴 史博物館 研究紀要	15	おまけコラム 仏 像の耳のひみつ	"	"	"
比叡山延暦寺里坊等 所在彫刻調査目録 (追加3)	"	"	"	丹波路の秋 謎の寺 に仰ぐ兜跋毘沙門天 軍団	"	芸術新潮	697
調査報告 増上寺三 解脱門の釈迦三尊像 および十六羅漢像につ いて—近世彫刻の 諸相1—	浅湊 毅	学 叢	30	art news 葉師 寺か らおでまし うしろ の美仏たち	"	"	701
調査報告 八坂神社 西楼門の隨身倚像— 近世彫刻の諸相2—	"	"	"	学芸員のノートから 89 「怖い顔」した仏 の不思議—寿福寺聖 観音菩薩立像の魅力 —	川野 憲一	神戸市立 博物館だ より	93
	"	"	"	出雲の狛犬について (4)	廣江 正幸	古代文化 研究	16

木津川流域の薬師悔過とその仏像	中野 玄三	国 華	1348	七世紀彫刻における中宮寺菩薩半跏像	駒井 優子	帝塚山大大学院紀要*	10
初期の八幡神像祭祀とその造立過程—御調八幡宮の神像をめぐる—	紺野 敏文	〃	1351	平常展見どころ案内 2008年10月・11月 重文 文殊菩薩像および侍者立像 康円作	丸山 士郎	東京国立博物館ニュース	691
安祥寺 十一面観音立像	根立 研介	〃	1355				
口絵写真解説 上宗岡浅間神社の狛猿(志木市)	井上 國夫	埼玉史談	292	調査報告 栃木県二宮町・全水寺の仏像と仏画	本田 論	栃木県立博物館研究紀要	25
油日神社懸仏群調査報告—懸仏から窺う太子信仰と軍神信仰—	山下 立	滋賀県立安土城考古博物館紀要	16	資料紹介 久美浜を中心とする京丹後の仏教彫像—おもに新出遺品についての調査概報—	関根 俊一	日本文化史研究	39
資料紹介 甲賀郡伝来の木造狛犬	〃	〃	〃	口絵 木造大威徳明王像および像内納入品	川瀬 由照	日本歴史	722
甲賀市・永昌寺木造地藏菩薩立像について—天台系僧形像についての一試論—	高梨 純次	滋賀県立近代美術館研究紀要	7	第五十九回美学会全国大会報告 発表要旨 多臂像の造形表現—奈良・東大寺四月堂千手観音立像を中心—to	熊谷 貴史	美 学	233
守山市慈眼寺薬師如来坐像の修理および造立意義について	榊 拓敏	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	24	例会・研究発表会要旨 西部会 第二六八回研究発表会「仏造之僧」と室町時代彫刻—奈良・般若寺十一面観音像をてがかりに—	長谷 洋一	〃	〃
黄檗信仰史 七十二〜七十四	江口 正尊	史迹と美術	783、784、789	例会・研究発表会要旨 東部会 平成二〇年度第三回例会 如宝の実現した夢—最近の研究成果からみた唐招提寺金堂三尊と戒壇—	星山 晋也	〃	〃
口絵写真説明 重要文化財 北野天満宮新発見木造鬼神群像十三軀	〃	〃	788	法隆寺金堂釈迦像は火難を免れたか	石原 秀晃	東アジアの古代文化	135
興福寺北円堂無著・世親菩薩立像について	小倉絵里子	実践女子大学美術史学	22	醍醐寺薬師三尊像と平安前期の造寺組織(中)	皿井 舞	美術研究	393
覚音寺千手観音菩薩立像と納入印仏	佐々木守俊	〃	〃	平成十九年度例会研究発表要旨 覚音寺千手観音菩薩立像と納入印仏	佐々木守俊	美術史	164
長野県伊那市薬師堂の性慶作薬師如来坐像	小倉絵里子	実践女子大学文学部紀要	50	滋賀・園城寺所蔵金色不動明王画像に関する一考察	見田 隆鑑	〃	165
グラビア解説 釈迦三尊像[法隆寺金堂]	稲本 泰生	聖 徳	195	第六十一回全国大会研究発表要旨	〃	〃	〃
こけしの里の太子像—福島・土湯温泉—	小松 光江	〃	〃	大安寺木彫群の製作背景と造立年代について	友鳴 利英	〃	〃
グラビア解説 阿弥陀如来坐像[法隆寺金堂]	鈴木 喜博	〃	196				
瓦がとりもつ太子像	小松 光江	〃	〃				
グラビア解説 多聞天立像[法隆寺金堂]	岩田 茂樹	〃	197				
川崎・光明院の太子堂—職人衆の支えた太子講—	小松 光江	〃	〃				
グラビア解説 五重塔北壁 涅槃群像	稲本 泰生	〃	198				
旅僧が齎した太子像	小松 光江	〃	〃				
大坂仏師「宮内法橋」—その作風と銘文—	神戸 佳文	塵 界	19	東寺講堂諸像の機能と『金剛頂経』	原 浩史		

金剛峯寺藏八大童子像について—高野山をめぐる女性願主の造像—	高橋沙矢佳				円仁帰国後の延暦寺の造像について—現存作例の検討から—	高梨 純次			
京都・清凉寺毘沙門天立像—その造形と製作背景における史的位置について—	佐藤有希子				阿弥陀如来像の大日光背について	富島 義幸	〃	301	
両脇侍を伴う宝冠阿弥陀如来像に関する考察—鎌倉英勝寺阿弥陀三尊龕を中心に—	平野 智子				浄瑠璃寺大日如来像について—平安時代末期の康慶風の作例として—	佐々木あすか	〃	〃	
即成院阿弥陀迎接像について	井上 大樹	美術史学	28		建長寺伽藍神像をめぐる一考察—中国風伽藍神像の系譜から—	田中知佐子	〃	〃	
仁和寺阿弥陀三尊像の宗教的機能—天皇追善のための造像—	小野 朋子	〃	〃		作品紹介 神護寺の普賢菩薩騎象像	伊東 史朗	〃	〃	
向源寺十一面観音像の頭上面図像について—平安初期観音信仰に関する試論—	塚本麻衣子	〃	〃		資料紹介 清凉寺兜跋毘沙門天立像の文様と寺院調査における新出資料について	近藤 謙	仏教大学 アジア宗教文化研究 紀要*	4	
半跏思惟形の如意輪観音像の成立をめぐる—醍醐寺との関わりを中心に—	清水 紀枝	美術史研究	46		修復実習記録 江戸千家木造利休居士坐像修復報告	東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存修復彫刻研究室	文化財保存学専攻 保存修復彫刻年報		2007年度
知られざる日本美術もう一人の木食		美術の窓	297		新薬師寺蔵・地藏菩薩立像「夜泣き地藏」修復・彩色調査研究および3D計測報告書	〃	〃	〃	
新指定文化財の紹介 静岡市有形文化財(彫刻)木造釈迦如来坐像	岩田 智穂	ふちゅへる	16		茨城県東漸寺木造馬頭観音立像 修復報告	〃	〃	〃	
院政期 興福寺にかかわる大仏師をめぐる補論	根立 研介	仏教芸術	296		小西大閑堂 建長時代木造阿弥陀如来立像修復研究中間報告	〃	〃	〃	
快慶及びその周辺作品にみる来迎形阿弥陀三尊像の成立と展開—益子・地藏院の観音・勢至菩薩像を中心として—	大澤 慶子	〃	〃		江戸千家「千利休立像」修復報告	〃	〃	〃	
作品紹介 石津寺伝来の地藏菩薩立像	伊東 史朗	〃	297		「木造大日如来坐像」調査報告書	〃	〃	〃	
濫觴期の截金文様について	片山 寛明	〃	299		智積院「興教大師坐像」調査報告書	〃	〃	〃	
滋賀・錦織寺不動明王立像の周辺—不動明王彫像の額上髪にあらわれた花飾りへのまなざし—	津田 徹英	〃	〃		七覚山円楽寺「役行者倚像」調査報告書	〃	〃	〃	
定慶様菩薩像の再検討	山口 隆介	〃	〃		大善寺「役行者倚像」調査報告書	〃	〃	〃	
特集 円仁と仏教美術		〃	300		「木造不動明王坐像」調査報告書	〃	〃	〃	
立石寺入定窟の慈覚大師頭部について	伊東 史朗				彫刻文化財調書	〃	〃	〃	
					華嚴宗大本山東大寺木造阿弥陀如来立像調査報告書	〃	〃	〃	

定朝をめぐる二、三
の問題—僧綱位授与
の問題を中心に—

根立 研介 鳳翔学叢 4

大報恩寺六観音像に
関する一考察—十一
面観音像と聖観音像
における模刻の問題
を中心に—

山口 隆介 待兼山論
叢 42

新出の同形同寸の銅
製不動明王立像につ
いて

村田 靖子 密教図像 27

大仏殿様四天王像に
関する覚書—東大寺
勸進所阿弥陀堂像の
紹介をかねて—

岩田 茂樹 MUSEUM 612

肥前松浦寿昌寺の如
意輪観音像

竹下 正博 " 614

顕密融合の両界曼荼
羅五仏像について

富島 義幸 " 615

特集 薬師寺 1300
年秘められた寺宝に
ふれる

目の眼 380

美術雑筆 造像銘記
〜彫刻史研究の基礎
資料〜

水野敬三郎 雪椿通信 30

善勝寺本尊 木造千
手観音立像の基礎研
究

光谷 拓実 栗東歴史
大河内隆之 民俗博物
児島 大輔 館紀要 14
佐々木 進
松岡久美子

質問愚問 解説コー
ナー 鉄仏の広がり
について

山本 勉 歴史と地
理 612

奈良・元興寺の十一
面観音立像について

岩田 茂樹 鹿嶋雑集* 10

金峯山寺釈迦如来立
像について—修理報
告をかねて—

神田 雅章 " "

資料紹介 岡寺仁王
像の修理後の新知見
—銘文と構造—

鈴木 喜博 " "

平成十八年度 修復
文化財関係銘文集成
[彫刻]

" "

白浜町・塩野薬師堂
の平安時代彫刻—二
天立像修理報告とと
もに—

大河内智之 和歌山県
立博物館
研究紀要 14

仏像を数える「柱」に
ついて

小野 佳代 早大會津
八一記念
博紀要* 9

国内2例目 快慶の
弟子長快の作 三重
の美術館所蔵「観音
像」

東京 10.5

運慶工房作「世親菩
薩」 素材はカツラ

日経夕刊 8.13

朝鮮

高麗前期石造大仏の
制作とその特徴

崔 善柱 鹿嶋雑集* 10
金 銀児 訳

南アジア

仏像の成立とガンダ
ーラ

宮治 昭 ART
LIBRARY 9

ガンダーラ出土仏三
尊像と大阿弥陀経

能仁 正顕 印度学仏
教学研究 116

ガンダーラ「仏伝図」
再考—所謂シクリ・
ストゥーパを主対象
に—

藤原 達也 オリエン
ト 50-2

西インド前期仏教石
窟の消長過程に關する
研究—ジュンナル
石窟における建築様
式の展開を中心に—

豊山 亜希 鹿島美術
財団年報
・別冊 25

初期パッラヴァ朝に
おけるヒンドゥー石
窟の彫刻

森 雅秀 金沢大学
文学部論
集 28

こんなにあります
日本のガンダーラ仏

芸術新潮 699

ガンダーラ美術の図
像学的研究(2)クシ
ヤン人在家菩薩像に
ついて—聖紐と仏龕
を中心に—

田辺 勝美 古代オリ
エント博
物館紀要 28

シヴァ・ガナ像に關
する試論—古代後期
におけるシヴァの眷
属図像の形成と機能
をめぐって—

永田 郁 崇城大学
芸術学部
研究紀要 1

第六十一回全国大会
研究発表要旨 ター
ナーレー(ナードス
ル)第七窟浮彫の考
察—西インド初期歴
史時代における仏教
石窟寺院への新視点
—

豊山 亜希 美術史 165

平山郁夫シルクロード
美術館コレクション

平山美知子 美術の窓

44 貴婦人像

298

46 女性供養者像
頭部

300

「ナーマサンギーティ
文殊」の図像と典
拠についての一考察

スダン・シ
ヤキヤ 密教図像 27

北西インドにおける
『大日経』系毘盧遮那
と三部の作例につ
いて—アジアにお
ける、図像と思想の展
開を視野に入れて—

安元 剛 " "

ハリブルの四仏につ
いて

田中 公明 " "

二〇〇六年度龍谷大学史学大会講演録
バーミヤーンの仏教美術研究—年代論を中心に、研究史と現状—

宮治 昭 龍谷史壇 128

そ の 他

騎馬游牧民スキタイと東西文化交流—グリフィン図像の伝播と変容に焦点を当てて—

林 俊雄 オリエンテ 36

研究発表要旨 メソポタミアの王とパラスの象徴関係について

渡辺千香子 オリエンテ 50-2

ドヴァーラヴァティ—時代—の法輪図像—パナッサボーディーに乗る三尊像の成立と展開—

原田あゆみ 鹿島美術財団年報・別冊 25

ウズベキスタン南部出土の仏陀像とクシヤン族供養者像—クシヤン族仏教徒の「肖像」表現の意義について—

田辺 勝美 国 華 1349

融解する表面—ヘレニズム以前のギリシアにおけるプロソポンの考察

佐藤真理恵 美 学 233

ジャワの浮き彫りと南インドの図像—「カメの空中飛行」の造形と文献の照応—

松村 恒 密教図像 27

原 始 彫 刻

日 本

関東地方における形象埴輪の樹立—鶏形埴輪出現と消滅の意義—

西田 親史 国学院雑誌 1212

特輯 王陵系埴輪の地域波及と展開(上)

古代文化 571

特輯に寄せて

高橋 克壽

北部九州における畿内系埴輪

井上 義也

王陵系埴輪『地域受容』の一類型—古墳時代中期における南九州の埴輪生産—

竹中 克繁

特殊器台形埴輪にみる畿内と吉備

安川 満

出雲東部地域における埴輪出土古墳—中期後半を中心として—

椿 真治

但馬・丹後地域における埴輪の諸様相

中島 雄二

若狭地方の出土埴輪について

永江 寿夫

北陸における埴輪をもつ古墳

浅野 良治

特輯 王陵系埴輪の地域波及と展開(下)

〃 572

伊勢における王陵系埴輪の展開

豊田 祥三

濃尾地方の古墳と王陵系埴輪

藤井 康隆

遠江における埴輪受容の特質

鈴木 一有

房総半島における埴輪の波及と展開

萩原 恭一

北武蔵における埴輪生産の定着と展開

城倉 正祥

上毛野における畿内系埴輪の地域波及と展開

山田 俊輔

東北地方における埴輪生産の系譜

東影 悠

テーマ展開連講座ダイジェスト1「縄文時代の動物を考古学する」

新屋 雅明 埼玉県立史跡の博物館紀要 2

両面の埴輪と宿禰伝承地飛騨—「蛭尤と宿禰」補考—

尾関 章 東アジアの古代文化 134

小型土製馬形年代考

大平 茂 兵庫県立考古博物館研究紀要 1

質問愚問 解説コーナー「踊る埴輪」について

瀬垣田佳男 歴史と地理 612

益子天王塚古墳出土遺物の調査—円筒埴輪・鉄鏃—

山田 俊輔 早大津 9
米澤 雅美 八一記念博紀要*

そ の 他

パローチスターン高原における人物土偶に関する覚書—岡山市立オリエンタル美術館の資料紹介を兼ねて—

上杉 彰紀 岡山市立オリエンタル美術館研究紀要 22

平山郁夫シルクロード美術館コレクション

平山美知子 美術の窓

47 人物立像

301

48 手鼓を打つ少女

302

面

日本

関東地方の神楽「山の神」面の系譜—三眼黒色の面をめぐって—	三田村佳子	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要	2
資料紹介 能面源流考	曾我 孝司	野村美術館研究紀要	17
纏向遺跡の最古の木製仮面の不思議	石井 永井 好 康寛	東アジアの古代文化	136

書 蹟

中国

高閑「草書千字文」について	下田 章平	芸術学研究(筑波)	12
王澐の唐楷観 欧陽詢の書を中心として	高橋 佑太	" "	"
見よ、朕が愛した王羲之を!		芸術新潮	704
伝張旭筆「古詩四帖」に関する一考察	下田 章平	芸 叢	24
黄道周筆「草書擊蛇笏銘并序卷」について	富田 淳	三の丸尚蔵館年報・紀要	13
伝張旭筆「古詩四帖」の制作時期について	下田 章平	書芸術研究	1
趙孟頫書「太上老君說常清靜經」の真偽について	陳 健志	" "	"
近代北碑論研究の一視点	菅野 智明	" "	"
法帖しなさだめ9~19	田中 有	書道界	219~229
現代中国書法事情 193~195	種谷 萬城	"	219~221
現代中国巧芸事情21 明朝遺臣の特異な画家『伝山書法全集』の出版	仲 佑樹	"	220
書道界ニュース 北京故宮 書の名宝展に寄せて	富田 淳	"	224
歳末特別寄稿 蘭亭序が、キターッ!	鍋島 稲子	"	229
特集 尺牘学の試み		書 論	36
王羲之「遊目帖」考	杉村 邦彦		
王鐸の専帖に刻されたその尺牘	増田 知之		
清末における尺牘集の刊行	菅野 智明		
宋徽宗「蔡行勅」考	藤本 猛	" "	"

趙子昂の尊重	春名 好重	" "	" "
鄧石如の友人・後継者—梅鏐・趙紹祖・張惠言・程荃について—	高畑 常信	" "	" "
鄧石如の「四体書冊」の特色とその人生に与えた影響	鴨田 恒子	" "	" "
董其昌の法帖刊行事業に見る権威確立への構想	増田 知之	史 林	471
翰墨の縁(三)~(八)	静 妙 軒	墨	190~195
特集 らくらく木簡・竹簡マスター講座 知る 王羲之前史の解明—張芝と鍾繇—	福田 哲之	"	191
ギャラリー	木 雞 室	"	
『六朝写経残片』			"
『孔子廟堂碑・城武本』			192
『延年石室題字』			194
『石台孝経碑』			195
碑法帖名品選		"	193
基礎知識 碑法帖の基本	伊藤 滋		
解説碑法帖十六選 解説	"		
クローズアップ ギャラリー特別版 翁方綱旧蔵『孔宙碑』碑陰	木 雞 室		
書論の広場 コンピュータは探る 王羲之書模本のワザ	和田 彩	" "	" "
特集「一」から始める楷書		"	195
エッセイ 楷の木の方へ 楷書異聞	松枝 到		
書体史 楷書とはどういう書体か	大橋 修一		
書道今昔物語 第一話 鍾繇	長尾 秀則	" "	" "
議論呼ぶ「顔真卿の真筆」唐の四大書家別に同じ墓誌、残る疑問	渡辺 延志 朝 日		3.29
書の美	富田 淳	毎 日	
喪乱帖 王羲之筆			10.19
自叙帖 懷素筆			11.30
日 本			
天龍寺妙智院蔵「勅世文酒茶四問」について	金 文京	アジア遊学	114

古筆手鑑の調査報告 出光美術館蔵 手鑑 『浜千鳥』その1～3	別府 節子	出光美術館館報	142～144	良寛遺墨 書の本質	良寛の	加藤 僖一		
書と語らう(1)—— 行と語る	笠嶋 忠幸	"	144	詩歌と書 術の魅力 書風 良寛の 魅力	良寛芸 逸格の 書の	島谷 弘幸		
伝西行筆の古筆の新 出葉を中心に	別府 節子	出光美術館研究紀要	13	革手絵の魅力 一、 二	一、	宮崎 もも	淡 交	768、770
鎌倉の大仏に奉納さ れた一切経	高橋 秀榮	印度学仏 教学研究	114	平常展見どころ案内 2008年4月・5月 国宝 法華経方便品 (竹生島経)		高橋 裕次	東京国立 博物館ニ ュース	688
京都国立博物館所蔵 「花園天皇宸翰消息」 について	羽田 聡	学 叢	30	特集陳列「平成19年 度新収品」古筆手鑑 「毫戦」		丸山 猶計	"	689
古写経研究の可能性 ——道行知識経につ いて——	竹本 晃	九州史学	151	研究報告 古文書の 筆跡の特徴のとらえ 方と比較の着眼点に ついて——吉田定房と 万里小路宣房の筆跡 を中心に——		和田 幸大	東京大学 史料編纂 所研究紀 要	18
研究ノート 古写経 識語の神仏一天平宝 字二年道行知識経の 識語をめぐる——	遠藤 慶太	"	"	日本美術のススめ 今月の逸品			美術の窓	
小特集 新発見!? 西 行の書を推理する		芸術新潮	699	頼山陽「行書蘭亭 序巻」(部分)		鍋島 稲子		296
『篆隸萬象名義』にお ける俗字の研究(1) ——後漢の隸変字から 魏晉の草書の楷書化 まで——	大柴 清圓	高野山大学密教文化研究所紀要	21	良寛「漢詩絹本三 幅対」		庄司 美樹 構成		298
第三回 調査研究シ ンポジウム報告 模 写本発掘——国文研蔵 マイクロ資料の中か ら、平安私家集をい くつか——	久保木秀夫	国文学研究資料館調査研究報告	28	国宝 手鑑「翰墨 城」		尾西 勇		300
「慈光寺経」の伝来に ついて	橋本 貴朗	書芸術研究	1	日本美術のススめ Special 正木美術館 開館四十周年記念展 正木孝之の熱意が生 んだ名コレクション			"	301
書道界ニュース 富 山県射水市で出土 曲水の宴で筆試しの 可能性 草仮名墨書 土器発見		書 道 界	223	研究ノート 乾山筆 「六首歌」をめぐる		中部 義隆	美のたよ り	163
特集 生誕 250 年 良寛さんの書の秘密		墨	190	入木道守護神に関す る一考察 附 近衛 家熙の入木道におけ る信仰について		緑川 明憲	三田国文	47
書の心理から良寛 の書を繙く	魚住 和晃			特別寄稿 消息を眺 める「尾道酒と近衛 信尹」		花斗 秀男	目の眼	376
良寛さんが習った お手本と書風の変 遷	加藤 僖一			親鸞の角筆あらわに 教行信証直筆で700 カ所		田原由紀雄	毎 日	2.9
良寛さんの筆跡真 贋考	岡本 鉄琴			書之美		島谷 弘幸	"	
書論の広場 藤原定 家筆 源通具俊成卿 女五十番歌合切の新 出資料——東京国立博 物館蔵断簡との関係 に及ぶ——	池田 和臣	"	191	風信帖 空海筆				10.5
				光定戒牒 嵯峨天 皇筆				10.12
				円珍贈法印大和尚 位並智証大師諡号 勅書 小野道風筆				10.26
日本の書文化 三十 三～三十六	松岡 正剛	"	192～195	三体白氏詩巻 小 野道風筆				11.2
良寛 聖にあらず、 俗にもあらず		太陽(別冊)	153	白氏詩巻 藤原行 成筆				11.9

七言絶句 良寛筆			11.16	書道界ニュース 万葉集「安積山の歌」、初めて木簡で発見		書道界	224
秋萩帖 伝小野道風筆			11.23				
離洛帖 藤原佐理筆			12.7	研究ノート 瓦倉の瓦に記銘された名前は誰か—水戸市台渡里魔寺跡長者山地区出土の同一人名文字瓦の検討—	川口 武彦	筑波大学 先史学・ 考古学研究	19
書状 西行筆			12.14				
継色紙 伝小野道風筆			12.21				
親鸞『教行信証』への書き入れで脚光 角筆研究が開く新解釈の可能性	丹野 恒一	毎日夕刊	2.13	東寺文書御宸翰之部の伝来と現状	新見 康子	同志社大学博物館 学年報	39
藤原定家若書き真筆の断簡 新事実大いに語る発見	池田 和臣	"	2.25	研究報告 藤原地域出土の荷札木簡補遺	市 大樹	奈良文化財研究所 紀要	2008
「金泥書」の制作技法を解明	川俣 享子	"	8.11	研究報告 京職と祈雨祭祀—藤原京右京七条一坊西北坪出土の木簡—	竹本 晃	"	"

古文書・古記録

中 国

特集 らくらく木簡・竹簡マスター講座		墨	191	「東大寺大勸進文書集」の研究	吉川 聡 遠藤 基郎 小原 嘉記	"	"
見る 古代中国の肉筆の書 近年出土した注目すべき簡牘九種	横田 恭三 監修・文			玉井家蔵「大仏殿再建記」解説および史料翻刻 第四回	島津 良子 坂東 俊彦	"	92
ガイドンス 簡牘って何ですか?	佐野 光一			口絵 弘法大師二十五箇条遺告	梅澤亜希子	日本歴史	718
知る 中国の出土情報	福田 哲之			歴史手帖 紀伊から伊予へ移った大般若経	山内 譲	"	722
西夏文献拾遺(4)—西夏語訳『黄石公三略』写本断簡を中心として—	松澤 博	龍谷史壇	129	江戸時代に古墳はどのように記録されたか 日向国諸県郡本庄猪塚にかかわった人々	永山 修一	宮崎県立西都原考古博物館 研究紀要	4

日 本

特集 絵を読む 文字を見る 日本文学とその媒体 彫り師木村嘉平と筆意彫り	陳 捷	アジア遊学	109	史料・文献紹介 正倉院文書	飯田 剛彦	歴史と地理	615
難波宮を中心とする古代都城の比較史的研究 難波宮出土木簡の諸問題	古市 晃	大阪歴史博物館共同研究成果報告書	2	かつらぎ町花園中南・地藏寺所蔵の大般若経について	竹中 康彦	和歌山県立博物館 研究紀要	14
鎌倉期の諏訪神社関係史料にみる神道と仏道 中世御記文の時代的特質について	井原今朝男	国立歴史民俗博物館研究報告	139	研究ノート「諸寺諸社造営目録」(「続宝簡集」巻五四所収)について	前田 正明	"	"
随筆 折本と折紙—冷泉家時雨亭文庫蔵『朝儀諸次第』をめぐる—	美川 圭	古文書研究	65	奈良時代の印刷物 百万塔陀羅尼「書写でも同期間で作れた」	岡本 公樹	読 売	2.29
『撰閑家旧記目録』について	湯山 賢一	"	66				
献物帳管見	北 啓太	正倉院紀要	30				

朝 鮮

特集 らくらく木簡・竹簡マスター講座 知る 韓国の出土情報	平川 南	墨	191				
-------------------------------	------	---	-----	--	--	--	--

金石文など

中 国

- 特集 漢籍と日本人
II 飛鳥・奈良・平安 王勃佚文中の女性を描く二篇の墓誌について 道坂 昭廣 アジア遊学 116
- 談話室 杜嗣先墓誌の大象、その他 金子 修一 国学院雑誌 1210
- 研究ノート 契丹の旧渤海領統治と東丹国の構造―「耶律羽之墓誌」をてがかりに― 澤本 光弘 史学雑誌 117-6
- 宋刊一切経に関する一、二の問題―我邦舶載東禪寺版の「刊・印・修」の問題を軸に― 牧野 和夫 実践国文学 73
- 費守齋刊『新刻京本全像演義三国志伝』の研究と資料 磯部 彰 編 東北アジア研究センター叢書 29
- 西安で発見された在唐日本留学生・井真成墓誌の最新研究―井真成墓誌に関する研究 後篇― 王 維坤 日本研究 37
- 新発見「井真成墓誌」の最新研究 〃 山形大学歴史・地理・人類学論集 9

日 本

- 八雲神社の石碑銘 佐藤 一 鎌 倉 105
- 近世製版印刷書体における平仮名字形の変化 矢田 勉 神戸大学文学部紀要 35
- 史料紹介 滋賀県塩津港遺跡出土の起請文札 濱 修 古代文化 573
- 口絵写真解説 馬頭尊塔(小川町下里路傍) 四方田 悟 埼玉史談 294
- 縦長の石製印判の用途 寺島 孝一 東京大学構内遺跡調査研究年報 6
- 東洋文庫所蔵本に押捺された蔵書印について(五)―国学者の蔵書印(下) 中善寺 慎 東洋文庫書報 39
- 研究余録 古代「石印」小考―出土例と用途に関する試論― 北條 朝彦 日本歴史 721

朝鮮・その他

- 「夫租蔑君」銀印再考―二〇〇五年、朝鮮北部旅行から― 秋山 進午 高麗美術館研究紀要 6

東洋文庫新収の『シヨル版八千頌般若經図像集』

中村菊之進 東洋文庫書報 39

宗 教 工 芸

日 本

- 研究ノート 笈ヶ岳出土経筒にみえる大聖寺について 小西 洋子 石川県立歴史博物館紀要 20
- 金銅装笈の基礎的研究 佐々木登美子 鹿島美術財団年報・別冊 25
- 表紙写真解説 華瓶(鳩山町熊井妙光寺) 四方田 悟 埼玉史談 294
- 西日本の廻国経筒1―瀬戸内・伊予を歩く― 足立 順司 静岡県埋文研紀要* 14
- 雲版銘文集(上)、(下) 愛甲 昇寛 史迹と美術 781、782
- 松島五大堂の梵鐘 石黒伸一郎 〃 786
- 鰐口の銘文(一)～(四) 愛甲 昇寛 〃 786～789
- コンタツ論 浅野ひとみ 後藤 晃一 純心人文研究 14
- 日光東照宮の宝物―銅造御幣瓶と蠟型鋳物師村田整珉― 石塚 雄三 大 日 光 78
- 伊勢国辻越後守家種作の雲版 小山 正文 同朋大学仏教文化研究所紀要 27
- 法隆寺の近世密教関係遺品(五) 関根 俊一 奈良学研究 10
- 調査報告 日光山輪王寺「時の鐘」製作鋳物師 高橋 久敬 日光山輪王寺 76
- 調査報告 日光山中禪寺 梵鐘・半鐘調査報告書 〃 〃 〃
- 特集 文化交流の古代史 百済王興寺の舍利容器・莊嚴具と飛鳥寺―飛鳥文化の源流― 鈴木 靖民 東アジアの古代文化 136
- 三角五輪塔の起源と安祥寺毘盧遮那五輪率塔婆 内藤 栄 美術史論集 8
- 奈良・平安時代の仏教関係遺物とその意味―土器・陶製遺物・石製品を中心として― 門田 誠一 仏教大学アジア宗教文化研紀要* 4
- 五十嵐作「蓮池蒔絵舍利厨子」の制作年 竹内奈美子 MUSEUM 615

辻村鋳物師の梵鐘・ 喚鐘について(二)― 太田西兵衛系以外の 梵鐘と喚鐘の作風に ついて―	佐々木 進	栗東歴史 民俗博物 館紀要	14
法隆寺金堂の天蓋に 古材利用が判明 備 蓄された材用いたか	東野 治之 朝 日		6.14

武器・馬具類

東 ア ジ ア

古代東北アジアにお ける馬具の製作年代 ―三燕・高句麗・新 羅―	諫早 直人 史 林		470
---	-----------	--	-----

日 本

テーマ展開講座ダ イジェストII「古墳時 代の馬具と馬」	宮代 栄一	埼玉県立 史跡の博 物館紀要	2
特集陳列「平成19年 度新収品」大日塚古 墳出土品	日高 慎	東京国立 博物館ニ ュース	689
加納南9号墳出土の 銚について	西川 麻野	富山考古 学研究	11
資料紹介 金小札紅 中萌黄系威腹巻	奥出 賢治	名古屋市 博物館研 究紀要	31
武家装束の色彩観― 「蒙古襲来絵巻」に描 かれた武装表現を中 心に―	佐藤 佳代	美術史	165
資料紹介 奈良県大 和天神山古墳出土木 製装具の文様につい て	井上 一樹	鹿嶋雑集*	10

そ の 他

天理参考館所蔵コリ ントス式兜	飯降 美子	天理参考 館報	21
--------------------	-------	------------	----

茶 道 具

日 本

大特集 樂吉左衛門 が語りつくす 茶碗 ・茶室・茶の湯とは なにか		芸術新潮	699
茶碗と茶室 一～ 五	樂吉左衛門		
茶の湯を生きた 人々 一～五	木村 宗慎		
千利休 「詫び」の創 造者		太陽(別冊)	155
利休の時代と人	村井 康彦		
利休の生涯	〃		
COLUMN 利休を めぐる人々	中村 修也		

利休の美 唐物と 見立の時代	筒井 紘一		
新しい美を創造す る千利休の目	熊倉 功夫		
利休の懷石	筒井 紘一		
千利休の道統	熊倉 功夫		
茶道具に学ぶ―道具 が語る茶の湯のすが た―		淡 交	
唐物茶入	名児耶 明		760
古銅花入	小池 富雄		761
釜	原田 一敏		762
高麗茶碗	小池 富雄		763
国焼	西田 宏子		764
楽茶碗	砂澤 祐子		765
瀬戸茶入	水田至摩子		766
染付	金沢 陽		767
蒔絵棗	谷 晃		768
炭斗	水田至摩子		770
竹花入	西田 宏子		771
南蛮焼	谷 晃		772
茶の湯の裂 巻頭特 集 茶道具を彩る裂		〃	769
茶道具の裂地	吉岡 明美		
千家十職 表具師 奥村吉兵衛の表具	奥村吉兵衛		
千家十職 袋師 土田友湖の仕覆と 帛紗	土田 友湖		
茶道具と裂の取り 合わせを知る	三浦 和子		
名物裂の復元―龍 村平藏と復元との 関係を通して―	白井 進		
茶の湯の裂		〃	〃
小特集 更紗を愉 しむ	佐藤 留美		
裂に関する用語解 説	奥村 厚子		
小特集 草創期の茶 の湯		野村美術 館研究紀 要	17
茶の湯草創期の茶 具足	谷 晃		
遺跡出土の十四・ 十五世紀茶道具	稲垣 正宏		
覚々斎の茶風―銘を 手がかりとして―	千 宗員	美学芸術 学	23

資料紹介『茶道具之記』(岩瀬文庫蔵)一天正名物記&秀吉名物記一

矢野 環 文化情報学 3

資料紹介『及第台子伝書(仮題)』(同志社大学文化情報学部蔵)

田口 詩織 山田 哲也 " "

資料紹介『煎茶礼要集』(竹函文庫蔵)一孤本茶書一

山田 哲也 " "

中国宜興の窯址から発掘された提梁煮水砂器(湯沸し)

城塚 朋和 明星大学研究紀要 16

物に執して 一〇三、一〇五、一〇七、一一一、一一二

鈴木 皓詞 目の眼 376、378、380、384、385

特集 遠州の時代和と美の寛永ネットワーク

編集部 " 377

小特集 遠州緑の道具たち

" " "

特集 如春庵伝説益田鈍翁が愛した中京の麒麟児

小川 幹生 " 379

特集 茶箱と茶書愛すべき数寄の世界

" 382

数寄の玉手箱 三井家の茶箱と茶籠

茶書に残る茶人たちの愉快な逸話

装身具・化粧具

日 本

中間評論論文梗概日本美術における根付の表現方法について

ニコロワ・ターニャ 芸術学研究(筑波) 12

縄文時代における『土製腕輪』の研究

吉田 泰幸 古代文化 571

古墳時代後期における玉作の拡散

大賀 克彦 古代文化研究 16

根付の意匠

吉田ゆかり 目の眼

三八「覆面の籠抜」

377

三九「阿蘭陀人」

379

四〇「竹に犬」(一笑図)

381

四一「天虞山神」

383

四二「天狗の卵」

385

朝 鮮

表紙のことば 金製垂飾 韓国・三国時代(新羅)

宮崎 もも 美のたより 163

文 房 具

中 国

現代中国巧芸事情23 北京故宫などに収蔵される福建省寿山石

仲 佑樹 書道界 222

書論の広場 墨の作り方一李廷珪が国姓を賜ったのは何故か

為近磨巨登 墨 195

日 本

毛筆と絵画と

村田 隆志 国華清話会会報 11

装 潢 ・ 料 紙 装 飾

日 本

特集 絵を読む 文字を見る 日本文学とその媒体 記録・印刷に用いられた和紙

久米 康生 アジア遊学 109

「慈光寺経」の料紙装飾について

橋本 貴朗 芸術学研究(筑波) 12

勅撰和歌集と卷子装

佐々木孝浩 斯道文庫論集 42

第六十一回全国大会研究発表要旨 平家納経の思想と装飾プログラム一宝塔品紙背にみる四季絵と法華経二十八品大意絵との関わりから一

橋村 愛子 美術史 165

陶 磁

東 ア ジ ア

遼・金代土城出土の陶磁器の組成 付・農安遼塔出土絞胎盒

亀井 明德 アジア遊学 107

読書案内 東アジアの陶磁器交流 前近代の陶磁貿易史

金沢 陽 歴史と地理 611

中 国

珠山南麓発掘区出土の万曆晩期から康熙早期の民窯青花磁器一「江西景德镇明清御窯遺址発掘簡報」より一

北京大学考古文博学院 江西省文物考古研究所 景德镇市陶瓷研究所、金沢 陽 訳註

『歴代宝案』と明代貿易陶磁の実相一明代龍泉青磁「大青盤」考

金沢 陽 出光美術館研究紀要 13

平成十八年度博士論文(課程)要旨 宋代官窯における青磁の研究一南宋修内司官窯を中心に一

孟 白麗 大阪大学大学院文学研究科紀要 48

平成20年定期刊行物所載文献(古/陶)

豆彩蓮池文管耳瓶	柏木 麻里	国 華	1347	鳴滝時代における乾山焼の作風展開	荒川 正明	出光美術館研究紀要	13
青磁大羊	長谷部楽爾	"	1351	近世砥部焼磁器皿に関する基礎的研究—上原窯跡採集資料を中心として—	石岡ひとみ	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	"
東京国立博物館コレクションの紹介1 広田松繁コレクション	今井 敦	東京国立博物館ニユース	688	豊前国焼・上野焼の研究—釜ノ口窯跡出土陶片の胎土分析を中心に—	敦賀啓一郎 永尾 正剛 森 康	北九州自然史博物館報告*	5
平常展見どころ案内 2008年6月・7月 重文 青磁茶碗 銘馬蝗絆	三笠 景子	"	689	江戸初期の輸出工芸品にみる花文様の共通性に関する考察—柿右衛門様式の八重梅意匠を中心—	大久保範子	芸術学研究(筑波)	12
北斎の白釉陶	長谷部楽爾	陶 説	660	島根・富田川河床遺跡の研究—藤原久良氏採集資料(1)—	藤原久良 集陶磁資料 調査研究会	古代文化研究	16
静嘉堂蔵の茶碗—「茶碗の美 国宝・曜変天目と名物茶碗」展によせて—	長谷川祥子 山田 正樹	"	"	丹波自然釉大壺	杉山 享司	国 華	1355
愛知県陶磁資料館開館三十周年記念企画展 中国古代の建築とくらし—茂木計一郎コレクション—	森 達也	"	664	渥美灰釉芦鶯文三耳壺	井上喜久男	"	1356
巡回展「海のシルクロードの出発点“福建”」の概要	森 達也 徳留 大輔	"	668	鑑賞の勘どころ(四)—焼物—	水尾比呂志	国華清話会会報	11
福建の古窯跡、沈没船、北苑茶園	森 達也	"	"	中・近世の焼き物の流通	竹内 靖長	塩尻市立平出博物館紀要	25
福建省邵武市四都窯址について—割高台白磁小皿の生産窯址—	関口 広次	"	"	特別史跡彦根城跡出土の湖東焼について	木下 義信	滋賀県文化財保護協会紀要	21
青磁史短見—米色青磁研究に寄せて—	長谷部楽爾	常盤山文庫中国陶磁研究会会報	1	第二十五回研究会 茶の湯と薩摩焼—考古学から見た初期薩摩焼の茶道具	渡辺 芳郎	茶の湯文化	15
南宋官窯における米色青磁	佐藤サアラ	"	"	「八重山古陶」展開連文化講座 八重山焼の器形と胎土について	阿利 直治	壺屋焼物博物館紀要	9
秘色拾収	長谷部楽爾	"	"	寄稿 八重山古陶を考える	田野太榮一	"	"
平山郁夫シルクロード美術館コレクション40 三彩鳳首瓶	平山美知子	美術の窓	294	鄙の夢—天草郡高浜村庄屋上田家と磁器焼成	福原 透	デアルテ	24
定窯白磁の歩み—越窯青磁との比較より白磁の美—東洋における造形とその展開—展によせて	瀧 朝子	美のたより	163	江戸における慶長・元和・寛永期の陶磁器相—千代田区内の一括資料による陶磁器編年試案—	長佐古真也	東京都埋文センター論集*	"
館員報告 政治の中での陶磁器—中国・五代十国時代の呉越国における例—	"	"	164	備前焼窯跡の調査(五)、(六)	石井 啓	陶 説	658、659
日 本				色絵牡丹文変形皿 鍋島	関戸 史子	"	659
「模倣」から見えること	上利 英之	出光美術館館報	142	「鍋島—至宝の磁器・創出された美—」展より	"	"	"
第二五六回水曜講演会 将軍と鍋島・柿右衛門	大橋 康二	"	144	青手古九谷の粗い素地考(続)	小木 一良	"	"
ボストン美術館の肥前磁器について	柴柳 美佐	"	"	色絵栗樹文大皿	荒川 正明	"	661

「柿右衛門と鍋島」展より 奇跡の時代—十七世紀の肥前磁器	〃	〃	〃	出光美術館 やきもの親しむVI「陶磁の東西交流展—景德鎮・柿右衛門・古伊万里からデルフト・マイセン—」展より	金沢 陽	〃	〃
国宝 灰釉秋草文壺	小川 裕紀	〃	662	古九谷・伊万里焼論争を終わらせるために 古九谷ロードをたずねて	正和 久佳	〃	〃
室町期までの備前焼の窯変	目賀 道明	〃	〃	九谷焼の伝統と継承、そして創造	三代徳田八十吉	東洋陶磁	37
愛知県陶磁資料館・開館三十周年記念特別企画展「窯変の美—鎌倉・室町の名陶—」開催にあたって	小川 裕紀	〃	〃	若杉窯再考—八幡若杉窯から若杉窯を考える—	藤田 邦雄	〃	〃
総論 日本の中世陶器	井上喜久男	〃	〃	九谷焼生産技術の系譜—窯構造からみた—	野上 建紀	〃	〃
東山焼 染付山水図 獸耳花瓶	梶山 博史	〃	664	口絵 三彩蔵骨器	森田 稔	日本歴史	717
兵庫陶芸美術館企画展 再発見!五陶地のやきもの—丹波・但馬・摂津・播磨・淡路—	〃	〃	〃	日本美術のスズメ 今月の逸品 色絵牡丹文変形皿(鍋島)	関戸 史子	美術の窓	294
重要文化財 鉄絵松樹文大皿(絵唐津)	大橋 康二	〃	666	古九谷様式・仁清焼・乾山焼の需要者—売立目録に基づく試論—	梶山 博史	兵庫陶芸美術館研究紀要	3
「松の絵大皿」の陶片	溝口 虎彦	〃	〃	永楽了全・保全の作陶について—交趾写を中心に—	清水 実	三井美術文化史論集	1
佐賀県立九州陶磁文化館「土の美 古唐津—肥前陶器のすべて—」展より	大橋 康二	〃	〃	新収品紹介 色絵翡翠図平鉢	今井 敦	MUSEUM	616
福岡市美術館「九州古陶磁の精華—田中丸コレクションのすべて—」展より	尾崎 直人 後藤 恒	〃	〃	古陶随伴録	三好 一	目の眼	
伝世品・窯跡・消費地跡をつなぐ「印花文」について(一)、(二)	東中川忠美	〃	666、667	55 江戸末期 近江日野町のやきもの 正野友斎焼と仁山焼			376
近江やきものがたり(一)~(四)	滋賀県立陶芸の森	〃	666~669	56 初午のやきもの			377
岐阜県陶磁資料館 秘蔵の華 桃山陶展	福井 沙織	〃	666	59 函館焼と荻之島焼			380
色絵牡丹散文十六角鉢(金欄手様式)	長谷川祥子	〃	667	60 続・函館焼			381
静嘉堂の肥前磁器コレクションについて—「岩崎家の古伊万里—華麗なる色絵磁器の世界—」展によせて—	長谷川祥子 山田 正樹	〃	〃	61 希有なやきもの達			382
飴釉仏花器	山下 廣幸	〃	669	65 希有の焼物 源氏物語一千年紀ゆかりの石山寺御庭焼・京の可亭焼・大阪の残夢焼			386
日仏交流一五〇周年記念展「薩摩焼—四百年の伝統とバリエーション—」について	〃	〃	〃	66 伊勢のやきもの 陳明焼・久居焼・錦花山・菰山焼			387
永楽和全と加賀のひとびと	中矢 進一	〃	〃	第二特集 誇りと情熱のコレクション 戸栗亨氏蒐集の鍋島焼を見る	編集部	〃	376
				物に執して 一〇四	鈴木 皓詞	〃	377

特集 お宝考 やきものが「宝」になるまで	花井 久穂	目の眼	378
特集 伊万里のみかた～古美術商に教わる17世紀の百年		"	381
第二特集 15年目の姫谷焼～備後に伝わる初期色絵磁器	編集部	"	"
特集 古唐津 肥前陶器に流れる唐津の血脈 土の美 古唐津—肥前陶器のすべて—	家亜 淳一	"	385
故郷に錦 横浜の陶磁器「ハマヤキ」	渋谷 和彦	産 経	5.12
古伊万里に影響 北斎漫画の粹	宮川 匡司	日経夕刊	1.7
朝 鮮			
高麗茶碗考—古田織部が好んだ造形—	中路のぶ代	帝塚山大大学院紀要*	10
韓国陶磁つれづれ私記(七)～(一八)	吉良 文男	陶 説	658～664、666～669
重要美術品 御所丸茶碗黒刷毛目	山田 正樹	"	660
青磁象嵌牡丹文扁壺	松浦 萌子	"	663
二つの高麗青磁手箱をめぐって	川島 公之	"	"
高麗美術館コレクション名品展「朝鮮の美術工芸—高麗青磁を中心に」によせて	松浦 萌子	"	"
大阪市立東洋陶磁美術館・テーマ展「天にささげる器—朝鮮時代の祭器—」展によせて	片山 まび	"	"
学会彙報 韓国で催されたいくつかの展覧会について	吉良 文男	東洋陶磁	37
そ の 他			
バーミヤーン出土のイスラム陶器	佐々木達夫 佐々木花江 野上 建紀	金沢大学考古学紀要	29
東イランのイスラム陶器—呼継された1例—	巽 善信	"	"
イランやきもの紀行(四)～(七)	森 達也	陶 説	661～664
煌めきのペルシア陶器	岡野 智彦	"	663
青釉四耳壺	徳留 大輔	"	668

平山郁夫シルクロード美術館コレクション49 ミナイ手騎馬人物文鉢	平山美知子	美術の窓	303
----------------------------------	-------	------	-----

第二五九回水曜講演会 「陶磁の道」を訪ねて—伊万里・芙蓉手・マルタパン・安南—	坂井 隆	出光美術館館報	145
---	------	---------	-----

土 器

東 ア ジ ア

土器生産とその組織化 渤海から女真への展開プロセス	中澤 寛将	アジア遊学	107
---------------------------	-------	-------	-----

中 国

三国～西晋時代の神亭壺にみる仏像と成立の背景	金子 典正	仏教芸術	297
------------------------	-------	------	-----

中国北齊時代の俑に見る二大様式の成立とその意義—鄴と晋陽—	小林 仁	"	"
-------------------------------	------	---	---

日 本

鈴木孝志氏による花泉町寺場遺跡採集資料紹介～大木2a式期の土偶と伴出資料～	高木 晃	岩手県立博物館研究報告	25
---------------------------------------	------	-------------	----

資料紹介 陶邑窯跡群TK230—I号窯出土須恵器 泉北考古資料館企画展『平安時代の須恵器—陶邑に白煙が絶えるころ—』の展示資料		大阪府教委文化財調査事務所年報*	12
---	--	------------------	----

初現期の弥生土器における接合剥離資料—粘土紐積み上げによる土器成形技法の復原—	中尾 智行	大阪文化財研究	33
---	-------	---------	----

大阪府山賀遺跡出土土器および関連資料の胎土分析	中園 聡 松本 直子 向井 妙 別所 秀高	"	"
-------------------------	--------------------------------	---	---

三宅西遺跡出土百済系土器について	清水 梨代	"	"
------------------	-------	---	---

故武田宗久氏保管遺物(武田宗久コレクション)の紹介(1)	長谷川 陽	貝塚博物館紀要	35
------------------------------	-------	---------	----

宮ノ台式土器の研究(6)	弥生時代研究プロジェクトチーム	かながわの考古学	13
--------------	-----------------	----------	----

神奈川県における製作地推定のための胎土分析の基礎的研究—相模川・境川上流域の縄文土器を中心に—	松田光太郎	"	"
---	-------	---	---

資料紹介 八幡図書館寄贈資料 八王寺志摩村山古墳出土資料の紹介	宮元 香織	北九州自然史歴史博報告*	5	近畿地方の様相	中村 健二		
浅間山を廻る縄文土器—群馬県における郷土式土器について—	関根 慎二	群馬県埋文調査団紀要*	26	東海地方の様相	永井 宏幸		
群馬県南部鐺川下流域における後期弥生土器編年について	大木紳一郎	〃	〃	大井窯跡群採集資料の紹介(上)—ババタケ窯跡・岩汐窯跡・寺尾窯跡—	岡田 裕之	古代文化研究	16
群馬県出土の二重口縁壺	新山 保和	〃	〃	中耕・広面遺跡墳墓群と供献土器(1)	石坂 俊郎	埼玉県立史跡の博物館紀要	2
研究ノート「円形竹管文」の再検討—今井道上II遺跡および荒砥北三木堂II遺跡出土土器の観察から—	原 雅信	〃	〃	稲荷山古墳出土土器の器種構成と出土位置に関連して	杉崎 茂樹	〃	〃
資料紹介 群馬県利根郡川場村出土の人物形土器について	諸田 康成 水田 稔	〃	〃	松本平の人面裝飾付土器	小松 学	塩尻市立平出博物館紀要	25
縄文土器底部の「敷物圧痕」について	松永 篤知	考古学雑誌	92-2	高島市今津町弘川 B 遺跡出土の縄文土器—滋賀県域における縄文時代中期末の様相の理解にむけて—	小島 孝修	滋賀県文化財保護協会紀要	21
西日本における突帯文土器文化の成立過程	千 羨幸	〃	92-3	駿府のかかわりに関する予察	河合 修	静岡県埋文研紀要*	14
古代における土器の再利用—灯火具を中心とする様相—	坂野千登勢	〃	92-4	下関市前勝谷古墳出土の須恵器—資料紹介—	澤下 孝信	下関市立考古博物館研究紀要	12
弥生中期・栗林式土器編年の再構築と分布論的研究 弥生交易論の可能性を視野に入れて	馬場伸一郎	国立歴史民俗博物館研究報告	145	人面墨書土器の「人面」に関する一考察	早川 康志	駿台史学	133
「弥生文化のはじまり」をめぐる『型式論』のためのノート(4)—	大井 晴男	古代文化	571	研究ノート 関東・東北における弥生時代中期の顔面画土器	石川日出志	〃	〃
近畿地方におけるアカホヤ前後の縄文土器付着炭化物の年代測定—滋賀県米原市入江内湖遺跡の東海系土器群を中心に—	遠部 慎 小林 謙一 宮田 佳樹	〃	〃	東京国立博物館コレクションの紹介2 塩野コレクション	望月 幹夫	東京国立博物館ニュース	689
特輯 縄文文化の終焉—関西地方における凸帯文土器の終末—		〃	574	藤本観音山古墳の位置付け—土師器からの検討—	鈴木 芳英	とちぎ埋文センター紀要*	16
特輯に寄せて	中村 健二			研究報告 平城宮土器大別の検討(1)—前半期 SD8600 出土土器を中心に—	川越 俊一 渡邊 淳子 西口 壽生	奈良文化財研究所紀要	2008
刻目突帯文土器に見る北九州的要素の波及について	宮地聡一郎			12世紀の二つの都市—平泉末期と鎌倉初期の遺物様相—	鈴木 弘太	平泉文化研究年報	8
中国地方東部の凸帯文土器と地域性	濱田 竜彦			釣手土器の誕生	蜂屋 孝之	平出博物館ノート	22
東部瀬戸内・紀伊水道沿岸地域における凸帯文土器—徳島地域を中心に—	中村 豊			古式弥生土器群の検討—府中市低地遺跡出土資料について—	湯瀬 禎彦	府中市郷土の森博物館紀要	21
				北上川中流域における晩期縄文土器文様割付の研究—晩期中葉を中心に—	市川 健夫	文化	382・383 (72-1・2)

尾崎遺跡における古墳時代後期の須恵器—いわゆる美濃系蓋坏を中心として(尾崎遺跡発掘調査報告書 補遺)—

藤村

俊

美濃加茂市民ミュージアム紀要 7

西日本沈線文系土器集成III

幸泉

満夫

山口県立山口博物館研究報告 34

山口県熊毛郡田布施町御蔵戸古墳群出土の陶質土器(初期須恵器)について

三吉

幸泉

秀充

満夫

山口県立山口博物館研究報告

朝鮮・その他

作品紹介 新羅印花文土器三例

宮川

禎一

学 叢 30

ナール式土器とその意義—岡山市立オリエント美術館所蔵資料の紹介を兼ねて—

小茄子

川歩

岡山市立オリエント美術館研究紀要 22

コート・ディジー式土器とハラッパー式土器—ハラッパー式土器の起源に関する一考察—

〃

古代文化 573

研究ノート インダス文明社会の成立と展開に関する一考察—彩文土器の編年を手掛りとして—

上杉

彰紀

西アジア考古学 9

イラン北部における青銅器時代から初期鉄器時代への移行—ノールズ・マハレ遺跡下層出土土器を中心に—

有松

唯

オリエント 50-2

研究発表要旨 イラン、デラマン地域の土器編年—ポスト・アケメネス朝期〜アルサケス朝期

〃

〃 〃

前3千年紀末から前2千年紀初頭の北メソポタミア—サラーサートI号丘第III層出土土器の再検討—

木内

智康

西アジア考古学 9

ミネト・エル・ベイダ出土新資料の考古学的検討—埋葬遺構の年代考察を中心に—

長谷川

敦章

オリエント 50-2

平山郁夫シルクロード美術館コレクション45 人物装飾土器

平山

美知子

美術の窓 299

瓦

中国

ギャラリー『萬歳』二字瓦当 漢時代

木

雞

室 墨 190

第2特集 軒先の福音—中国古代瓦当の世界—

編集部 目の眼 380

日本

猿投窯型瓦塔の展開(1)—信濃の猿投窯型瓦塔—

永井

邦仁

愛知県埋文センター紀要* 9

資料紹介 石山寺知足庵コレクション(古瓦・古瓦譜)について

青山

均

大津市歴史博物館研究紀要 15

復元 岡山城の金箔瓦

乗岡

実

岡山びと* 3

神奈川県における集落遺跡出土の瓦の様相

奈良・平安時代研究プロジェクト チーム

かながわの考古学 13

御幸煉瓦製造所について

坂上青木 克弘 祐介 晋介

川崎市市民ミュージアム紀要 20

住谷コレクション瓦類の基礎調査について

杉山 秀宏 高井 佳弘

群馬県立歴史博物館紀要 29

平城京造営時における瓦生産

奥村 茂輝

考古学雑誌 92-4

武蔵国形成過程の構造—8世紀の郡家の瓦を中心に—

赤熊 浩一

埼玉県埋文調査団紀要* 23

安土城跡出土役瓦について

仲川 靖

滋賀県安土城郭調査研究所研究紀要 13

鬼瓦百選(六十)〜(六十九)

小林 章男

史迹と美術 781〜790

平塚市域出土古代瓦の出土状況についての覚書

若林 勝司

自然と文化 31

常陸国那賀郡衙周辺における瓦倉の造営—対蝦夷政策に伴う兵站基地の荘厳化—

川口 武彦

地方史研究 335

10世紀後半から11世紀中頃にかけたの造瓦の一端

鈴木 久史

帝塚山大学院紀要* 10

茨城県水戸市大串遺跡第7地点出土文字瓦の検討—海の見える丘の正倉院の瓦倉—

木本 挙周

〃 〃

軽寺の創建年代と造営氏族

寛 和也

〃 〃

館蔵品にみられる法隆寺式軒瓦の覚え書き

太田 三喜

天理参考館報 21

多賀城政庁の建物塗装—赤色顔料付着の軒平瓦から—

高野 芳宏

東北歴史博物館研究紀要 9

横置型一本作り軒丸瓦の諸技法とその年代 梶原 義実 名古屋大学文学部研究論集 161

初期斑鳩文化圏の成立と韓半島の要素 森 郁夫 奈良学研究 10

出土瓦からみる平安時代以降における中宮寺の造営 木本 挙周 " "

東大寺千手堂跡の古瓦 平松 良雄 南都仏教 92

瓦塔の景観と滅罪の信仰—瓦塔が建てられた景観と経典との関連を中心に— 笹生 衛 東アジアの古代文化 136

朝鮮

高句麗古墳における瓦磚使用の方法とその意味—新出瓦当銘の検討から— 門田 誠一 古代文化 574

百濟漢城時代の軒丸瓦 梁 淙鉉 帝塚山大学院紀要* 10

研究報告 高句麗瓦編年に関する二、三の問題 千田 剛道 奈良文化財研究所紀要 2008

金 工

中 国

新発見の「永昌通宝」について 益井 岳樹 青山史学 26

地金の組成による古代中国貨幣の分類 佐々木 整 岩手県立博物館研究報告 25

戦国期三晋地域における貨幣と都市—方足布・方足布を中心に— 矢沢 忠之 古代文化 574

宋銭の裏表 梅原 郁 古文化研究 8

中国古代印章に見られる駝紐・馬紐の形態について—中国古印章2・付編— 大塚 紀宜 福岡市博物館研究紀要 18

東京国立博物館所蔵の半両銭・五銖銭鑄型三点—石范と銅范の製作に関する研究ノート— 谷 豊信 MUSEUM 614

日 本

古墳時代の鉄鐸について 早野 浩二 愛知県埋文センター紀要* 9

秋田県内出土手取釜の二例—秋田市飯島穀丁出土の保存処理鉄器をふくむ— 庄内 昭男 秋田県立博物館研究報告 33

古代の鑄銅 古尾谷知浩 名古屋大学文学部研究論集 161

海を渡った古代日本の銭貨 江草 宣友 東アジアの古代文化 136

平泉文化と北方交易2—擦文期の銅鏡をめぐって— 関根 達人 平泉文化研究年報 8

鑄物が刻む歴史探訪 社寺に伝わる灯籠や鐘を調査、記録を本にまとめる 大津 和弘 日 経 1.17

奈文研調査 和同開珎に量産工程 平城京で原型、地方へ 林 由紀子 毎日夕刊 12.24

朝鮮・その他

特集 文化交流の古代史 百濟王興寺木塔址一括遺跡の性格と意義 李 漢祥 東アジアの古代文化 136

平山郁夫シルクロード美術館コレクション38 鍍金銀製水差 平山美知子 美術の窓 292

MIHO MUSEUM 所蔵“古代バクトリア遺宝”の銀器について2 稲垣 肇 MIHO MUSEUM 研究紀要 7・8

研究ノート イラン、カスピ海南西岸域における鉄器時代移行期の様相—触角状突起付青銅剣身の分析を中心に— 有松 唯 西アジア考古学 9

MIHO MUSEUM 所蔵BMAC様式銀製杯について1—古代の星空からの考察— 稲垣 肇 MIHO MUSEUM 研究紀要 7・8

第2特集 リュトン—聖獣の酒器— 編集 部 目の眼 383

鏡

中 国

漢鏡2期における華西鏡群の成立と展開 岡村 秀典 東方学報京都 83

研究ノート 中国の銅鏡紹介—浙江省蘇州・虎丘雲岩寺塔出土— 瀧 朝子 美のたより 161

中国の銅鏡鑄型 材質強化の砂粒なし中に気泡、ひび割れ防ぐ? 日経夕刊 2.13

日 本

資料紹介 岡山県指定重要文化財「三角縁二神四獣鏡」について 柳瀬 昭彦 岡山県立博物館研究報告 28

三角縁神獸鏡の製作技術について—同范鏡番号6鏡群の場合—
藤丸詔八郎 北九州自然史歴史博報告* 5

多鈕細文鏡の型式分類と編年
宮里 修 考古学雑誌 92-1

三角縁神獸鏡の生産とその展開
岩本 崇 " 92-3

奈良時代の鏡の用例とその典拠について—『陀羅尼集経』を対象として—
服部 敦子 帝塚山大学大学院紀要* 10

朝鮮

国際研究集会の研究報告 高麗時代の鏡像に関する一考察
瀧 朝子 鹿嶋雑誌* "

青銅器

中国

館蔵中国青銅器実測図・拓本選
徐 天進 出光美術館館報

11 饗養文有蓋觶 142

12 饗養文觶 143

13 饗養文角 144

14 饗養文方鼎 145

中国古代の青銅器生産
岡村 秀典 国学院雑誌 1219

饗養紋紙
谷 豊信 国 華 1354

遼東の遼寧式銅剣から弥生の年代を考える
宮本 一夫 史 淵 145

中国古代初期銅器と青銅器起源に関する若干の問題
白丹羽 雲翔 シルクロード学研究 29

中国西北地域における銅器・青銅器の出現過程—新石器時代から二里頭併行期を中心に—
佐野 和美 " "

二里頭文化銅器の出現と中国初期青銅器—中原と周辺における青銅器の比較から—
陳松本 国梁 圭太 " "

長城地帯の初期青銅器集成
宮本 一夫 佐野 和美 圭太 " "

エルミタージュ美術館所蔵ミヌシンスク地方の青銅器
宮本 一夫 " "

外モンゴルの青銅器 " " "

中国初期青銅器文化における北方青銅器文化 " " "

中国と東南亜細亜水牛像の文化に就いて—古代美術に於ける水牛と牛の研究(1)—

ラブチュエフ・セルゲイ MIHO MUSEUM 研究紀要 7・8

日本

二丈町の弥生時代遺物—特に青銅利器、農耕具を中心として—
藤島 志考 七隈史学 10

銅鐸のまつりと信濃
三木 弘 平出博物館ノート 22

表紙解説 島根県加茂岩倉遺跡出土銅鐸
石橋 茂登 文化財* 537

西アジア

短報 中近東文化センター附属博物館の古代ペルシアの青銅製鈴
小坂橋又久 オリエン ト 50-2

刀剣・刀装・槍

日本

刀匠と法華信仰—法華一乗派を中心として—
柴田 章延 印度学仏教学研究 116

資料紹介 須賀宏文 刀剣コレクション(その2)
佐藤 寛介 岡山県立博物館研究報告 28

高松市茶臼山古墳出土鉄製品の基礎的研究
松本 和彦 西澤 昌平 杉山 和徳 香川県歴史博物館調査研究報告 4

研究報告 古墳時代刀剣の変遷に関する覚書
橋本 英将 元興寺文化財研究所研究報告 2007

上野国権田の刀鍛冶—権田鍛冶の活動とその性格—
平野 進一 小山 友孝 群馬県立歴史博物館紀要 29

古代装飾付大刀の政治的役割
福島 雅儀 考古学雑誌 92-2

奈良平安時代の儀仗剣
猪熊 兼樹 国 華 1353

第二十七回史学会大会報告 古墳時代前・中期の刀剣装具—鹿角製刀剣装具製作技法を中心に—
長友 信 史 友 40

特集陳列「平成19年度新収品」重文 雨下猛虎図鐸 奈良利寿作
原田 一敏 東京国立博物館ニュース 689

名刀鑑賞 刀剣美術

重要文化財 銘 来国光 太刀 田野辺道宏 解説 612

太刀 銘 末行 厳島神社蔵 " 613

重要刀剣 刀 銘 兼元	〃	614	165 牧童			619
特別重要刀剣 脇 指 銘 伊賀守金 道	〃	615	166 巢父			620
特別重要刀剣 刀 銘 肥前国住陸奥 守忠吉	〃	616	167 繋ぎ牛			621
特別重要刀剣 脇 指 銘 武蔵大掾 藤原忠広・此忠広 埋忠明寿弟子	〃	617	168 関羽と張飛			622
特別重要刀剣 太 刀 銘 備中国青 江住右衛門太郎貞 次	〃	618	169 黄初平(留守 模様)			623
刀 銘 備前国住 長船与三左衛門尉 祐定作 天文二二 年八月吉日	檜山 正則 解説	619	助広のそぼろ考	江住 有俊	〃	612
刀(金象嵌銘) 正 宗 スリ上 本阿 (花押)(光室)	〃	620	重要刀装具	小林 暉昌 解説	〃	
重要文化財 太刀 銘 長光(附)寛文 九年本阿弥光常代 三百五十貫折紙 植村(上村)家由緒 文書	〃	621	巖上の鷹図大小鐔 大小銘 寿岳斎 石黒政美(花押)			613
重要美術品 太刀 銘 吉包	〃	622	猛虎図鐔 銘 一 行斎 篤興製			615
刀 銘 津田越前 守助広 延宝九年 八月日	〃	623	達磨大師図小柄 銘 安親			616
勸進帳図鐔 銘 左 京人夏雄	小林 暉昌 解説	612	猿・獅子・虎図小 柄 銘 紋祐乗 紋宗乗/紋乗真 光寿(花押)			617
資料紹介 伊予正阿 弥について一新発見 「龍図縁頭」と文献資 料から	亀山 敏一	〃	貝尽し図鐔 銘 藻柄子喜多河入道 宗典製(花押) 江 州彦根中蔵住			618
刀装・刀装具初学教 室	福士 繁雄	〃	大日如来図鐔 銘 岩本昆寛(花押)			622
158 江戸赤尾系		〃	特別重要刀装具	〃	〃	
159~169 長州鐔		613~623	弓矢八幡運有天文 字鐔 銘 信家			619
刀装具の画題	〃	〃	柳樹白鷺図鐔 銘 庚申季秋 夏雄			623
158 松竹・梅樹		612	本部定例鑑賞会一月 ~七月、九月、十月		〃	613~619、 621、622
159 群千鳥/網 干・群千鳥		613	改訂増補 日本古刀 史(52)	日本古刀 本間 順治	〃	613
160 釜洗い・親 子雉子		614	輪宝透鐔 無銘 古 正阿弥	小林 暉昌 解説	〃	614
161 富士二題		615	「坂内の鉄」について の一考察	市橋 昇	〃	〃
162 芦雁・竹に 鯉		616	長船刀工と美濃刀工 一官職銘にみる性格 の相違とその背景	日野原 大	〃	616
163 玉堂富貴と 四君子		617	「水戸刀」覚え書 続 一藤田幽谷と宮本左 一郎について(上)、 (下)	宮本 三郎	〃	617、618
164 葉玉		618	翁三番叟図縁頭 銘 尾崎直政(花押)	小林 暉昌 解説	〃	620
			仙台藩刀匠考	佐藤 一典	〃	
			(九)二字銘「家定」 作の槍によせて		〃	

(十) 双龍子父子の研究(続二)一里帰りした双龍子父子の作刀についてその二			620						84 唐草の一変形波に丁子菊散図鐔古金工 室町時代前期、唐草文図鐔平田彦四郎道仁 桃山時代	381
(十一) 刀工「葉山丸」(続)			623						85 美濃彫表現による三猿図 三猿図小柄 古美濃室町時代、猿猴図目貫 大森英満 江戸時代後期	382
七薰花図三所物 小柄 銘 緋雲舎一匠 中川勝実(花押) 算銘 忍岳麓音無川辺一匠 中川勝実(花押) 目貫 割際端銘 中川一匠・中川一匠	小林 暉昌 解説	刀剣美術	621						86 古典文学の文様化 雲手八橋透図鐔 林又七 江戸時代初期	383
『銘尽秘伝抄』について	奈良原和夫	"	622						87 平象嵌の進化 西王母小柄 加納夏雄 江戸時代後期	384
研究余録 山岡鉄舟と名刀「武蔵正宗」	アンシン・アナトーリ	日本歴史	722						88 逆耳仕立ての筭 梅花に千鳥文 古金工 南北朝時代	385
八戸市丹後平古墳群出土刀剣類の刀装構造と地金の組成に基づく分類	赤沼 英男 佐藤 矩康	八戸市博物館研究紀要	22						89 桃山期の心象風景鐔 秋野に鬼図鐔 平安城象嵌 桃山時代	386
伝瓢塚出土環頭の由来	岡本 一秀	兵庫県立考古博物館研究紀要	1						90 親子の景色 親子虎図目貫・親子鶏図目貫 一宮長常 江戸時代中期	387
多気町相可 立岡山・明気丘陵の古墳出土資料について	山中由紀子 大川 操	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	17-1						特集 日本刀をみる～再刃の見分け方 再刃(焼直し)を見分ける十二のポイント	383
古墳出土の鉄刀・鉄剣の柄巻きと鞘巻き一織物などの種類と仕様	沢田むつ代	MUSEUM	617						その他	
装剣小道具の世界	善財	目の眼							国際刀剣研究一刀剣鑑定の意味と可能性	619
79 安親の山水図 李白観瀑図鐔・楼閣山水図鐔 土屋安親 江戸時代中期			376						シュテファン・メーダ	刀剣美術
80 笑顔の福神 福神相撲図目貫 後藤宗乗 室町時代後期、二福神図鐔 打越弘寿 江戸時代後期			377						染織・服飾	
81 蝦夷金具の魅力 野瓜図目貫・耳長鬼図目貫 室町時代			378						中国	
82 根曳きの植物 山葵図筭 古美濃室町時代初期、大根図筭 後藤宗乗 室町時代後期			379						金糸織物の発展一特に「納失失」について	坂本 和子 古代オリエンタ博物館紀要
83 三国志演義より 草廬三顧図鐔 橋部正貞 桃山時代			380						中央アジア出土の唐代胡服	道明三保子 " "
									妻沼郷聖天寺の寺宝一「紵絲斗帳」八代將軍上覧の経緯	大山 雄三 埼玉史談
									平山郁夫シルクロード美術館コレクション	平山美知子 美術の窓
									39 紫地花兎金襴	293
									41 龍袍	295

日 本

徳川将軍家の装束資料—高倉家伝来遺品を中心に—	並木 昌史	金鯉濃書*	34
雁金屋御絵帳(万治四年・寛文三年)の研究(二)一下前図復元と背・上前・下前連結図—	塚本 瑞代	群馬県立女子大学紀要	29
装束からみた天皇の人生	近藤 好和	国立歴史民俗博物館研究報告	141
平安時代前期服飾復元の可能性—考証の方法と男子装束の復元—	津田 大輔	古代文化研究	16
黄地亭に松梅牡丹紋紅型胴衣	石井 りえ	国 華	1352
緯あやぬ中 緋衣装	"	"	"
古代織物の織技の研究について—正倉院の錦を中心に—	尾形 充彦	正倉院紀要	30
平常展見どころ案内2008年12月・2009年1月 重文 厚板金紅片身替詩歌模様	小山弓弦葉	東京国立博物館ニュース	692
研究余録 身分標識としての奴婢の服色	神野 清一	日本歴史	723
備前池田家伝来の刺繍桐文様小裂十九枚について	宮尾 素子	林原美術館紀要・年報	2
「江戸時代の小袖に関する復元的研究」について—関学アート・インスティテュートの研究から(III)—	河上 繁樹	美学論究	23
貞享・元禄期の友禅染について	高木香奈子	"	"
平成十九年度例会研究発表要旨 天寿国繡帳の原形と画題について	三田 覚之	美術史	164
天寿国繡帳の原形と主題について	"	"	"
桃山時代の小袖文様における文芸性について—《練緯地片身替四季草花文様縫箔》(The Art Institute of Chicago蔵)から—	山内麻衣子	"	165
第六十一回全国大会研究発表要旨	"	"	"
近世初期における小袖意匠—近世初期風俗画を中心に—	末久真理子		

伝徳川家康所用「白練緯地松皮菱竹模様小袖」について—近世染織史における位置付けをめぐって—

福島 雅子

技法から見た天寿国繡帳

三田 覚之

フィロカリア 25

特集 江戸時代・新風景 第三展示室リニューアル 蝦夷錦とは何か—本館所蔵の蝦夷錦の紹介をかねて—

澤田 和人

歴 博 149

そ の 他

サミット(綾地緯錦)論考

横張 和子

古代オリエンツ博物館紀要 28

漆 工

中 国

平常展見どころ案内2008年2月・3月 重文 龍涛螺鈿菱花盆

三笠 景子

東京国立博物館ニュース 687

日 本

蒔絵技法から伏彩色螺鈿技法への移行—一九世紀前半における「長崎青貝細工」の制作について

中尾 優衣

京都国立近代美術館研究論集 1

異国へ贈られた漆器 天正遣欧使節の土産物

日高 薫

国立歴史民俗博物館研究報告 140

秋草蒔絵諸本筆筥

小林 優子

国 華 1348

椿梅竹文堆朱盤

福島 修

" 1349

「蔦細道蒔絵文台・硯箱」について—修理報告をまじえて—

五味 聖

三の丸尚蔵館年報・紀要 13

正倉院宝物の螺鈿技法に関する知見について

北村 昭斎

正倉院紀要 30

原羊遊斎の蒔絵盃と古河藩

高尾 曜

泉 石 8

第五十九回美学会全国大会報告 発表要旨 法隆寺・玉虫厨子絵—絵画表現から読む工人問題への一考察—

長谷川智治

美 学 233

朱漆の食器をめぐって—くらしを彩る工芸—飲食器・装身具・文房具—展によせて

宮崎 もも

美のたより 163

縄文文化の透かし模様入り漆櫛とその技術

小林 幸雄

北海道開拓記念館研究紀要 36

資料紹介 紀州徳川家旧蔵「堆黒雲龍文合子」について	小林 祐子	三井美術文化史論集	1
口絵写真解説 仲間あさと原の印部土手	佐伯 信之	よのつち*	4
那覇士族の仕事と漆器—親見世日記より—	岡本 亜紀	"	"

石 工

日 本

備前藩御用石工の系譜と石工集団	根木 修	岡山ひと*	3
京都本法寺内所在の本阿弥家墓石について	古川 元也	神奈川県立博物館研究報告	34
神奈川県内の「やぐら」集成(6)—「やぐら」出土遺物の分析(2)—	中世研究プロジェクトチーム	かながわの考古学	13
倭王権と石製模造品	田中 大輔	国学院雑誌	1219
表紙写真解説 石造供養塔(本市市児玉町秋山直正寺)	四方田 悟	埼玉史談	293
深谷市国済寺中世石塔の調査(三)	青木 忠雄	"	294
表紙写真解説 胎蔵界大日種子板碑断片(吉見町今泉・金剛院)	四方田 悟	"	295
口絵写真説明 唐獅子の乗った庚申塔	門間 勇	"	"
徳源院京極家墓所宝篋印塔群の基礎装飾文について—中世の石塔における装飾文の類型化の試み—	上垣 幸徳	滋賀県文化財保護協会紀要	21
甲賀の石工についての研究ノート	田井中洋介	滋賀県立安土城考古博物館紀要	16
板碑の分類について	片岡 晋祐	史迹と美術	785
宮城県の板碑分布数	石黒伸一朗	"	"
徳本行者の相模化益とその名号塔	妹尾 親司	自然と文化	31
大雄山最乗寺参道の二十八宿道標について(1)～現況調査報告を中心に～	平塚市博物館 星まつり会	"	"
板倉跡から掘り出された板碑—藤懸静也旧宅地内出土板碑覚書—	鶴見 貞雄 泉	石	8

古河公方の墓所・石塔について	小高 春雄	"	"
東照宮の手水鉢 追補	嘉津山 清	大 日 光	78
資料紹介 福岡県糸島郡二丈町千人塚の中近世石造物	西野 元勝	七隈史学	10
糸島郡域における中世石塔の展開	山内 亮平	"	"
寺院の調査—甲山八十八箇所	井田 善久 ほか	西宮歴史調査団年報	2006年度
参宮常夜燈後補記録(前篇)	荒井留五郎	瑞 垣	209
資料紹介 戸田市美女木のウハッキュウについて—平成十九年五月二十日の見学によせて—	吉田真理子	武 蔵 野	346
文書館収蔵の拓本資料—林家の板碑拓本の紹介—	諸岡 勝	文書館紀要	21
東京都鶴の木光明寺遺跡出土板碑の変遷	村山 卓	立正史学	104

そ の 他

ネパール密教のマンダラ	立川 武蔵	叡山学院研究紀要	30
インダス文明の腐食加工紅玉髓製ビーズと交易活動	小磯 学	古代文化	573

石 器

日 本

私部南遺跡出土石材の検討—2004年度調査を中心として—	後川恵太郎 小倉 徹也	大阪文化財研究	33
下呂石原産地湯ヶ峰の近隣における石器生産の様相～下呂市三ツ石遺跡採集資料より～	長屋 幸二	岐阜県博物館調査研究報告	29
研究ノート 日本列島における擦切技法の導入をめぐる	藤山 龍造	古代文化	573
島根県の縄文時代祭祀遺物集成	深田 浩 久保田 陽介 稲田	古代文化研究	16
資料紹介 丁ノ町・妙寺遺跡の蛇紋岩製石斧	田中 元浩	和歌山県文化財センター年報	2007
資料紹介 徳蔵地区遺跡出土黒曜石の産地分析	佐伯 和也	"	"

そ の 他

インダス文明形成過程の石器技術体系—石材資源開発と石器製作技術を中心に—

野口 淳 古代文化 573

ヨルダン南部ジャフル盆地におけるジャフル石刃製作址とジャフル石刃製作技術の研究

安倍 雅史 岡山市立オリエンタル美術館研究紀要 22

研究ノート 石器製作から見た専門化の発展—レヴァント地方南部、前期青銅器時代を事例に—

〃 オリエンタル 51-1

木 竹 工

日 本

資料 南部柁の所在確認調査結果について

澤藤 悦子 計量史研究 34

アイヌ文化の棒酒箸について—樹種選択を中心に—

清水 香 国学院雑誌 1215

法隆寺の柁の諸相とその意義—「平成二十年春季法隆寺秘宝展」を拝見して—

河野 昭昌 聖 徳 198

鳥浜貝塚の草創期木製品について

櫛部 正典 福井県立若狭歴史民俗資料館館報 H19年度

古墳時代機織研究の新展開

穂積 裕昌 三重県埋蔵文化財センター研究紀要 17-1

静岡市杉ノ畷古墳出土木棺の研究

岡林 孝作 慎重義裕明 MUSEUM 614

特集 古楽器 大名家が伝えた式楽文化の結晶 意匠と音色に込められた音の文化史

並木 昌史 目の眼 387

歴史の証人 写真による収蔵品紹介 小さな竹片ながら—歴博所蔵の夾竿について—

新谷 尚紀 歴 博 148

ガラス工

中 国

第二十七回史学会大会報告 中国出土のガラス器—漢代から唐代まで—

白井 寛之 史 友 40

平山郁夫シルクロード美術館コレクション42 鼻煙壺

平山美知子 美術の窓 296

日 本

薩摩切子 紅色菊花文三段重

土屋 良雄 国 華 1353

朝鮮・その他

湖南地方出土の原三国時代外来玉類小考

金 京七 高麗美術館研究紀要 6

古代吹きガラスの実験考古学的研究

島田 守 文化財学報 26

その他の工芸・民具

中 国

現代中国巧芸事情 仲 佑樹 書 道 界

22 湖南省博物館蔵の漢代滑石石雕芸術

221

30 近年西安で出土した漢唐時代の水晶と玉器

229

中国の箔打ち紙とその背景にあるタケ紙について

小林 良生 百 万 塔 129

日 本

資料紹介 池島・福万寺遺跡出土 U字形板状土製品

畑 暢子 大阪文化財研究 33

出土度量衡遺物について—古代上野国を中心に—

神谷 佳明 群馬県埋文調査団紀要* 26

『機訓蒙鑑草』考—江戸からくりにみる機械性と奇術性—

佐藤 美和 芸術学学報 14

輪状式原始機の研究

東村 純子 古代文化 572

東京国立博物館コレクションの紹介 3 アイヌコレクション

日高 慎 東京国立博物館ニュース 691

信濃紙文化史(十)～(十二)

河野 徳吉 百 万 塔 129～131

東南アジア

ラオスのリュトンに関する覚書

巽 善信 天理参考館報 21

都市・建築一般

日 本

平成十八年度第二回愛知県史を語る会 愛知の建造物・戦争遺跡・産業遺産 尾張・三河地方の文化財建造物の特質

杉野 丞 愛知県史研究 12

研究ノート 平安時代における「寄住」概念の再検討—京樂真帆子氏の説をめぐって—

山本 一也 古代文化 573

西 ア ジ ア

研究発表要旨 西アジア古代の建築組積法—とくにドームの系譜と地域性について—

岡田 保良 オリエン ト 50-2

都市・集落

東 ア ジ ア

渤海の遺跡 小嶋 芳孝 アジア遊 学 107

遺跡紹介 " "

上京

"

アニユイ河遺跡群—バラビンカ遺跡—

Yu・M・ワ
シーリエフ
中澤 寛将
訳

日 本

新家遺跡に関する1、2の感想 入江 正則 大阪文化財研究 33

花屋敷遺跡における土器埋納遺構について 湯本 整 " "

近世界の町屋様相の一断章—SKT959地点の調査成果と位置付け(2)— 三木 弘 渡辺 晴香 " "

神奈川における縄文時代文化の変遷VII—後期初頭期 称名寺式土器文化期の様相その3— 文化的様相(1)— 縄文時代研究プロジェクトチーム かながわの考古学 13

上郷岡原遺跡III区建物群の様相—中世〜近世の掘立柱建物跡を中心として— 飯森 康広 群馬県埋文調査団紀要* 26

一支国における南北市耀の様相—原の辻遺跡の調査成果から— 安楽 勉 考古学雑誌 92-2

図版解説 京都市上里遺跡の調査—縄文時代晩期集落跡の調査成果— 高橋 潔 古代文化 574

斎宮跡方格地割に関する二・三の試論 大川 勝宏 斎宮歴史博物館研究紀要 17

藤原京の造営思想と天皇制 小林 茂文 史 学 77-2・3

下川原遺跡の再検討 畑中 下 英二 義信 滋賀県文化財保護協会紀要 21

研究報告 藤原京六条大路の再検討 入倉 小澤 徳裕 毅 奈良文化財研究所紀要 2008

飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 " "

藤原京の調査 右京一条五坊の調査—第149-5次— 番 丹羽 光
高田 崇史
豊島 貫太 直博

藤原京の調査 右京八条二坊の調査—第149-7次— 丹羽 崇史
次山 淳

飛鳥地域等の調査 石神遺跡(第19・20次)の調査—第145次・150次— 小田 裕樹
ほか

飛鳥地域等の調査 山田道の調査—第149-9次— 青木 敬
石田由紀子

平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 " "

左京二条三坊六坪の調査—第420次— 森川 実

右京三条一坊九坪の調査—第428次— 和田一之輔

中世平泉の市街地形成に関する一考察 磯野 綾 日本建築学会計画系論文集 624
土久山本 穂穂明

祇園祭と木戸門の取り外し—江戸時代の京都の木戸門の研究(その4)— 丸山 俊明 " 628

「苑池都市」平泉—浄土世界の具現化— 前川 佳代 平泉文化研究年報 8

平泉の市街地形成—建物軸方向の特徴について— 磯野 綾 " "

柳之御所遺跡堀内部地区の遺構変遷(中間報告 その4)—史跡整備計画との関わりを中心に— 柳之御所遺跡調査事務所 " "

武蔵府中における条里地割の基礎研究 深澤 靖幸 府中市郷土の森博物館紀要 21

平成18年度 埋蔵文化財発掘調査の概要 ふちゅ〜る 16

所蔵資料紹介 牛天神北野神社別当・泉松山龍門寺跡 緊急立会い調査に関わる報告1〜3 加藤 寛子 文京ふるさと歴史館年報 10
ほか

特集「国風文化」を捉え直す 平安京研究の近年の動向—遺跡の調査成果を中心に—

朝鮮

難波宮を中心とする古代都城の比較史的研究 百済の都城・寺院遺跡における近年の調査成果について

山本 雅和 歴史評論 702

李 陽浩 大阪歴史博物館共同研究成果報告書 2

永川・龍田里遺跡が提起する問題

西谷 正 高麗美術館研究紀要 6

その他

研究発表要旨 アケメネス朝ペルシア帝国の大土木事業—南イラン、ボラーギー溪谷とパサルガダエ平原周辺の考古学踏査の成果

西山 伸一
山内 和也 オリエン ト 50-2

内外東方学界消息(百十四) アナトリア考古学の「文化編年」の問題点—カマン・カレホニック発掘調査を通して—

大村 幸弘 東方学 115

研究報告 パーミヤン谷における考古調査—2007年度—

石田 智晋 奈良文化財研究所紀要 2008

ブラサート・スーブラN1塔の構成と技法 アンコール遺跡“ブラサート・スーブラN1塔”の建築技法に関する研究(2)

赤澤 泰武
中川 明則 日本建築学会計画系論文集 628

宮殿・官衙

東アジア

遺跡紹介 上京会寧府址

白杵 勲 アジア遊学 107

中国

北京八景 八 故宫巨龍の城

西村 康彦 芸術新潮 704

日本

大宰府政庁の終焉

杉原 敏之 九州歴史資料館研究論集 33

研究ノート 温明殿から春興殿へ—「毎朝御拜」の反映としての内侍所の移動—

石野 浩司 建築史学 51

温明殿の成立—内侍所奉斎鏡と「璽宮」の関係—

“ 皇学館大学神道研究所紀要 24

飛鳥池工房遺跡にみえる古代国家前期の官営工房の構造と実体

巽 淳一郎 国学院雑誌 1219

講演録 大宰府と筑紫館

重松 敏彦 市史研究ふくおか 3

研究報告 扁額の意匠と構造—平城宮第一次大極殿正殿扁額の復原考察—

山下 秀樹
窪寺 茂
清水 重敦
渡辺 晃宏 奈良文化財研究所紀要 2008

研究報告 胡桃館遺跡埋没建物の部材にみる建築技法

箱崎 和久 “ ”

飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査

“ ”

大極殿院南門の調査—第148次

高田 貫太
青木 敬
豊島 直博
箱崎 和久
松村 恵司

朝堂院東地区の調査—第149-10次

石田 由紀子
青木 敬

平城宮跡等の調査概要 平城宮の調査

“ ”

東方官衙地区の調査—第406・429次

栗野 隆
ほか

東院地区の調査—第421・423次

金井 健
ほか

仁寿殿・紫宸殿・清涼殿の空間構成と儀式—平安宮内裏の空間構成と儀式に関する歴史的研究1—

満田 さおり 日本建築学会計画系論文集 634

発掘素描7 鴻臚館と博多—国際交易都市の黄金時代

中村 俊介 東アジアの古代文化 136

東南アジア

阮朝勤政殿の基壇に関する復原研究

レ・ヴィン
アン 武
中川 信一郎
中沢 英昭 日本建築学会計画系論文集 632

宗教建造物

中国

コラム 南京天界寺の故地

伊藤 幸司 市史研究ふくおか 3

中国宋・元時代の禪宗寺院における衆寮に関する研究

韓 志晩 日本建築学会計画系論文集 626

瑩山紹瑾の永光寺仏殿造営とその意味

野村 俊一 “ ” 629

北京・姚広孝墓塔—歴史と伝説—

松木 民雄 北海道東海大学紀要 20

日 本				法華寺旧境内の調査—第419・426次				次山 淳 森川 正憲 林西口 壽生			
高野山根本大塔の外部荘厳に関する研究—建築荘厳具としての絃楽器—	中安 真理	鹿島美術財団年報・別冊	25	西大寺薬師金堂の調査—第422次	林 正憲						
調査・研究報告 智識寺についての覚書	安村 俊史	柏原市立歴史資料館館報	20	永禄6年と天正13年の式年遷宮について—中世伊勢神宮の造営組織に関する研究その4—	浜島 一成	日本建築学会計画系論文集	627				
特集 鎌倉学 近世鶴岡八幡宮における境内諸堂の様相—下宮廻廊と『快元僧都記』以降の諸相—	浪川 幹夫	鎌倉 倉	105	滋賀県の考古学12 穴太庵寺に関する調査・研究の現状と課題	仲川 靖	人間文化	23				
宝満山近世僧坊跡の調査と検討—山岳寺院の平面構造調査—	岡寺 良	九州歴史資料館研究論集	33	櫛田神社の造営	鳥巢 京一	福岡市博物館研究紀要	18				
古代四天王寺における寺域の再検討	李 陽浩	建築史学	50	崇福寺に関する再検討	中西 常雄	仏教芸術	299				
研究ノート 狩尾社における供え棚と石清水八幡宮の神殿形式	永井 規男	" "	"	特集 円仁と仏教美術 初期比叡山の建築に関する幾つかの課題	藤井 恵介	"	300				
仁治度厳島神社楽屋の復元的研究	山口 佳巳	"	51	濃厚な地方色と装飾の先駆性をもつ社殿—青井阿蘇神社本殿、廊、幣殿、拝殿、楼門—	伊東 龍一	文化財*	538				
奈良県御所市二光寺廃寺の発掘調査	廣岡 孝信	考古学雑誌	92-1	表紙解説 国宝 青井阿蘇神社 本殿、廊、幣殿、拝殿、楼門	武内 正和	"	"				
神社社殿の成立と律令国家	有富 純也	国立歴史民俗博物館研究報告	148	寺院惣社の基礎的研究—平安時代を中心として—(前編)	吉澤 陽	文化史学	64				
神社本殿の分類と起源	三浦 正幸	"	"	資料紹介 重要文化財 福勝寺本堂 木割の考察	多井 忠嗣	和歌山県文化財センター年報	2007				
神社玉殿の起源と特質 安芸国の玉殿を中心として	山田 岳晴	"	"	奇想遺産 正伝寺	松葉 一清	朝 日	10.19				
仁治度厳島神社廻廊の復元的研究	山口 佳巳	"	"	新薬師寺巨大金堂跡 光明皇后建立、大仏殿クラス基壇		産 経	10.24				
安楽寺八角三重塔	濱島 正士	国 華	1351	朝 鮮							
多田神社の建築—幕府造営霊廟を辿る—(上)	加藤 繁生	史迹と美術	790	研究報告 慶州・四天王寺跡の発掘調査	中川 あや	奈良文化財研究所紀要	2008				
初期寺院造営の背景—大和を中心として—	甲斐 弓子	奈良学研究	10	飛鳥寺に先行 百済・王興寺遺跡	渡辺 延志	朝 日	4.16				
研究報告 古代寺院建築における特異な基壇・平面とその構造	清水山下チェン・ゴウ	奈良文化財研究所紀要	2008	東南アジア							
研究報告 境外社の造替と建築形式—出雲大社境外社の調査より—	大林 潤	"	"	研究報告 カンボディア・西トップ寺院の調査—第7次・第8次—	杉山石村森本豊島	洋智晋直博	奈良文化財研究所紀要	2008			
平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査		"	"	研究報告 西トップ寺院の建築調査	島田 敏男	"	"				
興福寺旧境内の調査—第418次	西口 壽生										

バンテアス・スレイ、タ・プロム寺院の木造小屋組に関する復元的考察—クメール建築における木工技術について—	澤田 知香 上野 邦一	日本建築学会計画系論文集	623	島後における中近世城館跡(穩地郡編)	村尾 秀信 上田 律夫 八幡 賢一 常角 敏	隠岐の文化財	25
ベトナム北部における仏教寺院の前堂の変遷に関する一考察	大山亜紀子 重枝 豊 片桐 正夫	"	625	小田原北条氏の築城技法	岩本 誠城	鎌 倉	105
クメールレンガ造建築の構造技術の発展過程と構法上の特徴の解明に関する研究—ブレ・アンコール期からアンコール初頭期(7世紀初頭～10世紀末)のレンガ造遺構の壁部と屋根部を中心として—	チエン・ラ タ 桐 正夫 片桐 重枝	"	627	講演「建築史からみた金沢の伝統技術」	中村 利則	研究紀要 金沢城研究	6
初期クメール複合寺院、プラサート・サンボーの改変	下田 一太 中川 武	"	628	天保年間の金沢城辰巳櫓の再建計画について	木越 隆三	"	"
南 ア ジ ア				埼玉県内城館跡めぐり 1 田波目城(坂戸市多和目城山城跡)	(大)	埼玉史談	292
グジャラート地方沿岸部にみるイスラム教徒のモスクと墓建築	深見奈緒子	シルクロード学研究	30	史料の紹介 佐嘉城跡に残る石垣の確認について	高瀬 哲郎	佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要	3
城 郭				矢穴考 1—観音寺城技法の提唱について—	北原 治	滋賀県文化財保護協会紀要	21
東 ア ジ ア				中世の常陸・下総における城館と拠点形成	宇留野主税	地方史研究	334
ロシア沿海州における金・東夏代の城郭遺跡	木山 克彦	アジア遊学	107	鹿児島(鶴丸)城築城にみる思想—家久の「城認識」と展開を中心に—	徳永 和喜	黎明館調査研究報告	21
遺跡紹介		"	"	朝鮮			
シニェリニコヴォ I 山城の発見と調査	清水 信行			朝鮮後期の国防体制再編における日本城郭—朝鮮の役後の倭城再利用の実相と城郭観—	太田 秀春	朝鮮学報	208
クラスキノ土城の発見と調査	"			百済滅亡前後の戦乱と古代山城	八木 充	日本歴史	722
西古城	小嶋 芳孝			そ の 他			
八連城	"			2007年度 ロシア・クラスキノ土城発掘調査概要報告(遺構編)	クラスキノ土城発掘調査団	青山史学	26
セディフ遺跡群	熊木 俊朗			研究発表要旨 イスラエル国テル・レヘシュ遺跡のケスメト・ウォール	山内 紀嗣	オリエン	50-2
ジャリ城址	臼杵 勲			住宅・館			
西ウスリースク城址・南ウスリースク城址・クラスノヤロフスコエ城址	"			中国			
シャイガ城址	木山 克彦			書房における生活様式と室内意匠について『金瓶梅』にみられる住まいの空間構成に関する研究 その4	藤原 美樹 石丸 進 松本 静夫	日本建築学会計画系論文集	625
ノヴォパクロフカ 2 城址	"						
ニコラエフカ城址	"						
日 本							
名古屋離宮の誕生	石川 寛	愛知県史研究	12				
研究ノート 豊臣期大坂城惣構内の景観	松尾 信裕	大阪城天守閣紀要	36				

日 本

中世府内の大友館考 一府内古図からみた 大友館の所在地およ び規模について	高橋 徹 小柳 和宏	大分県立 歴史博物 館研究紀 要	9
伊豆における北条氏 の館跡について	池谷 初恵	金沢文庫 研究	321
古墳時代の豪族居館 と生産組織	橋本 博文	国学院雑 誌	1219
解体された旧脇本陣 「太田屋旅館」～その 歴史と建物の特徴に ついて～	東海大学羽 生研究室	泉 石	8
旧津山藩主別邸(北 御屋敷・御対面所) の成立と変遷	乾 貴子	津山弥生 の里	15
続統・汐留遺跡に見 る大名屋敷の造成一 脇坂家芝屋敷の形成 と沿岸域造成の模様 相一	石崎 俊哉	東京都埋 文センタ ー論集*	24
飛鳥・藤原宮跡等の 調査概要 飛鳥地域 等の調査 甘樫丘東 麓遺跡の調査一第 151次	豊島 直博	奈良文化 財研究所 紀要	2008
近世初頭の京都にお ける町家土蔵の配置	丸山 俊明	日本建築 学会計画 系論文集	623
京都の町家軒先の 「諸役免除札・寄宿 免許札」	"	"	624
有職故実家松岡行義 の邸宅に関する知識 について	加藤 悠希	"	631
天保9年の御料所巡 見使が休泊に利用し た熊本藩の民家につ いて「御料御巡見 衆御休泊所絵図」の 研究(その2)	岡田 悟	"	632
京都の町家の二階表 における土塗格子開 口の定着	丸山 俊明	"	"
近世京都で隣棟間隔 がなくなるまで 町 頭南半町における間 口寸法の微細な増減 に関する考察	早見 洋平	"	"
質問愚問 解説コー ナー「見世棚」と 「店」について	小林 信也	歴史と地 理	617
寝殿造の中の女性の 空間	川本 重雄	歴 博	151
江戸城の女の空間 (大奥)	松尾美恵子	"	"
奇想遺産 中村家住 宅	鈴木 博之	朝 日	7.27

朝鮮・その他

男女有別一韓国の伝 統的住居をめぐって	西垣安比古	歴 博	151
カッチ地方の港市に おける都市構成と住 居	岡村 知明 山根 周	シルクロ ード学研 究	30

茶 室

日 本

千利休 「侘び」の創 造者		太陽(別冊)	155
利休の考古学 自 由都市 堺	森村 健一		
利休の茶の空間	横山 正		
〈写し〉による茶室の 継承に関する研究一 妙喜庵茶室待庵を事 例として一	後藤 千夏 廣川 美子 瀬口 哲夫	日本建築 学会計画 系論文集	633
茶の湯草創期に関連 する建築研究リスト と義教の室町殿会所 復元案	桐浴 邦夫	野村美術 館研究紀 要	17

その他の建造物

中 国

口絵解説 福建の土 楼(中国)	鈴木 地平	文化財*	541
--------------------	-------	------	-----

日 本

播磨・長越遺跡出土 の準構造船塀板につ いて	中村 弘	兵庫県立 考古博物 館研究紀 要	1
------------------------------	------	---------------------------	---

庭 園

中 国

研究ノート 三国か ら初唐の苑池の系譜 に関する基礎的考察	北田 裕行	古代文化	574
-------------------------------------	-------	------	-----

日 本

平城宮跡等の調査概 要 平城京と寺院の 調査 旧大乗院庭園 の調査一第424次	城倉 正祥	奈良文化 財研究所 紀要	2008
居初家庭園にみる藤 村庸軒の茶風と美学 について	丸岡 喜市	美学芸術 学	23
法華寺阿彌陀浄土院 の庭園施設の源流に ついて一皇帝の苑と 阿彌陀浄土図一	三宮 千佳	美術史研 究	46
太閤堤の上で茶の湯 ? 京都・宇治 庭 園遺構見つかる	藤田 健志	毎 日	8.22

墳 墓

東 ア ジ ア

遺跡紹介 アジア遊学 107

チェルニャチノ5
墓地遺跡の発見 清水 信行

六頂山墓群 小嶋 芳孝

中 国

研究報告 河北省邢台
発見の獣頭人身十二
支俑について 加藤 真二 奈良文化財研究所紀要 2008

日 本

甕棺墓から壺棺墓へ—
峠山遺跡一号墳壺
棺墓出土資料の紹介— 大庭 孝夫 九州歴史資料館研究論集 33横穴式石室古墳の構築
と埋葬の復元—富岡
市しの塚古墳例より— 杉山 秀宏 群馬県立歴史博物館紀要 29群馬県における古墳
終末の様相—奥原
古墳群の分析から— 三浦茂三郎 " "出雲「額田部臣」再考—
古墳群の動向と地
域的社会的階層の再編
成— 深澤 太郎 国学院雑誌 1219石塔と墓籍簿 実際の
死者と記録される
死者：両墓制・単墓
制の概念を超えて 新谷 尚紀 国立歴史民俗博物館研究報告 141前方後円墳祭祀の論
理 墳頂部の内方外
円区画をめぐる 広瀬 和雄 " 145史料紹介 芦屋市旭
塚古墳の調査成果—
多角墳・竜山石・内
部構造が明らかにな
った終末期古墳— 森岡 秀人 坂田 典彦 古代文化 571卑弥呼の墓—弥生墳
丘墓と古墳—(平成
17年度吉野ヶ里考古
学講座講演要旨) 蒲原 宏行 佐賀県立博物館・美術館調査研究書 32黄金塚陵墓参考地墳
丘および石室内現況
調査報告 陵墓調査室 書陵部紀要 59武蔵陵墓地下埋蔵文
化財調査報告(II) " " "平成18年度 陵墓関
係調査報告 " " "尾張における群集墳
の展開—東谷山古墳
群の再検討より— 瀬川 貴文 名古屋博物館研究紀要 31飛鳥・藤原宮跡等の
調査概要 飛鳥地域
等の調査 高松塚古
墳の調査—第147次 松村 恵司 廣瀬 奈良文化財研究所紀要 2008発掘素描6 幻の弥
生王墓はどこにあ
る? 中村 俊介 東アジアの古代文化 135特集 高松塚古墳レ
ポート—石室の解体
事業—高松塚古墳の
概要 渡辺 丈彦 石橋 茂登 文化財* 532質問愚問 解説コー
ナー 「陵墓参考地」
について 福尾 正彦 歴史と地理 615初の徳川家墓所調査
十二代將軍正室現存
墓誌で最大級 斉藤希史子 毎日 6.10

朝 鮮

梵字の刻まれた「高
麗」墳墓—韓国慶尚
南道晋州「平居洞古
墳群」の再検討— 横田 明 三木 治子 大阪文化財研究 33京城考古談話会第六
回例会 新出高句麗
壁画古墳についての
座談会 有光 教一 藤井 朱 教一 和夫 高麗美術館研究紀要 6

そ の 他

ヴァフィオの墳丘墓
とその遺宝 角田 文衛 古代文化 573海外研修報告 隊商
都市・パルミラの家
屋墓調査 石川 慎治 人間文化 23

建築部材など

日 本

斑鳩法輪寺三重塔の
露盤 小山 正文 史迹と美術 789重ね肘木とカケ斗に
ついて—『鎌倉造営
名目』における斗拱
木割の特質 その2— 坂本 忠規 日本建築学会計画系論文集 624

建築に付随するその他

中 国

ユーラシア大陸の西
と東における斧の歴
史—木の建築をつく
る技術と道具の比較
発達史—その3— 渡邊 晶 竹中大工道具館研究紀要 19中国古典建築書『工
程做法則例』におけ
る翹昂斗科の設計技
法 陳 麗 新 和善 日本建築学会計画系論文集 630

日 本

研究報告 近世飛騨
の大工について 牛丸 岳彦 ミュージアムひだ研究報告* H19年度

甲良家と大工道具箱 畑田 尚子 大 日 光 78

平成20年定期刊行物所載文献(古／その他)

近世・近代における 前挽鋸の変遷につい て 小林コレクション に見られる「七郎 右衛門」前挽鋸を中 心に	星野 植村	欣也 昌子	竹中大工 道具館研 究紀要	19
17世紀中期の伊勢神 宮殿舎再興における 儀式帳の役割につい て	加藤	悠希	日本建築 学会計画 系論文集	624
深溝松平藩の屋敷地 の変遷と屋敷指図— 深溝松平藩建築指図 の復原的検討に基づ く作図・表現技法に 関する研究(1)—	木村 ほか	充伸	〃	629

近 現 代 美 術

絵 画

一 般

書書遊遊 ドミニク あるいは挿絵本の愉 悦	山田 俊幸	一 寸	34
PICK UP Exhibition 中国・北京の精華大 学美術学院 陳輝 (Chen Hui)教授に聞 く 水墨画の新しい 世界		ギャラリ ー*	273
天文学者が実証した 画家たちの夕焼け色 観察力	前橋 重二	芸術新潮	698
展評「見ること／作 ることの持続」：「後 期」と「以後」をめ ぐって	沢山 遼	芸 文	1
街角アート 「だま し絵」と壁画	星野 清一	新美術新 聞	1153
芸術学専攻 描きつ つある絵画を見るこ とについて	佐藤 邦彦	多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集	2008
光学機器と絵画表現 の関係についての一 考察	金子 亨 藤井 康子 平林 孝央 武藤俊太郎	東京学芸 大学紀要	60
鳥瞰図・絵図におけ る記号特性と制作過 程のVR 数値アルゴ リズム	宮崎 保光	名古屋造 形芸大紀 要*	14
住まいの絵本にみる 日本と欧米の住の思 想とインテリア表現 —子どもと住文化に 関する研究(2)—	北浦かほる 藤野 淳子	日本建築 学会計画 系論文集	625
巻頭特集 写実技法 がよくわかる⑧技法 講座 VOL. 8 写実 における絵具に混ぜ るもの 画溶液その 種類と効果	植本誠一郎	美術の窓	294
銅板油画と金箔の油 彩への応用	中村威久水	和洋女子 大学紀要	48
万葉のこころ十選 1 ～10	佐佐木幸綱	日 経	1. 7、8、 10、11、 14、16～ 18、21、 22
半歩遅れの読書術 挿絵を読む 文字と 絵の競演に楽しさ	富山太佳夫	"	7. 20
樹の絵十選 1～10	長田 弘	"	11. 17、 18、20、 21、24～ 26、28、 12. 1、2

日 本

近代日本の新聞連載 小説挿絵—身装情報 としての評価—	高橋 晴子	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン研究	15
近代日本画の構図決 定格子(一)(二)	金子 一夫	一 寸	35、36
特別展「五姓田のす べて—近代絵画への 架け橋—」について	角田 拓朗	神奈川県 立歴史博 物館だよ り	178
博物館活動報告 平 成19年度新収集資料 について 2 日本画 及び関連資料	南本 有紀	ミュージ アムひだ 研究報告*	H19年度
日本画における貝殻 胡粉の性質調査 色 と粒子の分析を通し て	池田真理子	芸術学研 究(筑波)	12
テンペラ絵具と油絵 具による混合技法の 研究 近代の日本に おける混合技法につ いての考察	加藤 隆之	"	"
日本画における支持 体の研究 綿布を通 して	野角 孝一	"	"
この絵を描いた人を 知りませんか?		芸術新潮	701
古くて新しい青 ラ ビス・ラズリの絵具 誕生		"	702
小特集 明治洋画の 実力派 五姓田一家 の逆襲		"	705
学芸員のノートから 90 石川大浪筆「乱 入図」をめぐって	勝盛 典子	神戸市立 博物館だ より	94
小説家とさし絵画家 のあいだ(五)(六)	重金 敦之	国華清話 会会報	11、12
中特集 琳派から日 本画へ—宗達・抱一 ・御舟・観山—古田 亮氏に聞く		趣味の水 墨画	235
街角アート 河童の 棲む町	星野 清一	新美術新 聞	1161
支倉常長像の模写と 写真—大泉光一氏 「支倉常長像の加筆 ・改作」説の検証を 兼ねて—	濱田 直嗣	仙台市博 物館調査 研究報告	28
近代日本の画家たち は、日本画と洋画の はざまに揺らぐ	古田 亮	太陽(別冊)	154
写実の系譜 I 西洋 画への憧憬	"	"	"
理想を求めて	塩谷 純	"	"

理想を求めて 大気と光の表現の果敢な試み「朦朧体」	植田彩芳子	太陽(別冊)	154
ロマンと情緒	蔵屋 美香	" "	" "
南画と個性派	鶴見 香織	" "	" "
写真の系譜Ⅱ 大正の写実主義	小倉 実子	" "	" "
装飾表現の試み	中村 麗子	" "	" "
反抗と前衛	大谷 省吾	" "	" "
反抗と前衛 一九三〇年協会が進めた主観的表現	"	" "	" "
写真の系譜Ⅲ 日本美を求めて	鈴木 勝雄	" "	" "
近代日本絵画を読み解く	"	" "	" "
「不忍池」から風景表現の変化が見える	古田 亮		
歴史画の流行と「日本絵画の未来」論争	宮本 久宣		
明治・大正期の美術と文芸誌	蔵屋 美香		
描かれた女性たち 2—美人画 多くの人に愛される「美人」像	児島 薫		
画賛を読む	鶴見 香織		
自画像は語る	古田 亮		
アール・ヌーヴォーの受容	中村 麗子		
地平線の夢 昭和十年代の幻想絵画	大谷 省吾		
画家・美術家の海外留学	鈴木 勝雄		
キーワードで見る近代日本絵画	足立 元	" "	" "
1 美術とは何か「美術」という概念誕生の背景			
2 美術学校の歩み			
3 万国博覧会から展覧会へ			
4 画材・技法の変遷			
5 日本における美学・美術思想の展開			
6 メディアと芸術の関わり			
7 画壇に大きなうねりをつくった美術運動			

8 西洋絵画と日本絵画

京都「画壇」の登場	吉中 充代	美術京都	39
展覧会評 昭和前期をめぐる三人の画家たち—児島善三郎・鶴岡政男・薺光—	田中 淳	美術研究	393
平成十九年度東支部例会研究発表要旨 日本絵画の近代化と農耕の主題	山梨絵美子	美術史	164
視点 パリで喝采を浴びた日本の洋画	長谷川智恵子	美術の窓	292
特集 Part. 1 絵を發表しよう!! section 1 公募団体展で發表する 団体展史—対立の構造(絵画の場合)	瀧 悌三	"	300
特集 「大坂画壇」は蘇るか?—「綺麗なもん」から「面白いもん」まで		美術フォーラム21	17
「大坂の時代」までの大阪の日本画界—大坂画壇、否、摂派は継承されたか	北川 久		
女流画家と大阪—文人画から美人画まで、女性たちは大阪画壇を蘇らせるか?	小川 知子		
特集 帝都の美術—都市の肖像 近代都市表象の行方—明治洋画と印象派の受容	三浦 篤	"	18
研究報告 筑後洋画の系譜 補遺	植野 健造	ブリヂストン・石橋美術館報*	56
明治宮殿常御殿襖画の考案—正倉院鴨毛屏風模造・平家納経模本の引用と山高信離—	恵美千鶴子	MUSEUM	617
口と足で描く美の軌跡 手の不自由な芸術家の協会、設立から40年以上携わる	木内 一味	日 経	1.10
絵生かす額縁の隠し味 明治からの家業継ぎ、手作りの妙に喜び	岩松 是親	"	1.22
異端画家の衝撃力十選 1～10	土方 明司	"	8.11、12、14、15、18、19、21、22、25、26

第4回東山魁夷記念
日経日本画大賞 日本
画めぐり新たな動き
旧来の美意識に挑む

宝玉 正彦 " 11.3

イラストレーターが
描いた「銀座」

読 売 8.20

海 外

翻訳 パオロ・ビー
ノ『絵画問答』 翻訳
と註解(6)

パオロ・ビー
ノ
森田 義之、
細野 喜代
訳・註解
五浦論叢 15

蠟人形・銅像・肖像
画—中国近代におけ
る身体と政治の關係
についての覚書(3)
—

遊佐 徹 岡山大
学文学部紀
要 49

日本のもの派を研究
した中国のキュレー
ター・黄篤(Huang・
Du)が日本に初めて
紹介する「中国新絵
画」

ギャラリ
ー* 273

アジア・アートレポ
ート ホーチミンの
現代絵画の状況

加藤正二郎 " 282

絵画における空間表
現—初期ルネサンス
絵画における空間表
現についての一考察
—

狩野 宏明 芸術学研
究(筑波) 12

[資料翻訳]カーレ
ル・ファン・マンデ
ル『絵画書』より(1)

幸福 輝 国立西洋
美術館研
究紀要 12

シンポジウム報告
「ジャポニズムの過
去・現在・未来」
装飾性の復権：ジャ
ポニズム絵画におけ
る着物再考

深井 晃子 ジャポニ
ズム研究 28

西洋近代絵画におけ
る空間表現の事例分
析—『受胎告知』を例
として

長尾 寛子 名古屋造
形芸大紀
要* 14

例会・研究発表要旨
東部会 平成十九年
度第三回例会 絵画
の語りにおける個と
社会—十九世紀後半
のフランスを中心に
—

久保 光志 美 学 232

平成十九年度東支部
例会研究発表要旨
十九世紀フランス絵
画に見る収獲の主題

六人部昭典 美 術 史 164

第六十一回全国大会
研究発表要旨 《中
国人家族のいる雪景
色》—もうひとつの
「中国絵画」—

堀川 理沙 " 165

史料翻訳 カーレル
・ファン・マンデル
『絵画の書』(一六〇
四)(九)

深谷 訓子 美術史学 28
尾崎 彰宏

ジュリオ・マンチー
ニ『絵画に関する諸
考察』第10章

小佐野重利
解説・監訳
宮崎 匠、
中津海裕子、
副田 一穂、
石井 真理、
柏 智久、
佐藤 々子、
伊藤 拓真、
金沢 文緒
訳
美術史論
叢 24

私の空想美術館48
アヴィニョンのピエ
タ

栗津 則雄 美術の窓 293

私の空想美術館50
ムーランの画家「シ
ュザンヌ・ド・ブル
ボン(祈れる童女)」

" " 295

巻頭特集 ドローイ
ング・デッサンの技
を磨く ⑥技法講座
VOL.10 巨匠に学
ぶデッサン

美術の窓 298

博士(文学)学位請求
論文審査報告要旨
民国期中国の画家た
ちと日本—中国近代
美術の基礎的研究—

陸 偉榮 早稲田大
学大学院
文学研究
科紀要 53

博士論文概要 民国
期中国の画家たちと
日本—中国近代美術
の基礎的研究—

" " "

記憶の中の名画十選
1～10

日比野克彦 日 経 7.7、8、
10、11、
15、16、
18、21～
23

水の表情十選1～10

大野 芳材 " 7.24、
25、28、
29、31、
8.1、4、
5、7、9

尊大な王と悲しみの
王妃十選1～10

中野 京子 " 8.28、
29.9.1、
2、4、
5、8、
9、11、12

オンザロード十選1
～10

坂上 桂子 " 12.17～
19、22～
26、29、
30

おあしす[モーツァ
ルトの肖像画]

本間 圭一 読 売 3.16

漫画・アニメーション

一般

特集 古典キャラクターの可能性 現代文化と古典キャラクター 台湾における桃太郎 葉宏甲「新編桃太郎」をめぐる	武久 康高	アジア遊学	108
表現技法としてのメディアミックス—キャラクター表象の様式性と重層性について—	内田 均	学習院大学文学部研究年報	54
マンガにおける二つの省略	高橋 明彦	金沢美術工芸大学紀要	52
ホモ・テクニクス、ホモ・ナトゥーラ《16》実写とアニメについての一考察	高橋 透	水声通信	24
特集 マンガ批評の新展開		ユリイカ	552
マンガ批評も変わる『テヅカ・イズ・デッド』のそれから	伊藤 剛		
マンガ批評も変わる コマ割りとは「何を」割っているのか 翻訳者のノート	野田 謙介		
「日本マンガ」という悪い場所? 「クールジャパン」と「MANGA」	小田切 博		
「日本マンガ」という悪い場所? 漫画の新しい体質	福嶋 亮大		
パリからのレポート 国際会議「マンガ、60年後……」について マンガ・西洋・アカデミズム	中田健太郎		
パリからのレポート 西洋的「オタク」についての覚書 ヨーロッパのマンガファンダム誕生における日本文化の「芳香」の重要性	マルコ・ペリッテリ 中田健太郎 訳		
現代マンガの「進化論」刊行 解説者・南信長さん		朝日夕刊	5.28
世界いまを刻む コスプレ、ゴスロリ姿専門店も誕生「日本発」定着期に マンガ文化伝の少女彩る	古谷 茂久	日 経	7.20

ディズニー 日本でアニメ制作開始 国内最大手などが協力

宮島 寛 毎 日 3.7

第12回広島国際アニメフェスを見て 芸術性高かったコンペ作品

小野 耕世 毎日夕刊 8.26

京都で国際マンガサミット開催 環境問題いかに漫画にするか

手塚さや香 " 10.1

TOKYO あにめのまち5、7、8、20、21、29

加納 昭彦 読 売 3.4、6、7、4.3、4、23

日本は「ポストモダン」の実験室

カンタン・コリース " 4.29

日 本

特集 アジアの孝子物語 漫画世界に描かれた孝子〈受動的孝子〉と〈能動的孝子〉

唐戸 民雄 アジア遊学 112

アニメサザエさんの歩み

毛内 節夫 SAZAE 通信 6

特集 [少年ジャンプ]というジャンル! 最強エンターテインメントの秘密

STUDIO VOICE 386

少年マンガの作り方! 堀江信彦インタビュー

更科修一郎

座談会: [少年ジャンプ]を読む!

伊藤 剛、宇野 常寛、更科修一郎、吉田 大助 談 渡辺 圭 司会

仕事人、「戦場」を語る! さくまあきらインタビュー

柚原 季之

極私的[ジャンプ]年代記

更科修一郎

女子と私と[少年ジャンプ] “奇妙な結婚”

金田 淳子

突出する“[ジャンプ]的異能バトル”! “少年マンガのダイナミズム”、その変遷と派生

更科修一郎

EXTRA COLUMN 『FREEDOM』とは何だったのか? 監督・森田修平インタビュー

宮 昌太郎 インタビュー・文 " 396

『ゴールドトラック』の残影〜アニメーションの大量輸出に関する一考察〜

吉田 尚輝 成城文芸 204

SPECIAL FEATURE
名作はいかにして生まれるのか? スタジオジブリのレイアウト術

美術手帖 912

CHAPTER 1 レイアウトを大解剖! Special Talks
手で描いた絵の魅力を感じてもらいたい田中 千義、寛
三好 談

CHAPTER 3 レイアウトの変遷

叶 精二

《座談会》昭和三〇年代をめぐって

川本 三郎、与那覇恵子、木股 知史
談 藤井 淑禎
司会

文 学* 9-2

さらに時代の先へ行くために アニメ版『空の境界』の挑戦

奈須きのこ
さやわか 聞き手

ユリイカ 551

特集 マンガ批評の新展開

" 552

進化する表現論
マンガにおける視点と主体をめぐって夏目房之介、宮本 大人、泉 信行
談

マンガを読む／読み替える いつかあなたとはお別れしなければなりません 作者である飼い主は愛する猫との別れをどう描くのか

吉田 アミ

マンガ／批評の未来 マンガの／と批評はどうあるべきか?

東 浩紀、剛
伊藤 剛
対談

マンガ批評も変わる 一般キャラクター論のために『テヅカ・イズ・デッド』再考

師 茂樹

「日本マンガ」という悪い場所? おたくと漫画

森川嘉一郎

マンガ読者の現在 失われた成熟を求めて マンガ・オタク・批評

東 浩紀、剛、金田 淳子
談

パリからのレポート オタク現象と日本のポストモダンティ

東 浩紀

パリからのレポート 日本マンガにおける「演出」と「フレーミング」様々な視覚的物語手法の分析(長谷川、手塚、ちば、小島、高橋、すえのぶ)

グザヴィエ・エペール、パスカル・ルフェーヴル
野田 謙介 訳

特集 母と娘の物語 一母／娘という呪い マンガ／写真／

" 559

TVドラマ／ゲームの中の母〈悪しきもの〉と〈子〉の迂遠な事情 最適化されていく創作と、植え付けられた罪

ゆずはらとしゆき

資料 母と娘の物語ブックガイド・マンガ篇

ヤマダトモコ 編

特集 映像 文化資源としての可能性 [コラム]日本のアニメーション史研究が抱える一課題

木村 智哉 歴 博 147

最古のアニメ 侍動いた 国立近代美術館 発掘・復元96本公開へ

朝 日 3.27

コミックガイド ビーム短編集作選 奥村編集長セレクション 入江喜和ほか作

ササキバラ・ゴウ

" 10.5

アニメの元祖「写し絵」米国公演

古賀 太 朝日夕刊 6.11

夏休みは漫画家展 美術館、新しい客狙い

小川 雪 " 8.13

サブカルさ〜ふいん

鈴木 伸一 産 経

アニメ なまくら刀 “原点”はエネルギッシュ

4.26

マンガ サザエさん 古典の凄さ

10.4

お宝アニメ映画発見 1917年、現存最古フィルム

東 京 3.27

少年ジャンプも不惑の年 漫画家と編集者、励まし戦いながら作品作り

茨木 政彦 日 経 3.5

漫画誌復権コラボ作戦 共同で新人登用や増刊号

中野 稔 日経夕刊 4.14

ノートから面白いマンガを知る方法

内藤麻里子 毎 日 1.14

和製アニメ第2号 「なまくら刀」 1917 年公開 現存最古 大阪で発見 フィル ム修復お披露目	勝田 友巳 毎 日	3.27	版 画			
40年前(政治の季節) を再考する 少年マ ンガの時代		8.6	一 般			
大衆性と戦略性 『ジャンプ』が体現 文化的な精神構造、 その後も続く	呉 智英		ウィーン版『浮世形 六枚屏風』の日本語 活字 小宮山博史 アジア遊 学 109			
元『少年ジャンプ』 編集長西村繁男氏 に聞く マンガに 対する目厳しく 親や教師が批判、 でも逆宣伝に サ ブカルを幅広い世 代に浸透させる	大井 浩一 聞き手		米国における浮世絵、 近代版画を通して日 本理解について— 1900年～1930年代を 中心に— 小山 周子 鹿島美術 財団年報・別冊 25			
マンガの居場所 連 載を終えて10年を 振り返る		毎日夕刊 2.6	日 本			
成熟と変容の追跡 続く	宮本 大人		実用銅版—龍切手や 藩札など 銅・石版 画遺聞31 森 登 一 寸 35			
メディア論の公開 実験	瓜生 吉則		玄々堂再見(一)「定 価付け」から 銅・ 石版画遺聞32 森 登 一 寸 36			
過去ふり返り未来 見つめ	ヤマダトモ コ		作品解説 新発見 「龍馬役者絵」血染め の下緒が語るもの 中城 正堯 浮世絵芸 術 155			
人・模・様 日本ア ニメの原点、NYで	網谷隆司郎	2.18	生活に根をはるベト ナム民衆版画の諸相 —中国民衆版画との 関係性を中心に— 桂 由起 鹿島美術 財団年報・別冊 25			
マンガ図書館30周年 迎え記念バーティ ーさいとうさんら250 人祝福	内藤麻里子	11.10	公募展レポート 高 知国際版画トリエン ナーレ 建昌 哲 版画芸術 139			
TOKYO あにめのま ーち3、4、9、19、 23、25	加納 昭彦 竹井 陽平	読 売 2.28、 29.3.12、 4.2、9、 11	特集 あなたの知ら ない版画の秘密 日 本編 滝沢 恭司 142			
漫画「町工場物語」人 気 葛飾 巨大ネジ 秘話など紹介		3.4	Q8 画家が、自 分の絵を自ら彫り 始めたのはなぜ? 滝沢 恭司			
90年前の国産アニメ 発見		3.27	Q9 江戸の彫師・ 摺師の技は、大正 時代にも生かされ ていた? 滝沢 恭司			
保存難しいセルロイ ド「なまくら刀」な ど発見 映像文化史 家 松本夏樹さん	近藤 孝 文 松本 夏樹 談	読売夕刊 4.25	Q10 大正時代の ポスターは、版画 !? 松山 龍雄			
海外			Q12 日本の抽象 画の始まりは、油 絵ではなく版画だ った。 滝沢 恭司			
デザイン専攻 グラ フィックデザイン領 域 中国の民族的な 表現形式を取り入れ たアニメーションに ついての研究	楊 舒	多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集 2008	Q13 戦後日本の 美術は、版画から 世界で認められ た。 山本 雅美			
ユーロマンガ上陸! まるで映画の一コマ 高いアート性	鈴木 伸幸 東 京	12.3	Q14 国が主催し た国際版画展があ った!? 山本 雅美			
雑記帳[千葉大、デ ィズニー原画返却]	神足 俊輔 毎 日	3.19	111誌を総覧する解 説と9000点を超える 図版 加治幸子編著 『創作版画誌の系譜 —総目次及び作品図 版』に寄せて 西山 純子 美術運動 史研究会 ニュース 97			

伝統の技 英国で披露
新宿の財団 来月、大英博物館で浮世絵版画を上演

越守丈太郎 東 京 11.16

more 楽 版画の世界
行程重ね浮かぶ「美」

岸 桂子 毎 日 5.31

東京見聞録 浮世絵づくり
木版画の技術を見学 漫画やアニメの原点

木村 健二 " 9.18

海外

特集 あなたの知らない版画の秘密

版画芸術 139

Q1 西洋の木版
画の始まりは、お守りだった。

佐川美智子

Q2 西洋の銅版
画は、金・銀製の装身具や武具の装飾から始まった。

"

Q6 18世紀に、
なぜ銅版画をカラーにする技法がいくつも開発されたのか?

"

Q7 版画は社会の諷刺のメディアとしてどのような役割を果たしたのか。

辺見 海

Q10 図鑑やモード雑誌に手間のかかる版画が使われたのはなぜなのか?

佐川美智子

Q11 本の挿絵に使われた「版画」は
どういうものなのか。

"

Q12 風景版画はいつから始まったのか。

永山多貴子

Q13 リトグラフは、なぜ画家たちに広まったのか。

佐川美智子

Q14 19世紀末、街は版画のポスターで溢れていた。

"

Q15 ドイツ表現主義の画家たちは、なぜ版画を数多く制作したのか?

松山 龍雄

世界の版画事情 メリーランド州・アメリカ 現代版画にダイナミズムをもたらす版画工房とのコラボレーション

ヘレン・フレデリック " 141

写真・映像

一般

フィルムは、消えゆくプロダクトか?

神吉 弘邦 A X I S 131

アートとドキュメンタリーの交叉—『ファー・イースト』の写真再考—

倉石 信乃 鹿島美術財団年報・別冊 25

映像断片の継時的群化に関わる「演出」の効果

井上 貢一 九州産業大学芸術学部研究報告 39

映像表現におけるシーケンス写真に関する研究

許 丙燦 芸術学研究(筑波) 12

コンテンツデザイン教育におけるコンピュータサウンドの活用事例

長嶋 洋一 静岡文化芸術大学研究紀要 8

コンピュータ・グラフィックスによるデジタル肖像表現の研究

内山 博子 女子美術大学研究紀要 38

SV CUT UP
PHOTO BOOKS

STUDIO
VOICE

『SECRET PHANTOM』怖れを越えた“未知”の快楽

板倉 俊夫 385

『MAGNUM MAGNUM』新旧一直線の大アーカイヴ

編集部 387

特集 写真集の現在
2008 PHOTOBOOKS
NOW PHOTOBOOKS
FILE

" 394

「デジタル」写真のありか

清水 穰

「写真のはじまり」。今、僕たちは、重要な季節にいる。

後藤 繁雄

報道写真が予告する未来図

相原 理歩

記憶創造装置としての写真メディア

飯田志保子

ファッション写真「イメージの競争から、関係性、編集の時代へ」

菅付 雅信

渥美半島上空で1944年12月10日に米軍が撮影した空中写真「3PR-4 M34-2 V」

林 哲志 田原市博物館研究紀要 3

写真コレクションを 始めよう 第1回 写真は、コレクショ ンできるアートだ	石原 悦郎 談 秋田 真波	版画芸術	141	社会の移ろい銀幕に 映す 女性の力集め 文化映画製作、桜映 画社の53年	村山 正実 日 経	12.23
アートで生きる/ア ートとかかわる7 連載トーク「女性ア ーティストの現在」 4 竹内万里子×杉 田敦	土屋真喜子 構成・文	美術手帖	903	観賞する建築写真 「資料から表現へ」相 次ぐ試み	窪田 直子 日経夕刊	3.17
世界最高の写真家集 団「マグナム・フォ ト」設立60周年記念 本 圧巻69人の力作	姫野 希美	毎日夕刊	1.24	動く絵画 動かない 映像 ユニークな美 術表現次々	小川 敦生 白木 緑	3.31
日本				若手写真家 強烈な 存在感 正面から 見すえる生	郷原 信之	4.28
特集 戦争とメディ ア、そして生活 第 一部 戦争とメディ ア、そして生活 写 真プロパガンダ化 作戦「報道写真」か ら「宣伝写真」へ	白山 真理	アジア遊 学	111	ドキュメント挑戦 交流 150年日仏新時 代 ネオ・ジャポニ スム3 マンガの原 点パリから発信	藤巻 秀樹	8.27
作品紹介 写真帖 〈富士山二十四景〉	松谷 芙美	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	13	この1年 写真 手 応え感じる「強さ」 練り上げられた展覧 会の会場構成	飯沢耕太郎 毎日夕刊	12.3
特集 写真集の現在 2008 PHOTOBOOKS NOW		STUDIO VOICE	394	液晶 絵画と親密な 仲「本物のよう なリアリティー」	前田 恭二 読 売	9.4
PHOTOBOOKS FILE 女性写真家 たちの最新動向	山内 宏泰			トピック 発掘 お 宝フィルム 修復 復元 東京・国立近 代美術館で上映	近藤 孝 読売夕刊	4.25
PHOTO & INTER- VIEW 飯沢耕太 郎 写真蔵拝見!	山内 宏泰 インタヴュ ー・文			海 外		
幕末期のパノラマ写 真 19世紀の制作方 法と東京都写真美術 館蔵《長崎パノラマ》 (収蔵番号20100448 および20100449)を 中心に	三井 圭司	東京都写 真美術館 紀要	7	コロキウム:「ドイ ツ写真の現在」を考 える	京都国立 近代美術 館研究論 集	1
特集 「大坂画壇」は 蘇るか? 「綺麗な もん」から「面白い もん」まで 浪華写真 のヒストリオグラフ ィー『月乃鏡』と「写 壇今昔物語」	佐藤 守弘	美術フォ ーラム21	17	コロキウム構成	佐藤 守弘	
特集 帝都の美術— 都市の肖像 写真の なかの江戸—『ファ ー・イースト』掲載 写真について	金行 信輔	18		コロキウム総括	前川 修	
「スティール/アライ ヴ」展と「写真ゲー ム」展「+α」で迫 る現代の空気	田中 三蔵	朝日夕刊	2.13	「ドイツ写真の現 在」展を読む 写 真作品のかたち	小林 美香	
民族学者 宮本常一 の写真展 地方のく らし 昭和の空気	鈴木久美子	東京夕刊	5.28	特集 シュルレアリ スム美術はいかにし て可能か	水声通信	25
				メディウムからメ ディアへ 「シュ ルレアリスムと写 真」のクリシェを 越えて	塚原 史	
				「痙攣的な美」をめ ぐって	千葉 文夫	
				特集 本は消えない! インターネット以降 の本当に面白い雑誌 /本の作り方 new printed matter LIT- TLE PRESS & ART- IST ZINE Farewell Books	編 集 部 STUDIO VOICE	391

特集 写真集の現在
2008 PHOTOBOOKS
NOW PHOTOBOOKS
FILE アメリカン・
イメージ(アメリカ
写真)の系譜を辿る

日高 優 " 394

北欧2カ国をめぐる
現代写真事情:フィン
ランド、デンマーク

中村 浩美 東京都写真美術館
紀要 7

写真コレクションを
始めよう 第2回
これだけは知ってお
きたい写真の歴史

秋田 真波 版画芸術 142

身体力と生存の糧
政治状況の鏡とし
てのアートフィルム

松井みどり 美術手帖 905

彫刻・空間表現

一般

デザイン専攻 環境
デザイン領域 素材
の形体

五味 翔太 多摩美術
大学大学院修了論
文作品集 2008

「世界文化賞」を探し
て 東日本編 上 巨
匠の足跡

黒沢 綾子 産 経 10.8

コメどころアートの
実り 新潟・越後妻
有 田畑と溶け合う
160点

染谷 好信 日経夕刊 11.5

日本

俳彫大要—俳句と彫
刻—

波平 八郎 沖縄県立
芸術大学
紀要 16

再録 彫刻のあるま
ちづくり 東京

柳生不二雄 屋外彫刻
調査保存
研究会会
報 4

I さまざまな理
念のなかから

II 千代田・中央・
港区あれこれ

「戦前の文献に基づ
く作品台帳制作と所
在調査(全国調査)」
—についての報告と
考察

田中 修二 " "

「構造社」研究—帝展
改組に伴う分裂から
解散まで—

齊藤 祐子 鹿島美術
財団年報
・別冊 25

[報告]「日本彫刻の
近代」展 パネル・
ディスカッション

松本 透 現代の眼 568

街角アート

星野 清一 新美術新
聞

下を向いて歩こう

1140

都会に棲む島家族

1142

新美術時評 人形的
具象性

外館 和子 " 1154

街角アート 彫刻の
置き方、置かれ方

星野 清一 " 1159

MONTHLY PROD-
UCT MASTER vol.
5 すべてのパーツ
を繊細に彫る石材職
人

富山英三郎 STUDIO
VOICE 386

第六十一回全国大会
研究発表要旨 昭和
戦前期彫刻の共同制
作と戦時体制

齊藤 祐子 美術史 165

特集 Part. 1 絵を
発表しよう!! sec-
tion 1 公募団体展で
発表する 公募展に
おける彫刻・工芸の
展開

武田 厚 美術の窓 300

特集 帝都の美術—
都市の肖像 帝都の
銅像—理念と現実

千葉 慶 美術フォー
ラム21 18

屋外彫刻平和を刻ん
で 作品保存へと全
国で活動、調査で浮
かぶ戦争のつめ跡

田中 修二 日 経 2.18

多摩逍遙そぞろ歩き
ファーレ立川(立川
市) 野外アートの
街づくり

" 6.20

日本の知力

読 売 7.26

第4部天職で考える
4 妥協許さぬ
模型道

「オタク」も100年
後は国宝 識者に
聞く 荒俣宏氏

山田 哲朗
聞き手 宏
荒俣 談

「緑の彫刻」都市景観
演出

" 11.25

海外

「銅像」の想像—蠟人
形・銅像・肖像画
(2)補論、あわせて
中国近代におけるル
ソー受容の一側面
について—

遊佐 徹 岡山大学
文学部紀
要 50

自律性から関係性へ
—インスタレーション・
アートにおける
観客の身体性—

河合 大介 成城文芸 203

オルタナティブなア
ート・ネットワーク
そこでのインスタレ
ーション制作

三枝 泰之 崇城大学
芸術学部
研究紀要 1

例会・研究発表要旨
西部会 第二六七回
研究発表会 メディ
ウムとメディアミ
ニマル彫刻の(虚—
実)の連関について
—

竹中 悠美 美 学 232

私の空想美術館49
ストラスブールのゴ
シック彫刻

栗津 則雄 美術の窓 294

工 芸

一 般

特集 戦争とメディ
ア、そして生活 第
一部 戦争とメディ
ア、そして生活 日
本人が蒐集した満州
玩具

中尾 徳仁 アジア遊 111
学

特集 うるしの技
木の技

岡山ひと* 3

「漆芸」海外からの
眼差し

三田村有純

伝統技術における
独創性の確立

山口 松太

日本と欧米の工芸論
の現在—工芸的造形
論をめぐる—

金子 賢治 学 鑑 105-1

発表要旨 明治期の
輸出漆器研究—輸出
漆器のヨーロッパで
の受容

ビンチク・ 京都美学 7
モニカ 美術史学

研究発表(要約) ニ
ューヨーク万国博覧
会と工芸—文化宣伝
と輸出振興

山本 佐恵 近代画説 17

かご作りの現代的可
能性

関島 寿子 女子美術 38
大学研究
紀要

MONTHLY PROD-
UCT MASTER vol.
7 3Dで絵柄を表
現するガラス職人

富山英三郎 STUDIO 388
VOICE

Craft の現在—SOFA
シカゴ2007のレク
チャーに招かれて—

外館 和子 陶 説 658

洛中対談・現代陶芸
を問う(前)(後)

乾 由明 談 664、665
森 孝一 〃
聞き手

薩摩焼がおこしたジ
ャポニズム

原口 泉 〃 669

平成18年度指定研究
広島市立大学と韓国
・漢陽大学との金属
工芸分野での国際交
流展

広島市立 13
大学芸術
学部紀要

日 本

匠のかたち 七宝 石黒 知子 A X I S 131

岡山の歴史と今 菓
子木型彫刻について

猪原 千恵 岡山ひと* 3

明治漆工芸の基礎研
究—文献資料と在外
作品の比較検討を通
して様式変遷の一端
を探る—

土井久美子 鹿島美術 25
財団年報
・別冊

薩摩焼の伝統と現在

山西 健夫 グリーン 64
ルーフ

テクノロジーの眼
金糸・平箔の技術—
都人が魅せられる黄
金の輝き

大津なほ子 建築雑誌 1577

埼玉の籠染—今に伝
える浴衣染の技—

山本 修康 埼玉県立 2
歴史と民
俗の博物
館紀要

イノベーションの工
程—伝統工芸産業の
取り組みを例として
—

塚田 文子 椋山女学 39
園大学研
究論集

MONTHLY PROD-
UCT MASTER vol.
12 ガラスに模様を
刻む切り職人

富山英三郎 STUDIO 393
VOICE

半世紀に互り陶芸作
家の茶碗を手にとっ
て

黒田 和哉 陶 説 658

対談・現代陶におけ
る茶陶

林屋 晴三 〃 〃
談 孝一
森 〃
聞き手

第二回智美術館大賞
現代の茶陶—造形の
自由・見立ての美—

林屋 晴三、 〃 661
森 孝一
対談

古九谷・伊万里焼論
争を終わらせるため
に 古九谷ロードを
たずねて

正和 久佳 〃 669

ミシン・アート考
美術/手芸/ジェン
ダー

山崎 明子 美術運動 91
史研究会
ニュース

第六十一回全国大会
研究発表要旨 飯島
半十郎(虚心)「蒔
絵師伝」の成立と漆
工研究

高尾 曜 美術史 165

特集 Part. 1 絵を
発表しよう!! sec-
tion 1 公募団体展で
発表する 公募展に
おける彫刻・工芸の
展開

武田 厚 美術の窓 300

土地と工芸との関係
についての試論

猪谷 聡 フィロカ 25
リア

平成十九年度海外展
報告 大英博物館
「わざの美—伝統工
芸の五〇年」展開催
報告

諸山 正則 文化財* 534

御装束神宝の製作 采野 武朗 瑞 垣 209

「土型」の保存とその公開について—伝統的陶芸技術の公開と普及の方法—	森下 愛子	無形文化遺産研究報告	2		旅 古代の窯跡に新しい陶芸 青森・五所川原	滝沢 英人	日経夕刊	4.2
染織工芸技術の変遷—葛布の製作技法と用途を事例として—	深津 裕子	"	"		ドキュメント挑戦 育て地域ブランド	棚木 誠	"	
伝統的陶器の販売戦略—赤津焼(愛知県)を事例に—	上原 梅村 高橋 外山	義子 晴峰 昭夫 徹	明治大学博物館研究報告	13	5 海外へ(5) 石川・山中漆器			4.4
古陶随伴録58 都踊のやきもの	三好 一	目の眼	379		13 研究開発(3) 埼玉・川口の鋳物			4.16
小特集 明治七宝の華	編集 部	"	382		15 研究開発(5) 佐賀・有田焼			4.18
物に執して(一一四)	鈴木 皓詞	"	387		19 産地まるごと(4)「山形工房」			4.24
特集 職人の技術		歴 博	148		22 守る(2) 岐阜・飛騨家具			4.30
現代に生きる職人の技術	青木 隆浩				輪島漆器 若手の挑戦 料理五輪同心円が彩る	松岡 資明	"	9.22
陶磁器職人の成形技術—瀬戸を中心にして	宮地 英敏				海 外			
[コラム]輪島塗職人と徒弟修業	島口 慶一				バウハウス織物工房の女性アーティスト達	阿久津光子	青山女子短大総合文化研究報*	16
結城紬生産を支える技能の特徴とその継承過程—個性の調和と結晶—	湯澤 規子				特集 戦争とメディア、そして生活 第一部 戦争とメディア、そして生活 着物柄に見る満州五色旗、地図、鉄道、溥儀	乾 淑子	アジア遊学	111
江戸の匠 伝統工芸品を日用品に 職人に新たな「活躍の場」	日野 稚子	産 経	7.25		調査報告 サン・ジョバンニ・パティスタ教会とエル・エスコリアル修道院に伝来する輸出用刺繍	吉田 雅子	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	52
工芸の力—21世紀の展望 枠を超えた新しさ	内田真由美	東 京	1.5		鑄造技法によるインドネシア伝統的金属製装身具の諸相	柿崎 博孝	玉川大学教育博物館紀要	5
「現代の織部十作」試み 人気漫画きっかけ 岐阜の若手陶芸家ら	関口 威人	東京夕刊	3.7		ミュンヘン手工業連合工房の活動方針と運営形態—二〇世紀ドイツ美術工芸における先駆的な活動内容について—	針貝 綾	デアアルテ	24
美の美 文楽人形の命 下 彫り刻む心	内田 洋一	日 経	3.30		平山郁夫シルクロード美術館コレクション43 内絵肖像文鼻煙壺	平山美知子	美術の窓	297
相馬野馬追出陣50回 14歳から騎馬武者に、甲冑職人としての修練にも	橘 斌	"	7.22		古代トラキアの金銀器Ⅱ リュトン	ジュリア・ヴァレヴァ	MIHO MUSEUM 研究紀要	7・8
羽裏に映るモダン日本 摩天楼・五輪・軍艦…京友禅に奔放なおしゃれ心	岡島 重雄	"	8.1		文化往来 ルネサンス期の粹見せる小書斎の寄木細工		日 経	5.15
思い出つなぐ器 「金継ぎ」ひびも魅力に ナビゲーター 東京国立近代美術館 唐沢昌宏さん	川本和佳英	"	9.6		ブランド研究4 ヘレンド 手作り磁器 絶えず進化 アッティラ・シモン氏	中村 宏之	読 売	4.5
手わざに酔う名工の 盃 美濃・市之倉の磁器、技術伝承へ美術館に1500点	加藤幸兵衛	"	11.28					

デザイン

一般

「デザインのことば」
—デザインボキャブ
ラリーの再定義[ら]
〜[わ]

川崎 和男 A X I S 131~136

平和活動に切り込む、
デザインのメスビ
ス・キープ・デ
ザイン

廣川 淳哉 " 132

特集 コンセプトデ
ザイン—未知なるも
のを創り出す ハリ
ウッド・コンセプト
・デザイン(HCD)
プロデューサー、鈴
木D. 美智子に聞く

瀧口 範子 " 133

エンターテインメン
トと社会性—南ア
フリカ「デザインイ
ンダバ2008」より

石橋 勝利 " "

特集 戦争とメディ
ア、そして生活 第
一部 戦争とメディ
ア、そして生活

アジア遊
学 111

ポスタル・メディ
アと占領香港

内藤 陽介

趣味と戦争 絵は
がき蒐集と記念ス
タンプ

細馬 宏通

戦争と伝単という
メディア

一ノ瀬俊也

アルコール飲料容器
におけるユニバー
サルデザイン—アル
コール飲料を表す触
覚記号の提案—

三好 泉樹 静岡文化
芸術大学 8

ユニバーサルデザ
インの地域での実践
に向けて

古瀬 敏 裕矢 敏行 " "

持続的な社会を支
えるサステナブル
デザインの基礎的研
究

坂本 鐵司 泉夫 隆志 厚敏 潤次 " "

シンポジウム報告
「ポスターの東西交
流—ジャポニスムを
中心に」

池田 祐子 ジャポニ
スム研究 28

「おりがみ」を脳の活
性化に役立てるシ
ステムデザイナー
ゲーム化を支える作品
記録・検索手法の設計

納所 克志 崇城大学
芸術学部 1

デザイン専攻 グラ
フィックデザイン領
域

ノンセンス・イラ
ストレーション

秋山 花

電子複製時代のグ
ラフィックデザイ
ンにおけるカラー
ジュとフォトモン
タージュの意義

大野 彩芽

ストリートにおけ
るグラフィティに
ついて

工藤 沙織

紙おもちゃのイラ
ストレーション

鈴木 千花

デザイン専攻 環境
デザイン領域 動
植物とデザイン・デ
ィー

清水 公行 " "

Essay プリミティ
ブなデザインに目
をむける

柏木 博

デザイン
& ミュ
ージアム・
リンク 2

デザイン徒然草 言
葉を収奪された人々

藤崎圭一郎 " "

特集 「世界」を救
うためにデザインが
できること。

猪飼 尚司

デザインの
現場 159

DESIGN FOR
THE OTHER 90%

Design with Con-
science

「印刷をめぐる言説」
印刷技術の発明と表
現

鈴木 敏春

名古屋造
形芸大紀
要* 14

持続可能な社会のた
めのデザイン Design
for Sustainability

宮川 潤次

文化と芸
術 8

文化往来 名古屋デ
ザイン DO、社会と
の関係示す

日 経 12.29

日中30周年記念切手

毎 日 8.13

デザイン季評 ナビ
と携帯電話 融合の
意味

生井 英考

読 売 8.28

日 本

新しい価値観を鍵盤
楽器に与える、ヤマ
ハの試み

土田 貴宏

A X I S 133

AXIS ギャラリー
卒業制作展&学外展
2008

山本 玲子

" "

多摩美術
大学大学
院修了論
文作品集 2008

特集 アドバンスデザインはどこへ行った?	"	135	第一部 戦争とメディア、そして生活 戦時下の商業ポスター宣伝を担った広告の側面	田島奈都子		
デザインとエンジニアリングはいかにコラボすべきか NEC「tag 2」(2007)	"		風土性とデザイン「遠江の場合」	河原林桂一郎 谷川真美 佐井国夫 土屋和男	静岡文化芸術大学研究紀要	8
進化ではなく、発想力や視野を広げるために 東芝「ニュー・スタイル・プロジェクト」(2007~)	土田 貴宏		東海地区デザインの現状と課題	黒田宏治 三好泉 高山靖子	"	"
内なる経験に耳を澄ます、生活者としてのデザイナー 日立製作所「エコ・エクスペリエンスデザイン・プロジェクト」(2006~08)	神吉 弘邦		包み方の研究 基礎デザインの課題として	近藤 洋子	女子美術大学研究紀要	38
製品化を目的としないからこそ理想を追求できる ヤマハ発動機&GKダイナミックス「BB-バランスボード」(2006)	山本 玲子		EXTRA COLUMN TECHNOS COLLEGE×加藤淳	大城 譲司 インタヴュー・文	STUDIO VOICE	392
富士通デザインが展開する未来に向けたプロトタイピング	遠藤 建		金剛地デザイン研究所が行く〜グッドデザインエキスポ2008の巻	金剛地武志 渡部 千春	"	394
アングル 2016オリンピック東京招致エンブレム	"	136	[研究論文]『キルヤム・ブレイク書誌』にみる民芸運動の揺籃期—その装丁における形式と意匠	磯部 直希	多摩美術大学研究紀要	22
インスピレーショングラフィック 大日本タイポ組合—日本的異能に溢れた文字作品集	深沢 慶太	"	デザイン専攻 環境デザイン領域 オブジェクトアンドスペース	小栗 誠詞	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2008
ドライバーのための新書体—それは、究極の「チラ見」フォント。	遠藤 建	"	「首里城花まつり2007」のデザインプロデュース	鈴木 雅和	筑波大学芸術研究報告	50
明日の“日本発”を描く試み	神吉 弘邦	"	これ、誰がデザインしたの?	渡部 千春	デザインの現場	
from the World	"	"	48 銀行のロゴ			157
土地に根づきつつある“おとしもの”	山本 玲子		49 初期の携帯電話			158
北の大地の小さなデザイン会議	谷口真佐子		最終回 「これ誰」総集編			159
特集 戦争とメディア、そして生活	アジア遊学	111	特集 印刷大好き! I LOVE Printing 印刷と色 2 色で差をつける!! カラー別印刷事例集	高橋 美礼 編集部	"	158
総論 エフェメラとしての戦時宣伝ビラ—FELO資料の場合	土屋 礼子		特集 「世界」を救うためにデザインができること。		"	159
			デザインにできることは何か Gマーク審査委員へのアンケート	戸島 國雄		
			デザインにできることは何か Gマーク審査委員へのアンケート	森山 明子		

特集 サンプルたくさん入ってます!! デザイナー28名が装丁によく使う書体と紙カタログ	デザイン の現場	160	こう見えてもアイガモ・ロボット	5.29
書体編	松葉 紀子		日本独自の「電子筆記具」	11.27
用紙編	〃		おもしろ字典4 ナウな書体の革命児	〃 4.3
歴史編 装丁にみる書体	白田 捷治		デザイン的美術館考える	〃 7.3
Report ADC2008	大城 譲司 編集 部	〃 〃	文庫「ジャケ買い」時代 名作に異色カバー デザインで読ませたい	川村 律文 〃 7.9
MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 2008 次世代のデザイン界を担う若手に注目するアワード	高橋 美礼	〃 162	海外	
地域産業活性化のためのデザイン開発の実践—デザインによる地域産業プロデュースの展開と可能性	玉田 俊郎	東京造形 大学研究 報 9	“特殊”な国のポジティブな未来 「ヘルシンキ・デザインウィーク」に寄せて	田代かおる A X I S 131
大学の地域連携活動におけるグラフィックデザインの重要性	遠藤 牧人	東北芸術 工科大学 紀要 15	from the World	〃 〃
亀田吉郎平著『規矩準繩大匠新雛形大全』にみる洋風意匠の特性	柳澤 宏江 溝口 正人	日本建築 学会計画 系論文集 625	異文化を受け入れるためのデザイン—エル・ヘマ	柴田 巖朗
特集 明治・大正・昭和のノスタルジー—モダン・デザインの先駆者杉浦非水の世界—日本初のデザイン研究グループ「七人社」	前村 文博	版画芸術 140	デザインウィークは誰のため?—「ダッチ・デザインウィーク」	中島 恭子
光 灯 「日本の照明」、江戸からたどる 東京・汐留で展覧会	古賀 太	朝日夕刊 1.19	中国デザイン界の熱気を感じたビジネス・オブ・デザインウィーク2007	石橋 勝利 132
花の都で感性は爆発だ—都内の印刷会社、デザイナーと芸術本 パリ国立装飾美術館で展示	市川 千晴	東京 12.12	若手デザイナーたちの熱気を感じたケルン国際家具見本市	小町 英恵 〃
日本のデザイン再考 “私”の心情を機能性に加味	藤田 一人	東京夕刊 12.19	ムーブル・パリを組み込み、若く、野心的な展示が増したメゾン・エ・オブジェ	上條 昌宏 133
活版印刷 若者が再発見 個人工房や出版社の講座盛況	郷原 信之	日経夕刊 6.3	片田舎の小さな街を満ちた若きデザインパワー	小町 英恵 134
平城遷都キャラ民間が独自選定 可愛いのはどっち?	高橋 恵子	毎日 6.3	本質への回帰がもたらすものとは	上條 昌宏 136
ふみの日「百人一首切手」今年は「源氏物語」時代の歌人達	青木 利夫	毎日夕刊 6.25	世界の子供たちが、楽しみ、追求し、考え、そして表現する—100ドル・ラップトップ「XO」	瀧口 範子 〃 132
デザイン季評	生井 英考	読 売	アニメ制作の経験が生んだビデオ会議システム ヒューレット・パッカードとドリームワークスの「Halo」	〃 〃 〃
見えぬところで「床発電」		2.28		

特集 アドバンスデザインはどこへ行った? 些細な可能性にもオープンなデザイナーであるためにフィリップスデザイン「フラクチャル」(2008)、「マインドスフェア」(2008)	中島 恭子	"	135	2 空間デザイン			159
サウンドデザイナー—音がプロダクトを魅力的にする	小町 英恵	"	136	3 トータルデザイン			160
大韓民国商工美術展覧会の史的展開と韓国の高等教育におけるデザイン教育の関連性について 1960年代後半から1970年代までにかけて	韓 希暲	芸術学研究(筑波)	12	4 パブリックデザイン			161
韓国ソウル、シンガポール、香港における屋外広告コントロールに関する研究	李 銀ジン	"	"	5 B to Bデザイン			162
切手に見る世界建築 高く聳えたつもの	横山 正	建築雑誌		サバイビング・アジアンデザイン	中西 多香	"	
噴水の切手			1574	1 香港			158
灯台の切手			1577	2 シンガポール			159
活動報告 人文学研究所 共同研究奨励研究(三星グループ) 北欧3カ国4都市(&パリ)に見る色彩とジェンダー	星野 澄子	人文学研究所報	41	3 バンコク			160
SV CUT UP DESIGN BOOKS『Paperback Magazine』&『GRAVURE magazine』 目的に応じた雑誌デザインのあり方	江口 宏志	STUDIO VOICE	385	特集 サンプルたくさん入ってます!! MAESTRO GALLERY 解説	石田 純子	"	"
デザイン専攻		多摩美術大学大学院修士論文作品集	2008	近代デザインとしての服飾	森下あおい	人間文化	23
グラフィックデザイン領域 ポザギの造形性に関する研究	金 ガラム			ソウル デザイン首都への再生 伝統生かしてブランド構築	稲葉 千寿	東京	5.31
グラフィックデザイン領域 中国神話伝説物語『西遊記』におけるイラストレーション表現の研究	石 磊			ソウル・デザイン・オリンピック開幕 共に夢見る楽しみが力に	"	東京夕刊	10.17
WORLDWIDE MIX LONDON 地下鉄のアート展示を支えるデザイナーの存在	三宅由希子	デザインの現場	157	日仏交流150周年の硬貨	福井 聡	毎日夕刊	1.15
アメリカの最新デザインムーブメント	道添 進	"		ブランド研究20 カルテル プラスチックは粋だ クラウドイオ・ルティ氏	松浦 一樹	読 売	12.4
1 パッケージデザイン			158	建 築			
				一 般			
				from the World	A X I S		
				ショップデザインからブランドの行方を探る	清水 早苗		131
				大地震の復興を支援する紙管建築のプロジェクト			135
				特集 土木の真髓—暮らしのためのデザイン 土木を意識しよう	トーキョー・ドボク・ソサイエティ	"	132
				建築ロゴス再考 ローカリティー建築の中の地域性へ:その視線の時代相	大田 省一	建築雑誌	1570
				コラム 都市論とファスト風土論を接続せよ	仲俣 暁生	"	1571
				ティビカルブラクティス 持続可能な都市—21世紀への挑戦	エクハルト・ハーン	"	1572

海外に学び日本に学ぶ 9.11にもシナリオはあったと考えられる建築・都市 エフ・オー・ユー・アーキテクト	田村 圭介	建築雑誌	1574	強い	立道 郁生		
				軽い	佐藤 淳		
				大きい	宮里 直也		
				易い	檜村 俊也		
特集 都市のリテラシー		"	"	自然な	糸長 浩司		
I 解題・取材 建築への興味を都市の未来につなげる	伊藤 香織 聞き手・文			特集 投稿論文「グローバルイズム」 II 投稿論文3 建築におけるグローバルな技術とバナキュラーな技術	北嶋 秀明	"	1583
II 実践 まちづくりのリテラシー	佐藤 滋			建築ロゴス再考 形式—あたらしい建築物に向けて	入江 徹	"	"
III インタビュー 都市の営みとリテラシー 社会学の立場から	町村 敬志 伊藤 香織 聞き手			香港造幣局と大阪造幣寮の鑄造場—両者の建築史的比較考察—	水田 丞	建築史学	51
コラム 「ゴミ御殿」は、現代建築の問題となり得るか?	平野啓一郎	"	1575	景観とまちづくり (2)	米田 公則	椋山女学園大学研究論集	39
特集 建築の展覧会を考える II 建築展の現状と展望		"	"	EXTRA COLUMN PERFECTIONISTS 04 造形の力を実現するもの	井上 了	STUDIO VOICE	395
建築の展覧会への新しい試み	長谷川祐子			デザイン専攻 環境デザイン領域 レジデンスタワー再考	高原 彬	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2008
建築展の可能性に向けて	寺田真理子			特集 Tokyo Metabolism 2010/50 Years After 1960		10 + 1 *	50
スタートしたばかり建築系展覧会	平 昌子			論考 50 Years After 1960—グローバル・シティ・スタディーズ序説	八東はじめ		
建築学鳥瞰 長周期地震動と建築物の耐震性	北村 春幸	"	"	対談 グローバル・シティ・スタディーズの諸相	今村 創平 八東はじめ		
特集 建築資料をのこすということ I 解題	中田 千彦	"	1576	建築批評誌『OPPOSITIONS』の批評対象	夏目 欣昇 萬川 直壯 若山 滋	日本建築学会計画系論文集	624
特集 批判的工学主義に向けて I 解題	柄沢 祐輔 南後 由和 藤村 龍至	"	1577	建築評論からみる近代建築の形象要素と計画要素の関係	北川 啓介 西山 尚希 古川 紀明	"	627
特集 OLYMPIC・CITY I 解題	大田 省一	"	1578	長谷川堯教授 最終講義録—『神殿か獄舎か』その後—	小林 正恵 編集整理	美史研ジャーナル	5
特集 アーキニアリング・デザイン展を10倍楽しむ方法 I 新しい世代の潮流		"	1581	デザイン都市へのアプローチ—もてなしのデザインと都市づくり—	黒田 宏治	文化と芸術	7
人間と技術が生み出すあらたなオーケストレーション	アニリール・セルカン			「世界文化賞」を探して 東日本編 下 新風 都心に吹き込む	黒沢 綾子	産 経	10.9
今、現代建築に求められていることは何だろうか	池田 昌弘						
特集 アーキニアリング・デザイン展を10倍楽しむ方法 II アーキニアリング・デザインを巡るキーワード		"	"				
高い	谷口 尚範						
薄い	金田 充弘						

日 本					
特集 土木の真髓—暮らしのためのデザイン	A X I S	132	建築ロゴス再考 パブルー弾けた後に定着した言葉の15年史	平塚 桂	" "
変わりゆく東京—風景の価値と思想	編集部 上條 昌宏		ティビカルブラクティス 環境と防災を考慮した都市づくり、まちづくり—大手町・丸の内・有楽町地区	岩井 光男 工藤 康博	" 1572
新たに作り出す風景への責任とブランド	渡邊 竜一		学術論文 環境・防災・生活者の視点を総合的に考慮した都市デザインの方に関する一考察—神戸市長田区での都市デザインシャレットの成果を通して—	田中 貴宏 山崎 義人 稲地 秀介 山下 卓洋 三笠 友洋	" "
インスピレーション 建築 建築界の甲子園!? 「卒業設計日本一決定戦」の傾向と対策	ぼむ企画	" 133	「作品選集2008」ならびに「2008年日本建築学会作品選奨」選考報告	北山 恒	" 1573
from the World 地域の家具産業に新風を吹き込むコンペ	神吉 弘邦	" 135	特集 建築の展覧会を考える V 現在進行形の建築展 ヴェネチア・ビエンナーレ建築展日本館	清田とき子	" 1575
AXIS フォーラム 第28回 「土木の真髓—暮らしのためのデザイン」	渡邊 竜一	" "	テクノロジーの眼 首都圏外郭放水路—自然の猛威に対抗する巨大テクノロジー—	大津なほ子	" 1576
インスピレーション 建築 ビジュアルから統合へ、三次元デザインの新傾向	ぼむ企画	" 136	建築学鳥瞰 建築の著作権	大森 文彦	" "
歴史的町並み景観における建物正面意匠の連続性—金沢市こまちなみ保存区域実態調査—	馬場先恵子	金沢学院大学紀要* 6	特集 批判的工学主義に向けて V 地方都市の現実と建築計画学の可能性を架橋する	岩佐 明彦 談 祐輔、 柄沢 由和、 南後 龍至 藤村 聞き手・文	" 1577
資料紹介 掘り出された明治時代の建物基礎—前橋地方裁判所旧庁舎の基礎遺構概報—	石守 晃	群馬県埋文調査団紀要* 26	建築学鳥瞰 環境負荷の小さい快適な街作り—脱ヒートアイランド都市を目指して	梅干野 晃	" "
すむ 生き続ける大正邸宅	編集部	芸術新潮 703	コラム 時空をこえてひろがる「建築と政治」	御厨 貴	" 1578
芸術新潮特別企画 三菱トランクルーム 美を護る先駆者の伝統と革新		" 704	特集 建築ガールズ パワー II 巻頭言 女性が増える建築界、その背景	平塚 桂	" 1579
特集 建築学会作品賞を問う 京都迎賓館をめぐる「和」の評価 I 敗北ルポ 第一の敗北・第二の敗北・第三の敗北	細野 透	建築雑誌 1570	建築ロゴス再考 「景観」—勝手に発見されるもの	石川 初	" "
特集 慈しまれる? モダニズム建築 I 解説・保存史年表 「モダニズム建築の保存」がもたらすもの	"	" 1571	建築年報2008 II 視点 歴史としての「バブル建築」—都市の未来に向けて	橋爪 紳也	" 1580

III デザインレビュー 環境 建築環境・設備からの温故知新—贅沢な建築空間のすすめ	加藤 信介				III ケーススタディ：まちの温度を上げる現在形—下田 個性溢れる市民の活動を景観計画・景観条例で支援する	秋田 典子		
III デザインレビュー 材料・構法 建築分野の環境に関する動き	清家 剛				III ケーススタディ：まちの温度を上げる現在形—上勝 離散的な集落が仕掛ける試み—徳島県上勝町レポート	山中新太郎		
IV 建築界の動向と展望 改正・建築基準法の波紋	石澤 卓志				IV 論考「小さなまちの建築的実験」小さなまちの建築的実験が示す未来像	〃		
IV 建築界の動向と展望 「建物の基本的な安全性」について最高裁が示した新たな視点	村田 真				特集 環境共生を巡る7つの論点 IV 都市スケール 緑でどこまで都市は冷やせるのか？	成田 健一	〃	1583
建築学鳥瞰 制度イノベーションとしての建築履歴書	野代 智也	建築雑誌	1580		再考・銀座煉瓦街計画—近代日本における「首都」の表出(その二)—	松山 恵	建築史学	50
コラム 落ち着かない都市	菊池 成孔	〃	1581		口絵写真解説 同志社大学クラーク記念館ほか	矢ヶ崎善太郎	史迹と美術	790
特集 木造建築の到達点		〃	〃		滝乃川学園史の研究—「白痴院」期の建築計画学的検討—	津曲 裕次	純心人文研究	14
II フレキシブル構法 合板フレキシブル構法による自由空間	陶器 浩一				デザイン専攻		多摩美術大学大学院修了論文作品集	2008
III 北山杉の冒険 端正で流れるような構造	播 繁				グラフィックデザイン領域 賑わいのあるまちづくりのための環境グラフィックスの研究	和田 聡美		
特集 アーキニアリング・デザイン展を10倍楽しむ方法 I 新しい世代の潮流 何でもできてしまう時代に	小西 泰孝	〃	〃		環境デザイン領域 東京—原宿における街づくりのあり方に関する提案とデザイン	荒木 裕子		
特集 学びの場を問う		〃	1582		ゼロ年代の建築・都市3 家型の二世紀	五十嵐太郎	10 + 1 *	50
IV 事例レポートにみる「開・閉」 地域と自然に開く公立校—吉備高原小学校	萩原 詩子				近代における「琉球建築」の成立と地域社会	登谷 伸宏	日本建築学会計画系論文集	623
V 使われ方にみる「開・閉」の功罪 「教室を開く」ということの功罪	上野 淳				明治初期の博覧会における能楽場と貴賓来場との関係について	奥富 利幸	〃	〃
コラム 2016年東京オリンピックで東京を変える	赤池 学	〃	〃		信州善光寺宿坊における3階建て木造建築の変容過程とその構造	長崎 真也 松田 真一 土本 俊和 梅干野成央	〃	625
特集 小さなまちの建築的実験		〃	〃					
II 小さなまちの潜在力 小さなまちの試みが折り重なっていく魅力	林 泰義 談 山中新太郎 聞き手 大津なほ子 文							

明治末期から昭和初期の邸宅における能楽空間の変容—見所の拡大と白州の室内化—	奥富 利幸	〃	627	表紙解説 リニューアルなった旧文部省庁舎	村田 健一	〃	〃	
華族会館能楽堂の移築における設計経緯とその空間構成	〃	〃	628	神谷伝兵衛とシャトーカミヤ	斎藤 英俊	〃	538	
明治神宮宝物殿南倉の構造計画の特徴について	増田 泰良 西澤 英和 藤岡 洋保	〃	〃	口絵解説 旧吉松家住宅	宮田 浩二	〃	543	
官営八幡製鉄所における日本人最初の設計施工による鉄骨構造建築 日本における鉄骨構造建築の導入と発展過程に関する研究 その2	開田 一博 尾道 建二	〃	〃	大江橋及び淀屋橋の意義	松村 博	〃	〃	
シャトーカミヤの建設経緯と建築的特徴	中野 茂夫 斎藤 英俊 中島 伸	〃	629	表紙解説 石岡第一発電所施設	北河 大次郎	〃	〃	
現代日本の建築家の設計論における都市環境認識 建築設計論における社会的枠組みに関する研究 (3)	谷川 大輔 加藤 拓郎 奥山 信一	〃	630	碧雲荘の建築と庭園	矢ヶ崎 善太郎	文化財レポート	21	
帝劇出演問題にみる改良劇場と能楽堂の関係について	奥富 利幸	〃	632	A La Meiji-mura		明治村だより		
明治末期における能楽堂改良論の展開について	〃	〃	〃	二重橋の鋳物の欄干 二重橋飾電灯			51	
現代日本の建築家の設計論にみられる空間をもちいた創作言語 空間という語を利用した建築的思考の文脈と形式に関する研究	塩崎 太伸 奥山 信一	〃	633	柱に込められた思い 東山梨郡役所			52	
白路社建築創作所および鉄扉社建築会の活動と概要とその特徴について	笠原 一人	〃	〃	長押に込められた思い 幸田露伴住宅			53	
例会・研究発表要旨 東部会 平成十九年度第四回例会 文学言説と都市の記憶—メディアとしての文学散歩	渡辺 裕美	学	232	花道が創りだす演出効果 呉服座			54	
特集 帝都の美術—都市の肖像 江戸・東京の都市空間と美術	鈴木 廣之	美術フォーラム21	18	史跡を歩く		歴史地理教育		
口絵解説 旧文部省庁舎 玄関ホール	田中 禎彦	文化財*	536	122 北海道の炭坑遺跡(北海道三笠市)	前田 賢次		724	
特集 文化庁40年—転換期を迎えた文化財行政 旧文部省庁舎と江戸城外堀跡	熊本 達哉 小松 清	〃	〃	123 大輪田橋(神戸市兵庫区)	大木 久		725	
				日本史のひろば 日本近代の建築デザイン その4 軸線の構成	鈴木 博之	歴史と地理	612	
				時代のカケラ拾い集め 茨城・一木さん解体建物900カ所巡る	小林 伸行 朝 日		12.24	
				デジカメ…当世コラム 代官山とは思えぬ自然 流転の国重文お屋敷公開	重松 明子 産 経		7.3	
				名建築を訪ねる		東京		
				大吠埼灯台 大海原見下ろす“白亜の塔”	竹内 章		1.23	
				立教大本館 歴史刻んだれんがの風格	原 昌志		1.30	
				聖三一礼拝堂 創設者夫妻の志伝える	末松 茂永		2.20	
				平井家住宅 網元の栄華刻んだ屋敷	松田 士郎		2.27	

平成20年定期刊行物所載文献(近/建)

川崎市役所本庁舎 「工都」見守る時計 塔	飯田 忠久	3.5	旧三河島污水処分 場 ^{デンプ} 筒場施設 赤 れんがの下水処理 場	増田恵美子	8.20
国立国会図書館国 際子ども図書館 現代が包む明治の “未完”	小林 由比	3.12	旧吾妻第三小学校 伝統技法を駆使 擬洋風の凹字形	小鷲 正勝	8.27
三溪園「鶴翔閣」 近代文化支えた 「サロン」	岸本 拓也	3.19	大倉山記念館 東 西文化の融合具現 化	松平 徳裕	9.3
黒羽根内科医院旧 館「曳き家」を生 かす地域力	小鷲 正勝	3.26	東京大学総合研究 博物館小石川分館 緑に映える紅白の 学舎	越守丈太郎	9.17
明治学院記念館 島崎藤村も学んだ 「赤れんが」	松村 裕子	4.2	レンガ建築都心に復 元 40年前に消えた 三菱一号館、230万 個積み来春完成	合場 直人 日 経	8.19
東玉大正館 人形 の街アーチがお出 迎え	井上 仁	4.9	かやぶき民家撮影旅 情 全国津々浦々 6000棟を訪問、温か い出会いも写す	熊谷 啓 "	9.5
旧手賀教会堂 布 教支えた質素な民 家	富江 直樹	4.16	今和次郎の「民家」再 訪 無名家屋が映し 出す庶民の生活、90 年の歴史をたどる	中谷 礼仁 "	9.19
北区中央公園文化 センター 軍都の 記憶つなぐ威風	原 昌志	4.23	歌舞伎座2010年に幕 松竹、複合ビルに建 て替え	"	10.21
旧水海道小学校本 館 宮大工が建て た擬洋風建築	伊東 浩一	4.30	文化往来 自然な暮 らしを考えさせる刺 激的な家	"	12.22
旧篠原家住宅 贅 の限りを尽くした 造り	横井 武昭	5.14	米国生まれ札幌塔時 計 鐘は国産?130 年の時刻む、すばら しい保守に感嘆	西 安信 "	"
泰山荘 数々の難 をのがれた一疊敷	三橋 正明	5.28	200年企業一成長と 持続の条件36 ヤシ マ工業、石綿対策先 駆け「建物守る」柿 洪の伝統	安西 巧 "	12.24
向ヶ丘遊園駅 牧 歌的な駅舎 今も 現役	加藤 行平	6.4	人間発見 面白きか な多能工1~5 宮 大工 菊地恭二さん	小林 省太 日経夕刊	9.1~5
神谷パー 浅草の 歴史刻む洋風酒場	丹治早智子	6.11	2・26事件殺害現場 一渡辺錠太郎陸軍教 育総監の自宅 老朽 化取り壊しへ 昭和 史伝える貴重な品物 一建具の一部保存	三木 幸治 毎 日	2.27
桐生倶楽部会館 名士ら集う語らい の場	小鷲 正勝	6.25	キャンパスウォーク これが評判! 立教 大モリス館 歴史的 建造物を保存	前谷 宏 "	6.6
旧小笠原伯爵邸 心地よい空間 客 を魅了	原 昌志	7.2	世界遺産への旅 原 爆ドーム1、2	鈴木 英生 "	7.27、8.3
めがね橋(旧長尾 橋) 戦車も往来 した頑丈な橋	岡村 淳二	7.9	東京中央郵便局を重 文にする会が発足 建築史家ら120人	手塚さや香 毎日夕刊	4.7
慶大三田演説館 論吉の精神 今に 伝える	松村 裕子	7.16			
水戸市水道低区配 水塔 庶民潤す洋 風の水がめ	秦 淳哉	7.23			
ローヤル洋菓子店 生糸の時代語る “生き証人”	柏崎 智子	8.13			

東京中央郵便局の再整備計画 異論唱える声相次ぐ	手塚さや香 岸 桂子	"	7.28	III 北京2008 北京オリンピックと都市北京	朱 文一、 趙 建彤 包 慕萍 訳		
建築 東京ディズニーランドホテル 様式組み合わせた壮大な空間	五十嵐太郎	"	8.5	III 北京2008 北京はどこへいくのか—胡同の過去と現在	槐原 雅人		
建築望見 霞が関ビルひっそりと40周年	高野 清見 読 売	2.14		III 北京2008 継承されるアイデア	高村 雅彦		
建築季評	中川 理	"		IV ソウル1988—2008 ソウルオリンピック以降の韓国建築に対する断想	朴 星泰 鄭 昶源 訳		
都市との呼応が失われる			3.27	IV ソウル1988—2008 古都ソウルのルネサンス	富井 正憲		
消費システム超えられるか			6.26				
閉塞打ち破る先鋭的表現			9.25				
私のいる風景 リアル・スケール 未知の建築を体感 五十嵐太郎さん 建築評論家	五十嵐太郎 談 高野 清見 文	読売夕刊	9.20	建築年報2008 IV 建築界の動向と展望	"	1580	
海外				世界遺産ではない建築や都市をイタリアで探す	飛ヶ谷潤一郎		
from the World 新たな“ブランドアーキテクチャー” 「BMW ヴェルト」	小町 英恵	A X I S	131	ニュー・シルクロードは日本まで伸びるか?	太田佳代子		
ものづくりとデザインのニューコンセプト 第4回 「スクイッド・ラボとそのスピニアウト」	瀧口 範子	"	132	鍾路一帯の商業社会における都市空間構造(一九一七年—一九四〇年)	金 銀眞	建築史学	50
ケープタウンステーション2010プロジェクト		"	133	現代住宅論 7 技術と歴史	難波 和彦	10 + 1 *	50
都市の未来を探るまなざし ワークショップ「欲望の都市」	多木 陽介	"	135	中央ヨーロッパにおける都市景観の意義—ブタペストの旅行ガイドブックを用いた考察—	加賀美雅弘	東京学芸大学紀要	59
特集 2016年東京オリンピック招致計画五輪が変容させた都市のかたち 郊外化を加速する北京	鹿野 貴司	"	136	都市風景論 その(1)オールスドルフ公園墓地に表象された近代都市景観のイデオロギー	長谷川 章	東京造形大学研究報	9
「見る」パリと「歩く」パリ—「プロムナード・ブランテ」と「ボン・デ・ザール」をめぐって	田崎 祐生	大阪成蹊大学芸術学部紀要	4	ストゥディオス修道院の9〜10世紀における付属施設について	太記 祐一	日本建築学会計画系論文集	623
大特集 北京 北京八景	編集 部	芸術新潮	704	トルコ共和国のモスクデザインにみられる諸課題	山下 王世	"	626
一 建築 横丁の都				ドイツ表現主義映画にみられる建築空間	若山 滋 今枝 葵穂 夏目 欣昇	"	"
三 庭園 柳と水の都				ソビエト・ウズベキスタン建築の表層に現れた地域性の展開—集合住宅をケース・スタディとして—	鳳 英里子	"	627
特集 都市のリテラシー II 実践 生きた建築・都市教育の実践	佐々木博美	建築雑誌	1574	1867年ウィーン宮廷ミュージアム建設設計競技に見るミュージアム建築像	海老澤摸奈人	"	628
特集 OLYMPIC・CITY		"	1578				

外形と空間構成と動
線を考慮した近代住
宅作品の平面特性

北川 啓介
山田 好美
碓井 将義
西山 尚希
日本建築
学会計画
系論文集 629

19世紀から20世紀初
頭におけるヴェネツ
ィアのホテル建築の
変遷について ヴェ
ネト・ビザンチン様
式の歴史的パラッツ
ォ転用からグランド
ホテル様式建設まで

河村 英和 " "

モルトレークとアシ
ェットのエナメル溶
岩技術とその同時代
のポリクロミー建築
における意義に關する研究

鏡 壮太郎 " 631

十九世紀フランスの
エナメル陶磁器裝飾
の技術発展とその意
義に關する研究
(1840~1889)

" " "

評論における名詞と
修飾語の出現傾向の
考察—西洋近代建築
評論にみられる単語
關係の可視化(その
1)

夏目 欣昇
若山 滋
堀 桂輔 " 632

1800年の記念柱コン
クールと建築ジャー
ナリズム 統領時代
におけるモニュメン
ト、コンクール、ジ
ャーナリズムの關係
について

戸田 穰 " 633

イタリア合理主義建
築運動における詩学
と修辭—エドアルド
・ベルシコと近代の
葛藤

鯖江 秀樹 美 学 232

奇想遺産

朝 日

モンテマルティー
ニ博物館 イタリア

松葉 一清 1.13

ハギア・ソフィア
トルコ

鈴木 博之 3.2

サンタ・マリア・
イン・トラステベ
レ教会 イタリア

松葉 一清 6.15

パルテノン ギリ
シャ

鈴木 博之 6.29

トラヤヌスのマー
ケット イタリア

松葉 一清 8.24

ミラノ大聖堂 イ
タリア

鈴木 博之 10.5

イスラエルのパウ
ハウス展

兼平彦太郎 産 経

上 卒業生たちが
築いた世界遺産

6.7

中 進化続けてこ
そ「聖地」

6.8

下 よりよい生活
のための建築

6.10

現代世界の考古学
(下) WAC 6からの
問いかけ

佐々木泰造 毎日夕刊 9.3

その他のジャンル

一般

運動表現の造形的特
性について

金 度享 芸術学研究(筑波) 12

メディアアートに必
要な要素として イン
タラクティビティ
について

鄭 智鴻 " "

MONTHLY PROD-
UCT MASTER vol.
4 植物のカタチを
操るトビアリー職人

富山英三郎 STUDIO VOICE 385

転機となった舞台美
術との出会い

新川 貴詩 東京夕刊 11.7

日本

平成19年度 金沢学
院大学「公開講座」
第III部 美術文化
学部公開講座の概要
B部:情報デザイン
学科主催 第五回
情報デザインシンポ
ジウム 概要 テー
マ:アートの世界
「アートとデジタル
の新たな関係」

飯田 栄治 金沢学院 6
講演 大学紀要*

美術家と舞台——九
五〇年代初頭の日本
における舞台美術の
動向について

西澤 晴美 芸 叢 24

[研究論文]土方巽と
美術—「舞踏ノート」
における引用図版と
舞踏の言葉を参考と
して

國吉 和子 多摩美術 22
大学研究 紀要

奥三河における花祭
りの祭具—山内・花
祭りの湯蓋と衣笠を
めぐって—

山崎 一司 民具マン 489
スリー

アート書道が旬 気
持ち表現し自己表現

宮代 栄一 朝 日 4.19

花開く「メディア芸
術」 アートからマ
ンガまで 文化庁メ
ディア芸術祭運営委
員 浜野保樹・東大
大学院教授

水野 泰志 東京夕刊 1.28

鏝絵ってどんなもの。
民家や土蔵の壁 し
つくい彫刻 左官職
人の心意気

細川 貴代 毎 日 11.1

作 家	日 本				会田さんに会って 思ったこと	島袋 道浩			
	(ア)				いまさら北京？ 三瀨末雄に聞く、 北京進出の意気込 み	会田 誠、 三瀨 末雄 談 西野 基久 構成			
第31回損保ジャパン 東郷青児美術館大賞 相笠昌義氏に決まる		新美術新 聞	1150						
無所属作家の立場か ら 美術館事情につ いて	相笠 昌義	連盟ニユ ース	426			会田 誠 司 会 い ち む ら み さ こ、 卯城 竜太、 遠藤 一郎、 小川 てつお、 小田 マサノ リ、 武 盾 一郎、 富永 剛総、 増山 麗奈 談 川崎 昌平 構成			
東郷青児美術館大賞 相笠昌義氏に決まる		東京タ刊	4.16						
《朝餐後》との旅(仮 題)―阿以田治修の 思想―	稲石 瑠衣	文星芸術 大学大学院研究科 論集	3		青空雑談会				
特集 アジア=パシ フィックのアートシ ーン2003―2008 会 田誠インタビュー	内田 伸一	ART iT	21						
巻頭特集 地獄絵巡 礼 現代に息づく “地獄絵”現代作家イ ンタビュー 会田誠		アート・ ト ッ プ	221		あとがきメモラン ダム	会田 誠			
Zero in on 大岩オ スカルを松蔭浩之 が語る 夢みる世界 に込められた、ポリ ティカルな風景[会 田誠]	松蔭 浩之	〃	〃		会田誠(少女と写真) 第1回 タイトル 『熱海』	〃	〃	909	
SPECIAL FEATURE あらうんど THE 会 田誠		美術手帖	907		会田誠の『少女と写 真』またしても改め 「おんなのこしやし ん」 不定期連載第 2回 『無題』	〃	〃	915	
カリコリセンとや 生まれけむ	会田 誠				2008年子年新春企画 年男年女	相田 幸男	新美術新 聞	1140	
Chim ↑ Pomインタ ビュー	会田 誠 聞き手				COVER GALLERY 相原信洋	相原 信洋	瓜生通信	43	
ふつう研究所座談 会	会田 誠 岡田 裕子、 卯城 竜太、 白井 良平、 遠藤 一郎、 大塚 聡、 西岡 七歩子、 藤川 公三 談				写眼 深い青に浮か ぶ星々 相原正明 「満月の夜のチャン パーズビラー」	酒井 潤	産 経	2.11	
おんなのこしやし ん 松蔭浩之に聞 く、女の子撮影の 極意	会田 誠、 松蔭 浩之 談 西野 基久 構成				反抗と前衛 薨光	大谷 省吾	太陽(別冊)	154	
先生、僕に「絵画」 を教えてください !	会田 誠、 彦坂 尚嘉、 辰野 登恵子、 古谷 利裕 談				ロマンと情緒	蔵屋 美香	〃	〃	
会田誠批判で干さ れた?私	名古屋 覚				青木繁 画面の女性が「私」 に問いかける				
					お宝発見 青木繁の 自画像(東京芸大)	星賀 亨弘	朝 日	1.14	
					青木繁の地 守ろう 重文「海の幸」館山の 旧家 創作100年超 え住民ら「保存する 会」	岡村 淳司	東 京	9.26	

	長谷川祐子 スハニヤ・ ラフェル 淳 青木 デヴィッド ・エリオット			SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 アーティスト によるアーティスト 大論 青山悟 確かな 判断基準を持てばいい	青山 悟	美術手帖	909
	石井 孝之 ローレンツ ・ヘルブリ ング ピーター・ ナギ ユン・チェ ガブ シン・ヒョ ンジン	ART iT 21		工芸専攻 金属領域 情報化社会における 造形思考	赤井 太郎	多摩美術 大学大学院 修了論文作品集	2008
特集 アジア=パシ フィックのアート シーン2003-2008 アートビープル16人 が語る「この5年間」	小澤 慶介 クリッティ ヤー・カー ウィーウォ ン 嘉藤 笑子 キース・ウ オレス 岩渕 貞哉 ジョニーML リー・ウェ ン・チョイ			きる 下駄屋から	赤木 明登	芸術新潮	705
				2008年日本建築学会 作品選奨 龍谷大学 大宮図書館[赤木隆]		建築雑誌	1579
				ART AWARD TO- KYO 2008にて本学 卒業生・明石雄氏が 準グランプリを受賞	明石 雄 談	瓜生通信	44
				徳川美術館の思い出	赤瀬川原平	葵	67
				私の視点 世界遺産 騒動 日本人はお墨 つきが好き	"	朝 日	6.12
				フェルメールと私 人間の目を超える透 明性	"	朝日夕刊	10.9
コラム 現代美術と 建築の間[青木淳]	松井みどり	建築雑誌	1577	シミュレーションの 増殖	"	日 経	11.23
彩・美・風	青木 淳	朝日夕刊	6.4、11、 18、25				1.9、16、 23、30、 2.6、13、 20、27、 3.5、12、 19、26、 4.2、9、 16、23、 30、5.7、 14、21、 28、6.4、 11、18、 25、7.2、 9、16、 23、30、 8.6、27、 9.3、10、 17、24、 10.1、8、 15、22、 29、11.5、 12、19、 26、12.3、 10、17、 24
巻頭特集 いま、立 体作家が面白い！ 立体作品に注目、楽 しいコレクション グラフィック 青木 千絵		アート・ ト ッ プ	219				
特集 「アーティスト 」になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART1 個展を開く CASE STUDIES 展 示の可能性を探る [青木野枝]	白坂 ゆり	美術手帖	904	歩きたい 赤瀬川原 平の散歩の言い訳 第82回～第130回	"	毎日夕刊	
わたしの宝もの42 サザエさんのビデオ	青木 恵	新美術新 聞	1167				
青木龍山氏を偲ぶ 龍山先生さようなら	大樋 年朗	"	1152				
追想録 青木龍山さん(陶芸家) 天目など独自の世界	西山 彰彦	日経夕刊	5.23				
第75回毎日広告デザ イン賞 選評 第3 部(広告主参加作品 の部)最高賞・旭化 成	青葉 益輝	毎 日	3.10	歩きたい 赤瀬川原 平の散歩の言い訳 対談・東海林さだお さん 上、下	坂巻 士朗	"	8.13、20
特集 Part. 2 美術 の窓 300号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ レクション 青柳ナ ツエ 花狂い	高山 淳	美術の窓	300	意思より数字の日本 人 食品偽造でさら した「無知」	赤瀬川原平	読 売	3.7
				Osamu's Invitation 9 竜之進がゆく[赤 塚不二夫]	原田 治	芸術新潮	702

追悼 赤塚不二夫 もっとオッパイを！ 赤塚不二夫追悼余話	長谷 邦夫	水声通信	26				日 経	8.3
バカ田短期大学 第 一回～第六回[赤塚 不二夫]	三田 格 企画・編集	STUDIO VOICE	391～396					
VOICE OF VOICE 追悼・赤塚不二夫		"	394			鈴木 伸一	"	8.7
拝啓、赤塚不二夫 さま。あなたを愛 しております。	吉田 アミ							
愛される求道的な 壊れ方	幅 充孝							
バカ田短期大学 第 四回 赤塚不二夫・ 追悼座談会 足立正 生×手塚るみ子×湯 浅学	三田 格 企画・編集	"	"					
おやじの話、しちや おうか 父の作品 父と私 父の素顔 [赤塚不二夫]	赤塚りえ子、 手塚るみ子、 水木 悦子 談 近藤康太郎 構成	朝 日	7.6					
評伝 お別れなのだ 赤塚ギャグ戦後と共 鳴 酒と友を愛した 人生	鈴木 繁	"	8.3					
生命力の無法な羽ば たき 赤塚不二夫さ んを悼む	鶴見 俊輔	"	8.5					
赤塚不二夫さん死去 ギャグ漫画に新風 「これでいいのだ」 「シェー」		産 経	8.3					
追悼対談 強烈なシ ュール体験 赤塚さ ん自体ギャグ 泉麻 人さん×みうらじゅ んさん		"	8.7					
葬送 漫画家赤塚不 二夫氏 笑いの巨匠 と涙の別れ	堀 晃和	"	8.8					
【追悼・赤塚不二夫 さん】 笑いの底に 人間味	鈴木 伸一	"	8.9					
赤塚ギャグ漫画3大 傑作文庫版 280万 部でやんす	宝田 茂樹	"	8.31					
故赤塚不二夫さん 戦後闘争の季節に笑 い 流行語次々「ニ ャロメ」「シェー」	三品 信 東 京	8.3						
本音のコラム 赤塚 先生に感謝	山口 二郎	"	8.11					
赤塚不二夫氏を悼む 命削って創造したギ ャグ「人気の最長 不倒距離」生き抜く	長谷 邦夫	東京夕刊	8.6					
赤塚不二夫さん死去 「バカボン」「おそ松 くん」「シェー」な ど流行語も多数								
さらば赤塚不二夫さ ん ギャグぶっ放し た人なのだ シャイ な「遊び好き」、トキ ワ荘仲間巻き込む破 天荒	鈴木 伸一	"	8.7					
追想録 赤塚不二夫 さん(漫画家) 人生 はギャグなのだ	坂口 祐一	日経夕刊	8.29					
赤塚不二夫さん死去		毎 日	8.3					
まぶしい存在	松本 零士							
人生ギャグこれで いいのだ 酒愛し た自由人	内藤麻里子							
喪失感ひしひし	弘兼 憲史							
明るい酔っぱらい	森田 拳次							
面白いこと大好き	鈴木 伸一							
「昭和」また一つ消え [赤塚不二夫]	萩尾 信也	"	"					
赤塚さん追悼の電光 メッセージ 西武ド ーム	内田 達也	"	8.4					
ギャグ王との別れ惜 しむ 赤塚不二夫さ ん通夜に1200人参列	内藤麻里子	"	8.7					
赤塚不二夫さんを悼 む 週刊誌とテレビ の時代に迎えられた ギャグ	村上 知彦	"	8.11					
マンガの国の「衣食 住」「おそ松くん」 チビ太のおでん[赤 塚不二夫]	竹内オサム	"	11.29					
赤塚不二夫さんを悼 む 不条理と家族愛 と振幅あつてこそ の天才	切通 理作	毎日夕刊	8.4					
赤塚さん葬儀 タモ リさん涙の弔辞「私 もあなたの作品です」		"	8.7					
赤塚不二夫さん死去 「ギャグ道」まい進の 生涯 天国で愛猫と 「シェー」	佐藤 雅昭	"	8.9					
赤塚不二夫さん死去 「おそ松くん」「天才 バカボン」		読 売	8.3					
ギャグでいいのだ ナンセンスと酒の人 生 赤塚さん悼む仲 間ら		"	"					

真骨頂はタモリ発掘 山下 洋輔

特集 細野晴臣の楽しみ方! MUSIC & LIFE MUSIC 世界でいちばん近いファン! ~赤塚りえ子

水越 真紀 STUDIO VOICE 393

赤塚るみ子、え子、悦子
手塚木水 朝 日 7.6
談近藤康太郎
構成

工部美術学校女子生徒秋尾園資料の研究 金子 一夫 鹿島美術財団年報・別冊 25

日々好日 秋野不矩 浜田 泰介 新美術新 1168
先生の思い出

奥の横道 陽炎が象
を溶かしてタゴール 宇野亜喜良 東京 10.12
忌(左亭)[秋野不矩]

マンガの国の「衣食住」「こち亀」とハイテク[秋本治]	竹内オサム	10.25
----------------------------	-------	-------

ヒト グラフィック
・デザイナー「秋山
伸」 高見 真二
聞き手 建築雑誌 1574

特集01 アートの
理由 インタビュー
& エッセー 秋山祐
徳太子 アートは何
を目指すのですか？

アート・
トッ プ 224

特集＝「いまこそ糸井貫二」3 普通の
人、本物の人〈ダ
ダカン・シンポジウ
ム〉報告

コレクション／横須賀美術館と朝井閑右衛門 富田 康子 博物館研究 476

社会人 My キャンパ

浅井 慎平 上、 浅井 慎平 日経夕刊 7.
中、下 大阪芸術大 8.
・芸術学部

浅井愼平写真集 (前) 読 売 6.1

世紀転換期のヨーロッパ滞在—浅井忠と夏目金之助— 伊藤 徹 関西大学文学部 41

写実の系譜Ⅰ 西洋 十田 亨 七隈(別冊) 154

「さーちゃん」の役は、浅井 治彦 明星大学 16

日本の新進作家展

vol. 7 オン・ユア
・ボディ4 朝海陽 笠原美智子 東 京 10.31
子「ホームアローン、
東京」

コミックガイド 月
は何でも知っている 山脇 麻生 朝 日 4.27

世界文化賞 素晴らしき朝食 撮影 経 10.12

筑波大学

黒田 乃生 芸術研究 51
芸報告

特集 Tokyo Metabolism 2010/50 Years
After 1960 論考
空間の開発・環境の
制御 一九六〇年前
後の浅田孝と高層化
研究・人工土地・極
地建築

菊池 誠 10 + 1* 50

SV ART PHOTO GALLERY 浅田政志「浅田家」	編集部	STUDIO VOICE	392
ひと ユニークな家族写真を撮り続ける写真家 浅田政志さん	尾沢 智史	朝 日	8.17
虚と実と感動	浅野 修	主体美術	84
特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する 人気作家が 語る!!「公募展と わたし」	浅野 輝一	美術の窓	300
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 浅野輝 一 歌のように	高山 淳	〃	〃
特集 サンプルたく さん入ってます!! 浅葉克己「デザイ ナーはコレクターで あれ!」	大輪 俊江	デザインの 現場	160
文字が導く民族の歴 史 東京ミッドタウ ンで「祈りの痕跡。」 展[浅葉克己]	黒沢 綾子	産 経	9.20
世界跳ねるピンポン 外交 北極から死海 に至るまで、草の根 交流ひとり30年	浅葉 克己	日 経	9.8
山下裕二の今月の隠 し球 追悼 浅羽保 治 もう一度お会い したかった!	山下 裕二	美術の窓	300
《連載》戦時下日本の 美術家たち 第22回 静かな声 浅原清隆	飯野 正仁	あいだ	148
特集 若手作家の水 墨表現はここまでで きている 浅見貴子	野地耕一郎	趣味の水 墨画	230
作家通信 在ニュー ヨーク、あと三ヶ月	浅見 貴子	〃	232
偶然が織りなす氷画 の美 氷を使った自 己流版画、一瞬とら える感性に磨き	阿左美哲男	日 経	5.30
特集 「世界」を救う ためにデザインがで きる。 デザインに できることは何か G マーク審査委員へ のアンケート	安次富 隆	デザインの 現場	159
特集 マンガ批評の 新展開 マンガを読 む/読み替える ユ ートピアゆき猫目の 切符『よつばと!』 のメタ感情記号[あ ずまきよひこ]	斎藤 環	ユリイカ	552

生きているから意味がある」東信がつくる花のかたち			芸術新潮	705
平和の願いアクリル画に「生と死」「反戦」テーマ[東美名子]	関口 寛人	読 売		12.17
版画再発見 山の画家 畦地梅太郎	今井 圭介	版画芸術		142
山下裕二の今月の隠し球41、42 麻生知子「生活に根ざした実感を、絵に昇華する」(上)(下)	山下 裕二	美術の窓		296、297
コミックガイド そこをなんとか 麻生みこと	南 信長	朝 日		3.23
Creators' Workshop ミルクグラフィックス 安達真	渡部 千春	デザインの現場		159
特集 海外サクセスバイブル 我ら、「海外移住組」。安積伸	猪飼 尚司	〃		161
本づくし「できることはたくさんある」『グッド・ニュース 持続可能な社会はもう始まっている』デヴィッド・スズキ&ホリー・ドレッセル 著	安積 朋子	A X I S		135
AXIS フォーラム 第29回 「デザインの道のりスケッチから商品まで」[安積朋子]	加藤 順子	〃		136
40年にわたり、精神疾患の患者らに絵画を教えてください 安彦講平さん	杉野謙太郎	読 売		12.29
第3回現代ガラス大賞展・富山2008年大賞に阿比留生吾氏が決定		新美術新聞		1165
惜別 写真家 阿部克自さん	藤崎 昭子	朝日夕刊		11.14
「絵本の力」に願い込め 日仏作家4人の原画展「ネット社会から子どもを守りたい」[あべ弘士]	久原 穂	東 京		12.7
生命感・精神性のある空間の創造	阿部 緑	大阪成蹊大学芸術学部紀要		4
わたしの宝ものの38 將軍塚からの夜景	阿部 友子	新美術新聞		1156
作家通信 河童を描いて二十年	阿部田緑山	趣味の水墨画		236
彫刻家の現場から36 雨宮淳	武田 厚	美術の窓		295

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み &
ベストセクション
現代作家のベストセ
レクション 雨宮敬
子 優しい気品

Reviews : As I See
It... 『タクシデル
ミア〜ある剥製師の
遺言〜』 飴屋 法水 ART iT 19

連載特集=《追悼・山岸信郎》1 ぼくは山岸さんに自販機雑誌の連載をやってもらった 荒井 真一 あいだ 155

きく 詩がドンドコ 荒井 良二 芸術新潮 700

交遊抄 ダダイスト 塚原 史 日 経 3.8
[荻川修作]

語る 美術家 荒川
修作 「生命の常識」 〃 6.15
覆す 建築

研究報告「人間国
宝 荒川豊蔵」展
出品作の制作年の修
正についての報告

正村 美里

岐阜県美
術館年報

25

縁に連なり—特別展
人間国宝「荒川豊蔵」 福富 幸 陶 説 659
に寄せて

豊藏雑考一昭和二十
八年作の志野茶碗と
昭和三十九年作の志
正村 美里 " 662

桃山への憧憬 創造
への意欲 人間国宝 竹内 順一 東 京 4.19
荒川豊蔵展

特集 マンガ批評の
新展開 注目作家イ
ンタビュー！ 現実
ファンタジーを
を素材に 夢を鍊る
『鋼の鍊金術師』とい
う鍊成の行方

荒川 弘
藤本由香里 ユリイカ 552
聞き手

「共同研究報告」海外
「SHAIHENS」展の試
み

荒木 信
伊藤 英
遠藤 高
中島 二
林 俊
泰 郎

金沢美術
工芸大学
紀要

52

荒木珠奈 手仕事から紡ぎ出される生命 秋田 真波 版画芸術 142

SV ART PHOTO GALLERY 殿村任香『母 荒木 経惟 STUDIO VOICE 387
恋 ハハ・ラブ』

ベトナムと私 幸せ
がカメラに飛び込ん
だ写真家 荒木経
惟さん

望月 洋嗣 朝 日 3.18

アラーキーがゆく 産 経

『アラキーがゆく
—ベトナム編—』出
版 本紙連載が写真
集に

デジカメ…当世コ ラ ム アラーキー68歳 誕生日「写狂老人」 海外で大人気	重松 明子	〃	5.29
---	-------	---	------

わたしの三ツ星 推			
薦人 写真家 荒木			
経惟 華やかな指	〃	〃	6.2
席でマティーニを			
わう			

集う「荒木経惟 勲
章伝達式」

学校と私 写真家荒 山本 紀子 毎 日 5.19
木経惟さん カメラ 聞き手
で見えた逆さまの校舎

2008年日本建築学会
作品選奨 坂井市立
丸岡南中学校[新谷
真人]

建築雑誌 1579

建築年報2008 III
デザインレビュー
構造「構造デザイン」の力 新谷 眞人 〃 1580

研究報告 機文峰の
アルバムから 大正
の美人コレクション

南本 有紀

ミュージ
アムひだ
研究報告*

H19年度

茶室の工芸学—現代
工芸家の茶器
良益「肥松盛器」

SV ART PHOTO GALLERY ARIKO『SOL』	編集部	STUDIO VOICE	393	自伝と個展でたどる「挑戦」と「闘い」建築家・安藤忠雄氏	稲葉 千寿	東京夕刊	11.7
近代文学における「秋」の風景表象—島崎藤村『千曲川のスケッチ』を中心に—[有島生馬]	中島 国彦	早稲田大学大学院文学研究科紀要	53	異色の建築家 初の自伝刊行[安藤忠雄]		日経夕刊	11.6
写眼 マラソン大会を支える“安全” 有元伸也「無題」(《Marathon》より、平成20年)	堀 晃和	産 経	3.3	だいあろへぐ—東京彩人記 建築家 安藤忠雄さん 利用者 と対話する駅を	前谷 宏 聞き手	毎 日	6.4
作品とその周辺	有元 容子	実践女子大学美学美術史学	22	建築家安藤忠雄 著者安藤忠雄さん 持続が生む力	岸 桂子	〃	12.21
栗津潔 戦後日本をデザインした男		芸術新潮	699	「新たな知の創造を」福武ホールが完成 安藤忠雄さん設計 東大構内に	手塚さや香	毎日夕刊	4.10
SV CUT UP DESIGN BOOKS『栗津潔 荒野のグラフィズム』見て、見て、見つけける思考眼	生西 康典	STUDIO VOICE	386	建築 安藤忠雄「東京急東横線・東京メトロ副都心線渋谷駅」と「東京大情報学環・福武ホール」	五十嵐太郎	〃	7.1
アート探求「栗津潔 荒野のグラフィズム」展 増殖し乱舞するモチーフ群 1700点が示す無限の発想	小川 敦生	日 経	1.5	きる 袋とバッグ	安藤 雅信	芸術新潮	699
特集01 アートの理由 アンケート若手作家に聞きました[アンマサコ]		アート・トップ	224	作品 「二つの球根」	安藤 康裕	秋田公立美術工芸短期大学紀要	13
建築みやげ・建築グッズ スノードームのなかの建物	安西 水丸	建築雑誌	1579	展覧会開催記念 安野光雅『絵本三国志』の世界		墨	192
ファイニンガー展 光の結晶3 カーニヴァル 風刺の視線で妖しく	〃	東京夕刊	8.27	巻頭特集 水性画材を極める 秘技法講座 VOL.11 安野光雅の見る風景—「原風景」を求めて—	志賀万有美	美術の窓	299
版画入門講座 銅版画最終回アクアチント メニューカードを作ろう!	安藤 真司	版画芸術	139	追憶の風景 東京画家 安野光雅さん 焼け野原、誰もが競争相手	大西 若人	朝日夕刊	7.1
ピカソ展 六本木から 新たな文化圏彩る最強の表現者	安藤 忠雄	朝 日	11.11	ゆうゆう Life 向き合っ 画家安野光雅さん 上、下	竹中 文	産 経	11.20、21
観流 住吉の長屋 実物大で味わう安藤建築	大西 若人	〃	12.11	人 第56回菊池寛賞受賞の画家 安野光雅さん 「絵を描いているだけで幸せ」	岡部 伸	〃	12.5
東大キャンパスに“縁側” 安藤忠雄設計「福武ホール」完成	堀 晃和	産 経	4.20	入門講座 平家物語ひろい読み 1〜4 安野光雅	安野 光雅	日経夕刊	2.7、14、21、28
「'08北京」に寄せて 建築家 安藤忠雄 人間の可能性の再発見	安藤 忠雄	〃	8.24	ダブルクリック 中村不折のこと	〃	毎日夕刊	4.15
				ふるさと 画家、絵本作家 安野光雅さん 島根県津和野町	竹井 陽平	読 売	5.20

(イ)

飯田善國『クロマトポイエマ』と『クロマトフィロロギア』についての一考察

高木 幸枝 町田市立国際版画美術館紀要 12

デザイン専攻 情報 デザイン領域 風景 をかたちづくるもの	飯沼 珠実	多摩美術 大学大学院 修了論文 作品集	2008	彫刻家の現場から34 池田カオル	武田 厚	美術の窓	293
《特集=追悼・風倉 匠》7 風倉匠と『リ リパット王国舞踏会』 のこと	飯村 隆彦	あいだ	151	SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 座談会 ゼ ロ年代のリアル	池田 剛介、 大庭 大介、 奥村 雄樹、 塩原 れじ、 田中 功起、 田幡 浩一、 名和 晃平 談栗田 大輔 司会・構成	美術手帖	909
第18回タカシマヤ美 術賞決定 団体助成 に長崎県美術館 家 出隆浩氏 工芸 川 島清氏 彫刻 齊藤 典彦氏 日本画		新美術新 聞	1143	特集 「アーティスト 」になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART2 場所を開拓 しよう 学生代表・ 池田拓馬に聞く ア ーティストが展覧会 をつくること	伊部 玉紀	"	904
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 五百住 乙人 イメージの持 つリアリティ	高山 淳	美術の窓	300				
先輩に聞け! デザ イナーが若いうちに しておくべきこと25 五十嵐久枝	石田 純子	デザインの 現場	159		加藤 好弘、 ヨシダヨシ エ、おえまさ のり、秋山祐徳太 子、上条順次郎、 増子 静、あ い だ 竹熊健太郎、 タカシ、松田 政男、 池田 龍雄、金田一安民 談鳥水亭木呂 司会		
特集 「大坂画壇」は 蘇るか? 「綺麗な もん」から「面白いも ん」まで 「浪花情 緒」のモダンズムー 北野恒富と生田花朝 の場合	橋爪 節也	美術フォ ーラム21	17	特集=《いまこそ系 井貫二》3 普通の 人、本物の人 (ダ ダカン・シンポジウ ム) 報告			153
Spot 幾田邦華 美 しい自然との出会い に、よく胸高鳴らせ 筆をとる	編集部	アート・ トップ	224				
池垣タダヒコ これ は版画なのか? 版で 版画を越える	奥村 泰彦	版画芸術	139	奇怪・不可解の図 譜十選 1~10	池田 龍雄	日 経	5.29、 6.2、3、 5、6、10 ~12、 16、17
中特集 巨匠展—今 そして未来2008— 巨匠展出品作家 池 口史子	池口 史子	美術の窓	296	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 池田千 世子 耀く	高山 淳	美術の窓	300
PREVIEW 池口史子 展 静寂な画面の中 身	武田 厚	"	301	版画望遠鏡[第4回] 池田満寿夫の「版画 」と「陶芸」はどうつな がるのか?	松山 龍雄	版画芸術	139
木下逸雲・池島邨泉 を中心とする、長崎 の書画会について	植松 有希	長崎歴史 文化博物 館研究紀 要	3	特集 あなたの知ら ない版画の秘密 日 本編 Q15 池田満 寿夫、スター誕生物 語。	黒川 公二	"	142
人生は夕方から楽し くなる 猫の「ダヤ ン」誕生25年 池田 あきこさん	太田阿利佐	毎日夕刊	7.26	池田満寿夫の未発表 作発見 10代? 油彩 画	岸 桂子	毎日	3.14
写真・池田信/解説 ・松山巖 1960年代 の東京	(清)	読 売	3.23	特集01 超絶技巧絵 画編 インタビュー 超絶技巧の秘密に迫 る 池田学	池田 学	アート・ トップ	223
船、山に上る 森の 引越し 広島・灰 塚ダム、水位を利用 し伐採木の巨大船を 運ぶ	池田 修	日 経	4.7				

中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[池田光 弘]		"	219	作家通信 私って 「アレキサンダー大 王の追っかけ？」	石井 松琴	趣味の水 墨画	230
SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 アーティスト によるアーティスト 論 池田光弘 un- titled	池田 光弘	美術手帖	909	ラウンジ 石井竜也 さん 顔力オカお… 中にダルマ	西田 浩	読売夕刊	1.12
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 池田宗 弘 生涯の道場	高山 淳	美術の窓	300	「石井鶴三と信州— 立体感動をつたえる 力—」展記念講演 巨人 石井鶴三の信 州へのこだわりと追 求	柳沢 廣	碌山美術 館	28
学会発 アルゴリズム ミック・デザインの ブレイク	池田 靖史	建築雑誌	1574	岸田劉生に厭な奴だ、 嫌いだといわれた画 家たち (其の三) 石 井柏亭(上)(下)	横田 洋一	美術運動 史研究会 ニュース	94、95
池田遙邨と京都画壇 における古典研究	佐々木千恵	鹿島美術 財団年報 ・別冊	25	美術学部教員展図録 デザイン	石井 晴雄	愛知県立 芸術大学 紀要	37
中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[池田良 二]		アート・ ト ッ プ	219	この人 仏セヌ川 を彩る企画を手掛け た照明デザイナー 石井幹子さん	金子 大 東 京		10.6
ARTIST INTER- VIEW 池田亮司	長谷川祐子 インタビュー ー	美術手帖	907	第10回シャチハタ・ ニュープロダクト・ デザイン・コンペテ ィション開催 これ までのグランプリ受 賞作[石井洋二]	川上典李子	デザインの 現場	161
[特集]二〇〇七年の アーティスト・トー ク 「工芸館30年の あゆみ」展ギャラリ ートークから	伊砂 利彦	現代の眼	568	特集 若手作家の水 墨表現はここまで している 石井礼子	野地耕一郎	趣味の水 墨画	230
特集 建築ガールズ パワー III 女性建 築家に聞く 非ユニ ット派の女性建築家	宮 晶子、 井坂 幸恵 談 平塚 桂 聞き手 萩原 文 詩子	建築雑誌	1579	アーティスト訪問57 石内都		ギャラリー 一	279
海外に学び日本に学 ぶ ラテンの血/都 市に秩序をつくる	井坂 幸恵	"	1583	石内都 ヒロシマよ、 目覚めなさい		芸術新潮	704
江戸時代の寺耐震改 修 新技術伝統保存 に一役	伊坂 道子	毎 日	6.19	特集 母と娘の物語 —母/娘という呪い マンガ/写真/TV ドラマ/ゲームの中 の母 マザーコンプ レックス 石内都 『mother's』から降り ゆく喪のノート	五所 純子	ユリイカ	559
第45回記念朝日陶芸 展 秀作賞 有機的 多面体 石井かおり さん	西田 健作	朝日夕刊	4.8	広島被爆者の服、写 真集に 石内都さん 日常の生活感伝える	小石 勝朗 阿久沢悦子	朝 日	6.7
技と美11 ファイバ ー造形作家/石井香 久子	楠元 恭治	美術の窓	302	視線 ひろしま 石 内都著	北澤 憲昭	"	6.22
孤高の画家石井一男 さんの幸福学 お金 って、あまりないほ うがいいんかなあ…	鈴木 琢磨	毎日夕刊	12.1	ひと 被爆した衣服 をカメラでよみがえ らせた写真家 石内 都さん	武田 肇	"	7.11
追悼 磯村敏之さんと 鬼籍の人	石井 公彦	主体美術	83	石内都写真集「ひろ しま」	(前)	読 売	5.4
				PAPER IN MY WORK 118 石岡良治 自 分の中のスタンダー ド	杉瀬 由希	デザインの 現場	161

アート探求 石上純也のKAIT工房 空気を建築にできるか	窪田 直子	日 経	1.26
Spot 石川和賢 日常の自然を独自の視角で切り取る	野呂 一仁	アート・トップ	223
九楊源氏ふたたび [石川九楊]		芸術新潮	707
石川九楊 平成源氏物語五十五帖展 展覧会開催記念・石川九楊氏インタビュー		墨	194
石川九楊、「源氏物語」に挑戦 書で表す「性愛」「四季」の世界	松岡 資明	日 経	6.29
漫画家による漫画のための漫画論「いしかわじゅん」		芸術新潮	700
総特集 杉浦日向子 エッセイ 江戸の人	いしかわじゅん	ユリイカ	557
入門講座 漫画ヒーロー列伝1〜4 いしかわじゅん	〃	日経夕刊	11.6、13、20、27
漫画ノート 著者いしかわじゅんさん自身の「失踪」告白	内藤麻里子	毎 日	4.20
追悼・赤塚不二夫さん ギャグ漫画を変えた男 いしかわじゅん	いしかわじゅん	読 売	8.4
クリエイターズワーク&ソウル 石川俊祐		A X I S	133
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 石川忠一 心のかたち	高山 淳	美術の窓	300
石川寅治の裸婦版画をめぐって	岩切信一郎	一 寸	34
写真家・石川直樹が旅して撮った あたらしい世界地図		芸術新潮	697
特集 CREATORS OF 2008 2008年を創る20人のクリエイターたち! 写真家石川直樹 新しい世界と出会うための“写真”	光田 由里 インタビュー	STUDIO VOICE	385
異見新言 旅とはなにか 今ここにある無数の未知 心揺さぶる何かとの出会いこそ	石川 直樹	朝 日	4.12
基地の島の間人ドラマ記録34年 石川真生さん	片山 夏子	東 京	4.21

ひと 第12回手塚治虫文化賞のマンガ大賞を受賞した 石川雅之さん	小川 雪 朝 日	5.10
第12回 手塚治虫文化賞 大賞「もやしもん」石川雅之さん	荒俣 宏 呉 智英 香山 リカ	〃 〃
「これからも地道に」手塚賞贈呈式 石川さんらあいさつ [石川雅之]	小川 雪 大室 一也	〃 6.14
ミュージアム・インタビュー「アーティストの千葉奈穂子さんと石川美奈子さんに聞きました」の巻		aprire 13
特集01 超絶技巧絵画編 インタビュー 超絶技巧の秘密に迫る 石黒賢一郎	石黒賢一郎	アート・トップ 223
わたしの宝もの34 4人のマエストロ達	〃	新美術新聞 1145
食べたい しあわせ食堂 「肉団子鍋」口どけばらり 中国式 水で練りさっと揚げ	石坂 啓	毎日夕刊 11.25
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 石阪春生 イメージが自然をつくる	高山 淳	美術の窓 300
絵に学ぶ 世界の心を打つ日本の伝統 美、技術 日本画家石崎昭三氏	齊藤 繁 産 経	9.21
PAPER IN MY WORK 119 イシザキミチヒロ 紙を介したコミュニケーション	杉瀬 由希	デザインの現場 162
[特集1] 現代美術への視点6 エモーションナル・ドローイング 北斎の獅子の筆跡ーエモーションナル・ドローイング展によせて	石田 尚志	現代の眼 571
「海坂の絵巻」について	〃	多摩美術大学研究紀要 22
巻頭特集 「僕らの現実」を描き続けて去った人 没後3年 石田徹也 13年の画業と知られざる素顔		美術の窓 302
石田徹也 画業13年の足跡		

友人・恩師らが語る 石田徹也知られざる素顔1	平林 勇 談				交遊抄 世界の巨匠と	石塚元太良	日 経	8.28
友人・恩師らが語る 石田徹也知られざる素顔2	豊嶋 浩美 談				マンガ大賞に石塚さんの「岳」[石塚真一]		読 売	4.8
友人・恩師らが語る 石田徹也知られざる素顔3	石田サチ子、藤ヶ谷秀幸、増田賢一、山田雅人、福田匠 談				石ノ森章太郎さん漫画多作でギネス		毎 日	1.25
友人・恩師らが語る 石田徹也知られざる素顔4	石田浩巳、増田賢一、山田雅人、福田匠 談				石橋和訓のイギリス時代	真住 貴子	島根県立石見美術館研究紀要	2
「最後に持ってきた絵を見た時は、何も言えなかった」	和田友美恵				思い出の作家たち カリカリと鳴る3月14日の換気扇の音 遠藤駿二との別れ	石橋 別人	美術運動	135
焼津市立小川小学校6年生図画工作科 飯塚浩章先生～石田徹也の世界に触れて～					神々の杜 石橋睦美著		日 経	2.3
「僕らの時代」を描いた 画家・石田徹也の磁力 スペシャル対談 山下裕二×西松典宏	山下 裕二、西松 典宏 談				特集 石本正の思い		石見美術	6
絵筆を持った聖者	堀切 正人				ふるさとが絵を描かせてくれる(講演録)	石本 正 談 神 英雄、丸山 智 聞き手		
「救済」のための「自画像」	斎藤 環				石本正の仕事と人(講演録)	小嶋 悠司		
空虚な存在	上田 雄三				絵をかくこと一ふるさととの友・石本画伯そして自分(講演録)	平坂 常弘		
練馬区立美術館で大規模個展開催! 石田徹也展開催に寄せて	横山 勝彦				石本正 花の系譜(研究論文)	丸山 智	〃	〃
美の履歴書 088 この男は何者なのか「飛べなくなった人」石田徹也	大西 若人	朝日夕刊	12.10		石本正作品紹介1(資料紹介)	神 英雄、丸山 智	〃	〃
[制作記録]野焼きによるテラコッタ彫刻	石田 陽介	金沢美術工芸大学紀要	52		Zero in on 石山修武 他者の夢を形にする	荒川由紀子	アート・トップ	222
SV ART PHOTO GALLERY 石塚元太良『INNER PASSAGE』	平野啓一郎	STUDIO VOICE	391		巻頭特集 ドローイング・デッサンの技を磨く ⑧技法講座 VOL.10 デッサン・ドローイングの魅力と楽しみ 建築家とドローイング 現代社会の生活の表現としてのドローイングの連続	石山 修武	美術の窓	298
特集 写真集の現在 2008 PHOTOBOOKS NOW PHOTO & INTERVIEW 写真家秘蔵のアザー写真	石塚元太良	〃	394		横浜「黄金町バザール」を歩く アートが挑む街の闇 ゆるい空気と、緊張感「方向性、間違っていない」	大西 若人、石山 修武 談	朝 日	10.7
INFORMATION AUTHOR この本の著者に会いたい 石塚元太良がとらえた、水面から見上げた東京の街	上條 桂子	美術手帖	913		「地方からの声」スペシャル鼎談vol.1『北方人のリアリズム』	石山 亮一、富樫 耕一、丸谷 耕一、藤田 俊哉 聞き手	主体美術	84

SPECIAL FEATURE

日本のアーティスト
・序論 アーティスト
によるアーティスト
論 泉太郎 足り
なくてやり直し

泉 太郎 美術手帖 909

巻頭特集 猫をうまく
描く 技法講座
VOL.12 Part.1 技
法編 LESSON 2 油
彩 極細筆による猫
の体毛と月の逆光表
現

泉谷 淑夫 美術の窓 301

「絵本の力」に願い込
め 日仏作家4人の
原画展「ネット社
会から子どもを守り
たい」[いせひでこ]

久原 穂 東 京 12.7

追悼 磯村先生

伊勢 正史 主体美術 83

茶室の工芸学—現代
工芸家の茶器 磯井
如真「蒔絵龍鳳文
八角香盆」

木田 拓也 淡 交 771

Art Scope REVIEW
追悼・磯江毅 「胸、
もつと暗色で、もつ
と冷たく」

諏訪 敦 アート・
ト ッ プ 220

インタビュー 廃墟、
空白、生成 一九五
〇—七〇を俯瞰する

磯崎 新 直彦 10 + 1 * 50

観流 磯崎建築 胸
に迫る「空洞」空間

大西 若人 朝 日 6.11

たいせつな本 磯崎
新

磯崎 新 "

上 張岱『陶庵夢
憶』

9.14

下 ゲーテ『イタ
リア紀行』

9.21

ことば 磯崎新さん

大西 若人 " 11.18

ハラミュージアムア
ーク「観海庵」増築記
念展 古今の美 時
空超え対話[磯崎新]

黒沢 綾子 産 経 8.21

作品が選ぶ場所 ハ
ラミュージアムア
ーク 磯崎氏新作の「観
海庵」

稲葉 千寿 東京夕刊 8.1

語る 建築家 磯崎
新 社会を前へ進め
る

日 経 6.1

追悼[磯村敏之]

主体美術 83

磯村先生

伊勢 正史

磯村敏之さんと鬼
籍の人

石井 公彦

美の履歴書 078 花
々はなぜかすむのか
「葆光彩磁花弁文花
瓶」 板谷波山

秋山 亮太 朝日夕刊 10.1

巻頭特集 いま、立
体作家が面白い!
立体作品に注目、楽
しいコレクション
木彫ルネッサンスが
はじまった 木から
生まれる百花繚乱
[一井弘和]

アート・
ト ッ プ 219

市浦健提案の建築家
法の形成過程と意味
—建築士法の展開に
関する研究—

速水 清孝 日本建築
学会計画
系論文集 633

水と器

市川 裕司 多摩美術
大学研究
紀要 22

彫刻家の現場から40
一銀田徹

武田 厚 美術の窓 299

市島桜魚 2006 ~
2007年 作品の解説

市島 桜魚 金沢学院
大学紀要* 6

昼ドラで演歌な、開
魂オペラマンガ[一
条ゆかり]

芸術新潮 700

欲望が創作のエネル
ギー 漫画家・一条
ゆかりさんに聞く

小川 雪 朝日夕刊 8.19

人、瞬間 漫画家一
条ゆかりさん 上、
中、下

舛田奈津子 産 経 8.19~21

読みたい 本の現場
一条ゆかりさん 少
女漫画界のトップを
走る女王様パワー

内藤麻里子 毎日夕刊 8.29

《特集=追悼・風倉
匠》3 トーク・シ
ョー「風倉匠と語る」
(2006) 虎落笛がこ
わかった 風倉匠の
「音」原点

風倉 匠 談
一ノ宮佳邦 あ い だ 150
聞き手

SPECIAL FEATURE
あらうんど THE 会
田誠 青空雑談会

会田 誠
司会 いちむらみ
さこ、 竜太、
卯城 遠藤 一郎、
小川てつオ、
小田マサノ
リ、 武 盾一郎、
富永 剛総、
増山 麗奈
談 川崎 昌平
構成

彫刻家の現場から35
一色邦彦

武田 厚 美術の窓 294

美術学部教員展図録
油画

井出創太郎 愛知県立
芸術大学
紀要 37

画家たちの美術史64
井出創太郎

中井 康之 美術手帖 908

特集=《いまこそ系
井貫二》

あ い だ 153

1 開かれたダダカン	小坂 真夕			名建築を訪ねる 山縣有朋記念館 質素な館 明治の重鎮集う[伊東忠太]	小倉 貞俊	東京	2.13
2 全裸のハプニング天使がやってきたこと〈鬼放展〉について	鳥水亭木呂			個人研究・教員年譜 美術学科 彫刻専攻	伊東 敏光	広島市立大学芸術学部紀要	13
3 普通の人、本物の人〈ダダカン・シンポジウム〉報告	加藤 好弘、 ヨシダヨシエ、 おおえまさのり、 秋山祐徳太子、 上条順次郎、 増子 静、 竹熊健太郎、 タカシ、 松田 政男、 池田 龍雄、 金田一安民 談 鳥水亭木呂 司会			多摩美術大学図書館 一用と美の間で[伊東豊雄]	村田眞智子	アート・ドキュメンテーション通信	76
				特集 土木の真髓—暮らしのためのデザイン くまもとアートポリス、伊東豊雄コミッション—に聞く	渡邊 竜一	A X I S	132
				特集 デザイナーが会いたかった人たち 海老澤伸樹が伊東豊雄を訪ねる	山本 玲子	"	134
特集 ゲームを作ろう! 非ゲーム・クリエイターのための入門講座 Video Game;The Last Creative Frontier 座談:飯田和敏×ブルボン小林×森川幸人×伊藤ガビン	佐藤 譲	STUDIO VOICE	395	特集 建築資料をのこすということ III インタビュー 建築資料は美術的価値を持つのか?—アートと文化遺産の境界線について	伊東 豊雄 談 中田千彦 聞き手 真壁 文	建築雑誌	1576
アートで生きる/アートとかかわる9 連載トーク「女性アーティストの現在」6 伊藤ガビン×杉田敦	土屋真喜子 構成・文	美術手帖	905	シンポジウム THEATRO SUPER STUDIO—ユーロピアを越えて	クリスティアーノ・トラルド・ディ・フランシア、 伊東 豊雄 五十嵐太郎 司会	10 + 1 *	50
巻頭特集 ドローイング・デッサンの技を磨く 秘技法講座 VOL.10 国展作家が語る わたしにとってのデッサン・ドローイングとは?	伊東 啓一	美術の窓	298	100号記念エッセー 美術館への期待	伊東 豊雄	美連協ニュース	100
研究ノート 〈館蔵資料〉伊藤慶之助 新聞小説「青雲」挿絵原画ならびに「神港夕刊」掲載の新聞挿絵について	枝松 亜子	西宮市大谷記念美術館 NEWS	21	[共同研究報告] 「SHAIHENS」—海外でのグループ展の試み	荒木 恵信 伊藤 英高 遠藤 研二 森 俊市郎 林 泰史	金沢美術工芸大学紀要	52
[制作記録]土の壁—青い凍結晶—の周延	伊藤 公象	金沢美術工芸大学紀要	52	まち語り もの語り 都に残った職人技 木版画 京都[井堂雅夫]	国府田英之	産 経	3.9
オークションの逸品 伊東深水「初鳴日」		ギャラリ一*	283	この人 5年かけて平成版浮世絵「京都百景」を完成させた 井堂雅夫さん	佐藤 敦	東京	4.4
伊藤隆康について	速水 豊	ART RAMBLE	18	浮世絵で案内京都百景 木版画家、5年かけ制作[井堂雅夫]	堀江優美子	読 売	4.2
2008年度新任教員紹介 キャラクターデザイン学科専任講師 伊藤敬之	伊藤 敬之	瓜生通信	43	特集 映像研究科アニメーション専攻設置	伊藤 有壱、 岡本美津子、 山村 浩二、 出口 丈人、 藤幡 正樹 談	芸大通信	17
				新盆[伊藤快彦]	丹尾 安典	一寸	35

作家通信「第30回 記念墨絵展」を終え て	稲垣 三郎	趣味の水 墨画	231	井上嗣也作品集 「INOUE TSUGUYA GRAPHIC WORKS 1981—2007」	(前)	読 売	4.20
人と墨6 稲垣三郎 不定形に広がる自由 さに墨の可能性を追 求する		"	234	特集Part. 1 絵を 発表しよう!! sec- tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	井上 俊郎	美術の窓	300
視線 まだ見ぬ中国 稲越功一著	サエキけん ぞう	朝 日	8.31	PREVIEW 井上俊郎 自選展—東洋の象徴 美— 対談 心の故 郷を探し求めて 井 上俊郎 VS 一井建二	井上 俊郎、 一井 建二	"	302
第10回記念雪梁舎フ ィレンツェ賞展 大 賞は日本画の稲田峻 氏		新美術新 聞	1163	格子窓が隔てる現実 撮る 精神科病院や 少年院訪れ「内側」の 人生に思い	井上 廣子	日 経	11.26
第四十回日展に向か って～各科係主任よ り～ 雑感	稲元 実	日展ニュ ース	130	窓 論説委員室から 書は万人のもの[井 上有一]	越村佳代子	朝日夕刊	7.14
座談会「第四十回 日展—新たなる一〇 〇年へ—」	橋本堅太郎 中山 忠彦 稲元 実 村田 省蔵 蛭田 二郎 奥田小由女 日比野光鳳 清水 透石	"	131	点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その8 猪 熊弦一郎と「FACES ・マンダラ」	林 紀一郎	新美術新 聞	1169
みる めいぐるみの 奇跡	乾 久美子	芸術新潮	704	クリエイターズワー ク&ソウル イノダ トスバイエ[猪田恭 子]		A X I S	136
文化往来 山に生き 山で命を落とした画 家犬塚勉		日 経	10.7	特集Part. 1 絵を 発表しよう!! sec- tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	伊庭新太郎	美術の窓	300
特集Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 井上禧 美子 ささやかな幸 せ	高山 淳	美術の窓	300	From the Collection 伊庭靖子《Untitled》 1998年	松下 由里	GMAT News	29
表現の視座・11 バ イスタンダー(当事 者ではなくその場に いる第三者、または 傍観者の意)	井上 樹里	主体美術	83	画家たちの美術史63 伊庭靖子	倉林 靖	美術手帖	907
ホットプレイス東京 街彩るビル壁画[イ ノウエジュン]	吉川 綾美	読 売	8.10	職人桜[今井兼次]	丹尾 安典	一 寸	33
1 億部漫画の線が日 本画を超える日[井 上雄彦]	橋本 麻里	芸術新潮	703	鬱々記[今井兼次]	"	"	34
第12回読売出版広告 賞 大賞—講談社・ 集英社「事件」起こ したライバル[井上 雄彦]	井上ひさし	読 売	1.23	特集 OLYMPIC・ CITY V 再考:オリ ンピックと都市 東 京オリンピック計画	今井公太郎	建築雑誌	1578
SV CUT UP DESIGN BOOKS 『INOUE TSUGUYA GRAPHIC WORKS 1981—2007』 [井上嗣也]	蜂賀 亨	STUDIO VOICE	388	試論・画家と戦争記 憶～今井繁三郎氏の 従軍体験を手がかり に～	黒尾 和久	生活と文 化	17
				日々好日 ニューヨ ーク	今井 信吾	新美術新 聞	1140
				第30回記念十果会	"	"	1156
				十果会第30回記念座 談会[今井信吾]	宝木 範義	"	"

マルティニーのバル テュス展 重要作で たどる生誕100年記 念展を訪れて	今井 信吾	"	1162	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 入江一 子 音楽のような色 彩	高山 淳	"	300
視点 今井ロヂンと 藤田嗣治(1)~(3)	笹木 繁男	美術の窓	297~299	新・私のアルバム15 入江観	小森佳代子	"	295
代々蒐集された鍋島 とともに	十四代今泉 今右衛門	陶 説	659	座談 「愛知社」につ いて(中編)(後編)	川崎 鈴彦、 毛利 武彦、 木本 文平 話し手 入江 観 聞き手	連盟ニュー ース	425、426
美術学部教員展図録 デザイン	今尾 泰三	愛知県立 芸術大学 紀要	37	美の美 文楽人形の 命 中 写真は残っ た[入江泰吉]	内田 洋一	日 経	3.23
作家通信 “徳光 和夫の逢いたい”に出 演して	今岡紫雲英	趣味の水 墨画	236	特集 レム・コール ハース以降の建築理 論 III 建築理論解 説 建築理論におけ る三つのケース	入江 徹	建築雑誌	1574
@ the moment [No. 04] 今川教子	西澤 美子	アート・ ト ッ プ	220	石の住居伝統積み直 す スペインの古民 家「マジア」、地元と 手を携え再生	入江 正之	日 経	12.2
ロマンと情緒 今村 紫紅	蔵屋 美香	太陽(別冊)	154	第20回「京都美術文 化賞」受賞者のこと ば	入江西一郎	美術京都	39
近代美術の東京 時 宗 今村紫紅・画	都築千重子	読 売	6.13	New face at TUAD 2007	中山ダイス ケ 近藤 一弥 坂東 慶一 屋代 敏博 岩井 天志 谷 浩二 西澤 高男	東北芸術 工科大学 紀要	15
特集 レム・コール ハース以降の建築理 論 IV 年代別論考 9.11以降の建築理論 の状況	今村 創平	建築雑誌	1574	思想の言葉 メディ ア・アートの悩める 未来	岩井 俊雄	思 想	1009
子どもの素顔とらえ る 名取洋之助写真 賞・今村拓馬さん あすから東京・赤坂 で受賞作品展	河原 理子	朝 日	1.24	INFORMATION 感 覚を刺激する、21世 紀の音楽インターフ ェース[岩井俊雄]		美術手帖	909
Topics 今森光彦写 真展 昆虫 4 億年 の旅 進化の森へよ うこそ	今森 光彦 談 福原 義春 聞き手	東京都写 真美術館 ニュース	58	子どもと美術43 岩 井俊雄さん特別授業 …1 リベットくん	白坂 ゆり	"	916
生命の循環見つめて 3 写真展開催 今森 光彦さん	西岡 一正	朝日夕刊	8.6	[研究論文]企業にみ る「デザイン共創力」	岩倉 信弥	多摩美術 大学研究 紀要	22
写真展、各地で開催 夏は家族で「昆虫詣 で」[今森光彦]	渋谷 和彦	産 経	7.19	岩合光昭写真集 「ネコに金星」	(前)	読 売	4.13
今森光彦写真集「昆 虫4億年の旅」	(前)	読 売	7.13	2008年日本建築学会 賞(作品) 武蔵工業 大学新建築学科棟# 4[岩崎堅一]		建築雑誌	1579
海からの贈りもの— Air III	弥永 保子	多摩美術 大学研究 紀要	22	2008年日本建築学会 作品選奨 武蔵工業 大学新建築学科棟# 4[岩崎堅一]		"	"
すむ アンネの壁	井山三希子	芸術新潮	707				
岡田節子さんを悼む 女流画家協会のため につくされた生涯	入江 一子	新美術新 聞	1155				
巻頭特集 新・女性 の時代'08 インタ ビュー 入江一子 「女流画家協会の歩 み」		美術の窓	292				

建築学会賞の各賞決まる[岩崎堅一]		読 売	4.17	第72回新制作展 間もなく国立新美術館で開催	岩間 弘	新美術新聞	1162
視点 岩崎鐸の藤田嗣治邸訪問	笹木 繁男	美術の窓	292	スラッシュ/アートVOL.05 取手行きたくなったでしょ? [岩本愛子]	工藤 キキ	STUDIO VOICE	386
巻頭特集 水性画材を極める ⑩技法講座VOL.11 いわさきちひろの技法のひみつ	上島 史子	"	299	顔 第29回読売国際漫画大賞を受賞した岩本しんじさん	染谷 一	読 売	1.31
巻頭特集 いま、立体作家が面白い! 立体作品に注目、楽しいコレクショングラフィック 岩崎永人		アート・ト ッ プ	219	公募展「横須賀」受賞者決まる 大賞はインベミズホ氏の「水道双六」		新美術新聞	1140
作家通信 第7回玉泉水墨画展を終えて	岩瀬 玉泉	趣味の水 墨画	234	(ウ)			
我が師 辻清明先生を憶う	岩瀬 健一	陶 説	669	没後発見された植田正治の夫婦愛		芸術新潮	698
秋田が育てたカメラ魂 木村伊兵衛と歩んだアマチュア写真家の作品紹介[岩田幸助]	三浦 進	日 経	3.7	惜別 漫画家 上田トシコさん	小川 雪	朝日夕刊	6.27
特集01 アートの理由 アンケート若手作家に聞きました[岩田壮平]		アート・ト ッ プ	224	巻頭特集 エロティシズム 女性アーティスト5人の感性 インタビュー 上田風子		アート・ト ッ プ	220
第7回菅橋彦大賞、岩田壮平氏に決まる		新美術新聞	1160	特集01 アートの理由 アンケート若手作家に聞きました[上田風子]		"	224
フェイス21世紀116 岩田壮平 “理屈無しの美”へ向かって	袴田 智彦	"	1164	〈特集・座談会〉卒展2008 内面世界を追求したいけど…美大を出た後はどうやって発表していく? [上田倫人]		ギャラリー一*	275
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 岩永勝彦 せつない心	高山 淳	美術の窓	300	収 蔵 品 展 か ら 《樹苑裸婦》上野泰郎	石井 幸彦	世田谷美術館だより	76
特集 ゲームを作ろう! 非ゲーム・クリエイターのための入門講座 Video Game;The Last Creative Frontier 私がゲームでやりたいこと 岩永忠すけ	岩永忠すけ	STUDIO VOICE	395	エッセイ・展評 「鶴岡政男展」の記録	上原 二郎	美術運動	135
特集 「アーティスト」になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART1 個展を開く CASE STUDIES 展示の可能性を探る [岩永忠すけ]	白坂 ゆり	美術手帖	904	日本美術のススめ 日本画家を訪ねて 第11回 上村淳之 森羅万象を描く	庄司 美樹	美術の窓	296
SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト・序論 アーティストによるアーティスト論 岩永忠すけ 真美鳥 ピラニア TAKIJIRO 死生	岩永忠すけ	"	909	至宝を語る 第60回正倉院展2 豪華だけど親しみ深い	上村 淳之	読売夕刊	10.28
				ロマンと情緒 上村松園	蔵屋 美香	太陽(別冊)	154
				この人 連載1000回を超えた人気漫画「クッキングパパ」の作者 うえやまとしさん	近藤 誠	東 京	3.23
				コミックガイド 玄米せんせいの弁当箱1・2 魚戸おさむ 北原雅紀著	山脇 麻生	朝 日	7.20

特集 CREATORS
OF 2008 2008年
を創る20人のクリエ
イターたち! メデ
イアレイビスト 宇
川直宏 無意識に立
ち上がるドラマティ
ックな世界

工藤 キキ STUDIO
VOICE 385

特集 ゲームを作ろ
う! 非ゲーム・ク
リエイターのための
入門講座 Video
Game; The Last Crea
tive Frontier 私が
ゲームでやりたいこ
と 宇川直宏

宇川 直宏 " 395

EXTRA COLUMN
2525 by SUICOMMI
UNDERGROUND
対談 宇川直宏×ひ
ろゆき

砂波 針人 " "

子供心耕した文芸誌
芸術家らに支えられ
た「きりん」、ピカピ
カの詩が宝物

浮田 要三 日 経 9.26

SPECIAL FEATURE
あらうんどTHE会
田誠

美術手帖 907

ふつう研究所座談
会

会田 誠
司会 岡田 裕子、
卯城 竜太、
白井 良平、
遠藤 一郎、
大塚 聡、
西岡 七歩子、
藤川 公三
談

青空雑談会

会田 誠
司会 いちむらみ
さこ、
卯城 竜太、
遠藤 一郎、
小川 つかお、
小田マサノ
リ、
武 盾一郎、
富永 剛総、
増山 麗奈
談 川崎 昌平
構成

SPECIAL FEATURE
あらうんどTHE会
田誠

" "

ふつう研究所座談
会

会田 誠
司会 岡田 裕子、
卯城 竜太、
白井 良平、
遠藤 一郎、
大塚 聡、
西岡 七歩子、
藤川 公三
談

特集 [少年ジャン
プ]というジャンル
! 最強エンターテ
イメントの秘密『ビ
ューと吹く! ジャガ
ー』と『ビューと吹
く! ジャガー THE
MOVIE』! うすた
京介インタヴュー
うすた京介とうすた
京介の世界!

宮 昌太朗 STUDIO
VOICE 386

江戸博蔵めぐり 神
明恵和合組 三代
歌川国貞・画

湯川 説子 読 売 6.6

美術学部教員展図録
油画

歌田 眞介 愛知県立
芸術大学
紀要 37

A tale of…… 内海
聖史 空のキャンベ
スのように、空間全
体が一つの作品とな
る

(玉) アート・
トップ 222

特集01 アートの
理由 アンケート
若手作家に聞きました
[内海聖史]

" 224

昭和戦前期における
内田巖の活動―「リ
アリズム」をめぐつ
て

喜多 孝臣 早大津
八一記念
博紀要* 9

鼎談―作家の原風景
―

鯉江 良二
内田 鋼一
森 孝一 陶 説 668

アンドリュウ・ワイ
エス 創造への道程
3 冬の水車小屋
心の抑揚描く風景

内田 新哉 東京夕刊 11.28

Artist Interview 89
内田文武 ドラマチ
ックな白い空間

石田 純子 デザイン
の現場 157

名建築を訪ねる 東
京農工大農学部本館
こめられた建築家の
信念[内田祥三]

北川 成史 東 京 5.21

特集 Tokyo Metabo
lism 2010/50 Years
After 1960 論考
20 Years Before
1960. And Now 内
田祥文から見える今
の世界

金子 祐介 10 + 1* 50

記者ノート 誠実に
「時代」撮った内野雅
文

前田 恭二 読 売 4.10

作家通信 秋田芸術
選奨を受賞

打矢 恵 趣味の水
墨画 229

青春の刻5 山の美
しさに負けて山を描
く・打矢恵

" 235

特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	内山 孝	美術の窓	300
日本美術のスズメ Special キトラ古墳 壁画の魅力にふれて	鳥頭尾 精	〃	295
作家通信 曲折の墨 道	畝村 石道	趣味の水 墨画	230
奥の横道 陽炎が象 を溶かしてタゴール 忌(左亭)	宇野亜喜良	東 京	10.12
特集 アーキニアリ ング・デザイン展を 10倍楽しむ方法 II アーキニアリ ング・ デザインを巡るキー ワード 合理的な	宇野 求	建築雑誌	1581
特集 マンガ批評の 新展開 マンガを読 む/読み替える 「キャラたち/キャ ラクターたち」『3 月のライオン』一零 たちと読者たちの視 点[羽海野チカ]	泉 信行	ユリイカ	552
Recommend Book 『じいちゃんさま』誕 生の秘密 対談 梅 佳代×祖父江慎	大城 譲司	デザインの 現場	161
ARTIST INTER- VIEW 梅佳代	宮村 周子 インタビュー	美術手帖	911
「楽しい報道写真」が 満載 写真家 梅佳 代さん	柳原 一哉	産 経	6.30
梅佳代写真集「じ いちゃんさま」	(前)	読 売	8.17
SINGULAR DIA- LOGUES 模図かず お	編集 部 インタビュー ー・文	STUDIO VOICE	394
別冊「版画芸術」の作 家 梅津祐司	秋田 真波	版画芸術	142
SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 アーティ ストによるアーティ スト論 梅津庸一 ト ラ・トラ・トランス ☆	梅津 庸一	美術手帖	909
嶋田華子氏インタヴ ュー[梅原龍三郎]		上原近代 美術館だ より	38
装飾表現の試み 梅 原龍三郎	中村 麗子	太陽(別冊)	154
梅原龍三郎作の「バ ラ」盗まれる 岡山 の美術館	坂根 真理	毎 日	5.27

美術学部教員展図録 陶磁	梅本 孝征	愛知県立 芸術大学 紀要	37
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 浦野吉 人 象徴性	高山 淳	美術の窓	300
奇想遺産 倉敷アイ ビスクエア 日本 [浦辺鎮太郎]	鈴木 博之	朝 日	11.30
Artist Interview Sprout 浦部裕光	斉藤 博美	art _icle	12
わたしの宝もの40 スケッチブック	漆原 夏樹	新美術新 聞	1161
COVER GALLERY 海野厚敬	海野 厚敬	瓜生通信	43
(エ)			
古陶随伴録57 永楽 和全の菊谷焼	三好 一	目の眼	378
第10回シヤチハタ・ ニュープロダクト・ デザイン・コンペテ ィション開催 これ までのグランプリ受 賞作[A4]	川上典李子	デザインの 現場	161
作品「銀麦酒杯」 「観月」	江頭 香織	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	13
人生の贈りもの 工 業デザイナー栄久庵 憲司 1~5	平出 義明 聞き手	朝日夕刊	8.25~29
ものとの対話 栄久 庵憲司さんに聞く 感謝の念受け継いで 大事に扱い生活に潤 い	榎木 誠	日経夕刊	4.3
座談会 秋山画廊の こと	江口 潤、 最上 敏、 渡辺 壽之、 豊重 談	屋外彫刻 調査保存 研究会会 報	4
視点 アート×広告 HOW TO COOK DOCOMODAKE?	えぐちりか	美術の窓	292
巻頭特集 ドローイ ング・デッサンの技 を磨く ⑧技法講座 VOL. 10 国展作家 が語る わたしにと ってのデッサン・ド ローイングとは?	榎並 和春	〃	298
SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 アーティ ストによるアーティ スト論 榎忠 年金作 家の戯言	榎 忠	美術手帖	909

中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[榎俊幸]		アート・ トッ プ	219	奇想遺産 旧甲子園 ホテル 日本[遠藤 新]	松葉 一清 朝 日	5.18
日本画制作の現場5 [海老洋]	北田 克己	広島市立 大学芸術 学部紀要	13	SPECIAL FEATURE あらうんど THE 会 田誠		美術手帖 907
食べたい しあわせ 食堂「ちゃんぽん」 還暦迎え懐かし 具にぎやか 漫画で は難しい	蛭子 能収	毎日夕刊	2.26	ふつう研究所座談 会	会田 誠 岡田 裕子、 卯城 竜太、 白井 良平、 遠藤 一郎、 大塚 聡、 西岡七歩子、 藤川 公三 談	
制作ノート2007から 一鳥は卵のなかから ぬけ出ようと戦う	海老塚耕一	多摩美術 大学研究 紀要	22			
特集 パブロ・ピカ ソ 座談会 ナウ・ ピカソ!	海老原 靖 小川 希 丹治 匠 和田 昌宏	ユリイカ	558		会田 誠 司会 いちむら みさこ、 卯城 竜太、 遠藤 一郎、 小川てつオ、 小田マサノ リ、 武 盾一郎、 富永 剛総、 増山 麗奈 談 昌平 構成	
巻頭特集 いま、立 体作家が面白い! 立体作品に注目、楽 しいコレクション グラフィック 江本 創		アート・ トッ プ	219	青空雑談会		
日々好日 彩陶 B.C.4000~B.C. 6000	江守 若菜	新美術新 聞	1156			
津村耕佑 妄想オー ダーモード 第13回 お客様:エリイ	津村 耕佑、 エリイ 対談	ART iT	19	[制作記録]アイルラ ンド共和国における 自己作品の制作と展 示について	遠藤 研二	金沢美術 工芸大学 紀要 52
圓鏝勝三の初期作品 をめぐって—《星羅》 にいたるまで	石川 哲子	広島県立 美術館研 究紀要	11			
中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[遠藤彰 子]		アート・ トッ プ	219	[共同研究報告] 「SHAIHENS」—海外 でのグループ展の試 み	荒木 恵信 伊藤 英高 遠藤 研二 中島 俊市郎 林 泰史	" "
魔女たちの九九 雑 感:より普遍的なる ものを求めて	遠藤 彰子	新美術新 聞	1157	2008年日本建築学会 作品選奨 egota house A[遠藤康一]		建築雑誌 1579
巻頭特集 新・女性 の時代'08 インタ ビュー 遠藤彰子 「体力が続く限り、大作 を描き続けたい」		美術の窓	292	シリーズ第1弾 地 方の美術運動を語る 地方美術展改革活動	遠藤 浩平	美術運動 135
特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! sec- tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	遠藤 彰子	"	300	京都造形芸術大学 卒業制作展	遠藤 秀平	瓜生通信 43
巻頭特集 猫をうまく 描く 技法講座 VOL.12 猫だより 小さい頃からの友達	"	"	301	2008年日本建築学会 作品選奨 Gravitec- ture 大阪城[遠藤秀 平]		建築雑誌 1579
対談 絹谷幸二賞創 設 本江邦夫さん 遠藤彰子さん	岸 桂子 構成	毎日夕刊	11.17	思い出の作家たち カリカリと鳴る3月 14日の換気扇の音 遠藤駿二との別れ	石橋 別人	美術運動 135
				作家たちの「自主」展 所沢ビエンナーレ・ ブレ美術展「引込線」 の場合 遠藤利克さ んに聞く	遠藤 利克 談 集 部 聞き手	あいだ 155

美術家・遠藤利克の鏡が秘める力 現代のいけにえ儀式演出?	小川 敦生 日 経	8.24							
巻頭特集 ドローイング・デッサンの技を磨く ㊤技法講座 VOL.10 国展作家が語る わたしにとつてのデッサン・ドローイングとは?	遠藤 正俊	美術の窓	298						
(オ)									
2008年度新任教員紹介 情報デザイン学科専任講師 大石暁規	大石 暁規	瓜生通信	44						
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 大石久美江 魂の世界	切刀 知子	美術の窓	300						
10年撮り続けた黒川能「庄内の風土伝えたい」大石芳野が写真集	大石 芳野 談	読売夕刊	4.21						
巻頭特集 新ミクストメディア ㊤技法講座 VOL.13 講師による作品ギャラリー 水研ぎで壁のような触感をつくる	大泉 佳広	美術の窓	303						
靖国をつきぬけて 洪成潭(ホン・ソンダム)『靖国の迷妄』展シンポジウムから [大浦信行]	古川 美佳	あいだ	147						
特集 批判的工学主義に向けて II 最前線に立つ建築家プロジェクトの「上流」と「下流」をデザインせよ	大江 匡 談 柄沢 祐輔、南後 由和、藤村 龍至 聞き手・文	建築雑誌	1577						
わたしの宝ものの43 画家コレクション	大河原 愛	新美術新聞	1170						
SV CUT UP ART 『21世紀の思想哲学』の前夜祭—フィクション3 [大木裕之]	松井みどり	STUDIO VOICE	395						
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 大久保澄子 こころの旅	高山 淳	美術の窓	300						
視点 ロンドン滞在雑感メモ、2	大久保澄子	"	300、301						
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 大久保正子 祭り	高山 淳	"	300						
宇宙に於ける芸術の可能性 JAXA との共同研究による実験と2000年からの作品	逢坂 卓郎	筑波大学芸術研究報告	50						
宇宙環境における芸術の創造 ISS-JEM “きぼう”文化・人文社会科学利用パイロットミッション	"	"	51						
点鬼簿の作家像スケッチ帳 その7 大沢昌助とブレンデルと音楽	林 紀一郎	新美術新聞	1166						
わたしの宝ものの37 漆の床	大沢 拓也	"	1153						
資料紹介 島根県立石見美術館所蔵 大下藤次郎日記(第2回)	川西 由里	島根県立石見美術館研究紀要	2						
すむ 神戸の教会カフェ	大島 健二	芸術新潮	708						
特集 建築ガールズ パワー V 論考 女性性をめぐる言説	"	建築雑誌	1579						
第12回 手塚治虫文化賞 短編賞「グーグーだつて猫である」 大島弓子さん	萩尾 望都 朝 日		5.10						
特集 海外サクセスバイブル 海外メーカーとの付き合い方 商品化への道 若手デザイナー体験談 大城健作×GLAS ITALIA・vlaemsch()	大輪 俊江	デザインの現場	161						
人と墨4 大杉弘子 青い墨の書で探求する美の世界		趣味の水墨画	232						
巻頭特集 新ミクストメディア ㊤技法講座 VOL.13 講師による作品ギャラリー 凹凸のあるマチエールと箔の腐蝕	太田 國廣	美術の窓	303						
視点 「悠久の時・政宗公と愛姫」の制作にあたって	"	"	"						
特集 OLYMPIC・CITY V 再考:オリンピックと都市 ドーハの都市戦略とオリンピック	太田 浩史	建築雑誌	1578						

ピクニックの200年
を散策 公共の空間
の楽しさ伝え、国内
外でイベント開催

" 日 経 10.17

エッセイ・展評 沖
縄(佐喜真美術館)に
て 太田眞素巳 美術運動 135

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 太田保
子 光の揺らぎ 切刀 知子 美術の窓 300

「研究報告」命を守る
『薬の正しい服用指
示』デザイン 太田 幸夫 多摩美術
大学研究
紀要 22

特集 「世界」を救う
ためにデザインがで
きることを。デザイ
ンは世界を救えるか
!? ケーススタディ
16 安全12 太田幸
夫のピクトグラム 深沢 慶太 デザイン
の現場 159

情報館 府中市美術
館「府中千年 心
のかたち」から「水面
／拾集(多摩川)」
大竹敦人 成相 肇 読売夕刊 1.22

ワークショップ Art-
ist in Campus 大
竹伸朗「スクラップ」 渡 部 慶応義塾
大学アー
ト・セン
ター年報 15

重量級カタログ完成
! これが大竹伸朗
の“全景”だ 芸術新潮 700

EXTRA COLUMN
対談: 大竹伸朗×北
村信彦 澤田 真幸
インタビュー
ー・文 STUDIO
VOICE 390

日本最大級のデジタ
ルプリントコンテス
ト エブソン カラー
イメージングコン
テスト[大竹伸朗] 藤田 千彩 美術手帖 912

現代美術の歩き方
今月の一品 大竹伸
朗 シロケシ2/タ
イの女 (細川) 美術の窓 300

特集 若手作家の水
墨表現はここまでき
ている 大竹卓 野地耕一郎 趣味の水
墨画 230

アクリリックス・ワ
ールド43 大竹司 石井 芳征 美術手帖 903

WORLD NEWS ART-
IST in Focus 今月
のワールdsta-
No.006 トミエ・オ
オタケ 編集 部 " 913

ドキュメント挑戦
移民100周年ブラジ
レーロになった日本
人13 画家 移民船
到着港に巨大なオブ
ジェ[トミエ・オオ
タケ]

原田 勝広 日経夕刊 5.23

デザイン専攻 テキ
スタイルデザイン領
域 アイドルと染色 大竹 夏紀 多摩美術
大学大学
院修了論
文作品集 2008

追悼 米倉守氏 日
本の美術を語る多彩
なまなざし アーテ
ィストを励まし、応
援し、勇気を与えて
くれた米倉先生 大津 英敏 新美術新
聞 1147

第30回記念十果会 " " 1156

十果会第30回記念座
談会[大津英敏] 宝木 範義 " "

PREVIEW 高島屋
美術部創設百年記念
風景画への道 大津
英敏展 スペシャル
対談 大津英敏VS
本江邦夫 美術の窓 300

芸苑雑事記184 遠
州、大観、大津鎮雄 瀧 悌三 " 295

SPECIAL FEATURE
あらうんど THE 会
田誠 ふつつ研究所
座談会 会田 誠
岡田 裕子、
卯城 竜太、
臼井 良平、
遠藤 一郎、
大塚 聡、
西岡七歩子、
藤川 公三
談 美術手帖 907

個人研究・教員年譜
デザイン工芸学科 大塚 智嗣 広島市立
大学芸術
学部紀要 13

美術学部教員展図録
彫刻 大塚 道男 愛知県立
芸術大学
紀要 37

SPECIAL FEATURE
名作はいかにして生
まれるのか? スタ
ジオジブリのレイア
ウト術 INTERVIEW
大塚康生 川崎 昌平 美術手帖 912

TOKYO あにめのま
ーち1、2[大塚康
生] 加納 昭彦
竹井 陽平 読 売 2.26、27

Close-up87 大塚雄
造 絶えず変化し、進
化続ける大塚雄造の
「波」 ギャラリ
ー* 283

作家通信 花は笑顔
—大月紅石水墨画展 大月 紅石 趣味の水
墨画 231

近代美術の東京 なん
でもない写真 大
辻清司・撮影 竹内万里子 読 売 2.8

特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 大歳克 衛 人生の通奏低音	高山 淳	美術の窓	300						
クリエイターズワー ク&ソウル 大友学		A X I S	135						
特集 サンプルたく さん入ってます!! 大友学の素材・サン プル探しの極意 東 急ハンズ活用術	大輪 俊江	デザイン の現場	160						
第10回シャチハタ・ ニュープロダクト・ デザイン・コンペテ ーション開催 これ までのグランプリ受 賞作[大友学]	川上典李子	"	161						
表現の視座・11 私 の「予感」	大友 恵子	主体美術	83						
写眼 北と南をつな ぐ 大友真志「North ern Lights 3 大東 島」(2007年)	海老沢 類 産 経		11.24						
特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! sec tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	大成 浩	美術の窓	300						
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 大成浩 風と壁気楼	武田 厚	"	"						
追悼 ヤネツ・レナ ーシー氏	大成 浩	連盟ニュー ース	426						
つかう 風になる方 法	おーなり由 子	芸術新潮	706						
SPECIAL FEATURE 京都アート探訪 ギ ャラリスト・松尾恵 さんが案内する 京 都でつくり、暮らす 人々 01 釜師・大西 清右衛門さん	沢田眉香子 取材・文	美術手帖	908						
視線 ロマンティッ ク・リハビリテーシ ョン 大西成明著	新井 敏記 朝 日		7.20						
写眼 「触覚」を感じ る写真 大西成明 「壊れた脳とともに 生きる」(平成19年) 《「ロマンティック・ リハビリテーション」 より》	堀 晃和 産 経		10.27						
特集 建築ガールズ パワー III 女性建 築家に聞く 元祖× 新鋭、建築ガールズ トーク	富田 玲子、 大西 麻貴 談 萩原 詩子 文	建築雑誌	1579						
特集 建築の展覧会 を考える	大西 正紀	"	1575						
I プロローグ 年表(1920~2008 年):主な美術館・ ギャラリーの開館 /建築の展覧会									
IV 建築展の実例 キーワードに見る 「建築展」の好事例									
学会発 “アーキニ アリング”が建築を 社会へ開かせる 建 築学会が新しく生み 出す建築の展覧会	斎藤 公男 談 大西 正紀 聞き手	"	"						
特集 建築ガールズ パワー VII 女子 大の先生に聞く「カ ワイイ」研究と僕	真壁 智治 談 大西 正紀 聞き手	"	1579						
建築みやげ・建築グ ッズ 感動を自分に 繋ぎとめるための“建 築みやげ”	大西 正紀	"	1583						
大西みつぐ写真集 「Wonderland」	(前) 読 売		11.9						
中特集 巨匠展—今 そして未来2008— 巨匠展出品作家 大 沼映夫	大沼 映夫	美術の窓	296						
巻頭特集 ドローイ ング・デッサンの技 を磨く 秘技法講座 VOL.10 国展作家 が語る わたしにと つてのデッサン・ド ローイングとは?	"	"	298						
特集 近代の挿絵・ 漫画 大野雲外の画 業—人類学教室での 活動と『模様集』	蔵田 愛子	近代画説	17						
社会人 第5話 奮 起2 両腕失い手に した「本音」[大野勝 彦]		日 経	6.8						
建築年報2008 IV 建築界の動向と展望 「縮小のデザイン学」 のススメ	大野 秀敏	建築雑誌	1580						
フレスコ画制作にお ける石灰の材料学的 考察—湿式消石灰の 熟成と制作への効果	大野 彩	武蔵野美 術大学研 究紀要	38						
“ウルトラ・ファク トリ”誕生	ヤノベケン ジ、 大野木啓人、 横内 敏人 談	瓜生通信	43						

SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 座談会 ゼ ロ年代のリアル	池田 剛介、 大庭 大介、 奥村 雄樹、 塩原 れじ、 田中 功起、 田幡 浩一、 名和 晃平 栗田 大輔 司会・構成	美術手帖	909	同時期に母娘の個展 天真らんまん丸木ス マ おてんば画家大 道あや	(寿)	東 京	8.23
表現の視座・11 小 さな空間の大きな世 界	大庭 寛明	主体美術	83	「八重山古陶」展関連 文化講座 なぞの多 い湧田焼 もの作り の視点から考える 講師：大嶺實清氏		壺屋焼物 博物館紀 要	9
海外に学び日本に学 ぶ ZAHA—SCAPE ザハ視	大橋 論	建築雑誌	1578	巻頭特集 いま、立 体作家が面白い！ 立体作品に注目、楽 しいコレクション 対談 北川宏人×大 森暁生 「立体」& 「アート」を語る		アート・ ト ッ プ	219
特集 CREATORS OF 2008 2008年を 創る20人のクリエイ ターたち！ 写真家 大橋仁 テンション を形にする写真	山内 宏泰	STUDIO VOICE	385	中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[大森暁 生]		" "	" "
大橋富夫写真集「日本 の民家 屋根の記憶」	(前)	読 売	6.22	巻頭特集 ドローイ ング・デッサンの技 を磨く 技法講座 VOL.10 国展作家 が語る わたしにと つてのデッサン・ド ローイングとは？	大森 啓	美術の窓	298
現代美術の歩き方 今月の一品 大畑伸 太郎 ひこうき	(細川)	美術の窓	292	視線 Cherryblos- soms 大森克己著	新井 敏記	朝 日	2.3
大橋長左衛門 2006 ～2007年 作品の解 説	大橋長左衛 門	金沢学院 大学紀要*	6	記憶の中の「青い桜」 大森克己さんが写真	前田 恭二	読 売	4.1
青木龍山氏を偲ぶ 龍山先生さようなら	大橋 年朗	新美術新 聞	1152	2008年子年新春企画 年男年女	大矢 紀	新美術新 聞	1140
青春プレイバック 大橋長左衛門(年朗) 石川県金沢市橋場町	高岡 忠雄	"	1164	日々好日 前田青邨 筆塚供養会	"	"	1169
茶陶に想う	大橋長左衛 門	陶 説	658	新作版画集・新刊書 籍 浮遊する世界を 描く、言葉と版画に よる詩画集 大矢雅 章+谷村秀格『糸遊』	友澤 宏子	版画芸術	140
座談会・日展創立百 年を迎えて	大橋長左衛 門、森野 泰明、 金子 賢治 談 孝一 司会	"	665	中特集 巨匠展—今 そして未来2008— 巨匠展出品作家 大 敷雅孝	大敷 雅孝	美術の窓	296
Faces 19 大巻伸嗣 「永遠と一瞬」への案 内人	内田 伸一	ART iT	21	TOKYO あにめのま ーち17 硬派なメッ セージ発信[大山慶]	加納 昭彦 竹井 陽平	読 売	3.28
特集 「アーティスト 」になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART1 個展を開く CASE STUDIES 展示の可能性を探る [大巻伸嗣]	白坂 ゆり	美術手帖	904	コミックガイド ム ダゾモ無き改革 大 和田秀樹作	南 信長	朝 日	10.26
特集 デザインの頼 み方 頼まれ方 美 術展の広告戦略まで デザインする。 Glanz 大溝裕	大輪 俊江	デザインの 現場	162	SPECIAL FEATURE 名作はいかにして生 まれるのか？ スタ ジオジブリのレイア ウト術 INTERVIEW 男鹿和雄	石井 芳征	美術手帖	912
				美の履歴書 060 花 瓶を置いた場所は 「遊蝶花」 岡鹿之助	青山 祥子	朝日夕刊	5.28

岡上淑子さんのフォト・コラージュ 半世紀の時を超えてよみがった幻想の美戦後わき出た女性の深層	伊藤 俊文	毎日夕刊	5.29	特集 海外サクセスバイブル RCAの2年間 岡田憲一	猪飼 尚司	デザインの現場	161
海外に学び日本に学ぶ ラ・ヴィレット公園・チュミ事務所	岡河 貢	建築雑誌	1581	建築家・岡田鴻記の経歴と建築活動について	原角 大田	朋教幸博雄介 日本建築学会計画系論文集	625
第72回新制作展 間もなく国立新美術館で開催	岡崎 紀	新美術新聞	1162	写実の系譜 III 日本美を求めて 岡田三郎助	鈴木 勝雄	太陽(別冊)	154
特集 マンガ批評の新展開 マンガを読む/読み替える 平坦な戦場をループさせることで生き延びること『リバーズ・エッジ』と『ひぐらしのなく頃に』をMADする? [岡崎京子]	濱野 智史	ユリイカ	552	作家通信 水墨画の輪を広げたい	岡田 潤	趣味の水墨画	231
対談:「棲息の密度」展をめぐって	岡崎乾二郎、高島 直之 対談	芸 文	1	近代日本のダンスホールに投影された空間意識 ダンス取り締まり強化と琵琶湖ホテルダンスホールの設計過程[岡田捷五郎]	砂本 文彦	日本建築学会計画系論文集	633
SPECIAL FEATURE スーパーマンになろう!? 現代アート基礎演習	岡崎乾二郎 監修 川崎 昌平、岡崎乾二郎 文・構成	美術手帖	911	開館20周年特別企画 設計者 岡田新一氏に聞く	山吹 知子 聞き手	岡山県立美術館ニュース	80
巻頭特集 猫をうまく描く ⑧技法講座 VOL.12 Part. 2 グラビア編 誌上グラビアで猫を楽しもうじっと見つめる	岡田 敦子	美術の窓	301	近代日本のダンスホールに投影された空間意識 ダンス取り締まり強化と琵琶湖ホテルダンスホールの設計過程[岡田信一郎]	砂本 文彦	日本建築学会計画系論文集	633
第33回木村伊兵衛写真賞 岡田敦・志賀理江子両氏に決定		新美術新聞	1148	岡田節子さんを悼む 女流画家協会のために つくされた生涯	入江 一子	新美術新聞	1155
木村伊兵衛写真賞 見つめた「生と死」 岡田敦さん 若者たちをリアルに		朝 日	3.11	巻頭特集 今年の展覧会 BEST 150 Part. 2 2007—08美術界 ニュース・ピックアップ 追悼—岡田徹(洋画家)	編集部	美術の窓	293
こころの闇とらえた2人 木村伊兵衛写真賞「アサヒカメラ」に選考評[岡田敦]		"	3.18	庭の造形 2007 アルペン丸の内タワー公開空地・屋上庭園 名古屋ルーセントタワー公開空地	岡田 憲久	名古屋造形芸大紀要*	14
岡田敦さんの写真集『I am』、木村伊兵衛写真賞受賞「自傷する私」と向き合っている 岡田さん 答えの出ない「生きる意味」問い続け 20歳女性、自ら被写体に「何かが変われば」	高橋美佐子	朝日夕刊	6.27	SPECIAL FEATURE あらうんど THE 会田誠 ふつう研究所 座談会	会田 誠 司会 岡田 裕子、岡城 竜太、白井 良平、遠藤 一郎、大塚 聡、西岡 七歩子、藤川 公三 談	美術手帖	907
日々好日 吉野	岡田 菊恵	新美術新聞	1147	作家通信 彩管一生の人	岡原 大壠	趣味の水墨画	237
空間 山塊の質感 風になびく [岡田公彦]	(清)	読売夕刊	7.26	作品	岡部 昌生	札幌大谷大学紀要*	38
				パレスチナ ヒロシマ YASUKUNI・九条—歴史的課題を考える作家たち— 声なき命・被爆樹木をフロッタージュ 岡部昌生	山口 泰二	美術運動史研究会 ニュース	96

一種の消去法—嶺男青瓷[岡部嶺男]	関根 秀吉 陶 説	661	岡本太郎《太陽の塔》をめぐる言説—その受容と評価、日本万国博覧会と美術・建築・デザイン	春原 史寛 芸 叢	24
父・岡部嶺男の思い出	岡部 美喜 //	664			
中特集 諏訪敦 リアリズムを解き放て諏訪敦をめぐる1問1答×30人[岡村桂三郎]		アート・トップ 219	「夜の会」という運動の場—花田清輝と岡本太郎の活動を中心に	杉山 悦子 世田谷美術館紀要	10
特集02 岡村桂三郎 幻獣たちの荒ぶる生命		// 223	特集 100%楽しむためのキーワード 超・整理 現代アート事典 コラム 美術家の思想02 岡本太郎	高橋 直之 美術手帖	906
“グロテスク”なる原始の力 久保田力との対話—岡村桂三郎の作品世界	岡村桂三郎、久保田力 対談		SPECIAL FEATURE マンガでわかる、人物史 琳派スーパーヒーロー列伝 半世紀前の『美術手帖』、幻の原稿完全再録! 岡本太郎の「光琳論」を読む	編集部 構成 //	913
Turning Point [File 12] 岡村桂三郎×2003年×「鳥03」	編集部				
アーティスト訪問61 岡村桂三郎	ギャラリー	283			
作家通信 僕はこの夏	岡村桂三郎 趣味の水墨画	235	特集 パブロ・ピカソ ピカソがいた時代 岡本太郎とピカソ 創造と破壊の巨人たち	篠藤 ゆり ユリイカ	558
第4回東山魁夷記念日経日本画大賞 岡村桂三郎氏「獅子08—1」に決まる	新美術新聞	1169	岡本太郎壁画 渋谷駅展示へ「明日の神話」	朝 日	3.19
第2特集 日本画復活論	美術手帖	903	岡本太郎「明日の神話」新発見の素描展示	古賀 太 朝日夕刊	12.10
岡村桂三郎 眼に見えるのではなく、空気のように感じられること 作家インタビュー	天野 一夫 聞き手		「明日の神話」特別公開を延長[岡本太郎]	産 経	2.13
日本画の教育	編集部		「太陽の塔」の足跡 スケッチ402枚見つかる[岡本太郎]	//	4.23
岡村桂三郎、怪鳥を削り出す 触覚に迫る巨大な屏風	小川 敦生 日 経	10.5	岡本太郎氏の「思い」発信 作品点在する国道246号沿い「TAROの道」に 東京・青山→渋谷→川崎…「要望あれば提供も」	柳原 一哉 //	7.10
第4回東山魁夷記念日経日本画大賞 岡村桂三郎「獅子08—1」	高階 秀爾 宝 正彦 //	10.20	壁画のパワー受け止める 「明日の神話」渋谷に設置 喜ぶ地元関係者[岡本太郎]	松村 裕子 東 京	3.19
2008年日本建築学会作品選奨 egota house A[岡村航太]		建築雑誌 1579	美術評 岡本太郎 「明日の神話」の帰る場所 「ヒロシマ」背負う渋谷	南 寛 宏 //	3.29
作家通信 水墨画の継承のために	岡村 南紅 趣味の水墨画	231	未公開スケッチ402枚見つかる 「太陽の塔」制作構想[岡本太郎]	中 沢 誠 //	4.23
岡本一平 漫俳の晩年追う 疎開先の岐阜で俳句でも川柳でもない新文芸提唱	黒野こうき 日 経	8.8	サタデー発言 勢いで描いたか「明日の神話」[岡本太郎]	名古屋 覚 //	9.6
写真の系譜Ⅱ 大正の写真主義 岡本神草	小倉 実子 太陽(別冊)	154			
2008年日本建築学会作品選奨 総合地球環境学研究所[岡本隆]		建築雑誌 1579			

岡本太郎さんの壁画 渋谷で来月公開 降り注ぐ美意識と人生 観衆しんで 青学大 で記念シンポ	小川 慎一 東京	10.29
故岡本太郎さんの巨大 壁画きょうから公開	" "	11.17
「明日の神話」デッサ ンを今日初公開 岡 本太郎記念館	" "	11.29
故岡本太郎氏の書20 点初公開	" "	12.3
こころの玉手箱 哲 学者 梅原猛2 太 陽の塔[岡本太郎]	梅原 猛 日経夕刊	1.16
岡本太郎作「明日の 神話」渋谷で間近に	岸 桂子 毎日	3.19
故・岡本太郎氏の巨 大壁画「明日の神話」 都現代美術館で特別 展示	須山 勉 "	6.17
太郎と敏子 若い世 代に 渋谷駅「明日 の神話」常設	岸 桂子 "	11.18
「明日の神話」安住の 地に[岡本太郎]	" 毎日夕刊	10.17
渋谷の候補地を視察 岡本太郎記念財団 壁画「明日の神話」招 致で	" 読 売	1.11
岡本太郎「明日の神 話」 幻の壁画輝け 渋谷 招致委に朗報 2011年までに設置	加納 昭彦 "	3.19
「太陽の塔」誕生の過 程 構想スケッチ自 宅から402枚[岡本太 郎]	" "	4.23
ベール脱ぐ岡本壁画	" 読売夕刊	10.17
思い出の作家たち 谷内榮次さんと共に	岡本 博 美術運動	135
薩摩藩のガラス技法 書について(3)	岡本 文一 明星大学 研究紀要	16
世親への問い—VII・ VIII—	" "	"
特集 フェルメール 一人の画家と二人の 画家 フェルメール は映画をめざす	小川 格、 丹治 匠 ユリイカ 対談	554
南画と個性派 小川 芋銭	鶴見 香織 太陽(別冊)	154
芋銭の画風写す宝 2600点余 旧蔵資料 に興奮、絵画研究や 親交の足跡ひもとく [小川芋銭]	北畠 健 日 経	8.14
小川一真 落日の紫 禁城を記録する	" 芸術新潮	702

コミックガイド エ ンブリヲ 小川幸辰 作	南 信長 朝 日	3.9
「日本のステンドグ ラス 小川三知の世 界」	(前) 読 売	4.6
特集01 超絶技巧絵 画編 技巧の冒険者 たちが超絶“思考”を 巡る	小川 信治 驚見 麿 アート・ 深津 真也 ト ッ プ 吉村 芳生	223
画家たちの美術史66 小川信治	林 洋子 美術手帖	911
AT Times Opinion	" アート・ ト ッ プ	
路上ミーティング	小川てつオ、 武 盾一郎 223 談	
ベルクとアート	井野 朋也、 迫川 尚子、 小川てつオ、 武 盾一郎 224 対談	
SPECIAL FEATURE あらうんどTHE 会 田誠 青空雑談会	会田 誠 司会 いちむらみ さこ、 竜太、 卯城 遠藤 一郎、 小川てつオ、 小田マサノ リ、 武 盾一郎、 富永 剛総、 増山 麗奈 川崎 昌平 構成	美術手帖 907
視線 Slowly Down the River 往にし方 の三峡をめぐる旅 小川康博著	新井 敏記 朝 日	9.28
Slowly Down the River 小川康博著	" 日 経	10.12
絵筆で連写 一瞬の 富士 絵手紙3776景、 駆け抜ける車窓から 描き取る雄姿	荻野 清士 "	7.3
視線 komomo 荻野 NAO之写真、小桃 語り	村山 由佳 朝 日	5.11
現代工芸作家シリー ズ36 魔術師たちの 贈り物 荻野令子	富田 康子 アート・ ト ッ プ	221
碌山研究 荻原守衛 の蔵書書き込み(上)	幅谷 啓子 碌山美術 館	28
2008年日本建築学会 作品選奨 京都市本 能特別養護老人ホー ム・京都市立堀川高 等学校本能学舎[奥 貴人]	" 建築雑誌	1579

SPECIAL FEATURE
名作はいかにして生
まれるのか? スタ
ジオジブリのレイ
アウト術 INTERVIEW
奥井敦

川崎 昌平 美術手帖 912

奥井理 色鮮やかな
19歳の軌跡 遺作画
文集出版 展覧会も

渋谷 和彦 産 経 4.9

Art Scope PRE-
VIEW 奥田小由女
魂が宿る瞬間、心も
宿る

(玉) アート・
ト ッ プ 220

平成20年度 文化勲
章、文化功労者決ま
る 奥田小由女氏
工芸 澄川喜一氏
彫刻

新美術新
聞 1169

座談会「第四十回
日展一新たなる一〇
〇年へ」

橋本堅太郎
中山 忠彦
稲元 実
村田 省蔵
蛭田 二郎
奥田小由女
日比野光鳳
清水 透石

日展ニュ
ース 131

次代の息吹 file.011
奥谷太一

編 集 部 アート・
ト ッ プ 223

第30回記念十果会

奥谷 博 新美術新
聞 1156

十果会第30回記念座
談会[奥谷博]

宝木 範義 " "

中特集 巨匠展—今
そして未来2008—
巨匠展出品作家 奥
谷博

奥谷 博 美術の窓 296

PREVIEW 奥谷博展
法外な絵画

荒木扶佐子 " 297

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセレクション
現代作家のベストセ
レクション 奥谷博
存在といのち

高山 淳 " 300

PREVIEW

"

奥谷博展「奥の
美学」のパラダイ
ムです。

米倉 守 " "

生の極—奥谷博展
抑制された情念

武田 厚 302

「精進の半世紀」一堂
に 15歳ごろの模写
作品 デッサンなど
80余点

奥谷 博 東 京 2.16

片岡球子先生を悼む
日本画の本筋体现

" 東京夕刊 1.24

「元気なうちは頑張
る」奥谷博さん、文
化功労者を祝う会で

(信) " 4.23

(創作ノート) 弁才
天堂

奥原 崇仁 沖縄県立
芸術大学 16

小熊秀雄画跡研究—
詩人の絵画制作と東
京にあった和製モン
パルナス—

小島 信子 文星芸術
大学大学院研究科
論集 3

〈特集・座談会〉卒展
2008 内面世界を追
求したいけど…美大
を出た後はどうやっ
て発表していく?
[奥村昂子]

ギャラリー
一* 275

美の美 文楽人形の
命 上 画家の眼差
し[奥村土牛]

内田 洋一 日 経 3.16

文化往来 魯迅臨終
図、作者は平塚ら
いてうの夫[奥村博史]

" 4.28

特集01 アートの
理由 アンケート
若手作家に聞か
まし[奥村美佳]

アート・
ト ッ プ 224

2008年度新任教員紹
介 美術工芸学科専
任講師 奥村美佳

奥村 美佳 瓜生通信 43

REVIEWS 04 ホロ
グラフィカル・リア
リティ—キラキラの
秘密

奥村 雄樹 美術手帖 908

SPECIAL FEATURE
日本のアーティスト
・序論 座談会 ゼ
ロ年代のリアル

池田 剛介、
大庭 大介、
奥村 雄樹、
塩原 れじ、
田中 功起、
幡 浩一、
名和 晃平
司会・大輔
構成

" 909

極点の移行 オクヤ
・ナオミ

石川県立
美術館だ
より 300

日本の版画 1941—
1950 上 奥山儀八
郎「軍神加藤建夫少
将像」

西山 純子 東 京 1.29

特集 Part. 1 絵を
発表しよう!! sec
tion 1 公募団体展で
発表する 人気作家
が語る!!「公募展と
わたし」

小倉 洋一 美術の窓 300

視点 民間交流だか
らこそ長続きする日
・韓展

" " 302

写眼 人の記憶 伝
える場所 長見有方
「パサージュ・ドゥ
・ケール」(2006年)
〈「巴里 パサージュ
(Paris passage)」よ
り〉

堀 晃和 産 経 6.23

特集 Part. 1 絵を
発表しよう!! section 1 公募団体展で
発表する 人気作家
が語る!!「公募展と
わたし」

小澤 清人 美術の窓 300

SV CUT UP FILMS
押井守『スカイ・ク
ロラ』

北小路隆志 STUDIO
VOICE 393

アニメの未来 下
押井守監督に聞く
新たな形式の発見カ
ギ 今後10年、優れ
た職人不足

窪田 直子 日経夕刊 7.29
聞き手

念願の舞台演出 戦
後復興を描く[押井
守]

" 12.10

「スカイ・クロラ」を
見て「成熟できぬ
子供」日本投影[押井
守]

四方田犬彦 読 売 8.20

大原美術館 ARCO
2008 招聘作家に押
江千衣子さん決まる

新美術新聞 1148

すむ そのまんま県
庁[置塩章]

磯 達雄 芸術新潮 700

名建築を訪ねる 茨
城県三の丸庁舎 時
代へてにじむ重厚感
[置塩章]

沢田 佳孝 東 京 2.6

フェイス21世紀110
小田志保 人物で心
の深奥に迫る

油井 一八 新美術新聞 1148

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 織田廣
喜 詩

高山 淳 美術の窓 300

SPECIAL FEATURE
あらうんど THE 会
田誠 青空雑談会

会田 誠
司会
いちむらみ
さこ、
卯城 竜太、
遠藤 一郎、
小川てつお、
小田マサノ
リ、
武 盾一郎、
富永 剛総、
増山 麗奈
談
川崎 昌平
構成

美術手帖 907

小谷元彦インタビ
ュー

長谷川祐子 ART iT 18
聞き手

Reviews : As I See
It...『マッシュ・パー
ニー : 拘束ナシ』

小谷 元彦 " 21

巻頭特集 いま、立
体作家が面白い!
立体作品に注目、楽
しいコレクション
木彫ルネッサンスが
はじまった 木から
生まれる百花繚乱
[小谷元彦]

アート・
ト ッ プ 219

SPECIAL FEATURE
日本のアーティスト
・序論 アーティスト
によるアーティスト
論 小谷元彦
phantom of sculp-
ture

小谷 元彦 美術手帖 909

REVIEWS04 捕獲不
能の物語

" " "

Artist Interview 93
落合恵 絵の中に息
づく雑貨の発想

石田 純子 デザイン
の現場 161

茶室の工芸学—現代
工芸家の茶器 音丸
耕堂「彫漆紫陽花茶
器」

木田 拓也 淡 交 764

特集 若手作家の水
墨表現はここまで
できている 尾長良範

野地耕一郎 趣味の水
墨画 230

小野環《街にもう一
人探す》

小野 環 尾道大学
芸術文化
学部紀要 7

南画と個性派 小野
竹喬

鶴見 香織 太陽(別冊) 154

小野博 Line on the
Earth 世界の〈余白〉
をつなぐ旅

美術手帖 905

四つの銀河 パキ
スタン/アフガニ
スタン国境

小野 博

地球をつなぐ線、
闇を抜けて光へ

白坂 ゆり

視線 Line on the
Earth 小野博著

北澤 憲昭 朝 日 1.13

Close-up80 小野祐
次 人間よりも遙か
昔より存在した光
そして「視る」という
行為

ギャラリー
一 276

オノ・ヨーコさん講
演・展覧会 学習院
女子大 嫌悪を愛に
変える

熊倉 由佳 毎日夕刊 12.26

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 小野里
理平 心の風景

高山 淳 美術の窓 300

建築学鳥瞰 現代の
建築状況と建築計画

小野田泰明 建築雑誌 1579

SV CUT UP PHOTO BOOKS 小畑雄嗣 『二月 Wintertale』	編集部	STUDIO VOICE	388
特集 写真集の現在 2008 PHOTOBOOKS NOW PHOTO & INTERVIEW 写真家 秘蔵のアザー写真	小畑 雄嗣	"	394
巻頭特集 猫をうまく描く 秘技法講座 VOL. 12 Part. 2 グ ラビア編 誌上グラ ビアで猫を楽しもう 気配	小尾 修	美術の窓	301
巻頭特集 いま、立 体作家が面白い！ 立体作品に注目、楽 しいコレクション 木彫ルネッサンスが はじまった 木から 生まれる百花繚乱 [小俣英彦]		アート・ トッ プ	219
ロマンと情緒 小茂 田青樹	蔵屋 美香	太陽(別冊)	154
特集 活躍する団塊 世代の作家たち—私 の30歳代と現在— [折元立身]		ギャラリー 一*	280
彫刻家の現場から33 恩田静子	武田 厚	美術の窓	292
日本の版画 1941— 1950 下 恩地孝四 郎『リックNo. 6 孤 独』	西山 純子	東京	1.31

(カ)

写真の系譜Ⅱ 大正 の写実主義 甲斐庄 楠音	小倉 実子	太陽(別冊)	154
特集 [少年ジャン プ]というジャンル ！ 最強エンターテ イメントの秘密 [ジャン プ]ギャグの系譜 『ハレンチ学園』から 『銀魂』まで！	更科修一郎 かかし朝浩	STUDIO VOICE	386
特集 「アーティスト 」になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART 2 場所を開拓 しよう CASE STU- DIES 2 家を持ち替 える「家を持ち替 える」ができるまで[利 部志穂]	藤田 千彩	美術手帖	904
PICK UP Exhibition 加賀谷武のチャレ ンジ		ギャラリー 一*	273

特集 Part. 1 絵を
発表しよう!! section 1 公募団体展で
発表する 人気作家
が語る!!「公募展と
わたし」

香川 猛 美術の窓 300

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 香川猛
呼吸

高山 淳 " "

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 垣内宣
子 ディテールの力

刃刀 知子 " "

特集 「アーティスト
」になる基礎知識
展覧会のつくりかた
PART 1 個展を開く
04展示 映像

郭 卞忠 美術手帖 904

追悼抄 写真家 掛
川源一郎さん アイ
ヌ写し生涯30万枚

木村 雄二 読売夕刊 1.22

特集 Part. 1 絵を
発表しよう!! section 1 公募団体展で
発表する 人気作家
が語る!!「公募展と
わたし」

笠井 誠一 美術の窓 300

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 笠井誠
一 存在と抽象

高山 淳 " "

表紙解説〈表〉 辰野
金吾・葛西萬司作画
《中央停車場建物展
覧図》

原田 平作 美術フォー
ラム21 18

《特集＝追悼・風倉
匠》

あいだ

風を喰って去りし
風船

刀根 康尚 148

「ハバ」と呼ばれて
いた男

首くくり拷
象 "

風のように現れ、
風のように逝き
風倉さんの思い出

ゴトウ千香
子 "

ふたりの「風倉匠」
—絵画教室での出
会い

笠村 綾 "

風倉匠のこと

ヨシダヨシ
エ "

2 風貌も才能
風倉匠

田部 光子 149

3 トーク・ショ
ー「風倉匠と語る」
(2006)

黒ダライ児 150

3 トーク・ショー「風倉匠と語る」(2006) 虎落笛がこわかった 風倉匠の「音」原点	風倉 匠 談 一ノ宮佳邦 聞き手	150	寄贈作品紹介 片岡 球子「裸婦」	中村麻里子	岡山県立 美術館ニ ュース	83
3 トーク・ショー「風倉匠と語る」(2006) からだに「戦争」をかかえて 風倉匠のハプニング原点	風倉 匠 談 和田 千秋 聞き手	"	オークションの逸品 片岡球子「富士」		ギャラリ ー*	277
4 風倉探検航海 記	喜多 洋子 溝渕眞一郎	"	訃報 片岡球子さん 死去 103歳、日本 画壇の象徴的存在		新美術新 聞	1143
5 独行者の見果 てぬ夢—風倉氏を 偲んで	浅沼 直也	151	独創の画作を刻印し た百三歳 片岡球子 氏を偲ぶ		"	1144
7 風倉匠と『リ リパット王国舞踏 会』のこと	飯村 隆彦	"	追悼 片岡球子さ ん	奥岡 茂雄		
8 風倉匠さん、 これからも頑張り ましょね。	田中 泯	152	「巨星ついに落つ」 —異端のまま正統 への道	針生 一郎		
9 風倉さんへ— 5通目の手紙	川上 紀子	"	おこりんぼ先生さ ようなら	松尾 敏男		
サタデー発言 前衛 芸術家・故風倉氏の 思い出	藤内 龍彦	東京 10.4	父・中島清之との 縁、余りに近い存 在	中島 千波		
〈特集・座談会〉卒展 2008 内面世界を追 求したいけど…美大 を出た後はどうやっ て発表していく？ [風間真悟]		ギャラリ ー*	「下手で良い。何 があっても続ける こと」のお言葉	松村 公嗣		
《特集=追悼・風倉 匠》ふたりの「風倉 匠」—絵画教室での 出会い	笠村 綾 あいだ	148	追悼 片岡球子		版画芸術	139
限界集落 梶井照陰 著		日 経 3.2	日本美術のススめ 追悼 人間を磨き鍛 えた生涯 片岡球子	松村 公嗣	美術の窓	294
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 柏木恭 子 熱望と夢	切刀 知子	美術の窓 300	評伝 火山のように 画業80年 片岡球子 さん 教育にも長年 尽くす	田中 三蔵 朝 日	1.22	
次代の息吹 file.008 柏本龍太	編 集 部	アート・ ト ッ プ 220	片岡球子さんを悼む 信念貫いた情熱の色 彩	平山 郁夫	" "	
Reviews: As I See It... DVD『坂本龍 一+高谷史郎「LIFE —fluid, invisible, in- audible...」』	春日 聡	ART iT 20	惜別 日本画家 片 岡球子さん	田中 三蔵 朝日夕刊	3.28	
長崎の絢爛描き出す 針先「くんち」飾る 伝統の刺繍、技守る 「最後の伝道師」	嘉勢 照太	日 経 5.6	片岡球子さん死去 「でっかい絵」夢貫い た1世紀		産 経 1.22	
被爆体験メッセージ グラフィックデザイ ナー故片岡脩さん ラブ&ピースつなぐ 思い	瀬口 晴義	東京 8.5	追悼 片岡球子さん —途な創作力 日本 画革新	草薙奈津子	" 1.23	
			片岡さん死去「豪快」 こそ個性 描く人物 に共感、作品深化	稲葉 千寿 東 京	1.22	
			片岡球子先生を悼む 日本画の本筋体现	奥谷 博 東京夕刊	1.24	
			片岡球子さん「お別 れの会」美術関係 者800人	(稲)	" 3.12	
			片岡球子さんを悼む 力強い筆致と豊かな 色彩	平山 郁夫 日 経	1.23	
			追想録 片岡球子さ ん(日本画家) 強い 信念、制作の原動力	宝玉 正彦 日経夕刊	2.29	

片岡球子さん 形、色彩、奔放に「描きたいもの」に情熱注ぐ 石川 健次 毎 日 1.22

悼む 片岡球子さん生前から「伝説」の人 " " 3.12

片岡球子さんをしのぶ 独自の造形と後進指導 平山 郁夫 毎 日 夕刊 1.24

片岡球子さんの「お別れの会」に各界から1000人 岸 桂子 " 3.13

片岡球子先生を悼む 読 売 1.22

強烈な個性 クリーンな意志 平山 郁夫

気迫みなぎる「面構」の人 前田 恭二

所蔵品紹介 春昼 山本香瑞子 エスプラナード 150

(特集・座談会)卒業2008 内面世界を追求したいけど…美大を出た後はどうやって発表していく? [片村信] ギャラリー 275

「金のディアラ大賞」に片山さん 集英社の少女・女性マンガ8誌が新設[片山あやか] 小川 雪 朝 日 夕刊 5.7

毎日デザイン賞 永井一史「一連のブランドづくりとディレクション」 勝井 三雄 毎 日 3.4

香月泰男と戦後美術 濱本 聰 潮 流 94

記憶 20代記者が受け継ぐ戦争3 シンベリア抑留復員画家の妻 香月婦美子さん 死者の顔描き続けた夫[香月泰男] 沢田 千秋 東 京 8.28

人間国宝・工芸技術の部に増村紀一郎氏ら4名[桂盛仁] 新美術新聞 1160

口絵解説 打出し香爐「森閑」[桂盛仁] 佐藤 直子 文化財* 540

アーティスト クローズアップ カト哲二 ワシオトシヒコ 美術の窓 297

巻頭特集 いま、立体作家が面白い! 立体作品に注目、楽しいコレクション グラフィック 加藤 泉 アート・トップ 219

SPECIAL FEATURE
日本のアーティスト・序論 アーティストによるアーティスト論 加藤 泉 美術手帖 909
の王道

古瀬戸に現れた呉須 加藤 清之 陶 説 662

「つみきのいえ」最高賞[加藤久仁生] 毎 日 6.16

龍山で鶏龍山をみる 加藤 巧 陶 説 663

特集 アーキニアリング・デザイン展を10倍楽しむ方法 II アーキニアリング・デザインを巡るキーワード 穏やかな 加藤 詞史 建築雑誌 1581

顔 名古屋城本丸御殿障壁画の復元模写を指導する 加藤純子さん 千田 龍彦 読 売 9.5

愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介(32) 加藤 伸也 愛知県立芸術大学紀要 37

作家訪問385 急須屋 加藤財さん 編集 部 目の眼 387

日本の版画 1941—1950 中 加藤太郎 「JEU D'OBJET(ジュドブジェ)2」より「欲望」 西山 純子 東 京 1.30

オークションの逸品 加藤唐九郎「志野茶盃」 ギャラリー 275

PICK UP Exhibition 加藤俊雄 " 278

技と美最終回 造型作家/加藤寿彦 楠元 恭治 美術の窓 303

愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介(32)[加藤土師萌] 加藤 伸也 愛知県立芸術大学紀要 37

茶室の工芸学—現代工芸家の茶器 加藤土師萌「色絵金彩菊文水指」 今井 陽子 淡 交 763

Creators' Workshop グラインドハウス 加藤秀幸 高橋 美礼 デザインの現場 158

コミックガイド イノセントブローカー 加藤山羊作 南 信長 朝 日 8.31

2008年子年新春企画 年男年女 加藤 豊 新美術新聞 1140

特集=《いまこそ糸井貫二》3 普通の 人、本物の人(ダ ダカン・シンポジウ ム)報告	加藤 好弘、 ヨシダヨシ エ、 おおまさ のり、 秋山祐徳太 子、 上条順次郎、 増子 静、 竹熊健太郎、 タカシ、 松田 政男、 池田 龍雄、 金田一安民 談 島水亭木呂 司会	あいだ	153	TOKYO あにめのま ーち10 まっ白に燃 え尽きる前に[金山 明博]	加納 昭彦 竹井 陽平	読 売	3.13
				INFORMATION PROJECT 金氏徹 平、初の大規模個展。 大型インスタレーシ ョン実現に向けて作 品販売!	編 集 部	美術手帖	915
特集 若手作家の水 墨表現はここまで できている 加藤良造	野地耕一郎	趣味の水 墨画	230	遊び人の集大成『金 子國義の世界』出版 「回り道…身になり、 骨になってきた」	生田 誠	産 経	9.27
作家通信 山水画の 世界観を描く	加藤 良造	"	234	2008年度新任教員紹 介 空間演出デザイ ン学科准教授 金子 哲也	金子 哲也	瓜生通信	44
第4回トリエンナー レ豊橋 星野真吾賞 展 大賞は加藤良造 氏に		新美術新 聞	1157	技と美7 金属工芸 作家/金子徹	楠元 恭治	美術の窓	298
世界の版画事情 観 瀾・中国 中国最新 版画事情 観瀾版画 創作産業基地と観瀾 国際版画ビエンナー レ	鹿取 武司	版画芸術	139	スラッシュ/アート VOL.09 「のびアニ キ〜」[金子良]	工藤 キキ	STUDIO VOICE	390
暗闇に咲く植物ラン プ 果実に豆電球仕 込み、自然のデザイ ン楽しむ	金井 一郎	日 経	12.16	VOICE OF VOICE ローカル・スターを 探せ ちょっとだけ スター気分	のびアニキ 金子 良	"	393
巻頭特集 新ミクス トメディア 技法 講座 VOL.13 講師 による作品ギャラリ ー 古典技法とコン ピューター処理の併 用	金井 訓志	美術の窓	303	巻頭特集 いま、立 体作家が面白い! 立体作品に注目、楽 しいコレクション グラフィック 金田 勝一		アート・ ト ッ プ	219
公募写真展「視点」最 優秀作品に金井紀光 さん 中越地震の現 場リアルに		東京夕刊	5.7	生きることを楽しみ そして穿つ	金田 勉	美術運動	135
Art Scope PRE- VIEW 金丸悠児 過去の体験が表現の 支柱になる	編 集 部	アート・ ト ッ プ	221	特集 慈しまれる? モダニズム建築 II 事例 国際文化会館 保存再生の成果と課 題	兼松紘一郎	建築雑誌	1571
Close-up77 金丸悠 児 記憶の断片に繋 がるどこにもない、ど こかの街へ		ギャラリ ー	274	フロント4 グラビ ア写真家3 「素の 女の姿」で父に挑む 加納典義さん	鷺見 一郎	読 売	1.31
この人この本 『金 森達 SF アート原画 集』 メカに生命の ぬくもりを	栗原 淳	東 京	3.16	理想を求めて 狩野 芳崖	植田彩芳子	太陽(別冊)	154
「私の版画自慢」第 7回	金守世士夫	版画芸術	142	ほうがい余話	井土 誠	潮 流	
				芳崖の信条			93
				奇人・狩野芳崖と は			95
				「悲母観音」秘話			96
				巨星の遺光—狩野 芳崖生誕一八〇年に 寄せて	"	"	94
				『狩野芳崖』探索こと 始め	木本 信昭	"	96
				フェノロサ追想 没 後100年3 東京・ 上野 教え子の天心 と不仲説[狩野芳崖]		朝日夕刊	12.3

狩野芳崖展によせて ...	井土 誠	毎日夕刊	10.8	巻頭特集 ドロー イング・デッサンの技 を磨く ⑥技法講座 VOL.10 国展作家 が語る わたしにと ってのデッサン・ド ローイングとは?	上條喜美子	美術の窓	298
〈講演会記録〉 鹿子 木孟郎と道路山水— 明治時代初期の日本 洋画史—	志賀 秀孝	北区飛鳥 山博物館 研究報告	10	日々好日 金銭感覚	上條 陽子	新美術新 聞	1142
鍋木清方 近きし明 治のおもかげ		太陽(別冊)	152	パレスチナ ヒロシ マ YASUKUNI・九 条—歴史的課題を考 える作家たち— レ バノンの難民キャンプ に通って8年—上 條陽子	山口 泰二	美術運動 史研究会 ニュース	96
巻頭言 画文人・ 鍋木清方讃	倉田 公裕			Go! Artists Go! 34 上村卓大	編 集 部	美術手帖	913
こしかたの道	宮崎 徹			神山健治の『映画は 撮ったことがない』 Lesson21~32	神山 健治	STUDIO VOICE	385~396
コラム 三遊亭圓 朝との旅				三点の石版画から— 玄々堂の弟子たち 銅・石版画道聞29 [亀井至一]	森 登 一 寸		33
コラム 樋口一葉 への追慕				中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[亀井徹]		アート・ ト ッ プ	219
コラム 泉鏡花と の交友				コミックガイド ジ ベルばら色 鴨居ま さね作	南 信長 朝 日		9.14
コラム 戦中の画 業と疎開生活				表現の視座 感性と 技術 パートII	鴨狩 泰代	主体美術	84
コラム 鎌倉の画 室について				写眼 水を、ありの まま 萱原里砂 「watershed」平成13 年	堀 晃和 産 経		3.17
エッセイ 思い出 の記 祖父の本の 幻の口絵	青木 玉			コミックガイド お のぼり物語 カラス ヤサトシ作	南 信長 朝 日		10.12
エッセイ 思い出 の記 清方先生のお 宅に通った日々	福富 太郎			観流 書道マンガ 人物生き生き 描写 が魅力[河合克敏]	宮代 栄一	〃	5.18
エッセイ 思い出 の記 お預かりし た絵のこと	堀越友規子			近代の京焼にみる中 国陶磁撰取の諸相 (二)[河井寛次郎]	岡本 隆志	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	13
江戸憧憬の美人画	山下 裕二			美の美 蜃気楼の時 —棟方志功 中[河 井寛次郎]	竹田 博志	日 経	12.21
芝居好きの絵心	塩川 京子			[作品研究]川合玉堂 《行く春》について	鶴見 香織	現代の眼	572
清方写生帖	家田 奈穂			墨のある風景 川合 玉堂《彩雨》	〃	趣味の水 墨画	233
挿絵名画館	吉田 昌志			写実の系譜 III 日 本美を求めて 川合 玉堂	鈴木 勝雄	太陽(別冊)	154
清方随筆余滴	坂崎 重盛 編・解説			近代美術の東京 行 く春 川合玉堂・画	都築千重子	読 売	4.11
対談 清方の日常 を語る	根本 章雄 語り手 倉田 公裕 聞き手						
ロマンと情緒	蔵屋 美香	〃	154				
鍋木清方 「卓上芸術」の魅力							
画文人 鍋木清方	倉田 公裕	百 科*	546				
日々好日 趣味	鎌倉 秀雄	新美術新 聞	1158				
「私の版画自慢」 第 6回	蒲地 清爾	版画芸術	141				

クリエイターズワーク&ソウル 河井敏明		A X I S	134	CHAPTER 2 レイアウトの役割 INTERVIEW 渡邊安行					
《特集＝追悼・風倉匠》9 風倉さんへー5通目の手紙	川上 紀子	あいだ	152	スタジオジブリ最新作『崖の上のポニョ』 Review 2 意味の前にあるアニメーション					
視線 元祖！日本のマナーポスター 河北秀也著	サエキけんぞう	朝 日	10.5						
『元祖！日本のマナーポスター』河北秀也著	(前)	読 売	10.5	SPECIAL FEATURE 美術手帖60年史 編集後記 芸術における(棲み分け)について 美術手帖という雑誌の60年から読む					916
表紙の絵[川口軌外]	(小此木)	ガ ス 燈	78						
落下する種子、堆積するアレゴリー—河口龍夫《関係—無関係・落下、集積、命の形態》を巡って	竹葉 丈	アートペーパー	76	「川崎小虎と東山魁夷展」関連講演会「小虎と魁夷の思い出」	川崎 鈴彦 田中 晴久 聞き手	山梨県立美術館研究紀要			22
河口龍夫における「関係」および「見えないもの」	出原 均	兵庫県立美術館研究紀要	2	座談 「愛知社」について(中編)(後編)	川崎 鈴彦、 毛利 武彦、 木本 文平 話し手 入江 観 聞き手	連盟ニュース			425、426
「デザインのことば」—デザインボキャブラリーの再定義[ら]〜[わ]	川崎 和男	A X I S	131〜136						
特集 「世界」を救うためにデザインができること。 デザインは世界を救えるのか!? ケーススタディ16 医療07 Peace Keeping Design [川崎和男]	藤崎圭一郎	デザインの現場	159	青春ブレイバック 川崎普照 東京都北区岩淵町・荒川堤防	林 茂樹	新美術新聞			1153
不屈のひみつ 工業デザイナー 川崎和男さん	武田 泰介	読 売	11.30	第18回タカシマヤ美術賞決定 団体助成に長崎県美術館 家出隆浩氏 工芸 川島清氏 彫刻 斉藤典彦氏 日本画					
芸苑雑事記187 下蒲刈島の魁夷と川崎一門展[川崎小虎]	瀧 悌三	美術の窓	298	Zero in on 河嶋淳司が東山魁夷を語る心眼の射抜いた風景	河嶋 淳司	アート・トップ			220
「川崎小虎と東山魁夷展」関連講演会「小虎と魁夷の思い出」	川崎 鈴彦 田中 晴久 聞き手	山梨県立美術館研究紀要	22	テストピースの製作	川瀬 忍	常盤山文庫中国陶磁研究会報			1
特集 「アーティスト」になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART 1 個展を開く 幸福の半旗 なぜ、個展をやらなければならないのか	川崎 昌平	美術手帖	904	たてはな神話【連載】第二十三回〜第三十四回	川瀬 敏郎	芸術新潮			697〜708
ヘンリー・ダーガーの異色ドキュメンタリー映画	〃	〃	906	大特集 樂吉左衛門が語りつくす 茶碗・茶室・茶の湯とはなにか 茶碗と花の苦しみと楽しみ 対談 川瀬敏郎+樂吉左衛門		〃			699
SPECIAL FEATURE 名作はいかにして生まれるのか? スタジオジブリのレイアウト術	〃	〃	912	特集 川瀬巴水 日本の旅情		版画芸術			141
INTERVIEW 大塚康生				日本の風景、写生と旅	青木 茂 談 秋田 真波 文・構成				
INTERVIEW 奥井敦				名作を語る 《上州法師温泉》	清水 久男				
				名作を語る 《日本風景選集》より《木曾の須原》	小山 周子				

名作を語る 絶筆 《平泉金色堂》	服部 郁美								狩野派と浮世絵の 最終到達点にいる 暁斎	天明屋 尚				
名作を語る (東京 二十景)より《芝 増上寺》	小山 周子								暁斎を語る言葉を	木下 直之				
名作を語る (東京 二十景)より《馬 込の月》	清水 久男								暁斎は地獄をどう 見ているか	神居 文彰				
巴水の「新版画」制 作 渡辺木版美術 画舗工房訪問	秋田 真波 岩坪 文子								鬼・狂(暁)斎	北森 鴻				
巴水をコレクショ ンする	土井 利一 原 秀昇								回想 暁斎作品海 外探訪記	山口 静一				
特集 帝都の美術— 都市の肖像 清親の 東京、巴水の東京	飯野 正仁	美術フォ ーラム21	18						正統狩野派絵師暁斎		〃	〃		
表紙解説(裏) 川瀬 巴水《日本橋(夜明)》	〃	〃	〃						新時代に向け狩野 派表現の可能性を 探り続けた	安村 敏信				
江戸博蔵めぐり 東京 十二題 深川上の 橋 川瀬巴水・画	小山 周子	読 売	2.29						こらむ 御用絵師 の仕事					
Artist Interview Sprout 川田翠美	斉藤 博美	art _ icle	12						国芳の継承者 浮世 絵師暁斎		〃	〃		
踊り伝える東京大空 襲 体験者の証言を 「音」にして、焼失免 れた土蔵で公演[カ ワチキララ]	鈴木 一號	日 経	2.28						国芳塾での原体験 が錦絵で一氣に開 化	安村 敏信				
川面版源氏物語絵巻 について[川面義雄]	香山 里絵	金鯨叢書*	34						こらむ 戯作本の 挿絵画家として					
巻頭特集 地獄絵巡 礼 河鍋暁斎 地獄 をもって世情を風刺	安村 敏信	アート・ ト ッ プ	221						評伝 暁斎が語る暁 斎	加美山史子	〃	〃		
万享應賀の著作に見 る河鍋暁斎の戯画	及川 茂	アジア遊 学	109						これぞ暁斎、まさに 絵師『暁斎絵日記』 から見えてくるもの	〃	〃	〃		
新美術時評 暁斎の 死から100年	島尾 新	新美術新 聞	1152						写実の系譜I 西洋 画への憧憬 河鍋暁 斎という「天才」	古田 亮	〃		154	
表現の極限に挑み続 けた画家 河鍋暁斎	安村 敏信	太陽(別冊)	河鍋暁斎						巻頭特集 なんでも 描けてなにか悪い!! 河鍋暁斎の写実力				美術の窓	295
奇想の奔流		〃	〃						グラビア 徹底し た観察眼					
一工夫しないと気 がすまない	〃								グラビア 大和美 人も西洋美人もお てのもの					
美人画 美人画も 暁斎流の一捻り	〃								グラビア 生き物 は先生					
風俗・故事人物 古典世界を斬新に 蘇生	〃								グラビア 弱肉強 食の微妙な関係					
魅力的な地獄図、 尊像そして幽霊	〃								グラビア 親しい 人がお出迎え一死 出の旅路も怖くな い					
戯画 意表をつく 構想、逆転の方式	〃								グラビア 地獄に もある悲喜こもご も					
こらむ 蛙といえ ば暁斎、暁斎とい えば蛙									グラビア 歌舞伎 役者も妖怪に					
エッセイ[河鍋暁斎]		〃	〃						グラビア 戦う蛙 一時世のパロディ					

アート探求 川俣正
の個展「通路」美術
館を開く「生きた展
示」

白木 緑 日 経 2.23

写真の系譜Ⅰ 西洋
画への憧憬 川村清
雄

古田 亮 太陽(別冊) 154

高知平和美術会の活
動及び創作について

川村 圭三 美術運動 135

先輩に聞け! デザ
イナーが若いうちに
しておくべきこと26
川村哲司

石田 純子 デザイン
の現場 160

美術学部教員展図録
陶磁

川村 秀樹 愛知県立
芸術大学
紀要 37

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 川本幸
子 色彩の奏でるメ
ロディ

磯部 靖 美術の窓 300

特集 コンセプトデ
ザイン—未知なるも
のを創り出す 概念
を転換するデザイン
を探し求めて[河森
正治]

藤崎圭一郎 A X I S 133

特集 「アーティスト」
になる基礎知識
展覧会のつくりかた
PART 1 個展を開く
04展示 インスタレ
ーション

菅 絢子 美術手帖 904

特集01 アートの
理由 アンケート
若手作家に聞きました
[菅かおる]

アート・
トップ 224

地方の美術状況の中
で——表現者の取組
み

神田 元紀 美術運動 135

美術学部教員展図録
彫刻

神田 毎実 愛知県立
芸術大学
紀要 37

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 菅野美
栄 心模様

功刀 知子 美術の窓 300

作品「七夕絵どう
ろうまつり(秋田県
湯沢市)オリジナル
日本酒ボトル」「桜
の森彫刻コンクール
・ポスター」「あき
た地球温暖化防止マ
スコットキャラクタ
ー「あすびー」

官能 右泰 秋田公立
美術工芸
短期大学
紀要 13

特集 Part. 1 絵を
発表しよう!! sec-
tion 1 公募団体展で
発表する 人気作家
が語る!!「公募展と
わたし」

神戸 文子 美術の窓 300

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 神戸文
子 人間の元型

高山 淳 " "

2007年度日本芸術院
賞決定 第1部美術
は5氏。恩賜賞に日
本画家の清水達三氏
[神戸峰男]

新美術新
聞 1149

(キ)

絵画作品 優しき薔
薇

紀伊 利臣 跡見学園
女子大学
人文学フ
ォーラム 6

特集 慈しまれる?
モダニズム建築 II
事例 蘇った?メタ
ボザウルス・都城市
民会館[菊竹清訓]

ヒラカワヤ
スミ 建築雑誌 1571

菊竹清訓設計の都城
市民会館保存が決定

手塚さや香 毎日夕刊 1.28

1940年代の平滑空間
[菊池契月]

沢山 遼 芸 文 1

「五風十雨・五十部
の細道図」によせて

菊地 武彦 多摩美術
大学研究
紀要 22

視線 山の星月夜
眠らない日本アルプ
ス 菊池哲男著

新井 敏記 朝 日 9.7

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 菊地光
子 心の風景

高山 淳 美術の窓 300

菊畑茂久馬さん 前
衛芸術語る「九州
派」の画家 東京国
立近代美術館で

大西 若人 朝日夕刊 2.6

交遊抄 伝説の対談

菊畑茂久馬 日 経 2.18

現代アート考 菊畑
茂久馬のオブジェ
物が照らし出す生の
刹那

三田 晴夫 毎日夕刊 1.9

近代美術の東京 ル
ーレット 菊畑茂久
馬・画

中林 和雄 読 売 1.11

PICK UP Exhibition
異邦人として自己の
アイデンティティを
見つけ絵画制作をは
じめたキクリ

ギャラリー
一 277

— 220 —

巻頭特集 いま、立体作家が面白い！ 立体作品に注目、楽しいコレクション 対談 北川宏人×大森暁生「立体」&「アート」を語る		アート・トップ	219	毎日デザイン賞 北山孝雄「地域活性とデザインプロデュース」	喜多 俊之 毎日	3.4
Close-up86 北川宏人 1967年生まれの感性が捉えた日本に生きる若者の立像		ギャラリー	282	反抗と前衛 北脇昇	大谷 省吾 太陽(別冊)	154
[開館30周年記念展 II 工芸の力—21世紀の展望]トークイベントから	北川 宏人、金子 賢治 対談	現代の眼	569	南画と個性派 軽快な線描が魅力の画家・吉川盡華	鶴見 香織	" "
日本画制作の現場 5	北田 克己	広島市立大学芸術学部紀要	13	山下裕二の今月の隠し球39、40 城戸悠巳子「脳内ビジョンを、そのまま描く」(上)(下)	山下 裕二 美術の窓	294、295
模写による県内文化財研究と保存継承 II	"	"	"	特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 鬼頭恭子 女の哀愁	高山 淳	" 300
巻頭特集 いま、立体作家が面白い！ 立体作品に注目、楽しいコレクション グラフィック 北出健二郎		アート・トップ	219	第19回五島記念文化賞 美術新人賞に鬼頭健吾氏 塩保朋子氏	新美術新聞	1150
研究報告4. 木谷千種「夢の通路」	奥井亜紀子	実践女子学園香雪記念資料館館報	5	SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト・序論 アーティストによるアーティスト論 鬼頭健吾 いくつかの重なりあうこと	鬼頭 健吾 美術手帖	909
テークオフ 写真家北野謙さん 生きて いる色んな人を重ねて	大西 若人	朝日夕刊	1.12	アクリリックス・ワールド46 衣川泰典	石井 芳征	" "
特集 「大坂画壇」は蘇るか?—「綺麗なもの」から「面白いもの」まで「浪花情緒」のモダンイズム—北野恒富と生田花朝の場合	橋爪 節也	美術フォーラム21	17	ことばのデッサン 連載第33回~第38回	絹谷 幸二 アート・トップ	219~224
大阪画壇研究補遺—「北野恒富展」をめぐる—	"	待兼山論叢	42	佐々木豊のホンネでファイト 最終回 量とスピードこそ“天才”たるゆえん	佐々木 豊、絹谷 幸二 対談	" 221
特集01 アートの理由 アンケート 若手作家に聞きました[北村さゆり]		アート・トップ	224	Zero in on 絹谷幸二展 情熱の色・歓喜のまなざし	本江 邦夫	" 224
人と墨 2 北村さゆり 挿絵に大作に墨が導く色彩のマジック		趣味の水墨画	230	第30回記念十果会	絹谷 幸二 新美術新聞	1156
2008年子年新春企画 年男年女	北村さゆり	新美術新聞	1140	十果会第30回記念座談会[絹谷幸二]	宝木 範義	" "
クリミア半島出土漢代漆器 人間国宝が修復協力[北村昭斎]		日 経	5.30	毎日新聞社 新たに「絹谷幸二賞」を創設	絹谷 幸二 談	" 1166
弾き込まれた正倉院琵琶 螺鈿細工に摩擦痕[北村昭斎]		読売夕刊	9.27	新・私のアルバム16 絹谷幸二	小森佳代子 美術の窓	296
				中特集 巨匠展—今そして未来2008— 巨匠展出品作家 絹谷幸二	絹谷 幸二 談 編集部 文責	" "
				中特集 絹谷幸二	"	300
				光と光の絵画の裏側	武田 厚	
				スペシャルビッグ対談 絹谷幸二氏 VS 原田明夫氏		

この人 コロンビア・ボテロ芸術賞の名審査員になった東京芸術大教授 絹谷幸二さん	名波 正晴	東京	3.14	特集 帝都の美術—都市の肖像—都市生活と画家—木村荘八の東京	田中 淳	美術フォーラム21	18
こころの玉手箱 画家 絹谷幸二 1~4	絹谷 幸二	日経夕刊	2.12~15	テークオフ 美術家木村崇人さん 森から得たものを表現したい	青山 祥子	朝日夕刊	6.28
対談 絹谷幸二賞創設 本江邦夫さん 遠藤彰子さん	岸 構成 桂子	毎日夕刊	11.17	第21回「京都美術文化賞」受賞者のことば	木村 秀樹	美術京都	40
ウルビーノのヴィーナス 私の1点5「ヴィーナス」 絹谷幸二さん	絹谷 幸二	読 売	4.13	表参道の空襲描いた絵 銀座で9日まで展示[木村万起]	松村 裕子	東京	8.2
ブラジル日本移民100周年記念 彫刻家絹谷幸二さんが巨大モニュメント寄贈—サンパウロ・カルモ公園	油井 一八	新美術新聞	1159	木村真由美 物質と色彩が作る「空虚」な絵画	友澤 宏子	版画芸術	142
茨城県近代美術館所蔵作品から 木内克「坐裸婦」	平野扶佐子	游 美	59	コミックガイド 見送りの後で 樹村みのり作	南 信長	朝 日	1.27
土曜訪問 新日鉄音楽賞を受賞 木之下晃さん(音楽写真家)	三品 信	東京夕刊	8.2	特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 木村保夫 歴史の魂	高山 淳	美術の窓	300
顔について	木下 晋	国立国際美術館ニュース	168	Meet the artists 02 対談：田中功起×木村友紀	中原紗代子 司会	ART iT	18
画家たちの美術史68 木下晋	林 洋子	美術手帖	913	SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト・序論 アーティストによるアーティスト論 木村友紀	木村 友紀	美術手帖	909
[特集1]沖縄・プリズム 1872—2008 南洋群島から沖縄へ三人の画家をめぐる [儀間比呂志]	滝沢 恭司	現代の眼	572	巻頭特集 エロティシズム 女性アーティスト5人の感性 インタビュー 木村了子		アート・トップ	220
ノーモア戦争 執念彫る 故郷沖縄の苦難を版画の絵本で後世に伝える	儀間比呂志	日 経	6.3	巻頭特集 ドローイング・デッサンの技を磨く ⑧技法講座 VOL.10 デッサン・ドローイングの魅力と楽しみ 建築家とドローイング 現代社会の生活の表現としてのドローイングの連続[木本一之]	石山 修武	美術の窓	298
こころの玉手箱 歴史学者 樺山紘一 3本郷森川町[木村伊兵衛]	樺山 紘一	日経夕刊	11.19	特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 京田徹夫 ダイナミズム	高山 淳	〃	300
読みたい 本の現場 田沼武能さん 文章と写真でつづる半世紀[木村伊兵衛]	桐山 正寿	毎日夕刊	6.27	“caico” 清川あさみ〈コンプレックス〉、美しさと醜さと	石井 芳征	美術手帖	905
〈日韓美術交流〉韓国光州市の美術家たちとの交流	木村 勝明	美術運動	135	追悼「故 清原啓一氏を偲ぶ」懸命に走り続け、駆け抜けていった	寺坂 公雄	新美術新聞	1169
写眼 高鳴る少年時代の憧憬 木村恵一「みよちゃんに会えた」(平成15年)〈江戸東京・下町日和より〉	堀 晃和	産 経	7.7				
コミックガイド かん 1 木村紺作	ササキバラ・ゴウ	朝 日	11.30				

PREVIEW 清原啓一
回顧展 新花鳥画へ
の道程 群像劇の重
厚さから、豊穣深遠
な大自然との合一へ

若松 基 美術の窓 297

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 清原啓一
空間の力

高山 淳 " 300

この1点 清水九兵
衛《FIGURE F》

T Y Corridart 2

人・模・様 8代に
及ぶ作品月替わりで
[清水六兵衛]

手塚さや香 毎日夕刊 9.20

(ク)

2008年日本建築学会
作品選奨 総合地球
環境学研究所[久下
武彦]

建築雑誌 1579

特集 Part. 1 絵を
発表しよう!! sec-
tion 1 公募団体展で
発表する!! 人気作家
が語る!!「公募展と
わたし」

日下 常由 美術の窓 300

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 日下常
由 想念

切刀 知子 " "

次代の息吹 file.007
日下部直起

編集 部 アート・
トッ プ 219

工芸専攻 陶領域
ケーキを創る

草野 薫 多摩美術
大学大学院修了論
文作品集 2008

Faces 草間彌生

柳下 朋子 ART iT 18

所蔵品紹介 夏(1)
・夏(2) 草間彌生

正路佐和子 エスブラ
ナード 153

EXTRA COLUMN
『草間彌生 わたし
大好き』 真の自己
探求の壮絶さを伝え
る強烈な一冊

濱中マコト STUDIO
VOICE 386

EXTRA COLUMN
草間彌生 PUMP-
KIN FOREVER

" 387

特集 あなたの知ら
ない版画の秘密 日
本編 Q17 草間彌
生のかぼちゃんに隠
されたメッセージとは
?

秋田 真波 版画芸術 142

映画「草間彌生〜
わたし大好き〜」公
開 生を肯定する芸
術に向かう、陽春の
とき

住吉 智恵 美術手帖 904

特集 100%楽しむ
ためのキーワード
超・整理 現代ア
ート事典 コラム 美
術家の思想 04 草間
彌生

谷川 渥 " 906

草間彌生のドキュメ
ンタリー映画「全
身芸術家」の創造と
日常

秋山 亮太 朝 日 1.29

草間彌生の素顔を追
う ドキュメンタリ
ー映画

猪谷 千香 産 経 1.16

草間彌生、フェラガ
モとコラボ

黒沢 綾子 " 3.15

世界文化賞20周年記
念展 2006年絵画部
門 草間彌生「STARS
OF INFINITY ZOAQ」

(黒) " 9.30

世界文化賞授賞式
[草間彌生]

" 10.16

土曜訪問 全身、全
人生が作品に 創作
活動を伝える映画公
開中 草間彌生さん
(前衛芸術家)

稲葉 千寿 東京夕刊 3.1

究める 草間彌生
果て知らぬ幻覚の増
殖

小川 敦生 日 経 4.6

前衛芸術家、草間彌
生のドキュメンタリ
ー映画 一瞬で消え
る作画の姿勢永久に

石川 健次 毎日夕刊 2.4

気になる! 草間芸
術10年で評価一変

前田 恭二 読 売 12.30

pop style 草間彌生
「彌生時代」今が最高

尾崎 未央 読売夕刊 1.16

楠山秀太郎の事ども
銅・石版画遺聞30

森 登 一 寸 34

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 口澤弘
心安らぐ世界

口澤 弘 美術の窓 300

2008年日本建築学会
作品選奨 坂井市立
丸岡南中学校[工藤
和美]

建築雑誌 1579

特集 学びの場を問
う III 建築家に訊
く:「開・閉」のつく
り方

" 1582

開いた学校づくり
への挑戦

工藤 和美
談 上野佳奈子
聞き手 本間
公子 文

工藤和美先生による 学校建築の事例 集					トーレ・ヴェラス カ イタリア			11.9
モーニングサンライ ズ	工藤 健	多摩美術 大学研究 紀要	22		ギャラリーラファ イエット・ベルリ ン ドイツ			12.7
コラム アラブ首長 国連邦で建築教育環 境を垣間見た	国広ジョー ジ	建築雑誌	1580		ピカソ展 六本木から オレはオレ、自 信と勇気を感じる	"	"	11.7
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 国見縫 子 哀愁	高山 淳	美術の窓	300		私の苦笑い 中国で の設計、常識通じず 大赤字 制約を逆手 に発想転換	隈 研吾 談 日 経		3.17
美の履歴書 084 大 恐慌時の絶頂の行方 「休んでいるサーカ スの女」 国吉康雄	秋山 亮太	朝日夕刊	11.12		インタビュー 領空侵 犯 英語教育、文化 重視を シェイクス ピアを教えよ 建築 家 隈研吾氏	山口 雅司 聞き手	"	9.29
筆に伝宿る「写羅漢」 の美 15年かけ1万 体以上、和紙の巻物 に石仏描き写す	久保 俊寛	日 経	3.3		交遊抄 進化する建 築家[隈研吾]	上野千鶴子	"	9.30
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 久保田 勝巳 聖性	高山 淳	美術の窓	300		入門講座 20世紀の 家 1〜5 隈研吾	隈 研吾 日経夕刊		10.2、 9、16、 23、30
〈素材×技術〉からフ ォルムへ―布と金属―	久保田繁雄	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	4		『自然な建築』を刊行 隈研吾さん「人間と つくる」のが「自然」	岸 桂子 毎 日		12.24
「しあわせの瞬間」展 26日から開催 久保 田眞由美さん	桐山 正寿	毎 日	5.15		北京 孵化する異様 都市 隈研吾	隈 研吾 読 売		7.10
新校舎設立特集 至 誠館[隈研吾]	須藤 資望	瓜生通信	44		作品「乾漆飾箱 香 椿」「変塗螺鈿箱かた くり」	熊谷 晃	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	13
奇想遺産	隈 研吾	朝 日			美の履歴書 048 な ぜアリを描くのか 「豆に蟻」 熊谷守一	大西 若人	朝日夕刊	3.5
ベルリンの壁博物 館 ドイツ			2.10		写眼 60年代の緊迫 感を描写 熊切圭介 「東大紛争、安田講 堂の攻防」(昭和44 年)	堀 晃和 産 経		6.2
日向別邸 日本			3.9		熊澤未来子 現代人 をシュールな感性で 描いた風刺画	斉藤 博美 art _ icle		12
ロイズ保険本社ビ ル イギリス			4.6		美の美 早すぎた慧 眼―林忠正 下[久 米桂一郎]	小川 敦生 日 経		11.16
サムスン美術館リ ウム 韓国			5.11		会員日より 私の仕 事雑話	久山 一枝 杜		25
オルセー美術館 フランス			6.8		美術学部教員展図録 油画	倉地比沙支	愛知県立 芸術大学 紀要	37
アム・シュタイン ホフ教会 オース トリア			7.6		インスピレーション インテリア 倉俣史 朗の空間の凝縮 “三 宅一生の水”のため に手がけたボトル	川上典李子 A X I S		134
グッゲンハイム美 術館 アメリカ			8.3		デザイン・オブジェ という家具―倉俣史 朗の一九七〇年代の 家具デザインにみる 「かたち」の葛藤	橋本 啓子 美術史論 集		8
エイヘンハールの 集合住宅 オラ ンダ			9.14					
オルタ自邸 ベル ギー			10.12					

特集 波(ウェイブ) 波の夢をキャンパス に[久里洋二]	相川 直樹	ARTLET	29
日々好日 アニメが 絵になる日	久里 洋二	新美術新 聞	1148
一枚マンガの折り返 し展1「美術界に 広がる漫画の絵画」	"	東 京	6.27
2008年度新任教員紹 介 キャラクターデ ザイン学科専任講師 栗田やすお	栗田やすお	瓜生通信	43
日々好日 芸術に国 境なし	栗林今朝男	新美術新 聞	1155
写真展、各地で開催 夏は家族で「昆虫詣 で」[栗林慧]	渋谷 和彦	産 経	7.19
SV CUT UP DESIGN BOOKS 『GROOVI- SIONS MGR』	紫牟田伸子	STUDIO VOICE	392
建築年報2008 IV 建築界の動向と展望 黒川紀章という現象	松葉 一清	建築雑誌	1580
黒川紀章とは何者か ? アスベスト禍を 告発する美術行為を 継続中	森下 泰輔	美術運動	135
ことば 磯崎新さん [黒川紀章]	大西 若人	朝 日	11.18
黒川紀章さん遺作中 学校完成 愛知・大 口町「町の宝に」	井上 章	毎日夕刊	3.24
黒川翠山撮影写真資 料の新知見一写真雑 誌『歴史写真』を手懸 りとして一		京都府立 総合資料 館だより	155
青春プレイバック 黒木国昭 東京都台 東区上野公園東京国 立博物館	林 茂樹	新美術新 聞	1159
黒崎彰の続・版画史 解剖 20世紀編	黒崎 彰	版画芸術	
[第6回]巨匠たち の版画—マティス とピカソをめぐつ て			140
[第7回]S・W・ ヘイターと「アト リエ17」の挑戦			141
公募展レポート 第 4回山本鼎版画大賞 展	"	"	142
日々好日 新宿御苑 の雪景色	黒澤 信男	新美術新 聞	1144

SPECIAL FEATURE

名作はいかにして生 まれるのか? スタ ジオジブリのレイア ウト術 スタジオジ ブリ最新作『崖の上 のポニョ』Review 1 アーティストが見る、 『ポニョ』の表現	曾谷 朝絵、 黒瀬 陽平 談	美術手帖	912
特集 パブロ・ピカ ソ 現代美術の冒険 者 パブロ・ピカソ が撒き散らしたもの	横尾 忠則 黒瀬 陽平 聞き手	ユリイカ	558
特集 マンガ批評の 新展開 マンガを読 む/読み替える う るさくて何が悪い 黒田硫黄と白と黒	麻草 郁	"	552
古陶随伴録62 黒田 理平・壺中親子たち 一家の奈良古代人形 作陶から琉球古典焼 へ[黒田壺中]	三好 一	目の眼	383
巨匠の断念—黒田清 輝の場合	森 仁史	一寸	35
近代日本絵画を読み 解く 描かれた女性 たち1—裸体画《朝 妝》論争と白馬会を 取り巻く騒動[黒田 清輝]	宮本 久宣	太陽(別冊)	154
理想を求めて	植田彩芳子	"	"
黒田清輝 《昔語り》作品群の 魅力			
美の美 早すぎた慧 眼—林忠正 下[黒 田清輝]	小川 敦生	日 経	11.16
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 黒田真 由美 星空	高山 淳	美術の窓	300
現代美術の歩き方 今月一品 桑島秀 樹 Euphoria 001	(細川)	"	299
惜別 写真家・写真 評論家 桑原甲子雄 さん	岡井 耀毅	朝日夕刊	2.29
悼む 桑原甲子雄さ ん 写真家	高橋 直裕	毎 日	2.27
追悼抄 桑原甲子雄 さん 1930年代東京 切り取る	石川 純	読売夕刊	3.18
特集 フェルメール フェルメールから派 生する Scope《フェ ルメール》	桑原 弘明	ユリイカ	554
私の美術放浪48 桑 原巨守彫刻美術館	永井 信一	新美術新 聞	1142

葉っぱの詩展 一枚
一枚違う表情[群馬
直美]

酒井 祥宏 毎 日 1.23

(ケ)

Artist Interview 94
ケッソクヒデキ ミ
ステリーと心地よさ
の融和

石田 純子 デザイン
の現場 162

視線 駄美術ギャラ
リー 現代美術二等
兵(龍谷シェーンナ
ふじわらかつひと)
著

北澤 憲昭 朝 日 2.10

(コ)

Close-up83 呉亜沙
コンセプトとビジュ
アルの大切さこの両
方がなくては行けな
い

ギャラリー 279

青春の刻1 絵師と
いう職人・呉斉旺

趣味の水
墨画 229

鯉江良二の事—六月
の京都にて—(下)

梅田美津子 陶 説 658

鯉江良二「足付壺」

森 孝一 " 665

鯉江良二先生のこと

梅田美津子 " "

鯉江良二—仕事と人
間

乾 由明 " "

鼎談—作家の原風景
—

鯉江 良二
内田 鋼一
森 孝一 " 668

山下裕二の今月の隠
し球47、48 小池真
奈美「落語から抽
出した『自画像』」
(上)(下)

山下 裕二 美術の窓 302、303

本づくし「家を歩
き回るように」『UNE
PETITE MAISON』
ル・コルビュジェ著

小泉 誠 A X I S 134

つかう カメラケー
スの暗示

小泉 佳春 芸術新潮 708

小磯良平と戦争画—
従軍の記録と制作の
過程—

廣田 生馬 神戸市立
小磯記念
美術館研
究紀要 3

小磯良平における群
像表現の探究と成果
《働く人びと》(1953)
に至るまで

辻 智美 " "

写実の系譜 III 日
本美を求めて 小磯
良平

鈴木 勝雄 太陽(別冊) 154

幻の小磯良平作品発
見「日本髪娘」韓
国・李王家が所蔵

水沼 啓子 産 経 11.14

日本の美術品がなぜ
韓国で見つかるの？
李王家のコレクション
45年まで200点
を収集[小磯良平]

西脇 真一 毎 日 11.26

「日本髪娘」見つか
る 小磯良平 幻の
作品展示へ

" 毎日夕刊 11.14

たいせつなものシリ
ーズ3 やくそくど
ろぼう[小出茜]

栗田 大輔 美術手帖 905

写実の系譜 II 大正
の写実主義 小出茜
重

小倉 実子 太陽(別冊) 154

研究ノート なめら
かな表面のために—
小出茜重再考—

小林未央子 美術研究 395

美の履歴書 073 背
広を着て描くわけ
「帽子をかぶった自
画像」 小出茜重

古賀 太 朝日夕刊 8.27

Go! Artists Go! 31
肥沼義幸

拓植 響 美術手帖 906

コミックガイド
LOVELESS 高河ゆ
ん作

ササキバラ 朝 日 5.11

巻頭特集 地獄絵巡
礼 現代に息づく“地
獄絵”現代作家イン
タビュー 鴻崎正武

アート・
ト ッ プ 221

この人 文化庁メデ
ィア芸術祭で大賞を
受賞した漫画家 郷
田マモラさん

関口 威人 東 京 2.5

前田常作先生をしの
ぶ

甲田 洋二 連盟ニュ
ース 425

コミックガイド 新
・自虐の詩 ロボッ
ト小雪 業田良家作

山脇 麻生 朝 日 8.24

袴地「仙台平」伝統紡
ぐ「糸現念」、染
色から仕上げまで30
工程一貫生産

甲田 綏郎 日 経 10.10

巻頭特集 いま、立
体作家が面白い！
立体作品に注目、楽
しいコレクション
グラフィック 河野
甲

アート・
ト ッ プ 219

河野通勢と関根正二

岩切信一郎 一 寸 35

版画通信 クローズ
アップ 新発見！河
野通勢の銅版画

瀬尾 典昭 版画芸術 141

美の履歴書 065 な
ぜ樹木がうねるのか
「長野風景(長野の近
郊)」 河野通勢

大西 若人 朝日夕刊 7.2

大正の異才画家に光 写実の先に込められ た意志[河野通勢]	小川 郷原	敦生 信之	日経夕刊	5.13					1.10、17、 24.31、 2.7.14、 21.28、 3.6.13、 27.4.3、 10.17、 24.5.1、 8.15.22、 29.6.5、 12.19、 26.7.3、 10.17、 24.31、 8.7.14、 21.28、 9.4.11、 18.25、 10.2.9、 16.23、 30.11.6、 13.20、 27.12.4、 11.18.25
大正の鬼才 河野通 勢	瀬尾	典昭	読 売						
上「裾花川の河 柳」絵空事細部 までリアルに				6.24					
下「竹林之七姉」 幻惑的仕掛け浸る も一興				6.27					
巻頭特集 地獄絵巡 礼 現代に息づく“地 獄絵”現代作家イン タビュー 鴻池朋子			アート・ ト ッ プ	221					
SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 アーティスト によるアーティスト 論 鴻池朋子 み ずうみ	鴻池	朋子	美術手帖	909		リズミカルムの所在	小島 千雪	国立国際 美術館ニ ュース	165
						日々好日 手札型の 写真	小島 弘	新美術新 聞	1171
SPECIAL FEATURE 名作はいかにして生 まれるのか？ スタ ジオジブリのレイア ウト術 COLUMN アーティスト・鴻池 朋子はレイアウトの ここを見る！ 想像 力を刺激する絵	山内 構成	宏泰	”	912		特集 石本正の思い 石本正の仕事と人 (講演録)	小嶋 悠司	石見美術	6
						アトリエ訪問 穢土 を見つめる粘りと凄 みと根深さに滲む底 光りー小嶋悠司のそ んな世界はやはり現 代の宗教画と言うべ きものだろう	原田 平作	美術フォ ーラム21	18
特集 新大図鑑2008 新世代のトップ・ア ーティストにきく3 鴻池朋子			美術の窓	296		中特集 巨匠展—今 そして未来2008— 巨匠展出品作家 小 杉小二郎	小杉小二郎	美術の窓	296
海外に学び日本に学 ぶ 歴史と理論の力 ールイス・カーンの スタジオ	香山	壽夫	建築雑誌	1582		巻頭特集 新ミクス トメディア ⑧技法 講座 VOL.13 小杉 小二郎 内なる音の 響き	編 集 部	”	303
反抗と前衛 古賀春 江	大谷	省吾	太陽(別冊)	154		小杉放菴と沖繩—沖 縄旅行時の日記と作 品を通して—	小林 純子	沖縄県立 芸術大学 紀要	16
Zero in on 小金沢 健人 旅の途上で	白坂	ゆり	アート・ ト ッ プ	224		南画と個性派 小杉 放菴	鶴見 香織	太陽(別冊)	154
Close-up79 小久保 裕 記憶の襞に刻ま れた風景がアトリエ でゆっくりと語り始 める時			ギャラリ ー*	275		テークオフ 現代美 術家 KOSUGE 1— 16 もちつもたれつ 参加型アート	古賀 太	朝日夕刊	3.22
						新収蔵作品紹介 二 世五姓田芳柳筆 府台風景図屏風	角田 拓朗	神奈川県 立歴史博 物館だよ り	178
BAD INTERVIEW こぐれひでこ	渡部 千春 インタビュー・文		STUDIO VOICE	389		写実の系譜I 西洋 画への憧憬 五姓田 義松	古田 亮	太陽(別冊)	154

箔印刷でここまで表現できる! 古平正義の挑戦	杉瀬 由希	デザインの現場	161	欧文書体のつくりかた 第1回 基礎的な大文字の骨格	小林 章	162
児玉希望と写生帖	永井 明生	広島県立美術館研究紀要	11	写実の系譜I 西洋画への憧憬 小林永濯	古田 亮 太陽(別冊)	154
[特集]二〇〇七年のアーティスト・トーク 所蔵作品展のアーティスト・トークから	児玉 靖枝	現代の眼	568	小林かいち展・その後	山田 俊幸 一寸	33
「オリンピック・フアイン・アート2008」に参加して 先端科学技術と尾崎豊と	児玉由美子	東京夕刊	9.22	博物学的美術史FILE. 27 大正時代の謎の絵師、小林かいち	編集部 美術の窓	294
東京追憶	後藤 茂樹	国華清話会会報	12	SIGGRAPH2007における作品発表の報告	小林 和彦 東北芸術工科大学紀要	15
次代の息吹 file.012 後藤拓郎	編集部	アート・トップ	224	茶室の工芸学—現代工芸家の茶器 小林菊一郎「うろこ文切子鉢、小鉢」	諸山 正則 淡 交	767
《特集=追悼・風倉匠》 風のように現れ、風のように逝き 風倉さんの思い出	ゴトウ千香子	あいだ	148	あとがきのあと「十七歳」小林紀晴氏 ささやかなことを書き留める	日 経	7.20
PERSON 後藤まりえさんが、第11回新生展大賞	編集部	アート・トップ	219	〈美術家の戦争体験〉私の青春 敗戦から東京美術学校(芸大)へ	小林喜巳子 美術運動	135
Go! Artists Go! 32 後藤友香	編集部	美術手帖	908	写実の系譜I 西洋画への憧憬 小林清親	古田 亮 太陽(別冊)	154
SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト・序論 アーティストによるアーティスト論 小西紀行 宮島と夜の海	小西 紀行	11	909	特集 帝都の美術—都市の肖像	美術フォーラム21	18
巻頭特集 新ミクストメディア ⑩技法講座 VOL.13 講師による作品ギャラリー 木材や立体を画面に定着させる	小西 雅也	美術の窓	303	小林清親の東京名所図—《海軍橋》を中心に	佐藤 康宏	
追悼 小西保文さん 小西保文さんを偲ぶ	山本 貞	新美術新聞	1170	清親の東京、巴水の東京	飯野 正仁	
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション コノキ・ミクオ 此木三紅大 “新世紀のルネサンス”のマルチな造物主	ワシオトシヒコ	美術の窓	300	江戸博蔵めぐり 神田八雲神社 小林清親・画	林 智子 読 売	2.1
視点 瀋陽での私のオリンピック参加	此木三紅大	11	303	墨のある風景 小林古径	趣味の水 墨画	
はてな?おもしろ浮世絵259 小早川清の「モダンガール」(新版画)	中右 瑛	目の眼	376	《芥子園》	植田彩芳子	231
特集 海外サクセス バイブル 我ら、「海外移住組」。小林章	猪飼 尚司	デザインの現場	161	《牛》	高橋美奈子	237
				写実の系譜 III 日本美を求めて	鈴木 勝雄 太陽(別冊)	154
				小林古径		
				ロンドンで出会った中国古典技法、模写にて学ぶ		
				海人 小林伸一郎著	日 経	9.28
				美術学部教員展図録 油画	小林 英樹 愛知県立芸術大学紀要	37

[特集]二〇〇七年の
アーティスト・トー
ーク 所蔵作品展の
アーティスト・トー
ークから

小林 正人 現代の眼 568

特集 海外サクセス
バイブル ドキュメ
ント 小林幹也、サ
テリテへ行く。

猪飼 尚司 デザイン
の現場 161

特集 デザインの頼
み方 頼まれ方 デ
ザイナー×クライア
ント 幸せの法則
小林幹也&中野豪雄
×SFIDA

" " "

特集 Part. 1 絵を
発表しよう!! sec
tion 1 公募団体展で
発表する 人気作家
が語る!!「公募展と
わたし」

小林 裕児 美術の窓 300

REVIEWS 03 森山
大道の世界

小原 真史 美術手帖 911

巻頭特集 いま、立
体作家が面白い!
立体作品に注目、楽
しいコレクション
グラフィック 古伏
脇司

アート・
トッ プ 219

技と美 2 漆造形作
家/古伏脇司

楠元 恭治 美術の窓 293

2008年日本建築学会
作品選奨 東洋ロキ
グローバル本社ビル
[小堀哲夫]

建築雑誌 1579

視点 〈イメージと
言葉の共振〉という
視点からの駒井哲郎
銅版画展を開催して

馬場 駿吉 美術の窓 300

駒形克己が演出した
“体験する展覧会”
「ブルーノ・ムナー
リ展 あの手この手」

高橋 美礼 デザイン
の現場 157

Artist Interview
Sprout 小松孝英

産土 音羽 art_icle 12

[特集2]小松誠—デ
ザイン+ユーモア—

現代の眼 572

世界変容の器—批
評的な、あまりに
批評的な、小松誠
の仕事の現代性について

新見 隆

精緻な手が生みだ
す機能を越えた機
能

山田 節子

フェイス21世紀109
小松ゆか 過去、現
在そして未来へ

油井 一人 新美術新
聞 1145

オーサー・ビジット
本音で井戸端会議
五味太郎さん @新
温泉町立温泉小(兵
庫)

安里麻理子 朝 日 2.16

Osamu's Invitation
10 雪岱ふく夏物
語[小村雪岱]

原田 治 芸術新潮 703

南画と個性派 小室
翠雲

鶴見 香織 太陽(別冊) 154

近代の京焼にみる中
国陶磁撰取の諸相
(二)[小森忍]

岡本 隆志 三の丸尚
蔵館年報
・紀要 13

その手のぬくもりを
岩手・宮城地震の被
災地から 窯崩れて
も夢は熱い陶芸家
「栗駒の土で幻の茶
碗再現」[小柳陶峯]

杉山 順平 毎 日 7.2

新聞付録「日本画報」
を復刻 陸羯南の
「日本」が日露戦争中
から発行した全42号
[小山正太郎]

高木 宏治 日 経 5.28

特集 写真集の現在
2008 PHOTOBOOKS
NOW PHOTO & IN
TERVIEW 写真家
秘蔵のアーザ写真

小山 泰介 STUDIO
VOICE 394

再生 日英陶芸の名
工房 小山富士夫
バーナード・リーチ
作家教育や交流再開
の拠点 現代アートの
展示場に活用

秋山 亮太 朝 日 9.6

特集 OLYMPIC・
CITY V 再考:オ
リンピックと都市
小さな都市マカオの
大きな賭け—カジノ
に託された都市再生
への野望

是永 美樹 建築雑誌 1578

芸術は年月を越えて
〜「信子像」発見[今
純三]

對馬恵美子 青森県立
郷土館だ
より 143

写眼 未来を写し、
空想に誘う 今義典
「トンネルのある風
景」平成18年

堀 晃和 産 経 2.18

中山ダイス
ケ 近藤一
坂東弥
屋代敏
岩井博
谷天志
西澤浩
二高男

New face at TUAD
2007

東北芸術
工科大学
紀要 15

SPECIAL FEATURE

名作はいかにして生まれるのか? スタジオジブリのレイアウト術 スタジオジブリ最新作『崖の上のポニョ』Interview 作画監督に聞く『崖の上のポニョ』の見所1 近藤勝也

山内 宏泰 美術手帖 912

写眼 「何も無い」からこそ 近藤伍彦「無題」《Ultima Thule (2006年)より》

海老沢 類 産 経 8.18

再発見された近藤浩一路作品

平林 彰 山梨県立美術館研究紀要 22

風刺漫画の父 近藤日出造の世界展 抜群の描写力 鋭い批評眼

峯島 正行 読売夕刊 2.12

コイズミ照明「あかり・人・環境・空間」—照明の今と明日の環境 空間デザインとあかり1 空間デザインと照明デザイン

近藤 康夫 デザインの現場 159

(サ)

日本美術のスズメ 知られざる日本美術 西郷孤月 復活の狼煙

澁田見 彰 美術の窓 302

茶室の工芸学—現代工芸家の茶器 齋藤明「蠟型龍銀花器」

三上 美和 淡 交 766

齋藤佳三の大正12年ドイツ留学—日記、手帳類から—

敷田 弘子 東京芸術大学美術館年報 H17・18年度

齋藤佳三のドイツにおける「図案および装飾美術調査」—芸大美術館蔵齋藤佳三関連資料より1923年の手帳・日記・手稿から—

島津 京 " "

第30回記念十果会

齋藤 研 新美術新聞 1156

十果会第30回記念座談会〔齋藤研〕

宝木 範義 " "

フェイス21世紀117 齋藤将 クジラがもたらすリアルな空想

袴田 智彦 " 1167

作家通信 表現、そして秋

齋藤 隆 趣味の水墨画 234

日々好日 墨聲紙韻

" 新美術新聞 1157

彼岸の狙撃者ゴルゴ13の魅力[さいとう・たかを]

石川 翠 東京夕刊 6.17

特集Part. 1 絵を发表しよう!! section 1 公募団体展で发表する 人気作家が語る!!「公募展とわたし」

斎藤 寅彦 美術の窓 300

第18回タカシマヤ美術賞決定 団体助成に長崎県美術館 家出隆浩氏 工芸 川島清氏 彫刻 斎藤典彦氏 日本画

新美術新聞 1143

学会発 “アーキニ アリング”が建築を社会へ開かせる 建築学会が新しく生み出す建築の展覧会

斎藤 公男 建築雑誌 1575
大西 正紀 聞き手

建築年報2008 I 会長インタビュー 建築は面白い

斎藤 公男 五十嵐太郎、倉方俊輔、聞き手、平塚桂文 " 1580

中特集 齋藤芽生 名も無き者への鎮魂花 Requiem

アート・トップ 221

中特集 齋藤芽生 名も無き者への鎮魂花 Turning Point [File10] 齋藤芽生×1997年×「地霊に宿られた花輪」シリーズ

編集部 " "

特集01 アートの理由 アンケート 若手作家に聞きました〔齋藤芽生〕

" 224

フェイス21世紀111 齋藤ゆりあ 自然の声に寄せる思い

油井 一八 新美術新聞 1151

表紙の絵〔齋藤義重〕

(渋谷) ガス燈 76

例会発表要旨 第106 回例会: フランス近代絵画の受容 齋藤与里のフランス近代絵画受容における「日本画」—批評と制作

宇野 仁美 日仏美術学会会報 27

別冊「版画芸術」の作家 サイトウ良

秋田 真波 版画芸術 141

愛したい 今週の回答者柴門ふみさん 結婚7年けんかばかり。夫に「バカか」と言われ、今回は折れたくないが...

柴門 ふみ 毎日々刊 3.17

反抗と前衛 佐伯祐三

大谷 省吾 太陽(別冊) 154

早世の天才画家“里 帰” 佐伯祐三の 未公開作 故郷で初 展示	産 経	9.1	
美の美 名画にみる 夢2 ゴッホ[佐伯 祐三]	宝 玉 正彦	日 経	9.7
フェイス21世紀113 三枝淳 現代の花鳥 画を描く	油 井 一人	新美術新 聞	1156
作家訪問380 鍍金 家「いもの道具み ちくさ」三枝一将 さん 巽水幸さん	編 集 部	目 の 眼	382
ワークショップの報 告と個展の報告	酒 井 正	実践女子 大学美学 美術史学	22
特集 デザインの頼 み方 頼まれ方 デ ザイナー×クライア ント 幸せの法則 酒井俊彦×ムーアジ ャパン	高 橋 美礼	デザイン の現場	162
美術学部教員展図録 陶磁	栄 木 正敏	愛知県立 芸術大学 紀要	37
書道界も息をのむ 門外不出の傑作 「ああ、すごい」	榊 莫山	毎 日	4.2
「北京故宮 書の名 宝展」に寄せて	”	”	7.21
おちおち死んではい られない 榊莫山 さん 横に歩いて良寛 めざす	西 和久	毎日夕刊	5.9
写実の系譜Ⅱ 大正 の写実主義 日本画 ?洋画?そんな関 係ない! [榊原始更]	古 田 亮	太陽(別冊)	154
文化ぶんぶん人類学 「0円ハウス」アー ティスト「路上の家」 にハマる都市生活の 可能性追求[坂口恭 平]	関 口 威人	東京夕刊	1.24
特集 慈しまれる? モダニズム建築Ⅱ 事例[坂倉準三]		建築雑誌	1571
坂倉準三「旧飯箸 邸の再生」	萬代 恭博		
国際文化会館保存 再生の成果と課題	兼松絃一郎		
INFORMATION EXHIBITION 時代 を映すポートレート 時代の肖像を撮り続 けて20年、坂田栄一 郎の軌跡	編 集 部	美術手帖	909

2008年日本建築学会 作品選奨 egota house A[坂本一成]		建築雑誌	1579
中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[阪本ト クロウ]		アート・ ト ッ プ	219
特集01 アートの 理由 アンケート 若手作家に聞きまし た[阪本トクロウ]		”	224
作品「NO-W-AR」	坂 本 憲信	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	13
他人の空似一坂本繁 二郎「夏野」と北斎 「駿州 江尻」	金 子 一夫	一 寸	34
写実の系譜Ⅲ 日本 美を求めて 坂本繁 二郎	鈴 木 勝雄	太陽(別冊)	154
主な新収蔵(購入)資 料の紹介 坂本繁二 郎『馬』		馬事文化 財団年報	29
特集Part. 1 絵を 発表しよう!! sec- tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	さきやあき ら	美術の窓	300
建築みやげ・建築グ ッズ 建築みやげを 考えること	櫻 井 一弥	建築雑誌	1578
特集 アーキニアリ ング・デザイン展を 10倍楽しむ方法Ⅱ アーキニアリಂಗ・ デザインを巡るキー ワード 美しい	櫻 井 潔	”	1581
桜井秀写真集 「American West」	(前)	読 売	10.19
芸苑雑事記189 緑 の環—桜井浜江	瀧 梯三	美術の窓	300
第30回記念十果会	桜 井 寛	新美術新 聞	1156
十果会第30回記念座 談会[桜井寛]	宝 木 範義	”	”
青春プレイバック 桜井寛 東京都豊島 区池袋JR池袋駅西 口	武田実紀男	”	1161
日々好日 ホワイト デーのプレゼント	櫻 田 久美	”	1150
中国で設計する面白 さ 若手2人語る [迫慶一郎]	大 西 若人	朝日夕刊	1.9

建築「REALIZE 立脚中国展開世界」 展 若手が映す躍進 中国[迫慶一郎]	五十嵐太郎	毎日夕刊	2. 14	特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	佐々木良三	美術の窓	300
特集「世界」を救う ためにデザインがで きること。 デザイン にできることは何か Gマーク審査委員 へのアンケート	左合ひとみ	デザインの 現場	159	家族のこと話そう 娘の結婚相手も風来 坊でした ささめや ゆきさん	鈴木久美子 聞き手	東京	1. 12
“極上のおもてなし” というデザイン 旅 邸諸暢楼×左合ひと み	杉瀬 由希	”	160	美術学部教員展図録 彫刻	佐藤 勲	愛知県立 芸術大学 紀要	37
AT Times Opinion ベルクとアート	井野 朋也、 迫川 尚子、 小川てつオ、 武 盾一郎 対談	アート・ ト ッ プ	224	美術家の健康と安全 (3)	佐藤 一郎	連盟ニ ュース	425
一九七五年「東京展」 ドキュメント 笹岡 勇インタビュー 東京 展事務局・笹岡勇 「東京展」総括(1)	笹岡 勇	LR Returns	15	特集 デザイナーが 会いたかった人たち 佐藤オオキが喜多俊 之を訪ねる	上條 桂子	A X I S	134
一九七五年「東京展」 ドキュメント 笹岡 勇インタビュー(2) 元東京展事務局・笹 岡勇「東京展」総括、 そして反省	”	”	16	本づくし「安易に 発してはならない言 葉の深さ」『「かわい い」論』四方田大彦著	佐藤オオキ	”	135
2008年子年新春企画 年男男女	佐々木信平	新美術新 聞	1140	ヒト「佐藤オオキ 氏」一寄り道から発 想する自由なデザイ ン	杉浦 久子 聞き手 平塚 桂 構成	建築雑誌	1581
日々好日 葛と私	”	”	1151	コイズミ照明「あか り・人・環境・空間」 一照明の今と明日の 環境 空間デザイン とあかり2 光と影 と、空間のうつろい	佐藤オオキ	デザインの 現場	159
[研究論文] デジタ ル・イメージ考 on the digital image	佐々木成明	多摩美術 大学研究 紀要	22	特集 海外サクセス バイブル 海外メー カーとの付き合い方 「楽観的であること。 固くならず柔軟な 対応を」 nendo 佐 藤オオキ	高橋 美礼	”	161
第55回日本伝統工芸 展 競い合う美と技 漆芸 東京都知事賞 鉤醬草華文箱 佐々 木正博	小松 大秀	朝日夕刊	9. 22	工芸専攻 ガラス領 域 作品「呼吸」その 制作意図について	佐藤 花織	多摩美術 大学大学院 修了論文 作品集	2008
今よみがえる「全共 闘」佐々木美智子 さん写真展	松垣 透	産 経	11. 15	特集 デザインリニ ューアルで勝負! 23の成功実例を徹底 解剖 佐藤可士和 素材のうまみを引き だす料理人のように	大城 譲司	デザインの 現場	157
佐々木豊のホンネで ファイト	”	アート・ ト ッ プ	”	特集「世界」を救う ためにデザインがで きること。 デザイ ンは世界を救えるか !? ケーススタディ 16 子供15 NTTド コモ キッズケータ イ F801i[佐藤可士 和]	大輪 俊江	”	159
第15回 一本の線 に集積する情動の 反芻	佐々木 豊、 町田 久美 対談	”	219				
第16回 古さこそ が本当は新しい	佐々木 豊、 中山 忠彦 対談	”	220				
最終回 量とスピ ードこそ“天才”た るゆえん	佐々木 豊、 絹谷 幸二 対談	”	221				
「我思故脳在」—Hyper brain communication	佐々木里加	多摩美術 大学研究 紀要	22				

SPECIAL FEATURE
デミアン・ハースト
と英国美術の現代史
佐藤可士和流 BRIT
ART の楽しみ方

藤田 千彩、
編集部 美術手帖 909

tokyo PICASSO 巨
匠ピカソ 愛と創造
の軌跡 巨匠ピカソ
魂のポートレート
佐藤可士和さんで見
る いつも勇気くれ
る

山内 健 朝 日 11.16

「バウハウス・デッ
サウ展」観覧記 哲
学はバウハウスから
始まる

佐藤可士和 産 経 7.9

第75回毎日広告デザ
イン賞 選評 第1
部(広告主課題の部)
最高賞・サントリー
の課題「BOSS」

〃 毎 日 3.10

新作版画集・新刊書
籍 刻線のハーモ
ニーと余韻 佐藤杏子
銅版画集『心音』2008

友澤 宏子 版画芸術 141

制作ノート 佐藤淳
一

佐藤 淳一 武蔵野美
術大学研
究紀要 38

佐藤信太郎写真集
「非常階段東京」

(前) 読 売 7.20

特集 アーキニアリ
ング・デザイン展を
10倍楽しむ方法 II
アーキニアリ
ング・
デザインを巡るキ
ーワード 優しい

佐藤 慎也 建築雑誌 1581

特集 Part. 1 絵を
発表しよう!! sec
tion 1 公募団体展で
発表する 人気作家
が語る!!「公募展と
わたし」

佐藤 泰生 美術の窓 300

「月山湖サマーフェ
スタ」における流木
アート

松田 重仁 多摩美術
大学研究
紀要 22

2008年日本建築学会
作品選奨 北海道薬
科大学臨床講義棟 C
[佐藤孝]

建築雑誌 1579

特集 海外サクセス
バイブル ドキュメ
ント はじめてのサ
テリテ。 佐藤崇

高橋 美礼 デザイン
の現場 161

先輩に聞け! デザ
イナーが若いうちに
しておくべきこと24
佐藤卓

石田 純子 〃 158

特集 デザインの頼
み方 頼まれ方 美
術出版社の新しい
VI デザイン 佐藤
卓

杉瀬 由希 〃 162

「抑制」の彫刻70年の
歩み 佐藤忠良さん
が作品集刊行

岸 桂子 毎日夕刊 5.7

美術学部教員展図録
デザイン

佐藤 直木 愛知県立
芸術大学
紀要 37

視線 路地の記憶
阿久悠・詞、佐藤秀
明・写真とエッセイ

村山 由佳 朝 日 3.16

わたしの宝もの33
佐藤芽実 エッセン
シャルオイル

佐藤 芽実 新美術新
聞 1142

写真集 日常の風景
に温かな視線[佐藤
玲]

黒沢 綾子 産 経 4.28

特集 古典キャラク
ターの可能性 「古
代ロマン」の名のも
とに描かれた藤原不
比等像 漫画・小説
から[里中満智子]

佐藤 敬子 アジア遊
学 108

人生の贈りもの 漫
画家里中満智子1~
5

友沢 和子 朝日夕刊 4.14~18

女神の誘惑 ウルビ
ーノのヴィーナス
男心刺激する高嶺の
花

里中満智子 読 売 1.1

特集 写真集の現在
2008 PHOTOBOOKS
NOW PHOTO & IN
TERVIEW 〈対照〉
対談:佐内正史×伊
賀大介

編集部
インタビュー
・文 STUDIO
VOICE 394

視線 DUST 佐内
正史著

新井 敏記 朝 日 6.1

特集 「世界」を救う
ためにデザインがで
きること。デザイ
ンは世界を救えるか
!? ケーススタディ
16 災害04 Prefab
Coat[眞田岳彦]

川上典李子 デザイン
の現場 159

アートで生きる/ア
ートとかかわる11
眞田岳彦×杉田敦

土谷真喜子 美術手帖 908

作品 風景—認識の
構造 '84

佐野 賢 京都市立
芸術大学
美術学部
研究紀要 52

特集 デザインの頼
み方 頼まれ方 佐
野研二郎 MR_DE
SIGN の定義

猪飼 尚司 デザイン
の現場 162

巻頭特集 新・女性
の時代'08 インタ
ビュー 佐野ぬい
「杉並キャンパスを
拠点として、新しい
ことに挑戦していき
たい」

美術の窓 292

第55回日本伝統工芸展 競い合う美と技
諸工芸 NHK会長賞
宙吹き硝子器「白襲
ね」 佐野曜子

横溝 廣子 朝日夕刊 9.22

すむ 配水塔の役割 佐野 吉彦 芸術新潮 708

仕事中おじゃましま
す 薩摩焼の陶工
鮫島寿郎さん 急が
ず作る「暮らしの器」

永持 裕紀 朝日夕刊 8.11

Meet the artists 01
さわひらきインタビ
ュー

伊東 豊子 ART iT 18

表現の視座 心の街 澤井 弘之 主体美術 84

巻頭特集 いま、立
体作家が面白い！
立体作品に注目、楽
しいコレクション
グラフィック 澤田
志功

アート・
ト ッ プ 219

日本の新進作家展
vol. 7 オン・ユア
・ボディ 3 澤田知
子「TIARA」

笠原美智子 東 京 10.30

特集 Gravure Magic
！ グラビア写真の
魔力！！ Interview &
Column 対談：沢渡
朔×藤原江理奈：写
真表現のための“グ
ラビア”とは？

畑中 章宏 STUDIO
構成・文 VOICE 389

フロント4 グラビ
ア写真家4 一対一
ひそやかな関係 沢
渡朔さん

前田 恭二 読 売 2.1

追悼 沢村美佐子さ
ん もう一度でいい
から会いたい

福島 瑞穂 新美術新
聞 1170

特集 アーキニアリ
ング・デザイン展を
10倍楽しむ方法 I
新しい世代の潮流
産業遺産と離島プロ
ジェクト

三分一博志 建築雑誌 1581

(シ)

SPECIAL FEATURE
京都アート探訪 ギ
ャラリスト・松尾恵
さんが案内する 京
都でつくり、暮らす
人々 02アーティスト
・椎原保さん

沢田眉香子
取材・文 美術手帖 908

巻頭特集 ドローイ
ング・デッサンの技
を磨く ④技法講座
VOL.10 国展作家
が語る わたしにと
ってのデッサン・ド
ローイングとは？

塩川 高敏 美術の窓 298

特集 Part. 2 美術
の窓 300号の歩み&
ベストセレクション
現代作家のベストセ
レクション 塩崎敬
子 命を表現する

高山 淳 " 300

日本の新進作家展
vol. 7 オン・ユア
・ボディ 2 塩崎由
美子「Una 2003」

笠原美智子 東 京 10.29

作家通信 テレビ番
組を引き受けて

塩澤 玉聖 趣味の水
墨画 235

PERSON 塩田千春
さん、第58回芸術選
奨文部科学大臣新人
賞を受賞

編集部 アート・
ト ッ プ 221

特集02 塩田千春
記憶から解放される
もの

" 222

特集02 塩田千春
記憶から解放される
もの Turning Point
[File11] 塩田千春
×2006年×「Einsame
Zelle」

編集部 " "

特集01 アートの
理由 インタビュー
&エッセー 塩田千
春 アートは傷を癒
すことができるので
すか？

" 224

《台風の構造につい
て—塩田千春の仕事》

中原 佑介 国立国際
美術館ニ
ュース 166

「準備期間としての
三年間」

塩田 千春 " "

塩田千春「精神の呼
吸」

加須屋明子 " "

ワークショップ「て
のひらのくつ」ドキ
ュメント[塩田千春]

藤吉 祐子 " 168

ARTIST INTERVIEW
塩田千春

大谷 省吾 美術手帖 912
聞き手

美術家・塩田千春の
里帰り個展 2000の
古靴で人間の存在問
う

関 優子 日経夕刊 7.27

フェイス21世紀115
塩谷亮 次なる10年
間を目指して、イタ
リアへ

袴田 智彦 新美術新
聞 1161

池田 剛介、
大庭 大介、
奥村 雄樹、
塩村 れじ、
田中 功起、
幡 浩一、
名 晃平
和談 大輔
司会 構成

SPECIAL FEATURE
日本のアーティスト
・序論 座談会 ゼ
ロ年代のリアル

美術手帖 909

第19回五島記念文化賞 美術新人賞に鬼頭健吾氏 塩保朋子氏	新美術新聞	1150	中特集 諏訪敦 リアリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問1答×30人[篠田教夫]	アート・トップ	219
現代美術の歩き方 今月一品 塩保朋子 Cutting Insights	(細川) 美術の窓	302	特集01 超絶技巧絵画編 インタビュー 超絶技巧の秘密に迫る 篠田教夫	篠田 教夫	223
TITRA 志賀理江子写真集『CANARY(カナリア)』	五十嵐太郎 ART iT	18	巻頭特集 エロティシズム 女性アーティスト5人の感性 インタビュー 篠原愛	"	220
第33回木村伊兵衛写真賞 岡田敦・志賀理江子両氏に決定	新美術新聞	1148	特集01 超絶技巧絵画編 超絶“志向”の若手画家たち 篠原愛	篠原 愛	223
Lilly CANARY (カナリア) 志賀理江子	中島 水緒 美術手帖	904	特集01 アートの理由 アンケート 若手作家に聞きました[篠原愛]	"	224
SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト・序論 アーティストという生き方2 志賀理江子	志賀理江子 竹内万里子	" 909	テークオフ 画家 篠原愛さん グロテスクな光景細密に描く	大西 若人 朝日夕刊	8.30
木村伊兵衛写真賞 見つけた「生と死」 志賀理江子さん 予測不能な光景作る	朝 日	3.11	海外に学び日本に学ぶ 四角いペンタゴン もうひとつのアメリカ SOM	篠原 寛之 建築雑誌	1580
こころの闇とらえた2人 木村伊兵衛写真賞「アサヒカメラ」に選考評[志賀理江子]	"	3.18	コミックガイド 百舌谷さん逆上する1 篠房六郎作	南 信長 朝 日	7.13
日本の新進作家展 vol.7 オン・ユア・ボディ6 志賀理江子「千愛子」	笠原美智子 東 京	11.5	特集 Gravure Magic! グラビア写真の魔力!! Interview & Column	STUDIO VOICE	389
2008年子年新春企画 年男年女	鹿見 喜陌 新美術新聞	1140	篠山紀信インタビュー：グラビアの変化と普遍	編集部 インタビュー・文	
インスピレーショングラフィック 重松淳也―“気づき”を喚起するイメージの試み	深沢 慶太 A X I S	135	「拝啓グラビア写真」写真と情欲／偉大なる女術、篠山紀信	後藤 繁雄	
彩・美・風	重森 千青 朝日夕刊	12.3、10、17、24	追憶の風景 東京写真家 篠山紀信 何でもやっちゃえパワー	四ノ原恒憲 朝日夕刊	4.8
2008年日本建築学会作品選奨 京都市本能特別養護老人ホーム・京都市立堀川高等学校本校能学舎[設楽貞樹]	建築雑誌	1579	私と歌舞伎 写真家 篠山紀信さん 歌麿写楽 どちらで撮るか	多葉田 聡 読 売	3.26
EXTRA COLUMN 『エレガンス中毒ぎりぎりの女たち』出版記念トーク	野宮 真貴、篠崎 真紀、湯山 玲子 対談	STUDIO VOICE	作家通信 墨で描く白の世界―「芝龍郎 水墨画作品展」	芝 龍郎 趣味の水 墨画	232
SV CUT UP FILMS マイケル・バトリック・キング『SEX AND THE CITY』	篠崎 真紀	" 393	美術学部教員展図録 デザイン	柴崎 幸次 愛知県立芸術大学 紀要	37

中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[柴田亜 美]	アート・ トッ プ	219			追悼 島岡達三氏 知性に裏付けられた 民芸派作家	外館 和子	新美術新 聞	1143
リレー・エッセイ [柴田建治]	"				弔辞[島岡達三]	中澤三知彦	陶 説	662
海の絵と巨大なサ メと恐ろしい美女	藤原 大典	"			惜別 益子焼の人間 国宝 島岡達三さん	井手さゆり	朝日夕刊	1.18
優れた芸術作品が 感じさせる戸惑い	柴田 建治	220			悼む 島岡達三さん 益子焼の人間国宝	戸上 文恵	毎 日	1.16
ランドスケープー柴 田敏雄展 都写真美 術館、13日から	前田 恭二 文 敏雄 柴田 敏雄 談	読 売	12.12		特集 Part. 2 美術 の窓 300号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 嶋田明 子 よろこびの歌	高山 淳	美術の窓	300
特集 「世界」を救う ためにデザインがで きること。デザイ ンにできることは何 か Gマーク審査委 員へのアンケート	柴田 文江	デザイン の現場	159		特集 Part. 2 美術 の窓 300号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 島田鮎 子 音楽のように	"	"	"
先輩に開け! デザ イナーが若いうちに しておくべきこと28 柴田文江	石田 純子	"	162		第15回井上靖文化賞 受賞 洋画家/女子 美術大学名誉博士 嶋田しづ氏 インタ ビュー	嶋田 談	しづ 女子美	160
Go! Artists Go! 35 柴田祐輔	編 集 部	美術手帖	916		中特集 巨匠展—今 そして未来2008— 巨匠展出品作家 島 田章三	島田 章三	美術の窓	296
視点 澁澤卿個展訪 中レポート	千足 伸行	美術の窓	292		巻頭特集 ドローイ ング・デッサンの技 を磨く ⑧技法講座 VOL.10 画家にと つてのデッサン 島 田章三のデッサンの 世界	島田 談	章三	"
作品 「累I」「累II」	渋谷 重弘	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	13		特集 Part. 2 美術 の窓 300号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 島田章 三 詩的造形言語	高山 淳	"	300
SV ART PHOTO GAL- LERY 澁谷征司 「BIRTH」	編 集 部	STUDIO VOICE	386		写眼 生物の躍動を 切り取る 嶋田忠 「カワセミ」	酒井 潤	産 経	4.28
特集 海外サクセス バイブル ドキュメ ント はじめてのサ テリテ。 渋谷哲男	高橋 美礼	デザインの 現場	161		きく イサオ・サト ウの歌	島田虎之介	芸術新潮	707
1930年代初頭の二科 展における島あふひ のモダニズム メカ ニズム、グロテスク、 新即物主義	吉崎 真弓	芸術学研 究(筑波)	12		特集 マンガ批評の 新展開 注目作家 インタビュー! 世界 の断片をつなぐマン ガの力	島田虎之介 伊藤 剛 聞き手	ユリイカ	552
別冊「版画芸術」の作 家 島州一	秋田 真波	版画芸術	140		第12回 手塚治虫文 化賞 新生賞「トロ イメライ」島田虎 之介さん	村上 知彦	朝 日	5.10
あの人の食器棚【連 載】第9回 憧れの 棚 島るり子さんの まあるい器	伊藤まさこ	芸術新潮	697		特殊印刷加工トラ イアル 第6回 島田 陽介、アルミ蒸着加 工+ニスに挑戦!	編 集 部	デザインの 現場	159
特集 太宰治/坂口 安吾—無頼派たちの “戦後” 60年後の太 宰治 読者失格	島尾 伸三	ユリイカ	555					
写真 長倉洋海『人 間交路』 島尾伸三 『中華幻紀』	飯沢耕太郎	毎日夕刊	10.28					

SPECIAL FEATURE

あらうんど THE 会田誠 会田さんに会って思ったこと	島袋 道浩	美術手帖	907	
旅する美術家 島袋道浩 異なるもの結ぶ視点	郷原 信之	日 経	12.28	
コミックガイド アオイホノオ 島本和彦作	南 信長	朝 日	2.24	
作品「2008—在ること—」「2008—在ること—」	島屋 純晴	秋田公立美術工芸短期大学紀要	13	
人、瞬間 画家ジミー大西さん 上、中、下	黒沢 綾子	産 経	8.26~28	
ジミー大西 夢のかげら展 直球勝負の色彩美	ジミー大西	読売夕刊	9.2	
巻頭特集 いま、立体作家が面白い! 立体作品に注目、楽しいコレクション 木彫ルネッサンスがはじまった 木から生まれる百花繚乱 [清水淳]		アート・トップ	219	
コレクションを語る (1) 清水卯一	桑山 俊道	滋賀県立近代美術館研究紀要	7	
美術館への招待 八ヶ岳美術館 大自然との語らい「すこやか」 清水多嘉示	栗原 淳	東京夕刊	4.10	
2008年子年新春企画 年男年女	清水 達三	新美術新聞	1140	
2007年度日本芸術院賞決定 第1部美術は5氏。恩賜賞に日本画家の清水達三氏		"	1149	
画彫会の発足と画彫会展—清水登之ニューヨーク日記によって(上)(下)	山口 泰二	美術運動史研究会ニュース	91、92	
画家たちの美術史69 紫牟田和俊	中井 康之	美術手帖	915	
コミックガイド ルート225 藤野千夜 原作、志村貴子漫画	南 信長	朝 日	5.4	
[作品研究]志村ふくみの作品における「量し」技法について	北村 仁美	現代の眼	568	
ニッポン人・脈・記 千年の源氏物語8 読み手の人生織り込んで[志村ふくみ]	白石 明彦	朝日夕刊	5.1	
彫刻家の現場から39 下川昭宣	武田 厚	美術の窓	298	

下村観山・横山大観《日・月蓬萊山図》—主題と朦朧体との関わりについて	森 充代	アマリス	91	
装飾表現の試み	中村 麗子	太陽(別冊)	154	
下村観山				
イギリス留学と西洋美術の学習				
描かれた天心—下村観山筆『天心先生画稿』—	川島 一穂	鵬	4	
美の美 名画にみる夢4 レオナルド [下村観山]	宝玉 正彦	日 経	9.21	
古陶随伴録64 奈良生駒の焼物 朱北樵の朱玄窯	三好 一	目の眼	385	
感性のバケモノになりたい 十文字美信著		日 経	3.16	
日々好日 デッサンに思う	城 康夫	新美術新聞	1164	
巻頭特集 ドローイング・デッサンの技を磨く ⑧技法講座 VOL.10 国展作家が語る わたしにとってのデッサン・ドローイングとは?	"	美術の窓	298	
特集 Part. 2 美術の窓 300号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 城ヶ崎悟 自然との交感	磯部 靖	"	300	
歩きたい 赤瀬川原平の散歩の言い訳 対談・東海林さだおさん 上、下	坂巻 士朗	毎日夕刊	8.13、20	
作家通信 真の墨美を求めて	祥 洲	趣味の水墨画	235	
茶室の工芸学—現代工芸家の茶器 生野祥雲齋「紫竹まがき華籃」	北村 仁美	淡 交	765	
特集 OLYMPIC・CITY III 北京2008 北京現代建築・都市ガイド	白井 宏昌	建築雑誌	1578	
枝川公一の東京ストーリー インドが導いた写真道 OLから転身 初の写真集発刊へ[白石ちえこ]	枝川 公一	読 売	5.22	
オークションの逸品 白髪一雄「濁沙」		ギャラリー	273	

INFORMATION MEMORIAL 追悼・ 白髪一雄 「具体」メ ンバーでアクション ・ペインター 白髪 一雄氏が逝去	平井 章一	美術手帖	908	第3回 「あなたの プロポーザル」 選考結果発表! (その1)			20
画家・白髪一雄さん を悼む 命の輝き 「一生懸命」描く	熊田 司	朝日夕刊	4.16	第4回 「あなたの プロポーザル」 選考結果発表! (その2)			21
惜別 足で描く抽象 画家 白髪一雄さん	大西 若人	"	5.23	VOICE OF VOICE ジャパニーズギャグ マンガ!	"	STUDIO VOICE	394
美の履歴書 075 な ぜ、足で描くことに 「天慧星拵命三郎(水 滸伝豪傑の内)」 白髪一雄	"	"	9.10	欲望の果て 行き止 まり 「人並み」とい う基準見失った現代 漫画家しりあがり寿 さん	白木 聞き手	緑	日経夕刊 9.10
文化往来 アクシ ョンを一貫して追求し た白髪一雄		日 経	4.12	山形美術館蔵新海竹 太郎作「聖観音像」の 制作背景について	長坂 一郎	東北芸術 工科大学 紀要	15
追想録 白髪一雄さん (画家) 力強い生き 様 戦後美術彩る	宝玉 正彦	日経夕刊	5.2	TOKYO あにめのま ーち27、28[新海誠]	加納 昭彦 竹井 陽平	読 売	4.16、22
悼む 白髪一雄さん 足で描いた前衛画	田原由紀雄	毎 日	5.28	ヒト 「辛酸なめ子 氏」―建築は「おしや れ」ですか?	五十嵐太郎、 杉浦 久子 聞き手	建築雑誌	1582
足で描いた前衛 白 髪一雄さんを悼む	元永 定正	毎日夕刊	4.15	特集 本は消えない ! インターネット 以降の本当に面白い 雑誌/本の作り方 new printed matter いま、わたしが読み たいスタジオ・ボイ ス 辛酸なめ子	辛酸なめ子	STUDIO VOICE	391
追悼抄 白髪一雄さん 無我の素足で描 いた命	木村 未来	読売夕刊	5.27	VOICE OF VOICE 追悼・赤塚不二夫 気高きギャグスピリ ッツ	"	"	394
連載 美術と公共― 公共圏をめぐる― (13)(14)	白川 昌生	LR Returns	15、16	特集 オカルト、ホ ラー&ミステリー! Occult Reality COL- UMN01 心にしみる、 スピリチュアル・グ ッズ	"	"	396
《書評》1「リセッ ト」論 vs. 「日本のOS」論 のゆくえは? 彦坂尚 嘉『彦坂尚嘉のエク リチュール―日本現 代美術家の思考』	"	あ い だ	151	REVIEWS EX アー トの祭りが帰ってき た! 1年半ぶりの 開催。「GEISAI MU- SEUM #2」を辛酸 なめ子さんとめぐる	編 集 部	美術手帖	909
〈ローズ・プリンセ ス・プロジェクト〉 のこと	"	水声通信	26	辛酸なめ子のスピリ チュアル紀行 十和 田市現代美術館 and 青森DEEP 観光	辛酸なめ子	"	911
写真集 100年後に 残る仕事を「世界 名百瀑」完結 白川 義員さん	梶山 龍介	産 経	3.31	彩・美・風	"	朝日夕刊	7.2、9、 16、23、 30
美術学部教員展図録 デザイン	白木 彰	愛知県立 芸術大学 紀要	37	第1回 『係の人』			18
特集01 アートの 理由 アンケート 若手作家に聞きました [白濱雅也]		アート・ ト ッ プ	224	第2回 『現代“温 泉”美術館』			19
しりあがり寿の勝手 にプロポーザル	しりあがり 寿	ART iT					

特集 建築学会作品
賞を問う 京都迎賓
館をめぐる「和」の評
価 II 京都ルポ
現代の「和」とどう格
闘するか 地元建築
家が見た京都迎賓館
と日本の伝統

山本良介、
若林広幸、
岸和郎、
中村安奈、
神野太陽、
守山久子
建築雑誌 1570

特集 小さなまちの
建築的実験 III ケ
ーススタディ：まち
の温度を上げる現在
形—下田「まちの
現場」が変えたもの

新堀 学 1582

写眼 上向きの視線
その先に 新村卓之
「メロディー」〈オブ
チミズム〉より
(2008年)

堀 晃和 産 経 4.21

(ス)

美術学部教員展図録
デザイン

水津 功 愛知県立
芸術大学
紀要 37

視覚障害乗り越え作
品に自分らしさ 京
都在住の画家・末富
綾子さん

丹治早智子 東 京 5.14

ひとひと人物語 指
先にひも 美が浮か
ぶ 光失いつつ「こ
れなら描ける」[末富
綾子]

岩永 直子 読 売 10.19

画家たちの美術史62
菅木志雄

中井 康之 美術手帖 906

SPECIAL FEATURE
日本のアーティスト
・序論 アーティスト
によるアーティスト
論 菅木志雄 先
端の周辺

菅 木志雄 11 909

INFORMATION
SPACE 板室温泉・
大黒屋のアートプロ
ジェクト「禅」に通
じる菅木志雄のコレ
クション

編 集 部 11 912

ファイニンガー展
光の結晶2 木製玩
具 カタチに表れる
内面性

菅 木志雄 東京夕刊 8.26

究める 菅木志雄
ものに潜む宇宙を開
拓

白木 緑 日 経 2.24

特集 「大坂画壇」は
蘇るか?—「綺麗な
もん」から「面白い
もん」まで 大阪の評
価の再考—菅橋彦を
中心に

明尾 圭造 美術フォ
ーラム21 17

表紙解説(裏) 菅橋
彦《浪速堀江市之側
之図》

前田 明範 11 11

特集 若手作家の水
墨表現はここまで
できている 菅原健彦

野地耕一郎 趣味の水
墨画 230

城の記憶—須木一嵐
と「旧徳島城図」—

大橋 俊雄 徳島県立
博物館ニ
ュース 71

交遊抄 アジアの風

杉浦 康平 日 経 7.19

南の島で彫った、描
いた日本人[杉浦佐
助]

芸術新潮 702

美術家たちの「南洋
群島」展 中 杉浦
佐助「ヤマトノオロ
チ像」

滝沢 恭司 東 京 5.28

特集 拡張する「私
んち」?

建築雑誌 1575

I 解題 変容、
曖昧化する私有・
公共の境界

杉浦 久子

III 表出する私性
地域共生のいえ／
世田谷区における
事例から リプロ
ニワース／世田谷
の私んち ひらか
れる書斎(ネット
古本屋+哲学カフ
エ)

杉浦 久子
聞き手
角屋 ゆず、
中山 葵 文

III 表出する私性
サイト・リノベ
ーション 杉浦ゼミ
フィールドワーク
より

杉浦 久子

IV 拡張する私性
：理論編 ネット
社会における私性

鈴木 謙介
談 杉浦 久子、
五十嵐太郎
聞き手
のかたあき
こ 文

V 拡張する私性
：実践編 普通さ
の中にあるイリー
ガル

川俣 正 談
杉浦 久子
聞き手
真壁 六郎
文

V 拡張する私性
：実践編 公共空
間を私の部屋で占
有

西野 達 談
杉浦 久子
聞き手
真壁 六郎
文

V 拡張する私性
：実践編 プライ
ベートゾーンの隙
間

藤川 悠 談
杉浦 久子
聞き手
真壁 六郎
文

VI まとめ 新しい
公共性／私性の
萌芽

杉浦 久子

ヒト		建築雑誌		論考 怪を語りて夜もすがら 杉浦日向子と怪談愛好の系譜		東 雅夫	
「川上未映子氏」一言葉から構築される普遍性	杉浦 久子、五十嵐太郎	桂	1579	エッセイ 江戸の人	いしかわじゅん		
	聞き手 平塚 構成						
「佐藤オオキ氏」一寄り道から発想する自由なデザイン	杉浦 久子	桂	1581	エッセイ 日向子氏の距離	加門 七海		
	聞き手 杉浦 構成						
「辛酸なめ子氏」一建築は“おしゃれ”ですか?	五十嵐太郎、杉浦 久子	桂	1582	エッセイ ハカナイサガシ	佐藤 弓生		
	聞き手						
建築ロゴス再考 メメント・モリー-memento mori	杉浦 久子	"	1582	資料 杉浦日向子全著作解題	末國 善己		
資料紹介 杉浦非水の雑誌表紙—東京国立近代美術館所蔵の杉浦非水資料(2)	木田 拓也	東京国立近代美術館研究紀要	12	エッセイ 利発な女の子	南 伸坊		
特集 明治・大正・昭和のノスタルジー—モダン・デザインの先駆者杉浦非水の世界		版画芸術	140	論考 町娘の江戸 杉浦日向子の考証と通	高橋 明彦		
木版画『非水百花譜』	秋田 真波			論考 大江戸ワンダーランドとしての『百日紅』	永山 薫		
杉浦非水 日本のモダン・デザインの出発	海野 弘			論考 読めるのに書けず、描けるのに見られないものの世界	中田健太郎		
ポスター	前村 文博			翻訳される杉浦日向子 『二つ枕』仏訳について	関口 涼子バトリック・オノレ		
創作図案	伊藤 伸子			翻訳される杉浦日向子 フランスに江戸の夢を!	小山ブリジット		
表紙・装丁 雑誌の表紙	秋田 真波			座談会 酒とソバとお風呂とお江戸。あるいは、その妖精「ソ連」による杉浦日向子	北村 暁子栗原 正哉杉原 信行博久廣田 眞由美森山 悦子		
表紙・装丁 書籍の装丁	岩坪 文子			エッセイ きもの女性文化人としての杉浦日向子さん	澁谷 知美		
非水の装丁本の魅力—国文学関連書籍を中心に	及川 智早			論考 江戸発展史にみる杉浦日向子	榎本 秋		
デザイン	岩坪 文子			Toyo's Invitation 13 厚さ3センチのマーク・ボラン[鋤田正義]	中村とうよう	芸術新潮	706
総特集 杉浦日向子		ユリイカ	557	特集01 アートの理由 アンケート若手作家に聞きました[杉田陽平]		アート・トップ	224
回想 妹 順子	鈴木 雅也			青春の刻2 胸中を肥やして絵を描く・杉谷隆志		趣味の水墨画	230
回想 絵師 杉浦日向子の思い出	石川 英輔			作家通信 二十世紀は墨芸術の時代	杉谷 隆志	"	232
回想 夢の如く	中島 梓			April Song 杉戸洋	石井 芳征	美術手帖	903
回想 スズメが好きだった日向子さん	林 丈二						
回想 スタイリッシュ・キッズ	福田 由実						
対談 怪談都市、江戸。	杉浦日向子、新一						
	対談						
論考 ひな罫	平岡 正明						

愛知県美術館受贈の杉本健吉『新・平家物語』画稿について	長屋菜津子 湯田 文	愛知県美術館研究紀要	14	鈴木空如の法隆寺金堂壁画模写に関する文化財保護的立場からの調査	佐々木直子	鹿島美術財団年報・別冊	25
インドアジャントなど 壁画模写60年ぶり公開 日本人製作、京都で[杉本哲郎]		日経タリ	6. 20	Recommend Diary 鈴木元の「試行錯誤」Vol. 1 ~Vol. 5	鈴木 元	デザインの現場	158~162
芸術学専攻 写真の操作性について—杉本博司の写真表現から—	大澤紗容子	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2008	特集 海外サクセスバイブル 目指せ! 海外勤務 IDEO[鈴木元]	猪飼 尚司	〃	161
SPECIAL FEATURE マンガでわかる、人物史 琳派スーパーヒーロー列伝 杉本博司にズバリ聞く 琳派はアートか!?	山下 裕二 聞き手 編集部 構成	美術手帖	913	「鈴木五郎 志野繚乱」展に喝采	柴辻 政彦	陶 説	661
創造神話 杉本博司展に見た大型化 自身の神格化で付加価値	菅原 教夫	読 売	1. 10	写眼 時空を超えた神秘の遺跡 鈴木貞弘「マチュピチュにて」〈「中南米の旅」より〉(2002年)	堀 晃和	産 経	5. 19
視点	笹木 繁男	美術の窓		追悼 「幸子さんやすらかに」[鈴木幸子]	原澤 泰子	主体美術	83
藤田嗣治の渡米に協力した、ヘンリー・杉本とロスコレンコ			300	人間国宝・工芸技術の部に増村紀一郎氏ら4名[鈴木滋人]		新美術新聞	1160
藤田嗣治からヘンリー・杉本に宛てた一通の手紙、(II)			301、302	二〇〇六年度同志社大学大学院修士論文梗概 鈴木松年の歴史人物画の史的位置	高久 直子	美学芸術学	23
特集 小さなまちの建築的実験 III ケーススタディ: まちの温度を上げる現在形 一下田 下田のまちづくりにおける協働	杉山 智之	建築雑誌	1582	【追悼・赤塚不二夫さん】笑いの底に人間味	鈴木 伸一	産 経	8. 9
特集 デザインの頼み方 頼まれ方 デザイナー×クライアント 幸せの法則 杉山ユキ×東ハト	杉瀬 由希	デザインの現場	162	アジア育てるアニメの力 識字活動や環境問題、数多い言語の作品で啓発	〃	日 経	4. 29
特集 Part. 1 絵を发表しよう!! section 1 公募団体展で发表する 人気作家が語る!!「公募展とわたし」	杉山 吉伸	美術の窓	300	さらば赤塚不二夫さん ギャグぶっ放した人なのだ シャイな「遊び好き」、トキワ荘仲間巻き込む破天荒	〃	〃	8. 7
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 杉山吉伸 舒	高山 淳	〃	〃	赤塚不二夫さん死去 面白いこと大好き	〃	毎 日	8. 3
Recommend New Designer 鈴鹿哲生	鈴鹿 哲生	デザインの現場	160	TOKYO あにめのまーち22、31[鈴木伸一]	加納 昭彦 竹井 陽平	読 売	4. 8、25
あの人に迫る 命奪われた息子 無念の物語継ぐ 鈴木共子 造形作家	鈴木 共子 奥田 真樹 聞き手	東京タリ	5. 23	守るべき遺産を	鈴木 辰夫	美術運動	135
				技と美4 陶造形家/すずきたもつ	楠元 恭治	美術の窓	295
				特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 鈴木竹柏 こころの風景	高山 淳	〃	300
				特集 Part. 1 絵を发表しよう!! section 1 公募団体展で发表する 人気作家が語る!!「公募展とわたし」	鈴木 力	〃	〃

特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 鈴木力 深い図像	高山 淳	美術の窓	300	鈴木龍一郎写真集 ドルック 鈴木龍一 郎著	日 経	4.27
〈特集・座談会〉卒展 2008 内面世界を追 求したいけど…美大 を出た後はどうやっ て発表していく？ [鈴木光]		ギャラリー 一*	275	鈴木龍一郎写真集 「ドルック」	(前) 読 売	5.18
「情報と感性」—情緒 教育に写真を—	鈴木 英雄、 与謝野 馨、 永関 和雄 パネリスト 玉木 研二 司会	毎 日	3.16	2007年度日本芸術院 賞決定 第1部美術 は5氏。恩賜賞に日 本画家の清水達三氏 [鈴木了二]	新美術新 聞	1149
視線 天幕 TENT MAKU 鈴木恂著	村山 由佳 朝	日	11.16	映画「コロッサル・ ユース」 スラム 闇が包む建築美	鈴木 了二 読 売	6.12
総特集 杉浦日向子 回想 妹 順子	鈴木 雅也	ユリイカ	557	海外に学び日本に学 ぶ オーストラリア の生活と仕事で得た 視点	鈴木 浩一 建築雑誌	1576
日々好日 廣稜会の 想い出—東洋の心を 求めて—	鈴木 益躬	新美術新 聞	1149	写実の系譜 III 日 本美を求めて 須田 国太郎	鈴木 勝雄 太陽(別冊)	154
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 鈴木美 津子	切刀 知子	美術の窓	300	島田さんら文化交流 使[須田賢司]	日 経	6.9
Go! Artists Go! 30 鈴木基真	拓植 響	美術手帖	904	物に執して(一一三) [須田剋太]	鈴木 皓詞 目 の 眼	386
第55回日本伝統工芸 展 競い合う美と技 金工 高松宮記念賞 —文字金 鈴木盛久	原田 一敏	朝日夕刊	9.22	[特集2]現代工芸を 語る 「工芸的造形」 の意義と展望	須田 悦弘、 富田 康子、 新里 明士、 橋本 真之 唐澤 昌宏 進行	現代の眼 571
地元風景を絵に ア クリル画25点[すず きゆきお]	真野 森作	毎 日	12.2	SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 アーティスト によるアーティスト 論 須田悦弘「生 業」としての美術家	須田 悦弘 美術手帖	909
特集 「大坂画壇」は 蘇るか?—「綺麗な もん」から「面白い もん」まで 「浮世油 画」鈴木 蕾 奮考—美 術と印刷のはざまに 消えた、ある大阪洋 画先駆者の片影	熊田 司	美術フォー ラム21	17	先輩に開け! デザ イナーが若いうちに しておくべきこと23 須藤玲子	石田 純子 デザイン の現場	157
特集 「アーティスト 」になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART 1 個展を開く CASE STUDIES 展示の可能性を探る [鈴木理策]	白坂 ゆり	美術手帖	904	特集01 超絶技巧絵 画編 技巧の冒険者 たちが超絶“思考”を 巡る	小川 信治 鷺見 厩 深津 真也 吉村 芳生	アート・ ト ッ プ 223
薬師寺展を撮る 写 真家・鈴木理策さん	鈴木 理策	読売夕刊	4.25	平成20年度 文化勲 章、文化功労者決ま る 奥田小由女氏 工芸 澄川喜一氏 彫刻	新美術新 聞	1169
視線 鈴木龍一郎写 真集オデッセイ 鈴 木龍一郎著	村山 由佳 朝	日	1.20	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 澄川喜 一 空間が響く	高山 淳 美術の窓	300
				文化功労者 澄川喜 一さん 曲線の探究 テーマに	日経夕刊	10.28

— 243 —

SCENE 05 千住 博、モチーフと出 合う			220			(ソ)	
SCENE 06 千住 博、アトリエにて 歓喜する			221			第45回記念朝日陶芸 展 秀作賞 陶象 (陰+陽=円) 相馬 康宏さん	西田 健作 朝日夕刊 4.8
SCENE 07 千住 博、歴史と向き合 う			222			新生するチェーザレ、 優雅なる冷酷の彼岸 [惣領冬実]	橋本 麻里 芸術新潮 697
SCENE 08 千住 博、モチーフを決 める			223			特集 印刷大好き！ I LOVE Printing 副田高行 僕と広告 と印刷	大城 譲司 デザイン の現場 158
SCENE 09 千住 博、再び模索の道 へ			224			Recommend Orbi- tuary 追悼 野田風	副田 高行 " 162
Zero in on 千住博 滝の究極地		アート・ ト ッ プ	220			建築みやげ・建築グ ッズ みやげものは 思考の引き金	曾我部昌史 建築雑誌 1570
特集01 アートの 理由 インタビュー &エッセー 千住博 アートは今も崇高な 精神の表れのです か？		"	224			ひと ガウディ作の 教会の彫刻を手がけ て30年 外尾悦郎さ ん	丹内 敦子 朝 日 9.6
新学期にあたって 京都造形芸術大学学 長 千住博	千住 博	瓜生通信	43			SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 アーティスト によるアーティスト 論 曾根裕 三都 市をめぐる回廊は続 く	曾根 裕 美術手帖 909
千住博学長 対談シ リーズ	住田 未来	"	45			特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 園原小 波 歌と絵と	高山 淳 美術の窓 300
粋な街 集う人 変 わる東京 千住博さ んと考えろ 一人ひ とり美の種をまこう		朝 日	3.20			特集 CREATORS OF 2008 2008年を 創る20人のクリエイ ターたち！ ブック デザイナー 祖父江 慎 本を一層面白く する！	ばるばら STUDIO VOICE 385
著者に会いたい 岩 絵の具に魅せられて 『「美」を生きる』千住 博さん	山口 栄二	"	4.13			特集 サンプルたく さん入ってます!! 祖父江慎の色サンプ リング 色に「うっ とり」する力を育て よう	大城 譲司 デザイン の現場 160
都開人 日本画家 千住博さん 東京、 五感に訴える国際都 市めさせ		日 経	7.23			Recommend Book 『じいちゃんさま』誕 生の秘密 対談 梅 佳代×祖父江慎	" " 161
芸術と平和創造 千 住博さんに聞く 相 違いの立場で思考 違 い超えて調和奏でる	野村 義博	日経夕刊	2.7			SPECIAL FEATURE 名作はいかにして生 まれるのか？ スタ ジオジブリのレイア ウト術 スタジオジ ブリ最新作『崖の上 のポニョ』 Review 1 アーティストが 見る、『ポニョ』の表 現	曾谷 朝絵、 黒瀬 陽平 美術手帖 912
詩魂の一点 東山魁 夷展 5 古都遠望 フィルム映画の心地 よさ	千住 博	"	5.1				
生誕 100 年記念秋野 不矩展 9 日から 生 の実感と、死の予感 と	"	毎 日	8.7				
特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! sec- tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	千正 博一	美術の窓	300				

(タ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

SPECIAL FEATURE

京都アート探訪 ギャラリスト・松尾恵さんが案内する京都でつくり、暮らす人々 03アーティスト・高橋匡太さん 沢田眉香子 美術手帖 908

寄贈作品紹介 高橋秋華「鶏図屏風」 中村麻里子 岡山県立美術館ニュース 83

日本の新進作家展 vol. 7 オン・ユア・ボディ 5 高橋ジュンコ「Tokyo Mid II」 笠原美智子 東京 11.4

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 高橋伸風土と思想 高山 淳 美術の窓 300

版画に刻む佐渡の息吹 恩師から受け継いだ島ぐるみの普及活動続ける[高橋信一] 高橋 保 日 経 10.15

リレー・エッセイ 絶対絵感[高橋信行] 森 淳一 アート・トップ 221

水千変万化の小宇宙 大海原から葉の滴まで、多様な表情を撮り続ける 高橋 宣之 日 経 8.27

[制作記録]九谷焼によるインスタレーション表現 高橋 治希 金沢美術工芸大学紀要 52

作家通信 ハッピータイム 高橋 英男 趣味の水墨画 230

「さまざまな想像から“きっかけ”を感じられる絵本」『ふしぎなナイフ』中村牧江、林健造作/福田隆義絵 高橋 正実 A X I S 131

WORLDWIDE MIX NARITA 日本の玄関に巨大なグラフィックが登場[高橋正実] 編集部 デザインの現場 157

Designer's Book from BSS 美術出版社デザインブック通信 1 デザイナーと工場をつなげる本『工場へ行こう!!』[高橋正実]

写眼 ブレボケのリアル 高橋万里子「月光画」(2008年) 海老沢 類 産 経 10.20

写真の系譜 I 西洋画への憧憬 高橋由一 古田 亮 太陽(別冊) 154

東京国立博物館所蔵 高橋由一筆《雪景》の修理保存と新知見について 土屋 裕子 MUSEUM 612

美の履歴書 056 うつすことを極めたら「鮭」 高橋由一 秋山 亮太 朝日夕刊 4.30

TOKYO あにめのまち26 「翼」が生んだ最強アズーリ[高橋陽一] 加納 昭彦 読 売 4.15

コミックガイド もののけ草紙 老 高橋葉介作 ササキバラ・ゴウ 朝 日 11.2

巻頭特集 いま、立体作家が面白い! 立体作品に注目、楽しいコレクション グラフィック 高橋りく アート・トップ 219

顔 漫画家生活30周年で初めて原画展を開いた 高橋留美子さん 石田 汗太 読 売 8.3

SPECIAL FEATURE 名作はいかにして生まれるのか? スタジオジブリのレイアウト術 TALK ABOUT LAYOUT 高畑勲さんにとってレイアウトとは何ですか? 高畑 勲 美術手帖 912

アトリエ・インタビュー 高原洋一「版」を通して世界を造形する 松山 龍雄 版画芸術 142

視線 PHOTOGRAPH 高松次郎著 北澤 憲昭 朝 日 10.12

高松次郎「PHOTOGRAPH」 (前) 読 売 9.28

特集 学びの場を問う IV 事例レポートにみる「開・閉」外に閉じ、内に開く私立校—同志社小学校[高松伸] 上野佳奈子 取材 萩原 文 建築雑誌 1582

和伎母一隅 高光一也 石川県立美術館だより 292

特集 アートは踊る? 横浜トリエンナーレの試み 対談: 大友良英+高嶺格 阿部 謙一 構成 ART iT 20

オーストラリアでの滞在制作についての素朴な感想 高嶺 格 国立国際美術館月報 164

SPECIAL FEATURE
日本のアーティスト
・序論 アーティスト
によるアーティスト
論 高嶺格 体の
くだした判断に理性
がおよぶのか

情報館 東京国立近代
美術館「わたしい
まめまいしたわ」展
から「God Bless
America」 高嶺格

オークションの逸品
高村光雲「蘇東坡」

ロダン研究III—パー
トレットのロダン:
高村光太郎のルド
フ・ダークス

連載 吉本隆明1968
[13]~[20][高村光
太郎]

特集 Tokyo Metabo-
lism 2010/50 Years
After 1960 論考
高山英華の戦時下
「東京都改造計画」
ノート

Zero in on 建築家
・山本想太郎が語る
高山辰雄の「痛くない
芸術」

《年頭所感》新年を迎
えて 真摯に闘い、
優れた創造力を発揮
する作家の出現を待
ち望む[高山辰雄]

巻頭特集 今年の展
覧会 BEST150 Part.
2 2007—08美術界
ニュース・ピックアップ
追悼—高山辰
雄(日本画家)

人と書32 高山辰雄
の書

本づくし「全体を
1つのネットワーク
構造として眺めてみ
れば」『複雑な世
界、単純な法則』
マーク・ブキャナン
著/阪本芳久 訳

長谷川町子と田河水
泡

第72回新制作展 間
もなく国立新美術館
で開催

日々好日 樹を描く

技法の現場から7
制作の現場から
「大地を描く」

@ the moment [No.
06] 瀧下和之

高嶺 格 美術手帖 909

大谷 省吾 読売夕刊 2.19

ギャラリ 278

高橋 幸次 日本大学
芸術学部
紀要 48

鹿島 茂 百 科* 543~550

中島 直人 10 + 1* 50

山本想太郎 アート・
ト ッ プ 223

浅木 正勝 新美術新
聞 1141

福島 昌子 美術の窓 293

真鍋 井蛙 目の眼 379

田川 欣哉 A X I S 136

橋本野乃子 SAZAE
通信 4

瀧 徹 新美術新
聞 1162

滝沢 具幸 " "

" 連盟ニュ
ース 427

編 集 部 アート・
ト ッ プ 222

特集01 アートの
理由 アンケート
若手作家に聞まし
た[瀧下和之]

" 224

「こんびらさん海の
聖域」展シンポジウ
ム こんびらの美
バリ感嘆

田窪 恭治
ジャンフラン
ソワ・ジ
ヤリージ
池田 守男
オーギュ
スタン・ペ
ルク
高階 秀爾

朝 日 11.12

BAD INTERVIEW
takram

大城 譲司 STUDIO
VOICE 394

AT Times Opinion

アート・
ト ッ プ

路上ミーティング

小川てつオ、
武 盾一郎
談 223

ベルクとアート

井野 朋也、
迫川 尚子、
小川てつオ、
武 盾一郎
対談 224

SPECIAL FEATURE
あらうんど THE 会
田誠 青空雑談会

会田 誠
司会
いちむらみ
さこ、竜太、
卯城 一郎、
遠藤 一郎、
小川てつオ、
小田マサノ
リ、
武 盾一郎、
富永 剛総、
増山 麗奈
談
川崎 昌平
構成

美術手帖 907

日々好日 おはよう
ございました

竹内 浩一 新美術新
聞 1165

特集 海外サクセス
バイブル ドキュメ
ント はじめてのサ
テリテ。竹内茂一郎

高橋 美礼 デザイン
の現場 161

特集Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
レクション 竹内セ
イ子 創作

高山 淳 美術の窓 300

墨のある風景 竹内
栖鳳《蹴合》

田中知佐子 趣味の水
墨画 230

写真の系譜I 西洋
画への憧憬 竹内栖
鳳

古田 亮 太陽(別冊) 154

二〇〇六年度同志社
大学大学院修士論文
梗概 竹内栖鳳の風
景画—形象から光へ—

野中 崇史 美学芸術
学 23

試論 竹内栖鳳と一 九世紀英国絵画	廣田 孝	美術京都	40	264 夢二・外遊 スケッチ異聞(2) 混乱のヨーロッパ ・ナチス台頭				381
美術学部教員展図録 彫刻	竹内 孝和	愛知県立 芸術大学 紀要	37	265 夢二・外遊 スケッチ異聞(3) 伯林客中、暮る望 郷の念				382
竹内敏信写真集 「大欧羅巴」	(前)	読 売	9.7	266 夢二を巡る 女性たち 他万喜 ・北越考				383
武腰敏昭 2006年 作品の解説	武腰 敏昭	金沢学院 大学紀要*	6	背中合わせ夢二の芝 居絵 都内で発見 近松「心中天網島」の 人物描く	岸 桂子	毎 日	10.2	
アクリリックス・ワ ールド47 竹崎和征	石井 芳征	美術手帖	912	夢二の挿絵版木見つ かる		読 売	7.10	
特集 サンプルたく さん入ってます!! フォント探検隊、ス ーパーマーケットへ 行く!	竹下 直幸	デザインの 現場	160	マンガ学部長に竹宮 氏[竹宮恵子]		日 経	4.3	
〈修復トピックス〉 旧芝川又右衛門邸の 明治村移築工事 震 災を越えて復原され た武田五一設計の近 代住宅	足立 裕司	建築史学	50	フォーカス 「地球 へ…」の作家、京都 精華大マンガ学部長 に 竹宮恵子氏 「仲間として」学生を 指導		日経夕刊	5.15	
世界の版画事情 オ アハカ・メキシコ メキシコアートの拠 点、オアハカ市の版 画事情	竹田鎮三郎	版画芸術	141	マンガの国の「衣食 住」「風と木の詩」 とパッションの時代 [竹宮恵子]	竹内オサム	毎 日	9.27	
作品 「Lemon」	竹田 園子	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	13	Auch wenn wir nicht zusammen sind, even if we're not to- gether, はなれても、 竹村京	石井 芳征	美術手帖	903	
武田史子 見る人の 心に寄り添う花々の 姿	岩坪 文子	版画芸術	141	太佐寿一郎 2006~ 2007年 作品の解説	太佐寿一郎	金沢学院 大学紀要*	6	
スペシャルインタビ ュー 竹田光幸 樹 のイデー	一井 建二	美術の窓	298	写眼 家族のぬくも り 田崎力「農作業 の合間に」〈「天孫 の里—高千穂」より〉	堀 晃和	産 経	9.8	
オーサー・ビジット 想像広がるドーナツ 島 武田美穂さん @備前市立西鶴山小 (岡山)	大平佐知子	朝 日	2.16	青春プレイバック 田澤茂 神奈川県藤 沢市辻堂・アトリエ	林 茂樹	新美術新 聞	1145	
技法の現場から 6 足場はわたしのアト リエ—今、天井画が 面白い—	武田百合子	連盟ニユ ース	425	特集Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 田澤茂 現代を描く	高山 淳	美術の窓	300	
はてな?おもしろ浮 世絵[竹久夢二]	中右 瑛	目の眼		[特集]二〇〇七年の アーティスト・トー ク 「工芸館30年の あゆみ」展ギャラ リートークから	田嶋 悦子	現代の眼	568	
260 夢二終焉の 地 富士見高原療 養所			377	視点 「亀山・商店 街 in ART」アート フォーラム三重2008	田嶋 健次	美術の窓	303	
261 夢二が残した 「幻」の滞欧素描 作品集			378	特集01 超絶技巧絵 画編 ケース・バイ ・美学校 描くこと は見ることである	田嶋 徹	アート・ トップ	223	
262 夢二・外遊 スケッチ異聞「さ よならアメリカ」 ドイツ船タコマ号 の船上寸描			379					

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション現代作家のベストセクション 田代久美子 余韻	切刀 知子	美術の窓	300	特集 「世界」を救うためにデザインができること。 デザインにできることは何か Gマーク審査委員へのアンケート	田中 一雄	デザインの現場	159
巻頭特集 猫をうまく描く 技法講座 VOL. 12 Part. 2 グラビア編 誌上グラビアで猫を楽しもう 童話	多田すみえ	"	301	現代美術の歩き方 今月の一品 田中圭介 回天	(細川)	美術の窓	303
2008年子年新春企画 年男年女	多田 祐子	新美術新聞	1140	Meet the artists 02 対談: 田中功起×木村友紀	中原紗代子 司会	ART iT	18
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション現代作家のベストセクション 橋公俊いのちの炎	高山 淳	美術の窓	300	特集 「アーティスト」になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART 1 個展を開く CASE STUDIES 展示の可能性を探る [田中功起]	白坂 ゆり	美術手帖	904
「大切なのは手にとること」立原位貴に聞く浮世絵の見かたと作りかた		芸術新潮	707	SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト・序論 座談会 ゼロ年代のリアル	池田 剛介、大庭 大介、奥村 雄樹、塩原 れじ、田中 功起、田幡 浩一、名和 晃平 栗田 大輔 司会・構成	"	909
杜賞(受賞者の言葉) 杜賞を受賞して	立原真理子	杜	24	コミックガイド 下町鉄工所奮闘記 ナッちゃん東京編 1 たなかじゅん作	ササキバラ・ゴウ	朝 日	6.8
表紙解説(表) 辰野金吾・葛西萬司作画《中央停車場建物展覧図》	原田 平作	美術フォーラム21	18	2008年日本建築学会作品選奨 AGCモノづくり研修センター [田中賢子]		建築雑誌	1579
SPECIAL FEATURE あらうんど THE 会田誠 先生、僕に「絵画」を教えてください!	会田 誠、彦坂 尚嘉、辰野登恵子、古谷 利裕 談	美術手帖	907	日々好日 小さな村を高速が走る	田中 岑	新美術新聞	1170
作家訪問380 鏗金家「いもの道具みちくさ」三枝一将さん 巽水幸さん	編集部	目の眼	382	工芸専攻 金属領域 形から始まる制作	田中 幹	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2008
第43回昭和会展2008 各賞決定 昭和会賞には立石真希子氏		新美術新聞	1144	田中長徳の「よもすがらモノおもふころ」第31回~第36回	田中 長徳	A X I S	131~136
特集 フェルメール フェルメールから派生する 写真的絵画と絵画的写真	田所美恵子	ユリイカ	554	技と美6 漆造形作家/田中信行	楠元 恭治	美術の窓	297
第四十回日展に向かって~各科係主任より~ 第四十回日展にむけて	田中 昭	日展ニュース	130	Spot 田中博之 人間の営みと何気ない風景	編集部	アート・トップ	223
オークションの逸品 田中敦子「untitled」		ギャラリー*	280	Art Scope PRE-VIEW 田中麻記子 音楽のように体感する、「絵画」	"	"	221
福島秀子と田中敦子の絵画	中嶋 泉	鹿島美術財団年報・別冊	25	現代美術の歩き方 今月の一品 田中麻記子 may be to be or not to be	(細川)	美術の窓	294
やっつけメイキング 49~59、最終回	田中偉一郎	美術手帖	903~909、911~913、915、916	@ the moment [No. 03] 田中みぎわ	西澤 美子	アート・トップ	219

特集01 アートの理由 アンケート若手作家に聞きました[田中みぎわ]		アート・トップ	224	街角アート 谷内六郎の壁画—静けさと叙情	星野 清一	新美術新聞	1156
作家通信 自然に抱かれて	田中みぎわ	趣味の水墨画	229	コミックガイド 冬の動物園 谷口ジロ一作	南 信長	朝 日	4.20
特集 若手作家の水墨表現はここまでできている 田中みぎわ	野地耕一郎	"	230	谷口建築にみるモダンイズムと日本建築の要素[谷口吉生]	能勢 陽子	豊田市美術館紀要	1
田中展展—二十世紀初頭の欧米に挑戦した画家—	江口 健	新美術新聞		わがユリイカーなにをいまさら[谷口吉郎]	森 仁史	一寸	33
(上) 完全に海外で形成された画業			1156	クリエイターズワーク&ソウル 谷尻誠		A X I S	135
(下) 松方コレクション唯一の日本人油彩			1157	新作版画集・新刊書籍 浮遊する世界を描く、言葉と版画による詩画集 大矢雅章+谷村秀格『糸遊』	友澤 宏子	版画芸術	140
作家通信 彩管一生の人[田中頼璋]	岡原 大暉	趣味の水墨画	237	第69回国際写真サロン 総評 作品講評	田沼 武能	朝 日	12.23
巻頭特集 いま、立体作家が面白い! 立体作品に注目、楽しいコレクション[棚田康司]		アート・トップ	219	写眼 明るい笑顔 力強い生命力 田沼武能「ガーナ1982年」	酒井 潤	産 経	5.26
グラフィック 棚田康司	棚田 康司	談		アフリカ 子どもたちの日々 田沼武能著		日 経	6.1
木彫ルネッサンスがはじまった 木から生まれる百花繚乱				読みたい 本の現場 田沼武能さん 文章と写真でつづる半世紀	桐山 正寿	毎日夕刊	6.27
Zero in on 舟越桂が誘うひと夏の“邸宅”	棚田 康司	聞き手	223	田沼武能著 真像残像 ぼくらの写真人生	(崎)	読 売	3.9
特集02 棚田康司 少年少女たちの秘密		"	224	種田陽平 こども目線のルーヴル美術館		芸術新潮	703
アトリエレポート 彫刻が生まれる場所へ	(山)			EXTRA COLUMN PERFECTIONISTS 03 美術監督・種田陽平	木村満里子	STUDIO VOICE	394
棚田康司インタビュー	森 淳一	聞き手		SPECIAL FEATURE 名作はいかにして生まれるのか? スタジオジブリのレイアウト術 COLUMN 美術監督・種田陽平はレイアウトのここを見る! 世界観を決める台本	編集部	美術手帖	912
Turning Point [File13] 棚田康司×2003年×「記念日」	(山)			SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト・序論 アーティストによるアーティスト論 東 芋 私はワガママだ。	東 芋	"	909
彫刻家田辺光彰の提案—地球号の危機を救うための記念碑建設を考える	藤嶋 俊會	新美術新聞	1152	東芋さん シャネルのプロジェクトに出品		日経夕刊	3.25
New face at TUAD 2007	中山ダイスケ 近藤一弥 坂東慶一 屋代敏博 岩井天志 谷浩二 西澤高男	東北芸術工科大学紀要	15				
思い出の作家たち 谷内榮次さんと共に	岡本 博	美術運動	135				

大琳派展 わたしの
1点3 東芋さん
(現代美術家) 描く
過程垣間見る 東 芋 読 売 11.5

特集 「アーティスト」になる基礎知識
展覧会のつくりかた
PART 1 個展を開く
04展示 絵と照明 田幡 浩一 美術手帖 904

SPECIAL FEATURE
日本のアーティスト
・序論 座談会 ゼ
ロ年代のリアル 池田 剛介、
大庭 大介、
奥村 雄樹、
塩原 れじ、
田中 功起、
田幡 浩一、
名和 晃平
談 栗田 大輔
司会・構成 909

画家の田淵さん ふ
すま絵60面智積院に
奉納[田淵俊夫] 日経夕刊 10.7

京都・智積院 墨の
濃淡 四季の息吹
[田淵俊夫] 読売夕刊 10.3

《特集=追悼・風倉
匠》2 風貌も才能
風倉匠 田部 光子 あ い だ 149

田部光子 試論「前
衛(九州派)」を超え
て 小勝 禮子 美術運動
史研究会 ニュース 93

視線 under the Rose
少女主義的水彩画集
たま著 サエキけん
ぞう 朝 日 7.27

コミックガイド 800
川島誠原作、たまき
ちひろ漫画 南 信長 〃 2.10

《連載》戦時下日本の
美術家たち 第21回
百九十一番居 玉村
方久斗 飯野 正仁 あ い だ 146

胸騒ぎの画家 玉村
方久斗 芸術新潮 697

大正の異才画家に光
写実の先に込められ
た意志[玉村方久斗] 小川 敦生
郷原 信之 日経夕刊 5.13

研究報告 玉倉春輝
《アイヌ村》作品考
画家たちのアイヌ
「発見」 南本 有紀 ミュージ
アムひだ 研究報告* H19年度

画廊の夜会2008 透
明な心のユニークな
画家・民野宏之の生
き方 ギャラリー 277

三点の石版画から一
玄々堂の弟子たち
銅・石版画遺聞29
[田村宗立] 森 登 一 寸 33

写実の系譜 I 西洋
画への憧憬 田村宗
立 古田 亮 太陽(別冊) 154

土曜訪問 天龍寺の
ふすま絵が完成 田
村能里子さん(洋画
家) 稲葉 千寿 東京夕刊 9.6

ライトアップ[田村
能里子] 〃 11.11

人間発見 壁画に美
神が宿る1〜5 画
家 田村能里子さん 野村 義博
聞き手 日経夕刊 6.16〜20

話の巷[田村能里子] 読売夕刊 11.11

視点 情報化社会に
おける絵画「独学」の
ススメ 田村 吉康 美術の窓 300

漫画家・田村吉康が
絵画展 色鮮やか
独自の絵肌 黒沢 綾子 産 経 6.22

画家たちの美術史67
太郎千恵蔵 倉林 靖 美術手帖 912

1940年代の平滑空間
[丹下健三] 沢山 遼 芸 文 1

特集 建築資料をの
こすということ II
特別インタビュー
丹下健三氏の憂鬱一
近代建築の遺産を継
承する術 丹下健三夫
人 談
中田 千彦
聞き手 建築雑誌 1576
高澤 一美
文

特集 Tokyo Metabo-
lism 2010/50 Years
After 1960 論考
二〇世紀日本建築の
「悦ばしき知識」 丹
下研究室の国土・都
市・建築 豊川 斎赫 10 + 1* 50

名建築を訪ねる 東
京カテドラル聖マリ
ア大聖堂 輝き放つ
神秘的な空間[丹下
健三] 小林 由比 東 京 1.9

表参道の顔 解体危
機 30周年のハナエ
・モリビル[丹下健
三] 浅田 晃弘 〃 8.8

丹下氏こだわりの広
場 藤森 照信 〃 8.30

特集 フェルメール
一人の画家と二人の
画家 フェルメール
は映画をめざす 小川 格、
丹治 匠 ユリイカ 554
対談

特集 パブロ・ピカ
ソ 座談会 ナウ・
ピカソ! 海老原 靖
小川 希
丹治 匠
和田 昌宏 〃 558

(チ)

杜賞(受賞者の言葉)
「ふるさと」 値賀 千尋 杜 24

あとがきのあと「求道学舎 再生」近角 櫻子著 音楽的発想で廃墟を再生 日 経 6.15

写眼 闇から光へ伸びる植物 地現葉子「光、満ちる」平成19年 堀 晃和 産 経 3.31

巻頭特集 なんでも描けてなにが悪い!! 河鍋曉斎の写実力 曉斎と現代作家の誌上競演 Gallery 1 智内兄助 美術の窓 295

作家通信 千野 曜生 趣味の水 墨画

喜びを伝える 229

初めての東北 237

故赤塚不二夫さん 戦後闘争の季節に笑い 流行語次々「ニャロメ」「シェー」「人生はギャグ」惜しまれて… 漫画家のちばてつやさんの話 東 京 8.3

大波小波 漫画が喪失したもの「ちばてつや」 (怪物くん) 東京夕刊 6.5

一枚マンガの折り返し展 2 醍醐味は「展躍力」 千葉督太郎 東 京 6.28

ミュージアム・インタビュー「アーティストの千葉奈穂子さんと石川美奈子さんに聞きました」の巻 aprire 13

写眼 “謎”紛れ込むパノラマ 千葉美幸「無題」《日々をのぞく》より(平成19年) 堀 晃和 産 経 2.4

藍愛す 白寿の手染め「天然」にこだわり 最古の技術継ぐ 千葉よしのさん作品銀座で展示 高橋はるか 読 売 4.23

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 千原稔 魂のふるさと 切刀 知子 美術の窓 300

この人 プロの砂像彫刻家として砂像アート普及に取り組む 茶円勝彦さん 山口 恵 東 京 12.17

COVER GALLERY 忠田 愛 瓜生通信 45

コミックガイド 奇跡のヒト1・2 土屋ガロン原作 張慶二郎漫画 ササキバラ・ゴウ 朝 日 8.3

セーブル美術館「薩摩焼—その異国趣味と日本趣味」展の帰国展開催にあたり 沈 壽 官 (十五代) 陶 説 669

特集 CREATORS OF 2008 2008年を創る20人のクリエイターたち! アーティスト・チン↑ボム『チン↑ボムろうぜ』(!?) 桜井 圭介 STUDIO VOICE 385

スラッシュ/アート VOL.04 アートの存在意義[Chim↑Pom] 工藤 キキ " "

Chim↑Pom 地雷撤去オークション決行! 誰もがセレブになれる一夜 藪前 知子 美術手帖 904

SPECIAL FEATURE あらうんどTHE 会田誠 Chim↑Pom インタビュー 会田 誠 聞き手 " 907

Chim↑Pom、広島での「ピカッ」問題について 編集部 " 916

(ツ)

少年の日に 司 修 学 鑑 105-1

仕事の周辺 司修 " 産 経 11.24、12.8

青春ブレイバック 津金孝郁 武蔵野市吉祥寺駅前井の頭公園 宗像 克元 新美術新聞 1167

アーティスト訪問54 津上みゆき ギャラリー 276

人と墨8 津上みゆき 風景画に息づく水墨の伝統 趣味の水 墨画 237

テークオフ 画家 津上みゆきさん 心の中の風景再現したい 大西 若人 朝日夕刊 4.19

辻協さんの思い出 西 マーヤ 陶 説 669

追想録 辻協さん(陶芸家) 女性陶芸家の道切り開く 宝玉 正彦 日経夕刊 8.1

我が師 辻清明先生を憶う 岩瀬 健一 陶 説 669

辻清明氏を悼む 信楽焼に宿る進取の気性 宝玉 正彦 日 経 4.19

漕 kogi 津田直 石井 芳征 美術手帖 903

テークオフ 写真家 津田直さん 現地に溶け込み風感じて撮影 古賀 太 朝日夕刊 11.29

土浦亀城の初期の作品におけるモダニズムの形成過程について	田中 厚子	日本建築学会計画系論文集	624	Close-up75 土屋仁 応 北京で感じたのは自分の足元を確認すること	ギャラリー 一*	273
わが家のミカタ 東と西のモダニズム 上 昭和初期に吹き抜け・大窓…都心に残る奇跡の空間 夫妻が託した「箱の家」[土浦亀城]	神田 剛 朝 日	12. 2		特集01 アートの理由 インタビュー & エッセー 土屋禮一 アートは魂を揺さぶることができるのですか?	アート・トッ プ	224
墨のある風景 土田麦僊「朝顔」	中谷 至宏	趣味の水 墨画	232	特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	土屋 禮一 美術の窓	300
ロマンと情緒 土田麦僊	蔵屋 美香	太陽(別冊)	154	筒井年峰について	岩切信一郎 一寸	33
土田麦僊「平牀」と「妓生の家」について—近代日本美術における朝鮮の美をめぐる—	上田 文 美 学	233		PREVIEW 筒井義明展~ゆるやかな断片、おぼつかない消息~ 希薄な感覚を描く	磯部 靖 美術の窓	297
美の美 土田麦僊—考える眼 上、中、下—	内田 洋一 日 経	8. 10、 17、24		太る自由だってあるのだ「メタボ狩り」ちょっと待って	都築 響一 朝 日	5. 17
近代美術の東京・島の女 土田麦僊・画	三輪 健仁 読 売	11. 14		着倒れ方丈記 都築響一著	日 経	11. 30
私の航海図 雑多な仕事で自分失わず撮りたいもの撮っていく	土田ヒロミ 談	日 経	2. 10	特集 第43回主体展 報告 三フロアーによる新しい展開	続橋 守 主体美術	83
第27回「土門拳賞」に土田ヒロミ氏 受賞の言葉 さらなる進化への勇気に	土田ヒロミ 毎 日	3. 20		特集 京造ねぶた 1 対談 大野木啓人×椿昇	大野木啓人 椿 昇 瓜生通信	45
第27回「土門拳賞」に土田ヒロミ氏 選評	内藤 正敏	” ”		巻頭特集 新ミクストメディア 技法講座 VOL. 13 講師による作品ギャラリー 土や廃材など自然物をいかす	椿野 浩二 美術の窓	303
ひと 第27回土門拳賞を受賞した写真家土田ヒロミさん	高橋 勝視	” ”	4. 30	アトリエ訪問 豊潤なもの・綾なすもの・雅びなものにひそむぬくもりをリズムにのせて表現してきた坪井明日香—それは二十世紀後半の女流の深みを象徴する	原田 平作 美術フォーラム21	17
神の木 民の木—巨樹巡行[土田ヒロミ]	(ゆ)	” ”	5. 4	町工場から人間を見てきて	坪井 功次 美術運動	135
写真展「土田ヒロミのニッポン」を開催	手塚さや香	毎日夕刊	1. 31	特集 海外サクセス バイブル 海外メーカーとの付き合い方 商品化への道 若手 デザイナー体験談 坪井浩尚×ELITIS	大輪 俊江 デザインの現場	161
「土田ヒロミのニッポン」展 視線ずらして見る地方、都市	前田 恭二 読 売	1. 31		名建築を訪ねる 酒類総合研究所 酒造りの魂 受けつぐ[妻木頼黄]	小川 慎一 東 京	9. 10
土谷武さんのこと—野外彫刻「遠くがみえる」の思い出	勅使河原純	世田谷美術館紀要	10			
巻頭特集 いま、立体作家が面白い! 立体作品に注目、楽しいコレクション [土屋仁応]		アート・トッ プ	219			
グラフィック 土屋仁応						
木彫ルネッサンスがはじまった 木から生まれる百花繚乱						

特集01 超絶技巧絵 画編 超絶“志向”の 若手画家たち 妻木 良三	妻木 良三	アート・ トッ プ	223
和歌山を拠点に描く 妻木良三 画家と僧 侶を行き来しながら	石川 健次	毎日夕刊	2. 21
津村耕佑 妄想オー ダーモード		ART iT	
第12回 お客様： 福井利佐	津村 耕佑、 福井 利佐 対談		18
第13回 お客様： エリイ	津村 耕佑、 エリイ 対談		19
第14回 お客様： やなぎみわ	津村 耕佑、 やなぎみわ 対談		20
第15回 最終回 お客様：高沢マヨ	津村 耕佑、 高沢 マヨ 対談		21
《連載》戦時下日本の 美術家たち 第19回 「事」ではなく「物」を 描く 鶴岡政男 戦 時下を生きる3	飯野 正仁	あいだ	144
再考「事ではなく物 を描く」—鶴岡政男 の発言を巡って	徳江 庸行	群馬県立 館林美術 館研究紀 要	5
巻頭特集 今年の展 覧会BEST150 Part. 2 2007—08美術界 ニュース・ピックアップ 追悼—鶴岡義 雄(洋画家)	編 集 部	美術の窓	293
コミックガイド お もいでエマソン 梶 尾真治原作 鶴田謙 二画	南 信長	朝 日	6. 15

(テ)

制作ノート 鄭継深	鄭 継深	武蔵野美術大学研究紀要	38
特集 印刷大好き！ I LOVE Printing 五感を刺激する印刷 ・加工表現 D-BROS の世界	杉瀬 由希	デザインの現場	158
特集 アートは踊る ？ 横浜トリエンナー レの試み[勅使河 原三郎]		ART iT	20
勅使河原三郎イン タビュー	今野 裕一		
評論：乗越たかお 横浜トリエンナー レ2008と日本のダ ンスシーン	乗越たかお		

特集 生誕80周年記 念 手塚治虫を知る ためのQ & A 100	森 晴路 談	芸術新潮	707
特集 手塚治虫の遺 したもの		みんぱく	375
手塚マンガの世界 に見る異文化接触 と相対化の視点	久保 正敏		
ストーリー・マン ガの革新性	竹内オサム		
マンガ産業の広が りと「鉄腕アトム」	中野 晴行		
「リボンの騎士」以 前・以後	藤本由香里		
科学・SFマンガ と手塚治虫	村上 知彦		
コミックガイド ボ クのまんが記 手塚 治虫作	南 信長	朝 日	6. 1
おやじの話、しちや おうか 父の作品 父と私 父の素顔 [手塚治虫]	赤塚りえ子、 手塚るみ子、 水木 悦子 談 近藤康太郎 構成	〃	7. 6
手塚治虫さん「生誕 80年」 “10万馬力の 魅力”輝く	村上 智博	産 経	10. 28
雑誌の「アトム」は別 世界 単行本用に描 き直す前の迫力や遊 び心発見[手塚治虫]	小野 卓司	日 経	8. 12
ニューな人ヒト 手 塚真氏、「アトム」と 共にフル回転[手塚 治虫]	佐々木たく み	日経夕刊	4. 23
手塚治虫生誕80年 で再考進む「伝説」を 検証 苦闘も照らす	関 優子	〃	8. 25
アトム生誕の地に大 型壁画 JR 高田馬 場駅ガード下に完成 [手塚治虫]	真野 森作	毎 日	4. 9
マンガの国の「衣食 住」 「鉄腕アトム」 にみる未来[手塚治 虫]	竹内オサム	〃	6. 28
故手塚治虫さん作品 閲覧サイト 京都の ソフト会社	清水 直樹	〃	7. 11
竹内オサムさんが評 伝『手塚治虫』刊行	手塚さや香	毎日夕刊	9. 25
TOKYO あにめのま ち11 アトム1話 格安75万円[手塚治 虫]	加納 昭彦 竹井 陽平	読 売	3. 14
「新宝島」復刻へ 手 塚治虫ストーリー漫 画の原点		〃	10. 28

生誕80年 手塚治虫 アカデミー 宇宙と 生命に迫った巨匠	佐藤 憲一	"	11.20	(ト)			
2008年日本建築学会 賞(作品) ふじよう ちえん[手塚貴晴／ 手塚由比]		建築雑誌	1579	この人 バリのユネ スコ本部で油彩画個 展を開催中 戸出喜 信さん	清水 俊郎	東京	11.29
建築学会賞の各賞決 まる[手塚貴晴／手 塚由比]		読 売	4.17	現代作家紹介 銅金 裕司—芸術と生命の 交差—	中塚 宏行	美術フォー ラム21	17
Zero in on 手塚雄 二 壮麗な黙示録	篠原 弘	アート・ ト ッ プ	219	@ the moment [No. 08] 東儀恭子	編 集 部	アート・ ト ッ プ	224
NY で開催される Asian Contemporary Art Fair[手塚雄二]		ギャラリ ー*	283	インスピレーション 建築 英国のアート 戦略都市に、東京発 ピクニックイベント が凱旋(東京ピクニ ッククラブ)	ぼ む 企 画	A X I S	134
奇想遺産 田平天主 堂 日本[鉄川与助]	山盛 英司	朝 日	4.13	東城鉦太郎一日露戦 争の画家	向後恵里子	近代画説	17
Close-up78 寺内誠 ある光景を選びとる 自分自身とは…その 感覚のリアリティを 求めて		ギャラリ ー*	274	コミックガイド 由 良COLORS 1 藤堂 裕作	南 信長	朝 日	6.29
美術学部教員展図録 油画	寺内 曜子	愛知県立 芸術大学 紀要	37	サタデー発言 前衛 芸術家・故風倉氏の 思い出	藤内 龍彦	東京	10.4
2008年日本建築学会 作品選奨 京都市本 能特別養護老人ホーム・京都市立堀川高 等学校本能学舎[寺 岡宏治]		建築雑誌	1579	2008年日本建築学会 作品選奨 北海道薬 科大学臨床講義棟C [東宮英明]		建築雑誌	1579
2008年日本建築学会 作品選奨 総合地球 環境学研究所[寺岡 俊彦]		"	"	工芸専攻 金属領域 つくるための覚え書 き	堂本麻梨子	多摩美術 大学大学院 修了論文 作品集	2008
BOOK 寺越慶司さ んの恐竜画	編 集 部	アート・ ト ッ プ	219	〈日韓美術交流〉初め て訪れた韓国・公州	遠矢 浩子	美術運動	135
追悼 「故 清原啓 一氏を偲ぶ」 懸命 に走り続け、駆け抜 けていった	寺坂 公雄	新美術新 聞	1169	技法・材料にせまる 私の手法と材料	富樫 耕一	主体美術	83
寺山修司 写真も奇 才 未発表含む150 点公開	古賀 太	朝 日	11.18	「地方からの声」スペ シャル鼎談 vol. 1 『北方人のリアリズム』	石山 亮一、 富樫 耕一、 丸谷 恵 藤田 俊哉 聞き手	"	84
特集01 アートの 理由 インタビュー & エッセー 天明屋 尚 アートで闘うこ とはできるのですか ?		アート・ ト ッ プ	224	九谷焼の伝統と継承、 そして創造	三代徳田八 十吉	東洋陶磁	37
アーティスト訪問59 天明屋尚		ギャラリ ー*	281	特集 「世界」を救う ためにデザインがで きること。 デザイ ンは世界を救えるか !? ケーススタディ 16 平和16 retired weapons[徳田祐司]	石田 純子	デザインの 現場	159
エッセイ 狩野派と 浮世絵の最終到達点 にいる晩斎	天明屋 尚	太陽(別冊)	河鍋曉斎	探訪 人形作家戸田 和子先生を訪ねて 時空を超えた妖精た ち		游 美	59
巻頭特集 なんでも 描けてなにか悪い!! 河鍋曉斎の写実力 晩斎と現代作家の誌 上競演 Gallery 2 天明屋尚		美術の窓	295	作家訪問379 竹芸 家 戸田和孝さん	編 集 部	目の眼	381

顔 サミット会場を「和」で演出したアートディレクター 戸田正寿さん	塩見 尚之	読 売	7.8			会田 誠 司会 いちむらみ さこ、 卯城 竜太、 遠藤 一郎、 小川てつお、 小田マサノ リ、 武 盾一郎、 富永 剛総、 増山 麗奈 談 川崎 昌平 構成		
記者ノート サミット見つけた「風神雷神」[戸田正寿]	前田 恭二	"	7.17			SPECIAL FEATURE あらうんど THE 会 田誠 青空雑談会	美術手帖	907
2008年日本建築学会作品選奨 東洋ロキグローバル本社ビル [戸田知佐]		建築雑誌	1579					
特集 海外サクセスバイブル ドキュメント トネリコ「1年目でくじけていたら、今のトネリコはありません」	高橋 美礼	デザインの現場	161			特集 建築ガールズ パワー VII 女子 大の先生に聞く 日 本女子大定点観測30 年史	富永 譲 談 平塚 桂 聞き手 萩原 文	建築雑誌 1579
日本の至宝「型染め」で描く ベトナムの優美、2〜8	鳥羽 美花	産 経	1.16、 23、30、 2.6、 13、20、 3.6、12			2008年日本建築学会 作品選奨 成増高等 看護学校[富永譲]	" "	
型染めで“粋な日本橋”復活[鳥羽美花]		"	7.16			色絵更紗文蓋付飾壺 富本憲吉	石川県立 美術館だ より	291
エッセイ・展評 米原万里さんと私	トバール光 子	美術運動	135			富本憲吉の世田谷時 代一朝鮮旅行の書簡 を中心に―	清水 真砂 世田谷美 術館紀要	10
フェイス21世紀108東樋口徹 現代の若手版画家	油井 一人	新美術新聞	1142			報告一ふるさとギャ ラリー「ロックと空 豆 in 太閤山 富山省 三展」	若松 基 ど お む	103
富岡鐵斎筆「厳栖谷飲図」考―妙心寺聖沢院書院障壁画―	中谷 伸生	アジア文化交流研究	3			美術学部教員展図録 陶磁	友岡 秀秋 愛知県立 芸術大学 紀要	37
南画と個性派 富岡鉄斎	鶴見 香織	太陽(別冊)	154			絵画専攻 油画領域 桜の樹の下には…馬 ノ私は貴方の一生も の 貴方は私の一生 のもの	友竹晋太郎 多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集	2008
画家たちが鉄斎に見たもの						美の履歴書 041 な ぜにらんでいるのか 「風貌 梅原龍三郎」 土門拳	大西 若人 朝日夕刊	1.16
特集 海外サクセスバイブル 我ら、「海外移住組」 富田一彦	高橋 美礼	デザインの現場	161			美の美 文楽人形の 命 中 写真は残った [土門拳]	内田 洋一 日 経	3.23
南画と個性派 富田溪仙	鶴見 香織	太陽(別冊)	154			アートの風 6月 戸谷成雄の「森」 刻 まれた振動する(表面)	三田 晴夫 毎日夕刊	6.12
@ the moment [No. 07] 富田典姫		アート・トップ	223			世界最大の写真集認定 [外山ひとみ]	東 京	4.9
巻頭特集 猫をうまく描く ⑧技法講座 VOL.12 Part. 2 グラビア編 誌上グラビアで猫を楽しもうじっと見つめる	富田 典姫	美術の窓	301			この人 世界最大の 写真集を制作した写 真家 外山ひとみさん	平林 倫 "	5.17
特集 建築ガールズパワー III 女性建築家に聞く 元祖×新鋭、建築ガールズトーク	富田 玲子、 大西 麻貴 談 萩原 詩子	建築雑誌	1579					

平成19年度 金沢学院大学「公開講座」第III部 美術文化学部公開講座の概要 B部:情報デザイン学科主催 第五回情報デザインシンポジウム 概要 テーマ:アートの世界「アニメーション制作へアナログとデジタル」	外山 光男	金沢学院大学紀要	6	ARTIST INTERVIEW 内藤礼	橋本 真理 聞き手	美術手帖	915
作品 ケーブルカーと坂道の街 サンフランシスコ散歩展	豊島 輝彦	札幌大谷大学紀要	38	スペシャル・インタビュー 名嘉睦絵 無限に溢れだす創造の泉	名嘉 睦絵 石上 敏 聞き手 松山 龍雄、岩坪 文子 構成	版画芸術	141
人と墨3 豊島弘尚 墨と油彩の対立を通して、精神の緊張感を描く		趣味の水 墨画	231	特集 「世界」を救うためにデザインができること。 デザインにできることは何か Gマーク審査委員へのアンケート	永井 一史	デザインの現場	159
コミックガイド ロボ道楽の逆襲 とり・みき作	南 信長	朝 日	12.21	毎日デザイン賞 永井一史「一連のブランドづくりとディレクション」	勝井 三雄	毎 日	3.4
視点 世界のエステサロン	鳥居 礼	美術の窓	292	本づくし 「自然体のくらし、感性の自由さ」『あそぶ、つくる、くらす デザイナーを辞めて彫刻家になった』五十嵐威暢著	永井 一正	A X I S	133
マンガの国の「衣食住」DRAGON BALLと健康ブーム[鳥山明]	竹内オサム	毎 日	7.26	特集 デザイナーが会いたかった人たち 森本千絵が永井一正を訪ねる	神吉 弘邦	〃	134
(ナ)							
コイズミ照明「あかり・人・環境・空間」一照明の今と明日の環境 あかりづくりの現場から1 空間に印象を加えるあかりたち	内藤 繁	デザインの現場	159	THE 15th CS DESIGN AWARDS 2008 第15回CSデザイン賞受賞作品発表 環境の日常に浸透	永井 一正	デザインの現場	161
茶室の工芸学—現代工芸家の茶器 内藤四郎「草文銀小筥」	唐澤 昌宏	淡 交	762	2008年日本建築学会作品選奨 egota house A[中井邦夫]		建築雑誌	1579
世界の街角カフェ写真に 庶民のくつろぎの場にひかれ100カ国以上回る	内藤 毅	日 経	12.4	絵によみがえる江戸の街 史実を追体験、忠実に再現した作品 200点	永井伸八朗	日 経	9.25
特集 「世界」を救うためにデザインができること。 デザインにできることは何か Gマーク審査委員へのアンケート	内藤 廣	デザインの現場	159	美術学部教員展図録 陶磁	長井 千春	愛知県立芸術大学 紀要	37
コイズミ照明「あかり・人・環境・空間」一照明の今と明日の環境 鼎談 森とあかりとデザインと	C・Wニコル、内藤 廣、梅田 照幸、木村 要一 司会	〃	〃	日々好日 美術と音楽	中井 貞次	新美術新聞	1152
石彫家 内藤文男・内藤和彦「滋賀県立陶芸の森」の縄文石彫群	柴辻 政彦	陶 説	669	第四十回日展に向かつて～各科係主任より～ 作品の内容が展示空間を作る	〃	日展ニュース	130
第27回「土門拳賞」に土田ヒロミ氏 選評	内藤 正敏	毎 日	3.20	アクリリックス・ワールド48 長井朋子	石井 芳征	美術手帖	915
				Creators' Workshop N. G. INC 永井裕明	杉瀬 由希	デザインの現場	161
				はてな?おもしろ浮世絵259~270	中右 瑛	目の眼	376~387
				杜賞(受賞者の言葉) 杜賞を受賞して	中内安紀徳	杜	24

コミックガイド ギャラクシー銀座 尾謙一郎作	ササキバラ・ゴウ	朝 日	9.7
特集 デザインの頼み方 頼まれ方 デザインプロデューサーという仕事 ナガオカケンメイ×紫牟田伸子	猪飼 尚司	デザインの現場	162
今月の読みもの できないかもしれないことを宣言して、笑われながら突き進む。	ナガオカケンメイ	百 科*	544
特集 古典キャラクターの可能性 「古代ロマン」の名のもとに描かれた藤原不比等像 漫画・小説から[長岡良子]	佐藤 敬子	アジア遊学	108
特集 松井冬子 絵画に描かれた痛みと贖罪 松井冬子を撮る・語る	中川 真人	美術手帖	903
島田さんら文化交流使[中川衛]		日 経	6.9
PAPER IN MY WORK 114 ナガクラトモヒコ 代役のない紙	杉瀬 由希	デザインの現場	157
人間交路 長倉洋海 著		日 経	10.5
ひと 写真集「人間交路 SILKROAD」を出版 長倉洋海さん	網谷隆司郎	毎 日	9.13
人間交路シルクロード 中央アジアの女たち 悲しみ吹き飛ばす突き抜ける色彩	長倉 洋海	毎 日 夕刊	9.4
写真 長倉洋海『人間交路』 島尾伸三『中華幻紀』	飯沢耕太郎	"	10.28
中島岳志的アジア対談 長倉洋海さん 共感で写すシルクロード	鈴木 英生 構成	"	12.22
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 中畔千嘉 “コーヒー、紅茶とチョコレートの話”	中畔 千嘉	美術の窓	300
リノベーション住宅 「何も足さない」選択 デザイン力で勝負 [長坂常]	黒沢 綾子	産 経	7.17
すむ 青い集落	中里 和人	芸術新潮	704
作家訪問374 陶芸家 中里花子さん	編集部	目の眼	376

斑唐津の源流	中里 逢庵 陶 説	666
叙勲受章者喜びの声 旭日中綬章 陶芸家中里逢庵氏	日 経	11.3
巻頭特集 猫をうまく描く 技法講座 VOL.12 Part.1 技法編 LESSON4 アクリル 鉛筆で描く マチエールをいかした猫	中佐藤 滋	美術の窓 301
Zero in on 長沢明 トラの跳躍力	篠原 弘	アート・トップ 222
2008年日本建築学会 作品選奨 坂井市立丸岡南中学校[長澤悟]		建築雑誌 1579
特集 学びの場を問う II 学校の「開・閉」をめぐる話題 学校を開く(防犯・安全確保の観点から)	長澤 悟	" 1582
主体展～意思を持って動く生命体～	長沢 晋一	主体美術 83
第55回日本伝統工芸展 競い合う美と技 染織 朝日新聞社賞 友禅訪問着「朝露」 中沢英高	黒田 亮子	朝日夕刊 9.22
永沢まこと イラストレーター、画家「一生の仕事」決めた2冊	永沢まこと	読 売 10.27
中路融人 2006～2007年 作品の解説	中路 融人	金沢学院大学紀要* 6
上野の森美術館「主体展」緊急レポート 「第46回主体展」は上野の森美術館で開催されます。「上野の森美術館」チェックしてきました。	中嶋 修	主体美術 84
視点 京都造形芸術大学モニュメント「悠遠の時空」の制作にあたって	中嶋 一雄	美術の窓 299
独創の画作を刻印した百三歳 片岡球子氏を偲ぶ 父・中島清之との縁、余りに近い存在	中島 千波	新美術新聞 1144
美術学部教員展図録 デザイン	中島 聡	愛知県立芸術大学紀要 37
[共同研究報告] 「SHAIHENS」—海外でのグループ展の試み	荒木伊藤 恵信 高研二 遠藤中島俊市郎 泰史 林	金沢美術工芸大学紀要 52
中島大輔写真集 「each other」	(前)	読 売 12.14

中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[中島千 波]	アート・ トッ プ	219	追悼 赤塚不二夫 もっとオッパイを! 赤塚不二夫追悼余話	長谷 邦夫 水声通信	26
アーティスト訪問60 中島千波	ギャラリ 一*	282	手塚治虫 竹内オサ ム著 苦悩の一生を 細部まで	" 東京	9.21
独創の画作を刻印し た百三歳 片岡球子 氏を偲ぶ 父・中島 清之との縁、余りに 近い存在	中島 千波 新美術新 聞	1144	赤塚不二夫氏を悼む 命削って創造したギ ャグ「人気の最長 不倒距離」生き抜く	" 東京夕刊	8.6
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 中島敏 明 甦る	高山 淳 美術の窓	300	美術学部教員展図録 デザイン	原田 鎮郎 愛知県立 長谷 高史 芸術大学 紀要	37
2008年度新任教員紹 介 芸術教養教育セ ンター教授 中島敏 行	中島 敏行 瓜生通信	44	美術学部教員展図録 デザイン	長谷 高史 "	"
中島奈津子 カタチ にできない感情が重 なり合って響きだす	友澤 宏子 版画芸術	141	たべる お茶漬の流 儀	長友 啓典 芸術新潮	702
SV CUT UP DESIGN BOOKS 『中島英樹 文字とデザイン TYPO-GRAPHICS』	大和田 良 STUDIO VOICE	391	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 永名二 委 魂の手触り	切刀 知子 美術の窓	300
こころの玉手箱 陶 芸家 中島宏 1~5	中島 宏 日経夕刊	12.8~12	日々好日 身辺雑記	長縄 士郎 新美術新 聞	1160
江戸の漆黙々と[中 島泰英]	林 陽一 読 売	9.7	アーティスト訪問55 中西夏之	永松 左知 ギャラリ 一*	277
学校と私 写真家長 島義明さん 15歳で 一人旅 先生と夢語 る	平川 哲也 毎 日 聞き手	8.18	中西夏之、紫を描く 「平ら」への恐怖打ち 消す	小川 敦生 日 経	5.18
アーティスト訪問51 中島由夫	ギャラリ 一*	273	大倉精神文化研究所 の設計過程[長野宇 平治]	安田 徹也 建築史学	50
放射能が奪った「未 来」写す チェルノ ブイリに滞在、旧ソ 連の残像を撮る	中筋 純 日 経	5.20	奇想遺産 旧大倉精 神文化研究所 日本 [長野宇平治]	藤森 照信 朝 日	11.23
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 中瀬千 恵子 響き合う恵み	磯部 靖 美術の窓	300	特集 デザインの頼 み方 頼まれ方 デ ザイナー×クライア ント 幸せの法則 小林幹也&中野豪雄 ×SFIDA	猪飼 尚司 デザイン の現場	162
研究ノート 永瀬義 郎の署名とその読み 方	舟木 力英 茨城県近 代美術館 だより	82	視線 MY LOST AMERICA 中野正 貴著	新井 敏記 朝 日	1.6
建築みやげ・建築グ ッズ 温かみのある 味に風情と人情こめ て	なかだえり 建築雑誌	1581	TOKYO FLOAT 中 野正貴著	日 経	6.8
特殊印刷加工トライ アル 第4回 永田 武史、和紙フィルム に挑戦!	編 集 部 デザイン の現場	157	中野正貴写真集 「TOKYO FLOAT」	(前) 読 売	4.27
			特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 中野靖 子 夢	高山 淳 美術の窓	300
			Artist Interview 90 ナカノヨーコ 羽衣 のメタモルフォーゼ	石田 純子 デザイン の現場	158

夕雲 中野嘉之 あ の時の感動が目覚め る	中野 嘉之	日 経	1. 1	特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! sec- tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	中村 英	美術の窓	300
公募展レポート 中 華民国(台湾)第13回 国際版画ビエンナー レ	中林 忠良	版画芸術	141	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 中村英 悲劇に向かうシンフ オニー	高山 淳	" "	" "
第7回雪舟の里総社 墨彩画公募展2008 雪舟大賞に長原勲氏		新美術新 聞	1159	作家通信 一枚の花 の絵に魅せられて	中村 華玉	趣味の水 墨画	235
こころの玉手箱 ファ ッションデザイナー 一 芦田淳1 中原 淳一先生のデッサン		日経夕刊	6. 2	この1点 中村岳陵 《白狗》		Corridart	1
時代の証言者 ファ ッション芦田淳[中 原淳一]	宮智 泉	読 売		創造神話 母への思 い抽象に潜む[中村 一美]	菅原 教夫	読 売	7. 10
5 人生決めた師 との出会い			9. 30	技と美 8 ファイバ ー芸術家/中村木美	楠元 恭治	美術の窓	299
6 「人任せしな い」姿勢学ぶ			10. 1	Recommend New Designer 中村圭介	中村 圭介	デザインの 現場	159
つかう 男とハウキ	中原慎一郎	芸術新潮	704	点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その5 中 村研一、「裸体」そし て出会い	林 紀一郎	新美術新 聞	1160
調査メモ 2点の 「西郷隆盛像」につい て[中原南溪]	山西 健夫	グリーン ルーフ	66	特集01 町田久美 線の宇宙へ 作品紹 介 唯一無二の絵を 求めて 証言 3 中 村ケンゴ	中村ケンゴ	アート・ ト ッ プ	222
鉄のカップ 廃材か ら息吹 溶接技術駆 使して躍動感、1000 体制作し個展開く	中原 弘	日 経	9. 17	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 中村哲 子 物語性	切刀 知子	美術の窓	300
決然たる人一写真家 中平卓馬	千葉真智子	アルカデ イア	35	ロマンと情緒 中村 彝	蔵屋 美香	太陽(別冊)	154
記録・抵抗・記憶 3 「南島」へ/「南島」か ら(下)[中平卓馬]	小原 真史	10 + 1*	50	近代美術の東京 優 しげなロシア人「エ ロシエンコ氏の像」 [中村彝]	"	読 売	12. 12
交遊抄 カミソリと ナタ[中平卓馬]	森山 大道	日 経	3. 20	特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! sec- tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	中村 輝行	美術の窓	300
中町力 2006~2007 年 作品の解説	中町 力	金沢学院 大学紀要*	6	中村ハルコ写真集 「光の音」	(前)	読 売	11. 2
個人研究・教員年譜 デザイン工芸学科	永見 文人	広島市立 大学芸術 学部紀要	13	コミックガイド セント 聖 ☆おにいさん 中村光作	山脇 麻生 朝	日	2. 3
デザイン専攻 プロ ダクトデザイン領域 Product designにお けるFunctionとEmo- tionの共生	中道 大介	多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集	2008	所蔵品紹介 オペラ グラス 3 中村宏	正路佐和子	エスプラ ナード	151
特集 建築学会作品 賞を問う 京都迎賓 館をめぐる「和」の評 価 II 京都ルポ 現代の「和」とどう格 闘するか 地元建築 家が見た京都迎賓館 と日本の伝統	山本 良介、 若林 広幸、 岸 和郎、 中村 安奈、 神野 太陽 守山 久子 聞き手	建築雑誌	1570	ダブルクリック 中 村不折のこと	安野 光雅	毎日夕刊	4. 15
COVER GALLERY 中村勇大	中村 勇大	瓜生通信	44				

中村正義《舞妓》の発見	笹木 繁男	jaic 会報	12
共同研究「県展・市展の検証」2. 東京都「東京展」と中村正義	"	"	13
第14回足立美術館賞 中村譲氏「海陸風」に決定		新美術新聞	1164
フェイス21世紀114 中本智絵 西洋玩具と古典絵画の邂逅	袴田 智彦	"	1159
第12回読売出版広告賞 特別賞—アスペクト やすらぎ感じる設計	中森 陽三	読 売	1.23
モダニズムノカケラ—中山岩太《福助足袋》をめぐる16	松実 輝彦	美術運動史研究会 ニュース	98
New face at TUAD 2007	中山ダイスケ 近藤 一弥 坂東 慶一 屋代 敏博 岩井 天志 谷 浩二 西澤 高男	東北芸術工科大学 紀要	15
佐々木豊のホンネで ファイト 第16回 古さこそが本当は新しい	佐々木 豊 中山 忠彦	アート・トッ プ	220
座談会「第四十回 日展—新たな一〇〇年へ—」	橋本堅太郎 中山 忠彦 稲元 実 村田 省蔵 蛭田 二郎 奥田小由女 日比野光鳳 清水 透石	日展ニュース	131
特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する!!「公募展とわたし」	中山 忠彦	美術の窓	300
中山忠彦 永遠の女神展 理想の美、40年 追う 妻と自己の成熟描き出す	小塩 節	朝日夕刊	3.24
夫人と「共同制作」 画業たどる展覧会 [中山忠彦]		日経夕刊	2.7
特集 建築ガールズ パワー III 女性建築家に聞く 姉妹が 建築家になるまでの道	永山 祐子、 永山 紀子 談 平塚 桂 聞き手 大津なほ子 文	建築雑誌	1579

巻頭特集 エロティシズム 女性アーティスト5人の感性 インタビュー 永吉友紀		アート・トッ プ	220
特集01 アートの理由 アンケート 若手作家に聞きました[流麻二果]		"	224
特集 新大図鑑2008 若手発掘の最前線 【1】東京オペラシティアートギャラリー —project N Pick up Artist 名知聡子		美術の窓	296
マンガの居場所 連載を終えて10年間を振り返る 複眼的に見せた面白さ	夏目房之介	毎日夕刊	2.6
コミックガイド ハルチン1・2 魚喃 キリコ作	南 信長 朝 日		7.27
美の履歴書074 なぜ蝶は舞えたのか 「蝶図瓶」並河靖之	秋山 亮太	朝日夕刊	9.3
特集 Part. 1 絵を発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する!!「公募展とわたし」	並木 恒延	美術の窓	300
SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト・序論 アーティストによるアーティスト論 奈良美智 コメ文化圏で思うこと	奈良 美智	美術手帖	909
創造神話 ドローイング・ルーム 世界のナラ「生の場」再現 [奈良美智]	菅原 教夫	読 売	9.18
榎橋朝子写真集 「half awake and half asleep in the water」	(前)	"	1.6
成合明彦写真集「松江風景」		"	11.30
巻頭特集 エロティシズム 女性アーティスト5人の感性 インタビュー 成田朱希		アート・トッ プ	220
巻頭特集 猫をうまく描く ⑧技法講座 VOL.12 Part. 2 グラビア編 誌上グラビアで猫を楽しもう 妖艶さ	成田 朱希	美術の窓	301
特殊印刷加工トライアル 第5回 成田久、モノグラムコーディングに挑戦!	編集 部	デザインの現場	158

作品「みなも」「波紋」	成田 喜子	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	13	SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 アーティ ストという生き方1 西尾康之	西尾 康之 榎木 野衣	美術手帖	909
SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 座談会 ゼ ロ年代のリアル	池田 剛介、 大庭 大介、 奥村 雄樹、 塩原 れじ、 田中 功起、 田幡 浩一、 名和 晃平 栗田 大輔 司 構成	美術手帖	909	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ レクション 西岡一 郎 ロマン	高山 淳	美術の窓	300
名和晃平さん 海外 で相次ぎ展覧会 実 在感感わせる彫刻		日経夕刊	8.5	SPECIAL FEATURE あらうんど THE 会 田誠 ふつう研究所 座談会	会田 誠 岡田 裕子、 卯城 竜太、 臼井 良平、 田誠 一郎、 遠藤 聡、 大塚 七歩子、 西岡 三 藤川 公三	美術手帖	907
情報館 東京都現代 美術館「パラレル・ ワールド もうひと つの世界」から 「PixCell [Parakeet]」 名和晃平	関 昭郎	読売夕刊	8.26	公共哲学の装丁につ いて—公共性を意匠 する試み	西岡 文彦	多摩美術 大学研究 紀要	22
視線 ナンシー関全 ハニコ5147 ナンシ ー関著	サエキけん ぞう	朝 日	7.6	作品「密果」「花の芽」 「小花草木」「小花草 木」	西方智衣子	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	13
特集 「世界」を救う ためにデザインがで きること。 デザイン にできることは何か Gマーク審査委 員へのアンケート	難波 和彦	デザインの 現場	159	第45回記念朝日陶芸 展 秀作賞 カンブ リアの系譜 西澤伊 智朗さん	西田 健作	朝日夕刊	4.8
点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その4 難 波田龍起と「青の詩」 の優しさ	林 紀一郎	新美術新 聞	1158	New face at TUAD 2007	中山ダイス ケ 近藤 一弥 坂東 慶一 屋代 敏博 岩井 天志 谷 浩二 西澤 高男	東北芸術 工科大学 紀要	15
(創作ノート) 自己 の発想について	南部 慶晃	沖縄県立 芸術大学 紀要	16	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ レクション 西澤知 江子 光のドラマ	高山 淳	美術の窓	300
デザインはカレーラ イスのように 新居 猛のニーチェが遺 したもの	島崎 信	芸術新潮	698	巻頭特集 地獄絵巡 礼 現代に息づく“地 獄絵”現代作家イン タビュー 西澤千晴		アート・ トッ プ	221
[特集2]現代工芸を 語る 「工芸的造形」 の意義と展望	須田 悦弘、 富田 康子、 新里 明士、 橋本 真之 唐澤 昌宏 進行	現代の眼	571	特集01 アートの 理由 アンケート 若手作家に聞きました [西澤千晴]		〃	224
第3回パラミタ陶芸 大賞展 新里明士氏 に大賞		新美術新 聞	1163	特集 次世代[オル タナティブ・ミュー ジック]ランキング 100!! 2010年代“オ ルタナ”を展望する 決定版! アーティ スト・パーソナルベ スト10! 西島大介	西島 大介	STUDIO VOICE	387
新山清の世界「パー レット時代」	(前)	読 売	12.21				
「異彩の画家」西八郎 の個展		東 京	2.20				

特集 本は消えない！ インターネット以降の本当に面白い雑誌／本の作り方 new printed matter
いま、わたしが読みたいスタジオ・ボイス 西島大介

" " 391

特集 ゲームを作ろう！ 非ゲーム・クリエイターのための入門講座 Video Game ; The Last Creative Frontier Review & Column
いま有効な“アナログ”ゲームとは？

" " 395

SPECIAL FEATURE
名作はいかにして生まれるのか？ スタジオジブリのレイアウト術 COLUMN
マンガ家・西島大介はレイアウトのここを見る！ 破壊ですら美しい映像

" 美術手帖 912

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション
現代作家のベストセクション 西田俊英 レクイエム

高山 淳 美術の窓 300

巻頭特集 猫をうまく描く 技法講座 VOL.12 Part. 2 グラビア編 誌上グラビアで猫を楽しもう神秘的な瞳

西田 俊英 " 301

一枚マンガの折り返し展5 「漫画は時代映す鏡」

西田 淑子 東京 7.1

特集 拡張する「私んち」？ V 拡張する私性：実践編 公共空間を私の部屋で占有

西野 達 談 杉浦 久子 建築雑誌 1575
聞き手 真壁 六郎 文

特集 Part. 1 絵を發表しよう!! section 1 公募団体展で發表する 人気作家が語る!! 「公募展とわたし」

西房 浩二 美術の窓 300

美術家の健康と安全 (4)

西村 公泉 連盟ニュース 426

日々好日 何かを表現する もの作りの情熱

西村 忠 新美術新聞 1159

巻頭特集 いま、立体作家が面白い！ 立体作品に注目、楽しいコレクション グラフィック 西村 亨

アート・トッ プ 219

水と風と光のタイトル F.L. ライトがつくった土のデザイン

西本 剛己 明星大学 研究紀要 16

Recommend New Designer 西山眞司

藤田 千彩 デザインの現場 162

表紙の解説 西山英雄《薩摩雪》

山西 健夫 グリーンルーフ 66

第55回日本伝統工芸展 競い合う美と技術 木竹工 文部科学大臣賞 紫檀木象嵌飾箱 新田紀雲

唐沢 昌宏 朝日夕刊 9.22

SPECIAL FEATURE
蛭川実花による蛭川実花

美術手帖 915

PROJECT02 「過去」から「今」へー

蛭川 実花 談 斎藤 環 聞き手

PROJECT04 カメラと、「世界」と、関係すること

斎藤 環

PROJECT06 生と死の(劇場)

赤坂 真理

PROJECT09 森山大道×蛭川実花 光の色彩、闇の官能

蛭川 実花、森山 大道 談 飯沢耕太郎 司会

旅・色・触感 蛭川実花と森山大道の写真世界

飯沢耕太郎

彩・美・風

蛭川 実花 朝日夕刊 10.1、8、15、22、29

天才の育て方1 写真家蛭川実花のママ宏子さん「観念」と「生理」の産物ね

石川 雅彦 " 12.20
聞き手

写眼 無作為が生み出す世界 蛭川実花「Noir(ノワール)」(平成20年)

篠原 知存 産 経 12.1

蛭川実花、初の大規模個展 極彩色の闇をあらわに

窪田 直子 日 経 11.2

特殊印刷加工トライアル 第8回 二宮大輔、オレンジピール加工に挑戦!

杉瀬 由希 デザインの現場 161

(ヌ)

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション
現代作家のベストセクション 塗師祥一郎 胸中山水のように

高山 淳 美術の窓 300

(ネ)				アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[野田弘 志]	アート・ トッ プ	219
青春の刻6 アカデ ミズムへの反骨精神 が創作の源・根岸嘉 一郎		趣味の水 墨画	237	2008年子年新春企画 年男年女	野田 弘志 新美術新 聞	1140
特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! sec- tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	根本 忠緒	美術の窓	300	中特集 巨匠展—今 そして未来2008— 巨匠展出品作家 野 田弘志	野田 弘志 美術の窓 談 集 部 文責	296
(ノ)				特集 活躍する団塊 世代の作家たち—私 の30歳代と現在— [野田正明]	ギャラリ ー*	280
インスタレーション 演習での複数システ ムを使った作品試作 とレポート	野上 文天	東北芸術 工科大学 紀要	15	美術学部教員展図録 デザイン	野田 理吉 愛知県立 芸術大学 紀要	37
特集 投稿論文「グ ローバリズム」II 投稿論文1 リアル な「地」の魅力	野口 健一	建築雑誌	1583	巻頭特集 ドローイ ング・デッサンの技 を磨く ④技法講座 VOL.10 国展作家 が語る わたしにと つてのデッサン・ド ローイングとは?	野々宮恒人 美術の窓	298
研究報告1.野口小嶺 「山水図屏風」につい て—描かれた「赤壁 賦」を中心に—	山盛 弥生	実践女子 学園香雪 記念資料 館館報	5	追悼抄 野々村一男 さん 101歳 妥協せ ず彫り続け	小山 内晃 読売夕刊	3.18
特集 デザインの頼 み方 頼まれ方 デ ザイナー×クライア ント 幸せの法則 野口孝仁×パークプ ロジェクト	高橋 美礼	デザインの 現場	162	アトリエ日記50~61	野見山曉治 美術の窓	292~303
山下裕二の今月の隠 し球37、38 野口哲 哉「シャネル侍、広 島から銀座に参上」 (上)(下)	山下 裕二	美術の窓	292、293	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 野見山 曉治 自在に遊ぶ	高山 淳 "	300
技と美5 ガラス造 形作家ノグチミエ コ	楠元 恭治 取材・文	"	296	闇の役者たちと	野見山曉治 日 経	3.9
第10回シャチハタ・ ニュープロダクト・ デザイン・コンペテ ーション開催 これ までのグランプリ受 賞作[野澤多恵]	川上典李子	デザインの 現場	161	私の3作 野見山曉 治さん	岸 桂子 毎 日	6.16
コラム 写真館の建 築—野島康三の場合	光田 由里	建築雑誌	1583	上『廃坑(A)』 ボタ山に見た人工 の自然		6.30
[特集]二〇〇七年の アーティスト・トー ク 所蔵作品展のアー ティスト・トーク から	野田 哲也	現代の眼	568	中『人』 具象を 超えた山水画の境 地		7.7
日々好日 初老を迎 えて	野田 哲也	新美術新 聞	1167	下『大昔のこと』 「緻密な空白」を目 指して		9.8
Recommend Orbi- tuary 追悼 野田風	副田 高行	デザインの 現場	162	過ぎゆく夏 海で頭 をカラッポにして	野見山曉治 毎日夕刊	9.8
				A tale of…… 野村 佐紀子 朝5時ごろ の、不安な感じ	(根) アート・ トッ プ	224
				夜間飛行 野村佐紀 子著	日 経	12.14
				特集 Gravure Magic ! グラビア写真の 魔力!! Interview & Column 野村誠一 インタビュー:“顔” の底力!	編 集 部 インタヴュー・文	STUDIO VOICE 389

フロント4 グラビ
ア写真家1 光操り
「美しいショック」
野村誠一さん

前田 恭二 読 売 1.29

点鬼簿の作家像スケ
ッチ帳 その9 野
村千春・『たきび』・
黒い風景

林 紀一郎 新美術新 1171

コミックガイド と
ろける鉄工所 野村
宗弘作

南 信長 朝 日 12.7

(ハ)

REVIEWS 01 人間
の生と死に世界で最
も真摯に向き合った
写真家

ハービー・ 美術手帖 908

制作ノート 袴田京
太朗

袴田京太朗 武蔵野美 38

特集 中島らも バ
ッド・チューニング
の作家 回想と連想
半分人間半分妖精

萩尾 望都 ユリイカ 547

特集 母と娘の物語
一母／娘という呪い
対談 少女まんがと
「母殺し」の問題

斎藤 環、 萩尾 望都 559

第12回 手塚治虫文
化賞 短編賞「グー
グーだって猫である」
大島弓子さん

萩尾 望都 朝 日 5.10

私が選んだこの一冊
萩原としをさん「悪
党芭蕉」

早瀬 圭一 毎 日 4.2

追悼 萩原英雄 反
骨精神にみる萩原芸
術の軌跡

向山富士雄 県美協力 29

雪に閉ざされた、繁
栄の跡 元毎日新聞
カメラマン萩原さん
全国炭坑跡の写真集
出版[萩原義弘]

沢田 猛 毎 日 2.4

萩原義弘写真集
「SNOWY」

(前) 読 売 1.27

杜賞 講演会報告
杜の会主催 新入生
歓迎「風とロック
と取手」箭内道彦氏
講演会

橋本 和幸 杜 24

理想を求めて 橋本
雅邦

植田彩芳子 太陽(別冊) 154

美の履歴書 044 な
ぜ臨場感があるのか
「琴棋書画」 橋本雅
邦

大室 一也 朝日夕刊 2.6

南画と個性派 橋本
関雪

鶴見 香織 太陽(別冊) 154

座談会「第四十回
日展—新たな一〇
〇年へ—」

橋本堅太郎
中山 忠彦
稲元 実
村田 省蔵
蛭田 二郎
奥田小由女
日比野光鳳
清水 透石

日展ニュー 131

美術家の健康と安全
(5)

橋本 弘安
尾藤 衡己 連盟ニュー 427

カルチャ場 国際芸
術センター青森 銅
版画スタジオ 森の
力感じて 巨大版画
作り[橋本尚恣]

新谷 祐一 朝日夕刊 1.22

彫刻に就て—橋本平
八再考—

鈴木 正子 芸術学研 2

インヴァリアンツ3
石と鉤十字[橋本平
八]

平倉 圭 10 + 1 * 50

橋本平八の作品と彫
刻観

鈴木 正子 美術運動 92

フロント4 グラビ
ア写真家2 女性の
気持ちと握手 橋本
雅司さん

前田 恭二 読 売 1.30

[開館30周年記念展
II 工芸のカー21世
紀の展望]トークイ
ベントから

橋本 真之、
唐澤 昌宏 現代の眼 569

[特集2]現代工芸を
語る「工芸的造形」
の意義と展望

須田 悦弘、
富田 康子、
新里 明士、
橋本 真之、
唐澤 昌宏

571

技法・材料にせまる
アトリエ5.5畳!

橋本 礼奈 主体美術 83

風雅月記 長谷川逸
子さん

朝日夕刊 1.18、
2.15、
3.14

青春プレイバック
長谷川昂 東京都中
野区若宮 アトリエ

林 茂樹 新美術新 1170

反抗と前衛 長谷川
三郎

大谷 省吾 太陽(別冊) 154

特集Part. 2 美術
の窓 300号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
レクション 長谷川
仂 変わらない町と
人

高山 淳 美術の窓 300

生誕100周年記念特
集 東山魁夷 国民
画家の素顔 Kaii ア
ラカルト 長谷川利
行との出会い

東山 魁夷 芸術新潮 701

反抗と前衛 長谷川利行	大谷 省吾	太陽(別冊)	154	土曜訪問 自然と人間の理想郷を描く 畑中純さん(マンガ家)	大日方公男	東京夕刊	11.1
接合美	長谷川 創	多摩美術大学研究紀要	22	アトリエの扉をあけて77 波多野光 普遍性を求めて	杉瀬 由希	デザインの現場	157
長谷川町子と田河水泡	橋本野乃子	SAZAE通信	4	調査メモ 2点の「西郷隆盛像」について[服部英龍]	山西 健夫	グリーンルーフ	66
サザエさんの草稿 ノート[長谷川町子]	〃	〃	5	アムドの「六月会」の祭とその聖なる表標—科学研究費・国際学術調査によるチベットの造形と表現の研究—	服部 等作	広島市立大学芸術学部紀要	13
巻頭特集 エロティシズム 女性アーティスト5人の感性証言 長谷川ゆか		アート・トップ	220	個人研究・教員年譜 デザイン工芸学科	〃	〃	〃
視点 日本には本当にアートが必要なのだろうか?	長谷川ゆか	美術の窓	297	現代工芸作家シリーズ35 魔術師たちの贈り物 服部真紀子	富田 康子	アート・トップ	220
新校舎設立特集 千秋堂[長谷川好人]	青山 真樹	瓜生通信	44	現代工芸作家シリーズ37 魔術師たちの贈り物 花岡和夫	〃	〃	222
オーサー・ビジット リンゴの絵でコラボ 長谷川義史さん @ 長野市立通明小	谷 はるか 朝 日	2.16		第7回全日本モノクロ写真展 9月12日から都内で展示 人生の陰影切り取る プリント技術の向上が課題に	英 伸三	朝日夕刊	8.11
鬱々記[長谷川路可]	丹尾 安典 一 寸	34		ルノワール 色の魔術師	ハナブサ・リュウ	太陽(別冊)	ルノワール
例会・研究発表要旨 東部会 平成二〇年度第一回例会 チヴィタヴェッキアの日本聖殉教者教会における長谷川路可の壁画装飾について—建築と壁画が醸し出す調和の響き—	高橋 妙子 美 学	233		エッセイ 幸福の象徴としての「浴女」			
写実の系譜Ⅱ 大正の写実主義 秦テルヲ	小倉 実子	太陽(別冊)	154	エッセイ 芸術一家、ルノワール家の人々			
京友禅に生きた匠 森口華弘・羽田登喜男両氏を悼む	河上 繁樹 朝 日	2.28		ルノワールゆかりの地を訪ねて			
追想録 羽田登喜男さん(染織家) 着映え優先、芸術性も追求		日経夕刊	3.21	デザイン専攻 情報デザイン領域 絵画—装置と物語の融合	花村 明良	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2008
[特集]二〇〇七年のアーティスト・トーク 「工芸館30年のあゆみ」展ギャラリートークから	畠山 耕治 畠山 談	現代の眼	568	CSCD コラム/コミュニケーションの風景7 もう一つのエコロジカルな風景	花村 周寛	季刊Plug	11
ノートから 写真に見る表現と社会[畠山直哉]	手塚さや香 毎 日	3.3		版画実践講座 木版コラグラフ多色刷り	花村 泰江	版画芸術	139
近代美術の東京「川の連作より」 畠山直哉・撮影	増田 玲 読 売	7.11		如是我聞	花山 智久	大阪成蹊大学芸術学部紀要	4
『The NIHONGA—伝統と創造—』第1回展開催にあたって 世界性ある日本画の創造へ	畠中 光享 新美術新聞	1154		SV ART ART SPACE 花代	かないみき	STUDIO VOICE	387
				MAGMA 花代	中島 水緒	美術手帖	906
				羽場文彦 2007年作品の解説	羽場 文彦	金沢学院大学紀要	6

特集 木造建築の到達点 VIII 名木の命 名木の命をまっとうさせる	羽深 隆雄 語り手 透 細野 聞き書き	建築雑誌	1581	特集 ゲームを作ろう! 非ゲーム・クリエイターのための入門講座 Video Game; The Last Creative Frontier 鼎談: 針谷建二郎×メテクロ×林絵美子	編集部	STUDIO VOICE	395
作家訪問376 染色家 羽瀨祐宏さん	編集部	目の眼	378	青春プレイバック 林錦洞 東京都葛飾区 貞林院瑞正寺	宗像 克元	新美術新聞	1148
インスピレーションアート 浜昇『Vacant land 1989』	幕沢 剛巳	A X I S	133	第30回記念十果会	林 敬二	"	1156
欲望漂う「バブルの空き地」活写[浜昇]		読 売	6.19	十果会第30回記念座談会[林敬二]	宝木 範義	"	"
特集 若林奮 彫刻家の横顔一車と若林奮	濱 素紀	Corridart	1	コラム 変わるもの、変わらないもの	林 昌二	建築雑誌	1570
わたしの宝もの41 カエル茶碗と私	濱岡 朝子	新美術新聞	1164	特集 批判的工学主義に向けて III 工学主義の先駆け その建築が社会を創る	林 昌二 談 柄沢 祐輔、 南後 由和、 藤村 龍至 聞き手・文	"	1577
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 浜口美和 生きている自然	高山 淳	美術の窓	300	総特集 杉浦日向子回想 スズメが好きだった日向子さん	林 丈二	ユリイカ	557
思い出の作家たち 平岩攻遺作展にて再び「平岩攻」さんに会う	浜田 賢治	美術運動	135	図画教育者列伝(三) 林竹治郎(その一)	金子 一夫	一寸	33
根源を求めて	濱田 樹里	名古屋造形芸大紀要*	14	美の履歴書 062 自然な姿を撮れたわけ「太宰治」 林忠彦	古賀 太	朝日夕刊	6.11
バーナード・リーチの工房再建 友人・浜田庄司と英に築く	本間 圭一	読 売	3.7	技と美 3 立体造形作家/林範親	楠元 恭治	美術の窓	294
日々好日 秋野不矩先生の思い出	浜田 泰介	新美術新聞	1168	[共同研究報告] 「SHAIHENS」—海外でのグループ展の試み	荒木 恵信 伊藤 英高 遠藤 研二 中島俊市郎 林 泰史	金沢美術工芸大学 紀要	52
Exhibition Special 浜田知明の版画		ギャラリー一*	273	作家訪問383 針金造形作家 林雄三さん	編集部	目の眼	385
「洋画家・濱松小源太」調査報告	木村 雅洋	秋田美術	44	陶板画絵本 少女の運命 緻密な文様で[葉山有樹]	黒沢 綾子	産 経	2.26
古代人の暮らし絵で再現 各地の遺跡発掘現場訪ね、旧石器から奈良時代まで描く	早川 和子	日 経	1.24	人間発見 美は細部に宿る 1~4 陶芸家 葉山有樹さん	西山 彰彦 聞き手	日経夕刊	9.16~19
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 早川義孝 内なる祝祭	高山 淳	美術の窓	300	平塚市美術館—ただいま「速水御舟展」にむかって邁進中	草薙奈津子	ARTLET	29
〈特集・座談会〉卒展 2008 内面世界を追求したいけど…美大を出た後はどうやって発表していく? [早川陽]		ギャラリー一*	275	名画から知る水墨画技法 5 膠を使った「にじみ」の表現—御舟に学ぶ	島尾 新、 藤崎 千雲	趣味の水 墨画	233
〈特集・座談会〉卒展 2008 内面世界を追求したいけど…美大を出た後はどうやって発表していく? [林朝子]		"	"	墨のある風景 速水御舟《名樹散椿》	山崎 妙子	"	235
				写実の系譜 II 大正の写実主義 速水御舟	小倉 実子	太陽(別冊)	154

視点	速水 史朗 美術の窓	追悼 「幸子さんや すらかに」	原澤 泰子 主体美術	83
八郎湯とかたの八郎(1)(2)	292、293	Osamu's Invitation 4~15	原田 治 芸術新潮	697~708
宝物のような素材 と向きあう	294	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 原田規 美恵 曼荼羅	高山 淳 美術の窓	300
さようなら文化会 館	295	美術学部教員展図録 デザイン	原田 鎮郎 愛知県立 長谷 高史 芸術大学 紀要	37
モニュメントの引 越	297	原田泰治さん作品に 贋作 100万円で買 ったのに えっ美術 館に同じ絵	遊座 武 朝日夕刊	1.28
ひらけた空間の彫 刻	299	人生の贈りもの 画 家原田泰治 1~5	平出 義明 〃	8.4~8
大阪で出合ったモ ディアーニ(前 編)(後編)	300、301	あの人に迫る 足元 にある宝物大事にか きたい 原田泰治 画家	福沢 幸光 東京夕刊	2.15
普通寺の月照上人 と信海上人	302	原風景は心の故郷 原田泰治さんに聞く “足元の宝物”大切に 大地に根ざす営み描 写	榎木 誠 日経夕刊	7.10
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 速水史 朗 風景に溶け込む かたち	小森佳代子 〃 300	写実の系譜 I 西洋 画への憧憬 原田直 次郎	古田 亮 太陽(別冊)	154
作家の目 速水史朗	速水 史朗 〃 303	原田直次郎と森鷗外 —新関公子氏の著書 にふれて	児島 薫 美術運動 史研究会 ニュース	95
特集 印刷大好き! I LOVE Printing 印刷と色 1 原研哉 が語る多彩な黒	杉瀬 由希 デザイン の現場 158	第六十一回全国大会 研究発表要旨 原田 直次郎「騎龍観音」 (一八九〇)における 「帝国日本」の寓意— バウアリアから護国 寺へ—	長田 謙一 美術史	165
第10回シヤチハタ・ ニュープロダクト・ デザイン・コンペテ ィション開催 審査 員からひとこと	原 研哉 〃 161	視点 アートプログ ラム青梅二〇〇八 「空気遠近法—U39」	原田 丕 美術の窓	302
いと、ひと、よのこ と 感覚に寄り添う ハイテク繊維	〃 朝日夕刊 7.11	海外に学び日本に学 ぶ 抽象の肌触り	原田 真宏 建築雑誌	1577
フォーカス 英仏で 「白一の日本車」並 べたデザイン展 原 研哉氏 機能を示し 「車の明日」展望	野見山祐史 日経夕刊 12.16	SV ART ART SPA- CE パラモデル	住吉 智恵 STUDIO VOICE	394
巻頭特集 写実技法 がよくわかる④技法 講座 VOL. 8 スペ シャル・インタビュー キャンパスの中 に世界をつくるとい うこと	原 崇浩 美術の窓 294	アクリリックス・ワ ールド45 パラモデル	石井 芳征 美術手帖	907
現代美術の歩き方 今月の一品 原高史 Pocket book Canvas No. 1	(細川) 〃 296	アートユニット「パ ラモデル」東京へ 現代美術と社会結ぶ	大西 若人 朝 日	10.2
別冊「版画芸術」の作 家 原健	秋田 真波 版画芸術 139	EXTRA COLUMN 落語、時代劇、『や じきた道中 てれす こ』!	バルコキノ シタ STUDIO VOICE	390
Close-up81 原雅幸 風景を描くためには そこに住まなくては いけない	〃 ギャラリ ー* 277			
BAD INTERVIEW 原芳市	山内 宏泰 インタビュー・文 STUDIO VOICE 393			

わが絵画人生 春田
心斎さんに聞く「斬
新さ」は色あせる
孤独の中、独創性磨
く

竹田 博志 日経タリ 11.6

特集 都市のリテラ
シー II 実践 近
未来「生きられる公
共空間」

韓 亜由美 建築雑誌 1574

たいせつなものシリ
ーズ1 いのち[坂
知夏]

栗田 大輔 美術手帖 905

特集 Part. 2 美術
の窓 300 号の歩み&
ベストセクション
現代作家のベストセ
クション 番洋
美のカノン

高山 淳 美術の窓 300

特集 CREATORS
OF 2008 2008年を
創る20人のクリエイ
ターたち! アーテ
ィスト 半田真規
「真っ只中」感と、サ
バイバルしていく感
覚

坂口チアキ STUDIO
VOICE 385

SPECIAL FEATURE
日本のアーティスト
・序論 アーティスト
によるアーティスト
論 半田真規
瞬一瞬の情景を焼き
なおしている感覚

半田 真規 美術手帖 909

つかう 宇宙に浮か
ぶ

伴田 良輔 芸術新潮 698

SV ART PHOTO
GALLERY YOSUKE
BANDAI[万代洋輔]

千葉 正也 STUDIO
VOICE 389

New face at TUAD
2007

中山ダイス
ケ 近藤一弥 東北芸術
工科大学 15
坂東慶一 紀要
屋代敏博
岩井天志
谷浩二
西澤高男

(ヒ)

《特集=PH スタジオ
の12年プロジェクト
をめぐって》

あいだ 146

1 『船をつくる
話』の話

村田 信

2 ダム湖の「船」
は何を乗せたかー
映画『船、山にの
ぼる』を製作して

本田 孝義

たべる 私のA定食

日置 武晴 芸術新潮 701

PICK UP Exhibition
日影眩の360°のニ
ューヨーク[番外]
日影リターンズ

日影 眩 ギャラリー 273

新作版画集・新刊書
籍 実像になった儂
くも美しい一輪の花
東恩納裕一『FLOW-
ERS』

友澤 宏子 版画芸術 139

みる 東野翠れん 芸術新潮

冬の庭 700

古本の村 703

広がる庭 706

大特集 北京 北京
八景 七 雑貨 暮
らしが宿るもの

" " 704

Zero in on 河嶋淳
司が東山魁夷を語る
心眼の射抜いた風景

河嶋 淳司 アート・
トップ 220

生誕 100 周年記念特
集 東山魁夷 国民
画家の素顔

芸術新潮 701

第1章 風景画家
の出来るまで 編 集 部

第1章 風景画家
の出来るまで 新 東山 魁夷
生

Kaii アラカルト
長谷川利行との出
会い

"

第2章 生誕100
年展へようこそ! 尾崎 正明、
鶴見 香織
談

[特集1] 生誕100年
東山魁夷 現代の眼 569

喪失と再生—《残
照》雑感 柏木 智雄

東山魁夷《冬華》を
めぐって 星野 良史

東山魁夷 日本人が
最も愛した画家 太陽(別冊) 151

生誕一〇〇年を迎
え、国民的画家・
東山魁夷の真価を
解く 菊屋 吉生

唐招提寺御影堂に
東山魁夷を訪ねる
青の世界 東山芸
術の魅力1 巨匠
の「青」、その特質

野地耕一郎

唐招提寺御影堂に
東山魁夷を訪ねる
墨の世界 東山芸
術の魅力2 彩色
の鮮やかさから、
単色の極みへ

西田 桐子

東山魁夷の芸術 新しい時代の日本 画を求めて 1947 〜59 風景画家の 道を歩みだす	飯尾由貴子			巻頭特集 猫をうまく描く ⑧技法講座 VOL. 12 疋田正章 インタビュー	疋田 正章 談	美術の窓	301
column 「道」の成 立をめぐる	浅野 秀剛			技と美 9 石彫作家 樋口恭一	楠元 恭治	"	300
column 模索と試 行錯誤の時代	菊屋 吉生			Artist Interview 92 樋口たつの 筆跡に にじみ出る日々の喜 び	石田 純子	デザインの 現場	160
東山魁夷の芸術 20世紀を代表する 風景画の数々 1960〜99 往来と 循環を重ねながら 画と向きあう	"			第四十回日展に向か って〜各科係主任よ り〜 感動と創造力 そして私の冬の旅	樋口 洋	日展ニュー ース	130
column 東山魁夷 と古美術一川端康 成との巡り合い	伊藤 羊子			特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 樋口洋 明るい波動	高山 淳	美術の窓	300
column 心のふる さと一信州と東山 魁夷	松本 猛			樋口探月斎守保とい う画家一依田学海、 八田知紀、五姓田芳 柳、黒田清輝等との 関係をめぐって一	岩切信一郎	一寸	36
風景画家が生まれ るとき 東山はい かにして「魁夷」に なったのか	菊屋 吉生			SPECIAL FEATURE あらうんど THE 会 田誠 先生、僕に「絵 画」を教えてください!	会田 誠、 彦坂 尚嘉、 辰野登恵子、 古谷 利裕 談	美術手帖	907
風景画家が生まれ るとき 画技修得 に精進する日々 1926〜35 写生と 新興大和絵との融 合	"			INFORMATION AU- THER この本の著 者に会いたい 彦坂 尚嘉、ラディカルな 精神を物語る論文集	中島 水緒	"	911
column 教えを受 けた師、ともに歩 いた仲間たち				工芸専攻 金属領域 物の存在	彦坂 玲子	多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集	2008
column 西洋美術 から見たもの一 東山魁夷のドイツ 留学	中村 尚明			一枚マンガの折り返 し展4「原点の再 発信に意義」	ヒサクニヒ コ	東京	6.30
風景画家が生まれ るとき ドイツか ら帰国して 1935 〜46 日本画の可 能性を求めたさま ざまな試み	菊屋 吉生			特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 飛澤行 雄 呼吸する花鳥画	高山 淳	美術の窓	300
ひとすじの道	真田 邦子			オルタナティブ・ダ ンシング3「死体」 について[土方巽]	木村 覚	10 + 1*	50
column 五輪に“出 場”した東山魁夷 ーベルリン・オリ ンピック芸術競技	菊屋 吉生			土方巽著『病める舞 姫』のオリジンを探 る(第十章による) (第十一章による)	中村 文昭	日本大学 芸術学部 紀要	47、48
芸苑雑事記187 下 蒲刈島の魁夷と川崎 一門展[東山魁夷]	瀧 悌三	美術の窓	298	美術家たちの「南洋 群島」展 上 土方 久功「原始」	滝沢 恭司	東京	5.27
「川崎小虎と東山魁 夷展」関連講演会「小 虎と魁夷の思い出」	川崎 鈴彦 田中 晴久 聞き手	山梨県立 美術館研 究紀要	22	美術と文学の交差試 す「パラオーふたつ の人生」展[土方久 功]	宝玉 正彦	日 経	1.9
生誕100年東山魁夷 展特集 造形の深み 追い続け 自然に迫 る一筋の道	宝玉 正彦	日 経	3.29				

資料紹介 高橋錬逸 宛菱田春草書簡	小島 淳	飯田市美術博物館 研究紀要	18	文化往来 美術家と 演劇人が出会うヒノ キ舞台[日比野克彦]	〃	9.11
特集 絵画を読み解 く一文学との邂逅 能と絵画—菱田春草 の「菊慈童」と「砧」	小林 健二	国文学解 釈と鑑賞	931	野田秀樹・日比野克 彦 美術館で学生ら と「芝居作り」	高橋 豊 毎日夕刊	8.27
墨のある風景 菱田 春草《黒き猫》	三宅 秀和	趣味の水 墨画	234	座談会「第四十回 日展—新たな一〇 〇年へ—」	橋本堅太郎 中山忠彦 稲元実 村田省蔵 蛭田二郎 奥田小由女 日比野光鳳 清水透石	日展ニュー ース 131
装飾表現の試み 菱田春草 朦朧体からの脱却	中村 麗子	太陽(別冊)	154	人・コラボレーショ ンプロジェクト—イ ンターンシッププロ グラムの可能性—	日比野ルミ	名古屋造 形芸大紀 要* 14
美の美 日本画近代 化の旗手—菱田春草 上、中、下	浦田 憲治	日 経	11.23、 30、12.7	報告4:名古屋造形 芸術大学の美術教育 —実技科目の現実と 課題—	〃	〃
TOKYO あにめのま ーち18 キャラと一 緒に「リベンジ」[日 高亜矢]	加納 昭彦 竹井 陽平	読 売	4.1	写実の系譜I 西洋 画への憧憬 百武兼 行	古田 亮	太陽(別冊) 154
特集 デザインの頼 み方 頼まれ方 GReeeeN 100万枚 アーティストの生み 出した。[日高英 輝]	大城 譲司	デザインの 現場	162	思い出の作家たち 平岩攻遺作展にて 再び「平岩攻」さん に会う	浜田 賢治	美術運動 135
彫刻家の現場から38 日高頼子	武田 厚	美術の窓	297	第30回記念十果会	平岡 靖弘	新美術新 聞 1156
From the Collection 日高理恵子《空との 距離 III》2004年	松下 由里	GMAT News	26	十果会第30回記念座 談会[平岡靖弘]	宝木 範義	〃 〃
巻頭特集 いま、立 体作家が面白い! 立体作品に注目、楽 しいコレクション グラフィック 一鉄 田徹		アート・ ト ッ プ	219	第20回「京都美術 文化賞」受賞者のこ とば	平岡 靖弘	美術京都 39
日々好日 大島遠望	日野耕之祐	新美術新 聞	1143	特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! sec tion 1 公募団体展 で発表する 人気作 家が語る!!「公募展 とわたし」	〃	美術の窓 300
アートシティヨコハ マガイドブック 横 浜トリエンナーレの 街を歩く 第1部イ ベントガイド この 人に聞きました、ハ マトリができるまで 1 建築家 日埜直 彦さん	白坂 ゆり 取材・文	美術手帖	914	粹だね「現代の絵師」 風流を巧みに織り交 ぜた画家・平賀敬の 素顔	松崎 剛之	日 経 3.31
特集 パブロ・ピカ ソ ピカソの肖像 ピカソの話	日比野克彦	ユリイカ	558	特集 慈しまれる? モダニズム建築 II 事例 蘇った?メタ ボザウルス・都城市 民会館	ヒラカワヤ スミ	建築雑誌 1571
全国での個展やワー クショップを通して 日常から「きれい」伝 えたい 日比野克彦、 充実の50歳へ	大西 若人	朝日夕刊	3.5	良寛 聖にあらず、 俗にもあらず コラ ム 良寛に魅せられ た人々[平櫛田中]	編 集 部	太陽(別冊) 153
記憶の中の名画十選 1~10	日比野克彦	日 経	7.7、8、 10、11、 15、16、 18、21~ 23	彼らの第4 コーナ ー 平櫛田中1~4	榎木 誠	日 経 10.5、 12、19、 26

2008年日本建築学会 作品選奨 東洋ロキ グローバル本社ビル [平倉章二]	建築雑誌	1579							
特集 アーキニアリ ング・デザイン展を 10倍楽しむ方法 II アーキニエリング・ デザインを巡るキー ワード 自由な	平倉 章二	"	1581						
特集 石本正の思い 絵をかくこと一ふる さとの友・石本画伯 そして自分(講演録)	平坂 常弘	石見美術	6						
インスピレーション 建築 横トリにあら わる“家型問題”[平 田晃久]	ぼむ企画	A X I S	135						
平野恵理子の身近雑 貨	平野恵理子	読売夕刊	1.4、18、 2.1、15、 29、3.14、 28、4.11、 25、5.9、 23、6.6、 20、7.4、 18、8.1、 22、9.5、 19、10.3、 7、31、 11.14、 28、 12.12、26						
作品 「鈎窯釉壺」	平野庫太郎	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	13						
特集01 アートの 理由 アンケート 若手作家に聞かまし た[平野健太郎]		アート・ トッ プ	224						
特集 本は消えな い! インターネッ ト以降の本当に面白 い雑誌/本の作り方 new printed matter ZINE & MINI COM- MUNICATION 写真 家・平野太呂のジン の履歴書	平野 太呂 談	STUDIO VOICE	391						
特集 写真集の現在 2008 PHOTOBOOKS NOW PHOTO & IN- TERVIEW 写真とい う謎に向かって 対 談: 姫野希美×平野 太呂	編集 部 インタヴ ー・文	"	394						
巻頭特集 「僕らの 現実」を描き続けて 去った人 没後3年 石田徹也 13年の画 業と知られざる素顔 友人・恩師らが語る 石田徹也知られざる 素顔 1	平林 勇 談	美術の窓	302						
特集 新大図鑑2008 若手発掘の最前線 【2】 東京都/トー キョーワンダーウォ ール Pick up Artist 平林貴宏									296
赤川菊村が見た百穂 一その遺稿が語る画 人の横顔一[平福百 穂]	山本 丈志	秋田美術	44						
附・「生誕130年平福 百穂」出版作品	"	"	"						
南画と個性派 平福 百穂	鶴見 香織	太陽(別冊)	154						
写眼 舞踊家の「闇」 を撮る 平間至「田 中浜一場踊り」	酒井 潤	産 経	4.7						
青春プレイバック 平松譲 東京・八王 子市タヤけ小やけふ れあいの里	宗像 克元	新美術新 聞	1156						
交遊抄 魔性的魅力 [平松礼二]	永井 美之	日 経	7.7						
《美術時評》 美術の 俗物主義一平山郁夫 現象をめぐって	藤枝 晃雄	あ い だ	144						
江上波夫先生の思い 出	平山 郁夫	古代オリ エント博 物館紀要	28						
特別対談 日本人の 美意識	平山 郁夫 高階 秀爾	新美術新 聞	1163						
中特集 平山郁夫		美術の窓	295						
北京での平山郁夫 展に寄せて	高階 秀爾								
平山郁夫 今	小宮 浩								
トビックス 中国美 術館における「平山 郁夫芸術展」	"	"	297						
トビックス 平山郁 夫シルクロード美術 館新館完成!!	編 集 部	"	300						
片岡球子さんを悼む 信念貫いた情熱の色 彩	平山 郁夫	朝 日	1.22						
平山郁夫さん、美術 館の増築完成 「夢 の中でも描いている」	"	"	7.29						
日本一の塔を見上げ る 今週の案内人 日本画家 平山郁夫 さん	平山 郁夫	朝日夕刊	11.25						
片岡さん死去「豪快」 こそ個性 描く人物 に共感、作品深化 刺激を受け続けた 日本画家平山郁夫さ んの話	稲葉 千寿	東 京	1.22						

美術館への招待 平山郁夫シルクロード美術館「創作の源」集大成	"	東京夕刊	7.17	彫刻家の現場から43 蛭田二郎	武田 厚	美術の窓	302
片岡球子さんを悼む 力強い筆致と豊かな色彩	平山 郁夫	日 経	1.23	彫刻家の現場から42 広井力	"	"	301
平山画伯の作品 北京の迎賓館に	佐藤 賢	"	4.19	赤塚不二夫さん死去 喪失感ひしひし	弘兼 憲史	毎 日	8.3
モノも人も一緒に守る アジアの文化財保護40年の教え 日本画家平山郁夫さん	小川 敦生 聞き手	日経夕刊	12.10	「銀塩写真残そう」 プロ写真家連携[広川泰士]	古賀 太 朝	日	11.11
片岡球子さん 形、色彩、奔放に「描きたいもの」に情熱注ぐ 生き方を学んだ	平山 郁夫	毎 日	1.22	OWLの栖む井戸ー 柳原睦夫展	廣崎 裕哉	陶 説	666
私の3作 平山郁夫さん	岸 桂子	"		EXTRA COLUMN WACOM UPDATE OUR CREATIVITY インタビュー ヒロ杉山	編 集 部	STUDIO VOICE	385
上 「仏教伝来」 玄奘に重ねた戦争体験			4.7	芸苑雑事記188 夜会、広田稔、ドガ	瀧 悌三	美術の窓	299
中 「塵耀のトルキスタン遺跡」 荒涼の大地を叙情的に			4.21	人生の贈りもの アーティストヒロヤマ ガタ1〜5	田中 啓介 聞き手	朝日夕刊	7.14〜18
下 「平成の洛中洛外図」 古さと新しさの共存願ひ			4.28	(フ)			
私の一作1 書の名宝展から	平山 郁夫	"	7.17	建築年報 2008 II 視点 建築の縄張り	深尾 精一	建築雑誌	1580
平山郁夫展 at 百段階段 日本の伝統美を表現	前谷 宏	"	12.3	「デザインとはこのことである」『アキツレ・カスティリオーニ 自由の探求としてのデザイン』多木陽介著	深澤 直人	A X I S	131
片岡球子さんをしのぶ 独自の造形と後進指導	平山 郁夫	毎日夕刊	1.24	本づくし	"	"	
片岡球子先生を悼む 平山郁夫(日本画家) 強烈な個性 クリーンな意志	"	読 売	1.22	「皮膚で考える」 『第三の脳 皮膚から考える命、こころ、世界』傳田光洋著			132
平山郁夫氏が新作寄贈	高野 清見	"	4.19	「今までとは違うデザインのしかた」 『ナガオカケンメイのやりかた』ナガオカケンメイ著			133
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 平山隆也 公募展は、私の彫刻の原点	高山 淳	美術の窓	300	「アートとデザインの違い」『芸術家とデザイナー』ブルーノ・ムナリーリ著			134
座談会 「第四十回 日展―新たな一〇〇年へ―」	橋本聖太郎 中山 忠彦 稲元 実 村田 省蔵 蛭田 二郎 奥田小由女 日比野光鳳 清水 透石	日展ニュース	131	「素材の魂」『Super Potato Design』マイラ・ロッヒャー著			135
				「ふとしたとき」 『袖珍版 芭蕉全句』堀信夫監修			136
				インスピレーション インテリア キメ細やかな曲線と仕上げ 深澤直人デザイン「HIROSHIMA」	川上典李子	"	133

特集 デザイナーが 会いたかった人たち 深澤直人が坂本龍一 に尋ねる	A X I S	134
コラム 環境と行為 に相即するデザイン	深澤 直人	建築雑誌 1574
第10回シャチハタ・ ニュープロダクト・ デザイン・コンペティ ション開催 審査 員からひとこと	"	デザインの 現場 161
展覧会レビュー Spotlight 多摩美術 大学卒業/修了制作 展	深澤 幸雄	版画芸術 139
「深澤幸雄展」関連講 演会「ものづくり 私 の歩いてきた60年」	深澤 幸雄 向山富士雄 聞き手	山梨県立 美術館研 究紀要 22
特集01 超絶技巧絵 画編 技巧の冒険者 たちが超絶“思考”を 巡る	小川 信治 鷺見 鷹 深津 真也 吉村 芳生	アート・ ト ッ プ 223
コミックガイド ス パイスピーム 深谷 陽作	山脇 麻生	朝 日 3.30
富谷悦子 増殖して いく向こう側の世界	友澤 宏子	版画芸術 139
コミックガイド ハ ガネの女 深谷かほ る作	山脇 麻生	朝 日 5.25
「私の版画自慢」第 4回	吹田 文明	版画芸術 139
特集Part. 1 絵を 発表しよう!! sec tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	"	美術の窓 300
年頭にあたって 連 盟の今、そしてこれ から	"	連盟ニュー ース 425
中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[福井江 太郎]		アート・ ト ッ プ 219
特集01 アートの 理由 アンケート 若手作家に聞きました [福井江太郎]	"	224
ミュージカル「印象 ・劉三姐」の幸福 生活と芸術の一体化	福井江太郎	東 京 5.3
津村耕佑 妄想オー ダーモード 第12回 お客様: 福井利佐	津村 耕佑、 福井 利佐 対談	ART iT 18

インスピレーション グラフィック “グ ラフィック表現”と して語られる福井利 佐の切り絵作品	深澤 慶太	A X I S 132
アーティストと語る : 福岡道雄+龍大生 〜水面下にあるもの は?	鳥賀陽梨沙	フラミン ゴ 94
ニューヨークの「戦 後日本の15人展」に ついて一福沢一郎の 「Hiroshima」と呼ば れた作品群を中心に	伊藤 佳之	群馬県立 館林美術 館研究紀 要 5
点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その3 福 沢一郎教授の名講義	林 紀一郎	新美術新 聞 1155
フェイス21世紀112 福島かほり 陶で人 体づくりに挑む	油井 一八	" 1153
@ the moment [No. 05] フクシマサトミ	編 集 部	アート・ ト ッ プ 221
福島秀子と田中敦子 の絵画	中嶋 泉	鹿島美術 財団年報 ・別冊 25
追悼 沢村美佐子さ ん もう一度でいい から会いたい	福島 瑞穂	新美術新 聞 1170
巻頭特集 新・女性 の時代 '08 Part. 1 福島瑞穂「実存の姿 を描きつづける」	高山 淳	美術の窓 292
静物画の秘密ーウィ ーン美術史美術館所 蔵3 “生”への警告 はらむ	福田 繁雄	東京夕刊 7.12
私の3作 福田繁雄 さん	手塚さや香	毎 日
上 「VICTORY」 国境越える反戦の 思い		3.10
中 「ランチはヘル メットをかぶって…」 立体と平 面を行き来して		3.17
下 「ローマ字の 宇宙」 視覚の不 思議を利用して		3.24
台湾にデザイン美術 館[福田繁雄]		読売夕刊 1.12
名建築を訪ねる 横 浜市開港記念会館 市民に愛される「ジ ャック」[福田重義]	松平 徳裕	東 京 6.18
名誉館長館話実施報 告抄[福田豊四郎]	新野 直吉	秋田県立 博物館研 究報告 33

福田豊四郎と川端龍子—豊四郎の初期作品に見る龍子からの影響—	保泉 充	秋田美術	44	
福田眉仙—近代日本画発展のかけで	山脇佐江子	姫路市立美術館研究紀要	8	
装飾表現の試み 福田平八郎	中村 麗子	太陽(別冊)	154	
フェルメールと私 完璧な調和もつ世界	福田 美蘭	朝日夕刊	10.7	
美の美 名画にみる夢4 レオナルド [福田美蘭]	宝玉 正彦	日 経	9.21	
COROT 私の1点3 「青い服の婦人」 色の調和、神秘的	福田 美蘭	読 売	7.11	
特集 マンガ批評の新展開 マンガを読む／読み替える 福満しげゆき、あるいは「僕」と「美少女」の小規模なセカイ マンガは複眼で触り続ける	杉田 俊介	ユリイカ	552	
コミックガイド 僕の 小規模な生活 福満しげゆき作	南 信長	朝 日	1.13	
研究ノート 藤雅三《破れたズボン》発見報告	高橋 秀治	美術研究	396	
藤雅三幻の作品米で発見 明治期にバリで活躍	菅野みゆき	朝日夕刊	12.24	
藤雅三の油彩画発見 米の美術館「破れたズボン」		東京夕刊	11.21	
発見までの数奇な運命—藤雅三の油彩画「破れたズボン」	高橋 秀治	〃	12.11	
わが家のミカタ 東と西のモダニズム 中 名作守れ 会社員走る 涼風通る 窓・冬日届く居間…「エコ住宅」の先駆 [藤井厚二]	神田 剛	朝 日	12.9	
美の美 木造モダンの力—昭和の住宅建築 上 [藤井厚二]	窪田 直子	日 経	10.19	
現代美術の歩き方 今月の一品 藤井健仁「鉄面皮 Extended」展示風景	(細川)	美術の窓	301	
2008年子年新春企画 年男年女	藤井 勉	新美術新聞	1140	

巻頭特集 猫をうまく描く ④技法講座 VOL.12 Part.2 グラビア編 誌上グラビアで猫を楽しもう 気配	〃	美術の窓	301	
エッセイ・展評 愈々80才代、私にとって正念場	藤井 哲	美術運動	135	
わたしの宝もの32 小川有三さんとの思い出	藤井美加子	新美術新聞	1140	
作家通信 個展を振り返り	藤井 雷	趣味の水 墨画	236	
クリエイターズワーク&ソウル 藤木淳		A X I S	131	
マンガの国の「衣食住」「ドラえもん」の居場所 [藤子・F・不二雄]	竹内オサム	毎 日	4.26	
秋の叙勲受章者 漫画家藤子不二雄①さん		東 京	11.3	
叙勲受章者喜びの声 旭日小綬章 藤子不二雄①氏		日 経	11.3	
秋の叙勲喜びの声 旭日小綬章 漫画家藤子不二雄①さん		読 売	11.3	
作家通信	藤崎 千雲	趣味の水 墨画	230	
千墨会の成長を感じて			236	
振り返り、未来を見て			154	
ロマンと情緒	蔵屋 美香	太陽(別冊)	154	
藤島武二				
藤島武二のイメージ・ソース				
美の美 日の出を求めて—藤島武二 上、中、下	白木 緑	日 経	1.6、13、20	
視点 日本画の新しい使命に思う(後編)	藤島 博文	美術の窓	302	
藤城清治—一条の光に選ばれて—	編集 部 取材・文	美術手帖	915	
会いたい 影絵作家 藤城清治さん 夢と美あふれる理想郷に	高橋 玲央 平井絵未 高松 奈々 田中 成美	読 売	11.1	
特集 Gravure Magic! グラビア写真の魔力!! Interview & Column 藤代冥砂 コラム: 簡単なこと	藤代 冥砂	STUDIO VOICE	389	
写眼 日常離れるシュールな魅力 藤田一咲「ピンク手袋とブルー桶」	酒井 潤	産 経	5.12	

特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ レクション 藤田和 十 画面の響き	小森佳代子	美術の窓	300	藤田嗣治の渡来に 協力した、ヘンリ ー・杉本とロスコ レンコ			300
学生の声『ガラス 造形研究室の日常と 制作』	藤田 紗代	杜	25	藤田嗣治からヘン リー・杉本に宛て た一通の手紙、(II)			301、302
特集 近代の挿絵・ 漫画 藤田嗣治の漫 画——九三八年の『バ クショー』と『親隣画 集』をめぐって——	足立 元	近代画説	17	一九四九年、藤田 嗣治、ニューヨー クでの個展			303
藤田嗣治の戦争記録 画に関する考察— 《サイパン玉砕図》に 見る表現の異質性に ついて—	足立 弘	芸術学研 究(京都 造形)	2	芸苑雑事記192 フ ジタを巡り思うこと ども	瀧 悌三	〃	303
小特集 パリの個人 美術館へ行こう バ ルザックの家とフジ タの家	いしいしん じ	芸術新潮	700	特集 パブロ・ピカ ソ ピカソがいた時 代 フジタとピカソ 「パラード」と初個展 から《ゲルニカ》まで	林 洋子	ユリイカ	558
モディリアーニとフ ジター映画《モンパ ルナスの灯》周辺	荒屋鋪 透	国立国際 美術館ニ ュース	167	幻の大作 お里帰り [藤田嗣治]		朝 日	3.2
写実の系譜 III 日 本美を求めて	鈴木 勝雄	太陽(別冊)	154	圧巻の4点 藤田嗣 治“幻の群像大作”そ ろい踏み		産 経	3.2
レオナール・フジ タ(藤田嗣治)				没後40年レオナール ・フジタ展 あすか ら 乳白色「幻の連 作」公開		〃	11.14
画に見える芸術家 の自己形成				集う 「没後40年レ オナール・フジタ展」 内覧会	渋谷 和彦	〃	11.15
ドキュメント敗戦時 の記録1、2—「藤 田嗣治・その生涯と 実像」調査から	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	97、98	産経抄[藤田嗣治]		〃	11.23
SPECIAL FEATURE LÉONARD FOUJITA 幻の群像大作から、 藤田の眼差しの変遷 をたどる		美術手帖	912	藤田嗣治の魅力 林 洋子さんに聞く 独 創的技法、研究の余 地も	渋谷 和彦	〃	11.27
INTERVIEW アン ・ル・ディベルデ ル ひとつの時代 からの卒業を告げ た作品	編 集 部 取材・文 小川カミー ユ 通訳			藤田嗣治 幻の大作 はいかに甦ったか		〃	
群像表現への憧憬	林 洋子			上 大戦くぐり抜 け 6年かけ修復	林 洋子		12.3
視点	笹木 繁男	美術の窓		中 滑らかな乳白 色 鮮明	渋谷 和彦		12.4
岩崎鐸の藤田嗣治 邸訪問			292	下 乳白色よ 永 遠に	〃		12.5
藤田のニューヨー ク展実現の経緯と 出品内容			293	藤田嗣治の大作“初 来日” 群像画、東 西の技法が同居		日 経	3.2
ロスコレンコと藤 田嗣治、II、III			294~296	礼拝堂に宿るフジタ の魂 最晩年、休 みなく創作し続けた藤 田嗣治の思い出	ロベール・ クロジェ	〃	12.18
今井ロゼンと藤田 嗣治(1)~(3)			297~299	藤田嗣治の絵画技法 解明 乳白色の美生 んだ「タルク」	小川 敦生	日経タ刊	12.15
				幻の連作4点そろ う 藤田嗣治作都内で公 開	岸 桂子	毎 日	3.2

藤田嗣治の大作修復を総指揮 デイベルデル氏に聞く「汚れ」へのこだわり	〃	〃	12. 10	WORLDWIDE MIX TOKYO 藤本やすしが目指す“ニューな感じ”	大城 譲司	デザインの現場	157
「地方からの声」スペシャル鼎談 vol. 1 『北方人のリアリズム』	石山 亮一、 富樫 耕一、 丸谷 恵 藤田 俊哉 聞き手	主体美術	84	2007年度日本芸術院賞決定 第1部美術は5氏。恩賜賞に日本画家の清水達三氏[藤森兼明]		新美術新聞	1149
技と美1 鍛金造形作家/藤田政利	楠元 恭治	美術の窓	292	絵画専攻 油画領域 共鳴、干渉、循環	藤森 大輔	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2008
デザイン専攻 テキスタイルデザイン領域 目に見えないものと芸術	藤谷 宏美	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2008	特集 2016年東京オリンピック招致計画対談 2016東京五輪のカタチ 藤森照信×五十嵐太郎	大西 若人	A X I S	136
コミックガイド 明日ひらめけ! 藤野美奈子作	南 信長	朝 日	9. 28	奇想遺産	藤森 照信	朝 日	
コミックガイド はこぶね白書 藤野もやむ作	ササキバラ・ゴウ	〃	1. 20	サン・フランシスコ・デ・アシス協会 アメリカ			1. 20
特集 第1部 東京芸術大学と地域連携	六角 鬼丈、 川井 學、 藤幡 正樹 鼎談	芸大通信	16	ボタラ宮 中国チベット自治区			2. 24
特集 映像研究科アニメーション専攻設置	伊藤 有壱、 岡本美津子、 山村 浩二、 出口 丈人、 藤幡 正樹 談	〃	17	斎場御嶽 日本			3. 23
行方不明後の《藤牧版画》の足跡(3)〜(6)―藤牧版画の後摺りについて17[藤牧義夫]	大谷 芳久	一 寸	33〜36	サウサリートハウスポート アメリカ			4. 27
心を彫る人形師[藤村明光]	川口 正峰	読 売	3. 16	カッパドキアのキリスト教遺跡 トルコ			5. 25
REVIEWS 04 「建築がうまれるとき」から方法論を考える	藤村 龍至	美術手帖	911	空飛ぶ社長室 チェコ			6. 22
工芸専攻 陶領域 創作カレーライス	藤村 亮太	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2008	ウマイヤモスク ロシア			7. 20
巻頭特集 いま、立体作家が面白い! 立体作品に注目、楽しいコレクション コレクター訪問 藤本明洋		アート・トップ	219	旧フィアット自動車工場 イタリア			8. 31
PICK UP 「みんなのことば」を届ける立川の新しき住人 藤本明洋のパブリックアート		ギャラリー	283	幻の都ペトラ ヨルダン			9. 28
ヒト 建築家「藤本壮介」	藤本 壮介、 杉浦 久子 聞き手	建築雑誌	1570	旧コヴァジョヴィツチ邸 チェコ			10. 26
				旧大倉精神文化研究所 日本			11. 23
				ブラジリア ブラジル			12. 21
				丹下氏こだわりの広場	〃	東 京	8. 30
				半歩遅れの読書術	〃	日 経	
				目と好奇心で選ぶ本棚入りした泥小屋の本			10. 5
				持続が秘訣 シリーズ出版で知る縄文			10. 12

— 278 —

SPECIAL FEATURE あらうんどTHE 会 田誠 先生、僕に「絵 画」を教えてください！	会田 誠、 彦坂 尚嘉、 辰野登恵子、 古谷 利裕 談	美術手帖	907	写真集『死の灰』をな ぜつくったのか	細江 英公 談 集 部 構成	美術手帖	905
あとがきのあと「世界 へと滲み出す脳」古 谷利裕氏 ネット発、 愚直な批評貫く		日 経	8.24	第49回毎日芸術賞 細江英公さん 映像 II 部門(写真)「胡 蝶の夢」球体写真二 元論 細江英公の世 界」人間讃歌を歌 う詩人	高階 秀爾	毎 日	1.1
海外に学び日本に学 ぶ 異邦で知る単純 な言葉の強さ マリ オ・ボッタ事務所	古谷 誠章	建築雑誌	1570	毎日芸術賞の人々3 写真部門 細江英公 さん「胡蝶の夢」 「球体写真二元論」	手塚さや香	毎日夕刊	1.21
フラッシュアニメ、 地方発信の新しい形 秘密結社鷹の爪 ネットで人気呼び映画 化[FROGMAN]	広瀬 登	毎日夕刊	5.20	第29回毎日芸術賞受 賞者喜びの声 写真 家細江英公さん		"	2.4
TOKYO あにめのま ーち12、13[FROG- MAN]	加納 昭彦 竹井 陽平	読 売	3.18、19	細江英公人間写真集 「原罪の行方」	(前)	読 売	7.6
	(へ)			美術学部教員展図録 デザイン	細川 修	愛知県立 芸術大学 紀要	37
写眼 何が残るのか 平敷兼七「火葬場」 (昭和45年)〈「山羊の 肺」より〉	堀 晃和	産 経	12.8	特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	細野 稔人	美術の窓	300
伊奈信男賞に平敷兼 七氏		読 売	11.27	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 細野稔 人 古代への讃歌	高山 淳	"	"
	(木)			彫刻家の現場から41 細野稔人	武田 厚	"	"
ハワイ移民の歴史 620メートルの絵巻 に 山梨の日本画家 12年かけ[北條楽只]		産 経	2.17	特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	細谷 玉江	"	"
リアル生む職人芸 造形作家ボーメさん 個展「美少女フィギ ュアを日本文化に」	村上 智博	"	10.15	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 細谷玉 江 宇宙のなかに	高山 淳	"	"
巻頭特集 ドローイ ング・デッサンの技 を磨く ④技法講座 VOL.10 国展作家 が語る わたしにと ってのデッサン・ド ローイングとは?	星 兼雄	美術の窓	298	Art Scope PREVIEW 保田井智之 日本橋 高島屋個展一木との 取組み	星野 清一	アート・ ト ッ プ	220
特集 「アーティスト 」になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART 2 場所を開拓 しよう CASE STU- DIES 1 サステイ ナブル・アートプロ ジェクト サステイ ナブル・アートプロ ジェクトができるま で	保科 豊巳 談	美術手帖	904	木の作家を訪ねて20 一保田井智之氏	光岡 幸治	氷 華	50
作家通信 初めての 個展を開いて	星野 栄華	趣味の水 墨画	232	第55回日本伝統工芸 展 競い合う美と技 染織 日本工芸会会 長賞 藍木綿花織帯 「花から花へ」堀直 子	黒田 亮子	朝日夕刊	9.22
「海から空へシリ ーズ」の展開 星野高 志郎紙個展・グルー プ展から	星野高志郎	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	4				

ニッポン人・脈・記 千年の源氏物語8 読み手の人生織り込 んで[堀文子]	白石 明彦	朝日夕刊	5.1	最古の庁舎消える? 前川氏の近代建築 世田谷区、建て替え 方針	浅田 晃弘	東京	10.22
忍び寄り死 堀文子 さんに聞く 生きる 実感呼び覚ます 幼 児期の感動が再び	竹田 博志	日経夕刊	4.10	美の美 木造モダン のカー昭和の住宅建 築 上[前川國男]	窪田 直子	日経	10.19
シリーズ第1弾 地 方美術運動を探る 地域にねづく「美術 茨城」	堀内 俊二	美術運動	135	ピラミッド校舎なく なるの? 学習院大 学目白キャンパス 老朽化のため解体決 定 卒業生らが保存 要望[前川國男]	木村 健二	毎日	1.8
再録 造形の文人 堀内正和 明晰とい う諧謔	柳生不二雄	屋外彫刻 調査保存 研究会会 報	4	みる 波打ち際	前川 秀樹	芸術新潮	701
特集Part. 2 美術 の窓 300号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 堀江優 人間のかたち	高山 淳	美術の窓	300	[開館30周年記念展 II 工芸のカー21世 紀の展望]トークイ ベントから	前田 昭博、 今井 陽子 対談	現代の眼	569
佐藤忠良記念子ども アトリエ 創るこ ろが子どもを育てる	堀田 真作、 植木 則子 談 樋泉 綾子 聞き手	L u r e	87	日々好日 山上の村	前田さなみ	新美術新 聞	1145
2008年日本建築学会 作品選奨 坂井市立 丸岡南中学校[堀場 弘]		建築雑誌	1579	大橋コレクション収 蔵 前田常作の油彩 画について	南城 守	奈良県立 美術館紀 要	22
しみじみ住宅でも世 界遺産の風格[堀部 安嗣]		芸術新潮	699	前田常作先生をしの ぶ	甲田 洋二	連盟ニュ ース	425
EXTRA COLUMN ボールが愛する日本 人アーティスト[本 城直季]	編 集 部	STUDIO VOICE	387	日々好日 前田青邨 筆塚供養会	大矢 紀	新美術新 聞	1169
巻頭特集 ドローイ ング・デッサンの技 を磨く ④技法講座 VOL.10 国展作家 が語る わたしにと つてのデッサン・ド ローイングとは?	本田 正史	美術の窓	298	装飾表現の試み 前 田青邨	中村 麗子	太陽(別冊)	154
(マ)				写真の系譜 III 日 本美を求めて ロン ドンで出会った中国 古典技法、模写にて 学ぶ[前田青邨]	鈴木 勝雄	" "	" "
クリエイターズワー ク&ソウル 参		A X I S	133	きょうから「国宝法 隆寺金堂展」記録 映画「壁画よみがえ る」会場で上映[前 田青邨]		朝 日	6.14
特集 海外サクセス バイブル ドキュメ ント はじめてのサ テリテ。 参/MILE	高橋 美礼	デザインの 現場	161	特集01 アートの 理由 アンケート 若手作家に聞きました [前田朋子]		アート・ ト ッ プ	224
前史雄 2007年 作 品の解説	前 史雄	金沢学院 大学紀要*	6	巻頭特集 ドローイ ング・デッサンの技 を磨く ④技法講座 VOL.10 国展作家 が語る わたしにと つてのデッサン・ド ローイングとは?	前田 宏子	美術の窓	298
すむ ピラミッドの 受難[前川國男]	藤崎圭一郎	芸術新潮	699	2008年子年新春企画 年男年女	前田 正博	新美術新 聞	1140
特集 慈しまれる? モダニズム建築 II 事例 国際文化会館 保存再生の成果と課 題[前川國男]	兼松紘一郎	建築雑誌	1571	蛇と鳥の眼差し	前野 智彦	多摩美術 大学研究 紀要	22
				A tale of…… 前原 冬樹 やせ我慢の美 学、愚か者の矜持	(山)	アート・ ト ッ プ	223

Close-up84 前原冬樹 自分の好きな風景の断片だけをキーワードのように見せたい	ギャラリー一	280	Art Scope REVIEW 馬越陽子 日中国交正常化35周年企画 中国美術館個展	馬越 陽子	アート・トッ プ	220
巻頭特集 エロティシズム 女性アーティスト5人の感性証言 前本利彦	アート・トッ プ	220	北京市・中国美術館での個展を振り返って(上)(下)	"	新美術新聞	1141、1142
巻頭特集 猫をうまく描く ④技法講座VOL.12 Part.1 技法編 LESSON1 ドローイング 日常のスケッチから絵画的リアリティある下絵へ	前本 利彦	美術の窓	301	今月の読書『馬越陽子作品集』大陸的豪華本、それ以上に重たい祈りの画魂	ワシオトシヒコ	" 1171
特集 Part.2 美術の窓300号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 真壁輝男 イマジネーション	高山 淳	"	300	特集 Part.1 絵を発表しよう!! section1 公募団体展で発表する 人気作家が語る!!「公募展とわたし」	馬越 陽子	美術の窓 300
第2回朝日・銀座展大賞はMAKI氏「銀座Girl」		新美術新聞	1144	特集 Part.2 美術の窓300号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 馬越陽子 形而上的存在	高山 淳	" "
特集 [少年ジャンプ]というジャンル! 最強エンターテインメントの秘密 エログロ・パイオレンスと人間賛歌の作家! 巻来功士インタビュー	更科修一郎	STUDIO VOICE	386	山下裕二の今月の隠し球43、44 正木隆「黒か、いや、黒じゃないもつと深い色か」(上)(下)	山下 裕二	" 298、299
巻頭特集 猫をうまく描く ④技法講座VOL.12 Part.2 グラビア編 誌上グラビアで猫を楽しもう神秘的な瞳	牧 進	美術の窓	301	Go! Artists Go! 33 増川朋花	伊部 玉紀	美術手帖 911
世界文化賞授賞式 [横文彦]		産 経	10.16	加藤 好弘、ヨシダヨシエ、おおえまきのり、秋山祐徳太子、上条順次郎、増子 静、竹熊健太郎、タカシ、松田 政男、池田 龍雄、金田一安民談 島水亭木呂司会	あ い だ	153
世界文化賞 芸術で文化の橋渡し [横文彦]	渋谷 和彦	"	10.18	編集室 マンガ家のまなざし [益子悠]	藤村 龍至	建築雑誌 1571
彫刻家の現場から37 牧田裕次	武田 厚	美術の窓	296	みる 草の島	益子 義弘	芸術新潮 700
たべる あんこうと文人	牧野伊三夫	芸術新潮	697	特集 建築資料をのこすということ Vアーカイブス活動の現状 東京芸術大学の建築資料収蔵とその活用に向けて	"	建築雑誌 1576
「夢という病とどのように向き合うか」『夢に迷う脳 夜ごと心はどこへ行く?』J・アラン・ホブソン著/池谷裕二監訳/池谷香訳	牧野 圭一	A X I S	131	次代の息吹 file.010 増田直人	編 集 部	アート・トッ プ 222
制作ノート 槇原泰介	槇原 泰介	武蔵野美術大学研究紀要	38	特集 「世界」を救うためにデザインができること。デザインにできることは何か Gマーク審査委員へのアンケート	益田 文和	デザインの現場 159

巻頭特集 ドローイング・デッサンの技を磨く ④技法講座 VOL.10 国展作家が語る わたしにとつてのデッサン・ドローイングとは?	増地 保男	美術の窓	298
人間国宝・工芸技術の部に増村紀一郎氏ら4名		新美術新聞	1160
漆工の心と技(講演要旨)	増村紀一郎	瑞 垣	209
神宮名品解説 神宮美術館所蔵奉納美術品 工芸「紙胎金彩盤」工芸「朱呂色乾漆輪花盤」[増村益城]	(中村)	" "	"
エコ@アジアニズム 一環境☆アジア一	増山 麗奈	美術運動	135
SPECIAL FEATURE あらうんどTHE 会田誠 青空雑談会	会田 誠 司会 いちむらみさこ、 卯城 竜太、 遠藤 一郎、 小川てつオ、 小田マサノリ、 武 盾一郎、 富永 剛総、 増山 麗奈 談 川崎 昌平 構成	美術手帖	907
特集 印刷大好き！ I LOVE Printing 町口覚 刷り上がり をコントロールするための紙選び	白坂 ゆり	デザインの現場	158
Faces 20 町田久美 閉じた部屋は再び開かない	松浦 直美	ART iT	21
佐々木豊のホンネで ファイト 第15回 一本の線に集積する 情動の反芻	佐々木 豊、 町田 久美 対談	アート・トッ プ	219
特集01 町田久美 線の宇宙へ		"	222
ロングインタビュー あまのじやくの憂鬱			
作品紹介 唯一無二の絵を求めて			
タテ・ヨコ・ナナメの作品論 山下裕二 超「筆ネイティブ」	山下 裕二		
異ジャンルの表現者が語る 室伏鴻「余白の白」—町田久美の桃猿	室伏 鴻		

タテ・ヨコ・ナナメの作品論 名古屋覚「町田久美」という実験	名古屋 覚		
タテ・ヨコ・ナナメの作品論 北澤憲昭 うるわしき“誤配”	北澤 憲昭		
対談 町田久美×舟越桂 新しいステージへ			
アーティスト訪問58 町田久美		ギャラリー一*	280
特集 新大図鑑2008 新世代のトップ・アーティストにきく2 町田久美		美術の窓	296
私のいる風景 古書店 普通でないもの探して 町田久美さん 画家	高野 清見	読売夕刊	7.19
特集 Part. 1 絵を発表しよう!! section 1 公募団体展で発表する 人気作家が語る!!「公募展とわたし」	町田 泰宣	美術の窓	300
特集 Part. 2 美術の窓300号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 町田泰宣 声明のように	高山 淳	" "	"
松井康成寄贈作品について	伊藤 羊子	長野県信濃美術館 紀要	2
松井家インタビュー「松井康成の作品と人となり」	松井 康陽、 松井 秀子 談 伊藤 羊子 インタビュー 屋 宏美 文	" "	"
「バウハウス・デッサウ展」観覧記 眩しいデザインの放光	松井 龍哉	産 経	7.9
Reviews : Book 『特装版 松井冬子画集』	布施 英利	ART iT	20
Art Scope PREVIEW 松井冬子 Narcissus	長澤 章生	アート・トッ プ	219
特集 松井冬子 絵画に描かれた痛みと贖罪		美術手帖	903
奇想の対談 辻惟雄×松井冬子	辻 惟雄 松井 冬子		
アトリエ訪問インタビュー 恐怖や痛覚を糧とする芸術のかたち	松井みどり 聞き手		

松井冬子を撮る・語る	中川 真人				SPECIAL FEATURE あらうんど THE 会 田誠 おんなのこし やしん 松蔭浩之に 聞く、女の子撮影の 極意	会田 誠、 松蔭 浩之 談 基久 西野 構成	美術手帖	907
松井冬子を観せる・語る	成山 明光							
アブジェクトのも うひとつのかたち をもとめて	長谷川祐子				第55回日本伝統工芸 展 競い合う美と技 陶芸 日本工芸会総 裁賞 青白磁菱角鉢 「緋」 松川和弘	中ノ堂一信	朝日夕刊	9.22
21世紀のモナリザ	布施 英利							
INFORMATION BOOK 待望の作品 集が織り成す 美し き(視覚的)のパロッ ク) 松井冬子画集 全二巻、ついに刊行 出来!	藤田 博史	〃	911		インスピレーション 建築 脳内の風景を 庭に投影した「脳内 時計—Neural Clock」 [松川昌平]	ぼむ 企画	A X I S	132
巻頭特集 なんでも 描けてなにか悪い!! 河鍋曉斎の写実力 曉斎と現代作家の誌 上競演 Gallery 3 松井冬子			美術の窓	295	第30回記念十果会	松樹 路人	新美術新 聞	1156
視線 松井冬子画集 一 松井冬子著	北澤 憲昭 朝 日	9.14			十果会第30回記念座 談会[松樹路人]	宝木 範義	〃	〃
日本画家松井冬子 ナルシズムと向き 合う	黒沢 綾子 産 経	2.10			茶室の工芸学—現代 工芸家の茶器 松田 権六		淡 交	
巻頭特集 水性画材 を極める ④技法講 座 VOL.11 松浦浩 之インタビュー 「観てくれる人」を思 って描くアクリルの 少年少女			美術の窓	299	「漆絵梅文婉」	北村 仁美		760
特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	松浦 正博	〃	300		「蒔絵撥鏤双雀文 雪吹」	今井 陽子		770
日々好日 初めての ボルトガル	松浦 安弘	新美術新 聞	1146		資料紹介 松田権六 書簡	北村 仁美	東京国立 近代美術 館研究紀 要	12
SV CUT UP PHOTO BOOKS 松尾修『他 人のアルバム』	編 集 部	STUDIO VOICE	390		「月山湖サマーフェ スタ」における流木 アート	松田 重仁 佐藤 孝明	多摩美術 大学研究 紀要	22
独創の画作を刻印し た百三歳 片岡球子 氏を偲ぶ おこりん ぼ先生さようなら	松尾 敏男	新美術新 聞	1144		Art Scope PREVIEW マツダジュンイチ 究極は線一本、“本 質”をめざす	編 集 部	アート・ ト ッ プ	221
草々会の歩み	〃	〃	1157		特集 若手作家の水 墨表現はここまでき ている マツダジュ ンイチ	野地耕一郎	趣味の水 墨画	230
個人研究・教員年譜 美術学科 油絵専攻	松尾真由美	広島市立 大学芸術 学部紀要	13		作家通信 墨と鉛筆 で描く抽象絵画に自 然をみる	マツダジュ ンイチ	〃	233
表紙解説—松岡映丘 筆「八島の義経」	川口 直宜	刀剣美術	612		特集 レム・コール ハース以降の建築理 論 III 建築理論解 説 OMA と AMO、 拡張された建築家	松田 達	建築雑誌	1574
Zero in on 大岩オ スカーを松蔭浩之 が語る 夢みる世界 に込められた、ポリ ティカルな風景	松蔭 浩之	アート・ ト ッ プ	221		次代の息吹 file.009 松田俊哉	編 集 部	アート・ ト ッ プ	221
					AT Times Exhibition Reviews 6・7月 の展覧会から「対 決巨匠たちの日本美 術」展	安村 敏信 松田 俊哉	〃	223
					コミックガイド 少 女漫画 松田奈緒子 作	山脇 麻生	朝 日	3.2

designscape66~71	松田 行正	デザインの現場	157~162	第21回「京都美術文化賞」受賞者のことば	松本ヒデオ	美術京都	40
特集 サンプルたくさん入ってます!!		"	160	作家通信 日本人の美意識を生かしたい	松本 深雪	趣味の水墨画	232
松田行正「加工」と「本」とをめぐる探究心	杉瀬 由希			Close-up88 松本祐一 音楽をベースにした独自の表現で広く社会に問いかけるアンケート・アートの世界		ギャラリー	283
ブックコレクション大公開!	松田 行正、中村 菊男 談			Recommend New Designer 松本ゆき菜	松本ゆき菜	デザインの現場	161
松田行正×かみの工作所 型抜サンプル製作しました!	高橋 美礼 編集部			巻頭特集 猫をうまく描く ⑩技法講座 VOL.12 Part.2 グラビア編 誌上グラビアで猫を楽しもう 童話	松本 耀子	美術の窓	301
2008年日本建築学会作品選奨 ハーモニー団地[松永安光]		建築雑誌	1579	赤塚不二夫さん死去まぶしい存在	松本 零士	毎日	8.3
特集 Part.1 絵を発表しよう!! section1 公募団体展で発表する 人気作家が語る!!「公募展とわたし」	松野 良治	美術の窓	300	食べたい しあわせ食堂「うどん」だし存分日本一 1杯20円学校帰りの楽しみ	"	毎日夕刊	5.20
中国で設計する面白さ 若手2人語る [松原弘典]	大西 若人	朝日夕刊	1.9	For Tomorrow MAYA MAXX 展	編集部	美術手帖	904
建築「REALIZE」立脚中国展開世界展 若手が映す躍進中国[松原弘典]	五十嵐太郎	毎日夕刊	2.14	私のアートスクール時代 MAYA MAXX		"	910
美術学部教員展図録 日本画	松村 公嗣	愛知県立芸術大学紀要	37	2008年度新任教員紹介 情報デザイン学科専任講師 丸井栄二	丸井 栄二	瓜生通信	44
独創の画作を刻印した百三歳 片岡球子氏を偲ぶ「下手で良い。何があっても続けること」のお言葉	"	新美術新聞	1144	北の狛犬あうんの旅 北海道の神社など2300カ所をくまなく訪ね、950対確認	丸浦 正弘	日経	2.21
特集 慈しまれる? モダンイズム建築 II 事例 日土小学校の保存活動の現状について[松村正恒]	花田 佳明	建築雑誌	1571	同時期に母娘の個展 天真らんまん丸木スマ おてんば画家大道あや	(寿)	東京	8.23
特集 アジアの孝子物語 生人形「本朝孝子伝」の世界[松本喜三郎]	中前 正志	アジア遊学	112	南の島で彫った、描いた日本人[丸木俊(赤松俊子)]		芸術新潮	702
作品「ダイニングチェア:「N8722E」」「ダイニングチェア:「D8912T」」	松本 研一	秋田公立美術工芸短期大学紀要	13	[特集1]沖縄・プリズム 1872-2008 南洋群島から沖縄へ三人の画家をめぐる [丸木俊]	滝沢 恭司	現代の眼	572
反抗と前衛 松本峻介	大谷 省吾	太陽(別冊)	154	美術家たちの「南洋群島」展 下 赤松俊子「アンガウル島へ向かう」[丸木俊]	"	東京	5.29
青春ブレイバック 松本哲男 宇都宮市御幸本町・画室	高岡 忠雄	新美術新聞	1151	丸田祥三著「廃電車レクイエム」	(前)	読売	8.24
写眼「動」を封じ込めた 松本徳彦「マルセル・マルソー」(1965年)	酒井 潤	産経	1.14				

「地方からの声」スペシャル鼎談 vol. 1 『北方人のリアリズム』	石山 亮一、 富樫 耕一、 丸谷 恵 談 藤田 俊哉 聞き手	主体美術	84	特集 2008年 8月 8 日、もう一つのオー プニング 辻谷政久 & 三木俊治	ギャラリー 一*	281
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ レクション 丸山司 瑠 男と女	高山 淳	美術の窓	300	“出場”辞退の砲丸が アートに 職人技と 芸術「一丸」[三木俊 治]	産 経	8.6
技と美10 ジュエリ ークリエーター/丸 山聰	楠元 恭治	〃	301	オークションの逸品 三木富雄「耳」	ギャラリー 一*	274
作家通信 新たな出 会いに	丸山 東子	趣味の水 墨画	237	反抗と前衛 大谷 省吾 太陽(別冊)		154
BOOK 丸山直文氏 が自著を語る	(山)	アート・ ト ッ プ	220	三岸好太郎 常識破りの“デザ イン建築” 三岸 のアトリエ		
Zero in on 丸山直 文 作家が語った、 「区切り」	丸山 直文 談	〃	223	美の履歴書 090 躍 動感あふれるのは 「オーケストラ」 三 岸好太郎	青山 祥子 朝日夕刊	12.24
SV ART ART SPACE 丸山直文「行ってら っしゃい、お帰りな さい」	家村 珠代	STUDIO VOICE	386	PROJECT FOCUS 三沢厚彦さんと奈良 の仏像を巡る。	藤田 千彩 美術手帖	908
ARTIST INTER- VIEW 丸山直文	白坂 ゆり 聞き手	美術手帖	913	視点 「三沢厚彦 ANIMALS '08 in YOKOHAMA」を開催 して	森谷 美保 美術の窓	303
海外に学び日本に学 ぶ マンチキン・ブ レイヤーとしての日 々ーピーター・アイ ゼンマン事務所	丸山 洋志	建築雑誌	1579	特殊印刷加工トライ アル 第7回 美澤 修、モノグラムコー ディング+マットニ スに挑戦!	杉瀬 由希 デザイン の現場	160
特集 慈しまれる? モダニズム建築 II 事例 坂倉準三「旧 飯箸邸の再生」	萬代 恭博	〃	1571	あとがきのあと「フ ランク・ロイド・ライ ト入門」三沢浩氏 環境・自然重視の建 築を再評価	日 経	2.10
(ミ)						
和みスボット4 鰻 絵 壁飛び出す鶴や 亀[三浦辰彦]	前田 利親	読 売	8.1	特集 建築資料をの こすということ V アーカイブス活動の 現状 建築・空間デ ジタルアーカイブス —Digital Archives for Architectural Space (DAAS)	三塩 達也 高見 真二	建築雑誌 1576
視点 続「原爆の形 象」	三浦 恒祺	美術の窓	299	視線 鬼太郎と行く 妖怪道五十三次 水 木しげる著	サエキけん ぞう 朝 日	5.18
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ レクション 三浦敏 和 時の鼓動	高山 淳	〃	300	おやじの話、しちや おうか 父の作品 父と私 父の素顔 [水木しげる]	赤塚りえ子、 手塚るみ子、 水木 悦子 談 近藤康太郎 構成	〃 7.6
青春の刻3 墨で描 く線の力・三浦ひろ み		趣味の水 墨画	231	追憶の風景 ラバウ ル(パプアニューギ ニア) 漫画家 水 木しげる 密林かき 分け生き残った	小川 雪 朝日夕刊	8.12
ビジネス5分道場 教訓 資料と情報を 混同するな	三神万里子	読 売	4.13	マンガの国の「衣食 住」 「ゲゲゲの鬼太 郎」の森[水木しげ る]	竹内オサム 毎 日	8.30
特集01 アートの 理由 アンケート 若手作家に聞きました [美柑和俊]		アート・ ト ッ プ	224			

水木しげるさん調布 名誉市民に		読 売	2.27	第2特集 日本画復 活論	三瀬夏之介	美術手帖	903
水木しげるさん調布 市名誉市民に ユー モア謝辞に大笑	吉田 敦岐	"	3.7	第2特集 日本画復 活論 往復書簡 三 瀬夏之介×福住廉	三瀬夏之介 福住 廉	" "	"
著者来店 「ゲゲゲ の女房」 武良布枝 さん 音楽とともに 夫唱婦随[水木しげ る]	佐藤 憲一	"	3.9	2008年日本建築学会 作品選奨 東洋ロキ グローバル本社ビル [三谷徹]		建築雑誌	1579
特集 デザインの頼 み方 頼まれ方 デ ザイナー×クライア ント 幸せの法則 水口克夫×明光義塾	大城 譲司	デザインの 現場	162	INFORMATION あ なたの人生にアート と朝食を。三田村光 土里『Art&Breakfast Book』	藤田 千彩	美術手帖	916
視線 水越武写真集 知床一残された原始 水越武著・小野有五 解説	新井 敏記 朝 日		3.2	日々好日 縫い針を 作りあげた夜	三橋 國民	新美術新 聞	1163
写眼 大自然に寄り 添って 水越武「雪 煙が舞う流水上のオ オワシ(羅臼沖)」	酒井 潤 産 経		1.28	マンガの国の「衣食 住」 チッチの待ち つづける恋[みつは しちかこ]	竹内オサム	毎 日	5.31
COVER GALLERY 水崎淳平	水崎 淳平 瓜生通信		44	作家訪問377 陶芸 家 三笠修さん	編 集 部	目の眼	379
視点 国際キャンパ ス・サイズについて [水島健]	片桐 拓弥 美術の窓		298	ひと 写真集「三里 塚」を出版したカメ ラマン 三留理男さ ん	萩尾 信也	毎 日	3.25
村上隆が映画進出 監督は弟子の Mr. 「誰も死なない」	古賀 太 朝日夕刊		11.26	写真家、三留理男さ んの旧作が復活『三 里塚』実録・連合赤 軍』	鈴木 英生 孝二 若松	毎日夕刊	5.8
フロントランナー アートディレクター 水谷孝次さん 笑顔 を集めて世界に幸せ を	渡部 薫 朝 日		11.1	作品 「きずな」 「源流—水の民—」	皆川 嘉博	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	13
真の美は笑顔の中に 「MERRY PROJECT」 水谷孝次さん	小川真由美 産 経		8.7	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 湊圭子 自然とウイルス	高山 淳	美術の窓	300
情報館 川崎市市民 ミュージアム「少女 マンガパワー!」か ら「ハニーハニー のすてきな冒険」 水野英子	ヤマダトモ コ	読売夕刊	2.26	Reviews : Art01 畠 山直哉『シエル・ト ンベ』 タカ・イシ イギャラリー(東京)	港 千尋	ART iT	20
PAPER IN MY WORK 115 水野学 TAKEO PAPER SHOW 2008	杉瀬 由希 デザイン の現場		158	イメージの向こう側	"	思 想	1016
特集 デザインの頼 み方 頼まれ方 水 野学 組織図までつ くるADの役割	石田 純子 "		162	レヴィニストロース の庭 港千尋著		日 経	12.7
海外展レポート2 水野竜生の北京		ギャラリ ー	276	“誰もが撮影者”の時 代 行為の意味 広 い議論を 写真家港 千尋さん	郷原 信之	日経夕刊	7.16
三瀬夏之介「冬の夏」	斉藤 博美 art_icle		15	南薫造「美校・航海 日記」—東京美術学 校時代(後期)〜イギ リス到着まで	藤崎 綾	広島県立 美術館研 究紀要	11
特集01 アートの 理由 アンケート 若手作家に聞きました [三瀬夏之介]		アート・ ト ッ プ	224				

小特集 こんな初めて！仏像の新しい見方 その1 [対談] そうですね、私は運慶だった！自称運慶と運慶研究者の仏像ガイド
南 山本 伸 坊 勉 くりま 86-12

つかう 太いやつ 南 伸 坊 芸術新潮 702

総特集 杉浦日向子 エッセイ 利発な女の子
" ユリイカ 557

エッセイ・展評 古民家ギャラリー「絵空人」 パートナーであり、師でありー皆見悟
みなみ 由 美術運動 135

胸打つ巡礼の道のり 南川三治郎写真展 渋谷 和彦 産 経 1.11

写真家、南川三治郎さんの『日・欧巡礼』展 欧州編開催
手塚さや香 毎日夕刊 1.15

南館麻美子 はたして「顔」は「人」なのか？
友澤 宏子 版画芸術 140

技法の現場から8 制作の現場から 平面の型取りー「メデイウム剥がし刷り」
南館麻美子 連盟ニュース 428

作家訪問378 陶芸家 箕浦徹哉さん
編 集 部 目の眼 380

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 三原捷宏 永遠なる海
高山 淳 美術の窓 300

三原研「拓器花器」 森 孝一 陶 説 665

三原研さんについて 青山 光雅 " "

三原研の造形についてー文体としての拓器
花里 麻理 " "

文化往来 陶磁協会賞の三原研、出雲の風土を源に
日 経 8.22

火山と共に育った画才 生成期の昭和南山を数枚描き続けた郵便局長に光[三松正夫]
三松 三朗 " 7.10

特集 建築ガールズパワー III 女性建築家に聞く 非ユニット派の女性建築家
宮井坂 晶子、談 幸恵 桂 建築雑誌 1579
平塚 桂 聞き手 萩原 詩子 文

特集 「アーティスト」になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART1 個展を開く。04展示 音と壁
宮岡 和寛 美術手帖 904

美の履歴書 064 なぜ蟹が張りつくのか「褐釉蟹貼付台付鉢」 宮川香山(初代) 秋山 亮太 朝日夕刊 6.25

コミックガイド アップルシナモンキャラメリゼ 宮川匡代作
ササキバラ 朝 日 2.17
・ゴウ

建築学島瞰 歴史的都市遺構の現代的再生ー保全・再生のオルタナティブヴィジョン
宮城 俊作 建築雑誌 1582

特集 新大図鑑2008 若手発掘の最前線 院展新同人は宮北千織
美術の窓 296

三宅一生 デザイン実験室の愉しき悪戦苦闘
芸術新潮 704

「21世紀人」の未来は三宅一生
黒沢 綾子 産 経 5.15

世界文化賞20周年記念展 2005年彫刻部門 三宅一生「コロンブ」
(黒) " 10.3

近代文学における「秋」の風景表象ー島崎藤村『千曲川のスケッチ』を中心にー[三宅克己]
中島 国彦 早稲田大学大学院文学研究科紀要 53

中特集 諏訪敦 リアリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問1答×30人[ミヤケマイ]
アート・トップ 219

A tale of…… ミヤケマイ 2冊目の画集を出版し、しばし「ココではないドコか」へ
(根) " 222

インタビュー 美術界の実験王子 ジュリアン・オビーのゆく道
ミヤケマイ 聞き手 芸術新潮 705

特集 Part. 1 絵を発表しよう!! section 1 公募団体展で発表する 人気作家が語る!!「公募展とわたし」
宮崎 曠代 美術の窓 300

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション 宮崎曠代 誕生
高山 淳 " "

トピック ジブリ流 「作り込み」 宮崎吾 朗監督 父は躍動追 求・高畑監督は理的 的	近藤 孝	読売夕刊	8.1	絵と物語46~55	宮島永太良	美術の窓	292~301
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 宮崎進 心の歌	高山 淳	美術の窓	300	中特集 宮島達男 発熱するストイシズ ム		アート・ ト ッ プ	220
巻頭特集 新ミクス トメディア 技法 講座 VOL.13 宮崎 進 媒体との神秘的 ともいべき一体感	本江 邦夫	"	303	評論 宮島達男現 在地	長谷川祐子 南島 宏 南條 史生 青木 正弘 塩田 純一 秋元 雄史	編 集 部 取材	
追憶の風景 シベリ ア 画家 宮崎進 風と光と土 自分の 土台に	秋山 亮太	朝日夕刊	11.4	インタビュー・宮 島達男 4 の反駁	編 集 部		
芸文余話 「シベリ アの眼」が問うもの [宮崎進]	内田 洋一	日経夕刊	11.15	Turning Point [File09] 宮島達 男×1988年×「Sea of Time」	編 集 部		
SV CUT UP FILMS 宮崎駿『崖の上のポ ニョ』	川本 ケン	STUDIO VOICE	393	「もうアートじゃな くてもいい」 宮島 達男が20年目に伝え たいこと		芸術新潮	700
『風の谷のナウシカ』 研究一宮崎駿の中の 女性像一	小野 直美	玉 藻	43	ARTIST INTER- VIEW 宮島達男	秋元 雄史 インタビュ ー	美術手帖	908
断 宮崎アニメのア ニミズム[宮崎駿]	中条 省平	産 経	7.22	平和に挑む芸術家た ち 魂に訴え感動で 動かす「不可能」に 真つ向挑戦	宮島 達男	東 京	1.5
アニメの未来 上 宮崎駿監督に聞く 登場人物に寄せる信 頼 今につながるロ マンを	窪田 直子 聞き手	日経夕刊	7.28	フェイス21世紀118 宮島弘道 シニカル で強烈な視覚体験	袴田 智彦	新美術新 聞	1170
惜別 画家・エッセ イスト 宮迫千鶴さ ん	佐田 智子	朝日夕刊	8.8	画家たちの美術史61 宮崎駿一	林 洋子	美術手帖	905
思い出の作家たち 父宮下森との日々	宮下 泉	美術運動	135	フェイス21世紀107 宮田琴 鍛金の世界 に現代の音を	油井 一人	新美術新 聞	1140
2008年日本建築学会 作品選奨 AGCモノ づくり研修センター [宮下信顕]		建築雑誌	1579	美術大学における仮 設表現空間による教 育プログラム研究	宮田 道明	名古屋造 形芸大紀 要*	14
日々好日 絵心の泉	宮下 実	新美術新 聞	1166	十果会の第30回記念 展をお祝いして	宮田 亮平	新美術新 聞	1156
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 宮下実 無限なるものへ	高山 淳	美術の窓	300	薬師寺21世紀まほろ ば塾 特別イベント 薬師寺1300年の響き 伝世の美輝き永遠	安田 映胤 宮田 亮平 小堀 宗慶	読 売	5.14
思い出の作家たち 父宮下森との日々	宮下 泉	美術運動	135	Faces 09 宮永愛子 時間と記憶を刻み込 んだ「一期一会」ア ート	小崎 哲哉	ART iT	19
〈特集・座談会〉卒業 2008 内面世界を追 求したいけど…美大 を出た後はどうやっ て発表していく? [宮島阿紗子]		ギャラリ ー*	275	宮永岳彦 デザイン の軌跡 爽快な欲望 の発露	藤田 一人	東 京	1.19
				「オー、よか、よか」	宮永 東山	陶 説	667
				技法・材料にせまる	宮林さわ子	主体美術	84
				The discovery of Unique Artist “QR コード”を絵画の素 材にしたマルチ・ア ーティスト 美山深		ギャラリ ー*	278

特集 土木の真髓—暮らしのためのデザイン 宮本佳明流、土木の見方、読み方	平塚	桂	A X I S	132
書齋から画家を知る [宮本三郎]	生田	誠	産 経	1.22
コミックガイド この度はご愁傷様です 宮本福助作	南	信長	朝 日	8.10
[特集]二〇〇七年のアーティスト・トーク 所蔵作品展のアーティスト・トークから	宮本談	隆司	現代の眼	568
版画入門講座(木版画)	宮山加代子	版画芸術		
第1回 版を彫る				140
第2回 版を摺る				141
第3回 多色摺り				142
版画実践講座 木版画	〃	〃		140
第1回 ハガキ&便箋を作ろう!				
彫らない版で花を表現する				141
四千年の楽園 中国世界遺産 三好和義著		日 経		7.13
アトリエ訪問 三好秀憲さん 魂を感じてもらえるような作品を	十滝 歌喜、遠矢 浩子、首藤 教之 聞き手	美術運動		135
日々好日 船の中	三吉 雅	新美術新聞		1161
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 三吉雅 神話	高山 淳	美術の窓		300
ひとひと人物語 微笑仏描き70年 個展と絵本で「恩返し」 [弥勒祐徳]	近藤 幹夫	読 売		5.11
茶室の工芸学—現代工芸家の茶器 三輪壽雪「鬼萩割高台茶碗」	唐澤 昌宏	淡 交		768
巻頭特集 いま、立体作家が面白い! 立体作品に注目、楽しいコレクション 木彫ルネッサンスがはじまった 木から生まれる百花繚乱 [三輪途道]		アート・ト ッ プ		219

中特集 諏訪敦 リアリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問1答×30人 [三輪途道]

研究小話 三輪途道 (上原三千代)のアトリエで見たもの 神尾 玲子 群馬の森美術館ニ ュース 131

(ム)

美の履歴書 042 なぜ民家ばかり描く「遅れる春の丘より」 向井潤吉 古賀 太 朝日夕刊 1.23

探訪 彫刻家六崎敏光先生を訪ねて 自然美を謳歌 純化するフォルム 游 美 58

特集 あなたの知らない版画の秘密 日本編 Q11 棟方志功は、英語教師の作品を見て版画を始めた? 松山 龍雄 版画芸術 142

板画「流離抄」(四曲一双屏風) [棟方志功] 天内 敬子 棟方志功記念館だより 20

志功「幻の壁画」半世紀ぶり復活 群馬 朝 日 10.9

棟方志功の壁画出た 桐生のレストラン半世紀ぶり 加藤 益丈 東 京 9.21

熱気球 [棟方志功壁画、しっくい除去] 〃 10.9

美の美 名画にみる夢2 ゴッホ [棟方志功] 宝玉 正彦 日 経 9.7

美の美 蜃気楼の時—棟方志功 上、中、下 竹田 博志 〃 12.14、21、28

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 宗雪孝夫 深層を旅することは 宗雪 孝夫 美術の窓 300

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 村井とし子 存在の追求 磯部 靖 〃 〃

アトリエ・インタビュー 村岡三郎 物質の囁きを聞け 松山 龍雄 版画芸術 139

作品について考えること 村岡 幸信 大阪成蹊大学芸術学部紀要 4

作品「青銅花器浮島」	村上 恵美	秋田公立美術工芸短期大学紀要	13	「アートバブル」も終わった 生き残るのは独創性 現代美術家村上隆さん	白木 緑 聞き手	〃	10.29
墨のある風景 村上華岳《観音之図(聖蓮華)》	小倉 実子	趣味の水墨画	236	現代芸術村上さん 作品の返還求め提訴「投機目的防ぎたい」	銭場 裕司	毎日	7.11
ロマンと情緒 村上華岳	蔵屋 美香	太陽(別冊)	154	村上隆さんが映画第一弾『誰も死なない』	岸 桂子	〃	11.26
美の美 文楽人形の命 上 画家の眼差 [村上華岳]	内田 洋一	日 経	3.16	世界の100人 現代美術 村上氏		毎日夕刊	5.2
コミックガイド ラッキー ～Are you LUCKY?～ 村上かつら作	山脇 麻生	朝 日	6.22	「GEISAI」挑発的な復活 [村上隆]		読 売	5.29
現在通信 From NEW-YORK 格の上がった村上隆	富井 玲子	新美術新聞	1151	あの人とこんな話 面白いって、どういうことだ。答えは自分で探すしかない。漫画家 村上もとかさん	田中 美絵	朝 日	5.6
通信 J to A アジアへ39 アジア作家の台頭とニューヨークの位置 [村上隆]	南條 史生	〃	1152	歴史医療まんが「JIN一仁」 幕末の庶民描き幅広い人気 [村上もとか]	宮代 栄一	朝日夕刊	9.2
村上隆氏のフィギア作品が16億円! 予想を大きく上回る高値落札—サザビーズオークション		〃	1154	交遊抄 「貯人」の画家 [村國豊]	石島辰太郎	日 経	1.21
現地レポート LAでの©MURAKAMI	廣 李果	美術手帖	904	中特集 諏訪敦 リアリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問1答×30人 [村田兼一]		アート・トップ	219
特集 100%楽しむためのキーワード超・整理 現代アート事典 コラム 美術家の思想06 村上隆	藤原えりみ	〃	906	村田省蔵 2006～2007年 作品の解説	村田 省蔵	金沢学院大学紀要	6
現代美術 ブームを鑑定 下 ブランド化 世界に通用する人材育てる [村上隆]		朝 日	6.1	平成19年度 金沢学院大学「公開講座」第III部 美術文化学部公開講座の概要 A部:美術工芸学科主催 テーマ:「師と自作を語る」	村田 省蔵 講師	〃	〃
村上隆が映画進出 監督は弟子のMr.「誰も死なない」	古賀 太	朝日夕刊	11.26	日々好日 私の鎌倉	村田 省蔵	新美術新聞	1154
村上流 不安の時代に光彩 日本発現代美術、米国で人気	長戸 雅子	産 経	5.31	座談会 「第四十回 日展—新たな一〇〇年へ—」	橋本堅太郎 中山 忠彦 稲元 実 村田 省蔵 村田 二郎 蛭田 小由女 奥田 日比野 清水 光鳳 透石	日展ニュース	131
米サザビーズ 村上氏フィギュア16億円で競売落札		東京夕刊	5.15	作家訪問382 陶芸家 村田森さん	編 集 部	目の眼	384
文化往来 若手作家と市場つなぐ村上隆のイベント再始動		日 経	5.9	特集 「世界」を救うためにデザインができること。 デザインにできることは何か Gマーク審査委員へのアンケート	村田 智明	デザインの現場	159
トピックス 美術家の村上隆映画制作に進出		〃	11.15	村谷聡志 2007年までの主な作品の解説	村谷 聡志	金沢学院大学紀要	6
東京に自前画廊 夢は世界各地に [村上隆]		日経夕刊	3.27				

職人桜[村野藤吾]	丹尾 安典 一寸	33
特集 建築資料をのこすということ V アーカイブス活動の現状 京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵 村野藤吾図面資料	笠原 一人	建築雑誌 1576
西山記念会館における村野藤吾の設計過程に関する研究	角田 暁治 日本建築学会計画系論文集 福原 和則 竹内 次男	627
例会・研究発表要旨 東部会 平成十九年度第三回例会 村野藤吾設計「早稲田大学文学部校舎」の空間と造形	丹尾 安典 美 学	232
名建築を訪ねる 近三ビル 残し伝える使命と矜持[村野藤吾]	越守丈太郎 東 京	10.8
モダニズム建築を鑑賞したい。巨匠・村野藤吾作品 機能美に遊び心加え	鶴谷 真 毎 日	11.15
建築季評 村野作品都市で現実性	中川 理 読 売	12.25
多摩川の達人5 描く 鳥瞰図絵師の村松さん 川への興味誘う絵地図[村松昭]	石川 幸夫 朝 日	8.30
顔 武田一族の栄枯盛衰を日本画で描いた 村松辰夫さん	新仏 克利 読 売	10.23
ロマンと情緒 村山槐多	蔵屋 美香 太陽(別冊)	154
美の美 名画にみる夢4 レオナルド [村山槐多]	宝玉 正彦 日 経	9.21
コミックガイド イヌジニ―犬神人1 室井大資作	山脇 麻生 朝 日	9.21
青春プレイバック 室井東志生 神奈川県南足柄市塚原 画室	高岡 忠雄 新美術新聞	1140
スペシャル・インタビュー 日本画家・室井東志生が語る 美しいポーズを見つけたことも人物を描く楽しみのひとつ	室井東志生 美術の窓	297
名建築を訪ねる 旧石川組製糸西洋館 贅を尽くした迎賓館 [室岡惣七]	土門 哲雄 東 京	1.16
[特集]二〇〇七年のアーティスト・トーク 「工芸館30年のあゆみ」展ギャラリー一トークから	室瀬 和美 現代の眼	568

人間国宝・工芸技術の部に増村紀一郎氏ら4名[室瀬和美]	新美術新聞	1160
秋の褒章 紫綬褒章 漆芸作家室瀬和美さん	読 売	11.2

(メ)

特集 明和電機ナンセンス=マシーンズ展2007 明和電機ナンセンス=マシーンズ展	岡 相良 寅徳 優子 岡山ひと*	3
--	------------------	---

(モ)

学校と私 装丁家毛利一枝さん「自分」感じられるもの探した	高橋 咲子 毎 日	8.4
座談 「愛知社」について(中編)(後編)	川崎 鈴彦、毛利 武彦、木本 文平 話し手 入江 聞き手 観	連盟ニュース 425、426
PAPER IN MY WORK 116 MO-MENT 黒を豊かに引き立てる紙	杉瀬 由希 デザインの現場	159
座談会 秋山画廊のこと	江口 関 週 敏 最上 渡辺 壽之 豊重	屋外彫刻調査保存研究会報 4
2008年子年新春企画 年男年女	最上 壽之 新美術新聞	1140
視線 茂田井武美術館 記憶ノカケラ 茂田井武著	サエキけんぞう 朝 日	10.26
PICK UP Exhibition with 望月通陽展	ギャラリー一*	279
特集 Gravure Magic! グラビア写真の魔力!! Interview & Column 対談:「月刊」編集長 宮本和英×MOTOKO:「アンチ・グラビア」としてのグラビア	山内 宏泰 インタビュー・文	STUDIO VOICE 389
わたしの宝もの35 トライアンフ	元田 久治 新美術新聞	1148
足で描いた前衛 白髪一雄さんを悼む	元永 定正 毎日夕刊	4.15
70回記念展を迎えた一水会「写真の本道」の過去・現在・未来	本山 唯雄 新美術新聞	1167
ひと 第46回朝日陶芸展でグランプリを受賞した 森克徳さん	西田 健作 朝 日	8.21

巻頭特集 いま、立体作家が面白い！ 立体作品に注目、楽しいコレクション 木彫ルネッサンスがはじまった 木から生まれる百花繚乱 [森淳一]	アート・トップ	219	森下裕美さんが新作漫画『夜、海へ還るバス』自身の夢きっかけに見つめた「母と娘」	内藤麻里子	毎日夕刊	6.11
リレー・エッセイ [森淳一]	〃		三軌六十年の感慨 自由な気風を背景に、尊重される個人の表現	森田 一男	新美術新聞	1149
優れた芸術作品が感じさせる戸惑い	柴田 建治	220	故赤塚不二夫さん 戦後闘争の季節に笑い 流行語次々「ニャロメ」「シェー」 「人生はギャグ」惜しまれて… 漫画家森田拳次さんの話	東京	8.3	
絶対絵感	森 淳一	221	赤塚不二夫さん死去 明るい酔っぱらい	森田 拳次	毎日	8.3
特集02 棚田康司 少年少女たちの秘密 棚田康司インタビュー	森 淳一 聞き手	224	ザ仕事人 切手デザイナー 買いたくなる 図柄迫及 著作権調整や撮影に時間 [森田基治]	関口 慶太	日経夕刊	3.25
A tale of…… 森淳一 消滅のビジョンを肯定する	(山)	〃	Zero in on 森田りえ子 金閣寺方丈の杉戸絵・天井画	森村 泰昌	アート・トップ	220
みる しめかざりの旅	森 須磨子	芸術新潮 708	特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセクション 森長武雄 物語性	高山 淳	美術の窓	300
現代陶芸・陶彫 光源氏の愛人たち[森正]	柴辻 政彦	陶 説 660	座談会・日展創立百年を迎えて	大槌長左衛門、森野泰明、金子賢治、孝一 森司会	陶 説	665
第72回新制作展 間もなく国立新美術館で開催	森 史夫	新美術新聞 1162	特集 変身する欲望：アジア=パシフィックの 写真表現 対談 森村泰昌×やなぎみわ	編集部 司会・文	ART iT	19
新大窯完成！ 森陶岳、古備前への挑戦		芸術新潮 706	Zero in on 森田りえ子 金閣寺方丈の杉戸絵・天井画	森村 泰昌	アート・トップ	220
2008年日本建築学会作品選奨 京都市本能特別養護老人ホーム・京都市立堀川高等学校本能学舎[森雅章]		建築雑誌 1579	特集 「アーティスト」になる基礎知識 展覧会のつくりかた 森村泰昌さんにとって、展覧会とは何ですか？	竹中(金)悠美 聞き手	美術手帖	904
雅花—森雅美写真集 森雅美著	(ゆ)	毎日 8.10	SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト・序論 アーティストによるアーティスト論 森村泰昌 時間の塵	森村 泰昌	〃	909
美術学部教員展図録デザイン	森 真弓	愛知県立芸術大学紀要 37	特集 フェルメール「フェルメール」かく語れり 燐光する天体 光の結像、あるいは視覚美術の原点	浅田 彰 森村 泰昌	ユリイカ	554
第4回春の足立美術館賞決まる[守みどり]		新美術新聞 1153				
点鬼簿の作家像スケッチ帳 その6 森芳雄と『二人』	森 林 紀一郎	〃 1163				
京友禅に生きた匠 森口華弘・羽田登喜男両氏を悼む	河上 繁樹	朝 日 2.28				
惜別 友禅の人間国宝 森口華弘さん	森本 俊司	朝日夕刊 3.14				
追想録 森口華弘さん(染織家) 友禅の芸術性高める	岡松 卓也	日経夕刊 3.28				
黒川紀章とは何者か？ アスベスト禍を告発する美術行為を継続中	森下 泰輔	美術運動 135				

ゲバラ・毛沢東・ヒトラー… 20世紀実在の男に扮して 森村泰昌 おかしみまぶし現代批評	大西 若人 朝 日	2.2	PROJECT 09 森山大道×蜷川実花の色彩、闇の官能	蜷川 実花、森山 大道 森談 飯沢耕太郎 司会	
クロス×トーク 森村泰昌さんに分子生物学者福岡伸一さんが聞く「美しい」って死語ですか「カワイイ」とお金が主役に 水着問題があらわす美意識の衰え	森村 泰昌、福岡 伸一 対談	7.7	旅・色・触感 蜷川実花と森山大道の写真世界	飯沢耕太郎	
露地庵先生のアンボン譚 第9話〜第20話	森村 泰昌 産 経	1.9、2.13、3.5、4.2、5.4、6.5、7.3、8.13、9.7、10.5、11.5、26	森山大道さん 東京で個展 写真は外界のコピー	大西 若人 朝 日	5.17
森村泰昌「荒ぶる神々の黄昏／なにものかへのレクイエム・其の式」展 眼差しが問いかけるもの	児島やよい 東 京	1.12	街の欲望を切り取る写真家 森山大道に聞く	黒沢 綾子 産 経	5.18
静物画の秘密ーウィーン美術史美術館所蔵5 目線の先に「悲劇」にじむ	森村 泰昌 東京夕刊	7.16	影からの化け物。犬森山大道展、鑑賞記	前田 司郎	6.4
空間 悲しいアジテーション[森村泰昌]	(清) 読売夕刊	1.19	交遊抄 カミソリとナタ	森山 大道 日 経	3.20
顔 減びかけたクメールかすりを再生した西陳友禅職人 森本喜久男	太田 誠 読 売	3.4	半歩遅れの読書術 襲いかかる写真 寺山の言葉に絡み合う[森山大道]	青山 南	11.30
中特集 巨匠展ー今そして未来2008ー 巨匠展出品作家 森本草介	森本 草介 美術の窓	296	こころの玉手箱 カメラマン 森山大道 1〜5	森山 大道 日経夕刊	6.16〜20
特集 デザイナーが会いたかった人たち 森本千絵が永井一正を訪ねる	神吉 弘邦 A X I S	134	日本の情緒愛憎半ば 森山大道×渚ようこ 対談「写真と歌謡曲」	前田 恭二 読 売	6.5
特集 Part. 1 絵を發表しよう!! section 1 公募団体展で發表する 人気作家が語る!!「公募展とわたし」	守屋 順吉 美術の窓	300	Zero in on 森脇 正人の龍と、“生きる”展	野地耕一郎 アート・トップ	222
第45回記念朝日陶芸展 グランプリ Plaza “雲” 森山寛二郎さん	西田 健作 朝日夕刊	4.8	(ヤ)		
Topics 森山大道展 I. レトロスペクティブ1965ー2005/ II. ハワイ	森山 大道 談 東京都写真美術館インタビュー・構成	57	マンガの国の「衣食住」 「釣りキチ三平」の天才的才能[矢口高雄]	竹内オサム 毎 日	12.27
SPECIAL FEATURE 蜷川実花による蜷川実花	美術手帖	915	帰りたい 私だけのふるさと 秋田県増田町(現横手市) 道草で生きるすべ学んだ	矢口 高雄 毎日夕刊	10.23
			作家訪問381 陶芸家 矢島美途さん	編 集 部 目の眼	383
			New face at TUAD 2007	中山ダイスケ 近藤一弥 藤坂敏博 東屋代天志 岩井浩二 谷高男 東北芸術工科大学 紀要	15
			写真の系譜 III 日本美を求めて	鈴木 勝雄 太陽(別冊)	154
			安井曾太郎		
			画の魅力を支えるデッサンの力		

茨城県近代美術館所蔵作品から 安井曾太郎「寝たる女」	山口 和子 游 美 60				杜賞 講演会報告 杜の会主催 新入生 歓迎「風とロック と取手」箭内道彦氏 講演会	橋本 和幸 杜 24
Close-up82 安岡亜 蘭 線と面の美しい 造形の中で「過去」と 「未来」が融合する生 き物たちの世界		ギャラリー 一*	278		今月の読みもの 柳 デザインが生まれる 現場	柳 宗理 百 科* 551
写真集 要塞利島 著者安島太佳由さん 戦跡が発する声	栗原 俊雄 毎 日 9.14				特集 変身する欲望 ：アジア=パシフィ ックの写真表現 対 談 森村泰昌×やな ぎみわ	編集部 司会・文 ART iT 19
特集 「世界」を救う ためにデザインがで きること。 デザイン は世界を救えるか !? ケーススタディ 16 安全11 東京工 業大学緑が丘1号館 レトロフィット[安 田幸一]		デザイン の現場	159		津村耕佑 妄想オー ダーモード 第14回 お客様：やなぎみわ	津村 耕佑、 やなぎみわ 対談 "
テークオフ 美術家 安田佐智種さん 身 体と視覚つながる摩 天楼の風景	大西 若人 朝日夕刊 11.1				中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放て 対談 諏訪敦×やな ぎみわ	アート・ トップ 219
パリ、亡妻の影追っ て	保田 春彦 "		9.6		〈修士論文要旨〉 演 じられるアイデンテ ィティ/演じられる 性差 やなぎみわの 《エレベーターガール	クレスティ ーナ・スカ ール 京都国立 近代美術館研究論 集 1
良寛 聖にあらず、 俗にもあらず コラム 良寛に魅せられた 人々[安田鞆彦]	編集部 太陽(別冊) 153				占い師たち Fortune tellers	やなぎみわ 国立国際 美術館ニ ュース 165
写真の系譜Ⅲ 日本 美を求めて 安田 鞆彦	鈴木 勝雄 "		154		Topics やなぎみわ 展(仮)	やなぎみわ 談 東京都写真 美術館ニ ュース 60
第六十一回全国大会 研究発表要旨 安田 鞆彦《夢殿》—図像解 釈と制作背景を中心 に—	三上 美和 美術史 165				SPECIAL FEATURE 日本のアーティスト ・序論 アーティスト によるアーティスト ト論 やなぎみわ むせかえるような密 着と星のような速さ を	やなぎみわ 美術手帖 909
きょうから「国宝法 隆寺金堂展」記録 映画「壁画よみがえ る」会場で上映[安 田鞆彦]		朝 日 6.14			INFORMATION NEWS 来夏のヴェ ネツィア・ビエンナ ーレ日本館はやなぎ みわ個展に決定!	藤原えりみ "
やまと うるか 大和し美し 川端康 成と安田鞆彦	(前) 読 売 10.12				現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 第53回ヴェネツィア ・ビエンナーレ日本 館はやなぎみわ コ ミッショナーは南 島宏	美術の窓 303
ニッポン人・脈・記 千年の源氏物語 6 王朝の香りあくなき 探求[安原盛彦]	白石 明彦 朝日夕刊 4.28				来年のベネチア・ビ エンナーレ 日本館、 やなぎみわさん個展	大西 若人 朝 日 10.25
特集 レム・コール ハース以降の建築理 論Ⅱ インタビュー 建築理論の失効 ／都市理論の変容	八東はじめ 建築雑誌 1574				来年のベネチア・ビ エンナーレ日本館 出品作家はやなぎみ わさん コミッショ ナーは南島宏さん	岸 桂子 毎日夕刊 10.28
先輩に聞け! デザ イナーが若いうちに しておくべきこと27 箭内道彦	石田 純子 デザイン の現場 161					

アーティスト訪問53 柳幸典	ギャラリー 一*	275	山内道雄写真集 TOKYO UP CLOSE	(前)	読	売	2.24
ARTIST INTER- VIEW 柳幸典	福住 廉 インタビュー 一	美術手帖	909	ギャグは無限でゼロ 「がきデカ」山上たつ ひこさんに聞く	山上たつひ こ 談 智英 聞き手	朝日夕刊	6.21
特集 学びの場を問 う II 学校の「開・ 閉」をめぐる話題 教室空間のオープン 化について	柳澤 要	建築雑誌	1582	「少年ケニヤ」山川惣 治 生誕100年の回 顧展 敗戦直後のヒ ーローよ 少年たち に夢とロマン	渡辺 延志	〃	6.4
人と墨1 柳沢正人 墨こそ永遠のジャポ ニズム		趣味の水 墨画	229	アクリリックス・ワ ールド44 山口藍	石井 芳征	美術手帖	905
みる 氷川丸ふたたび	柳原 良平	芸術新潮	702	彩・美・風	山口 晃	朝日夕刊	4.2、9、 16、23、 30
ラオスで活躍 元気 な日本人 歴史を守る 放置・朽ちる仏 像を修復 身延山大 教授 柳本伊左雄さん 「急いで直す必要 がある」 学生も参 加、指導者に養成	大野 孝志	東 京	12.21	対決一巨匠たちの日 本美術 現代美術家 ・山口晃さんから見た 対決展 会席の宴の ごとく24人	山口 晃 奥山 敦 聞き手	〃	7.29
帰りたい 私だけの ふるさと 高知県在 所村朴ノ木(現香美 市) 日暮れまで魚 釣って泳ぎ回った	やなせたかし	毎日夕刊	6.19	新聞広告の力 画家 山口晃さんに聞く		産 経	10.20
日中戦争期における 雲岡石窟と日本人美 術家(1)一柳瀬正夢 と長谷川三郎を中心 に	五十殿利治	筑波大学 芸術研究 報告	51	絵画への挑戦 山口 伊太郎の織道楽		芸術新潮	702
研究講演会「多様 な造形世界を語る」 ～矢野利隆氏～		主体美術	83	源氏物語「西陣織」絵 巻[山口伊太郎]		朝 日	3.4
“ウルトラ・ファク トリー”誕生	ヤノベケン ジ、大野木啓人、 横内 敏人 談	瓜生通信	43	美の履歴書 087 画 家が最期に見たのは 「おぼろ月に輪舞す る子供達」 山口薫	古賀 太	朝日夕刊	12.3
家族 トらやん 一 話 堅物の父 還暦 の腹話術[ヤノベケン ジ]	大久保真紀	朝 日	3.16	山口薫展 都市と田 園のはざままで 力強 さから繊細さへ	染谷 滋	読売夕刊	11.1
かわいくない? 奈 良・平城遷都1300年 祭キャラクター論争 [簗内佐斗司]	花澤 茂人	毎 日	3.2	作家訪問375 金師 山口孝雄さん	編 集 部	目の眼	377
記者の目 平城遷都 1300年祭の「せんと くん」 県民不在の 象徴にするな 協会 は情報公開と説明を [簗内佐斗司]	〃	〃	5.6	点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その2 山 口長男とチョウナン 先生	林 紀一郎	新美術新 聞	1152
ファイニンガー展 光の結晶1 西の海 見事な多次元構成	矢吹 申彦	東京夕刊	8.25	山口八九子資料VI 一大正六年句録一	丹尾 安典	早大津 八一記念 博紀要*	9
海外展レポート1 ほんもの物語 山内 龍雄		ギャラリー 一*	276	2008年日本建築学会 作品選奨 AGCモノ づくり研修センター [山口広嗣]		建築雑誌	1579
				きる これさえあれば	山口美登利	芸術新潮	707
				特集Part. 1 絵を 発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	山口 実	美術の窓	300

デザイン専攻 情報 デザイン領域 人間 味アート	山口百合子	多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集	2008	特集 アジアの孝子 物語 篆刻家・山田 寒山とその母貞参尼	柿木原くみ	アジア遊 学	112
工芸専攻 陶領域 制作の現場から	山口 洋子	" "	" "	写眼 遠くだから見 える大切なもの 山 田脩二「カンポンブ ロック村の生業」 (2006年)	堀 晃和	産 経	5.5
視線 オホーツク 流水の季節 山崎猛 著	新井 敏記	朝 日	11.2	山田純嗣 日常の中 にひそむ記憶の森へ	岩坪 文子	版画芸術	140
特集 建築ガールズ パワー VI 建築ガ ール、活躍の場一職 域を拓ける女性たち ランドスケープと建 築を媒介する	山崎 誠子 平塚 桂 文	建築雑誌	1579	テークオフ 美術家 山田純嗣さん「視 覚的な記憶」で自分 の作品を探求	古賀 太	朝日夕刊	7.12
A tale of…… 山崎 龍一 カワイイアノコ は好きですか……?	(玉)	アート・ ト ッ プ	224	COVER GALLERY 山田伸	山田 伸	瓜生通信	45
コミックガイド 寿 町美女御殿 山下和 美作	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	3.16	コミックガイド ビ アティチュード1 やまだないと作	南 信長	朝 日	11.9
《連載》戦時下日本の 美術家たち 第20回 反転する視線—山下 菊二	飯野 正仁	あ い だ	145	山田なおこ写真集 「スナック」	(前)	読 売	11.23
心理学者とK・Y[山 下清]	丹尾 安典	一 寸	36	特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセレクション 現代作家のベストセ レクション 山田展 也 無限なるものの 前で	高山 淳	美術の窓	300
視線 もうひとつの 島の時間 山下恒夫 著	新井 敏記	朝 日	11.30	山田守の住宅観に 関する研究—1931年 竣工の「鶴見邸」を 中心とする考察—	今浪 絵里 大宮 司 岩岡 勝弘 竜夫	日本建築 学会計画 系論文集	627
巻頭特集 猫をうま く描く ⑧技法講座 VOL.12 Part.1 技 法編 LESSON3 日 本画 布の柔らかさ をいかし、猫の丸み や触感を出す	山下まゆみ	美術の窓	301	山田守設計による長 沢浄水場のデザイン に関する研究	大宮 司 岩岡 勝弘 利枝	"	634
アートで生きる/ア ートとかかわる10 連載トーク「女性ア ーティストの現在」7 山下美幸×杉田敦	土屋真喜子 構成	美術手帖	906	巻頭特集 いま、立 体作家が面白い! 立体作品に注目、楽 しいコレクション グラフィック 山田 実穂		アート・ ト ッ プ	219
山下裕二の今月の隠 し球45、46 山下美 幸 「臨界点のイメ ージを、とろとろ垂 れ流す」(上)(下)	山下 裕二	美術の窓	300、301	コミックガイド コ ランタン号の航海 大木えりか原作、山 田睦月画	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	4.13
軍艦アパート 山下 豊著		日 経	4.20	PICK UP Internet Open 画家のサイ トを立ち上げた山田 裕子		ギャラリ ー*	281
人・模・様 ゴルフ コースの美撮り続け [山田兼道]	湯浅 聡	毎日夕刊	10.20	ART REPORT ミヤ ンマー、その美術界 の現状	山田 陽子	" "	" "
巻頭特集 ドローイ ング・デッサンの技 を磨く ⑧技法講座 VOL.10 十五歳の 叫び 色香のある線 —山田かまちのデ ッサンについて—	広瀬 毅郎	美術の窓	298	コミックガイド コ コナツピリオド1 山田玲司作	山脇 麻生	朝 日	12.14
				源氏物語千年紀展特 集 対談「源氏物語 を語る」恋愛心理 今も普遍 個性豊か 女の競演	大和 和紀 瀬戸内寂聴 宮川 匡司	日 経	5.1

特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 大和屋 巖 大群像の構図	高山 淳	美術の窓	300						伊藤 有壱、 岡本美津子、 山村浩二、 山村出口 藤幡 談	芸大通信	17
特集 慈しまれる？ モダニズム建築 II 事例 重要文化財、 世界遺産候補として の「国立西洋美術館 本館」	山名 善之	建築雑誌	1571						東京芸術大学教授/ アニメーション作家 山村浩二さん 想像 力醸す手書きの絵	堀 晃和 産 経	4.26
ひと 毎日写真コン テストで内閣総理大 臣賞受賞 山中健次 さん	上鶴 弘志	毎 日	12.13						社会人 My キャンパ ス 教える人 アニ メーション作家 山 村浩二 上、中、下 東京芸術大大学院・ 映像研究科	山村 浩二 日経夕刊	11.28、 12.5、12
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 山中さ と多 光溢れる色彩	切刀 知子	美術の窓	300						デザイン専攻 情報 デザイン領域 記憶 と存在	山本 詠美 多摩美術 大学大学院修了論 文作品集	2008
コクヨデザインアワ ード2008 審査員長 山中俊治氏に聞く 「炭素」というテーマ に込めた思い	山本 玲子	A X I S	133						杜賞(受賞者の言葉) 杜賞受賞にあたって	山本久美子 杜	24
建築ロゴス再考 ロ バスト性「柔軟さ」 と「強靱さ」を持つ建 築デザインへ向けて	山中新太郎	建築雑誌	1575						美の履歴書 085 だ れのため描いたのか 「寝掘り」山本作兵衛	菅野みゆき 朝日夕刊	11.19
特集 Part. 2 美術 の窓 300 号の歩み& ベストセクション 現代作家のベストセ クション 山中宣 明 根源的な象	高山 淳	美術の窓	300						2008年日本建築学会 作品選奨 東洋ロキ グローバル本社ビル [山本茂義]		建築雑誌 1579
探訪 洋画家山中宣 明先生を訪ねて一心 象の韻 色彩にこめ て—		游 美	60						デザイン専攻 情報 デザイン領域 悲劇 と喜劇をわかるもの	山本 純子 多摩美術 大学大学院修了論 文作品集	2008
(特集・座談会) 卒展 2008 内面世界を追 求したいけど…美大 を出た後はどうやっ て発表していく？ [山中周子]		ギャラリー 一*	275						『風俗画報』にみる山 本昇雲の画業	後藤 雅子 高知県立 美術館研究紀要	7
Artist Interview 91 山中桃子 強い心を やわらかに描く	石田 純子	デザインの 現場	159						Zero in on 建築家 ・山本想太郎が語る 高山辰雄の「痛くない 芸術」	山本想太郎 アート・ ト ッ プ	223
PAPER IN MY WORK 117 山野 英之 適材適所の役 割を大切に	杉瀬 由希	"	160						特集01 超絶技巧絵 画編 インタビュー 超絶技巧の秘密に迫 る 山本タカト	山本タカト " "	" "
コミックガイド イ ントへ馬鹿がやって 来た 山松ゆうきち 作	南 信長 朝 日	4.6							恐竜大陸 支える人 々 1 恐竜画家 山 本匠さん	東 京	3.21
新機軸のアニメ版 カフカの迷宮世界 [山村浩二]		芸術新潮	704						特集01 アートの 理由 アンケート 若手作家に聞きました [山本太郎]	アート・ ト ッ プ	224
									第2特集 日本画復 活論 ニッポン画 「日本画」たりえな かった絵画についての 考察	山本 太郎 美術手帖	903
									追悼 小西保文さん 小西保文さんを偲ぶ	山本 貞 新美術新 聞	1170

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクション 現代作家のベストセレクション ユタカ順子 実存	高山 淳	美術の窓	300
「嬉しくなくちゃつまらない」85歳、柚木沙弥郎の原動力		芸術新潮	701
巻頭特集 猫をうまく描く ④技法講座 VOL. 12 Part. 2 グラビア編 誌上グラビアで猫を楽しもう妖艶さ	湯真 藤子	美術の窓	301
(ヨ)			
巻頭特集 猫をうまく描く ④技法講座 VOL. 12 猫あそび待ったなし! 猫・姉弟十二番勝負	與倉 豪	〃	〃
PERSON 第15回 VOCA 賞を受賞した横内賢太郎氏	(山)	アート・トップ	220
「第15回 VOCA 展 2008—新しい平面の作家たち」VOCA賞に横内賢太郎氏決まる		新美術新聞	1141
VOCA 賞に横内賢太郎さん		朝 日	1.19
テークオフ 画家横内賢太郎さん 官能性と批評性の両方を表現	秋山 亮太	朝日夕刊	2.16
“ウルトラ・ファクトリー”誕生	ヤノベケンジ、大野木啓人、横内 敏人 談	瓜生通信	43
わたしの宝もの36 昆虫標本	横江 逸美	新美術新聞	1151
コミックガイド 妄想戦記 ロボット残党兵 1 横尾公敏作	南 信長	朝 日	11.23
冒険王・横尾忠則一戦後日本の時代精神	飯田 高誉	ART RAMBLE	20
特集 横尾忠則の大冒険	横尾 忠則、中条 省平 談	芸術新潮	702
特集 ジュエル・ヴェルヌ 対話 Y字旅行	横尾 忠則、芳川 泰久	水声通信	27
特集 細野晴臣の楽しみ方! MUSIC & LIFE LIFE 対談 横尾忠則	編集部	STUDIO VOICE	393

特集 あなたの知らない版画の秘密 日本編 Q16 デザイナー横尾忠則、版画界に乱入!	山本 雅美	版画芸術	142
PROJECT FOCUS 横尾忠則 オダリスク	飯田 高誉	美術手帖	907
特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセレクションスペシャル編集長対談 横尾忠則十一井建二 イメージの源泉		美術の窓	300
小林秀雄が「隠居」のヒント	横尾 忠則 百 科*		547
特集 パブロ・ピカソ 現代美術の冒険者 パブロ・ピカソが撒き散らしたものと	横尾 忠則 黒瀬 陽平 聞き手	ユリイカ	558
もっと知りたい! 横尾忠則展 児童に不向き? 問われる美術鑑賞の意義 「芸術は本来、過激」 横尾さん談話	宮坂 麻子 朝 日		6.6
教委、横尾さんに謝罪		〃	7.2
ポスター差し替え 怒る横尾忠則さん 高校美術の教科書検定		朝日夕刊	3.26
人生の贈りもの アーティスト横尾忠則 1~5	宮坂 麻子 聞き手	〃	5.26~30
横尾忠則が「隠居宣言」 老いて愉しむ冒険人生	黒沢 綾子 産 経		3.23
横尾作品を差し替え 1ミリの表現に「不適切」		東 京	3.26
横尾さん企画展鑑賞中止 世田谷区議や美術館「区教委は作者に説明を」	中沢 誠	〃	5.28
世田谷区教委 横尾展の鑑賞教室中止 「児童に不向き、過激」 事前相談なく横尾さんが抗議		東京夕刊	5.16
患者の目 美術家横尾忠則氏 1~4	横尾 忠則 日 経		2.10、17、24、3.2
温泉主義 ぶるうらんど 横尾忠則著	田中 純 読 売		6.1
奇縁まんだら 瀬戸内寂聴著 画・横尾忠則	橋本 五郎	〃	6.8

巻頭特集 新ミクス トメディア ⑧技法 講座 VOL. 13 スペ シャルインタビュー 凝縮したエネルギー が立体となって画面 から飛び出す	横尾 美美 談	美術の窓	303	個人研究・教員年譜 美術学科 油絵専攻	吉井 章	広島市立 大学芸術 学部紀要	13
建築年報2008 IV 建築界の動向と展望 建築界の体質・日本の 体質	横河 健	建築雑誌	1580	ひと 源氏物語に登 場する368の色を再 現した染織史家 吉 岡幸雄さん	樋口 彩子	朝 日	12.9
日本の新進作家展 vol. 7 オン・ユア ・ボディ 1 横溝静 「Forever (and again)」	笠原美智子	東 京	10.28	アングル ヴィーナ スー結晶の椅子[吉 岡徳仁]		A X I S	135
交遊抄 町おこしの 名人	ヨコミゾマ コト	日 経	5.24	特集 海外サクセス バイブル 新たな海 外市場の開拓者 吉 岡徳仁	土田 貴宏	デザインの 現場	161
下村観山・横山大観 《日・月蓬萊山図》— 主題と朦朧体との関 わりについて	森 充代	アマリリ ス	91	博物学的美術史FILE. 31 吉岡徳仁—セカ ンド・ネイチャー	編 集 部	美術の窓	303
横山大観の魅力—作 品の細部に迫る—	植田彩芳子	国立新美 術館ニュー ース	5	現代デザイン考 最 前線 2人の言葉から 探る[吉岡徳仁]	大西 若人	朝日夕刊	11.12
墨のある風景 横山 大観《無我》	〃	趣味の水 墨画	229	クリスタルに紡ぐ物 語 デザイナー 吉岡 徳仁	黒沢 綾子	産 経	4.9
理想を求めて 横山 大観	〃	太陽(別冊)	154	拝見します そのデ ザイン 温かく照ら す月のような光[吉 岡徳仁]	渡部 千春	〃	9.28
芸苑雑事記184 遠 州、大観、大津鎮雄	瀧 悌三	美術の窓	295	2008年日本建築学会 作品選奨 北海道薬 科大学臨床講義棟 C [芳川朝彦]		建築雑誌	1579
視点 大熊家コレク ション(日本画作品) の寄贈[横山大観]	平山 都	〃	296	特集 慈しまれる? モダニズム建築 II 事例 大学セミナー ・ハウス、築40年目 の激動[吉阪隆正]	齋藤 祐子	〃	1571
茨城県近代美術館所 蔵作品から 横山大 観「紫山返照」	藤本 陽子	游 美	58	特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! sec tion 1 公募団体展で 発表する 人気作家 が語る!!「公募展と わたし」	吉田 高行	美術の窓	300
横山大観の「漁樵問 答」「竹雨」と片ぼか しの技法について	佐藤 志乃	横山大観 記念館報	24	特集 慈しまれる? モダニズム建築 II 事例 東京・大阪中 央郵便局庁舎の保存 に関する取組み[吉 田鉄郎]	南 一誠	建築雑誌	1571
横山大観の回顧展に ついて	池田 博子	〃	〃	作品と場所あるいは 空間との関係	吉田 晃良	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	4
日本の美 心の芸術 横山大観 巨人伝説 没後50年展 代表作 ずらり 近代日本と 伴走 今に語りかけ る	田中 三蔵	朝 日	1.22	SPECIAL FEATURE 名作はいかにして生 まれるのか? スタ ジオジブリのレイア ウト術 スタジオジ ブリ最新作『崖の上 のポニョ』 Interview 作画監督に聞く『崖 の上のポニョ』の見 所 2 吉田昇	山内 宏泰	美術手帖	912
愛の旅人 茨城・五 浦 家庭の悲惨こえ 巨匠に 横山大観と 3人の妻 「大観自 叙伝」	及川 智洋	〃	1.26	NIWA 横山裕一 New Engineering Yuichi Yokoyama	栗田 大輔	美術手帖	903
美の履歴書 046 な ぜ大だけがにらむの か 「風蕭々兮易水 寒」 横山大観	田中 三蔵	朝日夕刊	2.20				

近代美術の東京 新 月 吉田博・画	都築千重子	読 売	3.14	日々好日 今は昔	米谷 清和	新美術新 聞	1153
Recommend New Designer 吉田ユニ	吉田 ユニ	デザインの 現場	158	顔 世界初の宇宙芸 術を企画した東京芸 術大学教授 米林雄 一さん	山田 聡	読 売	9.11
特集 母と娘の物語 一母/娘という呪い インタビュー 写真 の中の母、それを見 る娘	吉野 朔美 編 集 部 聞き手	ユリイカ	559	特集 投稿論文「グ ローバリズム」II 投稿論文2 直接的、 肯定的、東京的	米正 太郎	建築雑誌	1583
「初期古唐津」再現の 夢を追って十年	吉野 靖義	陶 説	663	私のアートスクール 時代 寄藤文平		美術手帖	910
吉増剛造著「表紙om- ote-gami」	(良)	読 売	8.3	テークオフ アート ディレクター 寄藤 文平さん 読者の共 通項を探して	小川 雪 日 経		5.31
作家通信 第15回記 念遊墨民展銀座を終 えて	吉見 公子	趣味の水 墨画	233	反抗と前衛 萬鉄五 郎	大谷 省吾	太陽(別冊)	154
特集 慈しまれる? モダンイズム建築 II 事例 国際文化会館 保存再生の成果と課 題[吉村順三]	兼松絃一郎	建築雑誌	1571	美術館への招待 萬 鉄五郎記念美術館 帰郷して画風を転換	後藤 喜一	東京夕刊	7.3
美の美 木造モダン の力ー昭和の木造建 築 下[吉村順三]	窪田 直子	日 経	10.16	(う)			
海外に学び日本に学 ぶ うつろう事務所 生活ーMVRDV	吉村 靖孝	建築雑誌	1575	「金色のガッシュ!!」 原画紛失で提訴 小学館に330万円賠 償求め[雷句誠]	銭場 裕司	毎 日	6.7
きく 鐘のひびく街 へ	吉村 行雄	芸術新潮	698	大特集 樂吉左衛門 が語りつくす 茶碗 ・茶室・茶の湯とは なにか	編 集 部 樂吉左衛門 木村 宗慎	芸術新潮	699
特集01 超絶技巧絵 画編 技巧の冒険者 たちが超絶“思考”を 巡る	小川 信治 鷺見 磨 深津 真也 吉村 芳生	アート・ ト ッ プ	223	大特集 樂吉左衛門 が語りつくす 茶碗 ・茶室・茶の湯とは なにか 茶碗と花の 苦しみと楽しみ 対 談 川瀬敏郎+樂吉 左衛門		" "	
第45回記念朝日陶芸 展 川崎記念賞 青 白磁幾何文大皿 吉 本茂さん	西田 健作	朝日夕刊	4.8	人・模・様 染焼で 映し出す自然と人間 [樂吉左衛門]	田原由紀雄	毎日夕刊	7.7
SV CUT UP PHOTO BOOKS 吉行耕平 『The Park』“覗き” の反復構造	編 集 部	STUDIO VOICE	386	特集 写真集の現在 2008 PHOTOBOOKS NOW PHOTOBOOKS FILE 拡張し続ける 領域における“写真” 表現	良知 暁	STUDIO VOICE	394
新・私のアルバム17 淀井彩子	小森佳代子	美術の窓	298	SV ART PHOTO GAL- LERY 良知暁	岡井 輝毅	" "	
造形表現における女 性の創造力	淀井 彩子	青山女子 短大総合 文化研年 報*	16	TOKYO あにめのまー ち14、15[ラレコ]	加納 昭彦 竹井 陽平	読 売	3.20、25
SV ART ART SPACE 淀川テクニク	小吹 隆文	STUDIO VOICE	396	(り)			
画家たちの美術史59 与那覇大智	鷹見 明彦	美術手帖	903	特集 小さなまちの 建築的実験 III ケ ーススタディ:まち の温度を上げる現在 形一金沢 CAAK一 消費ではなく、交換 の場として	林野 紀子	建築雑誌	1582
建築年報2008 III デザインレビュー 意匠 転換期の兆候	米田 明	建築雑誌	1580				
Faces 18 米田知子 歴史を未来へ照射す る	児島やよい	ART iT	21				
SV ART PHOTO GAL- LERY 米田知子	山内 宏泰	STUDIO VOICE	395				

(ル)

現代工芸作家シリーズ34 魔術師たちの贈り物 留守玲	富田 康子	アート・トップ	219
[開館30周年記念展Ⅱ 工芸の力ー21世紀の展望]トークイベントから	留守 玲、北村 仁美	現代の眼	569
コミックガイド おれは魔物とくらしてゐる ルノアール兄弟作品集 ルノアール兄弟作	山脇 麻生	朝 日	10.19

(ロ)

特集 第1部 東京芸術大学と地域連携	六角 鬼丈、川井 學、藤幡 正樹	芸大通信	16
芸大121年は!	六角 鬼丈	杜	24
「杜の会の発展を!」	〃	〃	25
連載 日本美術のススメ 今月の逸品「銀嵌刀筆天部奏楽の図飾箱」[六角紫水]	宮本真希子	美術の窓	303
コミックガイド ひみこい1 ろびこ作	ササキバラ・ゴウ	朝 日	7.6

(ワ)

写眼 忘れていた記憶 薮田純一「Stairs」〈「Primary Days」より〉	堀 晃和	産 経	8.25
特集 若林奮		Corridart	1
父と私	若林 夏欧		
彫刻家の横顔一車と若林奮	濱 素紀		
所蔵品研究: 若林奮《100の羨望》について	北谷 正雄	豊田市美術館紀要	1
特集 建築学会作品賞を問う 京都迎賓館をめぐる「和」の評価Ⅱ 京都ルポ 現代の「和」とどう格闘するか 地元建築家が見た京都迎賓館と日本の伝統	山本 良介、若林 広幸、岸 和郎、中村 安奈、神野 太陽、守山 久子	建築雑誌	1570
工芸専攻 金属領域 鍛金技法における技術展開と実制作	若森 奏	多摩美術大学大学院修了論文作品集	2008
きる 携帯のおしゃれ	若山嘉代子	芸術新潮	708
建築みやげ・建築グッズ 建築みやげ化するポストカード	脇坂 圭一	建築雑誌	1575

巻頭特集 新ミクストメディア ④技法講座 VOL. 13 講師による作品ギャラリー 滑らかな支持体とドロッピング技法

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 早稲田 郁子 ヒューマニティ

研究発表〈要約〉和田英作と装飾美術ーアール・ヌーヴォーから建築装飾へ

《特集=追悼・風倉匠》3 トーク・ショー「風倉匠と語る」(2006) からだに「戦争」をかかえて 風倉匠のハブニング原点

視線 表紙はうたう「週刊文春」のカヴァー・イラストレーション 和田誠著

表紙はうたう 和田誠著・装丁

特集 パブロ・ピカソ 座談会 ナウ・ピカソ!

新校舎設立特集 吉田松陰像

喪友記 和太守卑良さんを悼む 端正な陶芸家

追想録 和太守卑良さん(陶芸家) 繊細な感性、前進の原動力

本づくし 「重要なのは内側、外側から考え始めれば失敗する」『逆風野郎! ダイソン成功物語』ジェームズ・ダイソン著

コミックガイド お父さんのネジ 渡辺和博作

特集 Part. 2 美術の窓 300 号の歩み&ベストセクション 現代作家のベストセクション 渡辺幸子 危機

写真の系譜Ⅰ 西洋画への憧憬 渡辺省亭

座談会 秋山画廊のこと	江口 閣 最上 渡辺	週 敏 壽之 豊重	屋外彫刻 調査保存 研究会会 報	4	アルブレヒト・デューラーの透視図法 [レオン・パッティ スタ・アルベルティ]	井村 俊一	金沢美術 工芸大学 紀要	52
中特集 諏訪敦 リ アリズムを解き放 諏訪敦をめぐる1問 1答×30人[渡邊安 治]			アート・ トッ プ	219	文字をモチーフとし た私の近作—《惺惺 ・寂寂》	安 美子	女子美術 大学研究 紀要	38
2008年子年新春企画 年男年女	渡邊 麗		新美術新 聞	1140	小特集 アルベール ・アンカー いつも おなじ入射角の光を 見つめて	堀江 敏幸	芸術新潮	698
A tale of…… 綿 引展子 目を描く 「冷静の目」	(根)		アート・ トッ プ	223	Bunkamura アンカー 回顧展 穏やかな情 景に懐かしさ	紺野 雅子 等 庸子 浮津亜由美	読売夕刊	1.12
画家たちの美術史70 綿引展子	倉林 靖		美術手帖	916	美の美 写真と絵画 上 アンゲル[ジヤ ン=オーギュスト= ドミニク・アンゲル]	田村 広済 日 経		9.28
海 外					私の空想美術館55 フラ・アンジェリコ 『受胎告知』	栗津 則雄	美術の窓	300
(ア)					美の履歴書 089 金 色の光が包むわけ 「聖母子像」 フラ・ アンジェリコ	菅野みゆき	朝日夕刊	12.17
SV ART ART SPACE Tal R “The Look” [タル・アール]	松井みどり		STUDIO VOICE	385	インスピレーション グラフィック 手法 を超えたコミュニケ ーションデザイン— アンドレアス&フレ デリカ	深沢 慶太	A X I S	131
THE LOOK タル・ アール	中島 水緒		美術手帖	904	(イ)			
特集 アジア=パシ フィックのアートシ ーン2003—2008 アイ・ウェイ・ウェイ 艾 未 未 インタビ ュー	マヤ・コヴ スカヤ		ART iT	21	特集 変身する欲望 ：アジア=パシフィ ックの写真表現 イ ・サンヒョン イン タビュー	パク・スミ	ART iT	19
奇想遺産 オルセー 美術館 フランス [ガエ・アウレンテ イ]	隈 研吾 朝 日			6.8	チャールズ・イーム ズを追体験する写真 展「100images×100 words—偉大なるデ ザイナーのメッセー ジ」	瀧口 範子	A X I S	133
世界文化賞 芸術で 文化の橋渡し[ガエ ・アウレンティ]	渋谷 和彦 産 経			10.18	Faces 12 ルナ・イ スラム 希少な何か の本質を捉える	伊東 豊子	ART iT	20
アミーコ・アスペル ティニ 奇矯なる ルネサンス画家	高橋 恵理 取材		芸術新潮	708	新収作品 ピーダ・ イルステス《イーダ の肖像》	佐藤 直樹	国立西洋 美術館年 報	41
ジョヴァンニ・モレ ッリ『イタリア絵画 論—ローマのボルゲ ーゼ美術館とドーリ ア=バンフィオリ美 術館』翻訳(7)—ロ ンバルディア派(ジ ャンピエトリノから チェザーレ・ダ・ セストまで)[ニコ ラ・アッピアーニ]	上田 恒夫		金沢美術 工芸大学 紀要	52	街角アート 巨大な 帽子を被った庭師 [インゲス・イデー]	星野 清一	新美術新 聞	1148
芸術学専攻 マリー ナ・アブラモヴィッ チのバルカン	萬 翔子		多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集	2008	(ウ)			
SV CUT UP ART アナ・ラウラ・アラ エズ	宮村 周子		STUDIO VOICE	389	芸術都市バリの100 年展 ルノワール、 セザンヌ、ユトリロ の生きた街 1830〜 1930年 中[シュザ ンヌ・ヴァラドン]	中原 淳行 毎 日		6.10

「ダルシャン(Darshan)」ーラヴィ・ヴァルマーの作品にみる神像についての一考察	福内 千絵	芸術文化研究	12	あくまでかそれでもなおカーヴォーリスから今和次郎へ	森 仁史	〃	34
フェリックス・ヴァロットン 皮肉と不謹慎の写実主義者	永島 章雄	芸術新潮	697	研究ノート 一柳満喜子の生涯に関する一考察[ウィリアム・メレル・ヴォーリス]	平松 隆円	日本研究	37
特集 サミュエル・ベケット[フラン・ヴァン・ヴェルデ/ヘール・ヴァン・ヴェルデ]		水声通信	22	写NOW ポーリス設計・明学チャペル創建時の姿に復元	岡本 曜子	毎日夕刊	3.7
障害の画家	サミュエル・ベケット 井上 善幸 訳			ヴォルスの写真と絵画における形の考察	土山 陽子	美術史研究	46
白の探求 サムとブラム	井上 善幸			奇想遺産 ストロベリーヒルの館 イギリス[ホレス・ウォルポール]	鈴木 博之	朝 日	5.4
顔 オーストラリア・アボリジニ出身の画家 バーバラ・ウィアさん	木村 未来	読 売	3.1	論文要旨《修士》パオロ・ウッチェロの《聖餅の奇跡》に関する考察一第四場面の図像源泉とモチーフの問題について一	坂本 篤史	美術史論集	8
Faces アピチャッポン・ウィーラセタクン	内田 伸一	ART iT	18	私の空想美術館52 ウッチェロ『サン・ロマーノの合戦』[パオロ・ウッチェロ]	栗津 則雄	美術の窓	297
対談 西島秀俊×アピチャッポン・ウィーラセタクン	坂口 千秋 取材・構成	美術手帖	905	美の履歴書059 原色の奔流の果てとは「雷雨の日の収穫」モーリス・ド・ヴラマンク	秋山 亮太	朝日夕刊	5.21
収蔵作品から ジャック・ヴィヨン「フラジョレットを吹く男」	片岸 昭二	ど お む	105	エミリー・ウングワレー ふりそそぐ生命の粒		芸術新潮	703
Osamu's Invitation 5 手のひらの毛皮絵本[ガース・ウィリアムズ]	原田 治	芸術新潮	698	“裸足のアーティスト”に魅せられて[エミリー・カーメ・ウングワレー]	内田 真弓	国立国際美術館月報	164
長崎原爆オブジェに賛否両論 米芸術家がギャラリ展示[ロバート・ウィルハイム]		東京夕刊	7.17	《ビッグ・ヤム》1996 エミリー・カーメ・ウングワレー(1910頃~1986)	中井 康之	〃	〃
マンガで突破するブルーノ・タシエ[ステファヌ・ウエ]		芸術新潮	697	「エミリー・ウングワレー展」点と線に息づく自然観	生田 誠	産 経	6.12
収蔵品から 《赤髭皇帝》アドルフ・ヴェルブリ	高橋 直裕	世田谷美術館だより	78	エミリー・ウングワレー展 アボリジニ躍動する魂	建畠 哲	読 売	5.27
SV CUT UP PHOTO BOOKS Tim Walker 『Tim Walker Pictures』[ティム・ウォーカー]	西山 弘彦	STUDIO VOICE	392	アボリジニの世界観「エミリー・ウングワレー展」自然の美と力強さ		〃	6.12
特集 100%楽しむためのキーワード超・整理 現代アート事典 コラム 美術家の思想03 アンディ・ウォーホル	谷川 渥	美術手帖	906				
職人桜[ウィリアム・メレル・ヴォーリス]	丹尾 安典	一 寸	33				

(エ)

自画像に見るエイキ ンズの自己表象— 《ムクドリの狩猟を する画家とその父親》 (1874)を中心に— [トマス・エイキン ズ]	武内 利夫	美学論究	23
奇想遺産 オルセー 美術館 フランス [ACT]	隈 研吾 朝 日	6.8	
つかう 最高の光	マイク・エ ーブルソン	芸術新潮	705
インスピレーション グラフィック オー レ・エクセル展—消 費主義を超克するデ ザイン	深沢 慶太	A X I S	133
カバーインタビュー ／ハルトムート・エ スリンガー	石橋 勝利	〃	136
美の履歴書 070 な ぜ、目はだまされる 「ベルバデーレ(物見 の塔)」 M・C・エ ッシャー[マウリッ ツ・エッシャー]	大西 若人	朝日夕刊	8.6
写眼 大自然 無限 の開放感 ベルンハ ルト・エドマイヤー 「アイスランド」	酒井 潤 産 経	3.10	
SV ART ART SPACE ベンジャミン・エド ワーズ	福住 廉	STUDIO VOICE	392
収蔵作品から イー ゴリ・マカレーヴィ ッチ エレーナ・エ ラーギナ「バガン」	麻生 恵子	ど お む	104
夏のニューヨークを 彩る 呼び水アート ・プロジェクト[オ ラファー・エリアソ ン]	由本みどり 取材	芸術新潮	705
現在通信 From NEW- YORK オラファー・ エリアソン	富井 玲子	新美術新 聞	1153
Osamu's Invitation 8 エルブグレンの チーズケーキ[ジ ル・エルブグレン]	原田 治	芸術新潮	701
美術館への招待 金 沢21世紀美術館 子 どもと成長する美の 拠点 「スイミング プール」 レアンド ロ・エルリッヒ作	三品 信	東京夕刊	5.8

特集 シュルレアリ
スム美術をどう語る
か シュルレアリス
ム美術と方法概念
マックス・エルン
ストのコラージュに
ついて

中田健太郎 水声通信 23

特集 シュルレアリ
スム美術はいかにし
て可能か

〃 25

マックス・エルン
スト《女、老人と
花》について

中村 尚明

『紀元前55年、あ
る極めてささやか
な地震』或いは
マックス・エルン
スト試論のための
ある極めてささや
かなコラージュ

宮下 誠

ロブロブは何を紹介
するのか シュルレ
アリスムと「キャ
クター」の問題[マ
ックス・エルンスト]

鈴木 雅雄 〃 27

例会発表要旨 第105
回例会：夢のエク
リチュール—マッ
クス・エルンスト
とジョルジュ・サ
ンドの場合 マッ
クス・エルンスト
作品における科
学イメージの使用
について—《風景
(S/M612)と《カ
ストルとポリュシ
オン》(S/M623)
の例を中心に

國吉 貴奈 日仏美術
学会会報 27

一九四〇年代初頭
のニューヨークと
マックス・エルン
スト—《Vox An
gelica》(一九四
三年)を中心に—

石井 祐子 美術史 165

(オ)

王悦之像再考—恋愛
シリーズを手がかり
に—

李 伯黎 美学芸術
学 23

人と墨5 王小燕
墨の線を骨格にし
て色を重ね、生命
線を描く

趣味の水
墨画 233

作家通信 観念芸術
に触発されて

王 荻地 〃 231

Zero in on 大岩オ
スカーを松蔭浩之
が語る 夢みる世
界に込められた、
ポリディカルな
風景

松蔭 浩之 アート・
トップ 221

アーティスト訪問56
大岩オスカー

ギャラ
リー 278

通信J to A アジア
へ39 アジア作家の
台頭とニューヨーク
の位置[大岩オスカ
ール]

南條 史生 新美術新
聞 1152

巻頭特集 ドローイ
ング・デッサンの技
を磨く ⑧技法講座
VOL.10 デッサン
・ドローイングの魅
力と楽しみ 大岩オ
スカル流イメージ
の作り方「夢みる
世界」ができるまで

荒木 康子 美術の窓 298

大岩オスカルさん
過酷な現実、幻想風
景に「世界」はいつ
も生活の中に

日経夕刊 5.19

「大岩オスカル夢
見る世界」展 空想
と現実瞬時に転化

山下 裕二 読売夕刊 4.24

クリエイターズワー
ク&ソウル オーキ
ース튜디오

A X I S 132

外国人唯一の刀匠
オースティン延平の
情熱[キース・オー
スティン延平]

読売夕刊 5.17

美の履歴書 076 花
を大きく描くのは
「青い朝顔、ニュー
メキシコII」ジョ
ーシア・オキーフ

青山 祥子 朝日夕刊 9.17

オゴルマン自邸にみ
るメキシコ建築にお
けるインターナショ
ナル・スタイルの拡
散 建築家ファン・
オゴルマン研究 そ
の2

天津 若果 日本建築
学会計画
系論文集 634

SACRED PLACES
第41回 オズ・ジェ
メオス[オズジェメ
オス]

有 太 マン STUDIO
VOICE 396

インタビュー 美術
界の実験王子 ジュ
リアン・オビーのゆ
く道

ミヤケマイ 芸術新潮 705

INFORMATION ジ
ュリアン・オビーの
作品を自宅で満喫!

中島 水緒 美術手帖 912

奇想遺産 オルタ自
邸 ベルギー[ヴィ
クトール・オルタ]

隈 研吾 朝 日 10.12

特集 シュルレアリ
スム美術をどう語る
か 資料編 シュル
レアリスムとの離接
点 十一人の芸術家
の軌跡 ゴードン・
オンスロー・フォー
ード

長尾 天 水声通信 23

(カ)

WORLD NEWS ART-
IST in Focus 今月
のワールドスター
No.001 クロード・
カーン

編集部 美術手帖 907

カスティリオーニの
デザインを出発点に
して 多木陽介著
『アキッレ・カステ
ィリオーニ 自由の
探究としてのデザイ
ン』からのメッセー
ジ

土田 貴宏 A X I S 132

AXIS フォーラム
第26回 「アキッレ
・カスティリオーニ
の仕事を読む」

多木 陽介 " "

イリヤ・カバコフ
私が絵本を描いてい
たころ

芸術新潮 700

2008年第20回高松宮
殿下記念世界文化賞
受賞者決まる リチ
ャード・ハミルトン
氏 イリヤ&エミリ
ア・カバコフ氏

新美術新
聞 1164

「日本人、本質見抜
く」カバコフ夫妻が
語る

大西 若人 朝日夕刊 11.19

第20回「高松宮殿下
記念世界文化賞」
受賞者の素顔 彫刻
部門 イリヤ・カバ
コフ エミリア・カ
バコフ「3次元のロ
シア文学」

産 経 9.17

世界文化賞 伊の青
少年オーケストラに
奨励金「今後の励み
に」想像できなかった
喜びのカバコフ
夫妻

佐藤 貴生 " "

高松宮殿下記念世界
文化賞 彫刻部門
イリヤ&エミリア・
カバコフ夫妻 「地
下芸術活動」…30年

長戸 雅子 " 9.19

世界文化賞 受賞者
個別懇談 「日本に
共感、親しみ」[イリ
ヤ・カバコフ/エミ
リア・カバコフ]

" 10.15

世界文化賞授賞式
[イリヤ・カバコフ
/エミリア・カバコ
フ]

" 10.16

こちらは模作が本物
となったカラヴァッ
ジョの《いかさま師》

高橋 恵里 芸術新潮 699

特集 没後10年 須賀敦子が愛したものの第2章 須賀さんとの会話 カラヴァッジョの萎れた葉っぱについて

松山 巖 " 706

カラヴァッジオへの旅 第5回 一ローマにて(その一)

千葉 成夫 徘徊巷 10

二つのメドゥーサ エクフランスの観点から[カラヴァッジョ]

白石 治恵 武蔵野美術大学研究紀要 38

美の美 光の旅1 カラヴァッジョ

小川 敦生 日 経 1.27

世界文化賞授賞式 [ダニ・カラヴァン]

産 経 10.16

土地の記憶 掘り起こす 彫刻家ダニ・カラヴァン

白木 緑 日 経 9.21

ウルビーノのヴィーナス アンニバレ・カラッチ 「ヴィーナスとサテュロス、小サテュロス、プットー」 背中の量感 圧倒的

高野 清見 読売夕刊 3.10

ARSENAL [Photography] Trinidad Carrillo 『Naini and the Sea of Wolves』 [トリニダード・カリロ]

(O) STUDIO VOICE 396

ARSENAL [art] マリオ・ガルシア・トレス

(OK) " 395

マリオ・ガルシア・トレス 倍加する歴史

大森 俊克 美術手帖 906

パリのオペラ座における建設費用及び設計変更に関する研究 パリのオペラ座における費用削減案に関する研究(その1)(その2)[シャルル・ガルニエ]

鏡 壮太郎 日本建築学会計画系論文集 625、627

例会・研究発表要旨 東部会 平成十九年度第四回例会 聖アウグスティヌスの書斎—カルパッチョ作 スクオーラ・ダルマータ連作をめぐって [ヴィットーレ・カルパッチョ]

森田 優子 美 学 232

聖アウグスティヌスの書斎—カルパッチョ作「スラブ人」連作をめぐって

" " "

奇想遺産 モンソー公園 フランス[ルイ・カロジス・カルモンテル]

松葉 一清 朝 日 11.16

奇想遺産 シヤイヨ一宮 フランス[ジャック・カルリュ]

渡辺 守章 " 1.27

博物学的美術史FILE. 28 蜻蛉が運んだジャポニスム[エミール・ガレ]

編集部 美術の窓 296

ガレとジャポニスム展 パタ臭さに面白み トンボをモチーフ 新発想[エミール・ガレ]

奥本大三郎 朝日夕刊 3.18

美の履歴書 052 尽きせぬ思いの行き先 脚付杯「蜻蛉」 エミール・ガレ

秋山 亮太 " 4.2

作家通信 新しい方向性を見極める

関 乃平 趣味の水 墨画 229

オークションの逸品 ワシリー・カンディンスキー「LIGHT TO DARK」

ギャラリー 282

特集 あなたの知らない版画の秘密 Q 16 「抽象絵画」の先駆者であるカンディンスキーとクレーは、なぜ同じ時期に「具象版画」を描いたのか?

松山 龍雄 版画芸術 139

from the World カンバーナ兄弟とバレエのコラボレーション

小町 英恵 A X I S 132

(キ)

カバーインタビュー マルティ・ギンシェ

石橋 勝利 " 131

修士論文概要 「アール・ヌーヴォー建築研究—エクトール・ギマール設計《カステル・ペランジェ》の建築装飾について—」

大塚 梓 早稲田大学大学院文学研究科紀要 53

奇想遺産 カステル・ペランジェ フランス[エクトール・ギマール]

松葉 一清 朝 日 9.21

Art Scope PRE-VIEW 金敬烈 パワーとアイディアの塊

編集部 アート・トップ 219

韓国の現代美術家
キムスー ज्याさん
「針」他者と自己つな
ぐ

読 売 9.4

Faces キム・ソン パク・スミ ART iT 18
ファン

作品「W-CMYK-BK」 金 孝卿 秋田公立芸術工科大学短期大学 13

Close-up85 カジ・
ギヤスディン 6年
以上の歳月をかけて
描いた油彩画の大作
を日本、フランスで
本格的に発表する

ギャラリ
ー* 281

from the World 最低限の生活のための住居とは—バウハウス・アワードより
[フレデリック・キュンツェル]

Reviews: Book シム
リン・ギル『Pearls』 ロジャー・
マクドナルド ART iT 21

特集 写真集の現在
2008 PHOTOBOOKS
NOW PHOTO & IN-
TERVIEW スティー
ヴン・ギル インタ
ヴュー

伊東 豊子
インタヴュー・文

STUDIO
VOICE

394

作家通信「第12回 金 醒石 趣味の水 醒墨画」を開いて 234

SV ART PHOTO GALLERY Martha Cooper
「Time Changes」
[マーサ・クーパー]

有太マン
インタヴュ
ー・文

STUDIO
VOICE

392

ナルでエロなレアリスム画家 クールベの多面相 永島 章雄 芸術新潮 697

パリ・NYでクール
べ回顧展 理解しや
すい画家像提示

美の美 写真と絵画
中 クールベ[ギュ
スターヴ・クールベ]
田村 広済 日 経 10.5

写眼 静＝聖なる世界 スティーヴ・グスタフソン「コウテイペンギン」(1998年)

つかう 積み木に学
ぶ[ペア・クラーセ
ン]

柳本 浩市 芸術新潮 700

“さまよえるオランダ人”が、横浜みなとみらいに漂着!?

カバーインタビュー
／アストリッド・ク
ライン&マーク・ダ
イサム 石橋 勝利 A X I S 135

Osamu's Invitation
14 クラインの青 原田 治 芸術新潮 707
[イヴ・クライン]

世界文化賞20周年記念展 2007年彫刻部門 トニー・クラッグ「分泌物」 (黒) 産 経 10.6

ルーカス・クラナハの工房「宗教改革祭壇画」(初期プロテストスタントにおける図像表現)

特集 シュルレアリスム美術をどう語るか
資料編 シュルレアリスムとの離接点
十一人の芸術家の軌跡
エウヘニオ・グラネル

鈴木 雅雄 水声通信 23

デザイン専攻 グラフィックデザイン領域 ポール・グリモア 田中 亮 2008
多摩美術大学大学院文学部 美術学修士課程 卒業論文 2008
「デザイン専攻 グラフィックデザイン領域」の卒業論文として、ポール・グリモアの作品と日本に与えた影響について、その背景と影響を考察する。

コンスタンティン・
グルッチーらが生み
出した、「伝説」とい
う名の椅子「MYTO」

版画通信 クローズ
アップ 知られざる
チェコ版画家の巨匠、 岩坪 文子 版画芸術 142
オールドジヒ・クルハ
ーネク

平成19年度新収蔵作品ピックアップ ハウル・クレイ 尊太 石川 潤 美都宮 宇都宮 11
術館年報

平成十八年度博士論文(課程)要旨
ルーノ・タウトとパウル・クレイにおける色彩の造形性

松友知香子

大阪大学
大学院文学研究科
紀要

48

オークションの逸品
パウル・クレー「The
MAN of TRAVEL
(旅の男)」

ギャラリ 279
一*

門外不出のベンヤミン旧蔵品 6日間限定のオールナイト公開「パウル・クレー」 林 綾野 芸術新潮 703

特集 あなたの知らない版画の秘密 Q
16 「抽象絵画」の先
駆者であるカンディ
ンスキーとクレーは、
なぜ同じ時期に「具
象版画」を描いたの
か?

松山 龍雄 版画芸術 139

パウル・クレーの
(天使)について—
(都市画)との関連か
ら—

松友知香子 美 学 233

パウル・クレーの一
九一八年の文字絵
《かつて夜の灰色か
ら浮かび上がった
色彩文字》—その制
作状況を巡る考察—

野田由美意 美術史 164

1600年前後のトレド
におけるエル・グレ
コ

門田 彩 鹿島美術
財団年報
・別冊 25

エル・グレコ《聖イ
ンレデフォンソ》(イ
リュエスカス、カリ
ダー施療院)をめぐ
つて—ペドロ・サラ
サル・デ・メンドー
サとの関係を中心
に

美 学 232

PARIS 発 カミュー
・クロードル回顧展

安部 雅延 新美術新
聞 1157

裸婦彫刻の近代性
ヴェナツォ・クロ
チェッティの試み

野添 浩一 崇城大学
芸術学部
研究紀要 1

奇想遺産 デッサウ
のパウハウス ドイ
ツ[ヴァルター・グ
ロピウス]

鈴木 博之 朝 日 6.1

(ケ)

ゲインズバラ《アン
ドリューズ夫妻》に
描かれた近代的農法
[トマス・ゲインズ
バラ]

嶋田 祥子 美学論究 23

(コ)

作家通信 現代山水
表現芸術の創造

呉 一騏 趣味の水
墨画 229

呉昌碩と水野疎梅

松村 茂樹 大妻女子
大学紀要 40

にんげん賛歌 書体
に躍動感、若者に人
気 黄教聡さん 在
日中国人書道家

民井 雅弘 東京夕刊 10.7

特集 あなたの知らない版画の秘密 Q
17 ゴーギャンは、
南の島「タヒチ」体験
をなぜ木版連作にし
たのか。[ポール・
ゴーギャン]

松山 龍雄 版画芸術 139

第五十九回美学会全
国大会報告 発表要
旨 ポール・ゴーギ
ャンのブルターニュ
表象と自画像

住田 翔子 美 学 233

第五十九回美学会全
国大会報告 発表要
旨 ポール・ゴーギ
ャンの夢の概念につ
いて

高久 馨 " "

第六十一回全国大会
研究発表要旨 ゴー
ギャン没後の顕彰の
ゆくえ—ビエール・
ジリウー《ゴーギ
ャンへのオマージュ》
(一九〇六)をめぐ
つて—

小泉 順也 美術史 165

美の美 「南」への情
熱4 ゴーギャン

浦田 憲治 日 経 5.25

特集 アートは踊る
? 横浜トリエンナ
ーレの試み 美術館
とステージの間に1
ダグラス・ゴードン
インタビュー

小崎 哲哉 ART iT 20

特集 レム・コール
ハース以降の建築理
論

建築雑誌 1574

I 解題・基礎的
Q & A レム・コ
ールハースの建築理
論をめぐる基礎的
Q & A

南 泰裕

II インタビュー
可能性としての
『錯乱のニューヨーク』

難波 和彦

II インタビュー
建築理論の失効/
都市理論の変容

八東はじめ

III 建築理論解説
OMAとAMO、拡
張された建築家

松田 達

III 建築理論解説
建築理論における
三つのケース

入江 徹

IV 年代別論考
80年代に僕らは何
を感じていたか?

坂牛 卓

IV 年代別論考
ANY会議の
最終的変身
a-go-ny

丸山 洋志

IV 年代別論考
9.11以降の建築理
論の状況

今村 創平

特集 Tokyo Metabolism 2010/50Years After 1960 翻訳

新加被歌的路一ボ
チョムキン・メトロ
ポリスのポートレ
ートあるいは三〇年
代のタブラ・ラサ

レム・コー
ルハース
太田佳代子、
八束はじめ
訳

10 + 1 * 50

光と戯れるデザイナー
ポール・コクセ
ッジ

高橋 美礼

デザインの
現場 160

コルベ神父最後の姿
11枚 アウシュビ
ツの「聖者」[ミエチ
スワフ・コシチエ
ルニャック]

読売夕刊 4.18

特集 美術における
移動・越境 研究ノ
ート フェッラー
における画家の往来
とスキファノイア壁
画 フランチェスコ
・デル・コッサによ
る異次元性の演出を
めぐって

京谷 啓徳

西洋美術
研究 14

SINGULAR DIA-
LOGUES エリザベ
ス・コップフ

編 集 部
インタヴュ
ー・文

STUDIO
VOICE 390

ゴッホの死

廣田 正敏

近 代 100

塗りこめられたゴッ
ホの色を復元 美術
界にフルカラー X 線
革命

前橋 重二

芸術新潮 706

名画盗難 175 億円
スイス ゴッホ、モ
ネ…被害最大級 有
名すぎ転売無理?

国末 憲人

朝 日 2.13

盗難名画 2 点発見
スイス[フィンセン
ト・ファン・ゴッホ]

"

" 2.20

ゴッホの黒猫やっぱ
りいた X 線で発見

山田 雄介

" 10.4

ゴッホの絵 黒猫は
消えたのか 同名の
作品放射線分析 吉
備国際大

"

朝日夕刊 6.23

ゴッホの絵 草花の
下から女性の顔

"

" 8.4

美の美 「南」への情
熱 3 ゴッホ

浦田 憲治

日 経 5.18

美の美 名画にみる
夢 2 ゴッホ

宝 玉 正彦

" 9.7

ひろしま美術館蔵
消えたゴッホの猫
上塗り判明

栗原 俊雄

毎 日 10.4

人・模・様 「巨匠
と無名」企画展に感
慨[フィンセント・
ファン・ゴッホ]

福井 聡 毎日夕刊 10.20

WORLD NEWS ART-
IST in Focus 今月
のワールドスター
No.006 ブルース・
コナー

藤森 愛実 美術手帖 916

コモルとヤカブによ
る言説と造形ーレヒ
ネルの「追隨者」再検
討ー[コモル・マル
ツェル]

足立 純子 早稲田大
学大学院
文学研究
科紀要 53

大特集 現地特別取
材 私はそれを見た
! ゴッホの「戦争と
平和」[フランシスコ
・デ・ゴッホ]

大高保二郎 芸術新潮 703

《巨人》はゴッホ作で
はない プラド美術館
「仰天会見」の舞台裏

前橋 重二 " 705

PARIS 発 戦争の惨
禍とゴッホ

安部 雅延 新美術新
聞 1151

特集 あなたの知ら
ない版画の秘密 Q
8 スペインの宮廷
画家であったゴッホは、
なぜ諷刺版画を描い
たのか。

辺見 海 版画芸術 139

例会・研究発表要旨
東部会 平成二〇年
度第二回例会 ゴッ
ホの女性像と十八世紀
スペインにおける大
衆性との関連

村井 蓉子 美 学 233

INFORMATION
MOVIE ミロス・フ
ォアマン監督『宮廷
画家ゴッホは見た』情
熱の画家・ゴッホを
通して暴かれる、人間
の真実の姿

中野 京子 美術手帖 915

ただ一点のゴッホ
「美」と「恐怖」の体
化

宮本 徳蔵 東京夕刊 10.27

世界文化賞 芸術で
文化の橋渡し[チャ
ールズ・コレア]

洪沢 和彦 産 経 10.18

コレッジオ、パルマ
に集結中 今なら足
場から天井画見られ
ます

高橋 恵理 芸術新潮 707

第六十一回全国大会
研究発表要旨 「周
辺(periferia)の画家」
ーコレッジオの形成
期における諸流派と
の関係ー

小松健一郎 美術史 165

オークションの逸品
ジャン=パティスト
・カミーユ・コロ
ー「井戸のある風景」

ギャラリ ー* 276

20世紀初頭における コロの人物画の受 容について	古川 法子	成城美学 美術史	14	彫刻と陶芸とアル ビゾーラ・マリー ナーカルロ・ザウ リ展によせて	渡部 誠一			
乙女の微笑 コロー 光と追憶の変奏曲 モナリザの気品継承	ヴァンサン ・ボマレッ ド	読 売	1.1	ファエンツァのカ ルロ・ザウリ	谷岡 知子			
コロー光と追憶の変 奏曲 知られざる巨 匠謎解き	高橋 明也	"	6.1	カルロ・ザウリ、あ るいは陶芸と彫刻の 関係について	乾 由明	陶 説	664	
COROT 私の1点		"		カルロ・ザウリの劇 的な形態	柴辻 政彦	"	"	
1 「真珠の女」 内から輝く美人	阿川 泰子 談		7.8	SV CUT UP DESIGN BOOKS ステファン ・サグマイスター 『Things I learned in my life so far』	蜂賀 亨	STUDIO VOICE	389	
2 「モルトフォ ンテヌの想い出」 舞台感じる構図	中村吉右衛 門 談		7.9	オシップ・ザッキン 作(ボルクス)に関す る鑄造上の諸問題に ついて	山田真規子	姫路市立 美術館研 究紀要	8	
4 「海辺の村、 あるいは村の入 口」 創造力のヒ ント	堤 清二 談		7.19	SINGULAR DIA- LOGUES マルジャン ・サトラピ イン タヴュー	木村満里子	STUDIO VOICE	385	
5 「緑の岸辺」 静かで平和な時間	フランソワ ーズ・モレ シャン 談		7.20	この人 戦争破損本 アート イラク人芸 術家 カーシム・サ ブディーさん	島崎 淳	東 京	12.25	
コロー 光と追憶の 変奏曲 コローの影 響ピカソにも	陳岡めぐみ	"	7.23	ルイス・サリヴァン の建築造形に見られ る「動的平衡」—その 2 対比的構成— [ルイス・ヘンリー ・サリヴァン]	椎橋 武史 小林 克弘	日本建築 学会計画 系論文集	628	
コロー 郷愁の情景	高野 清見	読売夕刊	6.25					
作品「Coca-Colaの思い 出」「Coca-Colaの美」	孔 鎮烈	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	13					
歌舞伎町のこころ 韓国人写真家が撮っ た「ホームレス少女」 [権徹]	菊谷 隆文	東 京	12.22					
美の履歴書 058 ど こが新しかったか 「デダムの谷」 ジョ ン・コンスタブル	古賀 太	朝日夕刊	5.14					
(サ)				Faces 08 サラ・ジ ー 没個性的なもの に命を吹き込む	坂口 千秋	ART iT	19	
特集 コンセプトデ ザイン—未知なるも のを創り出す 未知 なるものを創り出す 方法論とは? 「ハリ ウッド・コンセプ ト・デザイン」イン タビュー[ダニエル ・サイモン]	瀧口 範子	A X I S	133	SV CUT UP PHOTO BOOKS Michal Chelbin 『Strangely Familiar』[ミカル・ シェルビン]	編 集 部	STUDIO VOICE	389	
カルロ・ザウリ 前 衛の裂け目		芸術新潮	704	STRANGELY FAMIL- IAR ミカル・シェル ビン著		日 経	4.6	
[特集1]カルロ・ザ ウリ イタリア現代 陶芸の巨匠		現代の眼	570	EXTRA COLUMN Mark Jenkins & Miho Kinomura [マーク・ジェンキ ンス]	大森 俊克	STUDIO VOICE	392	
				地球びっくり箱 大 統領よりでっかい顔 [キャス・ジオルコ ウスキー]	飯田 達人	読 売	12.12	

- ヴァシリス・ジディ
アナキス インタヴ
ュー グリシア発の
アート&ファッショ
ンの魅力 藤田 千彩 美術手帖 906
- シニャックとアナ
キズム(2):《調和
の時代》(上)[ボ
ール・シニャック] 千足 伸行 成城文芸 204
- WORLD NEWS ART-
IST in Focus 今月
のワールドスター
No.002 デレク・ジ
ャーマン 伊東 豊子 美術手帖 908
- パンダ芸術とんだ騷
動[趙半狄] 読売夕刊 1.14
- 知っておきたい有名
版画家4 マルク 秋田 真波 版画芸術 140
- シャガール3作展示
中止へ 青春のロシ
ア展 著作権者から
要請 朝 日 9.10
- アート ワインラベ
ルも味わい深く[マ
ルク・シャガール] 黒沢 綾子 産 経 3.22
- マリオ・ジャコメッ
リ 撮ることの喜び 大竹 昭子 芸術新潮 701
- SV ART PHOTO
GALLERY Mario
Giacomelli 1925—
2000[マリオ・ジャ
コメッリ] 鈴木 行 STUDIO
VOICE 388
- 辺見庸さんが語る
「新日曜美術館」
「モノクロ」の深い世
界[マリオ・ジャコ
メッリ] 網谷隆司郎 毎日夕刊 5.22
- シャルダンの初期人
物画研究[ジャン・
パティスト・シメオ
ン・シャルダン] 喜田早菜江 鹿島美術
財団年報・別冊 25
- J=S・シャルダンの
静物画におけるエ
スキースの影響 宮崎 匠 美 学 232
- アレクサンドル・シ
ャルパンティエ 知
られざる「浮き彫り
男」の肖像 永島 章雄 芸術新潮 702
- 作家通信 作品の源
泉は記憶の断片 江 屹 趣味の水
墨画 233
- 創造神話 現代中国
の歩み画面に重ね
冷たくシンプル張暁
剛作品 菅原 教夫 読 売 6.19
- ジョヴァンニ・モレ
ッリ『イタリア絵画
論—ローマのボルゲ
ーゼ美術館とドーリ
ア=バンフィーリ美
術館』翻訳(7)—ロ
ンバルディア派(ジ
ャンピエトリノか
らチェザーレ・ダ
・セストまで) 上田 恒夫 金沢美術
工芸大学
紀要 52
- クルト・シュヴィッ
ターズのメルツ絵画
におけるリズムの問
題—音楽にもとづく
抽象美術論とメルツ
絵画の空間構成— 嶋田 宏司 鹿島美術
財団年報
・別冊 25
- コロキウム:「ドイ
ツ写真の現在」を考
える シュトゥル
トの場所—「ベッヒ
ャー派」という物語
[トーマス・シュト
ウルト] 鈴木 恒平 京都国立
近代美術
館研究論
集 1
- 作品 Here and Now ヨエルク・
シュマイサー 京都市立
芸術大学
美術学部
研究紀要 52
- アトリエ・インタビ
ュー ヨルク・シュ
マイサー 東と西を
旅するエッチャー 松山 龍雄 版画芸術 140
- 奇想遺産 ウィーン
市役所 オーストリ
ア[フリードリッヒ
・フォン・シュミッ
ト] 松葉 一清 朝 日 3.16
- 特集 本は消えない
! インターネット
以降の本当に面白い
雑誌/本の作り方
new printed matter
COLUMN デヴィッ
ド・シュリグリーや
英国アーティストの
ユニークなアーティ
スト・ブック 小柳 帝 STUDIO
VOICE 391
- WORLD NEWS ART-
IST in Focus 今月
のワールドスター
No.004 スティーヴ
ン・ショア 竹内万里子 美術手帖 911
- 特集 戦争とメディ
ア、そして生活 第
一部 戦争とメディ
ア、そして生活 筆
墨による平和と抗戦
『アジア』誌の蔣兆和
と張善孖作品 呉 孟晋 アジア遊
学 111
- ウルビーノのヴィー
ナス ジョヴァンニ
・ダ・サン・ジョヴ
ァンニ 「キューピ
ットの髪を梳くヴィ
ーナス」表現に幅
世俗の日常風景 高野 清見 読売夕刊 3.13

特集 サミュエル・ベケット シジフオスの美学 ジャスパール・ジョーンズとサミュエル・ベケット	野間 勉	水声通信	22
美の履歴書 077 どこが新しかったか「聖母子」 ジョット [ジョット・ディ・ボンドーネ]	古賀 太	朝日夕刊	9.24
追想録 オリバー・ジョンストンさん(アニメーター)ディズニー黄金時代築く		日経夕刊	5.9
作家通信 チャイニーズ・ルネッサンス	沈 強	趣味の水 墨画	236
主題とその構成にみる建築家ルドルフ・シンドラウの論考の特質とその変遷	末包 伸吾	日本建築 学会計画 系論文集	627
(ス)			
シンポジウム THEATRO SUPER STUDIO—ユートピアを越えて	クリスティアーノ・トラルド・ディ・フランシア、伊東 豊雄 五十嵐太郎 司会	10 + 1 *	50
ジョルジュ・スーラ研究	宮坂かおる	哲学会誌	32
視点 藤田嗣治からヘンリー・杉本に宛てた一通の手紙、(II)	笹木 繁男	美術の窓	301、302
社頭おりおりの記 日本神話と西欧絵画の融合 マークエステル氏 絵画奉納[マークエステル・シギヤルシャフィキ]		大 美 和	114
日本神話に見せられて 神社に作品奉納 仏人画家マークエステルさん	三橋 正明	東 京	4.30
奇想遺産 セント・パンクラス駅 イギリス[ジョージ・ギルバート・スコット]	鈴木 博之	朝 日	11.2
第六十一回全国大会研究発表要旨 抽象の場所—アルフレッド・ステューグリッツの雲の写真について—	甲斐 義明	美 術 史	165
クリエイターズワーク&ソウル イノダ+スパイエ[ニルス・スパイエ]		A X I S	136

交遊抄 二人の父親 [アート・スピーゲルマン]	小野 耕世	日 経	9.20
湖の上にも38年 スパイラル・ジェティを救え[ロバート・スミッソン]	前橋 重二	芸術新潮	700
特集 ANTI-UTOPIA : HEDI SLIMANE エディ・スリマンの世界! カリスマ・アーティストのネクスト・ステージとは?		STUDIO VOICE	388
ANTI-UTOPIA : HEDI SLIMANE エディ・スリマン ロング・インタビュー	大森 成美 コーディネーター 中島 英樹、 竹内万里子、 大城 譲司、 三田 格、 富田 秋子 インタビュー		
ANTI-UTOPIA : HEDI SLIMANE エディ・スリマン バリ新作個展レポート	富田 秋子		
ANTI-UTOPIA : HEDI SLIMANE アブゾープションの行方	清水 穰		
INTERVIEW TO WITNESS アルミン・レッシュ	富田 秋子 インタビュー 大森 成美 コーディネーター・訳		
INTERVIEW TO WITNESS ローラン・ブランコヴィッツ	”		
INTERVIEW TO WITNESS アグスティン・ペレス・ルビオ	富田 秋子 インタビュー 松本 美穂 訳		
ANTI-UTOPIA : HEDI SLIMANE エディ・スリマン アート履歴7作	富田 秋子		
ANTI-UTOPIA : HEDI SLIMANE エディ・スリマンを理解するための15の音楽	大森 成美		
COLUMN ニュー・レイヴはエディ・スリマンから始まった	三田 格		

INTERVIEW TO WITNESS ジェイ ミー・ハインス	編集部 インタビュー			名画盗難 175 億円 スイス ゴッホ、モ ネ…被害最大級 有 名す転売無理? [ポール・セザンヌ]	国末 憲人 朝 日	2.13
COLUMN ショー の舞台裏で遭遇し たエディ・イズム	山田 蓉子			ウルビーノのヴィー ナス 私の1点3 「愛神の凱旋」 ヤコ ボ・デル・セッライ オ	柏木 博 読 売	4.11
ANTI-UTOPIA : HEDI SLIMANE エディ・スリマン を理解するための 10の写真集	富田 秋子			セバスティアノー・ デル・ピオンボの作 品に見られるレオナ ルド風の表現方法	片桐 頼継 実践女子 大学美学 美術史学	22
SV CUT UP PHOTO BOOKS Hedi Slimane『Rock Diary』 [エディ・スリマン]	編集部	STUDIO VOICE	393	セバスティアノー・ デル・ピオンボ論考 への補遺、あるいは チェザーレ・ダ・セ ストについて—故片 桐頼継教授への追悼 にかえて—	椎原 伸博	” ”
情報館 横浜美術館 「GOTH—ゴス—」か ら「The Exact Dimen- sions of Staying Be- hind」 リッキー・ス ワロー	木村絵理子	読売夕刊	1.29	展覧会評「セバス ティアノー・デル・ピ オンボ 1485—1547」 展	須網美由紀 西洋美術 研究	14
ピーター・ズントー アルプス発の静かな る建築		芸術新潮	708		(ソ)	
2008年第20回高松宮 殿下記念世界文化賞 受賞者決まる リチ ャード・ハミルトン 氏 イリヤ&エミリ ア・カバコフ氏[ピ ーター・ズントー]		新美術新 聞	1164	INFORMATION PEOPLE アート、 音楽、ファッション 幅広い活動に注目 多ジャンルを自在に 行き来する、フラン ス人アーティスト SO ME 来日! [ソー ミー]	工藤 キキ 美術手帖	913
第20回「高松宮殿下 記念世界文化賞」 受賞者の素顔 建築 部門 ピーター・ズ ントー 崇高なまで の精神性		産 経	9.17	from the World 巨 匠ソットサス、逝く [エットレ・ソット サス]	大矢アキオ A X I S	132
高松宮殿下記念世界 文化賞 建築部門 ピーター・ズントー 氏 素材と精神性の 両立	黒沢 綾子	”	9.20	追悼 エットレ・ソ ットサス	倉西 幹雄 デザイン の現場	159
世界文化賞 受賞者 個別懇談 「日本に 共感、親しみ」[ピ ーター・ズントー]		”	10.15	ホアキン・ソローリ ャ 特大連作壁画の 里帰りツアー	永島 章雄 芸術新潮	704
世界文化賞授賞式 [ピーター・ズント ー]		”	10.16		(タ)	
(セ)				「非現実の王国」を継 承する11人の若き現 代美術家たち[ヘン リー・ダーガー]	由本みどり 取材	” 706
特集 シュルレアリス ム美術をどう語る か 資料編 シュル レアリスムとの離接 点 十一人の芸術家 の軌跡 ケイ・セー ジ	永井 敦子	水声通信	23	ヘンリー・ダーガー の異色ドキュメンタ リー映画	川崎 昌平 美術手帖	906
セザンヌの水彩・素 描《草刈り人》(西洋 画1015)について	新関 公子	東京芸術 大学大学 美術館年 報	H17・18 年度	タートとF.T. マリ ネッティエ「第二未 来派」の活動につ いての考察—	太田 岳人 鹿島美術 財団年報 ・別冊	25

- 第五十九回美学会全国大会報告 発表要旨 J・M・W・ターナーの風景におけるヴィジョンと自然観—ウエールズでの習作とトムソンの宇宙、グレイのオーダー— 津田 礼子 美学 233
- 特集 シュルレアリスム美術をどう語るか 資料編 シュルレアリスムとの離接点 十一人の芸術家の軌跡 カレル・タイゲ 神保 京子 水声通信 23
- カバーインタビュー／アストリッド・クライン&マーク・ダイサム 石橋 勝利 A X I S 135
- ジェームズ・ダイソンの法則 ジェームズ・ダイソン "
- その1 失敗について 133
- その2 エンジニアリング教育について 134
- その3 デザイン・エンジニアリングについて 135
- その4 特許について 136
- 平成十八年度博士論文(課程)要旨 ブルーノ・タウトとパウル・クレーにおける色彩の造形性 松友知香子 大阪大学大学院文学研究科紀要 48
- 奇想遺産 日向別邸日本[ブルーノ・タウト] 隈 研吾 朝 日 3.9
- 朽ちかけるタウトの家 故人が設計し暮らした旧東独の住宅、保存呼びかけ 田中 辰明 日 経 7.17
- 強姦、詐欺、殺人未遂 悪漢画家アゴスティノー・タッシの圧巻画 高橋 恵理 芸術新潮 705
- 平成十九年度西支部例会研究発表要旨 継承の形—ヘラルト・ダフィットの(キリストの洗礼三連画)をめぐって— 蛭川 順子 美術史 164
- 72丁目で拾った絵画が100万ドルで落札されるまで[ルフィノー・タマヨ] 前橋 重二 芸術新潮 697
- ジャッキーとサルバトール[サルバドール・ダリ] 原田 治 " 708
- ジェームズ・タレル香川・直島「家プロジェクト」地中美術館 感受性引き出す光 黒沢 綾子 産 経 3.19
- 夢の中の光空間「南寺」修復でタレル氏が来島 直島アートサイト「家プロジェクト」 稲葉 千寿 東 京 2.9
- クリティカルデザインとは何か ダン&ルビーが提案する、問題提起としてのデザイン[アンソニー・ダン] 中島 恭子 A X I S 132
- 奇想遺産 グラント將軍廟 アメリカ [ジョン・ダンカン] 鈴木 博之 朝 日 3.30
- イヴ・タンギーにおけるジョルジョ・デ・キリコの影響に関する研究—無意味という観点から— 長尾 天 鹿島美術財団年報・別冊 25
- 特集 シュルレアリスム美術をどう語るか アーチの増殖 [イヴ・タンギー] " 水声通信 23
- 平成十九年度東支部例会研究発表要旨 シュルレアリスムと心霊学の一接点—タンギーの不定形物体とエクトプラズムを巡って— " 美術史 164
- イヴ・タンギーのイメージ成立過程と制作手法 " 美術史研究 46
- 未知の物体—イヴ・タンギーとエクトプラズム— " 早稲田大学大学院文学研究科紀要 53
- (チ)
- 特集 変身する欲望：アジアニバシフィックの写真表現 馮 博一 ART iT 19
- 遅鵬インタビュー
- SV CUT UP ART チェ・ウラム「anima machines」 大森 俊克 STUDIO VOICE 391

ジョヴァンニ・モレ ッリ『イタリア絵画 論—ローマのボルゲ ーゼ美術館とドーリ ア=バンフィーリ美 術館』翻訳(7)ーロ ンバルディア派(ジ ャンビエトリーノか らチェザーレ・ダ・ セストまで)	上田 恒夫	金沢美術 工芸大学 紀要	52	原爆ドーム上空 黒 い花火で鎮魂「ヒロ シマ賞」作家[蔡國 強]	朝 日	10.26
工芸専攻 ガラス領 域 生命力とわたし	陳シウエン	多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集	2008	ひと 第7回ヒロシ マ賞を受賞した現代 美術作家 蔡國強さ ん	秋山 千佳	11.19
表紙のことは1~11 チェン・ジャン・ホ ン	チェン・ジ ャン・ホン	ギャラリ ー*	273~283	ヒロシマ賞・蔡國強 が語る北京五輪閉 会式 火薬アートに 人間の希望	内田真由美	東京夕刊 11.14
芸術新潮特別企画 連百姿 チェン・ジ ャン・ホンの世界		芸術新潮	704	蔡國強、広島で「黒 い花火」被爆の痛 み、美で表現	郷原 信之	日 経 11.16
台湾の女性「日本画 家」—陳進筆《サン ディモン社の女》を めぐって—	ラワンチャ イクン寿子	美術史	165	米・グッゲンハイム 美術館で蔡國強展 火花散らす群れの下 で	田所 政江	毎 日 4.30
特殊印刷加工トライ アル 第9回 程藝、 パール印刷に挑戦!	杉瀬 由希	デザインの 現場	162	ヒロシマ賞・蔡國強 の火薬芸術 重層化 したイメージの威力	三田 晴夫	12.3
ひと 第9回上野彦 馬賞の中国人カメラ マン 張笑秋さん	夫 彰子	毎 日	11.14	特集 アートは踊る ? 横浜トリエンナ ーレの試み 美術館 とステージの間に2 ツィツィアーノ 曹斐インタビュー	小崎 哲哉	ART iT 20
工芸専攻 陶領域 私における制作の意 味	曹 ゴウン	多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集	2008	(テ)		
特集 戦争とメディ ア、そして生活 第 一部 戦争とメディ ア、そして生活 筆 墨による平和と抗戦 『アジア』誌の蔣兆和 と張善存作品	呉 孟晋	アジア遊 学	111	世界の版画事情 パ リ・フランス フラ ンス国立図書館で回 顧展開催、評価が高 まるリチャード・デ イヴィス	クリスティ ース・デュ ブイ	版画芸術 140
作家通信 「中国書 法美術作品展」を終 えて	趙 龍光	趣味の水 墨画	234	イタリアやりすぎ 巨匠の裸婦に勝手に 服描く 首相会見場 [ジョバンニ・ティ エポロ]	松浦 一樹	読 売 8.6
作家通信 水墨画の 表現力を高めるには	沈 和年	11	233	第五十九回美学会全 国大会報告 発表要 旨 「タルクイニウ スに陵辱されるロー マのルクレティア— 外交手段としてのテ ィツィアーノ作《タ ルクイニウスとル クレティア》—	細野 喜代	美 学 233
Reviews : Art 04 蔡國強『I Want to Believe』グッゲン ハイム美術館(ニュ ーヨーク)	ニコール・ ウオン	ART iT	19	美の履歴書 049 な ぜ挑発的なのか「ウル ビーノのヴィーナス」 ティツィアーノ	古賀 太	朝日夕刊 3.12
通信J to A アジア へ39 アジア作家の 台頭とニューヨーク の位置[蔡國強]	南條 史生	新美術新 聞	1152	ウルビーノのヴィー ナス 復活の女神美 しき挑発[ティツィ アーノ・ヴェチェリ オ]	高野 清見	読 売 2.21
アメリカアート事情 蔡國強「回顧展—I WANT TO BELIEVE」	後藤トキ子	美連協ニ ュース	98			

ウルビーノのヴィーナス ティツィアーノ・ヴェチエッリオ「ウルビーノのヴィーナス」 「聖と俗」見る者挑発	"	読売夕刊	3.8	アルブレヒト・デュラーの透視図法	井村 俊一	金沢美術工芸大学紀要	52
ミロ斯拉フ・ティッシー まなざしのみなもと		芸術新潮	697	デュラーにおける自画像成立の過程の研究(1)	下村 耕史	九州産業大学芸術学部研究報告	39
INFORMATION NEWS ベネッセアートサイト直島 新作公開開始! ティラヴァニ「幻想アート」を筆頭に直島で新作公開[リクリット・ティラヴァニヤ]	編集部	美術手帖	913	特集 あなたの知らない版画の秘密 Q3 デュラーの名作《メランコリア》は何を悩んでいるのか。	佐川美智子	版画芸術	139
Faces 11 ヴォルフガング・ティルマンズ 「今」という時間を写し出す	飯田志保子	ART iT	20	デュシャンと未来派—1912年以前の相關関係をめぐって— [マルセル・デュシャン]	花澤 志	関西大学哲学	26
ティントレット絵画と社会が期待した表現形式[ヤコボ・ティントレット]	武井 敏	鹿島美術財団年報・別冊	25	特集 100%楽しむためのキーワード超・整理 現代アート事典 コラム 美術家思想01 マルセル・デュシャン	平芳 幸浩	美術手帖	906
イヴ・タンギーにおけるジョルジョ・デ・キリコの影響に関する研究—無意味という観点から—	長尾 天	"	"	研究の散歩道 明治の洋館・三島邸(旧デ・ラランデ邸)[ゲオルグ・デ・ラランデ]	米山 勇	江戸東京博物館 NEWS	62
特集 シュルレアリスム美術をどう語るか アーチの増殖 [ジョルジオ・デ・キリコ]	"	水声通信	23	特集 シュルレアリスム美術をどう語るか 資料編 シュルレアリスムとの離接点 十一人の芸術家の軌跡 エルヴェ・テレマック	中田健太郎	水声通信	23
クリエイターズワーク&ソウル デザインライト		A X I S	136	(ト)			
特集 シュルレアリスム美術をどう語るか 資料編 シュルレアリスムとの離接点 十一人の芸術家の軌跡 ファビオ・デ・サンクティス	齊藤 哲也	水声通信	23	Pré-texte(s) ロラン・バルト《9》サイ・トゥオンブリ、あるいは脱ぎ落とされたズボン	桑田 光平	"	"
収蔵品から《ノアの箱船の建造》フェルディナン・デスノス	東谷千恵子	世田谷美術館だより	77	中世のシエナにおける風景表現の誕生—ドゥッチョの《マエスタ》「山頂での誘惑」を中心に— [ドゥッチョ・ディ・ブオニンセーニヤ]	吉澤 早苗	鹿島美術財団年報・別冊	25
「絵本の力」に願い込め 日仏作家4人の原画展 「ネット社会から子どもを守りたい」[ティエリー・デデュ]	久原 穂 東 京		12.7	ドゥッチョ・ディ・ブオニンセーニヤの《マエスタ》—物語サイクルにおける人物構図をめぐって—	"	東京芸術大学美術学部論叢	4
特集 CREATORS OF 2008 2008年を創る20人のクリエイターたち! 写真家トーマス・デマンド 写真を「再・私物化」するアーティスト	竹内万里子	STUDIO VOICE	385	オークションの逸品 ドーム & L. マジョレル「マグノリア文ランプ」[アントナン・ドーム/オーギュスト・ドーム]		ギャラリー	281
				芸苑雑事記188 夜会、広田稔、ドガ [エドガー・ドガ]	瀧 悌三	美術の窓	299

名画盗難 175 億円
スイス ゴッホ、モ
ネ…被害最大級 有
名すぎ転売無理?
[エドガー・ドガ]

国末 憲人 朝 日 2.13

ジョヴァンニ・モレ
ッリ『イタリア絵画
論—ローマのボルゲ
ーゼ美術館とドーリ
ア=バンフィーリ美
術館』翻訳(7)—ロ
ンバルディア派(ジ
ャンピエトリノか
らチェザーレ・ダ
セストまで)[マル
コ・ドッジョーノ]

上田 恒夫 金沢美術
工芸大学 52
紀要

特集 シュルレアリ
スム美術をどう語る
か 資料編 シュル
レアリスムとの離接
点 十一人の芸術家
の軌跡 エンリコ・
ドナーティ

合田 陽祐 水声通信 23

第五十九回美学会全
国大会報告 発表要
旨 ドナテッロ作
《カントリーア》—フ
イレントヴェ大聖堂内
陣の整備との関連—

高木 佳子 美 学 233

フェミニン!! ドナテ
ッロのダビデ像 一
年半かけ化粧直し完
了

毎日夕刊 11.29

モーリス・ドニの
「ジャンヌ・ダルク」
の図像表現を巡って

金澤 清恵 鹿島美術
財団年報・別冊 25

モーリス・ドニと日
本—松方幸次郎とレ
オンス・ベネディッ
ト—

杉山菜穂子 国立西洋
美術館研
究紀要 12

平成十九年度東支部
例会研究発表要旨
モーリス・ドニ作
《フランス美術の歴
史》: 描かれた「美術
史」再考

野中 顕子 美術史 164

平成十九年度東支部
例会研究発表要旨
モーリス・ドニと日
本—レオンス・ベネ
ディットと松方コレ
クション—

杉山菜穂子 " "

美の履歴書 061 光
はどこからくるのか
「墓地の聖女」 モー
リス・ドニ

大西 若人 朝日夕刊 6.4

コロー 光と追憶の
変奏曲 コローの影
響ピカソにも[モー
リス・ドニ]

陳岡めぐみ 読 売 7.23

展覧会評 フィリッ
ポ・ドブリッラ展

瀬分 緑 五浦論叢 15
甲斐 教行

特集 シュルレアリ
スム美術はいかにし
て可能か オートマ
ティックな形態学
オスカル・ドミンゲ
ス『リトクロニク
なエストカーダ』

中田健太郎 水声通信 25

北京五輪のシンボル
鳥の巣建設ドキュメ
ンタリー 2人のス
イス人建築家を追い
変貌遂げる中国描く
[ピエール・ド・ム
ーロン]

明珍 美紀 毎 日 8.20

建築望見 「鳥の巣」
に見る中国的不条理
[ピエール・ド・ム
ーロン]

高野 清見 読 売 8.7

インスピレーション
インテリア 日々の
時間と家具デザイン
ニナ・トルスターブ
の発想

川上典李子 A X I S 131

奇想遺産 救世主ハ
リストス聖堂 ロシ
ア[コンスタンチン
・トン]

山盛 英司 朝 日 8.10

IMAGINARY LAND-
SCAPE スタンリー
・ドゥウッド

伊東 豊子 STUDIO
インタヴュー・文 VOICE 389

(ナ)

家具デザイン米国の
師 木の個性いかす
ジョージ・ナカシマ
に心酔、記念館開設

永見 眞一 日 経 11.18

WORLD NEWS
ARTIST in Focus
今月のワールドスタ
ー No. 003 トーマ
ス・ナズカフスキー

藤森 愛美 美術手帖 909

(ニ)

特集 デザインの頼
み方 頼まれ方 グ
エナエル・ニコラ
「楽しくなる」プレゼ
ン術

石田 純子 デザイン
の現場 162

美術館への招待 川
村記念美術館 吸い
込まれる強烈な赤
「アンナの光」バーネ
ット・ニューマン作

稲葉 千寿 東京夕刊 5.22

1室に1作家のぜい
たくな展示 千葉の
川村記念美術館が増
改築[バーネット・
ニューマン]

岸 桂子 毎 日 5.15

(ヌ)
奇想遺産 ギャラリー
ーラフアイエット・
ベルリン ドイツ
[ジャン・ヌーベル]
隈 研吾 朝 日 12.7

(ネ)
クリエイターズワー
ク&ソウル ローラ
ン・ネイ A X I S 134
現代作家紹介 陰翳
礼賛されたカーエル
ネスト・ネトの日本
における新作につい
て 越前 俊也 美術フ
ォーラム21 18

(ノ)
博物館活動報告 平
成19年度新収集資料
について1「AKARI
(あかり)」イサム・
ノグチの光の彫刻作
品 浅野 裕司 ミュ
ージ
アムひだ
研究報告* H19年度

イサム・ノグチ?の
石彫 茨城・桜川の
公民館「真壁の石」
天才のひらめきか
半世紀前米日、石工
と交流 米の財団鑑
定へ 中西 公一 東京タ
刊 2.23

第五十九回美学会全
国大会報告 発表要
旨 エミール・ノル
デの様式決定に関す
る一考察 大浦 周 美 学 233

(ハ)
カバーインタビュー
／マーク・バーカー
石橋 勝利 A X I S 134
SPECIAL FEATURE
デミアン・ハースト
と英国美術の現代史
美術手帖 909

デミアン・ハース
ト ある正直者の
軌跡 談 伊東 豊子
インタヴ
ュー・文

佐藤可土和流
BRIT ARTの楽し
み方 藤田 千彩、
編集 部
取材・文

創造神話 デミアン
・ハースト「十字架
の道行き」生と死
と薬…現代の宗教画
菅原 教夫 読 売 2.21

from the World 最
低限の生活のための
住居とはーパウハウ
ス・アワードより
[ラルフ・バーゼル]
小町 英恵 A X I S 135

BAD INTERVIEW
エドワード・バーテ
インスキー 川本 ケン STUDIO
VOICE 392

ロダン研究 III ーバ
ートレットのロダン
: 高村光太郎のルド
ルフ・ダークス[ト
ルーマン・ホウ・バ
ートレット]
高橋 幸次 日本大学
芸術学部
紀要 48

Reviews: As I See
It...『マッシュー・バ
ーニー: 拘束ナシ』
小谷 元彦 ART iT 21

特集 写真集の現在
2008 PHOTOBOOKS
NOW PHOTO & IN
TERVIEW (TV
BOOKS) ティム・
バーバー インタヴ
ュー 浅村香寿美 STUDIO
VOICE 394

特集 シュルレアリ
スム美術はいかにし
て可能か メキシコ
時代のパーレン「旅
する花粉」[ヴォルフ
ガング・パーレン]
永井 敦子 水声通信 25

第五十九回美学会全
国大会報告 発表要
旨 エドワード・バ
ーニ=ジョーンズの
絵画空間における平
面性ー《黄金の階段》
における身体表現と
平面装飾ー 久保 美枝 美 学 233

エドワード・バー
ニ=ジョーンズの絵
画空間における平面
性 〃 待兼山論
叢 42

読みたい 晴れても
降っても 英写真家
がとらえた田舎心
[ジョニー・ハイマ
ス] 飯嶋 和一 毎日タ
刊 2.29

トッド・ハインデル
切断された身体、繋
がりゆく身体〜二人
のハインデル 土田 環 art_icle 12

作家通信 西洋と東
洋、伝統と現代との
融合 白 浪 趣味の水
墨画 230

作家通信 二〇〇八
年を振り返って ジム・ハサ
ウェイ 〃 237

「絵本の力」に願い込
め 日仏作家4人の
原画展「ネット社
会から子ども守りたい」
[ジル・バシ
ュレ]
久原 穂 東 京 12.7

美の履歴書 063 若者の姿に重ねたのは「放蕩息子」 ジュール・パスキン	青山 祥子	朝日夕刊	6. 18	PARIS 発 セザール没後10年 [セザール・バルダッチーニ]	安部 雅延	新美術新聞	1162
V&A美術館が1000万円でご購入 R・ストーンズの「ペロ出し」原画[ジョン・パッシュ]	前橋 重二	芸術新潮	707	バルテュス《鏡のなかのアリス》(1933)における「稚拙さ」	松野 敬文	美学論究	23
インスピレーション インテリア リチャード・ハッテンとE&Yによる「バックアップ・チェア」	川上典李子	A X I S	136	世界文化賞20周年記念展 1991年絵画部門 バルテュス「横顔のコレット」	(黒)	産 経	10. 11
すむ 究極のグローバル建築[ザハ・ハデイド]	磯 達雄	芸術新潮	703	バルビエを甦らせる 鹿島茂コレクション [ジョルジュ・バルビエ]		芸術新潮	703
海外に学び日本に学ぶ ZAHA—SCAPE ザハ観	大橋 論	建築雑誌	1578	ドイツ表現主義の彫刻家エルンスト・バルラハの陶磁器作品について	池田 祐子	京都国立近代美術館研究論集	1
INFORMATION ザハ・ハデイド設計のバビリオンが日本に上陸!		美術手帖	907	特集 アートは踊る? 横浜トリエンナーレの試み 鼎談: ハンス・ウルリッヒ・オブリスト+フィリップ・パレーノ+アレックス・ブーツ 時間の展示『イル・テンポ・ボスティーノ』をめぐる		ART iT	20
2008年第20回高松宮殿下記念世界文化賞受賞者決まる リチャード・ハミルトン氏 イリヤ&エミリア・カバコフ氏		新美術新聞	1164	奇想遺産 田園都市レッチワース イギリス[エビニーザー・ハワード]	松葉 一清 朝 日	2. 17	
第20回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者の素顔 絵画部門 リチャード・ハミルトン ポップアート衰えぬ情熱		産 経	9. 17	世界いまを刻む ロンドン「覆面画家」壁をアートに 住民「落書き」を心待ち [バンクシー]	吉田ありさ 日 経	4. 27	
高松宮殿下記念世界文化賞 絵画部門 リチャード・ハミルトン氏 最前線に立つ“隠遁者”	広瀬 一雄	〃	9. 18	絵本作家ガブリエル・パンサン 絵本シリーズ くまのアーネストおじさん研究 『アーネストがころんだ』における心理描写の特異性について—「おちてしまう」二人が「おちてもまたのぼってこられる」二人であること—	齋藤 玲子 芸 文	1	
遊び心満点 上野、日本橋にリチャード・ハミルトン作品	黒沢 綾子	〃	10. 13	ヴィルヘルム・ハンマースホイ デンマークの光と静寂	内田 取り さい	芸術新潮	704
世界文化賞 受賞者個別懇談「日本に共感、親しみ」[リチャード・ハミルトン]		〃	10. 15	注目の展覧会 「北欧のフェルメール」?! 忘れられた天才画家 ヴィルヘルム・ハンマースホイ ヴィルヘルム・ハンマースホイ 静かなる詩情	佐藤 直樹	美術の窓	301
世界文化賞授賞式 [リチャード・ハミルトン]		〃	10. 16				
創造神話 リチャード・ハミルトン 拾った結婚写真を芸術に	菅原 教夫	読 売	11. 13				
16世紀ヴェネツィア共和国の都市と建築 —アンドレア・パラディオと同時代の建築家たちをめぐって	渡辺 真弓	東京造形大学研究報	9				

ヴィルヘルム・ハマスホイの室内画の形成と展開—十七世紀オランダ風俗画の影響に関する試論—	萬屋 健司	フィロカリア	25	収蔵作品から パブロ・ピカソ「肘かけ椅子の女」	大坪 健二	ど お む	103
美の履歴書 080 後ろ姿を描いたのは「ピアノを弾くイーダのいる室内」 ヴィルヘルム・ハンマースホイ	青山 祥子	朝日夕刊	10.15	パブロ・ピカソの銅版画〈9つの顔〉(1934年)をめぐる	友井 伸一	徳島県立近代美術館研究紀要	10
Art Calendar 「ヴィルヘルム・ハンマースホイ」展 国立西洋美術館	(和)	産 経	10.9	フランコ体制によるピカソ芸術容認への過程 一九四〇年代を中心に	松田 健児	長崎県美術館研究紀要	1
美の美 謎の沈黙 上、下 ハンマースホイ	宝玉 正彦	日 経	6.22、29	黒崎彰の続・版画史解剖 20世紀編[第6回]巨匠たちの版画—マティスとピカソをめぐる	黒崎 彰	版画芸術	140
(ヒ)				研究報告 日本におけるピカソの受容と歴史的回顾—影響、批評、収集の軌跡	塚田美香子	ブリヂストン・石橋美術館報*	56
ピアズリーの初期の画業における様式の複線的展開[オーブリー・ピアズリー]	下田 智子	学習院大学人文科学論集	17	特集 パブロ・ピカソ		ユリイカ	558
奇想遺産 トーレ・ヴェラスカ イタリア[BPR]	隈 研吾	朝 日	11.9	現代美術の冒険者 パブロ・ピカソが撒き散らしたもの	横尾 忠則 黒瀬 陽平 聞き手		
翻訳 ピエロ・デッラ・フランチェスカの《むち打ち》の遠近法	R・ウィトカウアー、B・A・R・カーター著 篠塚二三男訳	跡見学園女子大学人文学フォーラム	6	生きた、描いた、愛した 変貌を重ねながら……	高階 秀爾		
ピエロ・デッラ・フランチェスカ作《出産の聖母》—その制作年代および制作動機に関する試論—	林 克彦	鹿島美術財団年報・別冊	25	生きた、描いた、愛した 版画人間ピカソ	瀬木 慎一		
アルブレヒト・デューラーの透視図法 [ピエロ・デッラ・フランチェスカ]	井村 俊一	金沢美術工芸大学紀要	52	ピカソの肖像 ピカソの話	日比野克彦		
特集 没後10年 須賀敦子が愛したものの第2章 須賀さんとの会話 ピエロ・デッラ・フランチェスカと《はだかの目》について	松山 巖	芸術新潮	706	コンストラクションの高みから ピカソ・デ・コンストラクション 戦略的緒論	宮下 誠		
私の空想美術館54 ピエロ・デッラ・フランチェスカ『聖十字架伝説』	栗津 則雄	美術の窓	299	コンストラクションの高みから ピカソ(折り畳まれた)アッサンブラージュ オルタ・デ・エプロから《ギター》(一九一二年)まで	河本 真理		
パブロ・ピカソ初期作品と伝説—スペイン前衛美術と「スペイン的」なものをめぐって—	孝岡 睦子	鹿島美術財団年報・別冊	25	コンストラクションの高みから ギターと仮面とコンストラクション 一九〇七から一九一二年のピカソ	古谷 利裕		
PARIS 発 ピカソと巨匠たちの関わり	安部 雅延	新美術新聞	1168	ピカソがいた時代 バレエ・リュスとピカソ 変革期における両者の交わり	鈴木 佑也		
				ピカソがいた時代 フジタとピカソ「パラード」と初個展から《ゲルニカ》まで	林 洋子		

ピカソがいた時代 岡本太郎とピカソ 創造と破壊の巨人 たち	篠藤 ゆり			こころの玉手箱 フ アッションデザイナー 一 芦田淳2 ピカ ソの絵		日経夕刊	6.3
ピカソがいた時代 ピカソをめぐる展 覧会	関 直子			仏3美術館で「ピカ ソと巨匠たち」展 史上初、世界中から 239点集め「草上の 昼食」めぐる苦闘鮮 明に	福井 聡	毎日夕刊	10.6
コンストラクショ ンの高みから 記 憶の場としての絵 画	黒瀬 陽平			コロー 光と追憶の 変奏曲 コローの影 響ピカソにも	陳岡めぐみ 読 売		7.23
座談会 ナウ・ピ カソ!	海老原 靖 小川 希 丹治 匠 和田 昌宏			インスピレーション グラフィック オリ ビエ・ビガリーニー 効能を喚起する“ビ ューティ”グラフィ ック	深沢 慶太 A X I S		134
ピカソ、逸脱する イメージ「アウト サイダー・アート 」と「プリミティ ヴ・アート」の狭 間で	服部 正			口絵・早稲田大学新 収貴重書(27)O-Ha- Yo(おはよ) by Geor- ges Bigot, 1883 [ジョルジュ・ビゴ ー]	早稲田大 学図書館 紀要		55
ピカソ、逸脱する イメージ ピカソ は『ボニョ』の夢を 見るか?	斎藤 環			ミレーの「落ち穂拾 い」～1887年の個展 を中心に～[カミー ユ・ピサロ]	賀川 恭子 山梨県立 美術館研 究紀要		22
コンストラクショ ンの高みから 疑 念:P・Rについ て	松岡新一郎			十九世紀末の出版物 における挿絵の展開 とリュシアン・ピサ ロのエラニー・プレ ス	石谷 治寛 鹿島美術 財団年報 ・別冊		25
tokyo PICASSO 巨 匠ピカソ 愛と創造 の軌跡 巨匠ピカソ 魂のポートレート		朝 日		ふたつの鏡《8》[ミ ケランジェロ・ピス トレット]	松浦 寿夫 水声通信		27
限界突き抜ける魂 の疾走 天才の創 造の秘密に迫る	大西 若人		9.29	地球びっくり箱 権 力、権威たたき壊す [ビュール・ピノン セリ]	林 路郎 読売夕刊		6.27
光・影・街……創 造の源「革命」生 んだ故郷の港町	〃		10.30	街角アート ダニエ ル・ビュランと奉納 鳥居	星野 清一 新美術新 聞		1145
靈感与えた女神た ち 悩みすら創作 の糧に ピエロや 牛に自己投影			11.28	特集 あなたの知ら ない版画の秘密 Q 5 ビラネージはロ ココの時代になぜ架 空の「牢獄」図を描い たのか。[ジョバン ニ・パッティスタ・ ビラネージ]	佐川美智子 版画芸術		139
ピカソ展 六本木から コラボ2館に鋭 敏な感性そろう	南條 史生	〃	11.5	from the World マ シュー・ヒルトンの 新ブランド	中島 恭子 A X I S		132
ピカソなど盗難画発 見 ブラジル	石田 博士	朝日夕刊	1.9	“グルジアのルソー” 日本初の本格画集 [ニコ・ピロスmani]		芸術新潮	702
ピカソまた盗まれる	〃	〃	6.13	ボヘミアン画家 自 由と力強さ“グル ジアのルソー”ピロ スマニ	黒沢 綾子 産 経		7.2
美の履歴書 081 な ぜ人形は普通なのか 「人形を抱くマヤ」 パブロ・ピカソ	大西 若人	〃	10.22				
美の美 長い首の神 秘—モディリアーニ 中[パブロ・ピカソ]	堤 篤史	日 経	3.2				

「ニコ・ピロスマニ 1862—1918」 (清) 読 売 6.29

(フ)

研究員レポート ルーヴルのヤン・ファブール—変容の天使 南 雄介 国立新美術館ニュース 7

視線 ポブ・ディラン写真集 時代が変わる瞬間 バリー・ファインスタイン著 村山 由佳 朝 日 9.21

特集 没後10年 須賀敦子が愛したものの第2章 須賀さんとの会話 ファッツィーニと歳を重ねることについて[ベリクレ・ファッツィーニ] 松山 巖 芸術新潮 706

美の履歴書 079 何のため描かれたのか「歩哨」カレル・ファブリティウス 大西 若人 朝日夕刊 10.8

特集 フェルメールフェルメールを読むヤン・ファン・エイクとフェルメール光の描出の系譜／“光学的精微の大全”をどのように記述できるのか? 小林 典子 ユリイカ 554

WORLDWIDE MIX BERLIN 未来のドイツデザインを牽引する期待の新人 スザンヌ・フィリプソン 編集部 デザインの現場 157

翻訳 《アドルフの小屋》—イアン・ハミルトン・フィンレイの新古典主義的再武装計画 ドリユー・ミルン 著 鈴木杜幾子 訳 芸術学研究(明学) 18

ニコラ・ブーヴィエの映像世界 田口 亜紀 学習院大学文学部研究年報 54

フランソワ・ブーシェによるタビスリー連作(ブシユケの物語)について 小林亜起子 東京芸術大学美術学部論叢 4

シエラレオネで彫刻に目覚めた男 マーティン・ブーリエ 由本みどり 取材 前橋 重二 文 芸術新潮 698

空間を満たす風土と光—ノルウェーの建築博物館とオペラハウス[スヴェレ・フエーン] 川上典李子 A X I S 135

アペル・レ・フェノサの彫刻についての考察 《キークChrysantheme—》の例から 野間口 泉 崇城大学芸術学部研究紀要 1

書書雑種 フェルメールをさがし、堀辰雄の時代のネーデルランド絵画紹介を見る 山田 俊幸 一 寸 35

特集 東西学術研究所シンポジウム:『近代との出会い—風景からのアプローチ—』ヨーロッパ人と近代—フェルメールの《デルフトの眺望》を手がかりに 蜷川 順子 関西大学東西学術研究所紀要 41

愛蔵版特集 やっぱり気になるフェルメール 世界全16美術館完全ガイド付 朽木ゆり子 芸術新潮 705

愛蔵版特集 やっぱり気になるフェルメール 世界全16美術館完全ガイド付 気になるコラム 編集 部 前橋 重二 朽木ゆり子 " "

巻頭特集 人物画が上手くなる 秘技法講座 VOL. 9 巨匠にみる油彩の描画法 第2弾—17世紀のオランダ絵画技法を学ぶ—[ヨハネス・フェルメール] 美術の窓 297

特集 フェルメール ユリイカ 554

「フェルメール」かく語れり 燐光する天体 光の結像、あるいは視覚美術の原点 浅田 彰 森村 泰昌

フェルメールに對峙する 涙の源泉と光 フェルメール、眼差しは見るのでもなく、見ないのでもなく 森島 章人

光の跡をトレースする フェルメール作品解説 小林 頼子

フェルメールに對峙する オランダ日和 フェルメールと両眼視 細馬 宏通

フェルメールから派生する 写真的絵画と絵画的写真 田所美恵子

一人の画家と二人の画家 フェルメールは映画をめざす 小川 格、丹治 匠 対談

フェルメールを読む 深層心理のイコノロジー 「合奏」と「音楽の稽古」の場合 喜多尾道冬

フェルメールを読む フェルメール作品に潜むジェンダーの視点	小林 頼子			デザインは拡大しつつあるのか? 食の体験を通じたメッセージ 「イーディングデザイン」を提案するマライエ・フォージェルサング	谷口真佐子	A X I S	135
フェルメールを読む フェルメールのドラマツルギー	尾崎 彰宏			表紙の作品 ジャン・フォートリエ「雲」	谷口 雄三	グリーンルーフ	64
フェルメールを読む フェルメールの「一条の白い筋」《小路》試論	高橋 達史			中特集 諏訪敦 リアリズムを解き放て 諏訪敦をめぐる1問1答×30人[マコト・フジムラ]		アート・トップ	219
フェルメールを読む ヤン・ファン・エイクとフェルメール 光の描出の系譜/“光学的精微の大全”をどのように記述できるのか?	小林 典子			イメージの向こう側 [ニコラ・プッサン]	港 千尋	思想	1016
フェルメールに對峙する フェルメール作品の前で二〇〇四年春《絵画芸術》観覧記	北澤 洋子			第六十一回全国大会 研究発表要旨 ニコラ・プッサンにおける古代美術とラファエロの受容—画家の戦略の観点から—	望月 典子	美術史	165
フェルメール展		朝 日		オビニオン2008 リド・ブッセ(インダストリアル・デザイナー)	小町 英恵	A X I S	134
光と天才画家とデルフトの巨匠たち	有吉 玉青 大西 若人		6. 27	一連の論稿にみる地域主義思想と芸術に関する理念(1891—1904年) 建築家ジュゼップ・ブッチ・イ・カダファルク研究(1)	後藤 勝博 入江 正之	日本建築学会計画系論文集	630
最後に加わった1枚 真作か 11年かけ科学的に調査	大西 若人		7. 12	コロー 光と追憶の変奏曲 コローの影響ピカソにも[ジョルジュ・ブラック]	陳岡めぐみ	読 売	7. 23
「小路」探す旅 オランダ・デルフト場所めぐっては諸説「想像で描いた」が有力	本山 秀樹		9. 10	Osamu's Invitation 11 ブラッサイ、マイヨールを撮る	原田 治	芸術新潮	704
フェルメールと私		朝日夕刊		From the Collection バリー・フラナガン《鐘の上の野兎》1983年	伊藤 香織	GMAT News	27
揺らぐ永遠 先取り	浅田 彰		10. 11	バリー・フラナガン—かたちの錬金術	石崎 尚	世田谷美術館紀要	10
「白」の技量にあこがれて	八代 亜紀		10. 14	ファンスの死[ファンス・フランク]	弓場 紀知	陶 説	668
フェルメール 魅惑の謎 一挙7点、展覧会人気	黒沢 綾子	産 経	9. 13	特集 写真集の現在 2008 PHOTOBOOKS NOW PHOTOBOOKS FILE ロバート・フランクの方へ	鈴木 行	STUDIO VOICE	394
美の美 光の旅4 フェルメール	小川 敦生	日 経	2. 17	ヘレン・フランケンサラーの1950年代	沢山 遼	芸 文	1
希少フェルメール大集合 10年で半数来日・今年は「一挙7点」	高野 清見	読 売	9. 18	特集 シュルレアリスム美術をどう語るか 資料編 シュルレアリスムとの離接点 十一人の芸術家の軌跡 エステバン・フランセス	長尾 天	水声通信	23
フェルメールの最高傑作「絵画芸術」出品中止 オーストリア貸し出し不許可決める	石黒 穰	読売夕刊	8. 1				

新収作品 ホーファールト・フリンク《キリスト哀悼》	幸福 輝	国立西洋美術館年報	41	ロブロボは何を紹介するのか シュルレアリスムと「キャラクター」の問題[ヴィクトル・ブローネル]	鈴木 雅雄	〃	27
技術と歴史12 デザイン・マインドと資本とのあいだで[ジャン・ブルーヴェ]	山名 善之	10 + 1 *	50	都市図の中の鏡—エルトマン・フンメル作品を中心に—[ヨハン・エルトマン・フンメル]	尾関 幸	東京学芸大学紀要	60
オビニオン2008 ゴードン・ブルース(インダストリアルデザイナー)	瀧口 範子	A X I S	135	(へ)			
世界文化賞20周年記念展 1999年彫刻部門 ルイズ・ブルジョワ「ヒステリーのアーチ」	黒田 綾子	産 経	9.28	カバーインタビュー /イヴ・ペアール	瀧口 範子	A X I S	132
特集 本は消えない! インターネット以降の本当に面白い雑誌/本の作り方 new printed matter LITTLE PRESS & ARTIST ZINE J&L Books[ジェイソン・フルフォード]	藤田 夏海	STUDIO VOICE	391	特集 CREATORS OF 2008 2008年を創る20人のクリエイターたち! プロダクトデザイナー イヴ・ペアール 今最も注目すべきプロダクトデザイナー	大城 譲司	STUDIO VOICE	385
ブレイクの“A Little Black Boy”とロマン派女性作家たちの描く反奴隷制[ウィリアム・ブレイク]	司 絵梨沙	日本女子大学大学院紀要(文)*	14	Haptique とは何か—『感覚の論理』を中心としたドゥルーズの感覚論[フランシス・ベイクン]	太田 純貴 美 学		232
特集 あなたの知らない版画の秘密 Q 9 ブレイクは、どのようにして自作の詩と版画を一体化させたのか。	佐川美智子	版画芸術	139	特集 コンセプトデザイン—未知なるものを創り出す 未知なるものを創り出す方法論とは? 「ハリウッド・コンセプト・デザイン」インタビュー[ネヴィル・ペイジ]	瀧口 範子	A X I S	133
論文要旨《修士》ウィリアム・ブレイクの『無垢の歌』について—その同時代性をめぐって—	安永 幸史	美術史論集	8	黒崎彰の続・版画史解剖 20世紀編[第7回]S・W・ヘイターと「アトリエ17」の挑戦[スタンリー・ウィリアム・ヘイター]	黒崎 彰	版画芸術	141
ジャウメ・ブレンサ七人の考える色男たち	越谷 真久	芸術新潮	700	巧みな描写 質感をも表現 「ウィーン美術史美術館蔵 静物画の秘密」展[コルネリス・デ・ヘーム]	中村 俊春	東京	6.2
ルシアン・フロイドの不機嫌なエッチング	由木みどり 取材	〃	〃	ヘーリンク邸にみるフーゴ・ヘーリンクの比例による平面構成	中江 研	日本建築学会計画系論文集	625
フロイト孫の作品35億円[ルシアン・フロイド]		読 売	5.15	ヴァルケンの農場主住宅にみるフーゴ・ヘーリンクの比例による平面構成	〃	〃	630
関東の陶芸展 アンドシュ・ブローデル作陶展	森 孝一	陶 説	658	PICK UP Exhibition 音楽を表現する絵画 白純實(BAIKU SOON SIL)の無尽蔵の表現		ギャラリー*	275
特集 シュルレアリスム美術はいかにして可能か 絵画を分壊する マッタとブローネルのあいだで:《インターヴィジョン》[ヴィクトル・ブローネル]	齊藤 哲也	水声通信	25	マックス・ベックマンの版画集《顔》について	奥野 克仁	高知県立美術館研究紀要	7

- 「アッ、穴だ」のわが
美術展 第8回 波
濤洶湧、浪の音づれ
一再びベックリー
の穴へー[アルノ
ルト・ベックリー]
- 草森 紳一 アート・
ト ッ プ 219
- 所蔵品紹介 大理石
の皮膚ーアカシアの
とげ ジュゼッペ・
ペノーネ
- 山口 洋三 エスプラ
ナード 152
- ベラスケス作《クリ
ストバル・スアー
レス・デ・リベラ
の肖像》—その開
口部表現と身振りの果
す機能
- 諸星 妙 美 学 232
- ベラスケス作《セビ
ーリャの水売り》—
一七世紀初頭セビ
ーリャにおけるコン
ベルソ問題と作品の意
味—
- 〃 美 術 史 165
- 美の履歴書 069 ど
こか暗いのはなぜ
「薔薇色の衣裳のマ
ルガリータ王女」
ベラスケス
- 古賀 太 朝日夕刊 7.30
- 特集 コンセプトデ
ザイン—未知なるも
のを創り出す 未知
なるものを創り出す
方法論とは? 「ハ
リウッド・コンセプ
ト・デザイン」イン
タビュー[ハラルド
・ベルガー]
- 瀧口 範子 A X I S 133
- 新収作品 ジャン＝
ヴィクトール・ベル
タン《イタリア風景》
- 大屋 美那 国立西洋
美術館年
報 41
- 北京五輪のシンボル
鳥の巣建設ドキュメ
ンタリー 2人のス
イス人建築家を追い
変貌遂げる中国描く
[ジャック・ヘルツ
オーク]
- 明珍 美紀 毎 日 8.20
- 建築望見 「鳥の巣」
に見る中国的不条理
[ジャック・ヘルツ
オーク]
- 高野 清見 読 売 8.7
- ベルニーニの《バル
ダッキーノ》—リン
チェイ・アカデミー
の『アピアリウム』と
バルベリーニ家のミ
ツパチをめぐる—
- 佐藤 仁 美 術 史 165
- 奇想遺産 サン・ビ
エトロ広場 パチカ
ン市国[ジャン・ロ
レッツォ・ベルニー
ニ]
- 松葉 一清 朝 日 12.14
- 特集 シュルレアリ
スム美術をどう語る
か 宙吊りにされた
屍 ハンス・ベルメ
ールの人形と写真へ
の距離
- 神保 京子 水声通信 23
- 劇場の建築造形—
1925年パリ現代装飾
美術・工芸美術国際
博覧会の展示館に関
する考察 その4—
[オーギュスト・ペ
レ]
- 三田村哲哉 日本建築
学会計画
系論文集 631
- SV CUT UP PHOTO
BOOKS Jonas
Bendixen 『The
Places We Live』
[ジョナス・ベンデ
イクセン]
- 編 集 部 STUDIO
VOICE 395
- (ホ)
- パリの中国人: 黄永
砵のクリシェ的他者
性
- 平芳 幸浩 国立国際
美術館ニ
ュース 169
- ヨーゼフ・ボイス研
究—《黒板》(東京芸
術大学蔵)の成立過
程とその意義をめぐ
って
- 山本 和弘 東北芸術
工科大学
紀要 15
- 特集 100%楽しむ
ためのキーワード超
・整理 現代アート
事典 コラム 美術
家の思想05 ヨーゼ
フ・ボイス
- 市原研太郎 美術手帖 906
- 創造神話 ヨーゼフ
・ボイス 心温まる
ローテック作品
- 菅原 教夫 読 売 12.18
- コミックガイド
Boichi 作品集 HO-
TEL Boichi 作
- 山脇 麻生 朝 日 11.16
- Faces 17 ロニ・
ホーン 水のように
アンドロジナス
中性的
- 松浦 直美 ART iT 21
- 第二十七回 史学会
大会報告 十五世紀
ヨーロッパの七つの
大罪の図像[ヒエロ
ニムス・ボス]
- 岩本 飛鳥 史 友 40
- 研究ノート オルガ
・ボズナニスカとジ
ャボニスム
- 井内 香菜 ジャボニ
スム研究 28
- 知っておきたい有名
版画作家5 デイヴ
イッド・ホックニー
- 秋田 真波 版画芸術 141
- クリエイターズワー
ク&ソウル レベッ
カ・ポッジャー
- A X I S 132
- 海外に学び日本に学
ぶ 異邦で知る単純
な言葉の強さ マリ
オ・ボッタ事務所
- 古谷 誠章 建築雑誌 1570

私の空想美術館56 ポッティエリと私 [サンドロ・ボッ ティエリ]	栗津 則雄	美術の窓	301						
光の造形表現に関する 研究 エドワード・ ホッパーの室内空間 を中心に	崔 丞希	芸術学研 究(筑波)	12						
文化往来 仏シネマ テークでデニス・ホ ッパー回顧		日 経	11.8						
奇想遺産 サン・ジ ョバンニ・イン・ラ テラノ大聖堂 イタ リア[フランチェス コ・ボッロミーニ]	松葉 一清	朝 日	4.20						
フロリスト ジル・ ボティエ パリロマン ティックノエル展 パリから冬の贈り物		読売夕刊	10.14						
フェルナンド・ボテ ロの彫刻	北尾 望	ART LIBRARY	9						
美の履歴書 055 な ぜこんなに横長か 「陽の当たるテラス」 ビエール・ボナール	古賀 太	朝日夕刊	4.23						
自然の色彩を愛した 2人の画家 マティ スとボナール—地中 海の光の中へ—	山梨 俊夫	東 京	5.5				(マ)		
19世紀ピトレスク派 の画家たち(その1) —ボンントンとポー ル・ユエ(前半)[リ チャード・パークス ・ボンントン]	石木 隆治	東京学芸 大学紀要	59						
世界文化賞20周年記 念展 2002年絵画部 門 ジグマー・ボル ケ「Nessi Has Com pany II」	(黒)	産 経	10.2						
特集 シュルレアリス ム美術をどう語る か ボルトンスキー とシュルレアリスム ? [クリスチャン・ ボルトンスキー]	星埜 守之	水声通信	23						
美術家クリスチャン ・ボルトンスキー語 る 解放後の体験 作品に	古賀 太	朝日夕刊	11.11						
自由席 美術作品に も「楽譜」の発想[ク リスチャン・ボルト ンスキー]	(敦)	日経夕刊	11.19						
ピカソなど盗難画発 見 ブラジル[カン ディド・ボルチナリ]	石田 博士	朝日夕刊	1.9						
ジョヴァンニ・モレ ッリ『イタリア絵画 論—ローマのボルゲ ーゼ美術館とドーリ ア=パニンフィーリ美 術館』翻訳(7)—ロ ンバルディア派(ジ ャンベトリノーから チュゼーレ・ダ・ セストまで)[ジョヴ ァンニ・アントニオ ・ボルトラフフィオ]	上田 恒夫	金沢美術 工芸大学 紀要	52						
美の履歴書 047 ス キなき細工の背景は 「ダイヤモンド象嵌 の嗅ぎ煙草入れ」 ドミニク=フランソ ワ・ボワトロ	秋山 亮太	朝日夕刊	2.27						
靖国をつきぬけて 洪成潭(ホン・ソン ダム)『靖国の迷妄』 展シンポジウムから	古川 美佳	あいだ	147						
特集 細野晴臣の楽 しみ方! MUSIC & LIFE LIFE 細野晴 臣への手紙	ウィズット ・ボンニミ ット	STUDIO VOICE	393						
From the Collection フランソワ・ボンボ ン《シロクマ》1923— 33年	松下 和美	GMAT News	28						
青春の刻4 絵描き の前に人間になる・ 馬驍								趣味の水 墨画	233
ジョン・マーティン 作『失楽園』中の一 図、《光明の創造》の 着想源について	新田 建史	静岡県立 美術館紀 要	23						
奇想遺産 ベルリン の壁博物館 ドイツ [ピーター・マイゼ ンマン]	隈 研吾	朝 日	2.10						
Osamu's Invitation 11 ブラッサイ、マ イヨールを撮る[ア リスティード・マイ ヨール]	原田 治	芸術新潮	704						
収蔵作品から イー ゴリ・マカレーヴィ ッチ エレーナ・エ ラーギナ「バガン」	麻生 恵子	ど お む	104						
MAGNUM MAGNUM MAGNUM PHOTOS 編著[マグナム・フ ォト]		日 経	1.13						
「マグナム・マグナ ム」	(前)	読 売	2.10						
私の空想美術館53 マザッチョ『楽園追 放』	栗津 則雄	美術の窓	298						

- オークションの逸品
ドーム & L. マジョ
レル「マグノリア文
ランプ」[ルイ・マジ
ョレル]
- インスピレーション
インテリア ジャン
・マリー・マソーが
こだわった曲線—
「Men」
- 特集 シュルレアリ
スム美術はいかにし
て可能か 絵画を分
壊する マッタとブ
ローネルのあいだで
:《インターヴィジ
ョン》
- 世界文化賞20周年記
念展 1995年絵画部
門 マッタ「コンボ
ジション」
- その心は果てしなく、
常にここにある[ゴ
ードン・マッタ=ク
ラーク]
- 第五十九回美学会全
国大会報告 発表要
旨 一九七〇年代に
おける「オルタナテ
ィヴ」な空間のあり
かーゴードン・マッ
タ=クラークの初期
の活動に即して—
- 芸術新潮特別企画
ルオーとマティス
絵になる友情[アン
リ・マティス]
- Bonjour! Georges
第七話 アンリ・マ
ティス
- 黒崎彰の続・版画史
解剖 20世紀編[第
6回]巨匠たちの版
画—マティスとピカ
ソをめぐって
- 知っておきたい有名
版画家6 アンリ
・マティス
- 自然の色彩を愛した
2人の画家 マティ
スとボナール—地中
海の光の中へ—
- 《オランピア》に関す
るノート[エドゥア
ール・マネ]
- モリゾの初期芸術の
形成とマネ
- 美の美 写真と絵画
下 マネ
- ギャラリ
ー 281
- 川上典李子 A X I S 135
- 齊藤 哲也 水声通信 25
- (黒) 産 経 9.29
- エリザベス
・サスマン
高嶋雄一郎
訳 世田谷美
術館紀要 10
- 平野千枝子 美 学 233
- 芸術新潮 700
- (増子) Shiodome
Museum
REVUE 9
- 黒崎 彰 版画芸術 140
- 秋田 真波 " 142
- 山梨 俊夫 東 京 5.5
- クロード・
レヴィ=ス
トロー
渡辺 公三
訳 思 想 1016
- 坂上 桂子 早稲田大
学大学院
文学研究
科紀要 53
- 田村 広済 日 経 10.12
- 仏3美術館で「ピカ
ソと巨匠たち」展
史上初、世界中から
239点集め「草上の
昼食」めぐる苦闘鮮
明に[エドゥアール
・マネ]
- 特集 シュルレアリ
スム美術をどう語る
か 資料編 シュル
レアリスムとの離接
点 十一人の芸術家
の軌跡 ジョルジュ
・マルキース
- カバーインタビュー
/ステファノ・マル
ツァーノ
- 特集 没後10年 須
賀敦子が愛したもの
の第2章 須賀さんと
の会話 シモーネ・
マルティニの青空
とブドウ畑について
- 金融不況も何のその
マレーヴィチの自選
作 60億円で落札
[カジミール・マレ
ーヴィチ]
- 美の履歴書 067 人
間の顔が消えたのは
「農婦、スーパーナ
チュラリズム」 カ
ジミール・マレーヴ
ィチ
- 美の履歴書 086 楽
器に見立てたのは
「アングルのヴァイ
オリン」マン・レイ
- (ミ)
- ミス・ファン・デ
ル・ローエの初期設
計作品における表現
性—ビスマルク記念
碑案のCG再表現分
析—[ルートヴィヒ
・ミース・ファン・
デル・ローエ]
- 特集 コンセプトデ
ザイン—未知なるも
のを創り出す アイ
デアはテクニックを
超える シド・ミ
ード インタビュー
- 翻訳 《審判図》をめ
ぐって[ミケランジ
エロ・ブオナローテ
ィ]
- 第五十九回美学会全
国大会報告 発表要
旨 ミケランジエロ
作『コロンナ・ピエ
タ』の図像学
- 福井 聡 毎日夕刊 10.6
- 中田健太郎 水声通信 23
- 石橋 勝利 A X I S 133
- 松山 巖 芸術新潮 706
- 前橋 重二 " 708
- 青山 祥子 朝日夕刊 7.16
- " " 11.26
- 永田周太郎 日本建築
学会計画
系論文集 629
- 杉本 俊多
- 瀧口 範子 A X I S 133
- カルロ・デ
ル・ブラー
ヴォ
甲斐 教行
訳・註解 五浦論叢 15
- 嶋谷 昭彦 美 学 233

展覧会評「サン・ロレンツォ教会における建築家ミケランジェロ—四つの未解決問題—」	絹川 陽子	美術史学	28	ミレイ展に漱石ゆかりの作品「矢張り画になる…風流な土左衛門」	生田 誠 産 経	9.25
美術館への招待 大塚国際美術館 極みに到達した複製名画群「システィーナ礼拝堂壁画/天井画」ミケランジェロ作	稲葉 千寿	東京夕刊	4.24	ミレーの「落ち穂拾い」～1887年の個展を中心に～[ジャン＝フランソワ・ミレー]	賀川 恭子	山梨県立美術館研究紀要 22
Faces 13 ロン・ミュエック 普遍的リアリティを求めて	北澤ひろみ	ART iT	20	美の美 名画にみる夢1 ミレー	宝玉 正彦 日 経	8.31
ロン・ミュエック リアリズムの向こう側		芸術新潮	703	瀧口修造/ジョアン・ミロ『ミロの星とともに』(1978年)—その成立過程についての一考察	中島 恵	慶応義塾大学アート・センター年報 15
新美術時評 展覧会番外編:具象・リアリズム・ミュエック	外館 和子	新美術新聞	1163	(ム)		
SV ART ART SPACE ロン・ミュエック	児島やよい	STUDIO VOICE	390	第六十一回全国大会研究発表要旨 ハリー・ハンフリー・ムーアの日本イメージ	瀧井 直子	美術史 165
大人の希望を表す現代美術の赤ん坊[ロン・ミュエック]	中川 素子	毎日夕刊	8.18	PARIS 発 ヘンリー・ムーアと神話	安部 雅延	新美術新聞 1143
英国十八世紀半ばの風景式庭園ハグリー・パークに関する考察—サンダーソン・ミラーによる人工廃墟建築ハグリー・カールスを中心に—	豊口真衣子	建築史学	51	あの人に迫る わび・さび美しさ 京町家一目ぼれ ジェフリー・ムーサス 建築家	芦原 千晶 聞き手	東京夕刊 6.13
クリエイターズワーク&ソウル ミリオール+セルヴェット		A X I S	131	あとがきのあと 『「縁側」の思想』ジェフリー・ムーサス氏 町家は京都の生活文化		日 経 5.4
《オフィーリア》から遠くへ ジョン・エヴァレット・ミレイの全貌		芸術新潮	705	インスピレーションアート 今、再評価されるブルーノ・ムナリー	暮沢 剛巳	A X I S 132
巻頭特集 人物画が上手くなる ⑧技法講座 VOL. 9		美術の窓	297	特集 役に立たないブルーノ・ムナリー入門	編集部	芸術新潮 697
注目の展覧会から ジョン・エヴァレット・ミレイの描く女性たち～その特異性と魅力～	筒井 則子			特集 役に立たないブルーノ・ムナリー入門 インタビュー アルベルト・ムナリー 「好奇心にみちた自由人、それが父でした」		” ”
ミレイ「オフィーリア」における油彩描画法	編集部					
ジョン・エヴァレット・ミレイ展 愛の殉教者の物語 オフィーリア 映画のような演出	川口優香里	朝 日	8.28	奪還されたムンクの《叫び》修復記念展でも「癒えない傷」	前橋 重二	” 704
美の履歴書 066 テーマは「生か、死か」 「オフィーリア」ジョン・エヴァレット・ミレイ	菅野みゆき	朝日夕刊	7.9	特集 あなたの知らない版画の秘密 Q 18 ムンクが《マドンナ》で描こうとしたのは「生」か、「死」か?	松山 龍雄	版画芸術 139

なぜ《叫び》は来なかったのか、あるいは来る必要があったのか。[エドワード・ムンク]

田中 正之 美史研ジャーナル 5

春秋[エドワード・ムンク]

日 経 2.22

デザインは拡大しつつあるのか? “もの”のストーリーを浮かび上がらせる疑問とリサーチから出発する、クリスティー・メンデルツマ

谷口真佐子 " 135

(メ)

もっと知りたい! 男性器の写真「適法」判決 業界・捜査側、変化見極め[ロバート・メイプルソープ]

石川 智也 岩田 清隆 小林 誠一 細沢 礼輝 朝 日 2.20

法廷ひと模様 メイプルソープ写真集で勝訴「芸術」守った確信犯

出田 阿生 東京夕刊 3.1

メイプルソープ写真集 わいせつ性否定 最高裁判決輸入認める

日経夕刊 2.19

メイプルソープ写真集 最高裁「わいせつ」否定 輸入禁止 取り消す

足立 大 読売夕刊 2.19

巻頭特集 人物画が上手くなる ⑧技法講座 VOL. 9 巨匠にみる油彩の描画法 第2弾〜17世紀のオランダ絵画技法を学ぶ〜[ファン・メーヘレン]

美術の窓 297

Faces 16 アネット・メサジェ 多面的な自己を見つめて

柳下 朋子 ART iT 21

アネット・メサジェさん 日本で初の個展開催 マイノリティーからの挑戦

日経夕刊 9.1

メッゲンドルフアーのわくわく仕掛け絵本[ローター・メッゲンドルフアー]

芸術新潮 708

メングス作《フェルナンド六世》と《王妃バルバラ》(長崎県美術館蔵)の作者帰属について[アントン・ラファエル・メングス]

木下 亮 長崎県美術館研究紀要 1

from the World メンディーニ兄弟がジャーナリストに捧げた宮殿[アレクサンドロ・メンディーニ/フランチェスコ・メンディーニ]

小町 英恵 A X I S 131

(モ)

モディリアーニとフジター映画《モンパルナスの灯》周辺

荒屋鋪 透 国立国際美術館ニユース 167

モディリアーニ、プリミティヴへの回帰

村松 和明 " "

キーワードで読み解くモディリアーニ

安来 正博 " "

モディリアーニのキャリアティッド

宮島 綾子 国立新美術館ニユース 6

美の美 長い首の神秘—モディリアーニ上、中、下

堤 篤史 日 経 2.24、3.2、9

「奥の細道」たどり大地芸術 芭蕉の創作姿勢・生き方に感銘、旅人となる

カイディン・モニク・ル・ウエラー " 1.9

名画盗難 175 億円 スイス ゴッホ、モネ…被害最大級 有名すぎ転売無理?

国末 憲人 朝 日 2.13

盗難名画 2 点発見 スイス[クロード・モネ]

" " 2.20

「睡蓮」86億円 モネ 最高額の落札

土佐 茂生 朝日夕刊 6.25

美の美 名画にみる夢 3 モネ

宝玉 正彦 日 経 9.14

特集 没後10年 須賀敦子が愛したものの第2章 須賀さんとの会話 モランディのあたりまえについて[ジョルジョ・モランディ]

松山 巖 芸術新潮 706

ジミー・ペイジの邸宅からご出品 ウィリアム・モリスの超大作タペストリー

前橋 重二 " 701

ウィリアム・モリスの建築的思索の構造—制作論における「自然」と「歴史」の問題

杉山 真魚 日本建築学会計画系論文集 627

モリゾの初期芸術の形成とマネ[ベルト・モリゾ]

坂上 桂子 早稲田大学大学院文学研究科紀要 53

クリエイターズワーク&ソウル ハイメ・モレノ A X I S 132

Bonjour! Georges 第六話 ギュスターヴ・モロー (増子) Shiodome Museum REVUE 8

人・模・様 「巨匠と無名」企画展に感慨[アドルフ・モンティセリ] 福井 聡 毎日夕刊 10.20

(ヤ)

コモルとヤカブによる言説と造形―レヒネルの「追隨者」再検討―[ヤカブ・デジュー] 足立 純子 早稲田大学大学院文学研究科紀要 53

絵本作家 イヴォンヌ・ヤハテンベルフさん 言葉でなく絵で考える 宝田 茂樹 産 経 9.1

《雀村往東》 楊 福東 国立国際美術館ニュース 165

(ユ)

芸術都市パリの100年展 ルノワール、セザンヌ、ユトリロの生きた街 1830〜1930年 下[モーリス・ユトリロ] 中原 淳行 毎 日 6.12

第六十一回全国大会研究発表要旨 ル・ランシー、ノートル＝ダム教会ステンドグラスに関する考察―ステンドグラス職人マルグリット・ユレの役割を中心に― 味岡 京子 美術史 165

(ヨ)

作家通信 以心造境 姚 小全 趣味の水墨画 235

作家通信 第5回姚明水墨画書道研究会展に寄せて 姚 明 〃 237

現代美術の歩き方 現代美術のみかた リトアニアの現代アートを知ろう! アグネ・ヨンクティインタビュー 美術の窓 301

ヘラ・ヨンゲリウス 岡野 民 デザインの現場 157

(ラ)

特集 建築資料をのこすということ Vアーカイブス活動の現状 関係者の発言から紐解く巨匠建築家の足跡 F. L. ライトの日本での活動を追って[フランク・ロイド・ライト] 森 晃一、森キヤレン・セパンズ 建築雑誌 1576
談 中田 千彦 聞き手・文

特集 美術における移動・越境 論文 巴里のアメリカ人イリアナ・ソナベント画廊の市場戦略 [ロバート・ラウシェンバーク] 池上 裕子 西洋美術研究 14

INFORMATION MEMORIAL 追悼 ロバート・ラウシェンバーク 戦後アメリカ美術の巨人 ロバート・ラウシェンバーク氏が逝去 洲濱 元子 美術手帖 909

世界文化賞20周年記念展 1998年絵画部門 ロバート・ラウシェンバーク「回廊(R. O. C. I. 日本)」 (黒) 産 経 10.4

追想録 ロバート・ラウシェンバークさん(アーティスト) 際立つ集中力、作品に重み 日経夕刊 6.6

ミャンマー長井さんの銃撃の写真 ビュリツァー賞受賞 ロイター通信カメラマン[アドリース・ラティーフ] 阿部 伸哉 東京夕刊 4.8

ピュリツァー賞にラティーフさん ロイター通信の米国人カメラマン「長井さん銃撃」撮影 毎日夕刊 4.8

美の美 光の旅2 ジョルジュ・ドゥ・ラ・トゥール 小川 敦生 日 経 2.3

情報館 国立西洋美術館「ウルビーノのヴィーナス」展から「キューピッドを鎮める『賢明』」 ラファエッロ・ヴァンニ 渡辺 晋輔 読売夕刊 3.25

私の空想美術館51 ラファエロ「大 公の聖母」[ラファエロ・サンツィオ] 栗津 則雄 美術の窓 296

ラファエロ傑作公開へ ウフィツィ美術館 日経夕刊 11.6

特集 シュルレアリスム美術をどう語るか 資料編 シュルレアリスムとの離接点 十一人の芸術家の軌跡 イヴ・ラロワ	齊藤 哲也	水声通信	23
Reviews: Art01 ナウイン・ラワンチャイクン『Navin's Sala』ザ・リヴァー・プロムナード(バンコク)	ブライアン・カーティン	ART iT	21
ポール＝エリー・ランソン《収穫する7人の女性》(1895)に関する基礎研究―連作復元の試みから	平石 昌子	新潟県立近代美術館研究紀要	8
シガリット・ランダウ 死海のスイカ・スパイラル	由本みどり 取材	芸術新潮	702
Faces 15 ジム・ランビー ホームメイドの魔術師	住吉 智恵	ART iT	20
フランス食器元絵探偵 皿に描かれた浮世絵の調査依頼を受け悪戦苦闘[アンリ・ランペール]	大久保純一	日 経	6.24
(リ)			
東アジアの共同体を確認 「朝鮮王朝の絵画と日本」展	李 禹煥	朝 日	12.6
中特集 座談会 対決―巨匠たちの日本美術 技と美の競い合い	河野 元昭 小林 忠 救仁郷秀明 里 燕	趣味の水 墨画	232
中国・武漢の現代 第2回 注目される武漢の作家[李維開]	江上 華	ギャラリー	279
ドキュメント挑戦 台頭する新華僑―揺れる日中のはざままで 4 「絵描き」の原点は大自然[李曉剛]	吉田 忠則	日経夕刊	7.3
特集 戦争とメディア、そして生活 第一部 戦争とメディア、そして生活 抗日宣伝活動の中の広東語漫画―戦え何老大[李凡夫]	瀧下 彩子	アジア遊学	111
丹波	ジャネット・リーチ 西田 桐子 訳	兵庫陶芸美術館研究紀要	3
丹波 解題[ジャネット・リーチ]	西田 桐子	〃	〃
バーナード・リーチの詩と信条	木村 雅信	札幌大谷大学紀要*	38

特集 帝都の美術―都市の肖像 東京における近代工芸空間とネットワーク 「バーナード・リーチ関係資料」から見える新たな展開	リチャード・L・ウィルソン	美術フォーラム21	18
再生 日英陶芸の名工房 小山富士夫 バーナード・リーチ作家教育や交流再開の拠点 現代アートの展示場に活用	秋山 亮太	朝 日	9.6
バーナード・リーチの工房再建 友人・浜田庄司と英に築く	本間 圭一	読 売	3.7
海外研修報告 リートフェルトの建築作品とオランダ建築 [ヘリット・トーマス・リートフェルト]	佐々木一泰	人間文化	23
SINGULAR DIALOGUES ミゲル・リオ＝ブランコ	山内 宏泰 インタヴュー・文	STUDIO VOICE	396
ふたつの鏡《4》《7》 [ロイ・リキテンスタイン]	松浦 寿夫	水声通信	22、26
知っておきたい有名 版画作家3 ロイ・リキテンスタイン	秋田 真波	版画芸術	139
Faces ビビロッティ・リスト	児島やよい	ART iT	18
ひと 斬新な映像作品の個展を世界各地で開くスイス人美術家 ビビロッティ・リストさん	森本 俊司	朝 日	7.25
「CORE MEMORY ヴィンテージコンピュータの美」[マーク・リチャーズ]	(前)	読 売	3.16
EXTRA COLUMN BOB & TERRY RICHARDSON [テリー・リチャードソン]	編集部	STUDIO VOICE	391
《聖ベルナルドゥスを抱擁するキリスト》における身体と表象のダイナミズム―フランシスコ・リバルタの宗教的法悦表現の独自性―	雁津 孝則	芸術学研究(京都造形)	2
芸術学専攻 ディエゴ・リベラ作《メキシコの歴史 征服から未来へ》の解説	加藤 翔麗	多摩美術大学大学院修了論文作品集	2008
(ル)			
美の美 土田優一考える眼 上[ベルナルディーノ・ルイニ]	内田 洋一	日 経	8.10

[illegible]

コラム アートの見方2 画商とパトロン	六人部昭典					モナ・リザの鷺色の眼[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	高橋 達明	京都女子大学人文論叢	56
コラム アートの見方3 ルノワールの色彩	"					500年後の着地成功！レオナルド・ダ・ヴィンチ設計のピラミッド型パラシュート	前橋 重二	芸術新潮	703
コラム アートの見方4 日本人とルノワール						ミラノの環状運河システム成立期におけるレオナルド・ダ・ヴィンチの都市理念に関する研究	道満 紀子	日本建築学会計画系論文集	632
エッセイ 幸福の象徴としての「浴女」	ハナブサ・リュウ					視点 ハイデルベルク大学図書館で発見された、「モナ・リザ」に関するメモについて[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	池上 英洋	美術の窓	295
エッセイ 芸術一家、ルノワール家の人々	"					モナリザは商人の妻 ドイツの大学図書館、証拠発見「ダビンチが肖像画」役人メモ	金井 和之	朝 日	1.16
ルノワールが歩んだ七十八年の生涯	酒井 香代					「モナ・リザ」のモデル判明 名画の解明、出発点に[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	森田 義之	"	5.20
ルノワールゆかりの地を訪ねて	ハナブサ・リュウ					ダビンチ、裏に落書き？ ルーブルにデッサン3点	国末 憲人	朝日夕刊	12.19
曾祖父ルノワール、家族、そして自身を語る	ジャック・ルノワール					ダビンチのデッサン発見	清水 俊郎	東 京	12.19
美の美 「南」への情熱2 ルノワール	浦田 憲治	日 経	5.11			美の美 名画にみる夢4 レオナルド	宝玉 正彦	日 経	9.21
記者ノート ルノワール邸の訪問記発見	前田 恭二	読 売	2.28			ダ・ヴィンチの素描見つかる ルーヴル所蔵絵画の裏側から	古谷 茂久	日経夕刊	12.19
盗難ルノワール33年ぶり回収 イタリア画廊オーナーら逮捕	松浦 一樹	"	9.28			「モナリザ」モデル商人の妻 独の図書館証拠を発表[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	三好 範英	読 売	1.16
ルノワール+ルノワール展 巨匠の父子初共演		読売夕刊	1.29			追悼 ヤネツ・レナーシー氏	大成 浩	連盟ニュース	426
クリティカルデザインとは何か ダン&ルビーが提案する、問題提起としてのデザイン[フィオナ・ルビー]	中島 恭子	A X I S	132			コモルとヤカブによる言説と造形ーレヒネルの「追隨者」再検討ー[レヒネル・エデン]	足立 純子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	53
(レ)									
特集 慈しまれる？モダニズム建築 II 事例 東京女子大学東寮・旧体育館の保存運動[アントニン・レーモンド]	藤原 房子	建築雑誌	1571			奇想遺産 セントポール大聖堂 イギリス[クリストファー・レン]	鈴木 博之	朝 日	9.7
名建築を訪ねる イタリア大使館別荘 四季の彩り楽しむ「広縁」[アントニン・レーモンド]	宮本 斎 東 京	7.30				わずか1500ポンドの模作をレンブラント真筆と見抜いた落札主[レンブラント・ハルメンス・ファン・レイン]	前橋 重二	芸術新潮	705
日本の近代建築の父 レーモンドへのレクイエム	新井 浄	東京夕刊	3.10						
美の美 木造モダンの力ー昭和の木造建築 下[アントニン・レーモンド]	窪田 直子	日 経	10.26						

特集 あなたの知らない版画の秘密 Q
4 レンブラントはなぜ300点もの版画を作ったのか。

佐川美智子 版画芸術 139

グリーンハウエイ最新作『レンブラントの夜警』 絵画に突き刺さる思考

川崎 昌平 美術手帖 903

視点 レンブラントを巡る神話

木村 泰司 美術の窓 292

美の美 光の旅3 レンブラント

小川 敦生 日 経 2.10

(口)

余録[アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック]

毎 日 2.2

共立女子大・鹿島教授が講演 ロートレック展を記念 サントリー美術館

杉本 修作 " 2.10

ロートレック市井に生きた大貴族

高橋 明也 " 2.18

ルモワンヌ・仏オルセー館長に聞く 東京で開催中の「ロートレック展」に寄せて 先駆者目指した芸術家

福井 聡 毎日夕刊 2.5

奇想遺産 ロイズ保険本社ビル イギリス[リチャード・ロジャース]

隈 研吾 朝 日 4.6

唯一の自画像も登場! 抽象以前のロスコがドイツに集結 [マーク・ロスコ]

福田 直子 芸術新潮 701

平成十九年度西支部例会研究発表要旨 マーク・ロスコの《ダーク・ペインティング》—その源泉と造形について—

芦田 彩葵 美術史 164

マーク・ロスコと一九三〇年代のアメリカ

" 美術史論集 8

1室に1作家のぜいたくな展示 千葉の川村記念美術館が増改築[マーク・ロスコ]

岸 桂子 毎 日 5.15

「女ケンタウロス」に見られるロダンのもう一つの革新性[オーギュスト・ロダン]

南 美幸 静岡県立美術館紀要 23

ロダン研究

高橋 幸次 日本大学芸術学部紀要

II—ジュディット・クラデルとフレデリック・ロートン—

47

III—パートレットのロダン:高村光太郎のルドルフ・ダークス

48

レアスポ探検 ロダン体操

朝日夕刊 9.25

近代美術の東京 トルソ オーギュスト・ロダン

鈴木 勝雄 読 売 5.16

特集 CREATORS OF 2008 2008年を創る20人のクリエイターたち! 建築家 R & Sie(n)+D フランソワ・ロッシュ建築を成長させる!

藤村 龍至 STUDIO VOICE 385

芸術都市パリの100年展 ルノワール、セザンヌ、ユトリロの生きた街 1830~1930年 上[ガブリエル・ロッペ]

中原 淳行 毎 日 6.8

奇想遺産 サウサリートのハウスポートアメリカ[クリス・ロバーツ]

藤森 照信 朝 日 4.27

特集 コンセプトデザイン—未知なるものを創り出す 未知なるものを創り出す方法論とは? 「ハリウッド・コンセプト・デザイン」インタビュー[スコット・ロバートソン]

瀧口 範子 A X I S 133

ユベール・ロベールとルーヴル宮の美術館計画

臺 由子 MUSEUM STUDY 19

特集 シュルレアリスム美術をどう語るか 資料編 シュルレアリスムとの離接点 十一人の芸術家の軌跡 ビエール・ロワ

永井 敦子 水声通信 23

中国・武漢の現代第2回 注目される武漢の作家[冷軍]

江上 華 ギャラリー 279

(ワ)

写実の系譜I 西洋画への憧憬 日本洋画黎明期の恩人、ワグマン[チャールズ・ワグマン]

古田 亮 太陽(別冊) 154

写眼 影が引き出す
魅力 オーヴェ・ワ
アリー「魔力をも
つ男のシルエット」 堀 晃和 産 経 7.28
〈「私のイングマル・
ペルイマンとの出会
い」より〉(1985年)

巻頭特集 水性画材
を極める ⑧技法講
座 VOL. 11 アンド
リュウ・ワイエス 古川 秀昭 美術の窓 299
水彩画の秘密

古き良きアメリカの
風 「アンドリュウ
・ワイエス 創造へ
の道程」展 海野 泰男 東 京 11.3

写眼 鏡の向こう
夢うつつ テリー・
ワイフェンバック 酒井 潤 産 経 6.30
「Lana」(2002年)

奇想遺産 アム・シ
ュタインホフ協会 隈 研吾 朝 日 7.6
オーストリア[オッ
トー・ワグナー]

人と墨7 王培 か
くれ墨、表面からは
見えない創作の原点 趣味の水
墨画 236

流れる書体 墨の芸
術 中国書家汪良氏 矢板 明夫 産 経 9.15
東京ですから個展

そ の 他
美術関係者

日 本

(ア行)

良寛 聖にあらず、 俗にもあらず コラ ム 良寛に魅せられ た人々[會津八一]	編 集 部	太陽(別冊)	153
會津八一の日展審査 員依頼をめぐって	石井 健	早大會津 八一記念 博紀要*	9
青柳正規氏、独立行 政法人国立美術館理 事長に就任		新美術新 聞	1151
展覧会の一隅[青山 二郎]	酒井 忠康	世田谷美 術館紀要	10
新大学院長を迎えて	浅田 彰 談 川勝のぞみ、 三富 裕騎、 桜井 類 聞き手	瓜生通信	44
京都造形大院長に浅 田氏[浅田彰]		日 経	4.2
テークオフ 学習院 大教授 荒川正明さ ん やきものの歴史 見て触れて学ぶ	秋山 亮太	朝日夕刊	5.24
特集01 アートの 理由 インタビュー &エッセー 安東孝 一 アートの価値は 何によって決まるの ですか?		アート・ ト ッ プ	224
フォーカス 彦根城 博物館館長に就任し た井伊家18代当主 井伊岳夫氏 直弼の 文化人の側面を PR		日経夕刊	7.3
写真を愉しむ 著者 飯沢耕太郎さん「見 る側」の文化を	手塚さや香	毎 日	1.20
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 教えて〇〇さん 1 池内務		美術の窓	300
アートシティヨコハ マガイドブック 横 浜トリエンナーレの 街を歩く BankART というアート事業 池田修さんに聞く		美術手帖	914
会いたい人 サント リー美術館主席学芸 員石田佳也さん	佐藤 悠	毎日夕刊	2.8

こころの玉手箱 作
家 伊集院静 1 北
フランス・エトルタ
海岸の人形と貝殻

伊集院 静 日経夕刊 4.28

美術品収集の価値
伊勢彦信さんに聞く
「共有財産」守るパト
ロン 道楽視する日
本、嘆息

野村 義博 " 4.17

特集 帝都の美術一
都市の肖像 工場か
ら街頭へ、そして試
写室へー板垣鷹徳に
おけるモダニズムと
プロレタリア美術

五十殿利治 美術フォー
ラム21 18

人・模・様 美の遍
歴語る「私は玩物興
志」[伊藤郁太郎]

田原由紀雄 毎日夕刊 6.21

交遊抄 できて何
?

上田 篤 日 経 6.21

私の履歴書28 洋画
収集が唯一の道楽

潮田健次郎 " 3.28

ひと 北京で28日か
ら井上有一書法展を
開く 海上雅臣さん

徳増 信哉 毎 日 9.20

アートで生きる/ア
ートとかかわる12
逢坂恵理子×杉田敦

土谷真喜子 美術手帖 911

大谷光瑞論(I)

赤松 徹真 龍谷史壇 128

大村西崖の渡欧日記

吉田千鶴子 近代画説 17

大村西崖欧米歴遊日
記

吉田千鶴子 " "

岡倉天心の国際感覚
一英文著作を貫く理
念一

柴田 馨 五浦論叢 15

資料紹介 岡倉天心
による「泰西美術史」
講義(明治二十九年)
についての考察(そ
の一)

廣瀬 緑 " "

大会特集I 茨城の
歴史的環境と地域形
成 問題提起15 茨
城における日本美術
院五浦移転の意義
[岡倉天心]

清水恵美子 地方史研
究 334

『茶の本』の成立と構
造一岡倉天心の美術
論との関係から一

依田 徹 茶の湯文
化学 15

岡倉天心の Teaism

横山久美子 日本史の
方法 7

岡倉覚三のボストン
美術館中国日本美術
部経営一美術館教育
を中心に一

清水恵美子 文化資源
学 6

インド印象記一岡倉
覚三渡印から百年を
経て一

岡本 佳子 鵬 4

『茶の本』の影響—特に「不完全」の美と昭和期の陶磁器論について—[岡倉天心]	依田 徹 鵬 4	河合隼雄先生の思い出	川本 幸彦
インドにおける『茶の本』への反響[岡倉天心]	岡倉 登志 " "	新しい扉を開くために：河合先生と作業療法	近藤 知子
フェノロサ追想 没後100年3 東京・上野 教え子の天心と不仲説	朝日夕刊 12.3	拝啓 河合隼雄先生	千田 稔
地名は生きる 茨城県・五浦海岸 近代日本画再生の地[岡倉天心]	吉原 康和 東京 5.4	あれだけは、とがめられ	井上 章一
ノートから 安重根の「アジア主義」と岡倉天心	鈴木 英生 毎日 3.17	河合先生の思い出—日文研の所内研究会そして「楽劇の祭典」—	笠谷和比古
「東アジア共同体と岡倉天心」 23日にシンポジウム開催	毎日夕刊 2.19	私のこころの処方箋—私の河合先生物語	奥野由樹子
「アジアは一つ」の現代的価値問う シンポ「東アジア共同体と岡倉天心」	鈴木 英生 " 3.5	エッセイ 暁斎のDNA	河鍋 楠美 太陽(別冊) 河鍋暁斎
岡倉天心モナリザ絶賛 直筆の草稿発見	読 売 4.11	ニュースな人 ヒト古墳壁画の保存陣頭指揮 新技法生み出す「相談所」[川野邊渉]	竹内 義治 日経夕刊 10.8
岡崎コレクションと安原コレクションにみる我が国オリエンタール考古美術蒐集[岡崎林平]	四角 隆二 岡山市立オリエンタール美術館研究紀要 22	アートシティヨコハマガイドブック 横浜トリエンナーレの街を歩く 第1部イベントガイド この人に聞きました、ハマトリができるまで 2 アートディレクター 菊地敦己さん	白坂 ゆり 取材・文 美術手帖 914
特集 鼻煙壺—世界が認めた日本人商社マンのコレクション 私の鼻煙壺	沖 正一郎 目の眼 384	特集01 アートの理由 インタビュー&エッセー 北川フラム アートは人と人を結ぶのですか？	アート・トップ 224
ひとつの中継点と《原爆の図》 織田達朗の場所(上)(下)	平井 亮一 あいだ 145、146	特集 「アーティスト」になる基礎知識 展覧会のつくりかた 北川フラム INTERVIEW	村田 真 聞き手 美術手帖 904
(カ行)			
杜賞(受賞者の言葉) 杜賞を受賞して	金子 明代 杜 24	展示デザイナーに完全密着 30日、TBS系「情熱大陸」[木下史青]	読売夕刊 3.28
蒲原信一郎さんの思い出	小野 公久 陶 説 661	ニッポンの哲人1 九鬼周造 論理と歌「矛盾」を追究	鷲田 清一 日経夕刊 5.1
人らんだむ 東京国立近代美術館の館長に就任した 加茂川幸夫氏 学校との連携、他館との協働も目指す	新美術新聞 1165	INFORMATION AUTHOR 著者に会いたい！ 工藤キキ、愛と本音の「アート」の感想文集	三橋 純 美術手帖 908
故河合隼雄元所長追悼集	日文研 41	[資料紹介] 二代黒川幸七に関する書簡	川見 典久 古文化研究 7
河合君、ありがとう	梅原 猛	[資料紹介] 黒川家三代の蒐集に関する領収書[黒川幸七]	" " 8
春日道をいかれる河合先生	片倉ともこ		
河合隼雄先生を偲んで	山口 昌男		

小林秀雄の(歴史)観
・序説—「私」の問題
と(歴史)観との接
続—

井上 昭芳 国学院大
学紀要 46

[研究論文]小林秀雄
『近代絵画』について
—小林秀雄の美術評
論とその方法

土屋 誠一 多摩美術
大学研究
紀要 22

特集01 アートの
理由 インタビュー
&エッセー 小山登
美夫 アートの価値
は何によって決まる
のですか?

アート・
ト ッ プ 224

『日本の民家』再訪8
化モノ論ノート[今
和次郎]

中谷 礼仁 10 + 1 * 50

(サ行)

語る 100歳を迎える
現役考古学者 斎
藤忠さん 心の見える
歴史叙述を

伊藤 和史 毎 日 8.18

追悼 現代美術の原
点を探索した旅人—
佐谷和彦さんを悼む

馬場 駿吉 新美術新
聞 1162

INFORMATION
MEMORIAL 追悼・
佐谷和彦 80年代ア
ートシーンを築いた
ひとりの画廊主の人
生

編 集 部 美術手帖 911

惜別 画廊主 佐谷
和彦さん

田中 三蔵 朝日夕刊 8.22

澤俊一とその業績に
ついて

吉井 秀夫 高麗美術
館研究紀
要 6

顔 「ルノワールと
梅原龍三郎」展を監
修した梅原のひ孫
嶋田華子さん

高野 清見 読 売 8.15

特集 アートの「価
値」の新しい活用術
いま、アートを買う
ということ。 Chap-
ter 2 企業・自治体
で活かす 清水敏男
インタビュー 企業
・自治体が「アート
を買う」ということ
パブリック・アートの
現在

白坂 ゆり
聞き手 美術手帖 905

在留邦人救った首飾
コレクション ロシ
アから里帰り公開中
[首飾定]

菅野みゆき 朝 日 1.16

時代を駆け抜けた二
人 白洲次郎と白洲
正子展 美と探究め
た個性 洗練された
質朴

青柳 恵介 読売夕刊 9.6

鈴木進先生追悼—グ
ローバルな視点で日
本美術を国内外に紹
介、美術界の発展に
尽くされた

岡部 昌幸 ジャポニ
スム研究 28

追悼—鈴木進さんの
思い出—苦勞いとわ
ず、静かに真摯に仕
事をされた

井関 正昭 新美術新
聞 1160

カル業師 文化財修
理技師 惣司富士夫
さん 神経が研ぎ澄
まされる思い

磯村健太郎 朝日夕刊 2.4

(タ行)

交遊抄 美術の「指
南役」[高橋信也]

高木 哲実 日 経 8.13

特集01 アートの
理由 インタビュー
&エッセー 高橋龍
太郎 アートは人生
を豊かにしますか?

アート・
ト ッ プ 224

SPECIAL FEATURE
日本のアーティスト
・序論 高橋龍太郎
インタビュー ネオ
テニー(幼形成熟)?
—90年代以降の日本
のアート

藤田 千彩
インタビュー 美術手帖 909

田中丸善八と九州の
古陶磁

久保山 炎 陶 説 666

新美術時評 コレク
ター田邊哲人氏の
“積極公開”

外館 和子 新美術新
聞 1157

特集 アートの「価
値」の新しい活用術
いま、アートを買う
ということ。 Chap-
ter 1 個人で買う
コレクター訪問 都
築多佳恵さん

橋本 誠 美術手帖 905

東野芳明的評伝28、
29

米倉 守 美術の窓 293、294

好きなもの

礪波 護 毎 日 11.2

(ナ行)

特集 アートの「価
値」の新しい活用術
いま、アートを買う
ということ。 Chap-
ter 1 個人で買う
コレクター訪問 マ
イケル・キムさん&
中尾なぎささん

編 集 部 美術手帖 905

人生の贈りもの 古
美術鑑定家中島誠之
助1〜6

平出 義明
聞き手 朝日夕刊 8.15、18
〜22

あの人に迫る 豊か
になるほど偽物は出
てくる 中島誠之助
古美術鑑定家

黒谷 正人
聞き手 東京夕刊 10.3

テークオフ 陶磁研究家 中島由美さん
伝統のやきもの、よさを伝えたい
秋山 亮太 朝日夕刊 9.27

中野美術史学とはなにかー中野玄三著
『続々日本仏教美術史研究』刊行によせてー
加須屋 誠 鴨東通信 71

追悼一つややかな西の光ー中山公男
木島 俊介 美術の窓 295

書の見方 著者名児耶明さん ついに奥義を公に
桐山 正寿 毎日 2.17

文化往来 宮大工棟梁西岡常一の工法・知見を再評価
日 経 9.23

特集 アートの「価値」の新しい活用術いま、アートを買うということ。Chapter 1 個人で買うコレクター訪問 野尻佳孝さん
吉井 仁実 美術手帖 905

この人 若者が無料で展示できるアートギャラリーを開設した 野村訓さん
井上康太郎 東京 8.25

(ハ行)

交遊抄 生涯の宝もの
芳賀 徹 日 経 3.15

人らんだむ 「没後80年 佐伯祐三展」を企画した 長谷川徳七氏
新美術新聞 1145

美の美 早すぎた慧眼ー林忠正 上、中、下
小川 敦生 日 経 11.2、9、16

特集01 アートの理由 インタビュー&エッセー 針生一郎 アートは戦争を止められるのですか？
アート・トップ 224

土曜訪問 放置された戦後の出発点検証作品集『戦争と美術』を共同編集 針生一郎さん(美術評論家)
森村 陽子 東京夕刊 3.15

交遊抄 伝説の対談[針生一郎]
菊畑茂久馬 日 経 2.18

この人この本 『柳宗悦と朝鮮 自由と芸術への献身』美術史研究家 韓永大さん
紙山 直泰 東京 11.9

ひと 「仏像ナビゲーター」として活躍する 廣瀬郁実さん
木下 武 毎日 12.21

わが道わが友 資生堂名誉会長 福原義春氏 1〜5
産 経 4.29〜5.3

ラウンジ 福原義春さん 文化への情熱海を越え
佐藤 憲一 読 売 7.5

東京の文化発信を考える 銀座混在が生む人間味
前田 恭二 文福原談 " 10.12

福本和夫の北斎研究の原点 旧蔵本を発見 随所に筆の跡
宮川 匡司 日経夕刊 6.9

研究ノート 藤岡作太郎の美術研究活動ー明治三十五年、横須賀、亜欧堂田善一
村角 紀子 MUSEUM 615

顔 定年後に美術検定1級に合格、美術ガイドとして活躍する 文屋信男さん
上原 三和 読 売 9.6

ジブリ新社長に星野康二氏 鈴木敏夫氏はプロデューサー専念
岸 桂子 毎日夕刊 2.20

自著を語る 『古代インド文明の謎』堀咲さん(古代オリエンタ博物館研究員)
東京夕刊 3.27

(マ行)

真下美佐男版画コレクションの特色とその意義
橋 秀文 神奈川県立近代美術館年報 2006年度

資料二 鏡泉洞文庫蔵鈍翁益田孝書簡
嶋田 早苗 茶の湯文化 15

街の匠 「アート」掲げる4代目 表具師松苗功さん
奥野 賢二 東京 7.29

雅俗山荘来簡集(第七回)松永安左衛門
肥田 皓三 池田文庫 32

共著『失われた弥勒の手』刊行した松本猛さんと菊池恩恵さん 安曇族通し古代史を読み替え 対話でふくらんだ物語
重里 徹也 毎日夕刊 6.17

ひと 奄美大島で画家田中一村の記念美術館長を務める 宮崎緑さん
斎藤 徹 朝 日 7.22

土曜訪問 パーミヤン復興支援を訴える宮治昭さん(静岡県立美術館長)
関口 威人 東京夕刊 4.19

交遊抄 経営と美術品[村内道昌]
井出洋一郎 日 経 12.23

この人 古代中国の副葬品収集を愛知県の資料館に寄贈した茂木計一郎さん
関口 威人 東京 6.11

文化往来 鷗外記念室、老朽化で無念の休館[森鷗外]	日	経	4.8	本の現場 山本勉さん どんない像にも発見がある 着物や色に隠された文化とは	岸	桂子	毎日夕刊	5.9
著者に聞きたい 人生経験重ね理解深まる『ブリューゲル探訪』森洋子さん	黒沢 綾子	産	経	4.6	AT Times Art and Person アートを味わう アートソムリエ・山本冬彦さん	(玉)	アート・トップ	223
名古屋市博物館開館三十周年記念特別展「茶人のまなざし 森川如春庵の世界」展より	小川 幹生	陶	説	660	美術品を鑑定する一横井彬氏(東京美術倶楽部鑑定委員)に聞く一	山本ゆかり	国華清話会会報	11
三井記念美術館 特別展「茶人のまなざし 森川如春庵の世界」展によせて	赤沼 多佳	〃		667	美術品を鑑定する一横井彬氏(東京美術倶楽部鑑定委員)に聞く(承前)一	〃	〃	12
特集 如春庵伝説 益田鈍翁が愛した中京の麒麟児	小川 幹生	目 の 眼		379	「学鑑」を読む(193) 一吉川逸治	紅野 敏郎	学 鑑	105-1
(ヤ行)				追悼 米倉守氏 日本の美術を語る多彩なまなざし			新美術新聞	1147
彫刻と野外彫刻と柳生不二雄	藤嶋 俊會	屋外彫刻調査保存研究会会報	4	松本市美術館長米倉守さんの死を悼む	菅谷 昭			
野外彫刻調査保存研究会の歩みと柳生不二雄	黒川 弘毅、田中 修二 編	〃	〃	一ヨネさん追悼一 壮士一たび去って復還らず	瀧 悌三			
岡崎コレクションと安原コレクションにみる我が国オリエンタール考古美術蒐集[安原真二郎]	四角 隆二	岡山市立オリエンタール美術館研究紀要	22	若い画家たちにとっても慕われたダンディーな米倉さん	長谷川智恵子			
柳さんと母と私[柳孝]	牧山 桂子	芸術新潮	698	追悼 心から美術を愛した人生 米倉守	小森佳代子	美術の窓		295
言説としての「朝鮮芸術」—柳宗悦の場合—	李 仁範 喜多恵美子 訳	カリスタ	15	芸苑雑事記185 米倉守覚え書き	瀧 悌三	〃		296
柳宗悦と東北—昭和九年〜昭和十五年—	小井川百合子	仙台市博物館調査研究報告	28	(ワ行)				
柳宗悦の民芸生産論における(矛盾)の構造—一九二〇年代を中心にして—	入江 繁樹	美 学	233	この人 京都国立博物館職員で「国宝大絵巻展」を監修 若杉準治さん	井口 幸久	東 京		3.27
美術との出会い演出学芸員 八巻香澄さん	戸丸由紀子	読 売	11.21	海 外				
この人 オークションハウスに勤め運慶作品競売にかかわった 山口桂さん	小林 義久	東 京	5.9	顔「ウルビーノのヴィーナス」展で来日したイタリア側責任者 クリステイーナ・アチディーニさん	高野 清見	読 売		4.2
特集01 アートの理由 インタビュー&エッセー 山下裕二 アートは誰のためのものですか?		アート・トップ	224	特集 アートの「価値」の新しい活用術 いま、アートを買い取ること。 Chapter 2 企業・自治体で活かす UBSコレクション	ペトラ・アレックス 編集部 構成	美術手帖		905
				この人 戦前の朝鮮を愛した日本人兄弟の研究で博士号を受けた韓国人研究者 李尚珍さん	豊田 正彦	東 京		3.28

人間発見 よみがえれ 美しき日本1〜5 東洋文化研究者 ア レックス・カーさん	榎木 誠 聞き手	日経夕刊	10.6〜10	理想を求めて 芳崖 を見出したフェノロ サ[アーネスト・フ ェノロサ]	塩谷 純	太陽(別冊)	154
探究人 東京文化財 研究所客員研究員 マグディ・カ ril さん	坪谷 英紀	朝 日	8.25	観流 没後100年シ ンボ「門外漢」がフ ェノロサ語る	森本 俊司	朝 日	11.27
アートで生きる/ア ートとかかわる14 キム・ヒュンジン× 杉田敦	土谷真喜子 構成	美術手帖	916	フェノロサ追想 没 後100年1〜5	大村 治郎 渡 義人 森本 俊司	朝日夕刊	12.1〜5
特集 アートの「価 値」の新しい活用術 いま、アートを買 うということ。 Chap ter 1 個人で買う コレクター訪問 マ イケル・キムさん& 中尾なぎささん	編 集 部	"	905	フェノロサ没後100 年記念し学会が年次 大会	伊藤 一郎	毎日夕刊	11.27
INFORMATION PEOPLE カリスマ コレクターの言葉に 耳を傾けてみる 中 国アートの著名コレ クター、シグ氏が 初来日[ウリ・シッ グ]	石田留美子	"	908	超現実主義創始者の 詩人ブルトンの原稿 5億8500万円落札 [アンドレ・ブルト ン]		日経夕刊	5.22
視点 強烈な個性で 生きた富豪コレク ターの到達点[イザベ ラ・スチュワート・ ガードナー]	おかむら良	美術の窓	301	ひと 芸術教育を受 けていない人のア ートを発掘する リ ュシエンヌ・ペリー さん	荒 香帆里	朝 日	2.24
絵画は心の栄養剤 東京・麻布十番にギ ャラリー ドイツ人 製薬会社社長、ヘル マン・ストレンガー さん	洪沢 和彦	産 経	4.1	顔 コロー展を監修 したルーブル美術館 絵画部長 ヴァンサ ン・ボマレッドさん	高野 清見	読 売	6.20
若手紹介「国の義務」 仏ボンビドー・セン ター アラン・スバ ン総裁に聞く 改革 次々と	古賀 太	朝日夕刊	12.24	地中海の写楽 上 「埋もれていた収 集家マノス」 ア ジア美術館館長[グ レゴリオス・マノ ス]	前田 恭二	"	8.7
特集 高麗・李朝の 清流 鄭詔文 望郷 のコレクション 鄭 詔文のまなざしー朝 鮮文化への想い	李 須恵	目の眼	386	ドキュメント挑戦 交流 150年日仏新 時代 ネオ・ジャポ ニスム2 「日本学」 に没頭 普及へ橋渡 し役[クリストフ・ マルケ]	藤巻 秀樹	日経夕刊	8.26
人・模・様 欧州画 廊協会会長がエール [ミシェル・ドーベ ルビル]	篠田 航一	毎日夕刊	2.18	現代中国巧芸事情24 楊仁愷と『清明上 河図』	仲 佑樹	書 道 界	223
論文 日本美術研究 家ジョルジュ・ド・ トレッサンについて	南 明日香	ジャポニ スム研究	28	シャーマン・リー先 生の思い出	田島 充	陶 説	668
ひと 「巨匠ピカソ 展」を企画したパリ 国立ピカソ美術館長 アンヌ・バルダサリ さん	大西 若人	朝 日	11.22	こころの玉手箱 ロ ックフェラー家3代 目当主 デビッド・ ロックフェラー	デビッド・ ロックフェ ラー	日経夕刊	
				1 ユニコーンの タペストリー[ジ ョン・デイヴィソ ン・ロックフェ ラー]			1.7
				2 磁器製の猫			1.8
				4 母がくれた浮 世絵			1.10

書 評

和 書

『アーティストは境界線上で踊る』斎藤環著		美術の窓	296	
『AVANTGARDE Vol. 5』インテラート編集部	(茂)	毎 日	4.27	
『Out of the Fame—アルメニア共和国の建築と風土—』篠野志郎著	深見奈緒子	建築史学	50	
『アウトサイダー・アートの世界—東と西のオール・ブリュット—』はたよしこ編著	柳下毅一郎	ART iT	19	
〃	栗田 大輔	美術手帖	905	
『アキッレ・カステイリオーニ 自由の探求としてのデザイン』多木陽介著	深澤 直人	A X I S	131	
〃	藤崎圭一郎	STUDIO VOICE	387	
『あそぶ、つくる、くらす デザイナーを辞めて彫刻家になった』五十嵐威暢著	永井 一正	A X I S	133	
『イギリス炭鉱写真絵はがき』乾由紀子著		日 経	2.17	
〃	田中 純	読 売	3.2	
『磯崎新の「都庁」戦後日本最大のコンベ』平松剛著	橋爪 紳也	朝 日	6.22	
〃	初田 亨	産 経	7.20	
〃	飯島 洋一	日 経	7.20	
『イタリア現代思想への招待』岡田温司著	宇波 彰	東 京	7.13	
『井戸茶碗の謎』申翰均著	砂澤 祐子	〃	4.20	
『刺青とヌードの美術史 江戸から近代へ』宮下規久朗著		芸術新潮	702	
〃		美術の窓	298	
〃	山下 裕二	日 経	5.11	
〃	(前)	読 売	6.8	
『岩佐又兵衛 浮世絵をつくった男の謎』辻惟雄著	石上 英一	朝 日	6.15	
〃	黒澤 綾子	産 経	7.7	
〃	宮下規久朗	日 経	6.8	
〃	松山 巖	読 売	〃	

『院政期の内裏・大内裏と院御所』高橋昌明編	桃崎有一郎	古文書研究	65	
『植田正治 小さい伝記』植田正治著	(前)	読 売	1.20	
『ヴォーリス建築の100年』山形政昭監修	西澤 泰彦	建築史学	51	
『浮世絵』大久保純一著	渡辺 保	毎 日	12.28	
『英国の建築保存と都市再生 歴史を活かしたまちづくりの歩み』大橋竜太著	窪田 亜矢	建築史学	50	
『江戸とロンドン』近藤和彦・伊藤毅編	中込さやか	史学雑誌	117-8	
『江戸の大普請 徳川都市計画の詩学』タイモン・スクリーチ著、森下正昭訳		産 経	1.13	
〃	田中 優子	毎 日	2.10	
〃	本村 凌二	読 売	〃	
『江戸俳画紀行 蕪村の花見、一茶の正月』磯部勝著	藤田 一人	産 経	3.9	
『黄檗禅林の絵画』錦織亮介著	大槻 幹郎	日本歴史	720	
『大型美術館はどこへ向かうのか? サバイバルへの新たな戦略』森美術館編		美術の窓	297	
『大竹伸朗 全景1955—2006』大竹伸朗全景展実行委員会発行	栗田 大輔	美術手帖	905	
『大橋巨泉の超シロウトの美術鑑賞ノート』大橋巨泉著	油井 雅和	毎 日	5.18	
『可笑しな家 世界中の奇妙な家・ふしぎな家60軒』黒崎敏・ピーチテラス編著	編 集 部	美術の窓	303	
『岡本太郎と太陽の塔』平野暁臣編著	(清)	読 売	6.8	
『オリエンタリストの憂鬱 植民地時代のフランス東洋学者とアンコール遺跡の考古学』藤原貞朗著		日 経	12.14	
『女乗物—その発生経緯と装飾性』日高真吾著	岩井 宏實	民博通信	123	
『絵画行為論 浮世絵のプラグマティクス』岸文和著	小池満紀子	浮世絵芸術	156	
『絵画の制作学』藤枝晃雄・谷川渥・小澤基弘編	中島 水緒	美術手帖	904	

『過激な陰通 高島野十郎評伝』川崎淡著	由里 幸子 朝 日	10.26	『熙代勝覧の日本橋活気にあふれた江戸の町』小澤弘・小林忠著	松井るり子 東京夕刊	2.26
〃	松山 巖 読 売	〃	『逆風野郎! ダイソン成功物語』ジェームズ・ダイソン著	和田 義行 A X I S	132
『陰里鉄郎著作集』陰里鉄郎著	北澤 憲昭 美術の窓	295	『近代建築史』鈴木博之編著、五十嵐太郎・横手義洋著	日 経	11.30
『金沢文庫の浮世絵』神奈川県立金沢文庫編	井上 隆男 地方史研究	333	『近代日本の植民地展覧会』山路勝彦著	〃	2.24
『金子國義の世界』金子國義著	(保) 毎 日	11.23	『熊野比丘尼を絵解く』根井浄・山本殖生編著	時枝 務 日本歴史	725
『狩野光信の時代』黒田泰三著	大倉 隆二 デアルテ	24	『グレイト・ウェイヴ 日本とアメリカの求めたもの』クリストファー・ペンフイー著、大橋悦子訳	芳賀 徹 日 経	1.13
『画文共鳴 『みだれ髪』から『月に吠える』へ』木股知史著	井上 章一 毎 日	2.17	『芸術家とデザイナー』ブルーノ・ムナリー著、萱野有美訳	深澤 直人 A X I S	134
『カラヴァッジョへの旅 天才画家の光と闇』宮下規久朗著	井熊 勇介 美 の 縁	20	『芸術新潮(2月号)』芸術新潮編集部[源氏物語千年紀記念特集]	(茂) 毎 日	2.17
『体の中の美術館』布施英利著	日 経	7.20	『芸術崇拜の思想—政教分離とヨーロッパの新しい神』松宮秀治著	柄谷 行人 朝 日	12.7
『「かわいい」論』四方田犬彦著	佐藤オオキ A X I S	135	〃	高山 宏 日 経	11.23
『瓦が語るかながわの古代寺院』神奈川県立歴史博物館編	井上 隆男 地方史研究	333	〃	三浦 雅士 毎 日	12.21
『関西モダニズム再考』竹村民郎・鈴木貞美編	橋爪 紳也 朝 日	3.23	『ゲルニカ ピカソが描いた不安と平穏』宮下誠著	井上 章一 日経夕刊	2.6
〃	生田 誠 産 経	4.10	『現代アートバブルいま、何が起きているのか』吉井仁実著	草薙麻友子 産 経	10.11
『農作王ダリ シュールでスキャンダラスな天才画家の真実』スタン・ラウリセン著、楡井浩一訳	日 経	10.19	『現代アートビジネス』小山登美夫著	〃	6.29
『元祖! 日本のマナーボスター』河北秀也著	編 集 部 美術の窓	302	〃	日 経	5.11
『消えたカラヴァッジョ』ジョナサン・ハー著、田中靖訳	仁田三紀夫 産 経	1.28	『現代産業に生きる技「型」と創造のダイナミズム』十名直喜著	中沢 孝夫 東 京	6.8
〃	黒沢 綾子 〃	2.10	『現代美術史日本篇』中ザワヒデキ著	中島 水緒 美術手帖	906
〃	新保 博久 日 経	2.3	『建築家 安藤忠雄』安藤忠雄著	〃 芸術新潮	708
『傷ついた画布の物語 戦没画学生20の肖像』窪島誠一郎著	多賀 幹子 朝 日	10.26	〃	大久保信久 産 経	11.1
『奇想の江戸挿絵』辻惟雄著	藤田 一人 産 経	6.8	〃	竹村公太郎 〃	12.8
〃	田中 優子 毎 日	5.18	『建築学入門シリーズ 西洋建築史』谷口汎邦監修、吉田鋼市著	横手 義洋 建築史学	50
〃	松山 巖 読 売	6.8			
『綺想の表象学 エンブレムへの招待』伊藤博明著	田中 純 〃	1.6			
『綺想迷画大全』中野美代子著	唐沢 俊一 朝 日	1.27			

『建築の出自—長谷川堯建築家論考集』長谷川堯著	中川	理	〃	51	『狩猟と編み籠 対称性人類学II(芸術人類学叢書)』中沢新一著		日	経	6.15	
『建築の多感—長谷川堯建築家論考集』長谷川堯著	〃	〃	〃	〃	『正倉院 歴史と宝物』杉本一樹著	磯田 道史	読	売	11.30	
『広開土王碑との対話』武田幸男著	橋本	繁	史学雑誌	117-7	『肖像のエニグマ 新たなイメージ論に向けて』岡田温司著	小林 康夫	日	経	8.17	
『行動する眼 ギャラリーMMGの軌跡』益田祐作著			芸術新潮	703	『書簡に託した『染木煦のミクロネシア紀行』』染木煦著	(前)	読	売	6.15	
『五山と中世の社会』竹田和夫著	斎藤	夏来	史学雑誌	117-7	『織豊期の茶会と政治』竹本千鶴著	堀本 一繁	史学雑誌	117-8		
『五寸四方の文学世界—重要文化財「称名寺聖教」唱導資料目録—』神奈川県立金沢文庫編	井上	隆男	地方史研究	335	『白洲次郎と白洲正子 乱世に生きた二人』牧山桂子・青柳恵介・須藤孝光著	(M)	読	売	9.14	
『古代日本の都城と木簡』寺崎保広著	森	公章	日本史研究	553	『知られざる魯山人』山田和著	森 孝一	陶	説	660	
『この写真がすごい2008』大竹昭子編著	(根)	アート・トップ		223	『史料で読むアメリカ文化史』(全五巻)亀井俊介・鈴木健次監修	橋川 健竜	史学雑誌	117-3		
〃	谷中	弘文	STUDIO VOICE	394	『白』原研哉著	臼田 捷治	書道界	225		
〃	春日	武彦	読	売	7.20	港 千尋	東京	6.29		
『小林清親展 江戸から東京へ』酒井忠康監修、佐藤道信・山梨絵美子編	栗原	智久	〃	7.25	『Think globally, act locally. Think locally, act globally 世界視野で考えてローカルに行動する。ローカルで考えて世界を相手に行動する』宮瀬浩一著・編集、内山隆太郎翻訳	渡部 千春	STUDIO VOICE	393		
『怖い絵』中野京子著	小柳	学	朝	日	10.12					
〃	黒沢	綾子	産	経	1.28	『真像残像 ぼくの写真人生』田沼武能著	(崎)	読	売	3.9
『錯視芸術の巨匠たち 世界のだまし絵作家 20人の傑作集』アル・ケッセル著、坂根巖夫訳			美術の窓	299	『新・装幀談義』菊池信義著		日	経	3.23	
『佐藤忠良 彫刻七十年の仕事』佐藤忠良著	星野	清一	新美術新聞	1151	『新・都市論 TOKYO』隈研吾・清野由美著	橋爪 紳也	朝	日	2.24	
『重森三玲 モダン枯山水』重森紘氏著	編集	部	美術の窓	293	『図説 アール・ヌーヴォー建築』橋本文隆著		産	経	2.18	
『時代きもの 江戸・明治・大正・昭和の裾模様』弓岡勝美著、河村まち子監修	村山	由佳	朝	日	2.17	『図説「見立」と「やつし」 日本文化の表現技法』国文学研究資料館編	江本 裕	国文学解釈と鑑賞	930	
『実業美術館』山下裕二著	黒沢	綾子	産	経	1.6	〃		毎	日	6.8
『シトー会建築のプロポジション』西田雅嗣著	佐藤	達生	建築史学	50	〃	前田 恭二	読	売	4.17	
『写真屋・寺山修司 摩訶不思議なファインダー』田中未知編	サエキけんぞう	朝	日	12.21	『洲之内徹が盗んでも自分のものにしたかった絵』洲之内徹著	北澤 憲昭	朝	日	7.13	
『出土部材が解く古代建築 日本の美術四九〇号』宮本長二郎著	海野	聡	建築史学	50	『聖母像の到来』若桑みどり著	石上 英一	〃		11.30	

平成20年定期刊行物所載文献(他／書評)

『聖母像の到来』若桑 みどり著	岡田 温司	日 経	11.2	『総覧 縄文土器』小 林達雄編	日 経	11.17
"	田中 純	読 売	"	『続 仏像のひみつ』 山本勉著	読売夕刊	5.17
『西洋絵画の到来 日本人を魅了したモ ネ、ルノワール、セ ザンヌなど』宮崎克 己著	村田 真	産 経	1.13	『その絵、いくら？ 現代アートの相場が わかる』小山登美夫 著	芸術新潮	706
『西洋建築史』吉田鋼 市著、谷口汎邦監修	横手 義洋	建築史学	50	『存在追憶 限りなき 時の中に』高山辰 雄著	新美術新聞	1146
『西洋陶磁入門 カ ラー版』大平雅巳著	海部 宣男	毎 日	4.20	『楽しい絵文様の伊 万里やき 彫刻家前 島秀章コレクション』 前島秀章・小本一良 著	小野 公久 陶 説	665
『世界から見た日本 文化—多文化共生社 会の構築のために—』 神奈川大学人文学研 究所編	駒走 昭二	人文学研 究所報	41	『たばこパッケージ クロニクル ポケッ トの中の“アート”と 戦後日本の軌跡』た ばこと塩の博物館監 修	サエキけん ぞう 朝 日	11.23
『世界の現代建築』ロ ブ・クレゴリー著、 小林克弘監修、杉山 まどか訳	村山 由佳	朝 日	10.19	『旅する根付 高円 宮妃現代根付コレク ション』高円宮妃久 子著	日 経	10.19
『雪舟の山水長巻 風景絵巻の世界で遊 ぼう』島尾新著	松井るり子	東京夕刊	2.25	『旅の仲間 澁澤龍 彦・堀内誠一往復書 簡集』巖谷國士編	堀江 敏幸 毎 日	7.6
『GELATIN SILVER SESSION 21世紀の 銀塩写真』ゼラチン シルバーセッション 委員会著	編 集 部	STUDIO VOICE	391	『男爵の愛した翼た ち』東京文化財研究 所監修	(清) 読 売	11.16
『全国地域博物館図 録総覧』地方史研究 協議会編	行吉 正一	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン通信	78	『ダンシング・ヴァ ニティ』筒井康隆著	(写楽) 東京夕刊	3.12
『戦争と美術 1937 —1945』針生一郎・ 榎木野衣・蔵屋美香 ・河田明久・平瀬礼 太・大谷省吾編著		芸術新潮	699	『中国の近代美術と 日本 20世紀日中関 係の一断面』陸偉榮 著	瀧本 弘之 アジア遊 学	108
"	栗田 大輔	美術手帖	905	『中国ポスター Chi nese Posters』秋山孝 著	北澤 憲昭 朝 日	12.7
"		美術の窓	294	『〈使い勝手〉のデザ イン学』ヘンリー・ ペトロスキー著、忠 平美幸訳	柏木 博 東 京	7.20
"	北澤 憲昭	朝 日	4.6	"	" 日 経	7.27
"	生田 誠	産 経	2.7	『つくる・見る・学 ぶ 美術のきほん』 京都市立芸術大学美 術教育研究会、日本 文教出版編集部編	編 集 部 美術の窓	300
"		東 京	2.17	『帝国復興と生活空 間 関東大震災後の 市街地形成の論理』 田中傑著	大矢根 淳 日本歴史	717
"	白木 緑 郷原 信之	日経夕刊	1.28	『デザインのアート ロジー—倫理学と美 学の交響』山田忠彰 ・小田部胤久編	河合 大介 美 学	233
"	栗原 俊雄	毎日夕刊	3.24			
"	佐藤 卓己	読 売	2.10			
『仙台市史 特別編 7 城館』仙台史編 さん委員会編	松岡 進	日本歴史	722			
『創作版画誌の系譜 総目次及び作品図版 1905—1944』加治幸 子編著	古賀 太	朝日夕刊	5.24			
『装丁家で探す本 古書目録にみた装丁 家たち』かわじもと たか著	大江長二郎	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン通信	77			

『手塚治虫 アーティストになるな』竹内オサム著	長谷 邦夫	東京	9.21	『パウル・クレーとシュルレアリスム』塚原 史	国学院雑誌	1220
〃	最相 葉月	日 経	10.5	『ハギア・ソフィア 大聖堂学術調査報告書』日高健一郎・佐藤達生編	伊藤 重剛	建築史学 50
『伝統工法で茅葺き小屋を建ててみた』木の家は三百年』実践記』原田紀子著	合田 月美	毎日	11.17	『白隠禅師の不思議な世界』芳澤勝弘著	臼田 捷治	書道界 229
『天童木工』菅澤光政著	大城 譲司	STUDIO VOICE	390	『爆笑問題のニッポンの教養 異形のモノに美は宿る 日本美術史』太田光・田中裕二・辻惟雄著	中島 水緒	美術手帖 906
『独楽庵物語 利休ゆかりの茶室』檜崎櫻舟著	中島誠之助	産 経	1.12	『博物館の仕事』8人の学芸員著	鎮目 良文	地方史研究 335
『都市の空間史』伊藤毅著	藤田 裕嗣	建築史学	50	『博物館の歴史』高橋雄造著	樺山 紘一	日 経 6.15
『独歩青天』入江観著	ワシオトシヒコ	新美術新聞	1162	〃	米本 昌平	読 売 7.20
『ナガオカケンメイのやりかた』ナガオカケンメイ著	深澤 直人	A X I S	133	『八大伝の世界』千葉市美術館編	井上 隆男	地方史研究 336
『斜めにのびる建築 クロード・バランの建築原理』クロード・バラン著、戸田穰訳	橋爪 紳也	朝 日	11.16	『反逆する美学 アヴァンギャルド芸術論』塚原史著		日 経 9.7
『20世紀の日本美術 同化と差異の軌跡』ミカエル・リュケン著、南明日香訳	椎原 伸博	美 学	233	『ピエール・パルブトー 知られざるオリエンタリスト』高山晶著	恵光院 白	アート・ドキュメンテーション通信 79
『日本古代金石文の研究』東野治之著	高島 英之	古文書研究	65	『光の教会 安藤忠雄の現場』平松剛著	高橋 亨 早瀬 圭一	毎 日 7.2
『日本植民地建築論』西澤泰彦著	橋爪 紳也	朝 日	5.11	『彦坂尚嘉のエクリチュール—日本現代美術家の思考—』彦坂尚嘉著	白川 昌生	あいだ 151
『日本中世の仏師と社会—運慶と慶派・七条仏師を中心に—』根立研介著	津田 徹英	美術研究	393	『土方異 絶後の身体』稲田奈緒美著		日 経 4.6
『日本の国宝、最初はこんな色だった』小林泰三著		芸術新潮	708	『美術家書誌の書誌 雪舟から東芋、ヴァン・エイクからイ・ブルまで』中島理壽編	水谷 長志	アート・ドキュメンテーション通信 77
『「日本の住宅」という実験 風土をデザインした藤井厚二』小泉和子著	池内 紀	毎 日	12.7	〃	橘川 英規	jaic 会報 12
『日本美術史』佐藤康宏著	五味 文彦	〃	9.21	〃		新美術新聞 1149
『日本ホーロー看板 広告大図鑑 サミゾチカラ・コレクションの世界』佐溝力・平松弘孝編		芸術新潮	705	『美術・記憶・生』白川昌生著	山梨 俊夫	水声通信 24
〃	北澤 憲昭	朝 日	8.3	『美術手帖(特集 あらうんど THE 会田誠 創刊60周年リニューアル新装刊第一弾!)]』5月号		日 経 5.4
『人間は瞬間瞬間に、いのちを捨てるために生きている。』岡本太郎著	山下 裕二	産 経	1.20	『美術手帖 創刊60年記念特大号』12月号	岸 桂子	毎日夕刊 12.9
『盗まれたフェルメール』朽木ゆり子著	黒沢 綾子	〃	2.10	〃		読 売 12.4

平成20年定期刊行物所載文献(他／書評)

『美の獵犬 安宅コレクション余聞』伊藤郁太郎著		芸術新潮	697		〃	田中	純	読	売	9.28
『広重と浮世絵風景画』大久保純一著	伊藤 紫織	歴博	148		『文明開化の錦絵新聞—東京日々新聞・郵便報知新聞全作品』千葉市美術館編	(前)		〃		2.3
『広重 名所江戸百景—秘蔵 岩崎コレクション』浅野秀剛著・監修、藤澤紫著	稲垣 進一	浮世絵芸術	155		『平安京の住まい』西山良平・藤田勝也編著	京楽真帆子		日本史研究		545
『Fun Palace no. 1』タカ・イシイギャラリー編	中島 水緒	美術手帖	904		『壁画洞窟の音』土取利行著	田中	純	読	売	10.5
『フィールド・キャラバン計画へ 白川昌生2000—2007』松浦寿夫・北澤憲昭・稲賀繁美・福住廉・真武真喜子・花田伸一・染谷滋・白川昌生著	山梨 俊夫	水声通信	24		『ポール・セザンヌ《サント・ヴィクトワール山》』ゴットフリート・ベーム著、岩城見一・實淵洋次訳	永井 隆則	美	学		233
『風景学 風景と景觀をめぐる歴史と現在』中川理著	松原隆一郎	毎日	8.24		『ポール・ランド、デザインの授業』マイケル・クロウガー著	蜂賀 亨		STUDIO VOICE		395
『フェルメール 謎めいた生涯と全作品』小林頼子著	(清)	読売	10.12		『星空の牡丹 山本丘人をめぐる随想』有川文夫著	勝山 滋		新美術新聞		1154
『フェルメール全点踏破の旅』朽木ゆり子著	瀧井 朝世	朝日	9.7		『ボンベイの歴史と社会(世界の考古学13)』ロジャー・リング著、堀賀貴訳	佐野 光宣		古代文化		571
『フォト・リテラシー 報道写真と読む倫理』今橋映子著	笠原美智子	東京	7.27		『町屋と町並み 日本史リブレット35』伊藤綬著	登谷 伸宏		建築史学		50
『福岡市美術館叢書4 吉田博資料集明治洋画新資料』安永幸一編	植野 健造	デアアルテ	24		『祭のしつらい 町屋とまち並』岩間香・西岡陽子編	岸 泰子		〃		51
『福本和夫著作集第五卷 葛飾北斎論』福本和夫著	諏訪 春雄	東京	4.6		『漫画ノート』いしかわじゅん著	苅部 直	朝	日		4.13
『藤田嗣治 作品をひらく 旅・手仕事・日本』林洋子著	芳賀 徹	瓜生通信	44		〃	長谷 邦夫	東京			2.24
〃	稲賀 繁美	日経	6.15		『満身これ学究 古筆学の創始者、小松茂美の闊い』吉村克己著			日経		12.7
〃	御厨 貴	読売	6.29		『マン・レイ自伝セルフ・ポートレート』マン・レイ著、千葉成夫訳	中条 省平	産	経		1.6
『フランク・ロイド・ライト 建築は自然への捧げ物』大久保美春著		日経	10.19		〃	鹿島 茂	毎日			3.16
『フリードリヒ 崇高のアリア』新保祐司著	高階 秀爾	産経	5.19		『三鷹天命反転住宅ヘレン・ケラーのために 荒川修作+マドリン・ギンズの死に抗する建築』荒川修作、マドリン・ギンズ著	(清)		読売		5.25
〃	高橋 英夫	東京	5.18		『密教空間史論』富島義幸著	松本 郁代		日本歴史		720
『ブリュッゲル探訪 民衆文化のエネ르기』森洋子著		芸術新潮	701		『宮大工 西岡常一の遺言』山崎佑次著	鈴木 喜一	東京			4.13
〃	井上 章一	日経夕刊	3.19							
『フロイトのイタリア 旅・芸術・精神分析』岡田温司著	丸谷 才一	毎日	8.10							

- 『MUSIC & DESIGN
ポストCD時代のカ
ヴァー・アート』エ
イドリアン・ショー
ネシー著、喜代門竜
之介訳
江森 丈晃 STUDIO
VOICE 396
- 『未来のモノのデザ
イン ロボット時代
のデザイン原論』ド
ナルド・A・ノーマ
ン著、安村通見・岡
本明・伊賀聡一郎・
上野晶子訳
柏木 博 日 経 12.7
- 『明代中国の庭園文
化—みりの場所／
場所のみり』クレ
イグ・クルナス著、
中野美代子・中島健
訳
(律) 毎 日 11.2
- 『室町絵巻の魔力
再生と創造の中世』
高岸輝著
芸術新潮 707
- 〃 石上 英一 朝 日 10.12
- 『ムンクを追え!『叫
び』奪還に賭けたロ
ンドン警視庁美術特
捜班の100日』エドワ
ード・ドルニック著、
河野純治訳
黒沢 綾子 産 経 2.10
- 『名画の秘めごと
男と女の愛の美術史』
有地京子著
日 経 8.10
- 『明治初期の日本
ドイツ外交官アイゼ
ンデッヒャー公使の
写真帖より』ペータ
ー・パンツァー、ス
ヴェン・サーラ著
平野 達志 史学雑誌 117-8
- 『木喰 庶民信仰の
微笑仏』大久保憲次、
小島倅次監修
産 経 2.4
- 『モダニズムとデザ
イン戦略 イギリス
の広報政策』菅 靖子
赤井 敏夫 朝 日 4.27
- 『もっと知りたい
歌川広重 生涯と作
品』内藤正人著
小池満紀子 浮世絵芸
術 155
- 『物に執して』鈴木皓
詞著
森 孝一 陶 説 665
- 『森鷗外と日清・日
露戦争』末延芳晴著
加藤 陽子 日 経 9.14
- 『柳孝 骨董一代』青
柳恵介著
御厨 貴 読 売 4.6
- 『柳模様の世界史
大英帝国と中国の幻
影』東田雅博著
小笠原 周 産 経 7.5
- 『酔うて候—河鍋曉
斎と幕末明治の書画
会』成田山書道美術
館・財団法人河鍋曉
斎記念美術館編
北澤 憲昭 朝 日 3.9
- 『用の美 上 柳宗
悦コレクション—日
本の美』日本民芸館
監修
〃 (清) 読 売 7.27
- 『用の美 下 柳宗
悦コレクション—李
朝と中国、西洋の美』
日本民芸館監修
〃 (清) 読 売 7.27
- 『ヨーロッパの庭園
美の楽園をめぐる旅』
岩切正介著
小西 聖子 毎 日 4.20
- 『ヨーロッパの博物
館』カトリクス・バ
レ、ドミニク・ブー
ロ著、松本榮寿・小
浜清子訳
樺山 絃一 学 鑑 105-2
- 『装いのアーカイブ
ズ—ヨーロッパの宮
廷・騎士・農漁民・
祝祭・伝統衣装』平
井紀子著
富澤 洋子 アート・
ドキュメン
テーション通信 79
- 『ライバル日本美術
史』室伏哲郎著
大倉 宏 東 京 3.16
- 『楽園への道』マリ
オ・バルガス＝リョ
サ著、田村さと子訳
木村 榮一 〃 2.17
- 『リュック・タイマ
ンス シュヴァルツ
ハイドの向こう』菅
原教夫著
中島 水緒 美術手帖 906
- 『レイモン・サヴィ
ニャック自伝』橋本
順一訳
芸術新潮 697
- 『歴史がつくった偉
人たち 近代フラン
スとバンテオン』長
井伸仁著
平野 宗明 史学雑誌 117-8
- 『レンブラントのユ
ダヤ人 物語・形象
・魂』スティーブン
・ナドラー著、有木
宏二訳
芸術新潮 705
- 『レンブラント、フ
エルメールの時代の
女性たち 女性像か
ら読み解くオランダ
風俗画の魅力』尾崎
彰宏著
日 経 11.9
- 『60 VISION ロクマ
ルビジョン 企業の
原点を売って続けるブ
ランディング』ナガ
オカケンメイ著
柴牟田伸子 STUDIO
VOICE 394
- 『ロマネスクの宇宙
ジローナの《天地創
造の刺繍布》を読む』
金沢百枝著
芸術新潮 702

『若林奮 犬になった彫刻家』酒井忠康著 (愛犬家) 東京夕刊 3.14

" 田中 純 読 売 4.6

『わが歴史研究の七十年』三笠宮崇仁著 日 経 8.10

『和力 日本を象る』松田行正著 白田 捷治 書道界 223

" 高山 宏 日 経 3.30

『笑種似顔絵草紙』荻津白銀斎著 (前) 読 売 3.2

海外刊行書

Yuichiro Edagawa, JAPANESE IDENTITIES: ARCHITECTURE BETWEEN AESTHETICS AND NATURE, JOVIS, Germany, 2008 村田 雅裕 産 経 8.12

Roger Griffin, Modernism and Fascism: The sense of a Beginning under Mussolini and Hitler, Palgrave Macmillan, New York, 2007 石田 圭子 カリスタ 15

Mira Locher, Super Potato Design: The Complete Works of Takashi Sugimoto: Japan's Leading Interior Designer, Tuttle Publishing, North Clarendon, 2006 深澤 直人 A X I S 135

Kenji Ekuan, David B. Stewart, The Aesthetics of the Japanese Lunchbox, MIT Press, Cambridge, 2000 田中 一雄 A X I S 136

Thomas DaCosta Kaufmann, Toward a Geography of Art, University of Chicago Press, Chicago and London, 2004 小谷 訓子 西洋美術研究 14

時 評

前年度分

Art Top Critical Words アート・トッ プ

10・11月の展覧会から 間に生まれるもの[関西編] 平芳 幸浩 219

10・11月の展覧会から 絵画の空間、あるいは空間の絵画に[関東編] 野地耕一郎 "

11～2月の展覧会から 静かに、力強く[関東編] " 220

11～2月の展覧会から 未来に向かつて[関西編] 平芳 幸浩 "

1～3月の展覧会から 溶ける[関西編] " 221

1～3月の展覧会から 「二つのシンクロシティ」[関東編] 野地耕一郎 "

2007年回顧続報 学校との連携、効果的な広報鑑賞へと結びつく企画 池田 昌之 新美術新聞 1140

ダ・ヴィンチ「受胎告知」、モネ大回顧展とともに70万人を突破 " 1142

当年度分

Art Top Critical Words アート・トッ プ 222

4～5月の展覧会から これは「水墨画」ではない? [関東編] 野地耕一郎

4～5月の展覧会から 京都アートマップから[関西編] 平芳 幸治

AT Times Artwork Reviews 6・7月の展覧会から 名古屋 覚 " 223

AT Times Exhibition Reviews 8・9月の展覧会から 御殿谷教子 " 224

新春特集 2008年今年期待の若手アーティスト 44画廊のセレクション ギャラリー 273

新美術時評 2008年を「回顧」して 島尾 新 新美術新聞 1170

街角アート 街とアートプロジェクト 星野 清一 " "

2008年末回顧特集 「買う」から「観る」へ状況変遷の1年 国内アート市場の減退と大型企画展の興行化 " 1171

公募展 「上野」と「六本木」企画展含め2極化進む 林 紀一郎

展覧会：国内作品大量動員を前提とする大型展が本格化 宝木 範義

マーケット 米・中・日の切れないトリレンマ	瀬木 慎一	寡黙に過去を示す写真展	前田 恭二		
展覧会：海外作品経済成長の著しい新興国の現代美術にも注目	村田 真	潮流2008 文化回顧中国美術存在感増す市場失速でも躍進へ希望	菅原 教夫	"	12. 24
コンテンツ「市場主導」の歪みが露呈した1年	三田 晴夫	受賞・美術賞			
地域振興に現代アートが重要な役割	秋元 雅史	from the World 2つの建築賞に見るサスティナビリティ	浦田 薫	A X I S	134
現代美術に対する関心の広がりを実感	原 俊夫	国華賞 展覧会・カタログ部門賞を新設	河野 元昭	国華清話会会報	11
文化的財産をどのようにに次世代に手渡すか	馬場 駿吉	「文化庁メディア芸術祭」受賞作品発表07年度を代表するアート・エンタ・アニメ・マンガ作品		新美術新聞	1140
マーケットに始まり、マーケットに終わった1年	辛 美沙	第4回奈良県万葉日本画大賞展 作品募集要項決まる		"	1143
鮮烈な「場」の体験が忘れがたい光景を刻む	水沢 勉	「第11回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」受賞作決定		"	1144
多くのアートフェアで活性化したことは評価	長谷川祐子	第7回福知山市佐藤太清賞公募美術展 佐藤太清賞(日本画の部)白田誉主也「ネガイゴト」		"	1145
愛知・岐阜の諸個展	唐澤 昌宏 陶	平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞に森村泰昌、小川待子、福武總一郎、赤坂憲雄、木下直之の5氏文部科学大臣新人賞に塩田千春氏と池田修氏		"	1147
2008回顧 美術「リアルさ」再考する機運街に出てゆく現代美術展	大西 若人 朝	第16回 MOA 岡田茂吉賞決まる 絵画部門大賞に松本哲男氏、工芸部門大賞に増村紀一郎氏		"	"
回顧2008 美術 作品が町中に出る動き	小川 敦生 日	第27回損保ジャパン美術財団 選抜奨励展受賞者決まる		"	"
美術 大観、晁斎、魁夷の回顧展		春の叙勲、褒章決まる		"	1152
この1年		秋の叙勲、褒章決まる		"	1170
建築 進む都市開発の「プログラム化」「高密度」追求だけでは未来暗い	鈴木 博之	第20回国華賞に5氏決まる 相澤正彦、橋本慎司、日高薫、浅野秀剛、田辺昌子氏		"	"
マンガ 雑誌再編の中に活気も沈滞からの脱出を図り	村上 知彦	08年度日本芸術院新会員決まる		"	1171
美術 社会を直視した中堅作家が活躍 3回目の横浜トリエンナーレも定着	岸 桂子	INFORMATION AWARD ジーンズファクトリー・アート・アワード2008 高知で1週間、真夏のアートバトル!			
花盛り 街なか美術展	高野 清見 読	編集部 美術手帖			915
回顧2008アート					
現代美術「街」を刺激 大型展の東京一極集中加速	"				

芸苑雑事記191 第七回菅橋彦大賞展のこと	瀧	梯三	美術の窓	302	第3回へ動き出した、北京のアートフェア ART BEIJING 2008	"	276	
杜賞(杜賞選考委員講評)			杜	24	アートフェア東京 2008 101 TOKYO Contemporary Art Fair 2008	"	277	
卒業・修了の皆さんへ	河合	哲夫			海外オークション最新レビュー エスト・ウエストオークションズ	"	"	
学芸員は展示会場で何を見るか?	山村	仁志				"	"	
作品の「威力」	山本	さつき			特集 アートフェア・レポート香港 ART HK 08	"	279	
漫画家協会賞決まる		朝	日	5.10	京橋界隈アートフェスタ2008	"	"	
世界文化賞 人・文化・国つなぐ芸術名誉顧問ら20年の歴史を振り返る	村上	智博	産	経	10.17	アジア2008 秋のアートスケジュール 国際展&アートフェア【トップ・インタビュー】 激動期における老舗の伝統と挑戦 北京榮宝オークション	"	280
文化往来 京都画壇の活性化めざす日本画新人賞		日	経	3.17		"	282	
「APAアワード」今年も秀作そろふ「広告作品」「写真作品」両部門計13作品が入賞		毎	日	3.16	アジアのアートフェア・レポート Taipei Beijing Shanghai etc.	"	"	
伝統文化振興活動顕彰のティファニー財団賞創設		毎日夕刊		1.7	オークション記者会見 エスト・ウエスト・オークションズが中国の中華慈善総会と協力して、香港でオークションを開催	"	283	
美連協大賞は「田園讃歌」 埼玉県立近代美術館など巡回		読	売	4.30	アジアのアートフェア・レポート Seoul KIAF	"	"	
賞足らしめる公平審査 英国美術押し上げたターナー賞	前田	恭二	"	5.15	東京コンテンポラリーアートフェア2008 (TCAF2008) TCAF 2008の根底にあるもの	"	"	
西洋美術振興財団賞決まる		"		10.23	小特集 「見る」から「買う」へ アートフェア東京で起こっていること	芸術新潮	700	
美術市場					座談会 アートフェア東京という可能性 山本 豊津、浦上 満、小山登美夫、廣田登支彦談			
Art Scope アートフェア東京2008、4月開催			アート・トップ	220	アートと暮らす楽しみ コレクターのお宅拝見			
TOPIC 101 TOKYO Contemporary Art Fair 開催	(根)	"	"	"	運慶騒動ファイナル・レポート「海外流出寸前でした」	"	701	
アートオークション「ACTION/アクション」2008	仲山智恵音	瓜生通信		45				
Art Now in China 2007展で高らかに宣言された「上海モダン派」の誕生		ギャラリー		273				
PICK UP ART FAIR 東京コンテンポラリーアートフェア 2007 アンケート調査にみる現代の志向		"	"	"				
特集 国内オークションに見る現代美術の台頭...		"		274				

世界でたったの8点！ 田舎町に埋もれていた ファーターティマ朝の至宝細工	前橋 重二	"	708	Chapter 1 個人で 買う 新世代コレクターが現代アートの裾野を広げる	吉井 仁実		
美術記者こぼれ話 あるコレクターの表情	大西 若人	国華清話 会会報	12	Chapter 3 アートと 社会をつなげる アートは産業になり うるか アートフェア 東京に見るインフラ づくりの取り組み	辛 美沙 談		
現代中国巧芸事情19 陸儼少『杜甫詩意百 図』落札の顛末	仲 佑樹	書 道 界	218				
美術市場レーダー 188 コンテンポラ リー・アート元年と なるか	瀬木 慎一	新美術新 聞	1141	アートフェア東京 2008へ行こう!!	辛 美沙	"	906
「アートフェア東京 2008」概要発表され る		"	1144	WORLD NEWS 香 港 世界が注目した クリスティーズ香港 「アジア現代アート」 イブニングセール	編 集 部	"	911
美術市場レーダー 190 下降点の経済 と文化はどうなるか	瀬木 慎一	"	1147	INFORMATION PROGRAM 若手ア ーティスト育成とキ ャリア支援 三菱商 事アート・ゲート・ プログラム	"	"	916
新美術時評 「運慶」 の落札をめぐる	島尾 新	"	1149				
「アートフェア東京 2008」開催される		"	1151	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術		美術の窓	
美術市場レーダー 194 第2次美術 バブル進行中	瀬木 慎一	"	1159	日本のアートマー ケットに何が足り ないのか!?	辛 美沙		294
195 百貨店とオ ークションの曲が り角			1162	アートフェア東京 2008の開幕迫る			295
196 国際市場の なかのアジア			1165	トピックス 第8回 21世紀展落札速報	編 集 部	"	298
新美術時評 「美的 価値」と「経済的価 値」	島尾 新	"	1167	もっと知りたい！ 重文級美術品の競売 得失、広い視野で評 価必要	大西 若人 朝 日 滑川 照夫		3.19
美術市場レーダー 197 コンテンポ ラリー・アート急 成長の今後	瀬木 慎一	"	1168	真如苑が運慶仏落札 新宗教、美術に深い 関心	磯村健太郎	"	3.26
198 金融ハリケ ーン下の日本業界			1171	運慶仏、購入は真如 苑 一般にも公開の 方針		"	"
美術市場のダイナミ ック・ケイパビリティ 文化資源を発展 させる「場」として	松村 崇	多摩美術 大学研究 紀要	22	現代アート 市場は 熱い 贋作にはご用 心	浜田 奈美	"	5.18
版画オークションガ イド[第4回]オーク ションに出品しよう !!	福山 茂	版画芸術	139	現代美術 ブームを 鑑定 上 動き始め た市場 主役は個人、 見るから買うへ、す そ野は広がるが伸び 悩みも	秋山 亮太 大西 若人 古賀 太	"	5.29
版画の買い方 第1 回～第3回	友澤 宏子	"	140～142	歌麿の傑作落札され ず NY競売	秋山 亮太	"	9.20
特集 アートの「価 値」の新しい活用術 いま、アートを買う ということ。		美術手帖	905	画廊、下町へ 馬喰 町一帯現代アート 続々 国内の市場開 拓	杉本 宏	"	11.30

わが家のミカタ 東と西のモダニズム 下「作品」認める市場を 名建築も取引情報は水面下。気づけば開発業者へ…	神田 剛 朝 日	12.16	歌麿の浮世絵、競売に 予想落札価格1億円超 クリスティーズ	"	8.29
彩・美・風 君の人生はいくらだ?	山口 裕美 朝日夕刊	1.16	文化往来 香港、アジア美術のハブに真実味	"	9.5
運慶作流出の危機 文化財未指定NYで競売へ	"	3.7	「匠」の技、続々海外へ 伝統工芸、国内低迷で次の一手	"	10.15
運慶仏三越が落札 14億円、日本の顧客を代行	"	3.19	金融危機、文化にも波及 しぼむアジアの美術市場	"	10.25
アジアズームイン アートとお金	"		運慶作重文級の仏像三越落札、12億8000万円 日本の美術品海外で最高額	中前 博之 日経夕刊	3.19
1 「1億円超」の作家次々 北京はショールーム ひしめく画廊 流れ込む外国資本	秋山 亮太	3.29	根津美術館所蔵の中国宮廷宝飾時計37億円で15点落札	"	5.29
2 韓国、オークション急伸	大西 若人	3.31	「リーマン 銘柄」NYで競売に 名画、新興国の富豪が食指 アート漂流 金融危機が影	中前 博之 古川 英治	11.10
3 内外のインド人が支え	田中 三蔵	4.1	美術品収集 垣根低く 住宅展示場や競売 親しむ場に	白木 緑	12.8
4 UAE 美術館育てる幸せ	古賀 太	4.2	運慶作米で競売へ 国宝指定なし 海外流出の恐れ	手塚さや香 毎日夕刊	2.20
5 「安く良質」日本に注目	大西 若人	4.3	国宝級流出を阻止 日本の客依頼 三越落札 NY「木造大日如来坐像」12億8000万円	坂東 賢治 手塚さや香	3.19
美術品フェア続々 関心高いが売り上げ伸びず	"	4.9	アートフェア東京 2008 入場者が増加 売り上げも前年並み	岸 桂子	4.10
中国宮廷宝飾時計、15点で37.8億円 根津美術館が競売で売却	古賀 太	6.7	知りたい! 現代アートバブル 活況国内オークション	坂井 隆之 山寺 香	6.2
運慶仏像 依頼者は? 三越、12.5億円で落札	長戸 雅子 産 経	3.20	ホテル客利用した「アートフェア」増える	岸 桂子	8.25
拝見しますそのデザイン 家具の名品オークションで	渡部 千春	5.11	運慶落札 想定4億円 提示は8億円 国、購入断念 競売も見送り	佐々木良寿 読 売	3.20
国内現代美術市場 「バブル崩壊」? 有名作家も値崩れ ピークの半値 海外活況だが…	藤澤志穂子	8.23	気になる! 新宗教美術品収集に熱心	前田 恭二	4.17
歌麿「物思恋」NYで競売へ 浮世絵史上最高1億円超!?	"	9.1	売れる日本現代美術アートフェア 世界が注目	菅原 教夫	5.13
「見る」美術品から「買う」美術品へ アートフェア東京2008と美術市場の展望	藤田 一人 東 京	4.12	景気後退と美術市場「即売市」活況に陰り 若手売り出す好機だが…	"	11.12
文化往来 根津美術館所蔵の中国宝飾時計、競売へ	日 経	4.2	中国芸術もバブル崩壊 取引額3分の1 画廊次々撤退	佐伯 聡士	12.31

あんぐる バブル以来 オークション活況	下宮 崇	読売夕刊	3. 11
運慶の仏像日本人落札 14億円 流出回避 関係者ホッ	佐々木良寿	"	3. 19
大手町博士のゼミナール 美術品オークション活況 先導する外国人投資家	金田 浩幸	"	6. 24

美術館・博物館・画廊

一般

往復書簡 第9回 ナノミュージアム from ハンス・ウル リッヒ・オブリスト to 侯瀚如	ハンス・ウル リッヒ・オブリスト	ART iT	19
AT Times mécénat 太宰府天満宮が文化 活動をバックアップ インタビュー・西高 辻信宏さん	(根)	アート・ トッ プ	223
博物館実習について	村上 敬	アマリリス	90
ミュージアムの本質 的存在意義への展望	村瀬 博春	石川県立 美術館紀 要	18
地域博物館の再生と デザイン	角谷 修	金沢美術 工芸大学 紀要	52
オーディエンスが次 代のミュージアムを 創る		Cultivate	32
オーディエンス・ リサーチのすすめ 〜ミュージアム分 析法の構築をめざ して〜	ジェフ・ヘ イワード		
ミュージアム利用 者のニーズを測り 健全な運営システ ムを構築する	ジェフ・ヘ イワード 談、三木 美裕 通訳、高橋 信裕 聞き手		
ミュージアムの自 己点検評価にとも なうオーディエン ス・リサーチ〜テ キストマイニング とトラッキング〜	佐々木 亨		
科学的分析と利用 者の観察でミュー ジアムを改善する	齊藤 恵理		
特集 2008年度全国 美術館の見どころ 今年の注目される展 覧会は…!		ギャラリ ー*	276

蒐集する「まなざし」 —「芸術-驚異陳列室」 からケ・ブランリ美 術館まで	村田麻里子	京都精華 大学紀要	34
マインズーオンに基 づいたワークショッ プ型展示方法につい ての研究—展示にお ける中間サポーター の役割について—	尹 泰九	芸術学研 究(筑波)	12
ミュージアムの肖像 —美術館と博物館	川口 幸也	国立国際 美術館ニ ュース	168
通信 J to A アジア へ35 第2回アジア 美術館館長会議開催	南條 史生	新美術新 聞	1141
美術市場レーダー 188 世界のなかの わが日本の実状	瀬木 慎一	"	1144
PARIS 発 2008年話 題の展覧会—欧州編	安部 雅延	"	1146
北関東3 県立美術館、 リニューアルオープ ン 全国であいつづ 休館、改修工事—公 立美術館の問題も浮 き彫りに		"	1148
美術市場レーダー 191 美術展と美術 館は現実になっ ているか	瀬木 慎一	"	1150
第3 回21世紀ミュー ジアム・サミット開 かれる		"	"
主要国公立美術館ア ンケート 展覧会を ゆっくり楽しむ「託 児サービス」その 現状と今後の展望		"	1154
「薬師寺展」東博ひと り勝ち、驚異! 79万 4909人		"	1155
第57回全国美術館会 議総会 長崎で開か れる		"	1156
「美術館連絡協議会」 2008年度総会開かれ る		"	1168
通信 J to A アジア へ46 アジア美術館 館長会議開催	南條 史生	"	1171
総力取材 書道展が まるわかり 第III 章書道展を開催しよ う! インタビュー 東京国立博物館展示 デザイナー 木下史 青が語る展示ガイド		墨	192

ミュージアムの創造性をさがして—南米アルゼンチンのミュージアム調査	塚田 美紀	世田谷美術館紀要	10	独立行政法人国立美術館における情報(連携)の試み—美術館情報資源の利活用試案ならびに他関連機構との連携について	水谷 長志 室屋 泰三 丸川 雄三	東京国立近代美術館研究紀要	12
植民地期台湾における初等教育用国語教材にみる博物館	菅野 和郎	玉川大学教育博物館紀要	5	清野鉄臣と簡易博物館	後々 田寿徳	東北芸術工科大学紀要	15
歴史民俗系博物館における階層構造に基づく資料整理試論	米谷 博	千葉県立中央博物館研究報告	21	博物館Webサイト論—アクセシビリティの問題を中心に—	浅井 勝利	新潟県立歴史博物館研究紀要	9
視覚に障害を持つ人に配慮された触れる展示のための展示解説の役割について	大西万知子	" "	"	博物館学におけるバリアフリー研究の現状について	山本 哲也	" "	"
シンポジウム「博物館法改正と学芸員制度」		地方史研究	332	巻頭エッセイ ユネスコでの博物館論叢	佐藤 禎一	博物館研究	476
シンポジウム「博物館法改正と学芸員制度」—開催の経緯とシンポジウムの討論—	博物館・資料館問題検討委員会			特集「第55回全国博物館大会報告」		" "	"
新しい時代の博物館制度の在り方について	栗原 祐司			シンポジウム「新しい時代における博物館制度の在り方」 「新しい時代における博物館制度の在り方」を考える—論点整理と今後の課題—	水嶋 英治		
博物館の設置者責任と学芸員任用制度について	伊藤 暢直			シンポジウム「新しい時代における博物館制度の在り方」参加報告	菅谷 博		
学芸員養成現場の現状と課題	宮瀧 交二			「博物館の経営・運営指標づくりアンケート」の結果より—「評価システム・標準版」からみた博物館の現状—	飯田 浩之		
シンポジウム「博物館法改正と学芸員制度」に参加して	川口 明代			パネルディスカッション「博物館における地震等の災害への対応と対策」参加報告	斉藤 優介		
動向 博物館・資料館問題 美術史学会東西合同シンポジウム『学芸員なんていない!?—学芸員不要論を撃つ—』参加記	鎮目 良文	" "	334	パネルディスカッション1 「新しい登録機関の在り方について」部会報告	斎藤 靖二		
特集 日本のデザインとミュージアムのいま 座談会 デザインとミュージアム/デザインのミュージアム	柏木 博 藤崎圭一郎 秋元 淳 大縄 茂文 深川 雅文 暮沢 剛巳 紫田 伸子 橋本 優子	デザイン&ミュージアム・リンク	2	パネルディスカッション2 「博物館の評価システムと新登録基準について」部会報告	杉長 敬治		
新しい時代の博物館制度の在り方について		東京家政学院生活文化博物館年報	17	パネルディスカッション3 「学芸員の在り方について」部会報告	佐藤 憲一		
研究ノート(3) 大学生の博物館に対する意識	鈴木 亜弥 小瀬 康行	" "	18	パネルディスカッション3 「学芸員の在り方について」部会参加報告	金山 喜昭		
新しい時代の博物館制度の在り方について(後半部分)		" "	"				

フォーラム1「まちに生きる博物館(地域文化の中核となるために)」報告	長谷川重雄				どっちが主役…?—ミュージアムのレストラン、カフェに想うこと	岩渕 潤子	"	"	
フォーラム2「博物館法改正問題を考える」報告	柳 知明				利用者の立場から望むミュージアムの想い—各館の性格を共有した飲食やグッズを—	畑中三応子	"	"	
フォーラム3「評価・ベンチマークづくり」報告	杳沢 耕介				特集「ガバナンスとマネージメント 設置者責任」		"	482	
フォーラム4「指定管理者制度問題を考える」報告	浅草 澄雄				巻頭エッセイ 指定管理者制度における設置者責任	篠 雅廣			
フォーラム5「私立博物館の諸問題を考える」報告	安田 恭子				ミュージアムにおけるガバナンスとマネージメント	泰井 良			
フォーラム6「博物館におけるリスクマネジメント」報告	本田 光子				国立博物館の設置者と館の「責任」について	遠藤 啓			
巻頭エッセイ 博物館という高次の教育学習機構	丹保 憲仁	"	477		虎ノ門だより 博物館法の改正と今後の課題について	文部科学省生涯学習政策局社会教育課	"	"	
韓国の博物館制度について	水嶋 英治 栗山 祐司	"	"		国際動向 アジアの博物館の現状と課題—ASPACの立場から—	インキュン・チャン	"	"	
巻頭エッセイ 博物館法の改正について	吉武 弘喜	"	478		国際動向 韓国博物館協会の現在と発展の展望	べ・ギドン	"	483	
巻頭エッセイ 大学博物館の理想と現実	林 良博	"	479		国際博物館の日について	井上 透	"	"	
投稿「博物館冬の時代」を乗り切る—博物館と科学研究補助金—	浅草 澄雄	"	"		支部情報 北海道支部 指定管理者制度導入後の博物館集客対策—野外博物館北海道開拓の村の取り組み—	松井 則彰	"	"	
支部情報 四国支部 館内から館外へ、単独から連携へ—博物館の地域連携活動実践報告—	猪野 満	"	"		国際動向 「ヴァーチャル・コレクション」とASEMUS(アジア・ヨーロッパ・ミュージアム・ネットワーク)について	マヌス・ブリンクマン、カール・マグヌッソン 後藤 文子抄訳	"	484	
特集「平成19年度研究協議会報告」		"	480		巻頭エッセイ 博物館と世界遺産：世界遺産博物館の可能性	日高健一郎	"	485	
歴史部門「これからの歴史博物館における常設展示」	福代 宏				国際動向 英国博物館ドキュメンテーション協会からコレクション・トラストへ	篠塚真理子	"	"	
美術部門「コレクションと学芸員—収集・展示、そして新たな活用法まで—」	山村 仁志				創立80周年を回顧して	竹内 誠	"	486	
庶務・管理部門「自己点検評価」はどのように活用できるか	水谷栄太郎				博物館法の改正に思う	中川 志郎	"	"	
巻頭エッセイ 博物館へのアプローチ	高柳 雄一	"	481						

これからの博物館 新米館長の自習ノート	丹保 憲仁	博物館研究	486	指定管理者制度下の 「人材育成協力ネット ワークの結成」への 提言	高橋 信裕 許斐 修輔	文環研レ ポート	26
私立美術館と公益性	渡邊 妙子	" "	" "	大学博物館の構想— 双方向的な関係の確 立をめざして—	黒沢 浩	MUSEUM STUDY	19
公立博物館の在り方 をめぐって	山西 良平	" "	" "	自然史博物館の展示 の変遷	矢島 國雄	" "	" "
グローバリゼーショ ン時代における博物 館専門家集団の役割	水嶋 英治	" "	" "	《特集・日本の地域 博物館シンポジウム 5》感動し共鳴する 地域と博物館		MUSEO LOGIST	23
博物館施策の再構築 —多元化・連携の時 代に向けて—	佐々木秀彦	" "	" "	日本における地方 ・地域博物館の戦 後パラダイム	吉田 優		
これからの美術館の あり方・あるべき姿 について	泰井 良	" "	" "	地域博物館と今後 の夢について—そ の社会的役割と機 能について—	後藤 和民		
展示論ノート	山本 成子	PATIO	26	地球ミュージアム紀 行 ヨルダンで博物 館をつくる 国立ヨ ルダン博物館、カラ ク考古博物館、死海 博物館、サルト歴史 資料館/ヨルダン	森田 恒之	みんぱく	375
平成十九年度東西合 同シンポジウム「学 芸員の逆襲—ミュー ジアムの過去・現在 ・未来—」		美術史	164	美術館とは何か 変 容する装置について の考察	河原 啓子	武蔵野美 術大学研 究紀要	38
基調報告 学芸員 たちのいま	後小路雅弘			事典の中の博物館 『百科全書』を中心 とする18世紀事典類 におけるMusée概念の 生成と変容	小嶋 竜寿	ムゼイオ ン	54
一般客の目線とは ？美術館集客増と の関わりから探る、 学芸員側からのア プローチ	内藤 正人			災害対策をめぐる資 料保全活動と博物館 —「資料ネット」の活 動を事例として—	竹原 万雄	明治大学 博物館研 究報告	13
逆襲は可能か—学 問の枠を超えて広 がる学芸員の研究 —	山梨 俊夫			小特集 指定管理者 制度と歴史学		歴史学研 究	838
美術館と小屋 地 域が学芸員に求め ているもの	立木洋一郎			博物館の「危機」と 歴史展示—懐かし 系/ロマン系展示 から見る歴史系博 物館の課題—	金子 淳		
まとめにかえて	鈴木 廣之			美術館と指定管理 者制度—その問題 点と意義づけと—	上村 清雄		
特集 「アーティスト」 になる基礎知識 展覧会のつくりかた PART2 場所を開拓 しよう	新川 貴詩	美術手帖	904	美術館と生涯学習の 現在と市民の歴史認識		歴史評論	701
陝西歴史博物館交流 事業報告 現代中国 博物館事情	宮野 弘樹	福岡市博 物館研究 紀要	18	生涯学習の場とし ての博物館	山本 哲也		
博物館法改正に関す る—考察—誰のため の博物館法か—	小林 真理	文化資源 学	6	市民が作る「戦争 展示」—東京大空 襲の事例から—	山本 唯人		
美術=アートではな く、クラフト=工芸 ではない—美術館に おける陶磁器の展示 についての考察—	ニコル・ク ーリジ・ル ーマニエー ル	" "	" "	館長の半分は非常勤 収集費計上ゼロ4割 公立の美術館・博物 館調査		朝 日	1.22

観流 展覧会 BGM 音楽も展示の一部に	宮代 栄一	"	3.26	博物館法改正、 「かけ声倒れ」に終 わる				5.20
異見新言 アートの あした 美術館が芸 術家を変える 若手 刺激し育てる循環の 場に	小山登美夫	"	4.5	美術館の作品購入、 「公益事業」に認定 へ				6.10
デジタルで変わる美 術館 修復の様子映 像で 精巧な複製 名画を拡大	秋山 亮太 古賀	"	5.4	学芸員の力を伸ばせ 博物館、大学と連携 地域の教育担う人材 に	白木 緑	"		6.21
現代美術 プームを 鑑定 中 観客数を 競う「楽しい」「参 加型」が旬		"	5.31	公立ミュージアム 指定管理見直し最適 な運営探る 地域の 特性や規模に対応	小川 敦生 白木 緑 館野 真治	"		7.19
博物館法改正期待外 れ 学芸員資格見直 し頓挫 古い規定が んじがらめ 質の向 上へまず一歩	小川 雪一 宮代 栄一	"	8.30	文化往来 連携を強 めるアジアのミュー ジウム		"		7.31
あかりのカルテ 進 化する美術館照明	結城 未来	"	"	港区の美術・博物館 24館で新組織 文化 の街 PR		"		8.21
「映像学芸員」とは？ 資格や呼称より、議 論深めて	古賀 太	"	10.7	文化往来 公共施設 に「映像学芸員」の必 要性を議論		"		9.18
国立美術館 5館、18 歳未満・高校生無料 に		朝日夕刊	2.25	アジア現代美術 独 自の表現問い直す 国内で展覧会相次ぐ 伝統・民衆に光	小川 敦生 郷原 信之	"		9.20
新生美術館を味わう		"	4.8	アジアの美術館交流 拡大 クローバル化 の波 問われる地域 性	白木 緑	"		11.29
あの人の声で美術館 ナビ		"	11.11					
第3回アジア美術館 長会議 国際化の中 の地域性問う	大西 若人 古賀 太	"	12.3	作品鑑賞、超高精細 画像で 美術シアタ ー新たな発見	宝玉 正彦	日経夕刊		3.10
東京アートサークル 六本木に負けるな 4企業美術館が連携 へ 三菱も参入へ	中沢 幸彦	東 京	9.24	芸文余話 博物館は いらない？	小橋 弘之	"		3.15
新世界事情 風化さ せない戦争博物館	内田 康二 立尾 良二 福田 要 三浦 耕喜	東京夕刊	8.13	美術館・博物館激動 の時代 行政の役割 自問に期待	木下 直之	"		4.23
近代美術史研究 東 アジア交流機運 日 韓中の共同展覧会盛 んに 戦前日本の影 響に光	白木 緑 郷原 信之	日 経	1.19	博物館の意義 平川 南さんに聞く 歴史 に学び未来に生かす 地域や市民と連携を	松岡 資明	"		5.22
文化往来 公立ミュー ジウム運営、民間 委託進まず		"	1.26	アーバン Biz 東京 ・四谷三丁目 ミュ ージウムはしご お もちゃ・消防・地域 の歴史	堀 大介	"		6.28
日中美術館に市場の 試練 オークション ・指定管理者…作品 の確保に影響 作家 育成など役割も	小川 敦生	"	4.26	美術館、照明で魅せ る より美しく、和 の温かみ	白木 緑	"		9.16
12月に新公益法人制 度 美術館、認定準 備急ぐ	白木 緑	"	5.17	日仏交流 150周年 美術展花盛り 秋の パリ新たな日本熱	古賀 重樹	"		11.10
文化往来		"		more 楽 美術館の ギャラリートーク 鑑賞より深く楽しく	岸 桂子	毎 日		2.2

美術館訪問少ない都民 世界5都市森ビル調査「教養」より「気分転換」…違い鮮明	三木 幸治	毎 日	4.8	文化往来 足利市立美術館、3年で指定管理者制廃止	日 経	6.24
港区をアートと文化の街に 24の美術館・博物館が相互協力ミュージアムネット設立	松本 新孝 松岡	"	8.22	特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性 アド・ミュージアム東京 さながら広告の玉手箱	戸松 恭子 アジア遊学	111
来年度から国立5美術館 高校生と18歳未満無料に若いみなさん、アートに触れて	高山 純二	毎日夕刊	2.1	museum 北から南から5「いたびにおいで！」館蔵品を無料公開美術講座も充実 板橋区立美術館	佐藤さおり 新美術新聞	1151
アジアの美発展 日本が発信拠点 美術館連絡協議会座談会	菅原 教夫 司会 安永 公一、保、忠康 青木 井談	読 売	4.30	ルオー没後50年展 世界有数の収集誇る「出光美術館」	秋山 亮太 朝日夕刊	7.30
日本4展がトップテン入り	"	"	5.8	美術館への招待 出光美術館 おおらかな魅力	稲葉 千寿 東京夕刊	2.21
ブラジル日系画家の世界 移住100周年横浜で展覧会	"	"	9.19	今井美術館一始まりから今・夢の行方ー(活動報告)	月森まりえ 石見美術	6
県立美術館各地で再オープン 地元の視点 企画ふんだん	高野 清見	"	10.9	クローズアップ 再興第92回院展島根展が開幕[今井美術館]	今井 順子 新美術新聞	1147
宝物を伝える 60回目 正倉院展 中国古代史ブーム追い風	"	"	10.16	特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性 印刷博物館 所蔵ポスター	寺本美奈子 アジア遊学	111
アジアの美術館 地域間連携に高い意欲 現代美術の国際化背景	菅原 教夫	"	12.6	館長登場 いま美術館は一印刷博物館・樺山紘一館長ー	山本ゆかり 国華清話会会報	12
日 本						
(ア行)						
地域の生活にアートの風[art gallery, on the wind]	野村 義博	日経夕刊	9.4	衣・食・住一小金井市の町おこしと江戸東京野菜[江戸東京たてもの園]	真下 祥幸 博物館研究	481
「アミューズ」が恵比寿に現代美術ギャラリー[Art Jam Contemporary]	岸 桂子	毎日夕刊	7.28	昭和の東京ご案内 江戸東京たてもの園でガイド、当時の生活感も再現	多田 義明 日 経	7.28
特集 充実度の高い！「青森」美術巡り 青森県立美術館、十和田市現代美術館、国際芸術センター青森そして十和田湖	ギャラリ ー*		277	コレクション／遠藤剛熙美術館	内藤 真臣 博物館研究	487
画廊訪問 画廊 このディーラーのこの展覧会「江戸、明治、大正の美人画展」	"	"	274	デジカメ…当世コラム 世代を超え 巨匠惜しむ 青梅赤塚不二夫会館	重松 明子 産 経	8.7
SPECIAL FEATURE 京都アート探訪 お宝発見！ ミュージアムツアー 04 アサヒビール大山崎山荘美術館	岡山 拓	美術手帖	908	美術館への招待 青梅赤塚不二夫会館 人気漫画で街おこし	中村 信也 東京夕刊	12.4
				連載 ミュージアムの暮らし十二月 [1] なにわ大坂の正月風景[大阪くらしの今昔館]	谷 直樹 百 科*	554

平成十八年度 大阪 城天守閣新収蔵資料 紹介	北川 宮本 跡部 瀬島	央 裕 次 信 宏 計	大阪城天 守閣紀要	36	コレクション/奥田 元宋・小由女美術館	菅 麻衣子	博物館研 究	485
文化往来 大阪市立 近代美術館、建設へ 向け一歩			日 経	12.18	事業報告 歴史博物 館における展示の歩 み～部門展示を中心 として～	田井 静明	香川県歴 史博物館 調査研究 報告	4
more 楽 美術展の 舞台裏 照明、湿度 に細心の配慮[大阪 市立美術館]	岸 桂子	毎 日	11.8		名建築を訪ねる ガ スミュージアム 社 員の努力表す聖域	北川 成史	東京	8.6
第12回 手塚治虫文 化賞 特別賞 大阪 府立国際児童文学館		朝 日	5.10		《特集・日本の地域 博物館シンポジウム 5》感動し共鳴する 地域と博物館 考古 学ボランティア そ の人たちと博物館教 育活動―葛飾区郷土 と天文の博物館を例 として―	熊野 正也	MUSE OLOGIST	23
特集 建築の展覧会 を考える II 建築 展の現状と展望 市 民、歴史愛好家に受 け入れられる建築展 を目指して[大阪歴 史博物館]	酒井 一光	建築雑誌	1575		TOPIC 神奈川県立 近代美術館・鎌倉に 耐震問題	西澤 美子	アート・ トッ プ	219
新美術時評 「複製 芸術の時代」を考え る[大塚国際美術館]	島尾 新	新美術新 聞	1155		2006 年度 普及活動 を振りかえって	稲庭彩和子	神奈川県 立近代美 術館年報	2006年度
はじめに 一年をふ りかえり[岡山市デ ジタルミュージアム]	森 隆恭	岡山びと*	3		オピニオン2008 秋 元雄史(金沢21世紀 美術館館長)	上條 昌宏	A X I S	136
特集 明和電機ナン センス＝マシーンス 展2007 博物館にお けるボランティア運 営～明和電機ナンセ ンス＝マシーンス展 を通じて～[岡山市 デジタルミュージア ム]	中島 道恵	" "	" "		彩・美・風 現代ア ートで地域再生を [金沢21世紀美術館]	山口 裕美	朝日夕刊	1.23
岡山の歴史と今 ペ ーパークラフトを展 示とミュージアムグ ッズに活用する～当 館オリジナルミュー ジウムグッズリスト を含む～[岡山市デ ジタルミュージアム]	小野田 伸	" "	" "		SPECIAL FEATURE 京都アート探訪 お 宝発見! ミュージ アムツアー 06何必 館・京都現代美術館	岡山 拓	美術手帖	908
コレクション/岡山 市デジタルミュージ アム	飯島 仁	博物館研 究	484		鐘木清方 逝きし明 治のおもかけ 鎌倉 市鐘木清方記念美術 館	真室 佳武	太陽(別冊)	152
沖縄県立博物館・美 術館オープン 沖縄 の美術、その軌跡と 前路		美術手帖	903		PICK UP New Spase 軽井沢現代美術館、 8月オープン		ギャラ リー	279
開館記念展にあた って	翁長 直樹				PICK UP Museum Open 軽井沢現代 美術館		"	281
美術館問題の経緯 と現状 紆余曲折 の果てに	小林 純子				展覧会プレビュー Spotlight 軽井沢に 現代美術を楽しむ 感覚の美術館が8月 にオープン[軽井沢 現代美術館]	秋田 真波	版画芸術	140
日本の美術館から の応答	鈴木 勝雄				沖縄県立博物館・美 術館オープン 沖縄 の美術、その軌跡と 前路 沖縄のアート シーン 画廊沖縄	上原 誠男	美術手帖	903
					コレクション/川越 市立美術館	濱田 千里	博物館研 究	480

特集 日本のデザインとミュージアムのいま 視点1 芸術・文化としてのデザイン 市民ミュージアムにおけるデザイン[川崎市市民ミュージアム]	(深川)	デザイン &ミュージアム・リンク	2							特集 日本のデザインとミュージアムのいま 視点3 一人のクリエイターの業績に迫る 建築家ル・コルビュゼ[ギャラリー・タイセイ]	(暮沢)	デザイン &ミュージアム・リンク	2							
生き残り「地元密着」で開館20年 改革進む 川崎市市民ミュージアム	古賀 太	朝日夕刊	11.19							好きな場所で読む 京都国際マンガミュージアム	久慈 達也	アート・ドキュメンテーション通信	78							
TOPIC 川村記念美術館がリニューアル・オープン	西澤 美子	アート・トップ	221							特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性 京都国際マンガミュージアム 戦時資料について	清水 勲	アジア遊学	111							
学芸員の企画術に迫る 第15回 川村記念美術館主任学芸員 林寿美	斉藤 博美	ギャラリー	277							SPECIAL FEATURE 京都アート探訪 お宝発見! ミュージアムツアー 05 京都国立近代美術館	岡山 拓	美術手帖	908							
川村記念美術館 増築棟で抽象画を体感	大西 若人	朝 日	4.9							SPECIAL FEATURE 京都アート探訪 お宝発見! ミュージアムツアー 01 京都国立博物館	〃	〃	〃							
極上の空間で作品と語らう 開館から5年 菊池寛実記念智美術館 6日から「加藤唐九郎・重高・高宏一 薫ぐれ三代展」	林屋 晴三	東 京	12.1							特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性 京都大学東南アジア研究所 図画像コレクション	北村 由美	アジア遊学	111							
特集=《北九州市立美術館問題》を考える		あいだ	149							資料保存利用施設の紹介—鋸南町歴史民俗資料館(菱川師宣記念館)—	笹生 浩樹	千葉県文書館	13							
都市そのものが志向する文化のかたち	真武真喜子									大正期皇室ご慶事の品紹介[宮内庁三の丸尚蔵館]	牛田 久美	産 経	2.13							
「行政×専門家」の対立構図を打破れ シンポジウム「わたしたちの北九州市立美術館」報告をかねて	花田 伸一									museum 北から南から4 細川コレクション 永青文庫展示室が4月25日開館 熊本県立美術館		新美術新聞	1150							
コレクション/岐阜県ミュージアムひだ	南本 有紀	博物館研究	483							カメラ散歩 東京・上野公園 洋画家の遺言[黒田記念館]	柴田 隆	産 経	7.1							
特集 「アーティスト」になる基礎知識 展覧会のつくりかた Gallery Stump Kamakuraのメンバー9人に聞きました。 どうしてアーティストがギャラリーを運営するのですか?		美術手帖	904							美術館への招待 群馬県立近代美術館「たねとしかけ」が楽しめる	田島 力	東京夕刊	7.31							
特集 建築の展覧会を考える II 建築展の現状と展望「ギャラリー・間」の活動	遠藤 信行	建築雑誌	1575							カルチャ場 現代マンガ図書館 30年の蓄積は文化戦略の宝	前田 浩次	朝日夕刊	2.12							
団塊はいま 緑が生んだ幸せ画廊 墨田にオープン「若手画家育てたい」元学校事務員の杉田さん夫妻[ギャラリーもも両国]	五十嵐 透	朝 日	11.22							事例報告「地域活性化と美術館」	河村 章代	高知県立美術館研究紀要	7							

特集 日本のデザインとミュージアムのいま 視点4 デザインの各ジャンルに迫る ファッション/建築[神戸ファッション美術館]	(橋本)	デザイン & ミュージアム・リンク	2						特集 日本のデザインとミュージアムのいま 視点1 芸術・文化としてのデザイン 日本の歴史・民族・生活文化とデザイン[国立歴史民俗博物館]	(橋本)	デザイン & ミュージアム・リンク	2						
国学院大新資料館オープン[国学院大学伝統文化リサーチセンター資料館]				読 売	10.10				総合展示の新構築 [国立歴史民俗博物館]			歴 博						
特集 充実度の高い!「青森」美術巡り 青森県立美術館、十和田市現代美術館、国際芸術センター青森そして十和田湖		ギャラリー	277						第6室 「現代展示」と歴史的思考	安田 常雄			146					
記者ノート 開館30年「真価」を披露[国立国際美術館]	木村 未来	読 売	1.24						第3室 新しく変わる近世展示のみどころ	久留島 浩			147					
国立新美術館 開館から1年	南西田 雄介、佳二 談	新美術新聞	1141						博物館展示のいま13 国立歴史民俗博物館 建築模型の現状から	玉井 哲雄	"		148					
国立新美術館のレストランとカフェ	林田 英樹	博物館研究	481						特集 江戸時代、新風景 第三展示室リニューアル[国立歴史民俗博物館]		"		149					
国立新美術館を新会場とした各団体・個人の感想		美術運動	135						三つの〈ひらく〉	青山 宏夫								
特集 Part. 1 絵を發表しよう!! section 1 公募団体展で發表する 国立新美術館・林田英樹館長インタビュー		美術の窓	300						新しい近世展示のみどころ	久留島 浩 岩淵 令治								
国立新美術館館長 林田英樹氏に聞く 団体展も共催展も予想以上の入り!	入江 観、佐々木 豊、聞き手	連盟ニュース	426						「もの」からみる近世	日高 薫								
国立新美術館 昨年末までの入場者 予想の2倍300万人に	手塚さや香	毎日夕刊	1.21						博物館展示のいま14 ぐらしの植物苑特別企画 第三展示室ミニ企画 「伝統の朝顔」[国立歴史民俗博物館]	岩淵 令治	"	"						
みんぱくインタビュー 開館三〇周年、そしてこれから[国立民族学博物館]		みんぱく							展示批評 第三展示室(近世) 「近世」のリニューアル展示を見て[国立歴史民俗博物館]	後藤 雅知	"	"						
(1)	松園万亀雄、中原 栄作 談		367						総合展示の新構築 第6室 展示「高度経済成長と生活の変貌」における民俗学的視点[国立歴史民俗博物館]	関沢まゆみ	"		150					
(2)	韓 敏 談		368						文化往来 歴博、江戸時代の海外交流や多様性に注目[国立歴史民俗博物館]		日 経	3.29						
「異文化」を展示すること・「自文化」を展示すること 歴博と大英博物館の「対外関係」の展示プランを比較して	久留島 浩	国立歴史民俗博物館研究報告	140						国立歴史民俗博物館 開館以来の常設展示リニューアル 停滞・閉鎖から躍動・開放へー江戸時代像の転換図る	伊藤 和史	毎 日	3.31						
									美術館への招待 小杉放菴記念日光美術館 ジャナルを超えて自在な世界	後藤 喜一	東京夕刊	2.7						

画家の幸せな帰郷 長崎・五島に笠松宏 有記念館 アートで 島興し[五島市笠松 宏有記念館]	鈴木 雅博	東京	7.12	こぼれ話 名古屋に も鉄道博物館[JR東 海博物館]	木下 豊	毎日	6.24
美術館への招待 五 島美術館 二千元札 の図柄と再会	稲葉 千寿	東京夕刊	1.10	対話は可能か?「ダ イアログ コレク ション活用術 Vol. 2」をふりかえって	山本 淳夫	滋賀県立 近代美術 館研究紀 要	7
(サ行)				琵琶湖文化館 収蔵 品特別公開「近江 の美術」	上野 良信 井上ひろ美 榊 拓敏	滋賀県立 琵琶湖文 化館研究 紀要	24
学芸員の企画術に迫 る 第19回 埼玉県 立近代美術館主任学 芸員 平野到	斉藤 博美	ギャラリー 一*	281	老朽化・財政難の理 由から 仏教美術の 宝庫 滋賀県立琵琶 湖文化館 3月で休 館へ		新美術新 聞	1147
美術 ニュー・ヴィ ジョン・サイタマIII 展[埼玉県立近代美 術館]	三田 晴夫	毎日夕刊	1.8	歴史通信 滋賀県立 琵琶湖文化館の休館 問題をめぐって	毛利 憲一	日本史研 究	546
常設展示改修および 「ゆめ・体験ひろば」 設置事業の記録	二階堂 実 西口 由子 井上かおり	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館紀要	2	文化往来		日 経	
共催展における地域 展示一特別展「お伊 勢さんと武蔵」展示 拾遺一	杉山 正司	" "	" "	休館に揺れる滋賀 県立琵琶湖文化館			3.14
「異文化」とされる側 の記憶と表象 在日 朝鮮人と博物館運動 [在日韓人歴史資料 館]	君塚 仁彦	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	140	琵琶湖文化館、「休 館」後も活動続け る			6.26
特集 戦争とメディ ア、そして生活 第 二部 図像資料の所 在と東アジア・メデ ィア史研究の可能性 佐賀県立名護屋城博 物館 朝鮮半島絵葉 書と近代日本人の「ま なざし」	浦川 和也	アジア遊 学	111	文書館・史料館めぐ り 島根県立古代出 雲歴史博物館	野々村安浩	日本歴史	724
大特集 樂吉左衛門 が語りつくす 茶碗 ・茶室・茶の湯とは なにか 茶室に、未 来はあるか 樂吉左 衛門館の試み[佐川 美術館樂吉左衛門館]	編 集 部	芸術新潮	699	島根大学(松江キャン パス)周辺の歴史 ・文化資源について	会下 和宏	島根大学 ミュージ アム年報	H19年度
学芸員の企画術に迫 る 第18回 佐藤國 際文化育英財団佐藤 美術館学芸部長 立 島恵	斉藤 博美	ギャラリー 一*	280	博物館等の活動と 「平成の大合併」一上 越市立総合博物館の 企画展から一	石垣 悟	民具マン スリー	480
特集 戦争とメディ ア、そして生活 第 二部 図像資料の所 在と東アジア・メデ ィア史研究の可能性 サントリーミュージ アム[天保山]	富田 章	アジア遊 学	111	SPECIAL FEATURE 京都アート探訪 お 宝発見! ミュージ アムツアー 03相国 寺 承天閣美術館	岡山 拓	美術手帖	908
別の4点も展示を中 止 青春のロシア展 [サントリーミュー ジウム[天保山]]	朝 日	9.24		函館、ウラジオスト クの新たな交流一博 物館交流、はじめの 一歩から5年一	長谷部一弘	市立函館 博物館研 究紀要	18
				「北斎館」建設に本腰 基本設計費など予算 化へ[墨田区北斎館]	秦 忠弘	朝 日	1.11
				北斎と区とのゆかり を紹介 墨田区が季 刊紙創刊「北斎館」 の計画など発信	藤原 哲也	東 京	7.8
				名建築を訪ねる 聖 徳記念絵画館 維新 の薫り今に伝える	比護 正史	" "	10.1
				SV CUT UP ART 犬島アートプロジェ クト「精錬所」	嘉藤 笑子	STUDIO VOICE	391

特集 「世界」を救うためにデザインができること。デザインは世界を救えるのか!? ケーススタディ 16 環境02 犬島アートプロジェクト「精錬所」	白坂 ゆり	デザインの現場	159
INFORMATION 瀬戸内に100年前の煙突がそびえる新美術館「精錬所」	"	美術手帖	908
PICK UP New Space 関口美術館の東館がオープン		ギャラリー一*	277
美術館への招待 世田谷美術館「芸術」の根源を問う	稲葉 千寿	東京夕刊	10.9
「迫力」夜の美術館鑑賞会 小中学生、懐中電灯を手に「世田谷美術館」		読 売	8.31
芸術心で感じ体で表現 「様々な感覚で作品味わって」[世田谷美術館]	大木 隆士	"	9.23
特集 Part. 1 絵を発表しよう!! section 1 公募団体展で発表する 損保ジャパン東郷青児美術館学芸部長 大場智行氏が語る	大場 智行 談	美術の窓	300

(タ行)

高島屋美術部 創設100年新たな商魂	多賀谷克彦 朝	日	4.3
特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性 高島屋史料館 レトロポスターが語る高島屋の歴史	広田 元	アジア遊学	111
高梨本家を継いで—高梨兵左衛門氏聞き書き—[高梨本家上花輪歴史館]	島尾 新 聞き手 天羽 直之 構成	国華清話会会報	12
「異文化」とされる側の記憶と表象 在日朝鮮人と博物館運動 [丹波マンガン記念館]	君塚 仁彦	国立歴史民俗博物館研究報告	140
館長登場 いま美術館は—千葉市美術館・小林忠館長—	山本ゆかり	国華清話会会報	11
美術館への招待 ちひろ美術館・東京余白にイメージ膨らむ	石井 敬	東京夕刊	6.19

多摩逍遥そそろ歩き 中近東文化センター 付属博物館(三鷹市) 歴代文明の出土品並ぶ		日 経	9.12
土浦市立博物館の展 示改装と新しい取組 み—地域博物館が目 指すもの—	塩谷 修 木塚久 仁子 中澤 達也 宮本 礼子 萩 良太	土浦市立 博物館紀 要	18
文書館・史料館めぐり 津山郷土博物館	尾島 治	日本歴史	718
美術館への招待 敦井美術館 小施設の大コレクション	三品 信	東京夕刊	9.11
特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性 通信総合博物館 絵はがきブームの裏側・通信省の戦略と郵便システム	井村 恵美	アジア遊学	111
PICK UP Space 昨年秋のEAST開館でより充実したデザインフェスタギャラリーの魅力		ギャラリー一*	280
AT Times Top Page 21 21DESIGN SIG-HT 1周年を経て	重野 佳園	アート・トップ	223
学芸員の企画術に迫る 第12回 東京オペラシティアートギャラリー—チーフ・キュレーター 堀元彰	斉藤 博美	ギャラリー一*	274
特集 建築の展覧会を考える II 建築展の現状と展望 創造の場としての展覧会[東京オペラシティアートギャラリー]	野村しのぶ	建築雑誌	1575
廃校利用し美術館に世界中のおもちゃ集合 旧四谷第四小に2万点[東京おもちゃ美術館]	真野 森作 毎日		4.17
おもちゃいっぱい2万点 新宿 小学校跡の美術館にぎわう [東京おもちゃ美術館]	内藤 絵美	〃	5.6
特集 建築の展覧会を考える V 現在進行形の建築展 美術館ならではの建築展をめざして[東京国立近代美術館]	保坂健二郎	建築雑誌	1575
東京国立近代美術館 レストラン「クイーン・アリス アクア」について	蔵屋 美香	博物館研究	481

アートで生きる／アートとかかわる8 連載トーク「女性アーティストの現在」 5 蔵屋美香×杉田敦[東京国立近代美術館]	土屋真喜子 構成・文	美術手帖	904	都庭園美術館建て替え 築45年 新館、耐震不足で[東京都庭園美術館]				8.28
東京皇室博物館の講演会事業一大正末期から戦中にかけて―[東京国立博物館]	桐原 直子	芸術学研究(筑波)	12	特集 Part. 1 絵を 発表しよう!! section 1 公募団体展で 発表する 東京都美術館・真室佳武館長 インタビュー いよいよ大改修! 公募展 はどうなる?	真室 佳武 談	美術の窓	300	
国華展 「対決―巨匠たちの日本美術」 [東京国立博物館]	河野 元昭、 小林 忠、 水尾比呂志、 島尾 新 談 天羽 直之 構成	国華清話 会会報	11	東京都美術館館長 真室佳武氏に聞く 団体展・共催展・新規事業で巻き返す!	入江 観、 佐々木 豊 聞き手	連盟ニュース	426	
国華展 「対決―巨匠たちの日本美術」 を終えて[東京国立博物館]	奥山 敦	〃	12	美術館の火ともした 石炭商 上野に日本で 始めて建設 全費用 寄付した佐藤慶太郎 [東京都美術館]	斉藤 泰嘉	日 経	7.30	
東京皇室博物館・復興本館の昼光照明計画	木下 史青	東京国立 博物館紀要	43	特集 日本のデザイン とミュージアムのいま 視点2 産業・企業活動 のなかのデザイン 企業の 歴史とデザイン[東芝 科学館]	(深川)	デザイン & ミュージアム・ リンク	2	
特集 「アーティスト」 になる基礎知識 展覧会のつくりかた COLUMN 東京国立 博物館デザイン室長、 木下史青氏に聞く 展 示照明デザインのポイント	白坂 ゆり	美術手帖	904	東地滄厓・大滄ギャ ラリー開館3周年	桐山 正寿	毎 日	10.29	
館史研究1 東京皇室 博物館における文化 財疎開の概要と新出 資料について― 「翁島疎開日誌」(仮 称)の紹介を中心に	三島 貴雄	MUSEUM	616	PICK UP Exhibition 東方画廊が千葉市に オープン		ギャラリ ー	273	
ウィリアム・ガウラ ンドと上野博物館 [東京国立博物館]	後藤 和雄 忽那 敬三	明治大学 博物館研 究報告	13	特集 戦争とメディア 、そして生活 第二部 図像資料の所在と東 アジア・メディア史研究 の可能性 東洋文庫 清 朝皇帝と得勝図・宮廷 銅版画の一端	篠崎 陽子	アジア遊 学	111	
特集 薬師寺 1300 年秘められた寺宝に ふれる 薬師寺展と平 城遷都1300年に向けた 取組[東京国立博物館]	金子 啓明 談	目 の 眼	380	耳と目で楽しむ―遠 山一行氏聞き書き― [遠山記念館]	高階 秀爾 聞き手 天羽 直之 構成	国華清話 会会報	11	
more 楽 気軽にお 気に入り探し 実はお 得な常設展[東京国立 博物館]	岸 桂子	毎 日	3.29	特集「ガバナンスと マネージメント 設置 者責任」徳川美術館 の運営から考察する 私立美術館の運営	徳川 義崇	博物館研 究	482	
特集 戦争とメディア 、そして生活 第二部 図像資料の所在と東 アジア・メディア史研究 の可能性 東京大学学 院情報学環 戦時伝単・ ポスターコレクション	山本 拓司	アジア遊 学	111	支部情報 東海支部 新装開館後の徳川美 術館のあゆみ	山本 泰一	〃	487	
都写真美術館の運営 館長が発表[東京都 写真美術館]		読 売	1.31	特集 日本のデザイン とミュージアムのいま 視点2 産業・企業活 動のなかのデザイン さまざま 産業領域と デザイン[トヨタ博物 館]	(橋本)	デザイン & ミュージアム・ リンク	2	

AT Times Top Page
十和田市美術館開館
[十和田市現代美術
館]

重野 佳園 アート・
ト ッ プ 222

アングル 十和田市
現代美術館

A X I S 133

特集 充実度の高い
!「青森」美術巡り
青森県立美術館、十
和田市現代美術館、
国際芸術センター青
森そして十和田湖

ギャラリー
一* 277

森と湖とモダン・ア
ート 十和田市現代
美術館を訪ねる「み
ちのく」の旅

芸術新潮 703

4・26、青森県十和
田市現代美術館がオ
ープン

新美術新
聞 1153

辛酸なめ子のスピリ
チュアル紀行 十和
田市現代美術館 and
青森 DEEP 観光
Museum Review
再生と目覚めの場
に向けて

松井みどり 美術手帖 911

視点 十和田市現代
美術館の特徴と可能
性

南條 史生 美術の窓 297

アートのための家
十和田市現代美術館
オープン

児島やよい 東 京 5.10

アート探求 十和田
市現代美術館オープ
ン 町中に広がる
アートの家

窪田 直子 日 経 5.4

十和田市現代美術館
が好発進 建築と一
体化、恒久展示作品
の魅力で

岸 桂子 毎日夕刊 8.6

十和田市現代美術館
街と作品 溶け合う
刺激

高野 清見 読 売 5.1

(ナ行)

PICK UP Museum
Open 永井画廊の
新たな画廊展開

ギャラリー
一* 281

視覚に障害のある方
々との美術館の楽し
み方について一県立
盲学校の実践より
[長崎県美術館]

瀧垣明日香 長崎県美
術館研究
紀要 1

美術館への招待 中
村キース・ヘリング
美術館「希望」生む
バーチャル空間

稲葉 千寿 東京夕刊 8.14

INFORMATION

SPACE NY ストリ
ートカルチャーの伝
説的アーティスト
1980年代を疾走した
キース・ヘリングの
コレクション[中村
キース・ヘリング美
術館]

編 集 部 美術手帖 908

秋元康流「アートの
すすめ」[中村キ
ース・ヘリング美術
館]

山内 宏泰 〃 913

学芸員の企画術に迫
る 第20回 奈義町
現代美術館主任学芸
員 岸本和明

斉藤 博美 ギャラリ
一* 282

名古屋市美術館ボラ
ンティアの現状と課
題—導入から10年を
迎えるにあたって—

角田美奈子 名古屋市
美術館研
究紀要 15

平成19(2007)年度
名古屋市美術館普及
プログラム「びじゅ
つ感ワークショップ
みんなであそぼう」
について

〃 〃 〃

INFORMATION

SPACE 新しい複合
アートスペース 恵
比寿にNADiff/a/p/a/
r/t がオープン!

編 集 部 美術手帖 909

世の中探検隊 奈良
国立博物館 仏像100
体息をのむ

平 しの 読売夕刊 10.11

博物館における映像
資料の可能性—特別
展『フィールドの記
憶—生誕100年人類
学者沼沢喜市のニュ
ーギニア調査写真か
ら—』を振り返って
—[南山大学人類学
博物館]

木田 歩 人類学博
物館紀要 26

映像を作る、写真を
見せる 南山大学人
類学博物館 2007年
度特別展「フィール
ドの記憶」における
映像製作の試み

山崎 剛 〃 〃

museum 北から南
から3 選りすぐりの
名品を一堂に展示
新潟県立近代美術館

桐原 浩 新美術新
聞 1149

石コウのタマゴ ワ
ークショップの可能
性

長谷川重雄 新潟県立
近代美術
館研究紀
要 8

新潟県立近代美術館
におけるワークショ
ップ—船というタイ
ムマシーン—百年の
夢から—

丹治 嘉彦 〃 〃

特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性 新潟県立歴史博物館 笹川コレクション絵 葉書にみる理想郷満州	田邊 幹	アジア遊学	111	学芸員の企画術に迫る 第17回 原美術館主任学芸員 ハラミュージアムアーク副館長 安田篤生	斉藤 博美	ギャラリー一*	279
特集 日本のデザインとミュージアムのいま 視点4 デザインの各ジャンルに迫る プロダクト・デザイン[日本インダストリアルデザイナー協会デザインミュージアム]	(橋本)	デザイン&ミュージアム・リンク	2	ハラミュージアムアーク「観海庵」今夏オープン 古美術はこちらで	(寿)	東京	6.14
特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性 日本カメラ博物館 名取洋之助コレクションほか	白山 真理	アジア遊学	111	群馬に古美術の展示室[ハラミュージアムアーク]		読売	7.31
学芸員の企画術に迫る 第11回 入善町下山芸術の森発電所美術館学芸員 長縄宣	斉藤 博美	ギャラリー一*	273	多摩逍遙そぞろ歩き パルテノン多摩(多摩市) 現代の神殿 地域文化の顔		日経	2.15
美術館への招待 葦崎大村美術館 武田の里の女流画家たち	田島 力	東京夕刊	3.6	健和富シリーズ9 素晴らしい文化を再認識しよう 光記念館館長 加藤郁平氏	齊藤 繁	産経	9.21
懐かしい思い出 めり絵を文化に めり絵美術館館長 金子マサさん	遠藤 健司	東京	1.9	兵庫県立考古博物館 新たな「ひょうご文化」の創造をめざして	若生 晃彦	公立埋文協会報	40
連載 アジアの美術を楽しむ23 新しい建物の完成を待つ 根津美術館	西田 宏子	アジア遊学	108	兵庫県立考古博物館の利用者数の特徴について	高瀬 一嘉	兵庫県立考古博物館研究紀要	1
学芸員の企画術に迫る 第13回 練馬区立美術館学芸員 野地耕一郎	斉藤 博美	ギャラリー一*	275	学芸員の企画術に迫る 第14回 兵庫県立美術館学芸員 出原均	斉藤 博美	ギャラリー一*	276
(ハ行)				中国美術もバブル 福岡の美術館 収蔵絵画、資産価値200倍も[福岡アジア美術館]		東京	3.27
訪ねたい 博物館網走監獄	遠藤 拓	毎日夕刊	3.8	コレクション まほろん(福島県文化財センター白河館)	藤田 誠	博物館研究	479
卒業生による活動報告 畠山記念館	水田至摩子	MUSE- OLOGY	27	集う「フジフィルム スクエア」開設1周年レセプション	草下 健夫	産経	4.11
学芸員の企画術に迫る 第16回 八王子市夢美術館学芸員 川俣高人	斉藤 博美	ギャラリー一*	278	美術館への招待 府中市美術館 具象と抽象の間で	石井 敬	東京夕刊	1.24
博物館におけるボランティア活動—八戸博物館の場合—	小林 和彦	博物館研究	477	SV ART ART SPACE プロジェクトスペース『KANDADA』	坂口 千秋	STUDIO VOICE	388
				SPECIAL FEATURE 京都アート探訪 お宝発見! ミュージアムツアー 02 細見美術館	岡山 拓	美術手帖	908

特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性
北海道大学スラブ研究センター 日露戦争捕虜収容所絵葉書帖

兎内勇津流 アジア遊学 111

museum 北から南から1 北の自然とモダンさのロケーション 北海道立三岸好太郎美術館

柳沢 弥生 新美術新聞 1147

(マ行)

沖縄県立博物館・美術館オープン 沖縄の美術、その軌跡と前路 沖縄のアートシーン 前島アートセンター

宮城 潤 談 美術手帖 903

「木版画東西対決」展における観客投票についての報告

和南城愛理 町田市立国際版画美術館紀要 12

多摩逍遙そぞろ歩き 国際版画美術館(町田市) 創作で「潤い」市民の拠点

日 経 4.25

毎日デザイン賞 松屋銀座「50年を超えるデザイン啓蒙活動」

高島 直之 毎 日 3.4

特集 日本のデザインとミュージアムのいま 視点4 デザインの各ジャンルに迫る バウハウス [ミサワバウハウスコレクション]

(深川) デザイン&ミュージアム・リンク 2

学芸員の企画術に迫る 第21回 水戸芸術館現代美術センター主任学芸員 森司

斉藤 博美 ギャラリー 283

[特集1]現代美術への視点6 エモーションナル・ドローイング定義と正当化を越えて[水戸芸術館]

高橋 瑞木 現代の眼 571

秋元康流「アートのすすめ」[水戸芸術館]

山内 構成 美術手帖 915

夏休みの科学作品・社会科作品における博物館の利用について

西尾 藤村 円 俊 美濃加茂市民ミュージアム紀要 7

コレクション/武蔵野市立吉祥寺美術館

安倍眞美子 博物館研究 482

特集 日本のデザインとミュージアムのいま 視点4 デザインの各ジャンルに迫る 家具+コミュニケーション・デザイン[武蔵野美術大学美術資料図書館]

(暮沢) デザイン&ミュージアム・リンク 2

卒業生による活動報告 村内美術館

滝沢 優子 MUSE- OLOGY 27

秋元康流「アートのすすめ」[目黒区美術館]

山内 構成 宏 泰 美術手帖 916

(ヤ行)

《連載》戦時下日本の美術家たち 第25回「遊就館」の展示を考える[靖国神社遊就館]

飯野 正仁 あ い だ 152

企画者からも一言「靖国神社にあるのは戦争の遺品だけではないのです」

山本 眞吾 芸術新潮 698

山口県立教育博物館の常設展示について

伊原慎太郎 山口県立山口博物館研究報告 34

美術館への招待 山田かまち水彩デッサン美術館 胸に迫る青年の叫び

石井 敬 東京夕刊 11.6

美術館への招待 やまとーあーとみゅーじあむ 響き合う「木の魂」

栗原 淳 " 8.28

教室レポート 博物館を第二の教室にー山梨県立博物館と山梨県立考古博物館の博学連携事業ー

鈴木 利秋 歴史と地理 620

オーディエンスが次代のミュージアムを創る 通信簿ツアーによる利用者との対話[山梨県立博物館]

高橋 修 Cultivate 32

特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性 祐生会いの館 イメージで蘇る満州国「王道楽土」の夢

鎌田 智子 アジア遊学 111

特集 戦争とメディア、そして生活 第二部 図像資料の所在と東アジア・メディア史研究の可能性 横浜開港資料館 絵葉書コレクション

伊藤 泉美 " "

(ラ行)								台湾故宮「晋唐法書名蹟展」に寄せて顔真卿「祭姪文稿」など展示17点[故宮博物院(台北)]	西林 昭一	毎日夕刊	10.21
Exhibition Special ルーブル・DNPミュージアムラボ		ギャラリ ー*	278					台北・故宮博物院周功鑫院長 若い才能新施設で育成 日伊台美術館関係者国際シンポジウム 民間支援を期待	前田 恭二 高野 清見	読 売	8.21
装置で体感 アートの世界 ミュージアムラボ 視線追跡など企画	古賀 太	朝日夕刊	2.12								
特集01 超絶技巧絵画編 ケース・バイ・レントゲンヴェルケ 超絶技巧は欲望の投影	池内 務	アート・ト ッ プ	223					顔 作品に触れて楽しめる美術館をイタリアで共同運営するアルド・グラッシーニさん[国立オメロ触覚美術館]	堀江優美子	〃	8.4
(ワ行)								バグダッド博物館 展示室5年ぶりに修復[国立バグダッド博物館]	金沢 浩明	日 経	1.21
支部情報/北信越支部 博物館における体験講座参加者の実態と受け入れ面での課題[若狭三方縄文博物館]	青池 晴彦 小島 秀彰	博物館研究	476					中国・武漢の現代第5回 武漢の美術館建設ラッシュー湖北省美術館	江上 華	ギャラリ ー*	282
美術館への招待 ワタリウム美術館 作家と同時代を生きる喜び	稲葉 千寿	東京夕刊	9.25					美術館への招待 サムスン美術館リウム境界またぎ感動共有	稲葉 千寿	東京夕刊	6.5
コレクション 和洋女子大学文化資料館	駒見 和夫	博物館研究	478					現代中国巧芸事情26 北京の『斉白石記念館』を訪ねて	仲 佑樹	書 道 界	225
海 外								共同研究 歴史展示における「異文化」表象の基礎的研究 第II部 展示における表象「異文化」を展示すること・「自文化」を展示すること 歴博と大英博物館の「対外関係」の展示プランを比較して	久留島 浩	国立歴史民俗博物館研究報告	140
現代中国巧芸事情25 中国文明の曙光一凌家灘玉器と安徽省博物館の文物	仲 佑樹	書 道 界	224					インタビュー 中国美術館 馬書林副館長に聞く	江上 華	ギャラリ ー*	281
世界の版画事情 イスタンブール・トルコ 世界の版画を伝えるトルコの私設版画美術館[イスタンブール版画美術館]	ハサン・キラン	版画芸術	142					通信 J to A アジアへ43 インド最大の私設現代美術館開館[DEVI 美術館]	南條 史生	新美術新聞	1163
ヨーロッパアート事情 バリに新しい美術 スポット2つ[エスパース・クロード・ペリー]	今津 京子	美連協ニュース	100					「600ポンド寄付して下さい」 テート・ギャラリーのあっぱれ名画獲得術	前橋 重二	芸術新潮	702
オピニオン2008 ベーター・ネーヴァー[オーストリア国立応用美術&コンテンポラリーアート・ミュージアム]	小町 英恵	A X I S	131					来日した英テートのセロータ館長 「世界」の現代美術を身近に」 人気の分館「モダン」拡充予定[テート・モダン]	古賀 太	朝日夕刊	5.7
イタリア美術警察 VS. ゲティ美術館 盗掘品をめぐるトゥルー・ストーリー[J・ボール・ゲティ美術館]	前橋 重二	芸術新潮	699					語る 英テート館長ニコラス・セロータ100年先見越し創作者育成[テート・モダン]		日 経	6.8
薄光につつまれた極北の人びとのかそけきオブジェたち[ケブランリー美術館]	飛幡 祐規 取材	〃	707								

from the World 変化を続ける都市に現れた仮設アート空間 [テンボレーレ・クンストハレ・ベルリン]	小町 英恵	A X I S	136
地球ミュージアム紀行 文化の接触と交流の殿堂 トロッペン博物館／オランダ	吉田 憲司	みんなく	374
現代中国巧芸事情27 南京博物院蔵の敦煌写経	仲 佑樹	書道界	226
報道の博物館オープン ミワシントン [Newseum]	草野 和彦	毎日夕刊	4.12
研究員レポート 拡大する美術館—ニューミュージアムのリニューアル	西野 華子	国立新美術館ニュース	5
現在通信 From NEW-YORK ニュー・ミュージアム新築	富井 玲子	新美術新聞	1142
イタリア随行記 バルジェロ国立美術館新設の日本刀ブースに脇差を寄贈	カッパ啓子	刀剣美術	613
大改装するブーシキン美術館 就任46年、現役最高齢館長のひみつ	前橋 重二	芸術新潮	703
現代中国巧芸事情20 濃霧の中の武強年画博物館を訪ねて	仲 佑樹	書道界	219
表現の価値見直すブラダ ミラノに新タイプ美術館 [ブラダ財団ミラノ美術館]	高橋 牧子	朝日夕刊	5.28
ヨーロッパアート事情 “眠れる獅子”ブラド美術館の目覚め大改修 展示面積1.5倍に	今津 京子	美連協ニュース	97
通信 J to A アジアへ45 北京中央美术学院美術館とベルリン	南條 史生	新美術新聞	1169
芸術新潮特別企画 バリ・三越エトワールに息づく百貨店美術の100年	藤田 一人	芸術新潮	697
建築も作品もリサイクルでデザインミュージアムの再出発 [ミュージアム・オブ・アーツ&デザイン]	由本みどり取材	〃	708
現在通信 From NEW-YORK MAD [ミュージアム・オブ・アーツ&デザイン]	富井 玲子	新美術新聞	1170

ヨーロッパアート事情 バリに新しい美術スポット2つ [メゾンルージュ]	今津 京子	美連協ニュース	100
ルーブル、世界へ展開 アブダビに分館／作品の長期貸与も [ルーヴル美術館]	古賀 太	朝日夕刊	2.6
ヨーロッパアート事情 小さな町のユニークな美術館 [ルーベ市立芸術・産業美術館]	今津 京子	美連協ニュース	99
売るべきか、売らざるべきか ある地方美術館の「苦渋の選択」 [ワッツ・ギャラリー]	前橋 重二	芸術新潮	701

海外展

(ア行)

海外のアートシーンから ニューヨーク日本憲法第9条と戦後美術 [アトミック・サンシャインの中へ—日本国平和憲法第9条における戦後美術展、ザ・パフィン・ルーム、1/12—2/10]	杉浦 邦恵	美術手帖	906
ニューヨーカーが見つめた伊藤真乗“魂の芸術” [The Vision and Art of Shinjo Ito —伊藤真乗の目と手展、ミルク・ギャラリー、2/21—3/30]		芸術新潮	701
from the World 「5ポンド以内」に学ぶデザインの姿勢 [Industrial Facility —Some Recent Project、デザイン・ミュージアム(ロンドン)、5/9—9/28]	中島 恭子	A X I S	134
インスピレーション 建築 ヴェネチア・ビエンナーレ2008に見る、建築と植物の関係とは? [第11回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展、ジャルディーニ、アルセナーレ他、9/14—11/23]	ぼむ 企画	〃	131
建築は今、何を越えようとしているのか? 第11回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展	平塚 桂	〃	136

WORLD NEWS ヴェネツィア・ヴェネツィア建築ビエンナーレで見た 大胆で繊細な「究極の自然」

暮沢 剛巳 美術手帖 915

ベネチア・ビエンナーレ建築展 日本館は実物で勝負

大西 若人 朝 日 1.26

ベネチア建築展 建築を超えた展示、随所に ガラスの温室・ベッドのみ・「鳥の巣」...

古賀 太 〃 10.23

ヴェネチア建築展報告 石上純也が世界デビュー 植物とユーロビアの融合

五十嵐太郎 東京タ刊 10.24

ベネチア・ビエンナーレ国際建築展に参加して 既存建築の外部環境生かした日本館

〃 毎日タ刊 11.6

(力行)

WORLD NEWS ジャカルタ、ジョグジャカルタ、バンドゥン 日本のアートがやって「来た」!! インドネシア各地で多彩な交流[KITA!! Japanese Artists Meet Indonesia 2008年日インドネシア友好年記念事業、タマン・イスマイル・マルズキ、スラサー・スナリヨ・アート・スペース、コモ・ルーム、ジョグジャ・ナショナル・ミュージアム、チエムティ・アート・ハウス、ルアン MES 56、LIP、Kionki、4/19—5/18]

原 久子 美術手帖 909

インドネシアで日本現代アート展[KITA!! Japanese Artists Meet Indonesia 2008年日インドネシア友好年記念事業]

日経タ刊 4.24

topic 1 第7回韓国光州ビエンナーレ [第7回光州ビエンナーレ「年次報告—展覧会の一年」、ビエンナーレ展示館、光州市立美術館、穀齊美術館、大仁市場、光州劇場、9/5—11/9]

張 智英 CLOSET

WORLD NEWS 光州 テーマは観客にゆだねる、という、国際展の客観的方法論

北澤ひろみ 美術手帖 916

光州・釜山ビエンナーレ報告 薄らぐ公共美術展の意義

藤田 一人 東京 10.4

現代美術展 光州・上海ビエンナーレ 社会の多様性映す

小澤 慶介 日経タ刊 10.14

韓国の2国際展を見て[第7回光州ビエンナーレ「年次報告—展覧会の一年」]

石川 健次 毎日 10.29

韓国のビエンナーレ 素朴・明快2つの熱気[第7回光州ビエンナーレ「年次報告—展覧会の一年」]

菅原 教夫 読 売 10.9

大型展評 FOCUS 此木三紅大の絵画彫刻展[此木三紅大個展, SHUN ART GALLERY SHANGHAI, 10/13—11/15]

磯部 靖 美術の窓 293

(サ行)

WORLD NEWS サンタフェ 「聖なる信仰」という名の街から提議された国際展のあり方[サイト・サンタフェ 第7回国際ビエンナーレ「ラッキー・ナンバー・セブン」、サイトサンタフェ他市内各所、7/22—2009/1/4]

竹久 侑 美術手帖 913

海外のアートシーンから ニューヨーク ニューヨークの関心を引く日本のアーティスト [THE MASKED PORT-RAIT、マリアン・ボースキー・ギャラリー、1/11—2/9]

杉浦 邦恵 〃 905

WORLD NEWS サンパウロ 資金難に施行錯誤するサンパウロ・ビエンナーレ [第28回サンパウロ・ビエンナーレ: 生きた接点、ビエナル館、10/26—12/6]

仁尾 帯刀 〃 917

平成21年度海外展報告 ブラジル連邦共和国における日本古美術展「色彩の開花—江戸時代の工芸」[サンパウロ州立美術館、4/18—6/22]

齊藤 孝正 文化財* 541

通信 J to A アジアへ41 スパイラルと廃墟[第16回シドニー・ビエンナーレ、ニュー・サウスウェールズ州立美術館、シドニー現代美術館、コカトー島など、6/18—9/7]

南條 史生 新美術新聞 1158

WORLD NEWS シドニー 今年目白押しの環太平洋圏の国際展 まずはシドニーから好スタート[第16回シドニー・ビエンナーレ]

原 久子 美術手帖 912

WORLD NEWS 上海 ビエンナーレもアートフェアも……街中で盛り上がるアートイベントを総ざらい[第7回上海ビエンナーレ、上海美術館、9/9—11/16]

石田留美子 " 915

現代美術展 光州・上海ビエンナーレ 社会の多様性映す

小澤 慶介 日経タ刊 10.14

文化往来 金閣の中に入り込む仮想映像、バリで公開[相国寺金閣 銀閣名宝展〜京都における禅と美術へ、バリ市立ブチパレ美術館、10/15—12/14]

日 経 10.9

ブチパレ美術館 相国寺・金閣・銀閣名宝展 禅文化を五感でつかむ 深い精神性にバリ驚嘆

古賀 重樹 " 11.2

通信 J to A アジアへ40 シンガポール・ビエンナーレ現況[第2回シンガポール・ビエンナーレ、市内各地、9/11—11/16]

南條 史生 新美術新聞 1155

通信 J to A アジアへ44 シンガポール・ビエンナーレ開幕(1)

" " 1166

WORLD NEWS ソウル 10年という節目を迎えた国際展からメディア・アートを展望する[第5回ソウル国際メディアアートビエンナーレ：転換と拡張、ソウル美術館、9/12—11/12]

編集部 美術手帖 915

ソウル メディアアート展 技術と融合可能性を示す「次なる思考」表現に

大西 若人 朝日タ刊 10.29

(タ行)

醍醐寺の至宝ドイツで公開 密教の宇宙観に高い関心[醍醐寺・日本密教僧院 聖なる山の寺宝、ドイツ国立美術館展示館(ボン)、4/25—8/24]

田中 京子 朝 日 7.1

大型展評 FOCUS 田淵俊夫展[パリ・三越エトワール、9/20—11/22]

磯部 靖 美術の窓 302

WORLD NEWS テグ(大邱) 韓国第3の都市大邱で写真ビエンナーレ開催[テグ写真ビエンナーレ 2008：今・昔—未来の記憶、見本市会場「EXCO」、テグ文化芸術センター他、10/31—11/16]

飯沢耕太郎 美術手帖 917

世界の版画事情 ニューヨーク・アメリカ 大江戸ワールドを紹介する、浮世絵の展覧会を開催[Designed for Pleasure: The World of Edo Japan in Prints and Paintings, 1680—1860、アジア・ソサエティ・ミュージアム、2/27—5/4]

セバスチャン・イザード 版画芸術 140

"Tokyo Nonsense" in L.A. [東京ナンセンス展、SCION Installation L.A.、10/4—10/25]

ガブリエル・リッター 奥村 雄樹 翻訳 美術手帖 907

海外のアートシーンから 上海 日韓作家たちは「人形の館」を幻出[ドールハウス 日韓メディア・アート展、徐匯芸術館、10/20—11/10]

石田留美子 " 903

(ナ行)

パリの展覧会で柳宗悦・棟方志功など紹介「民芸」・日本デザインに脚光 歴史的背景を評価、「無印」人気も影響[日本の民芸精神、ケ・プランリー美術館、9/30-2009/1/11]

古賀 太 朝日夕刊 10.22

(ハ行)

WORLD NEWS パリ 日本の写真家130人がずらり。写真フェア「パリフォト2008」[カルーセル・デュ・ルーヴル、11/13-11/16]

伊東 豊子 美術手帖 918

平山郁夫芸術展 北京開催[中国美術館、4/18-4/26]

高野 清見 読売夕刊 5.1

WORLD NEWS 釜山 一つのテーマに貫かれた 港町のビエンナーレ[釜山ビエンナーレ2008「蕩尽」、釜山市立近代美術館、釜山ヨットセンター、広安里ビーチ、ミー・ワールド、APEC ナル公園ほか、9/6-11/15]

北澤ひろみ 美術手帖 916

光州・釜山ビエンナーレ報告 薄らぐ公共美術展の意義

藤田 一人 東京 10.4

韓国の2国際展を見て[釜山ビエンナーレ2008「蕩尽」]

石川 健次 毎日 10.29

韓国のビエンナーレ 素朴・明快2つの熱気[釜山ビエンナーレ2008「蕩尽」]

菅原 教夫 読売 10.9

WORLD NEWS ブライトン 戦場からの写真を検証する ブライトン・フォト・ビエンナーレ[ブライトン・フォト・ビエンナーレ2008、ブライトン大学ギャラリー、パラント・ハウス・ギャラリー、ライトハウスほか市内各所、10/3-11/16]

伊東 豊子 美術手帖 918

WORLD NEWS ソウル キーワードは時間と身体 プラットフォーム・ソウル開催[プラットフォーム・ソウル2008、アートソング・センター、旧ソウル駅ほか市内全12か所、10/25-11/23]

吉崎 和彦 " "

WORLD NEWS プラハ 世界への「恐るべき観察」に満ちた プラハ・トリエンナーレ開幕[プラハ・トリエンナーレ2008、プラハ・ナショナルギャラリー、6/3-9/14]

南畠 宏 " 911

国際展のありかた「再読」開催中のプラハ・トリエンナーレ 少数支配を批判、対話を尊重

" 東京 7.19

「フランスが夢見た日本」展 パリ・オルセー美術館で開催中[10/21-12/7]

日経 11.15

Reviews : Art. 02 『Heavy Light : Recent Photography and Video from Japan』 [国際写真センター(ICP)、ニューヨーク、5/16-9/7]

中森 康文 ART iT 20

現在通信 From NEW-YORK OUCH(ア、痛一)[Heavy Light : Recent Photography and Video from Japan]

富井 玲子 新美術新聞 1156

SV ART PHOTO GALLERY Heavy Light:Recent Photography and Video from Japan

小林 美香 STUDIO VOICE 390

文化往来 日本の伝統とサブカル示す写真展、米で開催 [Heavy Light : Recent Photography and Video from Japan]

日経 2.8

権威と大衆つなぐ「絵画」の現在 北京国際美術ビエンナーレ 圧倒的な視覚経験 [第3回北京国際美術ビエンナーレ、中国美術館ほか、7/8-8/24]

南畠 宏 東京 8.16

WORLD NEWS ベルリン クリエイター注目都市を象徴... ベルリン・ビエンナーレは昼も夜も最高潮! [クンスト・ヴェルケ、シンケル・パヴィリオン、ノイエ・ナショナルギャラリー、彫刻パークほか市内各所、4/5—6/15]

河井 純枝 美術手帖 908

(マ行)

WORLD NEWS 南チロル 地理的な境界にとらわれない「欧州」という概念 [マニフェスタ7 欧州現代美術ビエンナーレ、南チロル地方、7/19—11/2]

三木あき子 " 913

特別レビュー ファッション+建築+アートが融合する「移動する美術館」[MOBILE ART CHANEL CONTEMPORARY ART CONTAINER BY ZAHA HADID、Star Ferry Car Park、2/27—4/5]

小崎 哲哉 ART iT 19

SV ART ART SPACE MOBILE ART CHANEL CONTEMPORARY ART CONTAINER BY ZAHA HADID

児島やよい STUDIO VOICE 389

(ラ行)

WORLD NEWS サンパウロ 生(ライフ)が紡ぎ出す「個」のかたち [ライフがフォームになるとき—未来への対話/ブラジル、日本、サンパウロ近代美術館、4/10—6/22]

編集部 美術手帖 912

Reviews : Art 02 『Laughing in a Foreign Language』[ヘイワード・ギャラリー、1/25—4/13]

セン・ウェンダ ART iT 19

海外のアートシーンから ロンドン 日本の「お笑い」アートが英国上陸! [Laughing in a Foreign Language]

伊東 豊子 美術手帖 906

WORLD NEWS リバプール 10周年を迎えたリバプール・ビエンナーレ [リバプール・ビエンナーレ2008、テート・リバプール、FACTa、オープン・アイ・ギャラリーほか市内各所、9/20—11/30]

" " 916

Reviews : Art 04

榮榮&映理
『從六里屯到二影堂』
[三影堂攝影藝術中心(北京) 8/8—10/7]

マヤ・コヴ
スカヤ ART iT 21

(ワ行)

パリの展覧会で柳宗悦・棟方志功など紹介 「民芸」・日本デザインに脚光 歴史的背景を評価、「無印」人気も影響 [WA(和) 現代日本のデザインと調和の精神、パリ日本文化会館、10/22—2009/1/31]

古賀 太 朝日夕刊 10.22

美術展覧会図録所載文献

企画展

(ア行)

アーツ・アンド・クラフツ(イギリス・アメリカ) 北海道立釧路芸術館他

英国におけるアーツ・アンド・クラフツ運動
ピーター・コーマック
門田 牧子 訳

米国におけるアーツ・アンド・クラフツ運動
ウェンディ・キャプラン
門田 牧子 訳

アーツ・アンド・クラフツの住宅からモダニズムへ
モリス、ヴォイジ一、マッキントッシュ、そしてホフマン、ライト
木村 博昭

アーツ&クラフツ展—生活と芸術
ウィリアム・モリスから民芸まで
京都国立近代美術館他

モリスから民芸まで—イギリス、ヨーロッパおよび日本におけるアーツ・アンド・クラフツ運動
カレン・リヴィングストン
安藤 恭子 訳

ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ運動
リンダ・バリー
安藤 恭子 訳

日本におけるアーツ・アンド・クラフツ—民芸成立から上加茂民芸協団、三国荘を巡って—
松原 龍一

民芸運動における工芸作家：新世代の誕生
ルパート・フオークナー
安藤 恭子 訳

最初の「民芸館」三国荘—「民芸建築」の出発点—
川島 智生

アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち 国立新美術館

白い静寂を映す鏡 本橋 弥生

市川武史 南 雄介
ポリクセニ・パペ
ペトルー //

佐伯洋江 //

《Hako》をめぐる 長屋 光枝

白井美穂の「芸術についての三部作」について 南 雄介

祐成政徳 //

記憶するための装置 本橋 弥生

アートイニシアティヴ・プロジェクト「Exhibition as media 2008」
『LOCUS』 神戸アートビレージセンター

Guest talk A 飯田志保子
住友 文彦
高橋 瑞木

Guest talk B 石川 直樹

Artists talk 木藤 純子
国谷 隆志
栗田 咲子
田中 秀和
三宅 砂織

Art of our time—バルテュスから草間彌生まで—高松宮殿下記念世界文化賞二〇周年 上野の森美術館

展覧会によせて 高階 秀爾

アール・ブリュット／交差する魂
ローザンヌ アール・ブリュット・コレクションと日本のアウトサイダー・アート 北海道立旭川美術館他

浮上しはじめた日本のアール・ブリュットたち はたよしこ

対極間の電気ショート リュンエンヌ・ペリー

同行一人—アウトサイダー・アーティスト巡礼行 都築 響一

アール・ブリュットの実践と研究の現場を訪ねて—スイス、ドイツ、オーストリア取材記 はたよしこ

芸術を通じて響き合う魂—創作力と技術力 田島 征三

アール・ブリュットと「関係」するこ 斎藤 環

アール・ブリュット—パリ、abcdコレクションより—生命の^{いのち}アートだ。 滋賀県立近代美術館

abcdとは
ブリュノ・ドシャルム、
バルバラ・シャフアー
ジョヴァー
原口 研治 訳

アール・ブリュットと日本 服部 正

「心霊」は芸術を深めたか?—フランス19世紀の「心霊」ブームと「無意識」概念 稲垣 直樹

身体は繰り返す
美の術と身体^のの術 細馬 宏通

滋賀県における知的障害児の造形活動の展開 吉永 太市

「アール・ブリュット／交差する魂」展からみえてきたもの はたよしこ

医療現場におけるアートの可能性—ホスピタル・アートを通して 森口ゆたか

アヴァンギャルドと子どもの絵 山本 淳夫

美術館という制度のなかで行うラディカルな鑑賞法
「アール・ブリュット—パリ、abcdコレクションより—」展における、鑑賞ワークショップ
「見て、聞いて、話して、もう一度見てみたら」の試み 山下 里加

会津藩蝦夷地を守る〜北方警備二百年記念展 若松城天守閣郷土博物館

概説 中岡 進

こぼれ話 唐太分 //

アイヌの工芸—ペンシルバニア大学考古学人類学博物館ヒラーコレクション— 新潟県立歴史博物館他

情熱にあふれた冒険：1901年、北海道にて ハイラム・ヒラーと小谷部全一郎	エイドリャ・カット	憧れのヨーロッパ陶磁—マイセン・セーヴル・ミントンとの出会い— 京都国立博物館他		モダニズムとジャポニスム—ヨーロッパによる自己と他者の表現	渡辺 俊夫
ハイラム・M・ヒラーのアイヌ資料の背景—海外、とくに北米のアイヌ資料との関連において—	小谷 凱宣	ヨーロッパ陶磁と日本 尾野 善裕		モダンガールの上海・香港—ポスターに見る中国の自己像—	ラワンチャイクン寿子
ハイラム・H・ヒラーとコレクション	青柳 信克	アジアとヨーロッパの肖像 国立民族学博物館／国立国際美術館		近代ヨーロッパのポスター	吉田 紀子
アヴァンギャルド・チャイナ—〈中国当代美術〉二十年—	国立新美術館他	まえがき ブライアン・ダランズ		アジアという他者、アジアの他者—現代世界を調整する術—	黒田 雷児
キツチュとアヴァンギャルド	建畠 哲	総論：アジアとヨーロッパの「肖像」—ひととはひとをどのように描いてきたのか—	吉田 憲司	現代の肖像表現—そのリアリティを支えるもの—	安来 正博
始まりの20年 80年代と90年代の中国現代美術	費秋山 大為 珠子 訳	それぞれの肖像—アジアの肖像の特徴と広がり—	川口 幸也	現代の消費資本主義社会における「自己」と「他者」	ケイティ・ディープウェル
中国におけるコンセプチュアリズム	平芳 幸浩	ヨーロッパの肖像	ブライアン・ダランズ	さまよえるゴッホ	森村 泰昌
絵画—社会への眼差し—	古田 浩俊	想像のなかのアジア、想像のなかのヨーロッパ	吉田 憲司	新しき村90年 “人間らしく生きる” 調布市武者小路実篤記念館	
'89以降の絵画—「物語の終焉」を超えて—	中井 康之	中国と日本の肖像：オランダ黄金時代の状況	ティス・ウエストステイン	人間らしく生きる—協力と独立、労働と芸術の調和を求めて—	福島さとみ
中国現代美術における身体表現	平井 章一	古地図とそこに描かれた肖像たち	三好 唯義	アトリエの末裔あるいは未来展4回 旧平櫛田中邸	
中国現代アートの転換期とビデオ・アート	長屋 光枝	近代日本人の異国認識—憧憬・好奇・畏怖・蔑視—	嶋村 元宏	彫刻の近代	古田 亮
青木繁記念大賞公募展17回 美術館他	石橋	風景に人びとを住まわせる—15世紀から19世紀における、ヨーロッパにおけるアジアのイメージ—	アンガス・ロッキヤー	ANIMAL FANTASY イヌイト・アート&動物たち 北海道立近代美術館	
座談会「審査を終えて」	酒井 忠康 佐野 ぬい 田口 安男 淀井 彩子	南蛮屏風	日高 薫	どうぶつ とひとが ころを かよわせる ばし	新明 英仁
赤坂檜町の三万年 東京ミッドタウン前史 旧石器—長州藩下屋敷—歩兵第一連隊 港区立港郷土資料館		ワヤン・ブルジュアンガン	福岡 正太	家康・吉宗・家達—転換期の徳川家— 江戸東京博物館	
Column 古墳時代の港区—芝丸山古墳を中心に—	松本 健	バタヴィアの景色	J・H・ファン・ブラーケル	転換期の将軍一家 康と吉宗—	大石 学
Column 今に残る長州藩下屋敷の建築物	川上 悠介	アジアの目を開く	ナイジェル・バーリー	秀吉臣従化前後の徳川家康	齋藤 慎一
萩藩毛利家屋敷跡遺跡の発掘調査	伊藤 健	陶磁器に刻印されたまなざしの交錯	吉田 憲司	大日本帝国の中の徳川将軍家—十六代当主家達の履歴—	徳川 家広
江戸時代中期の萩藩麻布下屋敷	宮崎 勝美	日本と洋画とヨーロッパ—撮取から交錯へ—	初山 昌夫	「訴状留」にみる民衆の直訴	望月 良親
長州藩麻布下屋敷跡の「麻布龍土植物場」について	吉崎 雅規	「自己」との乖離—「他者」の手法がもたらす近代的意識の変容、アジアの場合—	水沢 勉	「訴状留」釈文	藤田 英昭 望月 良親
				石山寺と湖南の仏像—近江と南都を結ぶ仏の道— 大津市歴史博物館	

石山寺と湖南の仏像—近江と南都を結ぶ仏の道—	寺島 典人	コラム 中世太子伝と親鸞の太子信仰	新川 哲雄	《ポーランドの壺》にみるウェッジウッドの成功の秘密	岩井美恵子
石山寺の美 観音・紫式部・源氏物語 三越(新潟)他		コラム 在地伝承と聖徳太子絵伝—「清園寺縁起絵」の事例から	岡本 麻美	ウェッジウッド家について	トーマス・ロウランド・ウェッジウッド
石山寺の歴史と信仰	綾村 宏	因幡・伯耆の王者たち	鳥取県立博物館	伝統と革新、そしてモダニズム—ウェッジウッドのデザイン	坂本 牧子
石山寺縁起絵巻と石山寺の古美術	梶谷 亮治	因幡・伯耆の古墳を巡る 1 銅鏡	東方 仁史	「ジャパネスク」シリーズの共同作者、中村卓夫氏に聞く	森谷 美保 聞き手
石山寺の紫式部図と源氏絵	片桐 弥生	因幡・伯耆の古墳を巡る 2 埴輪の地域性	〃		
住吉如慶・具慶の源氏物語画帖	高松 良幸	因幡・伯耆の古墳を巡る 3 須恵器の展開	〃		
伊勢の歌舞伎と千束屋—神都に伝わる伊勢人のこゝろ—	皇学館大学佐川記念神道博物館	イマジネーション 視覚と知覚を超える旅 映像をめぐる冒険 vol. 1	東京都写真美術館	上野の森美術館大賞展 25 回 入賞者展 上野の森美術館	
伊勢の歌舞伎と千束屋	石川 達也	視覚と知覚を超える旅	岡村 恵子	作家の言葉 \$ 一居 弘美	
伊勢歌舞伎の輝き	川添 裕	岩崎家の古伊万里—華麗なる色絵磁器の世界 静嘉堂文庫美術館		光を紡ぐ 佐藤 和栄	
イタリア・ボローニャ国際絵本原画展2008 板橋区立美術館他		伊万里磁器の精華	荒川 正明	おとといあした 武内 明子	
アニュアル表紙・特別展示 アイナール・トゥルコウスキ	ハンス・テン・ドールンカート	静嘉堂の肥前磁器コレクション	長谷川祥子	丘 丹羽 康子	
	バルバラ・プラトローヴァ	印象派の光、エコール・ド・パリの夢 AIGコレクション 富山県立近代美術館		作家の言葉 \$ 真鍋 修	
	ティエリー・マニエ	社会の中の美術—フランス近代美術の特質	高橋 明也	〃 與倉 玲	
[コメント]2008年国際審査団のメンバーたち	ベルント・モルク=タッセル	ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密 国立新美術館他		上野の森美術館大賞展 26 回 明日をひらく絵画 上野の森美術館他	
	ファビアン・ネグリン	西洋絵画における静物画の歴史—古代ギリシャ・ローマ時代から19世紀まで	カール・シュッツ	入賞者の言葉 \$ 岩崎 奈美	
2008年 審査報告	唐 亜明	静物画の生成と『時祷書』の伝統	菅野 晶 訳	〃 福島沙由美	
厳島神社の刀剣—神に捧げた工芸の美— 泉屋博古館		上杉伯爵家の明治	米沢市上杉博物館	〃 阿部 栄一	
厳島神社の刀剣	稲田 和彦	上杉伯爵家の宝物管理	浅倉 有子	〃 村上 敬子	
伊那谷の仏教絵画—聖徳太子絵伝と真宗の宝を集めて— 飯田市美術館		ウェッジウッド—ヨーロッパ陶磁器デザインの歴史 創立250周年 岐阜県現代陶芸美術館他		〃 渡辺 美佐	
中世聖徳太子絵伝の世界像	阿部 泰郎	ジョサイア・ウェッジウッド—類似希なる人物	ゲイ・ブレイク・ロバーツ	〃 国貞美根子	
聖徳太子絵伝の展開とその機能	村松加奈子			審査所感 上村 淳之	
飯田市美術館博物館蔵「聖徳太子絵伝」トレース図作成について	宮下真理子 藤原 重雄 織田 顕行			〃 絹谷 幸二	
聖徳太子絵伝と伊那谷の真宗絵画	織田 顕行			〃 佐野 ぬい	
				〃 土屋 禮一	
				〃 日野耕之祐	
				〃 福井 爽人	
				〃 山本 文彦	
				VOCA展2008 現代美術の展望—新しい平面の作家たち 上野の森美術館	
				選評 高階 秀爾	
				選考所感 酒井 忠康	
				再考・映像の時代の絵画 建畠 哲	
				移ろいについて 本江 邦夫	
				選評 逢坂恵理子	
				セザンヌの山から 南 薫 宏	

浮世絵—ベルギーロイヤルコレクション展 ベルギー王立美術歴史博物館・ベルギー王立図書館所蔵 太田記念美術館他

ベルギー・ブリュッセルの浮世絵 永田 生慈

ベルギー王立美術歴史博物館日本版画コレクションの成り立ちについての概要 シャンタル・コジレフ

ベルギー王立図書館版画室とその浮世絵コレクション ゴットリーヴ・デナーエン

失われた国宝 名古屋城本丸御殿—創建・戦火・そして復元 名古屋城天守閣

名古屋城本丸御殿の建物・換金具の材質分析 西山 要一

名古屋城本丸御殿の飾金具—焼損金具等の分析結果とその意義— 久保 智康

永遠なれ 本丸御殿 朝日美砂子

美しい木の椅子 長野県信濃美術館

美しい木の椅子展 島崎 信

椅子との出会いから椅子の研究にいたるまで 織田 憲嗣

長野の技と素材が育む椅子 足立 圭

海のシルクロードの出発点“福建”—沈没船、貿易都市、陶磁器、茶文化— 愛知県陶磁資料館他

福建の歴代文化と海外交流 楊 琮

中国福建地区古代貿易陶磁の生産と輸出 栗 建安

コラム1 閩越時代の考古研究 杉本 憲司

コラム2 福建の幻の古代国家—閩越と東越 鶴間 和幸

コラム3 唐・五代の福建 氣賀澤保規

コラム4 閩国劉華墓とその出土文物 ”

コラム5 馬坑山五大墓の出土品 ”

コラム6 宋・元時代の福建—マルコ・ポーロの目を通して 櫻井 智美

コラム7 泉州—経済史上の位置 宮澤 知之

コラム8 泉州の宗教石刻とその周辺 氣賀澤保規

コラム9 泉州の沈没船 森 達也

コラム10 福建の文人文化 櫻井 智美

コラム11 茶園山南宋墓(許峻墓)の金銀器 氣賀澤保規

コラム12 福建の茶道具 谷 晃

コラム13 北苑茶園 森 達也

コラム14 日本における茶湯の成立と展開 荒川 正明

コラム15 沈没船資料と日元貿易 門田 誠一

コラム16 明清時代の福建・マニラ交易とキリスト教 武内 房司

コラム17 鄭和と泉州 寺内威太郎

コラム18 鄭成功と倭寇 ”

コラム19 スペイン銀貨と東アジア経済 徳留 大輔

コラム20 琉球と福建 ”

コラム21 楽園への夢を誘ううつわ—華南三彩から織部、古九谷へ— 荒川 正明

コラム22 福建閩西の土楼と客家の人々 茂木計一郎

コラム23 東アジアに広がる媽祖信仰—福建と長崎 櫻井 智美

コラム24 黄檗文化と煎茶 大槻 倫子

コラム25 武夷山の自然と文化 小田部英勝

コラム26 福建のお茶と料理 中橋 俊夫

コラム27 福建省の博物館 放生 育王

コラム28 福建沖の沈没船 森 達也

コラム29 福建の陶磁器と窯址—日本との関係から— ”

中国福建地区の窯址紹介 栗 建安

海を越えてきたみほとけたち—大陸渡来の仏教美術 福井県立美術館

福井と海を越えてきたみほとけたち 戸田 浩之

ウルビーノのヴィーナス 古代からルネサンス、美の女神の系譜 ウフィツィ美術館の至宝 国立西洋美術館

古代ギリシアとローマにおけるヴィーナス像の系譜 ファブリツィオ・パオルッチ 加藤磨珠枝 訳

ルネサンスにおけるヴィーナス像 マリア・スプラメーリ 金山 弘昌 訳

知性と愛：ヴィーナスの二面性 ジョヴァンナ・ラッツィ 金原由紀子 訳

横たわる裸婦の図像と《ウルビーノのヴィーナス》 渡辺 晋輔

運慶流 山口県立美術館他

運慶のひみつ序説 山本 勉

コラム1 二〇〇七年の運慶 竹下 正博

コラム2 ほとけの内と外 ”

コラム3 伝説の仏師—運慶 岩井 共二

コラム4 蒙古襲来と中世美術 竹下 正博

コラム5 戦とほとけ—蒙古襲来と運慶流 ”

コラム6 運慶五代—康誉をめぐつて 岩井 共二

コラム5 康俊が二人になるまで ”

運慶流小伝 竹下 正博

蒙古襲来の時代 本多 美穂

液晶絵画 Still/Motion 三重県立美術館他

Still/Motion 建畠 哲

映像と時間 ミロスワフ・パウカとドミニク・レイマンの映像表現を中心に	加須屋明子	平やかさと広やかさ エルヴィン・フォン・ベルツの金工コレクションを介して	藤井 素彦	大阪を語る。	小杉 武久 小吹 隆文 聞き手
時よ止まれ、お前は美しいのか？ 絵と映像のA感覚	石崎 勝基	ドイツに渡った激動期の漆工品—今回の展示品について—	高橋あけみ	大阪を語る。	松本 雄吉 小吹 隆文 聞き手
映像表現史 映像と絵画の〈あいだ〉	稲垣 貴士	ベルツの贈り物	小井川百合子	座談会「アート西遊記、ガンダーラへの道？」最新の大阪アートドキュメント	大野 裕子、 小吹 隆文、 おかけんた 加藤 義夫 司会
絵図が語る みなと新潟 開館5周年 新潟開港140周年記念 新潟市歴史博物館		江戸名所図会の世界展 名所を愉しむための7つのレッスン 北区飛鳥山博物館		大庄屋って何？—安曇郡・清水家文書の三五〇年— 長野県立歴史館	
絵図が語るみなと新潟—展示と資料	長谷川 伸	『江戸名所図会』の成立と引用書について—王子権現社、王子稲荷の杜、飛鳥山—	齊藤 智美	大庄屋の家と八卦占い	志村 洋
江戸時代の書 禅林墨跡を中心に 菅間コレクション 成田山書道美術館		現代美術への視点6 エモーショナル・ドローイング 東京国立近代美術館		清水家文書にみる明治期安曇郡の書籍文化	鈴木 俊幸
古美術と私 菅間 健之		エモーショナル・ドローイングについて	保坂健二郎	大浜陣屋の世界—今に生きる碧南の歴史— 碧南市藤井達吉現代美術館	
江戸と明治の華—皇室侍医ベルツ博士の眼— 岐阜市歴史博物館他		\$ 作家の言葉 \$	坂上チユキ	解説 大浜陣屋の世界	豆田 誠路
シュトゥットガルト・リンデン民俗学博物館略史	ウタ・ヴェルトリッヒ 河合 哲夫 訳	王朝の恋—描かれた伊勢物語 美術館	出光	オールドノリタケと懐かしの洋食器 世界に誇る和製テーブルウェア 東京都庭園美術館他	
リンデン民俗学博物館東洋美術部の日本美術コレクション	クラウス・J・ブラン ト ダレン・ダ モンテ 訳	描かれた伊勢物語—「宗達色紙」の成立をめぐる	笠嶋 忠幸	守屋コレクションにみる洋風陶磁産業の歩み	鈴木 潔
ベルツの眼—ドイツ人が選び抜いた江戸後期から明治期の美術・工芸	大熊 敏之	ふたつの屏風—伊勢物語絵の変奏	実方 葉子	日本の洋風陶磁器—そのデザインの生成	守屋 知子
美術作品収集家ベルツ博士について	スザンネ・ゲルマン 前田 文子 訳	昔、男ありけり—伊勢物語への招待	上野 英二	京都製陶所瓢池園について	大槻 倫子
岸派の猫	岩佐 伸一	大阪・アート・カレイドスコープ 2008 —大阪時間。— 大阪府立現代美術センター／大阪市内各所		岡山県立美術館所蔵 雪舟と水墨画 千葉市美術館	
松村景文—生彩な花鳥画の世界	大森 拓士	北川フラムさん、大阪の魅力って何ですか？	加藤 義夫 聞き手	岡山県立美術館水墨画コレクション 概説	守安 收
幕末・明治の日本画とベルツ	藤間 寛	大阪・アート・カレイドスコープ 2008開催にあたり	中塚 宏行	唐画師 淵上旭江	伊藤 紫織
印籠について	クラウス・J・ブラン ト	遠藤利克さんインタビュー。	村田 真 聞き手	オキナワ／カワサキ—二つの地をつなぐ人と文化— 川崎市市民ミュージアム	
根付について	〃	三島喜美代さんインタビュー。	小吹 隆文 聞き手	「民芸的なもの」の流行—濱田庄司の沖縄とフォークロリズム—	濱田 琢司
海を渡った「江戸解き」「御所解き」—流転する武家女性の小袖—	小山弓弦葉	松井紫朗さんインタビュー。	〃	沖縄・プリズム 1872—2008 東京国立近代美術館	
E. ベルツと明治の陶磁	出川 哲朗	上町台地の地球時間。海音川ringing riverに向けて	原田 明夫	沖縄・プリズム—隔たりを生きる倫理	鈴木 勝雄
				乱反射する沖縄	〃
				音に恋した美術展 安曇野市豊科近代美術館他	

音に憧れるかたち 佐藤 友哉
音に恋した美術 三澤 新弥
奏でられた絵画 松谷由香里
書をめぐる音楽 角井千代絵
親子へ贈る美術展 瀬戸 厚志

おひなさま 愛媛県歴史文化博物館

西条藩松平家の雛
人形と雛道具につ
いて 井上 淳

おらんだの楽しみ方 江戸の舶来文
物と『蕨録』 たばこと塩の博物館開
館30周年記念 たばこと塩の博物館
『蕨録』について 湯浅 淑子

おん祭と春日信仰の美術 奈良国立
博物館

おん祭の田楽 松村和歌子
興福寺大乗院主・
尋尊について 清水 健
春日講あれこれ //

日本の新進作家展 vol.7 オン・ユ
ア・ボディ 東京都写真美術館

オン・ユア・ボディ
ー日本の新進作
家 笠原美智子
「Sight」 朝海 陽子
TIARA 澤田 知子
写真は私と世界と
の接点 塩崎由美子
「カナリア」へ向け
て 志賀理江子
《Tokyo Mid I》
《Tokyo Mid II》
《Tokyo Mid III》
Untitled 高橋ジュン
コ
《Forever (and
again)》 横溝 静

(力行)

絵画のコスモロジー 多摩美術大学
美術館

アンドロギュヌス
的宇宙—絵画のコ
スモロジー 中村 隆夫
絵画に関する認識
を構成する基本コ
ンセプト 橋本 倫
絵画寸考 黒須 信雄
雲の中に、花の中
に 小山利枝子

画家の絵手紙 国画創作協会の画家
たちを中心として 笠岡市立竹喬美
術館

画家の絵手紙 手
紙を通して見る画
家たちの交流とそ
の展開 上 藺 四郎

加賀の名宝・石川の工芸の粋を集め
て—石川県立美術館名品展 高崎市
美術館

石川県の美術工芸
—加賀文化の成立
と展開— 嶋崎 丞

柿右衛門と鍋島—肥前磁器の精華—
出光美術館

柿右衛門と鍋島—
肥前磁器の精華— 荒川 正明
柿右衛門と鍋島—
その成立技術の謎
に迫る— 村上 伸之

KAZARI 日本美の情熱 サントリ
ー美術館他

「KAZARI」展に思
うこと 辻 惟雄

コラム 宴をかざ
った漆のうつわ—
重箱・堤箱・茶弁
当— 日高 薫

コラム かざらな
いかざり 荒川 正明

金沢文庫の浮世絵 神奈川県立金沢
文庫

「金沢文庫の浮世
絵」総説

CAF. ネビュラ展 2008 埼玉県立
近代美術館

ネビュラという渦 小野寺優元
絵画・彫刻におけ
る現代性とは—小
山利枝子、吉田
直、橋本トモコ 中村 隆夫

鎌倉の精華—鎌倉国宝館開館八十周
年記念— 鎌倉国宝館

鎌倉国宝館八十年
のあゆみ 三浦 勝男

神につかえ 仏にいのる 斎宮歴史
博物館

神につかえ 仏に
いのる—聖武天皇
の娘たち— 中山由紀子

瓦が語る—かながわの古代寺院 神
奈川県立歴史博物館

忍冬交飾蓮華文軒
丸瓦の展開をめぐ
って 國平 健三

解説 古川 元也

漢詩人岡本黄石の生涯—第三章 三
百篇の遺意を得る者— 世田谷区立
郷土資料館

増村朴斎と田辺松
坡—教育に生き、
漢詩に生きて— 村山 吉廣

三百篇の遺意を得
る者 武田庸二郎

木造岡本黄石正座
像について 鈴木 泉

全漢詩文作品訓読
并注釈 重野 宏一

奇跡の仮面、大集合!!—紀州東照宮
・和歌祭の面掛行列— 和歌山県立
博物館

和歌祭面掛行列の
過去・現在・未来 大河内智之

北の彫刻展 2008 —心の中の自由な
世界— 本郷新記念札幌彫刻美術館

北の彫刻展2008—
心の中の自由な世
界— 井上みどり

§ 作家の言葉 § 阿地信美智

〃 柿崎 均

〃 川上 勉

光と闇(光にあら
ざるもの)の間に
色彩が生まれる 佐々木秀明

§ 作家の言葉 § 藤田 真理

〃 丸岡 哲也

キトラ古墳壁画十二支〜子・丑・寅
〜 奈良文化財研究所飛鳥資料館

I.キトラ古墳壁
画十二支像の発見
と取り外し 加藤 真二

II. 獣頭人身十二
支像について //

III. 中国鏡にみる
十二支 杉山 洋

IV. 日本の建築に
みる十二支 西田 紀子

V. 東南アジアの
十二支 佐藤 由以

木のぬくもりとあそびの中から生まれた形たち展 I 春日明夫・コレクション・II 現代作家の作品による つくり手たちと子どもの時間—記録— 練馬区立美術館

木のぬくもりとあそびの中から生まれた形たち—世界の木製玩具をみつめて— 春日 明夫

「木のぬくもりとあそびの中から生まれた形たち」について 高橋 優美

木とわたし 菅沼 緑
想像の息 //

前人未踏であること 西尾 路子

九州古陶磁の精華 田中丸コレクションのすべて 唐津・鍋島・柿右衛門 福岡市美術館他

田中丸善八と九州の古陶磁 久保山 炎

「発掘」と「愛好」の時代—昭和戦前期における九州古窯趾発掘と愛陶家の周辺 花井 久穂

九州陶磁研究の歴史と成果 尾崎 直人

宮廷のみやび 近衛家1000年の名宝 陽明文庫創立70周年記念 東京国立博物館

陽明文庫の沿革 名和 修

宮廷貴族の生活と文化—近衛家伝世の品々を中心に— 島谷 弘幸

近世の近衛家 高橋 裕次

予楽院表具の世界 小山弓弦葉

宮廷生活と人形 //

予楽院と書 島谷 弘幸

宮都 飛鳥 奈良県立橿原考古学研究所創立70周年記念 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

宮都飛鳥 山田 隆文

飛鳥浄御原宮の所在地を求めた考古学徒の記 菅谷 文則

飛鳥京跡から出土した木簡 鶴見 泰寿

裂地を辿る 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵染織資料の初公開 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

裂地展の為のメモランダム—あいさつに代えて— 竹内 次男

美術工芸資料館染織関連資料調査研究委員会発足余話 急逝された川口浩先生を偲んで 平山 鋭

久邇宮良子女王殿下御婚儀用装束(AN. 2518)作製関連資料について 佐々木良子

ヒワ縮緬に縫打敷(AN. 415)としじら縮緬に藤の打敷(ANs. 396 & 399)のデジタル復元 //

裂地標本データベースと電子メディア表現 森本 一成

伝統染織が語るもの 浦川 宏

秩父宮殿下御成年式服製地帖 大正拾壹年五月 生谷 吉男

京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵品からみる20世紀初期の服地デザイン 西村 太良

京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵品の窓掛(綴錦地)(AN. 824-3, 4)について 森 克巳

機械捺染の黎明 萩原 理一

時代裂への科学的アプローチ 佐々木良子 佐々木 健

羅織物から頸紋紗への織技を考える 藤井 健三

鶴巻鶴一博士のロウケツ染と正倉院の鵲縵 尾形 充彦

20世紀初期に収集の欧米より輸入した染織資料としての裂・裂地帖(エンシャンティオン) 竹内 次男

近世初期風俗画 躍動と快楽 たばこと塩の博物館

近世初期風俗画 躍動と快楽 岩崎 均史

近代工芸の華 明治の七宝 世界を魅了した技と美 佐野美術館他

明治の七宝 鈴木 規夫

近代日本画にみる麗しき女性たち—松園と美人画の世界— 大丸(神戸)他

「上村松園と美人画の世界」展に寄せて 内山 武夫

絵画における女性表現と「美人画」の変遷 島田 康寛

近代日本の巨匠たち 出光コレクションによる 出光美術館

近代に花ひらく夢—工芸意匠と時代 柏木 麻里

浮世絵美人画の余風—上村松園の場合 廣海 伸彦

清雅な美による共鳴—出光佐三と放菴・波山 出光佐千子

近代日本を彩る画家たち コレクションでたどる姫路市立美術館の25年 姫路市立美術館

近代日本を彩る画家たち 山脇佐江子

近代の南画—日本のこころと美 南画って何だ?! 村上華岳・水越松南 生誕120年記念 兵庫県立美術館

日本における南画の展開 木村 重圭

「南画って何だ?!」近代の南画をめぐる一考察 飯尾由貴子

南画と洋画のディアレクティーク?! 速水 豊

近代洋画の軌跡 宮城県美術館所蔵名作選 秋田県立近代美術館

展覧会に寄せて—宮城県美術館の洋画 有川 幾夫

くらしのうつりかわり—蚕を育むくらし—収蔵品展 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館

富岡地域のキヌガサ信仰 伊藤 克枝

型而工房展 モダンデザインの先駆 松戸市文化ホール

モダンデザインを実験する—型而工房の活動とその意義 森 仁史

参考資料1 工房 設立と当時の建築 的事情(青春の道 標)	松本 政雄	コラム 琴と箏と 琵琶	植山 茂	コラム 大島本の 写本的性質	藤本 孝一
参考資料2 型面 工房の実験椅子	中島 賢次	コラム 六条院の 女君たち	清水婦久子	コラム 古筆の書 写年代について	別府 節子
芸術都市パリの100年展 ルノワール・セザンヌ・ユトリロの生きた街 1830—1930年 日仏交流 150 周年 記念 東京都美術館他		コラム 平安時代 の京のまち	横山 和弘	コラム 「集守」巻の 復元	加藤 昌嘉 久保木秀夫
パリ100年の美術 —芸術都市を支え た人たち	井出洋一郎	コラム 平安時代 の女性と仏教	〃	コラム 与謝野晶 子の『源氏物語』翻 訳	神野藤昭夫
パリー都市の変貌 1830—1930年	ジャン＝マルク・レリ 井出洋一郎 訳	コラム 宇治十帖 と平等院	藤本 孝一	コラム 海外で翻 訳された『源氏物 語』	伊藤 鉄也
写真の黎明期と画 家たち	中原 淳行	コラム 源氏物語 の書写と写本の系 統	〃	源氏物語の世界 読む、見る、遊ぶ —浮世絵から源氏意匠まで— 京都 府京都文化博物館	
客窓から一大正期 の日本画の「客窓 視線」とその後	尾崎 真人	コラム 源氏物語 と宸翰 源氏物語 抜書	四辻 秀紀	江戸時代における 源氏物語受容	中野 幸一
セザンヌとパリ	渡辺 純子	コラム 源氏物語 絵詞	〃	王朝ルネッサンス と『源氏物語』	藤本 孝一
芸術は寿し 画家に長寿が多いわ け 練馬区立美術館		コラム 源氏物語 画帖の詞書	野口 剛	近世における源氏 物語	清水婦久子
画家に長寿が多い わけは……	野地耕一郎	コラム 源氏物語 の四季と歌 享受 のひとつ	〃	京友禅と江戸小紋 「源氏絵」の江戸時 代	羽生 清 市川 彰
源氏物語千年紀展～恋、千年の時空 をこえて～ 京都府京都文化博物館		コラム 町の絵師、 源氏物語に挑む	市川 彰	コラム1 源氏物 語と雅び	冷泉貴美子
源氏物語千年紀展 によせて	瀬戸内寂聴	コラム 版本の本 文と挿絵	清水婦久子	コラム2 模倣・ 転用の文化	清水婦久子
源氏物語の誕生と 伝来	片桐 洋一	コラム 源氏物語 の補作・偽作— 『雲隠六帖』と『山 路の露』—	片桐 洋一	コラム3 国宝「源 氏物語絵巻」はな ぜ大名家に伝えら れたのか	四辻 秀紀
源氏物語の千年	清水婦久子	コラム 現代京こ とば訳 源氏物語	中井 和子	九曜文庫コレクシ ョンと本展につい て	市川 彰
コラム 源氏物語 の巻名	〃	コラム 源氏物語 の外国語訳	伊藤 鉄也	源氏物語の—〇〇〇年—あこがれの 王朝ロマン— 横浜美術館	
コラム 五十四帖 屏風の中の源氏物 語	〃	コラム 源氏物語 の展覧会	名児耶 明	源氏物語と『紫式 部日記』の絵巻	名児耶 明
コラム 紫式部日 記絵巻について	名児耶 明	源氏物語～千年のかがやき～ 国文 学研究資料館		語りから読書へ	藤本 孝一
コラム 紫式部と 小右記、御堂閨白 記	藤本 孝一	源氏物語の世界へ の招待	伊井 春樹	源氏意匠の初音の 調度	四辻 秀紀
コラム 石山寺と 源氏物語	〃	一〇〇八年の『源 氏物語』	加藤 昌嘉	近世の源氏物語受 容と展開	中野 幸一
コラム 源氏物語 と白氏文集	新聞 一美	コラム 出光美術 館蔵伝土佐光元筆 『源氏物語画帖』に ついて	伊藤 鉄也	源氏絵二題—狩野 養信と下村観山	柏木 智雄
コラム 源氏物語 の女性観—雨夜の 品定め—	清水婦久子	コラム 源氏絵の 系譜—色紙形の源 氏絵—	四辻 秀紀	梶田半古作『源氏 物語図屏風』をめ ぐって	内山 淳子
コラム 源氏物語 と和歌・引歌	〃	コラム 『源氏物語 絵巻』巡礼行始末	岡崎 久司	現代郷土作家8人展 姫路市立美術 館開館25周年記念 姫路市立美術館	
				現代郷土作家8人 展について	平瀬 礼太 本丸 生野

作家のことば	雲丹亀利彦	コラム3 女性首長がいた社会	高松 雅文	五姓田のすべて—近代絵画への架け橋— 神奈川県立歴史博物館他		
〃	後藤 克浩	コラム4 古代火葬墓の女性被葬者	森本 徹	五姓田派について	青木 茂	
〃	小林 隆之	コラム5 埴輪男女のしぐさと装い	鹿野 星	五姓田芳柳の洋風画	鍵岡 正謹	
〃	柴田 昌子	藤ノ木古墳の被葬者と装身具の性差をめぐって	玉城 一枝	五姓田義松とハイ・リッチ・フォン・シーボルト	横田 洋一	
〃	高浜 利也	腕輪形石製品の出土状況と性差	小栗 梓	明治期美術教育史における五姓田派の位置	赤木里香子	
〃	水田 勢二			「五姓田」をめぐる評述史—近代日本洋画史形成の素描—	角田 拓朗	
〃	山口 謙二					
〃	渡邊 詩子					
現代の茶陶 造形の自由・見立ての美 智美術館大賞2回 菊池寛実記念智美術館		交差する視点とかたちVol.2 艾沢詳子 阿部典英 下沢敏也 鯉江良二 コンチネンタルギャラリー				
第2回現代の茶陶展 所感	林屋 晴三	素材とジャンル、その交差と交響	佐藤 友哉	古代エジプトの美展 イートン・カレッジ ダーラム大学所蔵 宇都宮美術館他		
建築の記憶—写真と建築の近現代— 東京都庭園美術館		荒神谷の銅矛—祭器から神話へ— 荒神谷博物館		イートンとダーラム 二つのコレクションとその背景	ジョン・ラッフル 中野 智章 訳	
交錯と継承—建築と写真との関わり—	森 仁史	日本人と「矛」 平野 芳英		ダーラム・コレクション: アルジャーノン・パーシー		
明治期の宮内省と写真師たち	中村 一紀	公募展「横須賀」 市制施行100周年記念 横須賀美術館		イートンとダーラム 二つのコレクションとその背景	ニコラス・リーヴス、ステイヴン・スパー 中野 智章 訳	
建築史学の構築と写真—伊東忠太の業績と写真の関係より—	山口 俊浩	洋画部門評 島田 章三		イートンとダーラム 二つのコレクションとその背景	イートン・コレクション: ウィリアム・ジョゼフ・マイヤーズ	ハンス・D・シュナイダー 中野 智章 訳
岸田日出刀のカメラアイ—1930年における「構成」の位相—	梅宮 弘光	日本画部門評 草薙奈津子		古代エジプトの美術		
建築写真来歴	村井 修	版画部門評 山梨 俊夫		古代ギリシア美術への誘い 天理大学附属天理参考館		
桂離宮の美	石元 泰博	写真部門評 石内 都		古代ギリシア美術史概説		
写真に撮りにくい建築—うのは、	青木 淳	香炉—東アジアの香りの文化をたどる— 和泉市久保惣記念美術館		考古学からみた西河原遺跡群	畑中 英二	
建築の記憶—写真と建築の近現代—	岡塚 章子	日本・朝鮮・中国の香炉 概説 橋詰 文之		古代北方世界に生きた人びと—交流と交易— 新潟県立歴史博物館他		
建築を表現する—弥生時代から平安時代まで— 奈良国立博物館		国宝との出会い 京都国立博物館収蔵品による 新潟県立近代美術館		北海道と東北の古代文化	工藤 雅樹	
表現された建築—先史・古代の例を中心に—	岩戸 晶子	威奈大村の墓誌銘を読む 宮川 禎一		続縄文文化の拡大—北方世界の動き—	鈴木 琢也 右代 啓視	
考古学からみた古代の女性 大阪府立近つ飛鳥博物館		京都国立博物館の仏画—国宝 十二天像・山水屏風を中心に	大原 嘉豊	謎の岩面刻画—フゴッペ洞窟	右代 啓視	
古代王権における女性の役割	白石 太郎	下絵で国宝—雪舟筆「天橋立図」	山本 英男	東北地方南部における古墳造営の動向	高橋 栄一	
コラム1 土偶の役割—女性の造形に込められたもの—	市本 芳三	若冲の年齢加算ルール	山下 善也	東北地方北部の墓	〃	
コラム2 卑弥呼と男弟の関係—役割と実像—	廣瀬 時習	桃山武将の伊達なる装い—天正十八年と下賜された辻が花	山内麻衣子			
		国立能楽堂コレクション展—能の雅 狂言の妙— 開場25周年記念 島根県立石見美術館他				
		能・狂言とその面	田邊三郎助			
		能装束と狂言装束	長崎 巖			
		国立能楽堂の資料	門脇 幸恵			

海洋の民—オホーツク文化—	右代 啓視
擦文文化の拡散と交易の隆盛	鈴木 琢也
東北地方北部の末期古墳	高橋 栄一
北方世界と国家の変遷	藤森健太郎
古代東北地方北部の生産—鉄・塩—	佐藤 憲幸
東北地方北部の生産活動—須恵器の生産—	鈴木 琢也
北方の要害遺跡—北方世界の状況—	右代 啓視
奥六郡と安倍氏・清原氏	佐藤 憲幸
松田伝十郎	渡部 浩二
山丹交易	〃
寿ぎと幽玄の美 国宝	雪松図と能面
三井記念美術館	
はじめに—日本彫刻史における顔の表現	清水 眞澄
概説 旧金剛宗家伝来能面と三井家	清水 実
コレクションの新地平—20世紀美術の息吹	ブリヂストン美術館
「コレクションの新地平—20世紀美術の息吹」展に寄せて	島田 紀夫
コレクターの美意識	石橋 寛
循環するコレクション	尾崎信一郎
慧眼の収集家 石橋幹一郎	山本 進
古渡り更紗—江戸を染めたインドの華	五島美術館
さらさ	小笠原小枝
彦根更紗をめぐって	〃
「古渡り更紗」とは	佐藤 留実
袋物商と更紗—古老達からの聞き書きなど—	岩崎 均史
「更紗」と「染付」磁器—文様・技法・用語あれこれ	砂澤 祐子
「ジャパン」と更紗—模造をめぐる文化の往来—	福島 修

江戸の版本と更紗	村木 敬子
インド更紗からヨーロッパ更紗へ—江戸時代後期のオランダ船更紗輸入—	石田 千尋

(サ行)

西行の仮名 併設 重文 俵屋宗達 筆・西行物語絵巻 出光美術館

御子左家の書写工房と西行	田中 登
後白河院時代の歌人群像—西行および「一品経和歌懐紙」を手がかりに—	中村 文

西行の仮名 別府 節子

西国三十三所 観音霊場の祈りと美 奈良国立博物館他

西国三十三所巡りと観音信仰について	頼富 本宏
西国三十三所—観音霊場の祈りと美—	清水 健

円教寺開山堂の性空上人像 岩田 茂樹

いわゆる清水寺形、長谷寺式および南円堂様の観音像について—観音霊場寺院の根本本尊とその広がり—	鈴木 喜博
---	-------

現代に生きる三十三所地方霊場—名古屋割観音講同行記—	井上 善博
----------------------------	-------

さくら 現代日本画にみる桜展 箱根・芦ノ湖成川美術館所蔵 唐津市近代図書館

成川美術館の桜の絵	篠原 弘
-----------	------

札幌美術展 SAPPORO IS WHITE 札幌ゆかりの21作家で綴る昭和初期から現代までの白の系譜 札幌芸術の森美術館

札幌の白	吉崎 元章
------	-------

薩摩焼—400年の伝統とパリを魅了した美—日仏交流150周年記念 堺市博物館

薩摩の外交	徳永 知喜
-------	-------

薩摩藩とパリ万国博覧会	吉満 庄司
-------------	-------

薩摩焼の歴史と発展	山下 廣幸
-----------	-------

考古学から見た近世薩摩焼—窯跡の発掘調査成果を中心に—	渡辺 芳郎
-----------------------------	-------

江戸時代初期の薩摩焼茶入と島津家文書	松村真希子
--------------------	-------

実篤 美術への眼差し 調布市武者小路実篤記念館

実篤 美術への眼差し	伊藤 陽子
------------	-------

塩釜・松島—その景観と信仰— 瑞巖寺宝物館／塩釜神社博物館／東北歴史博物館

松島と瑞巖寺の歴史	堀野 宗俊
-----------	-------

塩釜神社の歴史	茂木 裕樹
---------	-------

「塩釜・松島—その景観と信仰—」概説	塩田 達也
--------------------	-------

視覚装置 見ることを見る 武蔵野美術大学美術資料図書館

視覚装置—思考・認識・世界の変容	柏木 博
------------------	------

モダニズム批判としての残像効果	田中 正之
-----------------	-------

絵画の再現性と視覚装置	北澤 洋子
-------------	-------

視覚技術と表象	長沼行太郎
---------	-------

「鳥の目」と「虫の目」の政治学—小説家における視覚装置、『武蔵野』(独歩)にみる	高橋 敏夫
--	-------

江戸川乱歩と鏡のなかのマルクス—文学と視覚装置	辻 吉祥
-------------------------	------

紫禁城写真展 東京都写真美術館

北京城写真受け入れの経緯について	関 紀子
------------------	------

小川一真の時代	金子 隆一
---------	-------

『清国北京皇城写真帖』について	三井 圭司
-----------------	-------

写真にとつての1900年	菅野 経敏
--------------	-------

誌上のユートピア 近代日本の絵画と美術雑誌 1889—1915 神奈川県立近代美術館(葉山)他

眼の驚きと熱狂— 美術雑誌の語るこ と	山梨 俊夫	モナ・ハトゥーム	麻生 恵子	聖徳太子伝の世界	宮崎 健司
隠された誌上のユ ートピア	水沢 勉	デイヴィッド・ホ ックニー	〃	縄文—いにしへの造形と意匠	兵庫 陶芸美術館
アート・ディレク ター北原白秋	橋 秀文	バーナード・リー チ	遠藤 望	現代によみがえる 「縄文」	乾 由明
転換期美術の混淆 と伝播	鯨井 秀伸	ヘンリー・ムーア	南 美幸	縄文をみつめた先 人たちのまなざし	仁尾 一人
島津の国宝と篤姫の時代—東京大学 史料編纂所 20 万点の世界— 九州 国立博物館		デイヴィッド・ナ ッシュ	杉村 浩哉	食を愉しむ〜鉢・皿・向付〜サンリ ツ服部美術館コレクションの鑑賞	サンリツ服部美術館
東京大学史料編纂 所の紹介	横山 伊徳	ベン・ニコルソン	麻生 恵子	やきものの器—町 衆が育んだ食器文 化	竹内 順一
東京大学史料編纂 所 所蔵史料の概 要	宮崎 勝美	ジョセフ・マロー ド・ウィリアム・ ターナー	新田 建史	城の春 さくらの美術	名古屋城天 守閣
島津家文書の概要	山本 博文	チャールズ・ワー グマン	杉村 浩哉	桜画家考	朝日美砂子
近世の日朝外交文 書と地域情報—対 馬と天草—	東 昇	イギリス美術の一 側面—メソチント の流行と衰退	杉野 秀樹	深奥的中国—少数 民族の暮らしと工 芸 開館 30 周年記念	国立民族学 博物館
釈迦追慕—称名寺釈迦如来像造立七 〇〇年記念— 神奈川県立金沢文庫		終末期古墳と官衙の成立—下野国河 内郡の様相を中心として— 栃木県 立しもつけ風土記の丘資料館		深奥的中国—少数 民族の歴史と現状	塚田 誠之
総説 釈迦追慕	瀬谷 貴之	下野における古墳 時代の首長墓の展 開—古墳時代終末 期を中心として—	橋本 澄朗	西南中国研究のあ ゆみ	野林 厚志
写★新世界 パリ、ニューヨーク、 東京、そして上海	せんだいメディ アテーク	春敬の眼—珠玉の飯島春敬コレク ション— 国立新美術館		新人画会展 戦時下の画家たち—絵 があるから生きている— 板橋区立 美術館	
あるコレクターの 旅、都市と写真を めぐる冒険	石原 悦郎	飯島春敬の眼	名児耶 明	新人画会 8 人の 画家のまなざし	弘中 智子
回帰する眼差し	港 千尋	城下の祭り—砂持加勢	広島城	戦争中の画家の暮 らし 1 戦時下に 画材を入手する方 法	〃
プロダクションノ ート—あるいは都 市という名のメデ ィア—	清水 有	幕末広島 of 砂持ち 風流—『広島本川 川ざらへ町中砂持 加勢図』の世界—	福原 敏男	戦争中の画家の暮 らし 2 従軍と戦 時下の仕事	〃
japan 蒔絵—宮殿を飾る 東洋の燦 めき— 京都国立博物館他		小金銅仏の世界 服部コレクション 早稲田大学會津八一記念博物館		戦争中の画家の暮 らし 3 麻生美智 子さんに聞く「新 人画会の時代」	〃
japan 蒔絵—宮殿 を飾る東洋の燦め き—	永島 明子	服部和彦のコレク ションに寄せて	岡本 文一	失われたものを思 う	原田 光
十二の旅 感性と経験のイギリス美 術 栃木県立美術館他		服部コレクション について	三宮 千佳	水彩画の魅力—風景・幻想・物語— 姫路市立美術館	
十二の旅のもたら すもの	杉村 浩哉	正倉院展60回 奈良国立博物館		水彩画の魅力	
ボイル・ファミリ ー	〃	正倉院宝物の成立 とその公開	西山 厚	隋唐の栄華 天理ギャラリー	
ジョン・コンスタ ブル	南 美幸	正倉院事務所の仕 事—受け継いでき たもの、そして今 ...	杉本 一樹	隋唐の栄華	小田木治太 郎
アンディ・ゴール ズワージー	杉村 浩哉	正倉院に伝わる灌 頂天蓋をめぐって	西川 明彦	崇高なる山水—中国・朝鮮、李郭系 山水画の系譜— 大和文華館	
アンソニー・グリ ーン	遠藤 望	写経生が仕事を休 むとき	野尻 忠	李郭系の系譜	小川 裕充

朱徳潤と元代李郭派様式	西上 実	スリランカの仏教美術と古代インド	小泉 恵英	セザンヌ礼讃—20世紀絵画への影響と展開	新畑 泰秀
崇高なる山水・郭熙山水の成立とその意義—北宋三館秘閣の文化的機能を中心として—	塚本 鷹充	青春のロシア・アヴァンギャルド		セザンヌと絵画における象徴主義の誕生	アニエス・ドラノワ 梅宮 典子 訳
ストーンツールズ—縄文石器の世界— 安中市ふるさと学習館		モスクワ市近代美術館所蔵 Bunkamuraザ・ミュージアム他		日本における「セザンヌ主義」—日本人画家によるセザンヌ受容(1905—45)に関する試論	永井 隆則
縄文石器とは何か	大工原 豊	20世紀初頭のロシア美術：アヴァンギャルドの起源と幕開け	アンドレイ・トルストイ	世相をまとう〜羽織と襦袢に描かれた風俗〜 昭和女子大学光葉博物館	
岩偶と土偶の交替、材質変化—東北地方の事例—	稲野 裕介	ロシア・アヴァンギャルド、または文化の爆発	亀山 郁夫	展覧会「世相をまとう〜羽織と襦袢に描かれた風俗〜」によせて	増田 勝彦
多彩な磨製石器の世界—縄文時代の磨製石器—	長田 友也	1913：黄金の年	前山 裕司	摂津三島の遺宝—考古資料精選— 高槻市立しろあと歴史館	
縄文石器の地域性—安行様式の石器群を考える—	町田 勝則	ニコ・ピロスマニ：偉大な画家の謙虚なる威厳	ヴァレリー・トゥルチン	古代の摂津三島	森田 克行
黒曜石の縄文土器—産地分析の現状と天神原遺跡出土資料の産地分析—	建石 徹 菅頭明 日香 津村 宏臣 二宮 修治	ニコ・ピロスマニとチフリス—ロシア・アヴァンギャルドのアルカディア	鴻野わか菜	セルビアのナイーヴ・アート 県立芸術会館他	バヴエル・バプカ
石器を撮る—被写体としての縄文土器—	小川 忠博	無対象絵画と絶対映画の出会い	大石 雅彦	国際エトノセンター・バプカ(コヴァチツァ)の建設プロジェクトについて	柴 宜弘
墨絵展30回記念 2008 ラリー	元麻布ギャラリー	静物画名作コレクション 画室での求道、その彩とかたち	星野画廊	ヴォイヴォディナ—肥沃な大地と多様な人びと	マリア・バスタイチ 田口 圭 訳
さらに研鑽と深化を—第30回記念墨絵展によせて—	針生 一郎	静物画—存在の美しさ、その光と影	星野万美子	セルビアのナイーヴ・アートとコヴァチツァ絵画サークル	神原ゆうこ
墨絵 モノクロームの世界—墨の、線・点・間・濃淡・撥ね・暈し・滲みの技—	笹木 繁男	後期—作品解説を兼ねて	星野 桂三	ヴォイヴォディナのスロヴァキア人	
スリランカ 輝く島の美に会う 東京国立博物館表慶館		世界平和美術祭典 3 回 AFWP 2008 パシフィコ横浜		1930 年代・東京 アール・デコの館(浅香宮邸)が生まれた時代 東京都庭園美術館	
スリランカの文化遺産	リーラナンダ・プレマティレケ 大西磨希子 訳	AFWP 2008 に寄せて	針生 一郎	序	井関 正昭
スリランカの古代中世の僧院建築	ローランド・デ・シルワ 村松 哲文 訳	「絵は生きているの？」	村田慶之輔	大東京の出発・1930年代	海野 弘
スリランカの彫刻 Part I. 仏教彫刻	チャンドラ・ウィクラマ マガマゲ 森 美智代 訳	『韓国的な色と線』	八木橋善雄	[コラム]1930年代東京展望	山口 廣
スリランカの彫刻 Part II. ヒンドゥー彫刻	シリニマル・ラクドゥシンハ 森 美智代 訳	AFWP 2008 のキュレーションを担当して	水間 敏隆	[コラム]フォトリックな都市、1930年代の東京	岡部 友子
		石州銀展 石見銀山遺跡世界遺産登録 1 周年記念 島根県立古代出雲歴史博物館		[コラム]街に出た芸術家—震災後の商業美術とデザイン	千葉真智子
		石州銀と毛利氏	利光三津夫	[コラム]朝香宮邸の建築 そのユニークさについて	鈴木 博之
		希有な貨幣コレクションとその見どころ	田宮 健三		
		特集展から 石州銀のはなし	鳥谷 芳雄		
		セザンヌ主義—父と呼ばれる画家への礼讃 横浜美術館他			
		「セザンヌ主義展」によせて	雪山 行二		

[コラム]権藤要吉
渡航日記—若き宮
内省技手がみた欧
米建築— 牟田 行秀

[コラム]朝香宮家
の1930年代—宮家
の暮らし— 高波真知子

1930年代の東京と
朝香宮邸—それぞ
れに咲いたアール
・デコの花— "

戦国大名浅井氏と北近江—浅井三代
から三姉妹へ— 長浜市長浜城歴史
博物館

コラム 浅井長政
像 森岡 榮一

浅井三代・三姉妹
と戦国時代 小和田哲男

京極氏から浅井氏
へ 太田 浩司

浅井三代の繁栄 "

浅井氏の家臣団と
領国統治 "

浅井氏と北近江の
城 中井 均

浅井氏と刀剣 森岡 榮一

お市と浅井三姉妹
の生涯 太田 浩司

戦国大名北条氏と
その文書 鳥居 和郎

線の巨匠たち—アムステルダム歴史
博物館所蔵 素描・版画展 東京芸
術大学大学美術館他

アムステルダム歴
史博物館所蔵の版
画・素描コレクシ
ョン ノルベルト
・E・ミッデ
ルコーブ
川瀬 佑介
訳

素描をコレクショ
ンする—黄金の世
紀のオランダの場
合 熊澤 弘

ネーデルラントの
素描力と古代への
挑戦—ホルツィウ
スの《ファルネー
ゼのヘラクレス》 尾崎 彰宏

レンブラントのエ
ッチングの受容—
17世紀から19世紀
にかけて 佐藤真実子

創画会 60年—創造美術からの流れ
— 茨城県天心記念五浦美術館他

創画会60年に寄せ
て 上村 淳之

創画会60年記念座
談会 過去・現在
これからの創画会
について

総論 創画会60年
展

§ 作家の言葉 §

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

創画会の源流「創
造美術」

地の会

稗田 一穂
上村 淳之
宮 いつき
雲丹亀利彦
杉本 昌裕

杉本 昌裕

稗田 一穂

信太 金昌

石本 正

工藤 甲人

毛利 武彦

鳥頭尾 精

大河内正夫

黒沢 吉蔵

池田 幹雄

大森 運夫

小嶋 悠司

坂口麻沙子

滝沢 具幸

村松秀太郎

上村 淳之

高畑 郁子

堀越 保二

佐々木 弘

戸田 康一

中尾 壽男

浅野 均

柴田 長俊

松井 和弘

内田あぐり

竹原 城文

宮城 真

吉川 弘

宮 いつき

重政 啓治

津田 一江

雲丹亀利彦

清水 豊

植田 一穂

武田 州左

平山 秀樹

三谷 渉

武石 洋

創造美術設立と秋
野不矩—その社会
的關係について 岡 久美子

草創期の湯島聖堂 よみがえる江戸
の「学習」空間 孔子祭復活百周年記
念事業 湯島聖堂大成殿

ビジュアルイメー
ジから考える幕府
教学—礼拝諸像が
示した林羅山の思
想と湯島聖堂での
展開— 守屋 正彦

積奠(孔子祭)のこ
と 翠川 文子

《湯島聖堂積奠図》
について 横島菜穂子

本尊「孔子像」及び
「四配像」の復元 筑波大学大
学院彫塑研
究室

湯島聖堂の孔子像 伊藤たまき

復元 大成殿内陣
壁画《賢儒図像》
(扁額) 筑波大学大
学院日本画
研究室

《賢儒図像扁額模
本》と《賢聖障子》 水野 裕史

《賢儒図像》におけ
る儒服に表現され
た文様について 末久真理子

筑波大学所蔵《歴
聖大儒像》につい
て 中根 恭子

林羅山と寛永文化
—「城内神廟靈鶴
記」を中心に— 山澤 学

《聖堂絵図》及び
《聖堂之画図》につ
いて 渡邊 晃

湯島聖堂と日本初
の文部省博覧会 中村 玲

湯島聖堂大成殿内
陣空間の再現 筑波大学大
学院情報デ
ザイン研究
所

素朴美の系譜 江戸から大正・昭和
へ 渋谷区立松涛美術館

南画と素朴展 星野 鈴

素朴美の系譜 江
戸から大正・昭和
へ 矢島 新

[染]と[織]の肖像—日本と韓国・守
り伝えられた染織品 国立歴史民俗
博物館

[染]と[織]の肖像
—日本と韓国・守
り伝えられた染織
品 澤田 和人

北条氏勝の寄進した袈裟—佐倉市宝金剛寺所蔵七条・横被の銘文について—	小島 道裕
秀吉ブランド考—伝えられた菊桐紋—	小山弓弦葉
打敷から探る 片身替肩裾織箔の展開	山川 暁
山形雲版模様—円照寺門跡の法被—	モニカ・ペーテ
大名正室の形見分け—一九世紀・松代藩真田家の場合—	岩淵 令治
奉納される死者のキモノ	山田 慎也
韓国の出土服飾に関する考察	金 永才 金 賢貞 訳

(タ行)

国宝 大絵巻展 京都国立博物館所蔵・寄託の名宝 九州国立博物館

特別寄稿 絵巻への視座	若杉 準治
総論「国宝 大絵巻展」展覧会の構成について 絵巻の社会的な役割を中心に	金井 裕子
総論「国宝 大絵巻展」展示方法の意図について 絵巻の表装と鑑賞との関わりから	畑 靖紀

対決—巨匠たちの日本美術 国華百二十周年 朝日新聞百三十周年 東京国立博物館

『国華』百二十年の歩み	河野 元昭
日本造形史の巨匠と名匠	水尾比呂志
巨匠「対決」展・案内	辻 惟雄
運慶vs快慶—一人に象る仏の性—	浅見 龍介
雪舟vs雪村—画趣に秘める禅境—	島尾 新
永徳vs等伯—墨と彩の気韻生動—	田沢 裕賀
長次郎vs光悦—楽碗に競う わび数寄の美—	水尾比呂志

宗達vs光琳—画想無碍・画才無尽—	河野 元昭
仁清vs乾山—彩雅陶から書画陶へ—	水尾比呂志
田空vs木喰—仏縁世に満ちみつ—	辻 惟雄
大雅vs蕪村—詩は画の心・画は句の姿—	松原 茂
若冲vs蕭白—画人・画狂・画仙・画魔—	辻 惟雄
応挙vs芦雪—写生の静・奇想の動—	松嶋 雅人
歌麿vs写楽—憂き世を浮き世に化粧して—	小林 忠
鉄斎vs大観—温故創新の双巨峰	〃

大ナポレオン展 文化の光彩と精神の遺産 青森県立美術館他

ナポレオンと美術	鈴木杜幾子
ナポレオンの生涯とロマン	野口 満成

大琳派展—継承と変奏 尾形光琳生誕350周年記念 東京国立博物館

琳派 継承と変奏の美—三つの時代・六人の芸術家	田沢 裕賀
光悦と宗達下絵料紙	高橋 裕次
描くことと作ること—琳派と漆芸	竹内奈美子
其一の止まる時間	松嶋 雅人

宝の島 対馬 ながさき地域シリーズ 長崎歴史文化博物館

コラム1 対馬の弥生文化	阿比留伴次
コラム2 対馬国と一支国	高野 晋司
コラム3 銅矛を神器とした対馬の祭祀—巨大銅矛の謎を解く—	永留 久恵
コラム4 金田城跡の発掘	田中 淳也
コラム1 中世の対馬と朝鮮半島	佐伯 弘次
コラム2 対馬の渡来仏	八尋 和泉
コラム1 『対馬国絵図(元禄絵図)』の測量技法	平岡 隆二

コラム2 対馬藩と朝鮮通信使	岩崎 義則
コラム3 倭館の交流	深瀬公一郎
コラム4 宗家文庫史料について	山口 華代
コラム5 対馬の両墓制	小松 勝助
コラム1 対馬—旅鳥・迷鳥の宝庫	杉原 敏
コラム2 対馬の哺乳類の特異性	浦田 明夫
コラム3 ツシマヤマネコと共に生きる対馬	佐々木真二郎
コラム4 対馬の両生・爬虫類	松尾 公則
コラム5 花の美しい対馬	國分 英俊

たねとしかけ こどもとおとなの美術入門 群馬県立近代美術館

「たねとしかけ」の「たね」と「しかけ」	熊谷ゆう子
大竹敦人の〈たね〉と〈しかけ〉	大竹 敦人
小河朋司の〈たね〉と〈しかけ〉	小河 朋司
津田亜紀子の〈たね〉と〈しかけ〉	津田亜紀子
手塚愛子の〈たね〉と〈しかけ〉	手塚 愛子
屋代敏博の〈たね〉と〈しかけ〉	屋代 敏博

旅—江戸の旅から鉄道旅行へ— 国立歴史民俗博物館

江戸北郊名所への小さな旅	加藤 貴
近世の寺社参詣と御師	原 淳一郎
逃亡者としての旅—今弘法あらわる—	西海 賢二
女たちの伊勢音頭—江戸時代の旅と遊興—	山本 志乃
初詣の歴史—近代社会とともに生まれ育った参詣行事—	平山 昇
二つの史資料に見る江戸時代の旅の一断面	櫻井 邦夫

珠玉の奥〜江戸と乗物〜 開館15周年記念 江戸東京博物館

大名婚礼道具の華
「女乗物」 小池 富雄
女乗物を科学する 日高 真吾
徳川將軍家の女乗
物 齋藤 慎一

**多摩美術大学博士課程展 2008 多
摩美術大学美術館**

知性と感性の親和
力 本江 邦夫
\$ 作家の言葉 \$ 加藤みつこ
" 金 景賢
" 金 鍾烈

**TARO賞の作家I展 川崎市岡本太
郎美術館**

今井紀彰インタビ
ュー 仲野 泰生
聞き手
えぐちりかインタ
ビュー 佐々木秀憲
聞き手
開発好明インタビ
ュー 仲野 泰生
聞き手
風間サチコインタ
ビュー " "
棚田康司インタビ
ュー " "
横井山泰インタビ
ュー 佐々木秀憲
聞き手

**丹後丹波の薬師信仰—麻呂子皇子鬼
退治伝説の源流を求めて— 京都府
立丹後郷土資料館**

丹後・丹波の薬師
如来像 礪波 恵昭
麻呂子皇子伝説と
丹後国府 伊藤 太

**茶碗の美—国宝 曜変天目と名物茶
碗 静嘉堂文庫美術館**

静嘉堂所蔵の茶碗
について 長谷川祥子

**中国の山水と花鳥—明清絵画の優品
— 町田市立国際版画美術館**

明清絵画の五百年
—文人画から洋風
画まで— 小林 宏光

**朝鮮王朝の絵画と日本—宗達、大
雅、若冲も学んだ隣国の美 栃木県
立美術館他**

朝鮮王朝後半期の
絵画運動と傾向 洪中尾 善杓
道子
韓国画の展開—
法古創新 鄭中尾 于澤
道子

朝鮮王朝前期の瀟
湘八景図—東アジ
アの視点から 板倉 聖哲

室町絵画と朝鮮王
朝の絵画 橋本 慎司

鄭澈の「真景」—鄭
澈筆《朴淵瀑図》を
中心に 石附 啓子

朝鮮絵画と近世の
日本画 福士 雄也

岡山県内所在の朝
鮮王朝時代の仏画
について 中田利枝子

仙仏奇跡と朝鮮絵
画 五十嵐公一

**土—大地のちから 群馬県立館林美
術館**

\$ 作家の言葉 \$ 栗田 宏一
" 渡辺 泰幸
" 伊藤 公象

椿会展2008 資生堂ギャラリー

資生堂ギャラリー
と「椿会」の軌跡 萬木 康博

**徒然草をいろどる人々 神奈川県立
金沢文庫**

総論 徒然草をい
ろどる人々 永井 晋

**帝室技芸員と一九〇〇年パリ万国博
覧会 宮内庁三の丸尚蔵館**

帝室技芸員と一九
〇〇年パリ万国博
覧会 五味 聖

鉄斎の器玩—悠悠談— 鉄斎美術館

鉄斎の器玩—悠悠
談— 奥田 素子

**掌のほとけ—インドシナ半島の博伝
福岡市美術館**

インドシナ半島の
博伝—タイ、カン
ボジア、ミャンマ
ー領域の遺物を中
心に 後藤 恒

**寺山修司 劇場美術館：1935～2008
青森県立美術館**

寺山修司の現代性 工藤 健志
寺山修司の「書物
演劇」 菅野 洋人
あなたにそばにい
て欲しい 寺山 偏陸

**天下人を祀る—神になった信長・秀
吉・家康— 滋賀県立安土城考古博
物館**

天下人を祀る—神
になった信長・秀
吉・家康— 高木 叙子

**天璋院篤姫 徳川13代將軍・家定の御
台所 幕末のファーストレディー
江戸東京博物館他**

天璋院と幕末の薩
摩 芳 即正

幕末の徳川將軍家
と天璋院 松尾 正人

篤姫の結婚—幕末
維新史の伏流水— 寺尾 美保

御台所敬子の実像
—將軍継嗣問題を
中心に— 崎山 健文

知られざる戊辰戦
争期の天璋院 藤田 英昭

天璋院の筆筭 "

江戸から東京へ
転換期を生きた天
璋院 柳田 直美

釈文—覧

**国宝 天神さま—菅原道真の時代と
天満宮の至宝— 九州国立博物館**

天神信仰の流れ 真壁 俊信

国宝 天神さま—
菅原道真の時代と
天満宮の至宝— 松川 博一

コラム 寛平の治 渡部 史之

コラム 道真が見
た都府楼の瓦色 赤司 善彦

コラム 榎社周辺
の遺跡 井上 信正

コラム 情熱のエ
ピック—北野天神
縁起絵巻承久本の
魅力と平成記録本
— 須賀 みほ

コラム 天神縁起
絵巻—道真公の生
涯を描く— 金井 裕子

コラム 渡唐天神 畑 靖紀

コラム 天神と十
一面観音 楠井 隆志

コラム 菅原氏の
祖先 清原 倫子

菅原道真と太宰府 松川 博一

太宰府天満宮の歴
史 味酒 安則

天神さまのまつり
一菅原道真公への
追慕— 森 弘子

「伝統の朝顔」くらしの植物苑特別企
画 国立歴史民俗博物館

変化朝顔ブームの
はじまり 岩淵 令治

変化朝顔とは～そ
の変化する仕組み 仁田坂英二

『あさかほ叢』の朝
顔 ”

多色刷り図譜時代
の幕開け～文化・
文政期の“朝顔図
譜”から見た文化
史～ 平野 恵

天馬 シルクロードを翔ける夢の馬
奈良国立博物館

特別展「天馬—シ
ルクロードを翔け
る夢の馬—」概観 吉澤 悟

ギリシア・ローマ
世界の天馬 青柳 正規

ローマ アウグス
トゥス広場 マル
ス・ウルトル神殿
の建築装飾におけ
るベガス像につ
いて

にしのうま
貳師馬 相馬 隆

中国の有翼馬 永井 洋之

インドの馬と天馬 森 雅秀

仏教と天馬 内藤 栄

飛走する天馬像 末崎 真澄

ドイツ・ポスター 1890—1933

京都国立近代美術館他

後発部隊から先頭
覇者へ：ドイツの
ポスター、その始
まりから1930年代
まで ルネ・グロ
ーナート
池田 祐子
訳

東京ゆかりの先人たち 読売書法会
創立二十五周年 東京展記念 国立
新美術館

近代書道の万華鏡 西嶋 慎一

席書と書のすがた 高橋 利郎

陶磁の東西交流—景德鎮・祐右衛門
・古伊万里からデルフト・マイセン
— 出光美術館(門司)他

17—18世紀の陶磁
の東西交流とその
時代 金沢 陽

遠き道—はて無き精進の道程— 明
石市立文化博物館他

日本画あるいは日
本絵画について 島田 康寛

平成期の日本美術
院 若手作家たち
の台頭と古典絵画
へのオマージュ 池田 良平

日展と日本画—独
自的に— 吉田 洋一

創造美術から創画
会へ—その60年の
軌跡 小倉 実子

無所属作家につ
いて 立島 恵

視覚障害者の美術
館利用—岐阜県美
術館の場合— 岡田 潔

“みる”力、“みる”
心—さまざまな
アートの見方を味
方にすれば— 広瀬浩二郎

当展覧会の試み—
視覚にハンディキ
ャップのある方に
対する平面作品の
美術鑑賞方法の実
施

ドーム ガラスの美展—創造する伝
統一日仏交流150周年・ドーム創業
130周年記念 明石市立文化博物館他

創造する伝統一ド
ームの130周年 池田まゆみ

パート・ド・クリ
スタルについて ”

MOTアニュアル2008「解きほぐすと
き」 金氏徹平 高橋万里子 立花
文穂 手塚愛子 彦坂敏昭 東京都
現代美術館

解きほぐすとき 西川美穂子

徳川將軍家ゆかりの女性 江戸東京
博物館

徳川將軍家ゆかり
の女性たち 大石 学

上層武家女性の服
飾 長崎 巖

大奥の構造と女性
たちの生活 深井 雅海

徳川將軍とその生
母—十四代將軍家
茂の生母実成院を
中心に— 望月 良親

所莊吉コレクションと西洋兵学 板
橋区立郷土資料館

銃砲史研究の整理
と展望—所莊吉氏
の業績— 宇田川武久

所莊吉先生と鉄砲
—特に銃砲刀剣審
査に関連して— 安田 修

『銃砲史研究』から
見た所莊吉氏の研
究志向 峯田 元治

所莊吉氏について
—その足跡と功績— 小西 雅徳

西洋兵学史年表—
所コレクションを
中心として— ”

都市の表象と心象—近代画家・版画
家たちが描いたパリ プリヂストン
美術館

Paris Passages —
アーティスト・フラメンコ
遊歩者芸術家たち
のさまざまな視点 塩島 明美

シャルル・メリヨ
ン 心象としての
都市風景 気谷 誠

版画の技法と素材 坂本 雅美

都市を創る建築への挑戦 設計組織
のデザインと技術 埼玉県立近代美
術館

建築設計組織の力 馬場 璋造

建築の責任をめぐ
って 前山 裕司

都市の「場所」をさ
がして 伊豆井秀一

トンちゃんアート展 ハコビで
BOO!! 北海道立函館美術館

百豚(?)繚乱 ア
ートなぶたぶた大
集合 大下 智一

(ナ行)

那須の渡来文化 栃木県立なす風土
記の丘資料館

古代東国の渡来文
化—上野毛、そし
て下(毛)野を中心
に— 酒寄 雅志

下毛野の渡来文化
—下毛野地域の新
羅土器について— 板橋 正幸

南紀男山焼—その歴史と美— 和歌
山市立博物館

南紀男山焼—その
歴史と美— 寺西 貞弘

南蛮の夢、紅毛のまぼろし 安土桃
山の名宝から夢二まで 府中市美術
館

明治から昭和の美
術にみる「南蛮」 金子 信久
「紅毛」

1968 — 肉体の叛乱とその時代
アート・アーカイヴ資料展Ⅲ 文部
科学省オープン・リサーチ・センタ
ー整備事業 慶応義塾大学東館展示
スペース

1968年一反芸術・
後夜/もの派・前
夜 渡部 葉子

肉体の叛乱 キー
ワードのイディオ
ムを読む:土方巽
のサイネージ研究
1 森下 隆

中西夏之の仕事—
舞踏/絵画、バイ
オレンス/デリカ
シー 中西 夏之

〈肉体の叛乱〉の舞
台美術—6枚の大
真鍮板を中心に 永松 左知

西アジア遊牧民の染織 塩袋・生活
用袋物とキリム 丸山コレクション
たばこと塩の博物館

西アジア遊牧民の
生活と染・織〜は
るかなる大地の意
匠と手わざ〜 丸山 繁

遊牧民の塩袋が象
徴する人間と塩の
関わり〜本展の企
画意図について〜 高梨 浩樹

西宮の寺院縁起 西宮市立郷土資料
館

西宮の寺院縁起 俵谷 和子

20世紀の写真 国立美術館所蔵に
よる 千葉市美術館

写真史へのコメン
ト 倉石 信乃

I ストレート・
フォトグラフィー
の系譜 水沼 啓和

II アヴァンギャ
ルドの展開 藁科 英也

III ドキュメンタ
リー写真の隆盛 水沼 啓和

IV 多様化する写
真芸術—1960年代
を中心に //

V 現代アートと
写真 中西 博之

20世紀の日本と西洋—マンズーか
ら劉生までのコレクションの軌跡—
ふくやま美術館開館 20 周年記念
ふくやま美術館

「新しい」美しさ:
20世紀美術の基点 谷藤 史彦
ふくやま美術館コ
レクションの形成 //

20世紀の人間像 徳島県立近代美術
館所蔵名品—ピカソ・ダリ・横尾忠
則から・奈良美智まで— 群馬県立
館林美術館

20世紀の人間像・
20世紀に始まる人
間像 江川 佳秀

The big dark —
大きな深い孤独に
寄せて 吉原美恵子

展覧会の構成につ
いて 松下 由里

20世紀のはじまり ピカソとクレ
ーの生きた時代 ノルトライン=ヴ
ェストファーレン州立美術館所蔵
名古屋市美術館他

20世紀前半の美術 木島 俊介

偉大な芸術のため
の小さな館 デュ
ッセルドルフ、ノ
ルトライン=ヴェ
ストファーレン州
立美術館の歴史 アネッテ・
クルツイン
スキ
笠木日南子
訳

日本の色彩〜藍・紅・紫〜 埼玉県
立歴史と民俗の博物館

日本の色彩〜藍・
紅・紫〜 井上かおり

日本の版画 V 1941—1950 「日本
の版画」とは何か 千葉市美術館

日本の版画・1941
—1950・「日本
の版画」とは何か 西山 純子

戦中戦後の出版と
版画本 岩切信一郎

『日本名山図会』と川村寿庵 岩手県
立博物館

川村寿庵の再発見 齋藤 里香

川村寿庵と文晁派
の画家たち—『名
山図譜』の成立を
めぐって— 内山 淳一

安藤昌益の医学と
川村寿庵、真斎父
子 石渡 博明

人形展 感じる鼓動 東京国立近代
美術館工芸館所蔵 碧南市藤井達吉
現代美術館他

人形私考 今井 陽子

のこす・伝える 「お宝」考今昔 シ
リーズ・やきものの周辺! 茨城県
陶芸美術館

受容文化の形成—
評価と鑑定を考え
る— 竹内 順一

「モノ」の外側、「モ
ノ」が内包する時
間—伝世・発掘・
わざの伝承— 花井 久穂

信長と安土城—収蔵品で語る戦国の
歴史—開館15周年記念 滋賀県立安
土城考古博物館

滋賀県立安土城考
古博物館の戦国時
代関係収蔵品につ
いて 高木 叙子

(ハ行)

バウハウス・デッサウ展 東京芸術
大学大学美術館他

序論:「バウハウ
ス・デッサウ」展 薩摩 雅登

ヴォルフガ
ング・テー
ナー、
ルッツ・シ
ェーベ、
ヴェルナー
・メラー
石川 潤 訳

経験としてのバウ
ハウスへ 真柄 淳二
薩摩 雅登

ヴォルフガ
ング・テー
ナー、
ルッツ・シ
ェーベ
田邊幹之助
訳

デッサウのバウハ
ウス トルステン
・ブルーメ
真野 宏子
訳

デッサウのバウハ
ウス—学校と工房 細谷 誠

バウハウス・デッ
サウと日本の構成
教育運動前史

パウハウスにおけるタイポグラフィの教育と成果	細谷 誠	古代の難波と難波津について	中尾 芳治	齋門富士男の解放されたバラ	宮澤 政男
歴史的なパウハウス舞台—空間劇場	トルステン・ブルーメ 薩摩 雅登 訳	南の国より堺へ運ばれし「やきもの」考—出土陶磁器からみた東南アジアとの交易—	續 伸一郎	バラレル・ワールド もうひとつの世界／ユーク・レブ展	もうひとつの世界 東京都現代美術館
グロビウスとモホイ＝ナジのいたパウハウス	島津 京	奈良県における百済土器・新羅土器	重見 泰	もうひとつの世界へ	ユーク・レブ
モダニストの居場所—マルセル・ブロイヤーの場合	石川 潤	八犬伝の世界 愛媛県美術館他		双眼鏡	ビエール・アルフェリ 関口 涼子 訳
1928年：デッサウ・パウハウスとハンネス・マイヤーの転換点	富田 英夫	『八犬伝』と浮世絵と	服部 仁	パリー・ニューヨーク 20世紀絵画の流れ フランシス・リーマン・ロブ・アート・センター所蔵品展	20世紀絵画 島根県立美術館他
博物館と文化財修理—九州国立博物館文化財保存修復施設開設3周年記念—九州国立博物館		馬琴の呪縛—八犬伝のふるさと館山—	町田 達彦	ヴァッサー大学の美術館の歴史	ジェームズ・マンディ 神山 亮子 訳
屏風の構造	田畔 徳一	華ひらく能装束—伝統の美と技—群馬県立歴史博物館		〈仕事の倫理〉—アメリカ美術の側面	本江 邦夫
修理技術者の素顔 君嶋隆幸氏インタビュー	久保田素子 聞き手	はにわ人と動物たち—大和の埴輪大集合— 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館	手島 仁	自然から抽象へ ハドソン・リヴァー派と抽象表現主義	岡部 信幸
幕末浮世絵アラカルト—大江戸の賑わい—北斎・広重・国貞・国芳らの世界 中右コレクション ひろしま美術館他		はにわ人と動物たちの世界—大和5・6世紀の埴輪—	千賀 久	コラムI アメリカ初、日本女性が卒業した大学	神山 亮子
幕末期の浮世絵師たち	山口桂三郎	1. 巢山古墳	井上 義光	コラムII ハドソン渓谷の自然	岡部 信幸
幕末浮世絵アラカルト・大江戸の賑わい	中右 瑛	2. 四条古墳群	鈴木 裕明	コラムIII 移民社会のアメリカ	山村 仁志
はじまりの物語—縁起絵巻に描かれた古のとりり—鳥取県立博物館		3. 荒蒔古墳	松本 洋明	コラムIV 作品の価格は誰のもの？	神山 亮子
賀露神社所蔵『吉備大神遊基御影』に描かれた場面—阿倍仲麻呂の幽霊姿を通してみる—	佐々木孝文	4. 池田古墳群	前澤 郁浩	コラムV 映画『ブラダを着た悪魔』新旧ヴァッサー大学生対決	河野 朋子
〈解説〉寺社縁起の成立と近世知識人たち	来見田博基	母と子の像 大川美術館		版画に見る印象派 陽のあたる午後、天使の指がそっと	下関市立美術館
鳥取県関係寺社縁起史料集		ごあいさつ	大川 栄二	マネを通してみる 19世紀の版画の世	大森 達次 界
発掘された大阪二〇〇七—水都大阪の国際交流史—大阪府立弥生文化博物館		「母と子の像」展について	小此木美代子	氾濫するイメージ—反芸術以後の印刷メディアと美術 1960—70	うらわ美術館他
難波津と新羅土器—正倉院楽器と新羅土器の比較を通して—	江浦 洋	薔薇空間 宮廷画家ルドゥーテとバラに魅せられた人々	Bunkamura	氾濫するイメージ 森田 一	光は西から—弥生人、文明との出会い—開館記念展III 兵庫県立考古博物館
弥生文化博物館所蔵の海撈がりの陶磁器	岡本 智子	描かれたバラには、バラの美学のすべてが込められている	宮澤 政男	コラム 兵庫の弥生時代と実年代	中村 弘
		今も生きているルドゥーテのバラ	野村 和子		
		ルドゥーテとバラと香りを巡って	蓬田 勝之		
		アルフレッド・パーソンズ エレン・ウィルモット『バラ属』The Genus Rosa (1910—1914)	松下 由里		
		二口善雄 鈴木省三・靱山泰一『ばら花譜』(1983)	御巫 由紀		

引込線 所沢ビエンナーレ・プレ美術展 西武鉄道旧所沢車両工場

〔作家の言葉〕 大旅行 伊藤 誠

日本現代美術覚書'91 青木 正弘

〔作家の言葉〕 制作ノート 遠藤 利克

振じれの行くえ 天野 一夫

〔作家の言葉〕 大友 洋司

80年代考—80年代ニューウェーブをめぐって 坂上しのぶ

〔作家の言葉〕 岡安 真成

捻転する彫刻—「芸術と客体性」から、ブルース・ナウマンを読む 沢山 遼

〔作家の言葉〕 木村 幸恵

1965年夏：前衛の花火「アンデパンダン・アート・フェスティバル」が問うアノニマス性 高橋 綾子

〔作家の言葉〕 窪田 美樹

洞窟の思想と1970年代—中西夏之から戸谷成雄、遠藤利克への架橋の試み— 谷 新

〔作家の言葉〕 三つの川 高見澤文雄

「問い」としての「アフリカ」 千葉 成夫

〔作家の言葉〕 ADAMI・ADAMIIの構造を特徴づけるSEPARATE-UNIONについてのメモ(エレーヌ・シクス風に) 建昌 朔弥

置換 拝戸 雅彦

〔作家の言葉〕 多和 圭三

美術館員のひとりごと 原田 光

〔作家の言葉〕 手塚 愛子

美術と場所 真武真喜子

〔作家の言葉〕 「影と彫刻」 戸谷 成雄

三木富雄論 序章—「表現」の切断— 峯村 敏明

〔作家の言葉〕 気配としての身体 中山 正樹

桑山忠明と伝統 本江 邦夫

〔作家の言葉〕「MOVING」

「網膜」は存在しない

増山 士郎

守田 均

〔作家の言葉〕人間の本能である睡眠への欲望はその実、「もう一つの現実」の希求のあらわれではないか

水谷 一

「描くこと」について

山本さつき

〔作家の言葉〕

山下 香里

「横たわる人体」としての《正午》—アンソニー・カロの「身振り」をめぐって—

渡部 葉子

〔作家の言葉〕写真真への欲望

山本 糾

ピクニックあるいは回遊展 熊本市現代美術館

ピクニックあるいは回遊、未だ已まず。

富澤 治子

ピクニック、あるいは感覚の開放

芦田 彩葵

備讃における工芸のあゆみ—幕末・明治から現代へ— 瀬戸大橋開通20周年記念 香川・岡山合同企画文化交流展 香川県立ミュージアム他

論考 香川の工芸技術伝承機関

高木 敬子

論考 工芸のあゆみの中での備前陶

鈴木 力郎

美術家たちの「南洋群島」展 町田市立国際版画美術館他

「南洋群島」三代の系譜—土方久功、杉浦佐助、儀間比呂志

岡谷 公二

美術家たちの「南洋群島」雄感—いくらか書誌風に

青木 茂

美術家と「南洋群島」と日本近代美術と

滝沢 恭司

「南」から「南」へ—「南洋群島」と芸術家・儀間比呂志

豊見山 愛

「南洋群島」以前の南洋諸島—ドイツ帝国領時代の二人の画家の南洋行

奥野 克仁

ひな人形の世界07 徳島市立徳島城博物館

雛人形の世界を辿る(4)—徳島の御殿飾— 小川 裕久

火の君、海を征く!—古墳からみたヤマトと八代— 八代市立博物館 来の森ミュージアム

阿蘇ピンク石製石棺をめぐって—古代史研究の立場から— 和田 萃

古墳からみた火の君と八代 西山由美子

石棺から見た古墳時代の九州 高木 恭二

「火君(肥君)」をめぐる古代資料 鳥津 亮二

秘仏への旅—出雲・石見の観音巡礼— 島根県立古代出雲歴史博物館

秘仏への旅—出雲・石見の観音菩薩像— 椋木 賢治

中世的巡礼について—中世西国三十三所霊場の形成と展開から— 佐伯 徳哉

江戸時代の観音霊場巡り 岡 宏三

出雲・石見・隠岐における近世十六部廻国の様相 鳥谷 芳雄

出雲巡礼—巡礼路・供養塔・納札— 品川 知彦

美への憧れ ポーラコレクション

能登半島地震復興祈念 漆芸美術館 石川県輪島

ポーラ伝統文化振興財団の伝統漆芸への大きな貢献について 柳橋 眞

ひょうごの景観を歩く—収蔵資料から— 兵庫県立歴史博物館

解説に代えて—草山の絵図— 前田 徹

平泉 みちのくの浄土 仙台市博物館他

平泉文化と「浄土」 大矢 邦宣

平泉仏教文化の諸相と特質—奥州藤原氏三代の仏事を中心として— 有賀 祥隆

平泉の浄土庭園 田中 哲雄

中尊寺創建伽藍における「一基の塔」と「中尊」 長岡 龍作

— 396 —

移動と混淆へのサ ウダージ	今福 龍太	1885年収蔵のふた つのやまと絵— 《天稚彦草紙絵巻》 と《扇面 平家物 語》—	杉野 愛	法隆寺金堂四天王 像の諸問題	岩田 茂樹
ふるさとと神々—祝祭の空間と美の 伝統—	兵庫県立歴史博物館	《河内木綿製織図 巻》をめぐる	長井 健	法隆寺の名宝と聖徳太子の文化財展 リニューアルオープン記念	石川県 立美術館
「山のカミ・里の カミ」	神崎 宣武	ヘレニズムの華 ペルガモンとシル クロード—発掘者カール＝フーマン と平山郁夫のまなざし—	岡山市立 オリエンタ美術館	法隆寺の歴史と文 化—創立期を中心 に—	嶋崎 丞
“ふるさと”に息づ く祭り	小栗栖健治	ペルガモン大祭壇 とカール・フーマ ンの発掘「甦った 古代の世界不思議	フォルカー ・ケストナ ー	ポーラ・コレクション 美を競う～ マリー＝アントワネット、大奥の粧 いと香り～	ふくやま美術館
垂迹曼荼羅の構図 と力学—熊野・春 日・石清水—	橋村 愛子	ギリシアのヘレニ ズム美術「グロー バル美術の誕生」	芳賀 京子	マリー＝アントワ ネットの化粧部屋 ロココからベル・ エポックのおしゃ れ	津田 紀代
兵庫の神道彫刻	神戸 佳文	コラム「ペルガモ ンの大祭壇」の機 能 祭壇、英雄廟、 それとも?	田村 孝	江戸美人のおしゃ れ術 化粧・髪型 を中心に	村田 孝子
神宝と工芸	今野加奈子	ペルガモン王国の 歴史	”	美女たちが愛した 香り～マリー＝ア ントワネット、ジ ョセフィーヌ～	津田 紀代
碧南の空と大地の間展—まちを彩る 彫刻たち—	碧南市藤井達吉現代美 術館	コラム ペルガモ ン国王たちの顔	”	ロレーヌ宮廷の華 麗なるモードと画 家ジョルジュ・ド ・ラ・トゥール	平泉 千枝
碧南の空と大地の 間	土生 和彦	ベルリンのペルガ モン祭壇「激動の 20世紀のペルガモ ン博物館」	フォルカー ・ケストナ ー	ポーラ美術館コレクション モネ、 ルノワールからマティス、ピカソま で	長野県信濃美術館他
北京故宫 書の名宝展	日中平和友 好条約締結 30 周年記念	ペルガモン博物館 で開催された「日 本古美術展覧会」	桑原 節子	ポーラ美術館のコ レクションと鈴木 常司—コレクター が残した言葉から	荒屋舗 透
江戸東京 博物館開館15周年記念	江戸東京 博物館	シルクロード、そ して奈良へ「ヘレ ニズムの東漸」	平山 郁夫	印象派、あるユー トピアの終焉	木島 俊介
中国の書の歴史— 展示品を主として	西林 昭一	仏教美術の源流ガ ンダーラ「ヘレニ ズムと仏教の出会 い」	前田 耕作	画家たちの足跡を たずねて—南フラ ンスの旅	松本 猛
王羲之傑作の残影 ～蘭亭八柱第三本 (馮承素本)に寄せ て～	富田 淳	身近に息づくヘレ ニズム	安田 暎胤	クロード・モネの 《セーヌ河の日 没、冬》(1880年) —モネとヴェトウ イユ	岩崎余帆子
真賞斎コレクショ ン	”	宝蔵寺のたからもの 資料館	古河市立三和	キュビズムの誕生 —ピカソとブラッ クの蜜月時代	藤田 裕彦
董其昌の語った書	弓野 隆之	国宝 法隆寺金堂展 館	奈良国立博物 館	江戸文化シリーズ 24 北斎 DNA の ゆくえ	北斎—門肉筆画傑作選 板 橋区立美術館
ペリー&ハリス～泰平の眠りを覚ま した男たち～	江戸東京博物館他	釈迦三尊像と北魏 の仏教文化	大野 玄妙	北斎 DNA のゆくえ	安村 敏信
幕末開国と明治の 文明開化再考	田中 裕二	法隆寺金堂修正会 の感動	立松 和平	蹄斎北馬の肉筆画 について	佐々木英理 子
ペリーの眼になっ た男—ヴィルヘル ム・ハイネ	小林 淳一	世界最古の木造建 築 法隆寺金堂— 最新の研究から—	鈴木 嘉吉	星野眞吾賞展—明日の日本画を求め て—	トリエンナーレ豊橋 4 回 豊橋市美術館
万延遣米使節贈方 ・加藤素毛	落合 則子	法隆寺金堂壁面の 世界	梶谷 亮治		
ベルリン国立アジア美術館所蔵日本 美術名品展 美がむすぶ絆	郡山市 立美術館他				
ベルリン国立アジ ア美術館所蔵「東 洋美術コレクション 」のなかの日本 美術	ヴィリバル ト・ファイ ト 斎藤 郁夫 訳				
造形史上における ベルリン本《地藏 菩薩像》の独創性 について	鈴木 誠一				

選評	針生 一郎
〃	菊屋 吉生
〃	野地耕一郎
〃	三頭谷鷹史
〃	吉田 俊英
§ 作家の言葉 §	加藤 良造
〃	マツダジュンイチ
〃	梅木 雅子
ボストン美術館 浮世絵名品展 色あざやかなり 江戸の夢 名古屋ボストン美術館他	
いま秘宝の扉が開かれた—ボストン美術館の浮世絵コレクション—	永田 生慈
ボストン美術館の浮世絵—版画・版本・肉筆作品1890—2008年—	セーラ・トンプソン 岩切友里子 訳
コラム1 ボストンの“松坂”—稿と木綿と江戸の粋	岩永 悦子
コラム2 春信と和歌—画中の恋を読み解くキーワード	鏡味 千佳
コラム3 葛屋重三郎とその時代	松沢 寿重
コラム4 新興都市・江戸の名所と浮世絵	我妻 直美
鳥居清信『風流四方屏風』について	服部 幸雄
北海道の水彩画 みづゑを愛した画家たち 北海道立近代美術館	
みづゑを愛した画家たち	佐藤由美加
掘り出されたえひめの江戸時代—くらし百花繚乱— 愛媛県歴史文化博物館	
コラム 蒲生時代の松山城下町絵図	井上 淳
松山城跡の発掘調査	西村 直人
宇和島藩江戸勤番武士の暮らし	井上 淳
近世後期伊予のやきもの—砥部焼・西岡焼・郡中十錦について—	石岡ひとみ

(マ行)

魔女たちの九九 The Witches One Times One 武蔵野美術大学美術資料図書館

魔女たちの黒と黄金—「芸術とは何か」を問う ゴールデン・トラヴェラ—

鶴岡 真弓

妣が國へ—(魔女たち)の九九を数えて

鷹見 明彦

女性アーティストの今

岡部あおみ

§ 作家の言葉 §

合田佐和子

〃

塩崎由美子

〃

内田あぐり

〃

たほりつこ

〃

柳澤 紀子

〃

真島 明子

〃

遠藤 彰子

松本コレクション展2回〜松本夫妻の人柄が滲み出る作品群〜 大川美術館

ごあいさつ 大川 栄二

学びの風景—明治のおもちゃ絵・絵双六に描かれた教育 玉川大学教育博物館

明治のおもちゃ絵と絵双六に描かれた学びの風景

柿崎 博孝

まぼろしの唐代精華—黄治唐三彩窯の考古新発見— 奈良文化財研究所飛鳥資料館

I. 河南省文物考古研究所との共同研究

II. 鞏義黄治窯跡の調査と発掘

孫 新民
郭 木森

III. 黄治窯の諸問題

IV. 唐三彩の理化分析

降幡、順子

曼荼羅 つどうほとけたち 神奈川県立金沢文庫

総説

向坂 卓也

コラム 弘明寺と本尊十一面観音菩薩立像

瀬谷 貴之

三河念仏の源流—高田専修寺と初期真宗— 岡崎市美術博物館

親鸞の事績と専修寺の歴史 常磐井慈裕

三河真宗の源流をさぐる 新行 紀一

木造顕智・真佛上人像(専修寺蔵)について 川瀬 由照

三井家の茶箱と茶籠—数寄の玉手箱— 三井記念美術館

三井家の茶箱と茶籠 清水 実

魅惑の像 具象的なかたち 茨城県つくば美術館

人形の具象性の造形—人形・彫刻・工芸を跨ぐ像のかたち 外館 和子

無垢の眼 稲田萌子 枝松直子 成瀬麻紀子 宮田佳代子 早稲田大学會津八一記念博物館

はなさか娘たち 丹尾 安典

∞MAUGEN 2007年大学院修了制作展 武蔵野美術大学創立80周年記念 東京都美術館

Dear Young Artist, 岡部あおみ

室町將軍家の至宝を探る 徳川美術館

概説 室町將軍家の至宝を探る 志賀 太郎

足利義満時代の善阿弥と鑑蔵印について 山本 泰一

能阿弥・相阿弥筆と伝えられる外題について 志賀 太郎

室町時代における唐物漆器の受容 小池 富雄

名画に出逢う、秋—日本画・珠玉の名品展— 八幡市立松花堂美術館

京都の日本画の品格 太田垣 實

明治の洋画—解説から鑑賞へ— 茨城県近代美術館

明治の洋画に見る「美術」の成立、あるいは作品と観客のあいだについて 市川 政憲

名所の誕生〜飛鳥山で読み解く名所プロデュース〜 北区飛鳥山博物館

こらむ一 ふたつの神社縁起をめぐる	石倉 孝祐	〃	カンディダ・ヘーファ	森川如春庵の世界 茶人のまなざし 名古屋市博物館他	
こらむ二 ふたつの金輪寺御座所をめぐる	〃	ファクトリー	チェン・ジエレン	如春庵森川勘一郎の話	小川 幹生
こらむ三 女性たちの花見	久保堅企美子	§ 作家の言葉 §	ピーター・ローゼル	森川如春庵が遺した名碗	林屋 晴三
こらむ四 「往来物」に知る王子への観光ルート	〃	薔薇戦争	イヴォンヌ・リー・シユルツ	式玄庵、聞き書き—如春庵との出会い	戸田鍾之助
こらむ五 名所のブランドを得た飛鳥山…飛鳥山十二景詩歌と冷泉家	石倉 孝祐	§ 作家の言葉 §	千々岩 修	益田鈍翁一人と茶の湯—	熊倉 功夫
こらむ六 グルメ・タウン王子・飛鳥山	〃	〃	須田 悦弘	如春庵森川勘一郎旧蔵の絵画	樋口 一貴
こらむ七 外国人の見た江戸の名所王子・飛鳥山	〃	〃	マリエッタ・モスラー	如春庵と古筆	山本 祐子
こらむ八 飛鳥山公園の花守たち	久保堅企美子	木食応其 秀吉から高野山を救った僧 和歌山県立博物館			
エピソードⅠ 古代の飛鳥山～大地から知る人々の暮らし	鈴木 直人	木食応其—秀吉から高野山を救った僧—	前田 正明		
エピソードⅡ 飛鳥山周辺における自然史研究～研究の場としての飛鳥山・王子・滝野川～	中野 守久	方広寺の造営と応其	〃	国宝 薬師寺展 平安遷都1300年 記念 東京国立博物館	
エピソードⅢ 写された飛鳥山～飛鳥山の明治・大正・昭和～	久保堅企美子	瓦にみる近世の幕開け	芦田 淳一	薬師寺の宗教・信仰	安田 暎胤
目で見る天童市の文化財展 若松観音開山1300年祭記念 天童市美術館		東寺の修造と応其	新見 康子	薬師寺の歴史	東野 治之
若松観音開山1300年の歴史		応其と連歌と「無言抄」	安永 拓世	若き古代 初期律令国家の理想— 薬師寺金堂薬師三尊像について—	金子 啓明
天童市山口地区(旧山口村)について		木食応其と桃山時代の仏師	大河内智之	コラム 八幡神と仏教	丸山 士郎
天童市史編集の歴史	池田 良平	応其と根来大工	鳴海 祥博	コラム 塑像	〃
メモリアーまなざしの軌跡 熊本市現代美術館		モダンガールズあらわる。昭和初期の美人画展 島根県立石見美術館		コラム 慈恩会	金子 啓明
メモリアーまなざしの軌跡	本田代志子	奉祝の時代の女性像—昭和初期の美人画の意味するもの	児島 薫	コラム 吉祥悔過会	沖松健次郎
新興熊本大博覧会 Kumamoto Grand Exposition in 1935	伊豆 菜々	コラム1 夢二を追放した男—『婦人グラフ』の革命児、多ヶ谷信乃	川西 由里	金堂薬師如来・日光菩薩・月光菩薩像の制作年代論争	浅見 龍介
§ 作家の言葉 §	レオニード・ソコフ	コラム2 洋画界のモダンボーイ、あらわる。	真住 貴子	入江泰吉 仏像撮影の心構え	説田 晃大
		コラム3 お産を描く—向井久万《男児生る》—	南目 美輝	弥生ムラの風景—越のクニ生み・境界・交流 石川県立歴史博物館	
		コラム4 何をお召しになりますか?—日本画と洋画にみる女性の装い	川西 由里	弥生ムラの風景—越のクニ生み・境界・交流—	戸淵 幹夫
		コラム5 スチールパイプ製のカンチレバーの椅子	河野 克彦	北陸地方の農耕社会の形成	久田 正弘
		モガの肖像 榎本千花俊試論	川西 由里	八日市地方遺跡に学ぶ	宮田 明
				北陸の弥生ムラと社会	安 英樹
				北陸の木製農耕具	楠 正勝
				日本海交流とコシの弥生社会の変革	林 大智

ヤング、アグレッシヴーロシア現代
芸術における挑発的なスピリット
武蔵野美術大学美術資料図書館

ちょっと見てごらん
なさいよ、若い
わねえ、まったく
く!!!ほら見て
ごらんなさい、ア
グレッシヴーねえ、
ほんとに!!!!

ロディ・オン

不屈の芸術

ヴィクトル・マーゲン

若さと挑発

オレシヤ・ツルキナ

Body — corpse
境界外の芸術の
ための急進的な若
者文化

マッシモ・カネヴァッ
チ

なめらかな皮膚の
裂けるとき『ヤ
ング、アグレッシ
ヴ』におけるイメ
ージと暴力性

貝澤 哉

倫理・昇華・現実
的なもの

福田 肇

暴力的な形式の映
像がなぜ叙情的か

板屋 緑

優美なる百花繚乱の世界—表現され
た植物を見る— 広島県立歴史民俗
資料館

絵の中の花

金田 晋

夢の饗宴 歴史を彩るメニュー×現
代のアーティストたち 資生堂ギャ
ラリー

イツ・ア・ワン
ダブル晩餐会!!一
夢の饗宴の空間構
成

豊嶋 秀樹

メニューコレクシ
ョンについて

立松 弘臣

Dream Banquet
for you

工藤千愛子

妖怪大集合!! 開館10周年記念 南
丹市立文化博物館

奥深く豊かな日本
の妖怪文化

小松 和彦

ヨーロッパ絵画展—バロックから近
代へ—ある日本人蒐集家の秘蔵コレ
クション公開 岩手県立美術館

バロックから近代
へ

千足 伸行

横浜・東京—明治の輸出陶磁器 神
奈川県立歴史博物館

概説 佐々木登美子

横浜トリエンナーレ 2008 TIME

CREVASSE 新港ピア/日本郵船

海岸倉庫(BankART Studio NYK)/

横浜赤レンガ倉庫1号館/三溪園/

大さん橋国際客船ターミナル/ラン

ドマークプラザ/運河パーク他

タイムクレヴァス

水沢 勉

タイムクレヴァス

〃

ゲームの規則

ダニエル・バーンバウ
ム
フー・ファ
ン

三宅 暁子
ハンス・ウ
ルリッヒ・
オブリスト
ベアトリク
ス・ルフ

時間性が取引され
る市場:ポスト時
間恐怖症の思考の
あれこれ

バメラ・M
・リー

後ろにおしのける
時間の広がりに関
する5つの文学的
試考

トム・マッ
カーシー

「後の祭り」を祈る
—過去は物語り

大森 荘蔵

よみがえる幻の染色 出雲藍板締め

の世界とその系譜 島根県立古代出

雲歴史博物館

コラム 古代板締
めの製作工程

石塚 広

コラム パーゼル
民族博物館のイン
ド版本

〃

コラム 藍板締め
と板倉家

岡 宏三

コラム 復元され
た中国の藍板締め

石塚 広

コラム 紅板締め
の製作工程

〃

コラム シンプル
デザイン—板締め
文様

岡 宏三

よみがえる出雲藍
板締め

浅沼 政誌

甦る琉球王国の輝き 中国・北京故

宮博物院秘蔵 沖縄県立博物館・美

術館開館1周年記念 沖縄県立博物

館・美術館

故宮博物院蔵の琉
球文物をめぐる背
景

高良 倉吉

冊封関係と琉球

豊見山和行

海を越えた中華の
至宝—琉球に舶載
された玉・ガラス

真栄平房昭

琉球と清朝

渡辺 美季

久米村の人々—中
国外交と文化の担
い手—

〃

国子監に学んだ琉
球の官生—友好的
な冊封・朝貢体制
の証となった留学
生派遣制度—

上江洲安享

久米島と冊封・進
貢

深澤 秋人

琉球の美意識の形
成[試論]

平川 信幸

故宮博物院秘蔵—
長い眠りから覚め
た琉球漆器

張 麗

[紅型] 北京故宮
博物院に収蔵され
た琉球時代の染織
物

白 寅生

絵に見る中琉交流
史—故宮博物院収
蔵の琉球関係作品
について

李 湜

故宮博物院の琉球
漆器について

宮里 正子

故宮博物院に残る
染織—中国・琉球
の交流をみる—

與那嶺一子

故宮博物院蔵の金
工について

久保 智康

(ラ行)

両洋の眼2008 三越(日本橋)他

花開き蝶飛翔する

米倉 守

座談会 新しい創
造の潮流

富山 秀男

松尾 敏男

小杉小二郎

宮 いつき

諏訪 敦

§ 展覧会によせて
§

富山 秀男

〃

草雄奈津子

〃

瀧 悌三

〃

藤 慶之

〃

池田 良平

〃

井澤 博

ルーヴル美術館展—フランス宮廷の美— 東京都美術館他

18世紀フランス宮
廷の栄華 マルク・バ
スク 矢野 陽子
訳

ロカイユ様式から
新古典主義へ フレデリッ
ク・ダサス 矢野 陽子
訳

物語を織る 大野 芳材

ボンパドゥール侯
爵夫人が宮廷人として必要とした技
術と学術 乙葉 哲

マリー=アントワ
ネットと日本 岡 泰正

(ワ行)

わたしいまめまいしたわ 現代美術
にみる自己と他者 Self/Other
東京国立近代美術館

1 わたしはひとりではない 蔵屋 美香

2 アイデンティ
ティの根拠 「同
一」な「私」の「めま
い」 三輪 健仁

3 暗い部屋と
「わたし」 カメラ・オブスクラ 鈴木 勝雄

4 揺らぐ身体 保坂健二郎

5 スフィンクス
の問いかけ //

6 冥界との対話 鈴木 勝雄

7 SELF AND
OTHERS 蔵屋 美香

8 「社会と向き
合うわたし」を見
つめるわたし 大谷 省吾

作家展

(ア行)

相笠昌義展—日常生活—1957~2008
多摩美術大学美術館

§展覧会によせて § 宝木 範義

日常の眼 寺田小太郎

「尋ねびとの時間」
—相笠昌義さんの
絵— 窪島誠一郎

あいさつ 相笠 昌義
少女マンガ3人展~しものせきより
愛をこめて~水野英子・青池保子・
文月今日子 下関市立美術館

水野英子、青池保
子、文月今日子、
三作家の共通点~
その青年キャラク
ターの魅力~ ヤマダトモ
コ

新星・水野英子の
誕生 丸山 昭

福田たね 青木繁のロマン 芳賀町
総合情報館開館記念 芳賀町総合情
報館

福田たね・青木繁
出合いの序章 福
田たねを育てた人
々・福田豊吉と五
百城文哉 柏村 祐司

青木繁と福田たね
の時代 植野 健造

福田たねの生涯と
絵画制作 林 宏子

「海の幸」青木繁と久留米の美術 石
橋美術館所蔵名品展 久留米藩士入
植130周年記念 郡山市立美術館

石橋美術館のこと 平間 理香

青木繁《海の幸》を
めぐって 森山 秀子

画家たちのふるさ
とについて 中川原有紀

建築がうまれるとき ベーター・メ
ルクリと青木淳 東京国立近代美術
館

建築を読み、考え
ること メルクリ
の建築から 貝島 桃代

マキシマルな操
作、あるいはそば
うどんをいちどに
食べながら同時に
歌うこと 田中 功起

建築家がつくり続
ける理由 ベータ
ー・メルクリと青
木淳 保坂健二郎

No potato of name 1 floor 2008

〔青田真也／八嶋有司／吉田周平〕
神戸アートビレッジセンター

作家インタビュー 青田 真也

作家インタビュー 八嶋 有司

作家インタビュー 吉田 周平

郷土作家シリーズ IX 書の泰斗
赤星藍城 そして秋田書壇の今 生
誕150年 秋田県立近代美術館

秋田書壇と赤星藍 嵯峨 米脚
城 小笠原 光

赤星藍城の絵画に
ついて 佐々木直子

秋野不矩展 生誕100年記念 京都
国立近代美術館他

秋野不矩 新しい
「日本画」の探究者
—生誕100年記念
秋野不矩展への序 岩城 見一

秋野不矩の生涯と
芸術 岡 久美子

秋野不矩さんのこ
と 吉行 和子

秋野不矩と色 岡 久美子

不矩 インド紀行 秋野亥左幸

青甲社入塾頃の不
矩 小倉 実子

創造美術と秋野不
矩—《少年群像》を
中心に 奥野 美香

岐阜県二人展—松本竣介・麻生三郎
美濃加茂市民ミュージアム

1947年のこと 可児 光生

作家たちの1940年
代 岐阜県二人展 菊地 由花
をめぐって

ブラジル×日本 旅が結ぶアート
兵庫県立美術館+オスカー・ニーマ
イヤー美術館交流展[ジョゼ・アン
トニオ・デ・リマ／フランシスコ・
ファリア／マゼ・メンデス] 兵庫
県立美術館

マゼ・メン
デス
「痕跡」 大津クラウ
ジア富美子
訳

ジョゼ・アン
トニオ・デ・リマ
大津クラウ
ジア富美子
訳

見えるようにする

南北アメリカの風
景が持つ意味 フランシス
コ・ファリア
速水 豊 訳

旅が結ぶアート 河崎 晃一

ふるさと徳島の面影—飯原一夫絵画展 徳島市立徳島城博物館

飯原一夫の絵画について 小川 裕久

百花譜の世界 山野に咲く花々—五百城文哉の「高山植物写生図」 水戸市立博物館他

永遠に咲き続ける
百花百草—五百城
文哉の『高山植物
写生図』 寺門 寿明

池口史子展—静寂の次— 渋谷区立松涛美術館

池口史子の風景 浅野 徹
混沌からの出発 本江 邦夫

漆、新しき経験 池田巖1960—2008 菊池寛実記念智美術館

2008年の私 池田 巖

池田満寿夫—知られざる全貌展 東京オペラシティアートギャラリー他

池田満寿夫について 佐藤 陽子

破格の造形・般若心経 林屋 晴三

池田満寿夫の足跡・歴史 井端理英子
中尾 美穂

池田満寿夫との交遊 荒井 一章

池田満寿夫と増穂登り窯 太田 治孝

池田満寿夫の現在・過去・未来—その評価をめぐって 堀 元彰

池田満寿夫の線描と墨 池田満寿夫の陶とピーター・ヴォーコス 浜田 重幸

池田遙邨展 没後20年 海の見える 杜美術館他

父を語る 池田 道夫

池田遙邨先生のこと 田中日佐夫

池田遙邨 絵とこころ—生涯と画業— 今井 淳

「池沼コレクション」について //

路上の人—池田遙邨小論— 佐々木千恵

遙邨芸術を語る—1 [対談]岡村倫行 田中日佐夫

遙邨芸術を語る—2 [対談]村居正之 今井淳

書簡で辿る回想の池田遙邨先生 松野 静香

伊砂利彦 志村ふくみ 二人展—染める、織る 最前線— 福島県立美術館

「私の仕事、作品について」 伊砂 利彦

「まだこの仕事に憧れをもつなんて…」 志村ふくみ

伊砂利彦と志村ふくみの共同制作—学芸員の覚書— 佐治ゆかり

伊砂利彦と志村ふくみ—形と色の時代— //

石内都展 ひろしま／ヨコスカ 目黒区美術館

「横須賀」、「私」、「女」、そして「石内都」—石内都論 土屋 誠一

広島の新ヴェロニカ 四方田大彦

「娘たち」の桜の木 与那原 恵

石内都+正木基：1、初期作品をめぐって〜「写真効果」展から「From YOKOSUKA」展へ 石内 都 正木 基

石内都+土屋誠一+正木基：2、身体をめぐって〜「1・9・4・7」から「INNOCENCE」まで 石内 都 土屋 誠一 正木 基

石内都+与那原恵+正木基：3、不在の肉体—Mother's、ひろしま、そしてヨコスカ 石内 都 正木 与那原 基 恵

「絶唱、横須賀ストーリー」について 正木 基

石田徹也—僕たちの自画像—展 練馬区立美術館

「石田徹也—僕たちの自画像—」展開催にあたって 石田 嘉弘

石田徹也論のための覚書 横山 勝彦

心で描いた日本画展 石本正米寿記念 一畑百貨店他

美の奇人・石本正 梅原 猛
米寿を迎える画家 富山 秀男
石本正の全人的活動

画家石本正の足跡に、時を越えどんな花を咲かせる事ができるのか 平坂 常弘

心で描いた日本画 石本 正 神 英雄、智 丸山 智 聞き手・編集

建築がみる夢 石山修武と12の物語展 世田谷美術館

あいさつにかえて 石山修武の思索の運動 酒井 忠康

思想と工作 石山修武という建築家 鈴木 博之

建築がみる夢 石山 修武

石山修武と私 柄谷 行人

都市の眼を通して 建築をみる サスキア・サッセン 石山 友美 訳

石山修武とヒューマンティの建築—ブノンペン《ひろしまハウス》 マリア・セ シリア・ロス キアボ 石山 友美 訳

石山修武氏へのインタビュー 守安 美栄 聞き手

石山修武の建築にみる夢と現実 野田 尚稔

第一章 カトマンズ盆地に平安は戻っていますか ひろしまハウス in ブノンペン 石山 修武

第二章 老ヨットマンの夢 渡真利 島 月光・TIDA計画 //

第三章 猪苗代湖の農園村 猪苗代鬼沼計画 //

第四章 ラテンアメリカのモバイル・シアター チリ 建国二〇〇年祭とグアダハラ計画 //

間奏曲 老アヴァンギャルドとのコラボレーション 「砂時計とミイラ」計画 //

第五章 ジャズ喫茶ベインシーの物語音の神殿計画	〃	§ 作家の言葉 §	上前 智祐	大岩オスカル 夢みる世界 東京都現代美術館他	
第六章 子供たちの城 天の川・さくろの小径計画	〃	〃	山中 嘉一	オスカルの世界	大岩オスカル
第七章 私がケイタイを持たないワケ 世田谷村	〃	〃	坪田 政彦	作家の言葉	〃
第八章 花の観音様・バヴィリオン・山車 浅草計画	〃	〃	奥村 泰彦	大岩オスカル、“世界”を描く人	鎮西 芳美
磯崎新 七つの美術空間 リニューアル・オープン記念 群馬県立近代美術館		上村松園・松篁・淳之展—いのちの煌き、美人画と花鳥画— 豊橋市美術館	豊橋市美術館 三代展に寄せて	世界を夢みる旅人、大岩オスカル	荒木 康子
初期群馬県立近代美術館の開館当時の美術界周辺を取り巻く状況	藤江 秀一	上村松園と松篁、淳之の芸術	上村 淳之	大窪詩佛展 江戸民間書画美術館	
万博から…	谷内 克聡	〃	金原 宏行	渥美コレクション 日立市郷土博物館	
伊藤彬展—モノクロームによる現代の表現— 平塚市美術館		広重の風景版画展 広重が愛した日本の情景 没後150年記念「歌川広重」 山口県立萩美術館・浦上記念館		江戸文化の中の文人サロンの賑わい 大窪詩佛とその仲間たち	渥美 國泰
伊藤彬・大いに語る	伊藤 彬 草薙奈津子 聞き手	歌川派の絵師広重と風景版画の魅力 鈴木 浩平 について	鈴木 浩平	詩仏の生涯	大森 林造
解説 伊藤彬作品の特色と変遷	江口 恒明	モーリス・ド・ヴラマンク展 没後50年 損保ジャパン東郷青児美術館他		大窪詩仏の詠物詩	石川 忠久
今井信吾展—あざなえる色と形— 多摩美術大学美術館		ヴラマンク、フォーヴィスムから叙情的表現へ	マイテ・ヴァレス＝ブレッド	化政期文人の交遊と遊歴—江戸の流行詩人大窪詩仏の生活—	掛斐 高
§ 作家の言葉 §	今井 信吾	ヴラマンク—人と芸術	中村 隆夫	なつかしの風景 大下藤次郎の水彩画 開館3周年記念 島根県立石見美術館	
今森光彦写真展 昆虫4億年の旅 進化の森へようこそ 東京都写真美術館		エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家 国立国際美術館他		みづゑ一辺倒	原田 光
今森光彦の世界	福原 義春	意味のしるし—エミリー・カーメ・ウングワレーという天才	マーゴ・ニール 橋本 啓子 訳	コラム 大下藤次郎と原田直次郎	川西 由里
昆虫たちへのまなざし	今森 光彦	エミリーを見続けて—追想	トニー・エルウッド 橋本 啓子 訳	コラム 大下藤次郎と三宅克己	〃
表情の魅力	日高 敏隆	描かれた夢と大地	西野 華子	コラム 大下藤次郎と島根	〃
昆虫4億年の旅	関次 和子	ドリーミングという名の絵画 西欧文化圏内における非西欧文化圏から生まれ出た祝福された表現	中井 康之	コラム 大下藤次郎と森鷗外	〃
入江観展 日動画廊		インボッシブル・モダニスト	建畠 哲	コラム 大下藤次郎の人物画	〃
入江観論	宝木 範義	遠藤彰子の世界展—満ちゆく生命— 池田20世紀美術館		コラム 花を描く	〃
岩井敏写真展 マスケラの夢—ヴェネツィア— 渋谷区立松涛美術館		遠藤彰子展を前にして 作品との対話	瀬木 慎一	蜀山人 大田南畝—大江戸マルチ文化人交遊録— 太田記念美術館	
写真展の開催にあたり	岩井 敏	§ 作家の言葉 §	遠藤 彰子	蜀山人 大田南畝 虚・実・雅・俗の多面体—	掛斐 高
岩瀬広隆—知られざる紀州の大和絵師— 和歌山県立博物館				笑はば笑へ—政変期の南畝	小林ふみ子
総説 岩瀬広隆—その生涯と画業—	近藤 壮			大田南畝の漢詩と狂歌—題画詩と画賛に見る雅俗融和	池澤 一郎
点と面の詩情—上前智祐・山中嘉一・坪田政彦展 和歌山県立近代美術館				江戸文人サロン文化の中の大田南畝の登場	渥美 國泰
				大庭英治展 高島屋(日本橋)	

大庭英治君の仕事 瀧 梯三
大橋翠石—日本一の虎の画家—田原
市博物館開館15周年記念 田原市博
物館他

猛虎・超然・独立
の大家 大橋翠石 村田 隆志
研究序説

大村廣陽展 豊麗な花鳥動物画 没
後25年 ふくやま美術館

大村廣陽の画業に
ついて 大前 勝信

画家とその妻 大
村廣陽の画伝に加
えて 内海 義郎

大村廣陽と日本美
術の国際化 ハンス・ビ
アーネ・ト
ムセン
谷藤 史彦
訳

岡鹿之助展 ブリヂストン美術館

岡鹿之助 — また
は、絵空事の重さ 貝塚 健

資料1 岡鹿之助
第一次フランス滞
在期書簡 貝塚 健 編

資料2 岡鹿之助
パリ短信 一九三
—一九三九年 田辺 徹 編

岡崎紀展—ある風景 時・風—1960
〜2008 多摩美術大学美術館

§ 展覧会によせて 藤谷 宣人
§

” 清田 義英

” 本江 邦夫

あいさつ 岡崎 紀

岡村桂三郎展 神奈川県立近代美術
館(鎌倉)

巨大さの気配—岡
村桂三郎の近作に
ついて 山梨 俊夫

『猛獣篇』としての
岡村桂三郎の絵画 橋 秀文

岡本太郎 立体に挑む—造形のなぞ
にせまる— 川崎市岡本太郎美術館

日本彫刻史の中の
岡本太郎 田中 修二

岡本太郎の立体作
品制作について 杉田 真珠

岡本太郎が見た韓国 1964・1977
川崎市岡本太郎美術館

見えるものを超え
て 平井 敏晴

岡本太郎の感性を
震動させた韓国 金 両基

岡本太郎・韓国発
見 片岡 香

小倉健作陶展 自然と造形 1970—
2008 明石市立文化博物館

作者のことば 小倉 健

描かれた影の記憶 小野隆生展 イ
タリアでの活動30年 池田20世紀美
術館

小野隆生・寡黙と
の会話 瀬木 慎一

悠然としてそこに
在る 大野 正勝

「モルタッチ家」の
人々との再会に寄
せて 樋口 昌樹

[対談]小野隆生×
河合哲夫

小野隆生新作展2008 ときの忘れも
の

「貴種」に正対する
目 大倉 宏

(カ行)

絵本の魔術師 エリック・カール
はらべこあおむしから最新作まで
松屋(銀座)他

あえてよかった 工藤 直子

大混乱のなかから
生まれる穏やかな
作品 ニコラス・
クラーク

光の様態・勝井三雄 the appearance
of light : mitsuo katsui 池田20世紀
美術館

限界にいだむ視覚
の宇宙 永井 一正

光がアフォードす
るもの 杉田 敦

あとがき—私の光
語法履歴— 勝井 三雄

加藤唐九郎・重高・高宏 窯ぐれ三
代展 丸栄スカイル(名古屋)他

§ 作家の言葉 § 加藤 重高

” 加藤 高宏

三代にわたる陶人 林屋 晴三

加藤唐九郎・重高
・高宏—「かまぐ
れ」三代の作陶 唐澤 昌宏

加藤高宏の造形—
時間を掬いとるか
のように 花里 麻理

彩艶 金谷朱尾子—うつろう心 笠
岡市立竹喬美術館

朱尾子(薫子)展に
寄せて 金谷 哲郎

瑠璃色 金谷 麗子

金谷朱尾子の画業 上蘭 四郎

金子コレクションから見た 金山平
三の世界 笠間日動美術館

金山画伯の思い出 金子阿岐夫

金山平三—その生
涯と仕事振り 萬木 康博

狩野芳崖 悲母観音への軌跡—東京
芸術大学所蔵品を中心に— 東京芸
術大学大学美術館

《悲母観音》考 古田 亮

芳崖と西洋顔料 荒井 経

もうひとつの悲母
観音—観音下図と
呼ばれる画稿の意
味— 井土 誠

進化論としての悲
母観音図 佐藤 道信

東京芸術大学所蔵
狩野芳崖模本群—
「芳崖」以前の芳崖
— 岡本 正康

加山又造 アトリエの記憶III 多摩
美術大学美術館

アトリエの記憶III
展に寄せて 加山 哲也

月光の切り拓く世
界を視る《月と竊
馬》 本江 邦夫

加山又造先生のリ
トグラフ制作を手
伝った中で 木村 希八

木版画「干綱」「網」
について 加山英利子

加山又造の陶磁と
共同制作について
—京都への想いと
制作への反映— 加山 哲也

手描きの着物への
一考 加山英利子

加山又造先生の多
岐に渡る仕事の中
から、着物とジュ
エリーについて 檜垣 壇

加山又造資料の整
理報告 米谷 清和

ダニ・カラヴァン展 世田谷美術館
他

道程への思索

ダニ・カラヴァン
の仕事—その初期
と後期ダニ・カラヴァン
と日本初期作品—素描、
絵画、イラストダニ・カラヴァン
の舞台美術 1960
—1983平和の原理へと向
かう足跡—絵画か
ら環境造形へパブリック・コミ
ッション—ダニ・
カラヴァンによる
サイト・スペシフ
ィックな環境芸術描かれた空間と模
られた絵画、メデ
ィアとしての空間
—ダニ・カラヴァ
ンのインスタレー
ションについてガレとジャポニスム[エミール・ガ
レ] サントリー美術館他ガレが見た日本の
美意識「これはもはや日
本のものではなく、
ガレのものだ」エミール・ガレと
日本美術—パリ装
飾美術館のガレ・
コレクションガレ工房のデザイ
ン画における日本
美術の影響ガレ所蔵の日本美
術佐伯留守夫と川上澄生 木版画が結
んだ絆 川上澄生美術館佐伯留守夫と川上
澄生—二人の絆—川喜田半泥子と人間国宝たち展—桃
山ルネッサンス 陶芸の近代化—
宮崎県立美術館川喜田半泥子とか
らひね会ダニ・カラ
ヴァン
清水 裕子
訳モルデハイ
・オメル
野中 明 訳

酒井 忠康

ヴァルダ・
シュタイン
ラウフ
野中 明 訳シモン・レ
ヴィニアリ
石崎 尚 訳

野中 明

クリストフ
・ブロック
ハウス
高嶋雄一郎
訳

高嶋雄一郎

土田ルリ子

フィリップ
・ティエボ
ージャン＝リ
ュック・オ
リヴィエヴァレリー
・トマ

山根 郁信

木版画が結
んだ絆

白井佐知子

桃
山ルネッサンス

宮崎県立美術館

榎本 徹

川喜田半泥子と父
荒川豊蔵の思い出

無芸な粹人

「からひね会展」と
川喜田半泥子、金
重陶陽の思い出

休和の思い出

雅の継承—源氏物語絵巻に挑む 田
中親美・川面義雄 京都府京都文化
博物館復元模写 源氏物
語絵巻 田中親美木版本 源氏物語
絵巻 川面義雄源氏物語千年紀事
業 木版本源氏物
語絵巻 試摺プロ
ジェクト酔うて候—河鍋晩斎と幕末明治の書
画会 成田山書道美術館他河鍋晩斎の席画
そして書画会描かれる「書画会」
の登場酒と席画は江戸の
華晩斎時代の東京画
壇『絵日記』から見る
河鍋晩斎と書画会河鍋晩斎とその娘
・晩斎の作品—成
田山霊光館・河鍋
晩斎記念美術館の
所蔵作品より—絵画の冒険者 晩斎 Kyosai—近代
へ架ける橋—没後 120 年記念 京都
国立博物館

曾祖父晩斎

晩斎は十八世紀京
都文化の正しき継
承者晩斎と外国人—出
会いから交流へ晩斎が狩野派から
得たもの

川俣正[通路]展 東京都現代美術館

対談 熊倉敬聡×
津田広志×川俣正対談 三脇康生×
川俣正対談 湯浅誠×川
俣正

荒川 武夫

金重 晃介

金重 晃介
三沢 茂

三輪 静子

河鍋 楠美

ロバート・
キャンベル

佐藤 道信

高橋 利郎

河鍋 楠美

河鍋 楠美

狩野 博幸

ディモシー
・クラーク

山下 善也

河鍋 楠美

河鍋 楠美

河鍋 楠美

河鍋 楠美

河鍋 楠美

河鍋 楠美

河鍋 楠美

河鍋 楠美

河鍋 楠美

河鍋 楠美

河鍋 楠美

河鍋 楠美

対談 佐藤真×川
俣正川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)川俣正 資料編
(1979年→)バイオグラ
フィ：
川俣 正
編著
ビブリオグ
ラフィ：
鍋木あづさ、
水谷 香恵
編

不動 美里

金子 賢治

横谷賢一郎

バトリシア
・フィスタ
ードリス・フ
ォン・ドレ
イテン
ポーリン・
エルゼンハ
イマー 訳清原啓一回顧展 新花鳥画への道程
富山県立近代美術館

回顧展によせて

新花鳥画への道程
—清原啓一の画業
にふれて

釘町彰展 東急(渋谷)

秘すれば花、とい
う無限 見えるも
の、視えないもの工藤健作品展 みずみずしくヒュー
マンな彫刻の世界 多摩美術大学美
術館退職記念展に寄せ
て國松明日香展—風、水面ふるわし、
そよぎゆく光 札幌芸術の森美術館國松明日香の彫刻
—空間に奏でる北
の自然の詩

吉崎 元章

國松明日香一風、 水面ふるわし、そ よぎゆく光	岩崎 直人	対談 小泉力雄× 高橋勇一郎 Simple ple		銅路魂をキャンバ スに—画家・小林 一雄	角井千代絵
国吉康雄(1889—1953)展—アメリ カンドリームの光と影—福武コレク ションによる絵画・版画・素描・写 真 群馬県立館林美術館		振り返って 小泉 力雄		信念と探究の画家 小林一雄	瀬戸 厚志
群馬県立近代美術 館所蔵の国吉作品 について	中田 宏明	小磯良平 聖書のさしえ展 神戸市 立小磯記念美術館		小林敬生 — 木口木版画 1980— 2008 — 高島屋(日本橋)	
これはただの悲劇 なのか—国吉康雄 と日本、アメリカ、 そして戦争を考え る	伊藤 佳之	小磯良平と聖書の 挿絵	辻 智美	敬生さんの版画雑 感	辻 惟雄
地からのメッセージ・静かなる世界 久野和洋 1963—2008 武蔵野美 術大学教授退任記念 武蔵野美術大 学美術資料図書館		子どものいる風景—小磯良平「二人 の少女」から—小磯良平没後20年記 念 神戸市立小磯記念美術館		小林裕児と物語 ギャラリー椿	
自分との約束 久野 和洋		モデルになった思 い出	嘉納 邦子	対談 小林裕児× 八柳サエ	
久野和洋さんとの 出会い 大石 芳野		子どものいる風景 —小磯良平「二人 の少女」から—	辻 智美	劇作家・広田淳一 が「朱い場所」から 創り出した2つの 物語 だんだん生 まれて おかつぱ レマちゃん川流れ	広田 淳一
Shiseido art egg 2 回 窪田美樹展 「DESHADOWED—かげとり」 資 生堂ギャラリー		In These Days[小出ナオキ] 小山 登美夫ギャラリー		駒井哲郎—若き日の稀少作品 3 点— 白銅鞮画廊	
第 2 回 shiseido art egg賞 審査実 施報告		[In These Days/ 小出ナオキ]	小出ナオキ	駒井哲郎 最初期 の銅版画について	瀧沢 恭司
いのちのかたち 熊谷守一展 岐阜 県美術館		京都画壇に咲いた夢 幸田春耕・ 暁治父子と京都・徳島の日本画家た ち 徳島県立近代美術館		駒井哲郎銅版画展—イメージと言葉 の共振—俳人のコレクションによ る 名古屋ボストン美術館	
いのちのかたち 廣江 康孝		義父春耕の思い出 幸田 隆子		馬場駿吉館長イン タビュー：駒井さ んとの出会い	田中 咲子、 宮坂 奈由 聞き手
熊谷守一の「ほと けさま」 堀川亜由美		京都画壇に咲いた 夢—幸田春耕と暁 治の画業を中心に して	森 芳功	小松誠 デザイン+ユーモア 東京 国立近代美術館	
ごんぎつねと黒井健の世界 茨城県 天心記念五浦美術館		大正期の鬼才 河野通勢 新発見作 品を中心に 平塚市美術館他		小松誠—デザイン +ユーモア—	諸山 正則
「ごんぎつねと黒 井健の世界展」に 寄せて	黒井 健	河野通勢—奇想と 見神のすべて	瀬尾 典昭	GOLBA 時を彫る[ホセイン・ゴル バ] 宇部市ときわミュージアム	
展覧会の構成につ いて	三代 博紀	絵空事師・河野通 勢—その挿絵と装 幀	岩切信一郎	序 「時を彫る— はかなさと共存の 中で」	ホセイン・ ゴルバ
黒井健絵本原画展 の開かれるまで	小泉 淳一	河野通勢—長野の 青春時代	木内真由美	孤独であることは アーティストであ ること	馬場 璋造
桑久保徹展 World Citizens with the White Boxes 小山登美夫ギャラリー		河野通勢・画風の 変化とその背景に ついて	土方 明司	彼方へ／此方へ— ホセイン・ゴルバ の求めるもの	水沢 勉
第 4 信 クウォード ・ボネ		ダイモーンの声 江尻 潔		畑の中の仏	ホセイン・ ゴルバ
小泉力雄 金属の仕事 武蔵野美術 大学教授退任記念 武蔵野美術大学 美術資料図書館		小杉小二郎展 巴里／窓辺に詩う 茨城県つくば美術館		「贈る」それは人の 心にひかりを与え る聖なる行為	〃
		小杉小二郎の作品 —その特質と展開	舟木 力英	\$ 作家の言葉 \$	〃
		少年・コノキ展[此木三紅大] 松山 庭園美術館		心で見ると	〃
		私の少年時代の事 此木三紅大		《光の梵鐘》につい て	〃
		Art Spirit／くしろの造形 7 小林一 雄 釧路市立美術館			

「風景の俳句とコミュニティアートブル」	〃	カミーユ・コローと日本	岡 泰正	佐伯祐三交流の画家たち	田中 善明
The Trace of Walking 子どもの足跡プロジェクト	〃	松方コレクションとコロー	陳岡めぐみ	佐伯祐三展—パリで夭逝した天才画家の道— 没後 80 年 記念	大阪市立美術館他
七人の師—精神的な経歴	〃	(サ行)			
自作について	〃	孤月甦る 西郷孤月生誕135年記念展 松本が松本のスタイルです vol. 5	松本市美術館	新出作品三、四を論じて、佐伯絵画の要諦に及ぶ—芸術に相渉るとは何の謂ぞ—	熊田 司
あとがき	西松 典宏 伊藤 裕夫	〔月光の中の梢〕西郷孤月展によせて	辻井 喬	佐伯祐三に関する二、三の断章	橋爪 節也
コロー 光と追憶の変奏曲〔カミーユ・コロー〕	国立西洋美術館他	孤月会の歩み—孤月を追って十五年	吉野 俊	「天才画家・佐伯祐三」の意味	澤田 佳三
カミーユ・コロー—現在を生きる19世紀の画家	高橋 明也	孤月の明治—日本美術院の成立まで—	細萱 禮子	エコール・ド・パリの終焉と佐伯祐三	久米 淳之
「彼は目で見た現実によって夢を支える……。」コロー、その生涯と作品	ヴァンサン・ボマレット 陳岡めぐみ 訳	よみがえる孤月	澁田見 彰	佐伯留守夫と川上澄生 木版画が結んだ絆 川上澄生美術館	
抗い難い調和—コローの歩みを追って	マイケル・パンタッツ イ 萩野 厚志 訳	截金の人間国宝展 齋田梅亭と西出大三 金箔芸術の美 新館開館25周年記念 井原市立田中美術館	森口 邦彦	酒井亜人展 日本画壇のモダニスト 城西国際大学水田美術館	
初期の作品とイタリア	〃	齋田梅亭先生の思い出	齋田つゆ子	酒井亜人の画業	吉田 恵理
フランス各地の田園風景とアトリエでの製作	ヴァンサン・ボマレット 陳岡めぐみ 訳	梅亭を偲んで	齋田つゆ子	十四代 酒井田柿右衛門展〔酒井田柿右衛門〕	菊池寛実記念智美術館
フレーミングと空間、パノラマ風景と遠近法的風景	〃	截金の人間国宝 齋田梅亭と西出大三	山下 伸	十四代 酒井田柿右衛門	林屋 晴三
樹木のカーテン、舞台の幕	〃	西出大三について	〃	長崎の美術4 彭城貞徳展 生誕150年記念	長崎県美術館
ミュージーズとニンフたち、そして音楽	マイケル・パンタッツ イ 土山 亮子 訳	孤高の画家 斎藤博之一洋画と日本画と 小杉放菴記念日光美術館		彭城貞徳の生涯と芸術	森園 敦
「私は目も心も使って解釈する」(コロー)	ヴァンサン・ボマレット 陳岡めぐみ 訳	斎藤博之について	田中 正史	桜井浜江展—強靱なるフォルムの追求— 生誕100年記念	一宮市三岸節子記念美術館
クリシェ=ヴェール—コローのグラフィスム	陳岡めぐみ	サイトウ・マコト展 SCENE [0]	金沢21世紀美術館	桜井浜江の画業	瀧 梯三
		グラフィック・デザインの際墟からの絵画の誕生	浅田 彰	伯母と過ごした六十年—桜井浜江の思い出—	福島 行一
		SCENE[0]: Interview with Makoto Saito	岡村 智子、北出智恵子 構成	佐藤 事展 佐倉・房総ゆかりの作家たち	佐倉市立美術館
		佐伯祐三展 鮮烈なる生涯 没後80年 笠間日動美術館他		父佐藤事の思い出	佐藤 盛孝
		パリを見る眼差しの収差	山梨 俊夫	カエルのコトさん	木邨かおり
		技法から見る佐伯祐三の油絵	田中 善明	三箇三郎展 絵画する—心の旅路—	北海道立函館美術館
		パリにおける佐伯祐三—在留邦人との交流と日本美術大展覧会への出品をめぐって	森谷 美保	絵画する心の旅路	三箇 三郎
		佐伯祐三交流の画家たち	三重県立美術館	絵画への道—三箇三郎氏に聞く	地家 光二 聞き手
				塩田千春 精神の呼吸	国立国際美術館
				夢作業—塩田千春	加須屋明子

ホセ・マリア・シシリア 1998— 2008 長崎県美術館	ホセ・マリア・シ シリア	ロラン・ビ ュジース 福満 葉子 訳	嶋田しづの榮譽を たたえる	大岡 信	マリオ・ジャコメ ッリの詩学	多木 浩二
芝千秋展 浅井忠に洋画を学んだ日 本画家—鉛筆画・水彩画・日本画な ど— 佐倉市立美術館	芝千秋について— その作品の誕生な ど—	島田 康寛	作家の言葉	嶋田 しづ	ジョットとその遺産 ジョットから ルネサンス初めまでのフィレンツェ 絵画 島根県立美術館他	
絵かきの素描—芝 千秋	木邨かおり		持続する志	建畠 哲	ジョットの遺産— 14世紀から15世紀 初頭にかけてのフ ィレンツェ絵画に おけるその教訓に ついての展覧会の 意義	ブルーノ・ サンティ 松原 知生 訳
柴川敏之 2000年後の美術館☆プロ ジェクト 美術館のなつやすみ・ス ペシャル 高知県立美術館	41世紀の美術館〜 その光と影	柴川 敏之	嶋田しづの作品と あゆみ	遠藤 幸一	ジョットとその遺 産をふり返りみる	小佐野重利
2000年後の思い出 のため…	河村 章代		伊砂利彦 志村ふくみ 二人展—染 める、織る 最前線—	福島県立美 術館	パドヴァのスクロ ヴェーニ礼拝堂の ジョット壁画群— 絵画のオリジナル 状態を取り戻すた めの課題と解決法	ジュゼッペ ・バジレ 伊藤 拓真 訳
柴川敏之 2000 年後の未来遺跡 三内まるごとミュージアム 2000 年後の青森県立美術館〜三内丸山遺 跡 青森県立美術館／三内丸山遺跡	41世紀の行方〜未 来遺跡からのメッ セージ	柴川 敏之	下村良之介展 没後10年 京都国立 近代美術館	京都国立 近代美術館	ルネサンスの芸術 工房—ネーリ・デ ィ・ピッチの『覚 書(Le Ricordanze) から	水野 千依
41世紀の三内丸山 人に引き継ぐもの	堀越 聡子		「下村良之介」再考	山野 英嗣	杉本健吉展 新収蔵記念 愛知県美 術館	
CIRCULATION 天から 地から Art - Full 2 [柴田敏雄／多田正美] 中村研一記念小金井市立はけの森美 術館	空から／	多田 正美	「パンリアル」再考	〃	杉本健吉の芸術	木本 文平
\$ 作家の言葉 \$	柴田 敏雄		シャガール 私の物語	ポーラ美術 館	杉本博司 歴史の歴史	金沢21世紀 美術館他
天・地・〈生命〉	塚本 豊子		シャガール 私の 物語	今井 敬子	歴史の歴史	杉本 博司
柴田敏雄と多田正 美—コンテンポラ リー・アートを表 現領域を拡張する ふたりのアーティ ストについて	新畑 泰秀		ポーラ美術館のシャ ガール《私と村》 —再制作の過程を めぐる—考察	奥村 まき	「歴史の歴史」につ いて	建畠 哲
ランドスケープ—柴田敏雄展 東京 都写真美術館			世界のアトリエ、 パリでのシャガー ル	〃	対談：美的価値と 交換価値	杉本 博司 秋元 雄史
もう一つの風景写 真—柴田敏雄論	飯沢耕太郎		シャガール展 色彩の詩人 静岡県 立美術館他	静岡県 立美術館他	反重力構造—「歴 史の歴史」という かたち	村田 大輔
選ばれた風景	藤村 里美		色彩の詩人	エカテリー ナ・セレズ ネイワ	杉本博司—コレク ションする精神	岡村 知子
嶋田しづ展 第15回井上靖文化賞受 賞記念—画業 60 年の歩み— 高岡 市美術館			詩と色彩の対話	メレット・ メイエル	日本文化の型と形 木のぬくもり展 [杉山明博] 静岡アートギャラリー	
			ユダヤ劇場壁画	タチアナ・ グバノワ	「華」ひらく明日へ の予感	杉山 明博
			なぜ恋人たちは空 を飛ぶ—シャガー ルの超現実的表現 とロシアの地、お よびユダヤの精神 性との関連につい て	村松 和明	「木」のぬくもり	森谷 紗世
			マルク・シャガー ルとノスタルジア の行方	小針由紀隆	スナップショットの時間〜三浦和人 と関口正夫〜 三鷹市美術ギャラ リー	
			シャガールと劇場 空間	相良 周作	眼の思考	三浦 和人
			紡がれる詩想—シャ ガールと初期銅 版画シリーズ	村上 哲	メッセージ	関口 正夫
			知られざる鬼才 マリオ・ジャコメ ッリ展 東京都写真美術館	東京都写真美術館	捨身の時	高梨 豊
			内なる心に問いか けて マリオ・ジ ャコメッリに	エンツォ・ カルリ	寄り添いの作法— スナップショット とその可能性	飯沢耕太郎

スナップショット という生き方—関 口正夫と三浦和人—	大日方欣一
生き延びる時間、 冬の旅—スナップ ショット考—	浅倉祐一朗
三浦和人と関口正 夫の歩み	富山由紀子
瀬畑亮 セロテープアート 練馬区 立美術館	
作品集の発刊に当 たり	瀬畑 亮
セロテープの“正 しい”使い方	野地耕一郎
素材への挑戦、不 屈の瀬畑亮	笹木 繁男
覚醒期	瀬畑 亮
転換期	〃
発展期	〃
未来へ	〃
初期作品	〃
「セロテープアート」作品展開催に 寄せて	ニチバン株 式会社テー プ事業部
あとがき	瀬畑 亮

美しき静の世界 曾我芳子回顧展
市制 60 周年記念 川上澄生美術館

美しき静の世界 曾我芳子の生涯	原田 敏行
--------------------	-------

(タ行)

大道あや展 けとばし山のおてんば
画家 生誕100年記念 渋谷区立松
涛美術館他

大道あやが絵に託 した理想的で平和 な情景	谷 亜紀
-----------------------------	------

高木勇次展—知られざる画家の全貌
足利市立美術館

巻かれたキャンパ ス	高木 設
画家／高木勇次の 時代と「新発見」の 若描き	松島 治基
画家・高木勇次さ んと「車窓」のころ まで	土嶋 敏男
道元の言葉を生き た人	八木 幹夫

高木勇次の画業— リアリティをめざ して	江尻 潔
漆芸家・高橋節郎のあゆみ 安曇野 高橋節郎記念美術館	
高橋節郎の漆芸術	白石 和己
「美意識」と「素材 意識」と	佐野 順子
高橋力雄展 木版に抒情を刻む 神 奈川県立近代美術館(鎌倉)	
微風のためもの— 高橋力雄の歩みを 辿って	水沢 勉
高嶺格[大きな休息]明日のための ガーデニング1095㎡ せんだいメ ディアテーク	
オコガマシイ話	吉岡 洋
高嶺格×アテンド メンバー	高嶺 格 菊地 理一郎 木下 路徳 白石 真美 寺脇 陽一郎 檜山 晃 舞石 幸江
高嶺格×吉岡洋	
ノート「大きな休 息」	清水 建人
高山辰雄遺作展 人間の風景 練馬 区立美術館	
絵による人間探究 の道のり	野地耕一郎
描かれなかった絵	高山由紀子
CIRCULATION 天から 地から Art - Full 2 [柴田敏雄／多田正美]	
中村研一記念小金井市立はけの森美 術館	
卒寿・彫刻の道 立川義明展 茅野 市美術館	
ご挨拶	立川 義明
立川義明の歩んだ 彫刻の道	前田 忠史
雅の継承—源氏物語絵巻に挑む 田 中親美・川面義雄 京都府京都文化 博物館	
江戸南画の潮流Ⅱ—文晁・華山の 新感覚—[谷文晁／渡辺華山] 飯田 市美術博物館	
江戸南画と伊那谷 の画家—佐竹蓬平 ・鈴木芙蓉・大平 小洲—	横村 洋介

谷川夏樹展—TRANSPORT— ギャ
ラリー新居(大阪)

コンテナくんの夢 想	橋爪 節也
EARTH CONTAIN- ER PROJECT	谷川 夏樹
田淵俊夫展 画業40年 東京芸術大 学退任記念 パリ・三越エトワール 帰国記念 三越(日本橋)他	
作家ごあいさつ	田淵 俊夫
田淵俊夫君の個展 を祝して	平山 郁夫
田淵俊夫 伝統を 思い、今に生きる	草薙奈津子
作家による作品解 説	田淵 俊夫

背文字が呼んでいる—編集装丁家
田村義也の仕事— 武蔵野美術大学
美術資料図書館

背文字が呼んでい る	酒井 道夫
戦後の思い出から	鶴見 俊輔
編集装丁家の源流 をたずねて その 1 田村久美子夫 人に聞く	酒井 道夫 聞き手
編集装丁家の源流 をたずねて その 2 磯崎好子氏 (元・勁草書房)に 聞く	〃

長重之展(時空のパッセージ)—足利
の来し方、世界の行く末— 栃木県
立美術館

「閉じ込められな いもの」	長 重之 大森 哲也 聞き手
新たな地平—長重 之のパフォーマン スを中心に	江尻 潔
長重之—時空のパ ッセージ	山本 和弘

鳥海青児と三岸好太郎展 北海道立
三岸好太郎美術館他

鳥海青児と三岸好 太郎—初期春陽会 時代について—	土方 明司
二人のロマンチス トと1928年の北海 道旅行	苦名 直子
津田直展 SMOKE LINE—風の河を 辿って 資生堂ギャラリー	

水辺に立つことへの誘惑 池澤 夏樹

ネガとポジのあいだで 森本 美穂

愛情の画家 椿貞雄 没後 50年
米沢市上杉博物館他

父・椿貞雄の思い出 東 朝子

愛と信念の画家 椿貞雄 村山 鎮雄

“愛情の画家”椿が描いた《家族図》をめぐる 加藤 千明

椿貞雄のオリジナルティ―岸田劉生とのかかわりを中心に― 花田 美穂

大正末期から昭和初期における、ある画家の視点―椿貞雄の日記より 月本 寿彦

科学調査に見るもう一つの《菊子遊戯之図》 軽部 早苗

点と面の詩情―上前智祐・山中嘉一・坪田政彦展 和歌山県立近代美術館

ドーミエ★人間喜劇 生誕200年記念 伊丹市立美術館

ドーミエ★人間喜劇 日本人のまなざし 藤巻 和恵

鉄斎―画面のひろがり―[富岡鉄斎] 鉄斎美術館

鉄斎―画面のひろがり― 柏木 知子

富田文隆展―木の美しさ、家具の造形― 群馬県立近代美術館

富田文隆の家具という芸術 諸山 正則

展覧会開催にあたって 染谷 滋

(ナ行)

中上清展―絵画から湧く光 神奈川県立近代美術館(鎌倉)

何故描くのか 中上 清

中上清の新作について―彼方からの光 山梨 俊夫

中上清の創作の軌跡 初山 昌夫

風景からフウケイへ 長沢秀之展
川越の美術家たち 川越市立美術館

長沢秀之―無限層の絵画、あるいは豊かな絵画 山本 和弘

「風景」から「フウケイ」へ―絵画性からの解放に向かって 濱田 千里

風景とフウケイと皮膜と 長沢 秀之

彫刻家 名嘉地千鶴子―愛の作品展― 茂原市立美術館・郷土資料館

彫刻の詩人―名嘉地千鶴子― 舩田 隆満

中西夏之新作展 絵画の鎖・光の森 渋谷区立松涛美術館

やわらかな中間地帯 林 道郎

制作日誌から 中西 夏之

絵画の鎖・光の森 中西夏之の絵画 光田 由里

中村岳陵展 横須賀美術館

中村岳陵の芸術 伝統と革新と 金原 宏行

インタビュー 鈴木 竹柏 立浪佐和子 聞き手

中村誠の世界展 POSTERS 萬鉄五郎記念美術館

中村誠の現代日本 美の創造 永井 一正

グラフィックデザイナー中村誠の歩み 平澤 広

「プラザおでって、もりおか啄木・賢治青春館」の中村誠展 中村 光紀

中村誠 人と作品の邂逅半世紀 杉本 吉武

甦る中山岩太―モダニズムの光と影 東京都写真美術館

モダニズムの光と影―中山岩太の世界 金子 隆一

中山忠彦 永遠の女神展 高島屋(日本橋)他

清麗典雅をおう 中山忠彦の写実路線 富山 秀男

中山さんのまなざし 小塩 節

那波多目功―牡丹幻想―花のいのちに魅せられて― 茨城県天心記念五浦美術館

「牡丹幻想―花のいのちに魅せられて―」に寄せて 那波多目功一

牡丹幻想―写生するということ 長山 貞之

那波多目功一の画業 稲葉 睦子

新国誠一の《具体詩》 詩と美術のあいだに 国立国際美術館他

矩形の聖域 建畠 哲

「雨」のおもむき 向井周太郎

空間主義・音声詩・ことばのオブジェ 松井 茂

新国誠一の《具体詩》 金澤 一志

截金の人間国宝展 齋田梅亭と西出大三 金箔芸術の美 新館開館25周年記念 井原市立田中美術館

蜷川実花―地上の花、天上の色― 東京オペラシティアートギャラリー他

地上の花、天上の色：蜷川実花の美的宇宙 松井みどり

蜷川実花 1988―2008―写真集という視点から 堀 元彰

蜜の流れる色の悦楽―蜷川実花の映像作品について 松本 教仁

(ハ行)

朴英淑の白磁 月壺と李禹煥の絵皿 菊池寛実記念智美術館

すべてを包み込む「月の壺」 朴 英淑

朴英淑の白磁―大壺と食器 鄭 良謨

鮮やかな器―朴英淑陶磁器に思う 李 禹煥

見事な白磁月壺 林屋 晴三

〈小江戸文化シリーズ〉2 橋本雅邦 没後一〇〇年 開館5周年記念 川越市立美術館

雅邦の居た場所、生きた時代 野地耕一郎

橋本雅邦——〇〇
年の評価について 佐藤 道信

橋本雅邦と川越—
雅邦愛好団体「画
宝会」の軌跡 折井 貴恵

パスキン、エコール・ド・パリの
「リベルタン」 北海道立近代美術館
所蔵作品から 宇都宮美術館

パスキン、あるいは
視線のアナーキスト 有木 宏二

パスキンと日本 柴 勤

長谷川等伯展〜久蔵の国宝「桜図」特
別公開〜長男久蔵・生誕440年記念
石川県七尾美術館

智積院の障壁画 水尾比呂志

長谷川利行—幻の名作と、素描力！
不忍画廊

利行の素描は金釘
(かなくぎ)流なの
だが 荒井 一章

人間国宝 濱田庄司展 川崎市市民
ミュージアム他

濱田庄司 没後30
年 その軌跡をた
どる 濱田 友緒

投稿時代の濱田庄
司 佐藤 美子

投稿雑誌解説 近藤 華子

近代日本画の巨匠 速水御舟—新た
なる魅力— 平塚市美術館

未完で逝った偉大
なる天才・速水御
舟 草薙奈津子

作品評 解題—速
水御舟の新たな作
家像をめぐって 勝山 滋

ヴィルヘルム・ハンマースホイ 静
かなる詩情 国立西洋美術館

静かなる詩情—ヴ
ィルヘルム・ハン
マースホイ 佐藤 直樹
訳

ヴィルヘルム・ハ
ンマースホイ—デ
ンマーク黄金期美
術を超えて アネ=ピア
ギデ・フォン
スマーク 萬屋 健司
訳

物語のない日常—
ハンマースホイと
オランダ17世紀の
室内画を隔てるも
のと結び付けるも
の 佐藤 直樹

東山魁夷展 生誕100年 東京国立
近代美術館他

東山魁夷について 尾崎 正明

東山魁夷のモノク
ローム絵画、水墨 鶴見 香織

水に映す—東山魁
夷の倒影をめぐつ
て— 伊藤 洋子

巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡／魂の
ポートレート 国立新美術館／サン
トリー美術館

ピカソ、あるべき
場所で アンヌ・バル
ダサリ 南 雄介 訳

ピカソ 自画像
画家の肖像 アンヌ・バル
ダサリ 松原 典子
訳

絵画 フィリップ・ソニエ
久保田恭子 訳

彫刻・陶器 トマ・ガリ
フォ 松田 健児
訳

素描・版画 アナベル・
テネーズ 米田 尚輝
訳

shiseido art egg 2 回 彦坂敏昭展
「テサグリの図画」 資生堂ギャラリー

第2回 shiseido
art egg賞 審査実
施報告

日比野克彦アートプロジェクト
「ホーム→アンド←アウェー」方式
meets NODA[But-a-I] 金沢21世紀
美術館

作家の言葉 \$ 野田 秀樹
" 日比野克彦

アーティストトー
ク 日比野克彦×
野田秀樹

[But-a-I]の舞台裏 平林 恵
明後日朝顔7つの
気持ち 日比野克彦

明後日新聞金沢版
新聞縮刷版 日比野克彦、
金沢21世紀
美術館
監修

ピラネージ版画展2008—未知なる
都市の彼方へ—[ジョヴァンニ・バ
ッティスタ・ピラネージ] 町田市
立国際版画美術館

ジョヴァンニ・バ
ッティスタ・ピラ
ネージの作品とそ
の建築論 竺 覚暁

未知なる都市の彼
方へ—ピラネージ
に見るエキゾティ
シズム 新田 建史

ピラネージのエッ
チング技法 佐川美智子

平松保城のジュエリー かたちのエ
ッセンス 東京国立近代美術館工芸
館

かたちのエッセン
ス—平松保城の制
作と思考 北村 仁美

ライオネル・ファイニンガー展 光
の結晶 横須賀美術館他

ライオネル・ファ
イニンガー—ドイ
ツのアメリカ人
ニューヨーク、バ
ウハウス、そして
ふたたびニュー
ヨークへ ウルリヒ・
ルックハルト
後藤 文子
訳

ファイニンガーの
日本、あるいはジ
ャポニスム 西村 勇晴

日本のファイニン
ガー—《夕暮れの
海I》を中心に 古田 浩俊

ファイニンガーの
美術教育理論 ライオネル・
ファイニン
ガー 大島 徹也
訳

ブラジル×日本 旅が結ぶアート
兵庫県立美術館+オスカー・ニーマ
イヤー美術館交流展[ジョゼ・アン
トニオ・デ・リマ／フランシスコ・
ファリア／マゼ・メンデス] 兵庫
県立美術館

フェルメール展 光の天才画家とデ
ルフトの巨匠たち 東京都美術館

フェルメールとデ ルフト・スタイル	ピーター・ C・サット ン	第3章 大正時代 と藤井達吉の前衛	〃	日本館壁画《欧人 日本へ到来の図》 に至る大作制作の 経緯について— 《争闘I》《争闘II》 《ライオン》のいる 構図》《犬のいる構 図》との関係を中心 に	森谷 美保
オランダ絵画と日 本—そしてフェル メールの受容	乙葉 哲	第3章 大正時代 と藤井達吉の前衛	〃	《馬とライオン》— 未完の構図	アン・ル・ ディベルデ ル
福沢一郎は今日から歩き出す 生誕 110周年記念 多摩美術大学美術館		フジフランソワ、 一体こやつのア ートはいかに。	田境 志保	ヴィリエール＝バ クルのラ・メゾン ＝アトリエ・フジ タについて	〃
シュルレアリスム、 福沢一郎の分水嶺	仙仁 司	エスプリでフラン ソワ	藤川 哲	“Mon Intérieur” —私の室内「見る ことと描くことは、 別のことだ。」 (パブロ・ピカソ の言葉より)	〃
はじまりの近くに あったもの—福沢 一郎の草創期1920 年代	本田 悟郎	静かなる情熱—藤川勇造とロダンの 美—香川県立ミュージアム開館記念 展 香川県立ミュージアム		子供とフジタ	〃
福島瑞穂の世界 愛と死—Eros et Thanatos— 尾道市立美術館		藤川勇造の滞仏と その後	千田 敬一	平和の聖母礼拝堂 (ランス)のための 装飾計画の起源	〃
人間を貫く	新藤 兼人	藤川勇造と二科会 の若い彫刻家たち	山浦 健夫	シャペル・フジタ、 一つの総合芸術作 品	ダヴィッド ・リオ 三谷 理華 訳
“EI BLOT TIL LYSY” —ただ快楽 のためではなく	本江 邦夫	帰国後の藤川	安達 一樹	「イヴ」の連作につ いて	石尾乃里子
福田たね 青木繁のロマン 芳賀町 総合情報館開館記念 芳賀町総合情 報館		漆工と藤川勇造	田口 慶太	キリスト教徒フジ タ、ランスとシャ ペル・ノートル＝ ダム・ド・ラペ (平和の聖母礼拝 堂)	「平和の聖 母礼拝堂」 建築研究会 中山久美子 訳
福田平八郎展 写真から装飾へ—大 正・昭和前期を中心に—開館10周 年記念 大分市美術館		藤川勇造と松平頼 寿伯爵像	松岡 明子	フジタと父モーリ ス・クロジエに捧 ぐ	ロベール・ クロジエ
福田平八郎試論～ 写真と装飾をめぐる 認識、あるいは 平八郎の視点～	菅 章	師・藤島武二～藤島武二の素描と彼 をめぐる画家たち～ 大川美術館		シャペル・ノートル＝ ダム・ド・ラペ(平和の聖母礼 拝堂)のステンド グラスにおけるレ オナル・フジタ の仕事	ステファニ ー・マルク ブノワ・マ ルク
馬安からはじまる 郷土との交流	宮崎 治	レオナル・フジタ展 没後 40年 〔藤田嗣治〕 北海道立近代美術館他		1640年以後のガラ ス職工長の12世代	
福永大介 Local Emotion 小山登 美夫ギャラリー		藤田が生きた時代	柴 勤	藤田嗣治と群像大 作—1929年の帰国 をめぐって	佐藤 幸宏
焼き豆腐の在る台 所と使用済みモッ プのあいだで	榎木 野衣	80年ぶりに祖国で 公開される幻の群 像大作	アン・ル・ ディベルデ ル	1929年の帰国に関 する参考文献	佐藤 幸宏、 福島 文靖 編
藤井達吉のいた大正 大正の息吹を 体現したフェウザン会と前衛の芸術 家たち 開館記念 碧南市藤井達吉 現代美術館		東京—パリ 藤田 のパリでの第一歩	ソフィー・ クレブス 富田 章 訳	1929年の藤田嗣治 の帰国展をめぐっ て	福島 文靖
藤井達吉の輝き	木本 文平	「素晴らしき乳白 色の地」について	石尾乃里子		
藤井達吉のいた大 正 フェウザン会 参加者をはじめと する前衛芸術家と 藤井達吉の交流に ついて	浅野 泰子	藤田とモデル	佐藤 幸宏		
第1章 フェウザ ン会第一回展に参 集した人々	〃	藤田の自画像	鎌田 享		
第2章 藤井達吉 と交流した人々	〃	《争闘I》と《構図》 ：藤田の未公開作 品	アン・ル・ ディベルデ ル		
		もう一つのルネサ ンスの物語—藤田 嗣治の大作群の復 活—	アン・ル・ ディベルデ ル 小川 隆久 訳		

「モダン」日本の視
た「フジタ」—1930
(昭和5)年、宝塚
少女歌劇、レビュー
—『パリゼット』

三谷 理華

藤本四八—美を追いかけた写真家の
生涯— 飯田市美術博物館

日本人の心の風景
を“報道写真家の
眼”で追求した生
涯

福島 義雄

舟木富治展 内なるまなざし 北九
州市立美術館

わが青春の地北九
州

舟木 富治

昆虫と内なるまな
ざし

重松 知美

舟越桂 夏の邸宅 アール・デコ空
間と彫刻、ドローイング、版画 東
京都庭園美術館

序に代えて 舟越
桂との出会い

井関 正昭

舟越桂 スフィン
クスによる人間の
探究

塩田 純一

少女マンガ3人展〜しものせきより
愛をこめて〜水野英子・青池保子・
文月今日子 下関市立美術館

ぼくが信じるアート。ぼくが生きた
ライフ。 キース・ヘリング生誕50
周年記念 中村キース・ヘリング美
術館

80年代ニューヨー
ク・ストリート・
カルチャーの伝説
解き放たれた個

梁瀬 薫

想像力の踊り場

延江 浩

マンハッタン ダ
ウンタウン 80s

深谷 哲夫

私とキース・ヘリ
ング 中村和男館
長に聞く

中村 和男

意識の襞 星野真吾展〜パンリアル
美術協会の揺籃期とともに〜 豊川
市桜ヶ丘ミュージアム

忘れ難き出会い—
三上誠と星野真吾
の「日本画」—

八百山 登

星野真吾とパンリ
アル—濃密な青春
の象徴—

大野 俊治

「焦土から」

不動 茂弥

意識の襞 星野真
吾とパンリアル美
術協会の揺籃期

森田 靖久

マティスとボナール 地中海の光の
中へ[ピエール・ボナール/アン
リ・マティス] 川村記念美術館他

マティスとボナール、分かれもつ絵
画への信頼—展覧
会開催にあたって

山梨 俊夫

星の友情

レミ・ラブ
リュス
天野 知香
訳

珊瑚とひなげし—
マティスとボナール
の赤について

イザベル・
モノ＝フ
ォンテーヌ
山梨 俊夫
訳

純粹と調和のレッ
スン：マティスと
ボナールのジャポ
ニスムについて

ペーター・
クロップマン
横山由紀子
訳

「絵画の場所」と
「現象的色彩」：マ
ティスとボナール
／ロスコとニュー
マンを巡って

鈴木 尊志

堀晃 ソンナ風が吹クカラ、 北九
州市立美術館

画家が筆をもつと
いうこと

落合 朋子

ソンナ風が吹クカ
ラ、

堀 晃

フランソワ・ポンボン 群馬県立館
林美術館

フランソワ・ポン
ボンの芸術

松下 和美

コラム「ポンボン
と日本—津田信夫
への影響—」

中田 宏明

(マ行)

エンツォ・マーリ100のプロジェクト 永井コレクションによる 長崎
県美術館

エンツォ・マーリ
倫理としてのデザ
イン

城谷 耕生

§ 作家の言葉 §

エンツォ・
マーリ

牧島如鳩展 足利市立美術館他

描かれたマリア様
は、弁天様は、生
きている？—牧島
省三とロシア・イ
コン—

鐸木 道剛

絵の力 田野倉康一

越境する宗教画—
牧島如鳩を追って—

川島 健二

イコン画家として
の牧島如鳩

大下 智一

千宗万派に通ふ道
—牧島如鳩の仏耶
習合をめぐる—

江尻 潔

牧野義雄展—100年前、ロンドンを
描いた日本人— 豊田市美術館

画家・牧野義雄の
原点

成瀬 美幸

shiseido art egg 2 回 槇原泰介展
「flooring フロアリング」 資生堂ギャ
ラリー

第2回 shiseido
art egg賞 審査実
施報告

人間の大河 馬越陽子展 北京国立
中国美術館展帰国展 日中国交正常
化35周年記念 三越(日本橋)

生命を創造する詩
—馬越陽子の絵画
芸術

范 迪安

闇を照らす炎—馬
越陽子さんの人と
芸術

辻 惟雄

生命=人間の河・
実感としての絵画
について

武田 厚

Kumi Machida ことばを超えて語る
線[町田久美] 高崎市タワー美術館

町田久美—ことば
を超えて語る線

青木 忍

岐阜県二人展—松本竣介・麻生三郎
美濃加茂市民ミュージアム

ルオーとマティス ルオー没後50
年 開館5周年[アンリ・マティス
／ジョルジュ・ルオー] パナソニ
ック工工汐留ミュージアム他

ルオー—マティス
との往復書簡“素
晴らしき芸術への
共感”

ジャックリ
ーヌ・マン
ク 平石 昌子
訳

幼年期の思い出	ジャン＝イヴ・ルオー 宮内真理子 訳	夫との旅	三浦 竹子	忘れえぬ風景	多 忠秋
ノエル氏のための、イザベル・ルオーのテキスト	イザベル・ルオー	三浦小平二君のこと	関 敏	向井潤吉と武蔵野生活と自然の交わりと	守安 美栄
1953年、ニースでの、ジョルジュ・ルオーとアンリ・マティスの会談内容	古谷 可由 訳	人間国宝 三浦小平二—その旅路—	立花由美子	村田朋泰展 夢がしゃがんでいる	
ジョルジュ・ルオー作品コレクター モーリス・ジラルダン	ソフィー・クレップス 増子 美穂 訳	鳥海青児と三岸好太郎展	北海道立三岸好太郎美術館他	平塚市美術館	
ジョルジュ・ルオーの画商 アンブロワーズ・ヴォラール	アンヌ・モンフォール 増子 美穂 訳	三沢厚彦展 アニマルズ '08 in YOKOHAMA	そごう美術館	静謐な時間の流れる小宇宙	松浦 寿輝
ピエール・マティスとルオー	ソフィー・クレップス 古谷 可由 訳	Document & Interview : 「ANIMALS +」から「ANIMALS '08 in YOKOHAMA」へ	森谷 美保	「いまと過去」を漂う想い	宮迫 千鶴
マティスとボナール 地中海の光の中へ[ピエール・ボナール/アンリ・マティス]		『三沢さんのこと』	寺田 農	巨大化した「へんな人」	消 忠之
丸木スマ 樹・花・生きものを謳う		三沢厚彦と霊木化現伝	山下 裕二	パペットアニメという思考	保坂 和志
埼玉県立近代美術館		少女マンガ3人展～しものせきより愛をこめて～水野英子・青池保子・文月今日子	下関市立美術館	「彼」の近くにいる	高見 亮子
§ 作家の言葉 §	須田 悦弘	ミヤケマイ展—ココでないドコか—	高島屋(新宿)他	妖精の贈物	高橋丁未子
拝啓 丸木スマ様	安藤 栄作	§ 作家の言葉 §	ミヤケマイ	壁に一羽の鶏の絵がある。	印南 直樹
おばあちゃんの力。	かわしまよう子	ジョン・エヴァレット・ミレイ展	英国ヴィクトリア朝絵画の巨匠	高田家の建築学的謎について	青木 淳
生命の「曼荼羅図」—丸木スマの絵画をめぐって	岡村 幸宣	英国ヴィクトリア朝絵画の巨匠	北九州市立美術館他	村田さんの手	水谷 篤司
子どものような大人の絵	大越 久子	ジョン・エヴァレット・ミレイ—芸術家の生涯—	木島 俊介	「ルリカケス」コロコロを取り戻す旅	末井 昭
唯一無二の画家スマ	前山 裕司	ミレイとその時代、そして現代	ジェイソン・ローゼンフェルド 橋本 啓子 訳	夢の密度	渡邊かな子
丸山直文展—後ろの正面	目黒区美術館	「詩的なイメージ」—ジョン・エヴァレット・ミレイの芸術—	アリソン・スミス 橋本 啓子 訳	「わからない」の「おもしろい」、村田朋泰。	竹本 清香
絵の中の自然—丸山直文、微茫画の前と後とで	樫木 野衣	向井潤吉展 風土をみつめる旅	世田谷美術館所蔵作品による	循環する創造エネルギー	村田 鐵男
丸山直文と雰囲気的美学	保坂健二朗	向井潤吉展—風土をみつめる旅—に よせて	橋本 善八	村田朋泰が描く夢	勝山 滋
丸山直文の絵画	家村 珠代	若き日の向井潤吉	鈴木 利昌	村野藤吾—建築とインテリア ひとつをつくる空間の美学	パナソニック
スナップショットの時間—三浦和人と関口正夫—	三鷹市美術ギャラリー	向井潤吉が愛した長野の風土	前田 忠史	電工汐留ミュージアム	
～よく見て 大きく ごしごと～人間国宝 三浦小平二展	くにたち郷土文化館	向井潤吉が描いた風土に根ざした生活—《峠の下村》が描かれた岡山県上齋原を取材して—	柳沢 綾子	問題群としての村野藤吾	笠原 一人
				数えられるもの、数えられないもの—村野藤吾の「モダンイズム」	倉方 俊輔
				村野藤吾と長次郎—「ものづくり」を支えた職人たち	福井 康人
				祖父から教えてもらったこと	村野 永
				商品の対極にあるもの	隈 研吾
				村野藤吾と武者小路千家—形式の底に潜む精神理解—	千 宗屋
				建築がうまれるとき	ベーター・メルクリと青木淳
				東京国立近代美術館	

ブラジル×日本 旅が結ぶアート
兵庫県立美術館+オスカー・ニーマ
イヤー美術館交流展「ジョゼ・アン
トニオ・デ・リマ／フランシスコ・
ファリア／マゼ・メンデス」兵庫
県立美術館

木食白道—知られざるもう一人の木
食— 山梨県立博物館

白道の生涯

モディリアアーニ展 国立新美術館他

序にかえて—な
ぜ、モディリアアー
ニとプリミティヴィ
スムなのか? マルク・レ
ステリーニ
嵩 聡子 訳

モディリアアーニと
プリミティヴィス
ム //

モディリアアーニの
「危険なる美神」 ジャクリ
ース・ムンク
田中 佳 訳

アメデオ・モディ
リアアーニ「夢に力
尽きて」 メリル・シ
ークレスト
久保田恭子
訳

モディリアアーニを
めぐる日本の言説 安来 正博

アメデオ・モディリアアーニ展 神に
愛された天才 名古屋市美術館他

序文〜モディリア
アーニ伝説は越えら
れたのか〜 深谷 克典

ロマンティックな
ヒーロー『モデ
ィリアアーニ人と
神話』の著者、画
家モディリアアー
ニの娘、ジャンヌ・
モディリアアーニ
(ニース、1918—
パリ、1984)に 寄
せて ダニエル・
マルセッソ
一 廣川 暁生
訳

モディリアアーニと
ポール・アレクサ
ンドル医師、ある
いは「デルタ」で繰
り広げられたでき
ごと ディーデリ
ック・バキ
ユー
山上 紀子
訳

クロード・モネの世界 名古屋ボス
トン美術館

序章 クロード・
モネの世界 ジョージ・
ジャックル
フオード

I 初期のモネ イ
ンスピレーション
の源 //

II モネと初期の印
象派 //

III モネと印象派
の勝利 1880年代 //

IV モネの技法 //

V モネと日本美術 //

VI モネとアメリ
カ美術 //

VII モネの連作 //

VIII 1900年以降の
モネと印象派 //

モネ「印象 日の出」展 日仏交流150
周年記念 名古屋市美術館開館20周
年記念 名古屋市美術館

モネ生涯の一点 深谷 克典

第一回印象派展と
モネの《印象 日の
出》〜時期、戦略、
愛国心についての
物語〜 ポール・タ
ッカー
深谷 克典
訳

森山大道 ミゲル・リオ＝ブランコ
写真展 共鳴する静かな眼差し 東
京都現代美術館

錯乱した河豚の放
浪 ミゲル・リ
オ＝ブラン
コ

§ 作家の言葉 § 森山 大道

(ヤ行)

No potato of name 1 floor 2008
〔青田真也／八嶋有司／吉田周平〕
神戸アートビレッジセンター

やまと うるは
大和し美し 川端康成と安田靫彦
MIHO MUSEUM他

大和し美し 川端香男里

川端先生と父 安田 建一

安田靫彦と良寛 加藤 僖一

世界に生きる良寛
今ここに 北嶋 藤郷

邂逅ということ
一枚の葉を巡って 金子 直樹

私と安田先生 柳 孝

安田靫彦と宗達 松尾 知子

靫彦との対話 執行 草舟

川端康成 古美術 平山 三男
とのめぐりあい

川端の森深く 展
覧会二五〇〇日の 水原 園博
軌跡

やなせたかしのアートな世界 みんな
大好きアンパンマン 松本市美術
館

芸術の原基である
“翁童共鳴”の神遊 米倉 守
び

やなせたか
し 矢木イツオ、
奥 恵理香、
大島 浩
聞き手

やなせたかしさん
の仕事 大島 浩

むくげ
権の画家・柳瀬正夢展 武蔵野美術
大学美術資料図書館

「現代の画家一般
は全て漫画家であ
くてはならない。」 及部 克人

柳瀬正夢という
“山”の大きさ 萬木 康博

門司の近代化の渦
中に育つ 柳瀬少
年 松葉 一清

柳瀬と中野のオヂ
さん(如是閑) 柏木 博

むくげ
「権の画家」覚え
書き 井出 孫六

同志! ゲオルゲ・
グロース・グロッ
ス研究家としての
柳瀬正夢 田中 正之

柳瀬正夢「満州」を
歩く 柳瀬 信明

山内多門 生誕130年展 都城市立
美術館

山内多門—雅邦を
継ぐ者 塩谷 純

晩年の多門 品田 正

山内多門の生涯と
芸術 富迫 美幸

山口薫展 幻影のカンヴァス 群馬
県立近代美術館他

山口薫展に寄せて 酒井 忠康

山口薫 その芸術
環境と画風の変遷 定松 晶子

滞欧期の山口薫 原 舞子

戦前期・自由美術家協会時代の山口薫 1937—1945年：「新しいグーの自己の創造」へ 杉山 悦子

鏡・夢・影 絵画が生まれるとき 黒田 亮子

大正の自由画運動と「山口薫・中学時代絵日記」の世界 山口 哲郎

思い出の中の山口薫一見立ての眼、記憶の形一 田口 安男

父のこと 山口 保輔

父、山口薫の生誕百年に当たって 石田 絢子

父 山口 杉夫

点と面の詩情—上前智祐・山中嘉一・坪田政彦展 和歌山県立近代美術館

山本武夫展 美人画と舞台美術 目黒区美術館

山本武夫 江戸の粋と現代性 矢内みどり

山本武夫と挿絵 もうひとつのモダン 五十殿利治

山本武夫の舞台美術 井上 理恵

山本武夫先生の思い出 福島 晶子

幸松春浦展—日本画の軌跡(大正・昭和)—生誕110周年記念 大分市美術館

近代大分の南画、日本画と幸松春浦 岡村 暢哉

現代彫刻の変革者 湯原和夫展 存在の自由区 神奈川県立近代美術館(葉山)

「存在の自由区」のなかへ 山梨 俊夫

湯原和夫インタビュー 是枝 開聞き手

虚空を体験する場—インタビューを終えて 是枝 開

榎亭・金谷—近江蕪村と呼ばれた画家—[紀榎亭／横井金谷] 大津市歴史博物館

冒険王・横尾忠則 世田谷美術館他

食べたり、感電したりできる絵のこと、そして「冒険の思想」についても、すこしだけ。 荒俣 宏

視覚の鏡—Y氏への手紙 酒井 忠康

Y字路の姿かたち 山崎 均

夢とうつつの星の下 横尾忠則の子どもたち 塚田 美紀

〈絵物語〉に胸躍らせた同士として 根本 圭助

世界に開かれた窓 エッセル版(驚異の旅)の挿絵をめぐって 石橋 正孝

いろいろ思い出すね 和田 誠

横尾忠則と演劇ボスターの熱い時代 扇田 昭彦

極私的60年代回想 横尾忠則の一受容者として 越智裕二郎

横尾忠則と動物 岡本 弘毅

横尾少年を魅了した二つの小説 堀江あき子

パローズのターザン、映画のターザン、横尾のターザン 出原 均

横尾忠則「冒険」をめぐるロング・インタビュー 横尾 忠則、出原 均、塚田 美紀聞き手

横山大観 新たな伝説へ 没後50年 国立新美術館

横山大観—天心の精神とともに歩んだ近代日本画壇の壮士 内山 武夫

評伝・横山大観 古田 亮

横山大観の中の中国 板倉 聖哲

「朦朧体」と呼ばれた試みについて—描写方法を中心に— 佐藤 志乃

戦前における横山大観評価の形成史 植田彩芳子

郷土作家シリーズX 横山津恵展 風薫る、花香る、ヴィーナスたち 秋田県立近代美術館

日本画家 横山津恵の生涯 小笠原 光

闇のヴィーナス 日本画家・横山津恵についての試論 山本 丈志

与謝蕪村—翔けめぐる創意— MIHO MUSEUM

翔けめぐるマルティン芸術家の創意—蕪村展案内 辻 惟雄

蕪村二都物語 藤田 真一

蕪村が謝寅になるまで 佐藤 康宏

「雅俗雙手の声」 早川 聞多

蕪村をつつむ十八世紀京都文化 狩野 博幸

蕪村画に見る素材への感応 安永 拓世

吉田克朗 Print Works 1969—1979 Fuji Xerox Art Space

吉田克朗の1969年—1979年—Cut-off シリーズから Workシリーズへ 山本 雅美

No potato of name 1 floor 2008 [青田真也／八嶋有司／吉田周平] 神戸アートビレージセンター

美しき九州の旅—「大正広重」初三郎がえがくモダン紀行—[吉田初三郎] 北九州市立いのちのたび博物館

「モダン」の都市と観光と吉田初三郎 日比野利信

印刷技術の進化と初三郎作品 益田啓一郎

米田知子展—終わりは始まり 原美術館

見えるものと見えないもののあいだ—米田知子について— 安田 篤生

§ 作家の言葉 § 米田 知子

(ラ行)

ジム ランビー：アンノウン プレジャーズ 原美術館

未知の快楽へ 坪内 雅美

Q&A Questions to Jim Lambie

朴英淑の白磁 月壺と李禹煥の絵皿 菊池寛実記念智美術館

Lee Yun Bok[リ・ユンボク] ギャラリー椿他

魂のかたちーリー・エンボクの近作について	本江 邦夫	画家ルノワール	ドミニク・ロブスタン 中田 宏明 訳	コラム9 楽浪漆器と紫水〜小場恒吉との交流を通じて	大西 純子
森山大道 ミゲル・リオ＝ブランコ写真展 共鳴する静かな眼差し 東京現代美術館		〈戦争〉をめぐるルノワールの断片的伝記+α	藤崎 康	コラム10 「楽浪漆器研究」作品の調査修理を通じて	福田 浩子
モーリス・ルイス 秘密の色層 川村記念美術館		「国宝」を創った男 六角紫水展 広島県立美術館	六角 鬼丈	六角紫水の生涯 激動の近現代を生きた姿 第5章 花開く六角紫水の芸術	宮本真希子
モーリス・ルイス : 制作の秘密	ジョー・クルック トム・ラーナー	紫水展によせて	ヤン・ディーズ 横溝 廣子 訳	コラム11 紫水を知る人たちの話	村上 勇
ルオー大回顧展 没後50年 出光美術館		六角紫水の生涯 激動の近現代を生きた姿 第1章 漆芸家・六角紫水の誕生	宮本真希子	コラム12 二つの紫水の盃	大西 純子
出光佐三と出光美術館のルオー・コレクション	八波 浩一	コラム1 東京美術学校の課題画資料―旧飯倉コレクションについて―	稲葉 睦子	コラム13 六角紫水と会津、マルニ工芸	小林めぐみ
出光美術館所蔵のルオー未刊行版画作品について	後藤 新治	コラム2 紫水の学んだ明治の教育	吉川 英樹	六角紫水の生涯 激動の近現代を生きた姿 第6章 紫水から次世代へ〜現代漆芸への探究〜	宮本真希子
ルオーの連作油彩画《受難》とシュアレス著『受難(パッション)』	八波 浩一	六角紫水の生涯 激動の近現代を生きた姿 第2章 若き日の奮闘〜卒業から渡米まで〜	宮本真希子	コラム14 六角紫水に魅せられて	愛 英史
ルオーとマティス ルオー没後50年 開館5周年[アンリ・マティス/ジョルジュ・ルオー] パナソニック電気汐留ミュージアム他		コラム3 岡倉天心と六角紫水	小泉 晋弥	コラム15 備中漆の復興活動を通して〜過去・現在・未来〜	小野 忠司
ルノワール+ルノワール展[オーギュスト・ルノワール] Bunkamuraザ・ミュージアム他		コラム4 六角紫水とガードナー夫人	清水恵美子	コラム16 広島漆の復興にかける夢〜創作現場からの発信〜	大塚 智嗣
ビエール＝オーギュスト・ルノワールとジャン・ルノワール	シルヴィー・パトリ 宮澤 政男 訳	コラム5 六角紫水とボストン美術館	アン・ニシムラ・モース	(ワ行)	
ビエール＝オーギュスト・ルノワールと彼のユートピア	木島 俊介	六角紫水の生涯 激動の近現代を生きた姿 第3章 帰国後、漆芸界での地歩を築く	宮本真希子	アンドリュウ・ワイエス創造への道程 Bunkamuraザ・ミュージアム他	
フランスにおけるジャン・ルノワール	セルジュ・トゥビアナ 宮澤 政男 訳	コラム6 御料車の漆芸技法―御料車を修理して	山下 好彦	アンドリュウ・ワイエス 創造への道程	
未来の映画作家 ジャン・ルノワール	中条 省平	六角紫水の生涯 激動の近現代を生きた姿 第4章 文化財の保存と研究〜「国宝」を創った男〜	宮本真希子	松並木一折り重ねられた意味をめぐって	
父ビエール＝オーギュスト・ルノワールの収集家にして伝記作者、ジャン・ルノワール	モニック・ノンヌ 中条 志穂 訳	古社寺保存会の宝物調査と紫水	吉田千鶴子	ワイエスの世界に導かれて	
ジャン・ルノワールの映画解説	筒井 武文	コラム7 醍醐寺の薬師如来―古社寺調査日記から	大西 純子	若林奮―VALLEYS 横須賀美術館	
		コラム8 紫水、厳島神社の社殿を塗る	村上 勇	一本の彫刻	
				若林奮―《Valleys》についての感想	
				VALLEYS・谷へ	
				VALLEYS	
				“Valleys”再生	
				酒井 忠康	
				淀井 彩子	
				若林 奮	
				原田 光	

和田千秋「障碍の美術 X—折り」 21
世紀の作家—福岡 8 回 福岡市美
術館

「問いかけ」という
希望—和田千秋
「障碍の美術」をめ
ぐって 三谷 理華

江戸南画の潮流 II—文晁・華山の新
感覚—[谷文晁/渡辺華山] 飯田市
美術博物館

わたなべみわこ展 上野の森美術館
大賞展24回絵画大賞 日本アイ・ビ
ー・エム美術奨学賞受賞記念 上野
の森美術館

§ 作家の言葉 § ワタナベミ
ワコ

長崎の美術 3 渡辺与平展 長崎県
美術館

渡辺与平の生涯と
芸術 遠山 景子

団 体 展

(ア行)

一水会70回記念展 東京都美術館他
一水会の第七十回
展を祝う 富山 秀男

(カ行)

現代童画展34回 東京都美術館
「探求から創造へ」 安井 収蔵

現展64回 国立新美術館他
ひとそれぞれの現
代美術?なのか? 小倉 洋一

行動展63回 国立新美術館他
深見隆さんを偲ぶ 大谷 久子
笹瀬悦子さんの死
を悼んで 田中勇次郎
松岡卓先生を偲ん
で 生島 豊昭

(サ行)

三軌展60回記念 国立新美術館他
ごあいさつ 森田 一男
三軌会60周年記念
展に寄せて—余り
にも回想的な祝辞
として— 林 紀一郎

三軌会60周年と御
正伸氏のこと 安井 収蔵

集団としての旗色
の理念的な鮮明さ 本江 邦夫

三軌会六十周年に
寄す 足立 朗

三軌会の未来に向
けて 三軌会60周
年おめでとうござ
います 浅井 愼平

新制作展72回 国立新美術館他

追悼 関屋俊彦先
生 福島 修子

追悼 尾崎さんの
こと 山内 秀臣

追悼 古茂田さん
の奥さん(美津子
さん) さようなら 赤穴 宏

追悼 伊藤礼太郎 大國 丈夫

追悼 田村興造先
生を偲ぶ 渡辺 隆根

追悼 大桐國光先
生のこと 大西 康彦

全日本水墨画秀作展31回 国立新美 術館

巻頭言 巴人常在 岩崎 巴人
語 本来無一物 (善空)

(タ行)

中美展60回 東京都美術館

第60回記念中美展
に寄せて 林 紀一郎

誇りと責任を—60
回展を祝す— 中野 中

独立美術展76回 国立新美術館他

独立の気骨[森兵
五] 相田 幸男

偶然の出会い 阿部 栄一

山本正先生の思い
出 石井 武夫

若い人達に伝わる
言葉で 石川 和男

ひょんなことから 伊東 茂広

今井憲一先生のこと 伊藤 弘之

林武のデッサン
「安井曾太郎のデ
スマスク」 今井 信吾

制作に命をかけた
恩師 林武先生 入江 一子

ある夏の日[小林
数] 梅野 顕司

小林数先生との
“出会い” 大地 康雄

松本英一郎先生の
こと 大場 再生

追憶…独立展 岡田 忠明

「青」[林武] 奥谷 博

私を魅きつける人
[福島瑞穂] 柏 敬子

中村節也先生の追
憶 加藤 啓治

中村節也先生の教
え 金井 訓志

76回の歴史 金子 亨

鈴木重夫先生の追
憶—創立会員との
出逢い 喜多万紀子

「独立展に出しな
さい。」[坂本善三] 北島 治樹

独立展の過去・歴
史を振り返る 木津 文哉

霞光のこと 木梨 修

鳥海青児先生への
追憶 絹谷 幸二

’08の夏に…… 木村 富秋

水島先生の追憶 久我 修

「求」先生の基[齋
藤求] 久保田益央

鳥居敏文先生追憶 小久保 裕

巡り会った事 小林 正

原光子先生のこと 権藤 信隆

独立展の先輩[針
生鎮郎] 齋藤 研

菊池精二先生の追
憶 斎藤 吾朗

回想の中間・佐川
夫妻 桜井 寛

記憶に残ること 佐々木理加

佐川敏子先生の思
い出 沢村美佐子

須田先生の追憶 芝田 耕

海老原喜之助と
「神秘の子羊」 白鳥 三郎

熱き思い 瀬川富紀男

妹尾正雄先生の思
い出 瀬島 匠

故会員 青柳暢夫
先生に教わったこ
と“造ろうとせず、
無意識に出来たも
のは美しい。” 世利 徹郎

いただいた言葉 高澤 哲明

「北海の男たち」砂
田友治先生 高橋 伸

「北川豊先輩の追
憶」独立の道を歩
ませてくれた人 高橋 正敏

芝田米三先生の追
憶 高橋 雅史

「西縉先生、お世
話になりました。」 田口 貴大

あの頃・あの時 竹岡 羊子

独立展初日、AM.
9.30 田中 茂

25歳の頃の出合い 田伏 勉

桜井浜江先生のこ
と 多見谷恭子

3人の先生方の言
葉 塚本 聰

海老原喜之助先生
の追憶 津川めぐ美

独立、野球のこと 寺島 穰

菊池精二、海老原
喜之助先生との出
逢い 柄内 忠男

ボランティア活動 中村 光幸

私のが一番“なに
わの池島勘治郎先
生” 額田 晃作

三岸好太郎と黒ア
ゲハ蝶 林 敬二

松村薫先生の追憶 原田 丕

横地先生のため息 半那 裕子

画学生の頃〔海老
原喜之助〕 広瀬 通秀

「あんた、コレお
もしろいやろ」〔中
村善種〕 廣田 政生

小林和作先生 福島 瑞穂

「船を造る人」 福満正志郎

桜井浜江先生の追
憶 堀井 克代

思い出の一言 前田さなみ

中間冊夫先生の追
憶 前畑 省三

人間の大河一闇を
照らす炎 馬越 陽子

独立の栄光 松井 通央

ブンブン 松樹 路人

「まだまだ」 松原 潤

恩師山田栄二先生
の追憶 松藤 真澄

我が独立の諸先輩 松山幾三郎

独立創立者の下で 松山 敏彦

中間冊夫先生の追
憶 森田 康雄

大悟の人 山内 和則

恩師海老原喜之助
先生 山田 文子

赤星孝・坂本善三
先生の追憶 山田 依子

独立への想い 山中 馨

中間冊夫先生を思
い出して 山本 恵三

「お坊ちゃん」と呼
ばれて(原光子先
生の追憶) 山本 雄三

記憶の映像〔緑川
広太郎／吉武研
司〕 吉田宏太郎

佐賀独立事始の先
輩達 吉武 研司

あの一言が……今 米原 智

昆先輩のこと〔昆
勢津子〕 輪島 進一

(ナ行)

日本南画院展48回 国立新美術館他
第四十八回日本南
画院展に寄せて 町田 泰宣

(ハ行)

版画展76回 東京都美術館

第76回版画展特別
陳列 アメリカ現
代版画の今—5つ
の版画工房とコラ
ボレーション— 黒崎 彰

从展34回 東京都美術館

从展のあたらしい
転機について ヨシダヨシ
エ

人間百相・大野俊
治の世界 谷 哲夫

記憶の穴 尾藤 敏彦

堀さーん…。 甲田 洋二

これまでのことを
手短かに話せば 美濃 瓢吾

(ラ行)

立軌展60回 国立新美術館

立軌会の第60回展
を祝う 富山 秀男

思いだすまま 五百住乙人

物 故 者

索 引 (50音順)

青木 龍山(工)	4月23日	81歳	…………431	田中 一燈(書)	12月20日	80歳	
赤塚 不二夫(漫)	8月2日	72歳	…………436	田村 興造(彫)	3月23日	84歳	
阿部 克自(写)	9月17日	78歳		茶谷 正洋(建)	11月19日	74歳	
安部 杏邨(書)	3月10日	81歳		辻 協(工)	7月8日	77歳	
飯田 健治(洋)	1月12日	81歳		辻 清明(工)	4月15日	81歳	…………430
伊藤 龍崖(書)	6月21日	82歳		土田 帆山(書)	2月6日	89歳	
岩井 明子(書)	9月24日	82歳		永井 潔(洋)	9月8日	92歳	
岩田 糸子(工)	9月25日	86歳		中谷 龍一(洋)	6月8日	91歳	
上田 トシコ(漫)	3月7日	90歳		中野 大雅(書)	4月20日	80歳	
梅村 晴峰(工)	1月8日	81歳		中本 利夫(美関)	5月1日	78歳	
大川 栄二(美関)	12月5日	84歳	…………440	中山 公男(学)	2月21日	81歳	…………426
太田 洋三(洋)	8月8日	75歳		中山 万里(写)	1月17日	37歳	
大津 鎮雄(洋)	1月31日	87歳	…………423	西野 久子(洋)	5月25日	93歳	
大平 智弘(デ)	12月8日	63歳		布目 順郎(学)	11月28日	94歳	
岡田 節子(洋)	5月28日	90歳	…………433	野々村 一男(彫)	2月11日	101歳	…………424
小川 隆之(写)	10月8日	72歳	…………438	梅 舒適(書)	8月27日	91歳	
男虎 柳厓(書)	2月19日	84歳		灰野 昭郎(学)	10月1日	66歳	…………438
片岡 球子(日)	1月16日	103歳	…………423	羽田 登喜男(工)	2月10日	97歳	…………424
金子 静枝(その他)	11月29日	79歳		東原 徹(日)	3月31日	90歳	
金子 裕之(学)	3月17日	63歳	…………428	樋口 清治(学)	8月17日	82歳	…………436
金子 孫六(工)	1月24日	83歳		古川 吉重(洋)	4月10日	86歳	…………430
川尻 一寛(工)	12月29日	78歳		星 光陽(書)	4月27日	72歳	
河野 良輔(美関)	1月30日	83歳		細野 正信(学)	3月11日	81歳	…………427
鬼頭 梓(建)	8月20日	82歳		松岡 阜(彫)	5月9日	85歳	
木村 恒久(デ)	12月27日	80歳	…………441	水井 康雄(彫)	9月3日	83歳	…………437
キヨノ サチコ(その他)	6月19日	60歳		宮迫 千鶴(洋)	6月19日	60歳	…………434
清原 啓一(洋)	10月11日	81歳	…………439	毛利 彰(その他)	4月9日	73歳	
栗原 桂山(書)	2月14日	74歳		森 哲郎(漫)	7月9日	79歳	
樽松 正利(洋)	4月4日	91歳		森 芳泉(書)	4月20日	74歳	
桑野 博利(日)	4月11日	94歳		森 口華弘(工)	2月20日	98歳	…………425
小坂橋 東崖(書)	11月6日	91歳		柳 沢 信(写)	6月2日	71歳	…………433
小西 保文(洋)	10月22日	77歳		山岸 信郎(美関)	11月4日	79歳	…………439
佐々木 寅夫(洋)	7月20日	70歳		山下 勇三(デ)	1月31日	71歳	
佐谷 和彦(美関)	5月23日	80歳	…………432	山本 民二(彫)	4月14日	88歳	
沢村 美佐子(洋)	10月17日	85歳		横田 洋一(学)	9月22日	67歳	…………437
白髪 一雄(洋)	4月8日	83歳	…………429	与那覇 朝大(美)	7月2日	74歳	
須加 五々道(日)	10月16日	95歳		米 倉 守(評)	2月25日	70歳	…………427
菅原 寿雄(美関)	3月30日	84歳		和 太 守(卑良(工)	9月7日	64歳	
鈴木 進(学)	7月16日	96歳	…………435				
鈴木 文吾(工)	7月6日	86歳					
鈴原 研一郎(漫)	2月9日	67歳					
陶山 由利子(書)	11月12日	63歳					
武士 桑風(書)	12月17日	95歳					

凡例：

1. 索引に掲載された物故者の氏名は、平成20年中に没した美術家、及び関係者であり、50音順に配列した。
2. ()内には、職種、死亡月日、享年の順に記載した。
3. 職種は、下記のように略記した。

日：日本画家、洋：洋画家、版：版画家、彫：彫刻家、工：工芸家、デ：デザイナー、映C：映像・CG作家、漫：漫画家、書：書家、写：写真家、建：建築家、学：美術史研究者、評：美術評論家、美関：美術関係者、その他：絵本作家・イラストレーター等、美：美術家(前記の範疇に属せず、現代美術において従来の表現形式にとらわれない創作活動をした者)

4. 記事が掲載されている物故者については、索引の氏名の横に掲載ページを示した。記事は死亡月日順に掲載した。
5. 各記事末尾の〈 〉内は、その記事の執筆者の姓を示す。それぞれの姓名・所属は下記の通りである。

井上一井上 和人	奈良文化財研究所副所長
江村一江村 知子	東京文化財研究所企画情報部
菊池一菊池 理予	東京文化財研究所無形文化遺産部
塩谷一塩谷 純	東京文化財研究所企画情報部
菅沼一菅沼万里絵	東京文化財研究所企画情報部
田中一田中 淳	東京文化財研究所企画情報部
土屋一土屋 貴裕	東京文化財研究所企画情報部
中村一中村 明子	東京文化財研究所企画情報部
増田一増田 玲	東京国立近代美術館
三上一三上 豊	和光大学(東京文化財研究所企画情報部客員研究員)
森井一森井 順之	東京文化財研究所保存修復科学センター
山梨一山梨絵美子	東京文化財研究所企画情報部

「物故者」 ページ (423～441 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.423-441)

Cut for protection of the personal information

~~~~~  
印 刷 平成23年 3月10日

発 行 平成23年 3月25日

---

日 本 美 術 年 鑑 ㊄

——平成 21 年 版——

編集者 東京文化財研究所企画情報部

発行者 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所  
東京都台東区上野公園13-43  
電話 (03) 3823-2241

製 作 中央公論美術出版  
東京都中央区京橋2-8-7  
電話 (03) 3561-5993

~~~~~  
出版助成：東京美術商協同組合寄附金